



345

昭和十五年度直轄工事年報

內務省國土局



# 昭和十五年度直轄工事年報目次

## 論 總

第一	治水事業	一
第二	港灣改良事業	七
第三	復舊、修補及應急事業	二〇
第四	國道改良事業	二一
第五	本年度施行工事	二三
第六	竣功工事	二六

## 第一章 河川改修工事

第一	荒川上流改修工事	三二
第二	最上川改修工事	三七
第三	江合、鳴瀨兩川改修工事	四一
第四	雄物川改修工事	四四

第五	千曲川改修工事	四〇
第六	岩木川改修工事	五二
第七	阿賀川及阿武隈川改修工事	五七
第八	富士川改修工事	六四
第九	木曾川上流改修工事	六八
第一〇	斐伊川改修工事	七四
第一	信濃川上流改修工事	七九
第二	天龍川改修工事	八二
第三	千代川改修工事	八四
第四	蘆田川改修工事	八七
第五	紀ノ川改修工事	九〇
第六	筑後川改修工事	九三
第七	緑川改修工事	九七
第八	北川改修工事	一〇〇
第九	旭川改修工事	一〇四
第二〇	鬼怒川改修工事	一〇八

第二一	大淀川改修工事	一五
第二二	狩野川改修工事	一八
第二三	那賀川改修工事	二三
第二四	大野川改修工事	二五
第二五	渡川改修工事	二八
第二六	木津川改修工事	三三
第二七	川内川改修工事	三五
第二八	太田川(廣島)改修工事	三八
第二九	安倍川改修工事	四一
第三〇	多摩川上流改修工事	四四
第三一	最上川上流改修工事	四七
第三二	矢作川改修工事	五〇
第三三	淀川低水工事	五三
第三四	小貝川改修工事	五五
第三五	菊川改修工事	五八
第三六	烏、神流川改修工事	六一

第三七	手取川改修工事	一六四
第三八	小矢部川改修工事	一六七
第三九	天神川改修工事	一七〇
第四〇	阿武隈川下流改修工事	一七五
第四一	木曾川下流改修増補工事	一七八
第四二	常願寺川改修工事	一八二
第四三	米代川改修工事	一八五
第四四	肝屬川改修工事	一八七
第四五	球磨川改修工事	一九〇
第四六	黒部川改修工事	一九三
第四七	馬淵川改修工事	一九五
第四八	大和川改修工事	一九七
第四九	久慈川改修工事	二〇〇
第五〇	豊川改修工事	二〇三
第五一	利根川増補工事	二〇五
第五二	表六甲河川改良工事	二一五

第五三	鶴見川改修工事	二三四
第五四	猪名川改修工事	二三七
第五五	菊池川改修工事	二三二
第五六	庄川改修工事	二三五
第二章	河川附屬物及水路維持工事	
第一	木曾川附屬物及水路維持工事	二二九
第二	淀川維持工事	二三四
第三	利根、渡良瀬川維持工事	二四二
第四	信濃川維持工事	二六六
第五	荒川維持工事	二六〇
第六	多摩川維持工事	二六三
第七	北上川維持工事	二六七
第三章	砂防工事	
第一	淀川流域(瀬田川)砂防工事	二七一

第二	富士川流域砂防工事	二七三
第三	信濃川水系砂防工事	二七六
第四	鬼怒川流域砂防工事	二七九
第五	常願寺川流域砂防工事	二八二
第六	手取川流域砂防工事	二八四
第七	揖斐川流域(根尾川)砂防工事	二八六
第八	淀川流域(木津川)砂防工事	二八八
第九	神通川流域砂防工事	二九〇
第一〇	利根川流域(烏川)砂防工事	二九二
第一一	天神川流域砂防工事	二九四
第一二	阿武隈川流域(荒川)砂防工事	二九六
第一三	天龍川流域(小澁川)砂防工事	二九八
第一四	利根川流域(渡良瀬川)砂防工事	三〇一
第一五	信濃川流域(魚野川)砂防工事	三〇三
第一六	木曾川流域(中津川、落合川)砂防工事	三〇五
第一七	庄内川流域(土岐川)砂防工事	三〇八

第一八	安倍川流域(大河内川)砂防工事	三〇
第一九	最上川流域(立谷澤川)砂防工事	三二
第二〇	六甲山系砂防工事	三四

#### 第四章 港灣改良工事

第一	關門海峽改良工事	三九
第二	神戸港修築工事	三二
第三	横濱港修築工事	三五
第四	土崎港修築工事	三二
第五	高知港修築工事	三四
第六	七尾港修築工事	三七
第七	尾道港修築工事	三四
第八	博多港修築工事	三四
第九	青森港修築工事	三七
第一〇	宇野港修築工事	三九
第一一	三角港修築工事	三五

第一二	大分港修築工事	三五六
第一三	廣島港修築工事	三五六
第一四	和歌山港修築工事	三六一
第一五	酒田港修築工事	三六五
第一六	八幡、戸畑兩港修築並航路改良工事	三六八
第一七	下關港修築工事	三七三
第一八	宇部港修築工事	三七七
第一九	門司港修築工事	三七九
第二〇	荻田港修築工事	三八二
第二一	新潟港修築工事	三八四
第二二	臨海地帶造成工事	三八六
第二三	八戸港修築工事	三九〇
第五章	復舊及應急修補工事	
第一	相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	三九三
第二	利根川應急增補工事	三九六

第三 淀川修補工事……………四〇〇

第六章 國道改良工事

第一	國道一號線(保土ヶ谷)	改良工事	繼續國道改良	四〇五
第二	國道一號線(沼津)	改良工事	繼續國道改良	四〇八
第三	國道一號線(清水)	改良工事	繼續國道改良	四一〇
第四	國道一號線(袖師)	改良工事	繰越國道改良	四一四
第五	國道一號線(名靜)	改良工事	繼續國道改良	四一六
第六	國道一號線(名靜)	改良工事	繼續國道改良	四一八
第七	國道一號線(愛知第二)	改良工事	繼續國道改良	四二一
第八	國道一號線(愛知第三)	改良工事	繰越國道改良	四二五
第九	國道一號線(愛知)	改良工事	國道改良	四二八
第一〇	國道一號線(參宮)	改良工事	繼續國道改良	四三〇
第一一	國道二號線(滋賀)	改良工事	國道改良	四三三
第一二	國道二號線(兵庫)	改良工事	繼續國道改良	四三六
第一三	國道二號線(岡山)	改良工事	國道改良	四三九

第一四	國道二號線(廣島)	改良工事	國道改良	四三
第一五	國道二號線(廣島、山口)	改良工事	國道改良	四四
第一六	國道二號線(東山口)	改良工事	繼續國道改良	四八
第一七	國道二號線(西山口)	改良工事	繼續國道改良	四五
第一八	國道二號線(關門)	建設工事	繼續隧道新設	四六
第一九	國道二號線(小倉)	鋪裝工事	國道改良	四六
第二〇	國道二號線(博多)	改良工事	國道改良	四二
第二一	國道二號線(熊本)	鋪裝工事	國道改良	四六
第二二	國道二號線(熊本)	改良工事	國道改良	四六
第二三	國道三號線(椎田)	改良工事	國道改良	四九
第二四	國道三號線(宇佐)	改良工事	國道改良	四二
第二五	國道三號線(大分)	改良工事	繼續國道改良	四七
第二六	國道三號線(延岡)	改良工事	國道改良	四九
第二七	國道三號線(都城)	鋪裝工事	國道改良	四二
第二八	國道三號線(鹿兒島)	鋪裝工事	國道改良	四四
第二九	國道四號線(蒲生)	改良工事	國道改良	四六

第三〇	國道四號線 (越ヶ谷)	改良工事	繰越國道改良	四八八
第三一	國道四號線 (幸手)	改良工事	繰越國道改良	四九〇
第三二	國道四號線 (栃木)	改良工事	國道改良	四九二
第三三	國道四號線 (雀宮)	改良工事	繰越國道改良	四九四
第三四	國道四號線 (宮城)	改良工事	國道改良	四九六
第三五	國道四號線 (宮城)	改良工事	繰越國道改良	四九八
第三六	國道四號線 (岩手)	改良工事	國道改良	五〇一
第三七	國道四號線 (岩手)	改良工事	繰越國道改良	五〇三
第三八	國道四號線 (岩手)	改良工事	國道改良	五〇五
第三九	國道四號線 (青森)	改良工事	繰越國道改良	五〇七
第四〇	國道四號線 (青森)	改良工事	國道改良	五〇九
第四一	國道五號線 (福島)	改良工事	國道改良	五一一
第四二	國道五號線 (秋田)	改良工事	國道改良	五一四
第四三	國道五號線 (青森)	改良工事	繰越國道改良	五一七
第四四	國道五號線 (青森)	改良工事	國道改良	五一九
第四五	國道六號線 (常總)	改良工事	繰越國道改良	五二二

第四六	國道六號線(水戶)	改良工事	繰越國道改良	五三
第四七	國道六號線(水戸)	改良工事	國道改良	五五
第四八	國道六號線(多賀)	改良工事	繰越國道改良	五六
第四九	國道六號線(福島)	改良工事	國道改良	五〇
第五〇	國道八號線(山梨)	改良工事	繰越國道改良	五三
第五一	國道八號線(山梨)	改良工事	國道改良	五五
第五二	國道九號線(群馬)	改良工事	國道改良	五六
第五三	國道九號線(三國峠)	改良工事	繼續國道改良	五四
第五四	國道十號線(長野)	改良工事	國道改良	五四
第五五	國道十號線(第四埴科)	改良工事	繰越國道改良	五五
第五六	國道十號線(鶴岡)	改良工事	繰越國道改良	五七
第五七	國道十號線(第二鶴岡)	改良工事	國道改良	五九
第五八	國道十一號線(親不知)	改良工事	繼續國道改良	五三
第五九	國道十一號線(親不知)	改良工事	國道改良	五四
第六〇	國道十一號線(富山)	改良工事	國道改良	五七
第六一	國道十一號線(高岡)	改良工事	繼續國道改良	五九

第六二	國道十二號線 (關ヶ原)	改良工事	國道改良	五六一
第六三	國道十二號線 (名敦)	改良工事	繼續國道改良	五六四
第六四	國道十二號線 (石川)	改良工事	繼續國道改良	五六九
第六五	國道十三號線 (岐阜)	改良工事	繼續國道改良	五七二
第六六	國道十五號線 (京都)	改良工事	繼續國道改良	五七五
第六七	國道十五號線 (奈良)	改良工事	繼續國道改良	五七七
第六八	國道十五號線 (奈良)	改良工事	國道改良	五八〇
第六九	國道十五號線 (奈良)	改良工事	繼續國道新設	五八二
第七〇	國道十五號線 (和歌山)	改良工事	國道新設	五八五
第七一	國道十五號線 (和歌山)	改良工事	繰越國道改良	五八八
第七二	國道十六號線 (和歌山)	改良工事	繼續國道改良	五九〇
第七三	國道十六號線 (大阪・和歌山)	改良工事	繼續國道改良	五九一
第七四	國道十八號線 (阪鶴)	鋪裝工事	國道改良	五九五
第七五	國道十八號線 (鳥取)	改良工事	國道改良	五九八
第七六	國道十八號線 (島根)	改良工事	國道改良	六〇二
第七七	國道二三號線 (香川)	改良工事	繼續國道改良	六〇三

第七八	國道二十四號線(西條)	改良工事	國道改良	六六
第七九	國道二十五號線(佐賀)	改良工事	繼續國道改良	六九
第八〇	國道二十五號線(嬉野)	鋪裝工事	國道改良	六三
第八一	國道二十五號線(長崎)	改良工事	繼續國道改良	六四
第八二	國道三十二號線(廣島)	改良工事	繼續國道改良	六七
第八三	國道三十三號線(佐世保)	改良工事	國道改良	六〇
第八四	國道三十四號線(阪鶴)	鋪裝工事	國道改良	六三
第八五	國道三十五號線(敦賀)	改良工事	國道改良	六六
第八六	國道三十六號線(新京濱)	新設工事	繼續國道新設	六〇
第八七	國道三十六號線(新京濱)	新設工事	繼續國道新設	六三

口繪寫眞 (十面)

- 1 千曲川改修工事下鹽尻護岸
- 2 旭川改修工事大原築堤及護岸
- 3 最上川上流改修工事谷地三脚水制
- 4 黒部川改修工事板屋築堤並護岸
- 5 表六甲河川改良工事草川第一護岸及床固
- 6 六甲山系砂防工事城山堰堤
- 7 木津川砂防工事掘拔砂防施工直後

- 8 同上施工後滿五箇年ノ狀況  
9 國道十一號線(親不知)改良工事風波川橋梁並附近竣功道路  
10 國道十五號線(和歌山)改良工事石田川暗渠竣功



(1) 千曲川改修工事下鹽尻護岸  
(長野縣小縣郡鹽尻村地先)  
右岸下流へノ展望



(2) 旭川改修工事大原築堤及護岸  
(岡山縣御津郡牧石村地先)



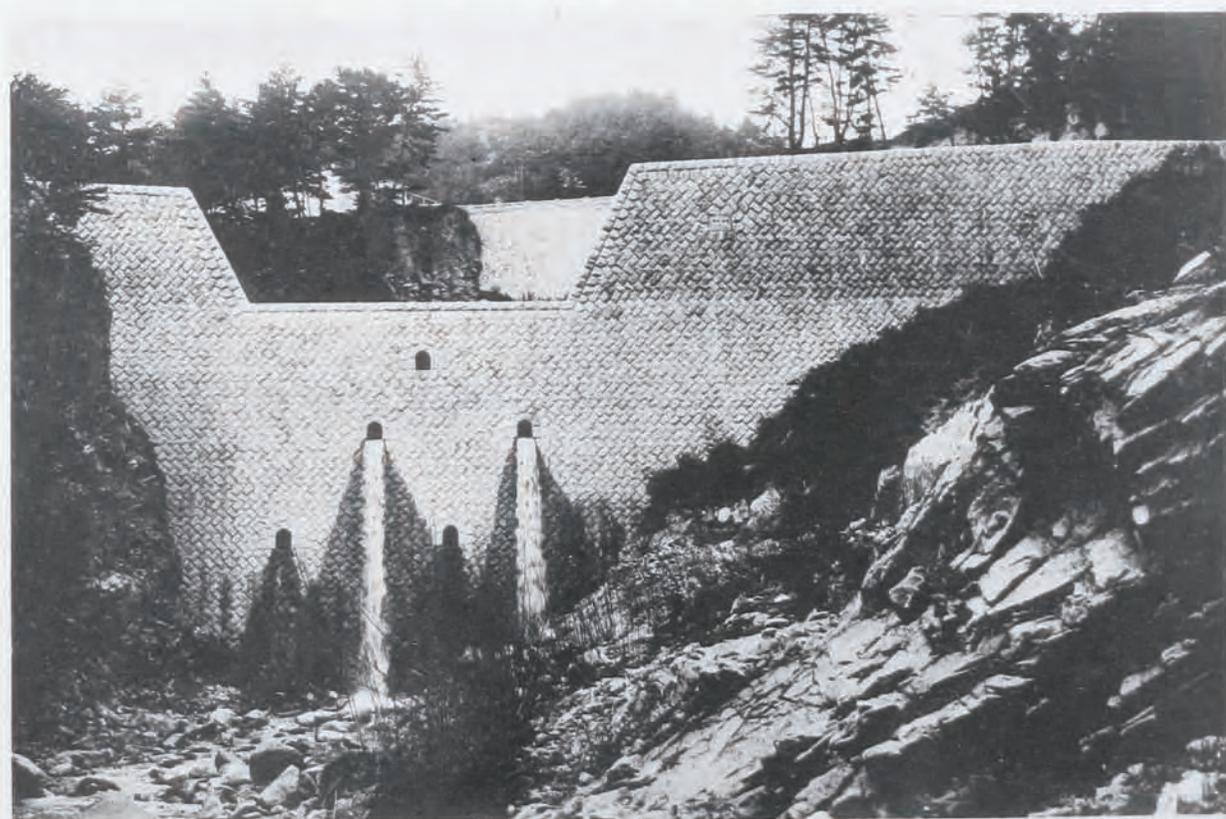
(3) 最上川上流改修工事谷地三脚水制  
 (山形縣西村山郡谷地町地内)  
 谷地捷水路左岸幅杭二十二號附近ヨリ上流ヲ望ム



(4) 黒部川改修工事板屋築堤並護岸  
 (富山縣下新川郡飯野村地先)  
 右岸二軒二附近施工狀況



(5) 表六甲河川改良工事草川第一護岸及床固  
 (神戸市葺合區熊内町地先)  
 床石張施工



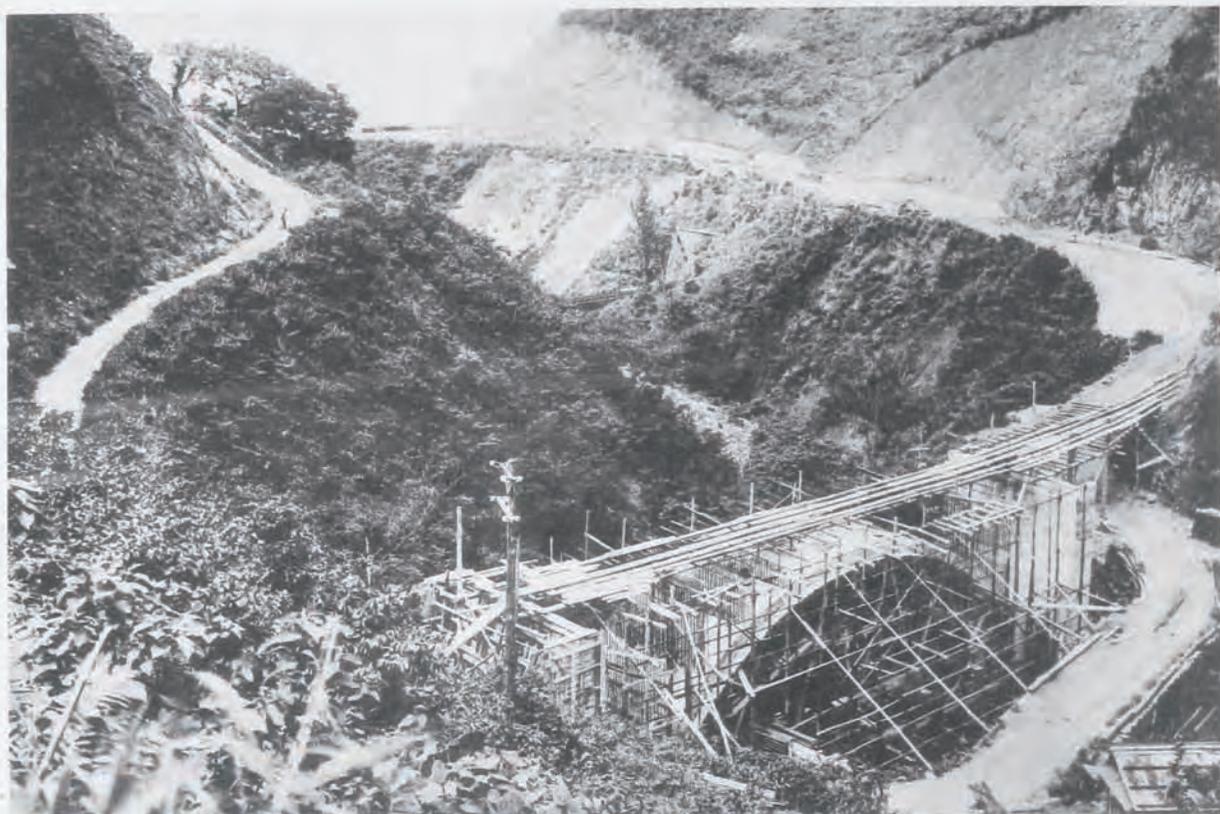
(6) 六甲山系砂防工事城山堰堤  
 (蘆屋市蘆屋奥山地先)  
 蘆屋川城山堰堤高二十米、長八十一米五



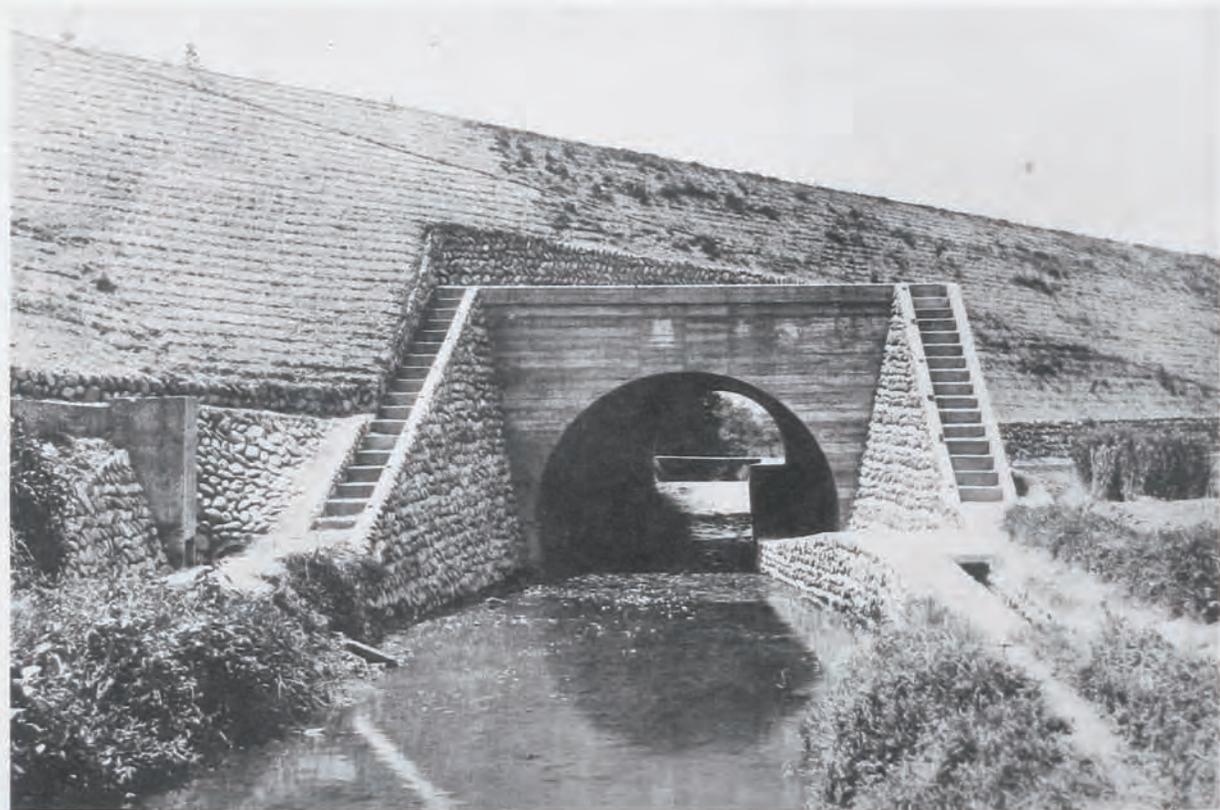
(7) 木津川砂防工事堀抜砂防施工直後  
(三重縣名賀郡美波多村大字下小波田字堀抜地内)



(8) 同上施工後滿五箇年ノ狀況



(9) 國道十一號線親不知改良工事  
 風波川橋梁並附近竣功道路  
 (新潟縣西頸城郡歌外波村、市振村地内)



(10) 國道十五號線(和歌山)改良工事石田川暗渠竣功  
 (和歌山縣伊都郡山田村大字神野々地内)  
 十四年度繰越工事

# 昭和十五年度直轄工事年報

## 總論

### 第一 治水事業

我國ハ古來水害多ク其損失價額モ年々數千萬圓ノ多キニ達スルヲ以テ政府ハ夙ニ治水ノ必要ヲ認メ河川ノ修築改良ニ努力セ  
ルコト久シ而シテ政府ガ始テ直轄工事ヲ施行シタル河川ハ淀川ニシテ其起工ハ實ニ明治七年五月ニ在リ次デ同八年六月利根  
川ノ工事ニ着手シ翌九年十一月ニハ信濃川ノ工事ヲ起シ同十一年三月ニハ木曾川、同十五年六月ニハ北上川、同年七月ニハ  
阿賀野川、同十六年八月ニハ富士川、同年十一月ニハ庄川、同十七年四月ニハ阿武隈川、同年七月ニハ最上川及筑後川、同  
年八月ニハ吉野川、同十八年三月ニハ大井川、同年六月ニハ天龍川ハ工事ヲ實施スルニ至リシガ是等十四河川ノ工事ハ專ラ  
低水工事及砂防工事ヲ施行シタリシモノニシテ明治十九年ニ至リ始テ淀川以外ノ河川ニ高水工事ヲモ併セ行フコトトシ夫々  
工事ヲ進行セシメタリ其後同二十九年四月ニ至リ法律第七十一號ヲ以テ河川法ヲ公布セラレタル結果同法ニ依リ淀、筑後ノ  
兩川ニハ同年六月ヨリ高水防禦工事ヲ實施スル事トナリ續テ同三十三年四月ニハ庄川、九頭龍川、同年九月ニハ利根川第一  
期工事、同三十九年四月ニハ遠賀川、同四十年四月ニハ淀川下流、吉野川、高梁川、信濃川分水工事、同四十一年一月ニハ  
利根川第二期工事、同四十二年四月ニハ同川第三期工事、同四十三年四月ニハ利根川支川渡良瀬川ノ改修工事ヲ施行スルニ  
至レリ然ルニ明治四十三年ニ於テ全國各地方大水害ノ爲メ未曾有ノ悲惨事ヲ現出セルニ依リ政府ハ臨時治水調査會ヲ設ケ根  
本的治水ノ計畫ヲ樹立スルコトトナリ同會ニ於テ決議シタル計畫豫算ヲ第三十七回帝國議會ニ提出シテ協賛ヲ得、同四十四

年度ヨリ該計畫通り事業ヲ遂行スルニ至レリ右計畫ハ河川改修ト砂防トノ二工事トシ河川ノ改修ハ河川法ニ依リ國ノ直轄事業トシテ改修ヲ爲スベキ河川ヲ六十五河川ト定メ之ガ施行時期ヲ二期ニ區別シ改修ノ利益ヲ可成的全國各地ニ均霑セシメン  
トスルモノナリ其河川名左ノ如シ

第一期河川

神通川	岩木川	加古川	綠川	斐伊川
雄物川	荒川	阿賀野川	富士川	最上川
吉野川	庄川	高粱川	遠賀川	北上川
利根川	信濃川	木曾川	淀川	九頭龍川

(以上二十河川)

第二期河川

天龍川	阿武隈川	筑後川	那珂川	庄内川
中川	手取川	矢作川	大和川	吉井川
馬淵川	紀ノ川	大淀川	由良川	多摩川
關川	米代川	鳴瀬川	久慈川	菊池川
郷川	旭川	渡川	蘆田川	川内川
相坂川	千代川	鶴見川	大野川	球磨川
相模川	肱川	矢部川	狩野川	圓山川
肝屬川	太田川(静岡)	豊川	白川	大分川
酒匂川	鈴鹿川	太田川(廣島)	名取川	仁淀川

(以上四十五河川)

右ノ内第一期河川ハ大正十七年度(昭和三年度)迄ニ全部ヲ竣功セシメ第二期河川ハ第一期河川ノ工事期間内ニ調査ヲ行ヒ第一期河川改修工事ノ竣功ヲ俟チ改修ニ着手シ得ベキ準備ヲ爲スコトトシ又砂防工事ハ河川改修ノ計畫ニ伴ヒ直轄河川ノ流域ニ對シテハ國自ラ之ヲ施行スルヲ原則トシ地方行政廳ニ於テ施行スルモノニ對シテハ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與フルコトトセリ

以上ノ計畫ニ依リ明治四十四年度以降著々事業ノ進捗ニ努メタルモ大正二年度ニ至リ財政上ノ都合ニ依リ一部繰延ノ不得止ニ至リタル爲メ第一期事業全體ノ完成年限ヲ一箇年度延長シ同十八年度迄ニ全部完成ノコトニ變更シタルモ大正十年度ニ至リ第一期河川中既ニ竣功セルモノ三河川ト竣功ニ近ヅケルモノ數河川ニシテ未着手ノモノハ斐伊、綠ノ二河川ニ過ギザリシ(後兩川トモ著工)ト一面ニハ河狀ノ變化、産業ノ推移等治水計畫上更ニ調査ヲ必要トシタルヲ以テ第二次臨時治水調査會ニ於テ慎重審議ノ結果既ニ國ニ於テ施行中ノ河川竝ニ砂防工事ノ外ニ前記第二期河川其他ヨリ改修河川ヲ選定シ大正十一年度以降二十箇年度内ニ施行スルヲ適當ナリト認メ之ガ決定ヲ見タルモノ即チ左記河川是ナリ

- |            |            |             |           |
|------------|------------|-------------|-----------|
| 鬼怒川(利根川支川) | 小貝川(利根川支川) | 信濃川上流(新潟縣下) | 犀川(信濃川支川) |
| 野洲川(淀川支川)  | 木津川(淀川支川)  | 北上川上流       | 雄物川上流     |
| 最上川上流      | 天龍川        | 阿武隈川        | 筑後川       |
| 那珂川        | 庄内川        | 手取川         | 矢作川       |
| 大和川        | 吉井川        | 馬淵川         | 紀ノ川       |
| 大淀川        | 由良川        | 關川          | 米代川       |
| 久慈川        | 旭川         | 渡川          | 蘆田川       |
| 川内川        | 千代川        | 鶴見川         | 大野川       |

相模川	肱川	狩野川	肝屬川
豊川	白川	大分川	酒匂川
鈴鹿川	太田川 (廣島)	名取川	仁淀川
新宮川	安倍川	菊川	大井川
北川	常願寺川	小矢部川	黒部川
天神川	日野川	佐波川	那賀川
土器川	(以上五十七河川)		

右ノ内帝國議會ニ於テ改修スベキ繼續事業トシテ協賛ヲ經タルモノハ信濃川上流、天龍、千代、蘆田、紀ノ、筑後、北、旭、鬼怒、大淀、狩野、那賀、大野、渡、木津、川内及太田(静岡)、安倍ノ各川並多摩川上流ノ十九河川ナリトス

斯ノ如ク政府ハ銳意河川改修工事ニ努力セリト雖モ其ノ改修區域ハ利害ノ關係極メテ重大ナル部分ノミナルヲ以テ其ノ上流又ハ支派川改修ノ如キハ自然之ヲ關係地方ノ經營ニ委ネザルベカラズ又第二期河川ノ改修ハ第一期河川工事ノ竣功後ニ非ザレバ著手スル能ハザルノ狀況ナルモ比年洪水頻リニ臻リ損害甚大ナルヲ以テ政府ハ益々河川改修速成ノ緊要ナルヲ認メ關係府縣ニ於テ根本的改修計畫ノ調査ヲ了シ工事ニ著手スルニ於テハ國庫財政ノ都合ニ依リ相當ノ補助ヲ與ヘ且場合ニ依リ明治三十年法律第三十七號ニ基キ内務大臣ニ於テ事業ヲ直接施行スルノ方針ヲ決定シ河川改良費トシテ大正六年度ヨリ江合、鳴瀬兩川改修費ヘ國庫ヨリ二分ノ一ヲ補助シ同七年度ヨリハ多摩川、千曲川(信濃川上流)ノ改修工事ニモ亦工費ノ半額ヲ補助シ且其ノ事業ヲ直接施行スルコトトナリ尙翌八年度ヨリハ太田川(静岡)、阿賀、阿武隈兩川ノ改修工事、同九年度ヨリハ圃山川ノ改修工事ニ對シ孰レモ半額ノ補助ヲ與ヘ且其ノ工事ヲ全部直接施行スル事トナリシガ以上七河川トモ同十二年度ヨリ他ノ河川ト共ニ直轄施行ノコトトナレリ又淀川改修工事ハ大正六年九月三十日及同年十月一日ノ大河水ニ鑑ミ更ニ増補

工事ヲ施行スルノ必要ヲ認メ大正七年度以降河川法第八條ニ依リ該工事ヲ直轄施行スルニ至レリ而シテ治水事業ハ昭和五、六兩年度ニ於テ繰延節約サレタル結果繼續各年度割額僅少トナリ全般ニ互ル工事ノ進捗ヲ遅延スルノ止ム無キニ至レリ就中工事施行ノ最盛期ニ當ル河川ニ在リテハ施行ノ手順ニ大ナル支障ヲ來セルノミナラズ既成部分ノ工事ヲ維持スル上ニ必要トスルモノ又ハ其效果ヲ充分ナラシムル爲メ急施ヲ要スルモノアルモ少額ノ年度割ニテハ到底工事ヲ遂行シ能ハザルガ故ニ八年度ニ於テハ經濟界ノ不況ニ因ル時局匡救ト農村振興ノ意味ヲ以テ既定年割額ノ外荒川上流外十六箇川等ニ係ル總額四百六十萬五千三百圓（内地方負擔二十五萬圓）ヲ繰上ゲ施行ノコトトナレリ

昭和八年十一月ノ土木會議ニ於テ第三次治水計畫ヲ樹立セリ即チ明治四十三年ノ臨時治水調査會ノ決議ニ依リ豫定方針ニ從ヘバ今後八箇年度内ニ四十一箇川ノ改修ヲ行ハザルベカラザルガ國庫ノ財政ハ是等多數ノ河川ヲ此短期間ニ改修スルコト到底困難ナリト認メラルルヲ以テ緊急改修ヲ要スル左記河川ニ在テハ今後十箇年度内ニ着工シ同十五箇年度内ニ完成シ其他ノ河川ハ之ニ續テ著工スルヲ適當ト認メラル其河川ハ次ノ如シ

北上川上流	米代川	雄物川上流	阿武隈川下流
久慈川	入間川	鶴見川	相模川
黒部川	常願寺川	小矢部川	手取川
豊川	庄内川	新宮川	由良川
天神川	吉井川	郷川	菊池川
白川	球磨川	大分川	肝屬川

（以上二十四河川）

此以外ノ河川ニ在テモ今後河川ノ變化ニ依リ水害著シク増大シテ速ニ改修工事施行ノ必要アル場合ニ於テハ直ニ追加シテ工

事ニ著手スルモノトシ又國ノ直轄改修ヲ俟タズ府縣ニ於テ改良工事ニ著手スル場合ハ別途中小河川改修ノ例ニ倣ヒ國庫ニ於テ助成スルモノトス

又現ニ改修工事ノ一部ニ著手シタル左記河川ハ今後繼續施工シ其完成ヲ期スルモノニシテ木曾川下流ハ既ニ一應改修済ナルモ現在ノ堤防ヲ以テシテハ其安全ヲ期シ難キヲ以テ成ルベク速ニ其ノ増補工事ヲ行フモノトス

- 最上川上流
- 小貝川
- 鳥川 (神流川ヲ含ム)
- 菊川
- 矢作川
- 大和川

砂防ニ就テハ既定計畫ニ基キ銳意遂行シ來リタルモ尙利害ノ關係重大ニシテ工事困難ナル左記十九河川ヲ國ノ直轄トシテ今後十箇年度内ニ著工シ同十五箇年度内ニ完成スルモノトス

- 最上川支流立谷澤川
- 同 銅山川
- 阿武隅川支流荒川
- 利根川支流鬼怒川
- 同 渡良瀬川
- 相模川
- 信濃川支流清津川
- 黒部川
- 富士川水系
- 信濃川水系
- 天龍川水系
- 庄内川上流土岐川
- 木曾川支流中津川 (落合川ヲ含ム)
- 安倍川
- 大井川
- 淀川支流野洲川
- 淀川支流大戸川
- 新宮川支流十津川
- 蘆田川

而シテ既定河川ノ内本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルハ筑後川、淀川 (増補工事トモ)、木曾川下流、庄川、遠賀川、淀川下流、九頭龍川ノ幹川及同支川日野川及足羽川、渡良瀬川 (利根川支川)、信濃川、吉野川、高梁川、利根川第一期乃至第三期 (江戸川、中川ヲ含ム)、荒川下流、阿賀野川、多摩川、北上川、太田川 (静岡)、加古川、神通川、圓山川ノ十八流域ニシテ工事中ニ

係ルモノハ荒川上流、最上川、江合鳴瀬兩川、雄物川、千曲川(信濃川上流)、岩木川、阿賀阿武隈兩川、富士川、木曾川上流、斐伊川、信濃川上流(新潟縣下)、天龍川、千代川、蘆田川、紀ノ川、筑後川新工事、綠川、北川、旭川、鬼怒川(利根川支川)、大淀川、狩野川、那賀川、大野川、渡川、木津川(淀川支川)、川内川、太田川(廣島)、安倍川、多摩川上流、最上川上流、矢作川、淀川低水、小貝川、菊川、烏神流川、手取川、小矢部川、天神川、阿武隈川下流、木曾川下流増補、常願寺川、米代川、肝屬川、球磨川、黒部川、馬淵川、大和川、久慈川、豊川、利根川(増補)、表六甲河川、鶴見川、猪名川、菊池川、庄川ノ五十六工事ナリ而シテ右ノ内附屬物及水路維持工事トシテ實施中ナルハ木曾川、淀川、利根渡良瀬兩川、信濃川、荒川、多摩川、北上川ノ八河川ナリ又河川ノ水源保全タル砂防工事ノ竣功シタルハ吉野川及野洲川(淀川支川)、神通川、桂川(淀川支川)ノ四河川ニシテ實施中ノモノハ淀川流域(瀬田川)、富士川、信濃川水系(千曲川)、鬼怒川(利根川支川)、常願寺川、手取川、揖斐川(舊木曾川支川)、木津川(淀川支川)、神通川、烏川(利根川支川)、天神川、荒川(阿武隈川支川)、小澁川(天龍川支川)、渡良瀬川(利根川支川)、魚野川、(信濃川支川)、中津落合兩川(木曾川支川)、土岐川(庄内川上流)、大河内川(安倍川支川)、立谷澤川(最上川支川)、六甲山系ノ各河川ナリ此内淀川ハ昭和四年度ヲ以テ豫定計畫期間滿了トナリシモ急施ヲ要スル箇所ニ對シ更ニ十箇年度ノ續工ヲ爲セルモノニシテ千曲川モ同七年度ヲ以テ竣成ノ豫定ナリシガ是亦本川及支川犀川ニ於ケル荒廢溪流ニ對シ施工ノ要アルヲ以テ信濃川水系ト改稱シ七年九月以降農村振興土木事業トシテ追加工事ノ施行ヲ見タルモノナリトス

## 第一 港灣改良事業

港灣改良工事ニ關シテハ明治初年以來或ハ直轄工事ヲ起シ或ハ國庫補助ヲ與ヘ之ガ助成ニ努力シタリシガ國運ノ急進ト共ニ港灣問題ハ益々重要ヲ加ヘ天然ノ儘ニ放任スルヲ許サズ隨時隨所ニ之ガ施設ヲ見ルニ至レリ明治三十三年六月勅令第二百六

十二號ヲ以テ港灣調査會ヲ新設シ港灣ニ關スル重要事項ヲ審議セシメタリシモ同會ハ同三十六年ニ至リ各種ノ調査會廢止ト共ニ一時廢絶シ其後同三十九年六月ニ至リ再ビ内務省ニ港灣調査會ヲ設置シ更ニ同四十年六月勅令第三百四十三號ヲ以テ港灣調査會官制ヲ定メラレ同會ニ於テ本邦ノ港灣ヲ三種ニ分チ第一ハ國ニ於テ修築スルモノ、第二ハ地方起工ノモノニ對シ國庫ヨリ相當補助ヲ與フルモノ、第三ハ地方ノ獨力經營ニ委ヌベキモノトニ區別シ即チ明治四十年十月同調査會ニ於テ第一種港灣トシテハ横濱、神戸、關門海峽(下關、門司)、敦賀ノ五港ヲ選定シ第二種港灣トシテハ東京、伊勢灣内ノ一港、大阪、鹿兒島、長崎、境、新潟、船川(土崎ヲ含ム)、青森、仙臺灣内ノ一港(明治四十三年五月伊勢灣内ノ一港トシテハ四日市港、仙臺灣内ノ一港トシテハ鹽釜港ヲ選定ス)ノ十港ト定メ又大正八年七月名古屋港ヲ、同九年十月清水、那覇ノ兩港ヲ、同十年六月若松、高松、小松島、今治、伏木、伊萬里ノ六港ヲ加ヘ更ニ昭和二年十一月小名濱、細島、浦戶(後高知ト改稱)、宮古、大分、七尾、尾道、博多ノ八港ヲ選定シ同三年八月舞鶴港ヲ、同四年七月酒田港ヲ、同年十二月三角、宇野ノ兩港ヲ、同八年一月和歌山、廣島ノ兩港ヲ、同十年二月八戶、飾磨、宇部ノ三港ヲ、同十一年十二月唐津港ヲ追加シ三十七港ヲ數ヘ第一種、第二種ヲ通ジテ四十二港トナレリ而シテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ地方ノ事業ヲ國ニ於テ直接施行スルモノ漸次多キヲ加ヘ一面ニハ大藏省ニ於ケル横濱、神戸及門司ノ諸港ニ稅關設備トシテ港灣工事ヲ施行シ居レルガ爲メ我國港灣ノ施設經營ニ關スル行政制度ノ紛更ヲ招來セルノ虞アルニ鑑ミ大正七年十月閣議ニ於テ港灣ノ經營ヲ内務省ニ統一施行スルノ決定ヲ見タリ

重要諸港灣中敦賀港ハ明治四十二年七月起工シ大正三年三月竣功シタリシモ其後第二期修築工事ヲ行フノ必要ヲ認メ更ニ同十一年度ヨリ起工シ昭和七年度ヲ以テ竣功ヲ告ゲタリ又關門海峽改良工事ハ明治四十三年度ニ於テ(直轄起工第二期工事トシテ昭和四十年年度以降十五箇年間ニ完了ノ豫定ナリシガ財政ノ都合ニ依リ毎年單年度豫算ニテ續工)シ又四日市港ハ同年度ヨリ三重縣ニ於テ施行シ船川港ハ同四十四年度ヨリ秋田縣ニ於テ施行セルガ兩港トモ大正三年度ヨリ補助港トナリ又神戸港

防波堤築造工事、同修築工事、門司港修築工事ハ大正八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同四十年年度ヨリ下關港ハ同十年年度ヨリ起工セシガ上記ノ内神戸港防波堤築造工事及門司港ハ同八年度ヨリ横濱港維持工事ハ同十年年度ヨリ内務省所管トナリ各修築工事ニ包括サレ何レモ目下工事實施中ナリ而シテ鹽釜港修築工事ハ國庫ヨリ補助セラレ同三年度ヨリ起工シ其他國庫補助工事トシテハ新潟港ハ同六年度ヨリ起工（市ノ起工セシヲ縣ニ於テ繼承）シ十四年度ニ於テ竣功セシモ新ニ同年度ヨリ六箇年度ヲ以テ直接施行スルコトトナレリ長崎港ハ同九年度ヨリ起工シ又直轄施行ノ下關港及清水港（十一、二年度震災復舊ニ係ル追加工事アリ）ハ同十年度ヨリ起工シ、高松、境ノ兩港亦同十一年度ヨリ起工シ、今治港ハ今治市ノ施工ナリシヲ同十二年度ヨリ直接施行トシ、小松島及鹿兒島ノ兩港モ同年度ヨリ起工シ、伏木港ハ同十三年度ヨリ起工シタリ又土崎港ハ昭和三年度乃至八年度ニ於ケル秋田縣施行ノ工事ナリシガ小名濱、宮古、浦戶（高知ト改稱）、七尾、尾道、舞鶴、博多ノ七港ト共ニ昭和四年度ヨリ是亦國ノ直接施行トシテ起工シ夫々工事實施中ナリ而シテ右ノ港灣工事ハ何レモ明治三十年法律第三十七號ニ依リ施行スルモノナリ

昭和八年度ニ於テハ既定修築費ノ一割ヲ節約、實行豫算トシ其既定工事ヲ施行スルノ外産業振興事業トシテ横濱外九港ノ修築費ヲ十萬圓乃至四十萬圓ヲ繰上グ以テ港灣機能ノ充實ヲ促進スベク其繰上總額百三十五萬圓（内地方負擔五十六萬圓）ナリ尙關門海峽及神戸港、今治港、鹿兒島港、鹽釜港ノ各港ハ産業開發ノ爲メ新工事ヲ追加起興スルコトトシ尙重要港灣ニシテ未ダ改良工事ヲ施行セザル港灣中昭和七年度ヨリ改良工事ニ著手セルモノハ大分港、三角港、細島港、宇野港ノ四港ニシテ又青森港第二期ト若松港トハ共ニ國庫補助工事トシテ是亦同年度ヨリ、起工シ酒田、和歌山、宇部、廣島ノ各港ハ時局匡救事業トシテ八幡、戸畑兩港ハ航路改良ト共ニ十一年度ヨリ下關港ハ第二期工事トシテ十二年度ヨリ起工、新潟港ハ十四年度ヨリ六箇年度、荻田港ハ同年度ヨリ四箇年度、臨海地帯ノ造成工事ハ十五年度乃至同二十四年度ノ十箇年度、八戶港ハ同年度乃至同二十一年度ノ何レモ繼續事業トシテ起工スルコトトナレリ而シテ第二豫備金ヨリ支出ノ門司港浚深工事ハ十年

起工シ當該年度ヲ以テ完了セリ土崎港ハ前年度ヲ以テ一旦規定ノ工事ヲ完了セルモ尙本年度ニ於テ百五十萬圓ヲ追加シ昭和二十一年度迄ノ繼續事業トシテ續工スルコトナレリ

港灣工事中本年度迄ニ完成ヲ告ゲタルモノハ敦賀港（第一期及第二期）、新潟港（舊工事）、長崎港、高松港、下關港（第一期）、門司港（浚渫工事トモ）、境港、鹽釜港（増補工事トモ）、今治港、小松島港、鹿兒島港、清水港、伏木港、清水港、宮古港、舞鶴港、若松港、小名濱縣、細島港ノ二十二工事ニシテ尙工事中ノモノハ關門海峽（第一期ヲ含ム）、神戸港、橫濱港、土崎港、高知港、七尾港、尾道港、博多港、青森港第二期、宇野港、三角港、大分港、廣島港、和歌山港、酒田港、八幡港、戸畑港、下關港第二期、宇部港、門司港、荻田港、新潟港、臨海地帶（關門海峽綜合計畫）、八戸港ノ二十四港灣ナリトス

### 第三 復舊、補修及應急事業

大正十二年九月一日關東地方ニ於ケル稀有ノ大震災ノ爲メ直轄事業其他ノ被リタル損害ハ多大ナルモノニシテ之レガ焦眉ノ急ト爲シ河川ノ復舊工事トシテハ利根川及渡良瀨川、荒川、多摩川、富士川ノ五河川流域ニ對シ大正十二、十三ノ兩年度ニ於テ應急施行シ又砂防ノ復舊工事トシテハ相模川及酒匂川、早川、花水川、多摩川ノ五河川流域ニ對シ同十三年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルモノニシテ既ニ河川工事ハ豫定ノ如ク之ヲ完了シタリ而シテ橫濱港ニ對シテハ同十二年度以降三箇年度施行ニ係リ其費額ハ從來ノ橫濱港修築費ノ第三期工事ト共ニ橫濱港復舊及修築費トシテ施行スルモノニシテ其復舊工事ハ同十四年度ヲ以テ完了シタリ又大正十四年八月中旬ニ於ケル近來稀有ノ大出水ニ因リ利根川本流筋及派川江戸川、支川渡良瀨川ノ被害ニ對シ大正十四、十五ノ兩年度ニ於テ之ガ復舊工事ヲ施行シタリ尙昭和三年八月初旬ニ於ケル稀有ノ出水ニ因リ利根、渡良瀨兩川維持工事ニ與ヘラレタル被害ニ對シテモ昭和三、四ノ兩年度ニ之ガ復舊工事ヲ要スル事トナリ施行中ノ處該年度ヲ以テ其工ヲ竣ヘタリ又昭和六年九月同兩川筋ニ於ケル大震災ニ因ル復舊工事ヲ昭和六、七兩年度ニ施行ス

ルコトトナリ又信濃川、大河津自在堰ハ昭和二年六月下旬竝ニ同年七月上旬ニ於テ突如「ピーヤ」陥没ノ爲メ水量調節ノ機能ヲ失ヒタル影響トシテ大河津下流ノ本流及派川中ノ口川沿岸ノ灌漑ト航通トニ支障ヲ及ボシ之ガ應急工事ヲ施行セルト共ニ其復舊及附隨ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリ其應急工事ハ同年度内ニ完成シ其補修工事モ六年度ヲ以テ完成シ利根、渡良瀬兩川築堤其他震災復舊工事モ同七年度ヲ以テ之ガ完成ヲ見タリ而シテ第二期川タル大和川ハ地ニノ爲メ河幅ノ狹窄、河床ノ降起ヲ招キ流水ノ閉塞ヲ來シ之ガ復舊ニ努メタリシモ地ニ運動ノ終息ヲ見ルニ至ラズ洪水防禦ト完全ヲ期スルガ爲メ同八年度ヨリ著工セル應急工事及九年度著工ノ桂川災害復舊工事モ十年度ニ於テ竣功セリ而シテ同十年度ニ於テ淀川維持工事及利根、渡良瀬兩川維持工事、筑後川改修工事ニ與ヘタル水害ハ之ガ復舊ノ要アルヲ以テ施工ノ上共ニ十一年度ヲ以テ竣功シ尙十一年度ニ於ケル淀川災害復舊工事及清水港修築工事ニ附隨スル同年度着手ノ震災復舊工事モ其年度内ニ竣功シタリ又同十年度被害ニ係ル利根川應急増補工事ハ十一年度以降四箇年度繼續事業トシテ淀川修補工事ハ十四年度以降十箇年度ノ繼續工事トシテ施行スルコトトナレリ尙土崎港震災復舊工事モ前年度著工シ年度内竣功ヲ見タリ故ニ本事業トシテハ相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事及利根川應急増補工事、淀川修補工事ノ各水害復舊工事ノ施行ヲ剩スモノナリトス

#### 第四 國道改良事業

經濟界不況ノ影響トシテ全國的ニ互ル幾多失業者ノ發生ハ頗ル寒心ニ堪ヘザルトコロニシテ之ガ爲メ失業救濟道路改良費ノ稱呼ノ下ニ專ラ一般勞働者ノ失業ヲ救濟スルノ目的ヲ以テ創定ヲ見タリ尤モ從來道路改良費トシテ道路ノ改良ヲ助成スル爲メ地方ヲシテ國道以下適當ナル改良事業ヲ起興セシメ政府ハ之ニ對シ補助スルノ方針ヲ以テ制定セラレタリシヲ國家ノ直營事業トシテ昭和六年度ニ於テ失業救濟ノ國道改良工事ヲ施行スルト同時ニ各地方ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ギ實施スル府縣道ノ改良工事ト相俟テ其效果ヲ舉グル計畫ナリトス而シテ失業救濟事業トシテハ獨リ道路ニ止マラズ河川、港灣等アレドモ焦

眉ノ急トシテハ普遍的ナル道路工事ニ依レルヲ得策トシ先ヅ以テ昭和六年度ニ於テ國道改良工事ノ撰擇ヲ見タルモノニシテ  
本工事ハ總テ機械力ニ依ラズ一箇年度ヲ限り完了スルヲ目途トシテ著手セルモノニシテ其工事ニ使役サルル勞働者ハ地元ノ  
失業者ニ限ラレ失業緩和ニ資シタルモノナリ

然ルニ七年度ニ於テモ經濟界ノ不況ハ依然トシテ去ラズ尙各種事業ノ萎靡不振ノ爲メ失業者依然減少スルニ至ラズ仍テ之ガ  
救濟ヲ圖ル爲メ前年度ノ殘工事ノ外引續キ政府直轄ノ下ニ國道ノ改良事業ヲ起興セントシタルモ第六十回帝國議會ハ解散セ  
ラレ豫算不成立ニ終レリ然レドモ失業者ノ救濟ハ焦眉ノ急ナルヲ以テ不取敢昭和六年度豫算四、五兩箇月分ノ工事費ヲ政府  
直轄國道改良事業費實行豫算トシテ計上シ前年度ト同様失業者ヲ救濟スルト同時ニ道路改良ノ促進ヲ計リタリ然ルニ世界的  
經濟界ノ不況ハ益々深刻ヲ加ヘ失業者簇出スルノ現状ナリシヲ以テ積極的ニ事業ヲ興シ產業ノ振興ヲ圖リテ失業ノ防止ト救  
濟トニカムルノ方針ヲ採リ新ニ産業振興道路改良事業ヲ計畫シ以テ自動車ノ發達ニ基因シテ要求セラルル道路改良ノ急ニ應  
ジ自動車ノ機能ヲ產業ノ進展ニ利用スルコトヲ企圖シタリ即チ從來ノ道路改良計畫ハ徒ニ長期ニ亙ルノミナラズ國庫補助政  
策ノミヲ以テシテハ充分ナラザルノ嫌アリ仍テ昭和七年度以降五箇年度間ニ互ル計畫ヲ樹立シ國道直轄ノ制度ヲ確立スルニ  
至レリ而シテ右計畫ノ下ニ第六十二回帝國議會ニ追加豫算ヲ計上其ノ協賛ヲ得、前述ノ失業救濟國道改良費豫算ト共ニ國道  
ヲ改良スルコトトシタリ然ルニ財界ノ不況彌々深刻ニシテ農山漁村ノ疲弊其極ニ達シ到底右計畫ヲ以テシテハ窮狀ヲ打開ス  
ル能ハザルノ實情ニ至レルヲ以テ更ニ第六十三回臨時議會ノ協賛ヲ經テ農村振興ノ爲メニ必要ナル工事ヲ起興シ既定産業振  
興國道改良事業ト併セ工事ヲ施行スルコトトシタリ

而シテ八年度以降ニ於テモ亦財界ノ不況依然トシテ去ラズ都市ニ於テハ多數ノ失業者ヲ見又農村ノ疲弊尙癒エズ中小工業  
者ノ窮狀緩和サルルニ至ラザルヲ以テ八年度ニ在テハ前年度ニ於テ執行シタルト同様ノ道路工事ヲ起興シテ所謂非常時局ヲ  
匡救スルノ必要アリ仍テ前記道路改良五箇年度計畫ノ趣旨ニ則リ政府自ラ國道改良工事ヲ施行セシガ九年度ニ於テモ前記ノ

状態ヲ持續セルヲ以テ改良工事ヲ續行スルノ外農村ノ疲弊救済ノ趣旨ヲ以テ應急工事ヲモ施行シ十年度亦前年度ノ後ヲ承ケテ續工セリ斯ノ如ク昭和六年度以來國道改良工事トシテ直轄施行シ良好ノ成績ヲ收メ來リシガ元來國道ハ國家交通ノ幹線ナルヲ以テ其重要ナル改良ニ就テハ政府ニ於テ之ヲ統一シテ施行スルヲ至當ナリトシ同十一年度ヨリハ主トシテ國道改良費トシテ繼年工事ヲ施行スルコトナレリ尙急施ヲ要スルモノ等ハ單年度施行ヲ爲スモノナリトス而シテ昭和十四年度以降十箇年度繼續事業トシテ關門海峽海底隧道及之ニ連絡スベキ陸上隧道ノ建設工事ヲ施行シ尙本年度ニ於テ舗裝工事トシテ初メテ六路線ノ施工ヲ見ルニ至レリ

以上述べタル事業ニ付テハ何レモ道路改築ノ見地ニ基キ交通上最モ重要ナル路線及箇所ヲ撰擇シテ其改良ノ效果ヲ充分ナラシムルニ努メ且工事ノ施行ニ關シテハ凡テ政府自ラ直營スルノ方針ヲ採リ各土木出張所ヲシテ之ヲ施行セシムルコトトシタリ其ノ工事ノ狀況ハ第六章ニ於テ表示スルガ如クニシテ其列舉ニ就テハ新ニ著工セルモノト繼年事業、單年度事業及前年度ノ繰越ニ係ルモノトニ區分シ各事業ノ關係ヲ知ルノ便ニ供シタリ

## 第五 本年度施行工事

本年度ニ於テ直轄工事ヲ施行セルハ河川改修五十六、河川附屬物及水路維持七、砂防二十、港灣改良二十三、復舊修補及應急三、國道改良八十七、合計百九十六工事ニシテ何レモ本省直轄ノ下ニ東京、横濱、仙臺、新潟、名古屋、大阪、神戸、下關ノ八土木出張所ニ於テ其施行ヲ擔當ス而シテ本年度施行ニ關スル是等ノ總工費現在豫算額ハ河川改修工事費四億八千七百八十四千二百九十二圓、河川附屬物及水路維持工事費一千六百八十萬三千六百五十八圓、砂防工事費二千五百二十四萬三千八百三十三圓、港灣改良工事費一億九千二百六十萬九千八百六圓、復舊修補及應急工事費二千二百五十四萬三千三百二十四圓、國道改良工事費八千二百四十二萬八千三百二十九圓、合計八億二千四百一十一萬二千四百九十二圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣

功額ヲ累算スレバ四億七百四十五萬四千四百四十九圓ニ達シ其内本年度ノ竣功ニ屬スルハ四千五百五十六萬三千二百八十四圓ナリトス之ヲ本年度末ノ竣功歩合ニ就テ見レバ河川改修工事費ハ其總工費既定額ノ五割ニ當リ河川附屬物及水路維持工事費ハ同八割九分、砂防工事費ハ同五割四分、港灣改良工事費ハ同五割五分、復舊工事費ハ同三割五分、國道改良工事費ハ三割三分ニシテ各工事ヲ通ジタル竣功歩合ハ同五割ニ當レリ而シテ以上ノ外明治三十六年度以降前年度迄ニ竣功シタル主ナル各工事費累算額ハ三億一千六百九十八萬五千七百五十三圓ニシテ之ヲ前記本年度迄ノ竣功額ニ合算セバ實ニ七億二千四百四十四萬餘圓ノ巨額ニ達セルモノナリトス今以上ノ工事費ヲ各工事ニ區別シ之ヲ列記スレバ次表ノ如シ但シ前同年報ニ比シ差違アルハ豫算額ヲ増減シタルモノアルト竣功セルモノヲ除キ新規著手ノ分ヲ加ヘタルト前年度迄ノ決算額ノ改訂ヲ爲シタル等ニ因ル表中工事名欄國道改良工事中ノ「繼國改」トアルハ國道改良ノ繼年事業、「線國改」トアルハ前年度ヨリノ國道改良ノ線越事業、「繼國新」トアルハ國道新設ノ繼年事業、「繼新」トアルハ繼續新規工事ヲ示シ、單ニ「國改」又ハ「時匡」トアルハ本年度ニ於ケル新規着工ノ國道改良事業若クハ時局匡救事業ヲ示ス又竣功額欄ノ符號ヲ以テ示シタルモノノ内「◎」ハ縣市其他ノ負擔額、「□」ハ管理者負擔額、「▲」ハ寄附又ハ提供材料並勞力費、「×」ハ土木試驗所試驗費補給減額、「○」ハ依託工事費、「●」ハ災害土木工事費ヲ示ス而シテ殘高欄ノ「△」ハ超過額ヲ示シタモノニシテ斯ク豫算額ヨリ超過セルモノアルハ他ヨリ流用シタルモノ等アルニ因ル

河	工 事 名	擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 歩 合
				前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高	合 計		
最上川改修工事	荒川上流改修工事	東京	三三、八八八、八八八	○	三三、八八八、八八八	三三、八八八、八八八	〇	〇
				△	三三、八八八、八八八	三三、八八八、八八八	〇	〇
新 潟	東 京	東京	三三、八八八、八八八	○	三三、八八八、八八八	三三、八八八、八八八	〇	〇
				△	三三、八八八、八八八	三三、八八八、八八八	〇	〇

川 改 修 工 事

旭川改修工事	北川改修工事	緑川改修工事	筑後川改修工事	紀ノ川改修工事	蘆田川改修工事	千代川改修工事	天龍川改修工事	信濃川上流改修工事	斐伊川改修工事	木曾川上流改修工事	富士川改修工事	阿賀川及阿武隈川改修工事	岩木川改修工事	千曲川改修工事	雄物川改修工事	江合、鳴瀬兩川改修工事
大阪	名古屋	下關	下關	大阪	大阪	大阪	名古屋	新潟	大阪	名古屋	横濱	仙臺	仙臺	新潟	仙臺	仙臺
1,212,868,540	2,112,499,110	3,020,277,750	1,112,112,110	3,020,277,750	6,020,277,750	5,020,277,750	5,155,488,110	5,277,777,770	5,928,888,880	2,020,277,770	1,020,277,770	1,520,277,770	2,020,277,770	1,100,277,770	1,277,777,770	9,020,277,770
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
6,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000

總 論 (本年度施行事業)

工 事 名	擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 步 合
			前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高	合 計		
鬼怒川改修工事	東京	二、三九、一九〇圓	〇	三、四八、〇三六圓	三、四八、〇三六圓	〇・〇	
大淀川改修工事	下關	五、〇〇、〇〇〇圓	〇	五、四八、七九八圓	五、四八、七九八圓	〇・〇	
狩野川改修工事	橫濱	四、九八、八〇〇圓	〇	五、四八、七九八圓	五、四八、七九八圓	〇・〇	
那賀川改修工事	神戶	四、〇〇、〇〇〇圓	〇	四、〇〇、〇〇〇圓	四、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
大野川改修工事	下關	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
渡川改修工事	神戶	三、二八、八〇〇圓	〇	三、二八、八〇〇圓	三、二八、八〇〇圓	〇・〇	
木津川改修工事	大阪	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
川内川改修工事	下關	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
太田川(廣島)改修工事	大阪	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
安倍川改修工事	橫濱	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
多摩川上流改修工事	東京	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
最上川上流改修工事	新潟	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
矢作川改修工事	名古屋	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
淀川低水工事	大阪	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	
小貝川改修工事	東京	三、〇〇、〇〇〇圓	〇	三、〇〇、〇〇〇圓	三、〇〇、〇〇〇圓	〇・〇	

修 工 事		事 工	
菊川改修工事	名古屋	三、七三〇、〇〇〇	〇・〇〇〇
烏、神流川改修工事	東京	三、九〇〇、〇〇〇	〇・〇〇〇
手取川改修工事	新潟	四、五五〇、〇〇〇	〇・〇〇〇
小矢部川改修工事	新潟	五、一〇〇、〇〇〇	〇・〇〇〇
天神川改修工事	大阪	四、四七〇、〇〇〇	〇・〇〇〇
阿武隈川下流改修工事	仙臺	六、二二〇、〇〇〇	〇・一〇〇
木曾川下流改修増補工事	名古屋	五、九九九、八三三	〇・一〇〇
常願寺川改修工事	新潟	三、六三三、〇〇〇	〇・一〇〇
米代川改修工事	仙臺	二、九七〇、〇〇〇	〇・一〇〇
肝屬川改修工事	下關	三、七六〇、〇〇〇	〇・一〇〇
球磨川改修工事	下關	三、〇〇〇、〇〇〇	〇・一〇〇
黒部川改修工事	新潟	三、〇〇〇、〇〇〇	〇・一〇〇
馬淵川改修工事	仙臺	二、八二八、〇〇〇	〇・一〇〇
大和川改修工事	大阪	四、三三二、一〇〇	〇・一〇〇
久慈川改修工事	東京	七、〇〇〇、〇〇〇	〇・二〇〇
豊川改修工事	名古屋	五、〇〇〇、〇〇〇	〇・〇〇〇
利根川増補工事	東京	五、一八九八、〇〇〇	〇・〇〇〇

河川附屬物及水路維持工事		河川改修工事		工			
小計(七)	名	出張所	擔當	工費豫算額	竣功額	殘額	竣功歩合
小計(七)	木曾川附屬物及水路維持工事	名古屋		一、四〇、四七五	一、六三〇、一八三	一、四九〇、〇一〇	〇・九七
	淀川維持工事	大阪		二、九四六、六一七	二、五五九、四二二	一、九〇、三三〇	〇・九四
	利根、渡良瀬兩川維持工事	東京		六、一九四、〇三〇	五、七六七、八三九	一、三三三、〇二〇	〇・九六
	信濃川維持工事	新潟		二、〇四〇、〇八四	一、四九四、五〇一	四、四六六、八五四	〇・七六
	荒川維持工事	東京		一、九四五、八三三	一、二二七、七七一	一、〇三三、三〇七	〇・七七
	多摩川維持工事	東京		一、一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、二九、一四四	〇・七九
	北上川維持工事	仙臺		一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、八七、九七一	〇・七五
小計(七)				一、六、八八〇、九五八	一、三、八八七、五五八	一、四、八八五、七九九	〇・八九
小計(五六)	表六甲河川改良工事	神戸		三〇、〇四七、九五五	一、五四七、三五五	四、〇三一、九六五	〇・三三
	鶴見川改修工事	横濱		六、四〇〇、〇〇〇	一、〇九、五九九	五、四六六、四〇〇	〇・〇八
	猪名川改修工事	神戸		一一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇二、七七一	六、一四四、四二〇	〇・〇六
	菊池川改修工事	下關		四、四〇〇、〇〇〇	八六、七四三	七、四三三、三三七	〇・〇一
	庄川改修工事	新潟		五、四〇〇、〇〇〇	八三、三三五	五、八六六、六三三	〇・〇一
小計(五六)				一、四〇〇、六八四、一三一	一、三三三、六六一、九八三	一、四一、四一〇、四一〇	〇・一〇
前年度迄竣功高						一、五四七、三五五	
本年度竣功高						二、二八、八四〇、六〇五	
合計						一、四八六、四九六、五二〇	
殘額						一、四八六、四九六、五二〇	

砂防工事	防	工	事
淀川流域(瀬田川)砂防工事	大阪	1,400,218	1,247,349
富士川流域砂防工事	東京	1,855,507	1,749,638
信濃川水系砂防工事	新潟	1,110,641	1,179,219
鬼怒川流域砂防工事	東京	1,037,066	1,010,232
常願寺川流域砂防工事	新潟	3,119,533	3,077,979
手取川流域砂防工事	新潟	1,856,333	1,816,816
揖斐川流域(根尾川)砂防工事	名古屋	968,227	710,422
淀川流域(木津川)砂防工事	大阪	338,114	335,021
神通川流域砂防工事	新潟	330,000	333,554
利根川流域(烏川)砂防工事	東京	909,090	571,445
天神川流域砂防工事	大阪	181,818	117,090
阿武隈川流域(荒川)砂防工事	仙臺	181,818	228,431
天龍川流域(小澁川)砂防工事	名古屋	330,000	333,554
利根川流域(渡良瀬川)砂防工事	東京	330,000	333,554
信濃川流域(魚野川)砂防工事	新潟	330,000	333,554
木曾川流域(中津川、落合川)砂防工事	名古屋	330,000	333,554
庄内川流域(土岐川)砂防工事	名古屋	330,000	333,554



復舊及 應急修補 工事	良	工	事									
利根川應急増補工事	東京	東京	小計(二三)	六	三角港修築工事	下關	二、七九、三三〇	一、八四、五二五	八八、六九九	一、三三、七六四	三、四、五九九	〇・六五
相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事	東京	東京	大分港修築工事	下關	一、七〇、二八六	一、四四、五一八	八四、八九一	一、四〇、〇〇九	三、〇、三三三	一、〇、二二二	〇・九五	
			廣島港修築工事	大阪	三、一七、七三〇	一、〇八、八三二	一、五、六六四	二、一四、九五四	一、〇、七〇〇	一、〇、七〇〇	〇・六八	
			和歌山港修築工事	大阪	三、九八、五五〇	一、九六、七九一	五、四、〇九二	二、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			酒田港修築工事	新潟	一、五二、二三四	一、一〇、五六一	七、七、九六一	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			八幡、戸畑兩港修築並航路改良工事	下關	二、一七、八〇〇	八、八七、七九六	九、一、七〇九	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			下關港修築工事	下關	四、六七、三六一	一、八四、二七六	七、九、一六六	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			宇部港修築工事	下關	二、九三、七六七	四、七、二二二	一、〇四、二四四	二、七、七三六	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			門司港修築工事	下關	一、八四、〇五九	七、六、二八四	五、四、二五四	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			新潟港修築工事	下關	二、八四、九〇〇	一、三、三三三	二、七、八八九	九、〇〇、二二〇	二、七、七三六	二、七、七三六	〇・六八	
			荻田港修築工事	新潟	六、五五、五〇〇	三、九、〇三三	一、七、〇三三	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			臨海地帯造成工事	下關	二、〇〇、〇〇〇	一、一、一〇一	三、一、六〇二	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	
			八戸港修築工事	仙臺	一、八七、六六〇	一、一、一〇一	五、八、〇八二	一、一四、八八三	一、七、七三六	一、七、七三六	〇・六八	

道	國	及補修舊復 事工急應	工	事	名	擔 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 合 步
								前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 迄 竣 功 高	合 計		
		小計(三)				大阪	14,000,000	▲ 5,950,559	▲ 1,000,000	▲ 1,950,559	14,000,000	0.04
		國道一號線(保土ヶ谷)改良工事(繼國改)			橫濱		11,100,000	1,900,000	1,900,000	11,100,000	0.52	
		國道一號線(沼津)改良工事(繼國改)			橫濱		1,200,000	91,745	1,291,745	1,200,000	0.11	
		國道一號線(清水)改良工事(繼國改)			橫濱		3,400,000	▲ 3,550	▲ 3,550	3,403,550	0.01	
		國道一號線(袖師)改良工事(繼國改)			橫濱		100,000	221,748	100,000	100,000	1.00	
		國道一號線(名靜)改良工事(繼國改)			名古屋		400,000	221,188	300,000	300,000	0.22	
		國道一號線(名靜)改良工事(繼國改)			名古屋		400,000	1,118,000	90,000	1,118,000	0.31	
		國道一號線(愛知第二)改良工事(繼國改)			名古屋		20,000	▲ 88,103	▲ 88,103	20,000	0.22	
		國道一號線(愛知第三)改良工事(繼國改)			名古屋		20,000	▲ 56,956	▲ 56,956	20,000	0.22	
		國道一號線(愛知)改良工事(國改)			名古屋		140,000	150,087	150,087	140,000	0.01	
		國道一號線(參宮)改良工事(繼國改)			名古屋		1100,000	▲ 359,749	▲ 1,559,749	1100,000	0.11	
		國道二號線(滋賀)改良工事(國改)			大阪		40,000	▲ 69,749	▲ 69,749	40,000	0.01	
		國道二號線(兵庫)改良工事(繼國改)			神戸		1,000,000	▲ 1,118,000	▲ 1,118,000	1,000,000	0.11	

改 良 工 事

國道二號線(岡山)改良工事 (國改)	大阪	100,000			95,710	5,290	5,000	1.00
國道二號線(廣島)改良工事 (國改)	大阪	100,000	◎		118,000	18,000	18,000	0.18
國道二號線(廣島、山口)改良工事 (國改)	大阪	300,000			272,222	27,778	27,778	1.00
國道二號線(東山口)改良工事 (國改)	關	110,000	◎		125,000	15,000	15,000	0.14
國道二號線(西山口)改良工事 (國改)	關	11,100,000		9,639	11,010	1,090	1,090	0.10
國道二號線(關門)建設工事 (國改)	關	14,000,000		1,100	13,311	689	689	0.10
國道二號線(小倉)鋪裝工事 (國改)	關	110,000	◎		100,000	10,000	10,000	1.00
國道二號線(博多)改良工事 (國改)	關	110,000	◎		130,000	20,000	20,000	0.18
國道二號線(熊本)鋪裝工事 (國改)	關	20,000			20,000	0	0	1.00
國道二號線(熊本)改良工事 (國改)	關	30,000			31,000	1,000	2,000	0.67
國道三號線(椎田)改良工事 (國改)	關	110,000	◎		100,000	10,000	10,000	1.00
國道三號線(宇佐)改良工事 (國改)	關	130,000			130,000	0	0	1.00
國道三號線(大分)改良工事 (國改)	關	1,500,000	◎	7,848	1,493,600	6,400	6,400	0.04
國道三號線(延岡)改良工事 (國改)	關	110,000	◎		100,000	10,000	10,000	1.00
國道三號線(都城)鋪裝工事 (國改)	關	21,000			20,000	1,000	1,000	1.00
國道三號線(鹿兒島)鋪裝工事 (國改)	關	110,000			103,828	6,172	6,172	0.56
國道四號線(蒲生)改良工事 (國改)	東京	100,000			99,848	152	152	1.00

工 事 名	擔 當 出 張 所	工 費 豫 算 額	竣 功 額			殘 額	竣 功 合 步
			前 年 度 迄 竣 功 高	本 年 度 竣 功 高	合 計		
國道四號線(越ヶ谷)改良工事 (線國改)	東京	100,000	18,541	18,541	18,541	1.00	
國道四號線(幸手)改良工事 (線國改)	東京	20,000	60,517	29,880	89,997	1.00	
國道四號線(栃木)改良工事 (國改)	東京	140,000	—	101,822	101,822	0.73	
國道四號線(雀宮)改良工事 (線國改)	東京	20,000	54,399	33,600	79,999	1.00	
國道四號線(宮城)改良工事 (國改)	仙臺	100,000	—	24,310	24,310	0.24	
國道四號線(宮城)改良工事 (線國改)	仙臺	151,100	33,822	24,310	101,112	0.67	
國道四號線(岩手)改良工事 (國改)	仙臺	100,000	—	100,000	100,000	1.00	
國道四號線(岩手)改良工事 (線國改)	仙臺	110,000	10,400	12,822	110,000	1.00	
國道四號線(岩手)改良工事 (國改)	仙臺	111,000	—	101,922	101,922	0.92	
國道四號線(青森)改良工事 (線國改)	仙臺	20,000	29,888	10,111	20,000	1.00	
國道四號線(青森)改良工事 (國改)	仙臺	100,000	—	26,544	26,544	0.27	
國道五號線(福島)改良工事 (國改)	仙臺	110,000	—	110,000	110,000	1.00	
國道五號線(秋田)改良工事 (國改)	仙臺	100,000	—	56,553	56,553	0.57	
國道五號線(青森)改良工事 (線國改)	仙臺	100,000	21,804	17,541	100,000	1.00	
國道五號線(青森)改良工事 (國改)	仙臺	100,000	—	26,541	26,541	0.27	

事	工	良
國道六號線(常總) (繼國改)	改良工事	東京
國道六號線(水戸) (繼國改)	改良工事	東京
國道六號線(水戸) (國改)	改良工事	東京
國道六號線(多賀) (繼國改)	改良工事	東京
國道六號線(福島) (國改)	改良工事	仙臺
國道八號線(山梨) (繼國改)	改良工事	橫濱
國道八號線(山梨) (國改)	改良工事	橫濱
國道九號線(群馬) (國改)	改良工事	東京
國道九號線(三國峠) (繼國改)	改良工事	東京
國道十號線(長野) (國改)	改良工事	新潟
國道十號線(第四填科) (繼國改)	改良工事	新潟
國道十號線(鶴岡) (繼國改)	改良工事	新潟
國道十號線(第二鶴岡) (國改)	改良工事	新潟
國道十一號線(親不知) (繼國改)	改良工事	新潟
國道十一號線(親不知) (國改)	改良工事	新潟
國道十二號線(富山) (國改)	改良工事	新潟
國道十二號線(高岡) (繼國改)	改良工事	新潟

總論 (本年度施行工事)

工 事 名	擔當出張所	工費豫算額	竣 功 額		殘 額	竣功割合
			前年度迄竣功高	本年度竣功高		
國道十二號線(關ヶ原)改良工事 (國改)	名古屋	1,500,000	—	218,155	1,281,845	0.78
國道十二號線(名敦)改良工事 (繼國改)	名古屋	700,000	1,130,000	76,533	1,206,533	0.38
國道十二號線(石川)改良工事 (繼國改)	新 瀨	1,400,000	25,700	98,777	124,477	0.11
國道十三號線(岐阜)改良工事 (繼國改)	名古屋	150,000	18,925	17,095	36,020	0.24
國道十五號線(京都)改良工事 (繼國改)	大阪	1,400,000	2,339,556	89,556	3,229,112	0.33
國道十五號線(奈良)改良工事 (繼國改)	大阪	800,000	609,877	189,563	799,440	1.00
國道十五號線(奈良)改良工事 (國改)	大阪	40,000	—	40,000	40,000	1.00
國道十五號線(奈良)改良工事 (繼國改)	大阪	400,000	—	51,500	51,500	0.13
國道十五號線(和歌山)改良工事 (國改)	大阪	20,000	—	66,708	66,708	0.33
國道十五號線(和歌山)改良工事 (繼國改)	大阪	40,000	59,180	11,000	70,180	0.17
國道十六號線(大阪、和歌山)改良工事 (繼國改)	大阪	11,868,000	10,868,000	3,190,000	14,058,000	0.11
國道十八號線(鳥取)改良工事 (國改)	大阪	3,000,000	—	1,100,000	1,100,000	1.00
國道十八號線(鳥取)改良工事 (國改)	大阪	3,000,000	—	1,100,000	1,100,000	1.00
國道十八號線(鳥取)改良工事 (國改)	大阪	3,000,000	—	1,100,000	1,100,000	1.00
國道十八號線(鳥取)改良工事 (國改)	大阪	3,000,000	—	1,100,000	1,100,000	1.00

總	事		工		良				
	小	計(一九六)	八	八	八	八			
			國道二十三號線(香川)改良 工事 (繼國改)	神戶	一,七〇〇,〇〇〇	九二,五五五	七九,四六八	一,〇〇〇,〇〇〇	〇・一・〇
			國道二十四號線(西條)改良 工事 (國改)	神戶	〇〇〇,〇〇〇	—	九〇,六三三	五,一八三	〇・〇・五
			國道二十五號線(佐賀)改良 工事 (繼國改)	下關	一,〇〇〇,〇〇〇	三三八,三五七	九二,四〇九	四二,〇〇〇	〇・〇・二
			國道二十四號線(彥野)改良 工事 (國改)	神戶	一〇〇,〇〇〇	—	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	〇・〇・〇
			國道二十五號線(長崎)改良 工事 (總國改)	下關	一,八〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	〇・〇・一
			國道三十二號線(廣島)改良 工事 (繼國改)	大坂	一,〇〇〇,〇〇〇	九六〇,七四〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	〇・〇・七
			國道三十三號線(佐世保)改良 工事 (國改)	下關	四〇〇,〇〇〇	—	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	一・〇・〇
			國道三十四號線(阪鶴)鋪裝 工事 (國改)	大坂	〇〇〇,〇〇〇	—	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	一・〇・〇
			國道三十五號線(敦賀)改良 工事 (國改)	名古屋	〇〇〇,〇〇〇	—	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇・〇・〇
			國道三十六號線(新京濱)新 設工事 (繼國新)	東京	六,〇〇〇,〇〇〇	三,三三六,二〇八	一,〇〇〇,〇〇〇	四,三九八,九〇七	〇・〇・六
			國道三十六號線(新宮)新 設工事 (繼國新)	東京	六,〇〇〇,〇〇〇	四九,九九八	五,九九七	五,五〇一,九〇七	〇・〇・六
			國道三十六號線(新宮)新 設工事 (繼國新)	東京	六,〇〇〇,〇〇〇	三,二二九,九八八	九九八,〇〇〇	四,三三二,七一九	〇・〇・六
				橫濱	六,〇〇〇,〇〇〇	—	—	—	〇・〇・六
	小	計(八七)		八	△二,四八六,三五	一四,九〇〇,七三	二,一四三,六四	一七,二三四,三九	〇・三・〇
	總	計(一九六)		八	△一〇,〇四二,四九	三三,八九〇,一六五	四,一五三,二八	四〇,〇四四,四九	〇・五・〇

## 第六 竣功工事

直轄ニ係ル河川改修工事、砂防工事及港灣改良工事ニシテ昭和十四年度迄ニ竣功シタル主要ナルモノヲ一括シ其竣功順ニ列舉スレバ左表ノ如シ但シ竣功額ノ豫算額ヨリ超過シタルモノアルハ流用額アリタル等ニ因ル

河川	改修	工事名	地方名	著手年度	竣功年度	豫算額	竣功額
筑後川	改修	筑後川改修工事	福岡、佐賀	明治二十九年	明治三十六年	1,828,000 円	1,828,000 円
淀川	改修	淀川改修工事	大阪、滋賀、京都	同 二十九	同 四十三年	10,087,000	10,087,111
木曾川	下流改修	木曾川下流改修工事	岐阜、愛知、三重	明治二十年	大正 元	9,824,836	9,824,836
庄川	改修	庄川改修工事	富山	同 三十三年	同 元	11,911,111	11,911,111
遠賀川	改修	遠賀川改修工事	福岡	同 三十九	同 七	4,811,000	4,811,000
淀川	下流改修	淀川下流改修工事	大阪	同 四十	同 十一	3,857,000	3,799,866
九頭龍川	改修	九頭龍川改修工事	福岡	同 三十三	同 十三	1,081,000	1,119,000
渡良瀬川	改修	渡良瀬川改修工事	茨城、群馬、栃木	同 四十三年	昭和 元	11,800,000	11,119,000
信濃川	改修	信濃川改修工事	新潟、埼玉、新潟	同 四十	同 二	11,800,000	11,800,000
吉野川	改修	吉野川改修工事	徳島	同 四十	同 二	11,011,111	11,011,111
高梁川	改修	高梁川改修工事	岡山	同 四十	同 二	4,211,111	4,211,111
利根川	改修	利根川改修工事	東京、埼玉、千葉	同 三十三年	同 五	4,211,111	4,211,111
荒川	下流改修	荒川下流改修工事	茨城、栃木、群馬	同 四十	同 五	3,000,000	3,000,000
淀川	改修	淀川改修増補工事	大阪、京都	大正 七	同 七	11,811,111	11,811,111
阿賀野川	改修	阿賀野川改修工事	新潟	同 四	同 八	11,811,111	11,811,111

港灣改良工事							砂防工事				工事								
鹽釜港修築工事	境港修築工事	門司港修築工事	下關港修築工事	高松港修築工事	長崎港修築工事	新潟港修築工事	敦賀港修築工事	小	桂川流域砂防工事	神通川流域砂防工事	野洲川流域砂防工事	吉野川流域砂防工事	小	圓山川改修工事	神通川改修工事	加古川改修工事	太田川改修工事	北上川改修工事	多摩川改修工事
宮	鳥	福	山	香	長	新	福	京	岐	滋	德		兵	富	兵	靜	宮	東	東
城	取	岡	口	川	崎	瀨	井	都	阜	賀	島		庫	山	庫	岡	城	川	川
同	同	同	同	同	同	大正	明治	同	同	同	大正	同	同	同	同	大正	明治	同	同
三	十	八	十	十	九	六	四十二	五	八	四	四	同	九	七	七	八	十四	七	七
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
同	同	同	同	同	昭	同	大	同	昭	同	大	同	同	同	同	同	同	同	同
七	六	六	四	三	二	十四	二	六	五	十三	九	同	十二	十二	十	九	九	八	八
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度
五、〇八七、七八一	一、九七五、七四〇	五、八九〇、〇〇〇	三、四四一、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	二、四七〇、〇〇〇	二、三三三、一〇〇	六〇〇、〇〇〇	五八、九三八	九、五、一〇〇	二、六、八、八、八	九、〇、〇〇〇	一、四〇、〇〇〇	二、六、八、二、三、三、三	七、一、三、三、七、三、三	八、二、三、五、一、二、六、四	五、八、二、四、四、五、八	四、三、九、九、〇、〇、一	一、四、一、三、三、一、〇、〇、四	七、四、一、四、七、六、九
五、〇八七、八〇三	一、九七四、八四〇	五、六五七、六八三	三、一八一、一〇〇	二、一八八、八八四	二、四六三、七六六	二、三三三、二〇一	六〇〇、〇〇〇	五七、一、六、四、〇	九、四、九、三、三	二、六、八、八、八	九、〇、〇〇〇	一、四、一、三、三、三	二、六、八、二、三、三、三	七、一、三、三、七、三、三	八、二、三、五、一、二、六、四	五、八、二、四、四、五、八	四、三、九、九、〇、〇、一	一、四、一、三、三、一、〇、〇、四	七、二、一、〇、〇、一、一

總論 (竣工工事)

總	港灣改良工事		地方名	著手年度	竣工年度	豫算額	竣工額
	小	大					
計(四五)	計(二〇)	敦賀港修築工事	福井	大正十一年度	昭和七年度	三,四三三,六四三	三,四三三,六四三
		今治港修築工事	愛媛	同十一年度	同八年度	二,九七二,九一〇	二,九二二,九一〇
		小松島港修築工事	德島	同十二年度	同九年度	二,八八二,三八四	二,七九八,六三三
		鹿兒島港修築工事	鹿兒島	同十二年度	同九年度	二,四〇九,六三三	二,四〇九,六三三
		鹽釜港修築增補工事	宮城	昭和七年度	同九年度	五,六二〇,〇〇〇	五,六二〇,〇〇〇
		伏木港修築工事	富山	大正十二年度	同十一年度	五,〇四九,九一〇	五,〇四九,九一〇
		清水港修築工事	靜岡	同十年度	同十二年度	八,六七七,四九九	八,〇八九,五二八
		宮古港修築工事	宮城	昭和四年度	同十二年度	一,六〇〇,九三三	一,五九三,五四八
		舞鶴港修築工事	京都	同四年度	同十二年度	一,三三八,四〇八	一,四九九,二四五
		若松港修築工事	福岡	同七年度	同十二年度	八〇〇,〇〇〇	七五二,〇四八
		小名濱港修築工事	福岡	同四年度	同十三年度	二,七六二,二四四	二,五七九,九五五
		細島港修築工事	下關	同四年度	同十四年度	一,三三九,〇〇〇	一,三三九,〇〇〇
		計(四五)	計(二〇)	明治四十二年度	十四年度	五七,七六三,一三二	五五,八八七,四九七
計(四五)		同二十九年	十四年度	三三〇,一七九,四八〇	三二六,九八五,七五三		

# 第一章 河川改修工事

## 第一 荒川上流改修工事

本工事ハ大正七年度ヨリ昭和二年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ總工費一千四百萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ歐洲大戰ノ影響ニ因リ勞銀並ニ諸物價著シク昂騰シ當初ノ豫算ヲ以テハ到底成功スルコト能ハザルニ依リ大正十二年度ニ於テ工費一千萬圓ヲ増額シテ總工費ヲ二千四百萬圓トシ施行年度ヲ五箇年度延長シタルモ大正十二年ノ關東大震災以後國家財政ノ都合ニ依リ大正十四年度ニ至リ更ニ工期ヲ五箇年度延長シテ昭和十二年度迄二十箇年度ノ繼續事業トセリ然ルニ相次グ財界不況ノ爲メ一般財政ノ緊縮トナリ昭和四年度以降年次ニ互リ工費二百九十六萬一千六百十八圓ヲ減額シテ總工費ヲ二千百三萬八千三百八十二圓ニ改メ工期ヲ三箇年度延長施行中ノ處政府財政ノ都合ニ依リ昭和十二年度ニ於テ工期ヲ昭和十六年度迄延長シ尙昭和十三年度ニ於テ工費二百六十萬圓ヲ増額スルト共ニ竣功期限ヲ六箇年度延長シ結局總工費二千三百六十三萬八千三百八十二圓昭和二十二年ニ至ル三十箇年度ノ繼續事業トシテ施行スルコトナレリ

其區域ハ埼玉縣大里郡武川村(右岸同郡御正村)ヨリ同縣川口市(右岸東京市王子區岩淵町)ニ至ル延長六十二籽三、支川入間川ニ於テ埼玉縣比企郡伊草村(右岸同縣入間郡山田村)落合橋以下合流點ニ至ル五籽九及新河岸川筋ニ於テ埼玉縣北足立郡新倉村地内ノ現在荒川合流點以下東京市王子區岩淵町地先岩淵水門下ニ至ル新水路十一籽一、合計七十九籽三ナリトス而シテ一旦既刊年報ニ掲ゲタル事項ニシテ省略シタルモノアリ以下各川及各事業分亦之ニ倣フ

## 施工狀況

本工事ハ大正七年度創業以來ノ買收段別二千二百七十二町四段餘歩ニ及ビ本年度ニ於テハ右岸北吉見、東吉見、及馬室三箇村ノ堤外居住家屋移轉補償料ヲ支出セリ

工事施行ニ關シテハ大正九年一月埼玉縣入間郡古谷村ニ改修事務所ヲ設ケ相次デ其下ニ工場派出所ヲ置キ先ヅ低水路ノ屈曲甚シク之ガ附替ヲ爲スベキ箇所若シクハ掘鑿ノ土量比較的多ク竣功ニ長年月ヲ要スル箇所ヲ選ビ下流部ヨリ順次上流ニ及ブノ方針ヲ以テ同年末ヨリ工事ニ着手シ逐次工ヲ進メ本年度末現在機械掘鑿六十箇所、同浚渫三箇所、人力掘鑿五十七箇所、築堤六十一箇所、障碍物除却二箇所、護岸十三箇所、附帶工事(直轄施工)二十二箇所、合計二百十八箇所ヲ施行シ内機械掘鑿五十八箇所、同浚渫三箇所、人力掘鑿五十四箇所、築堤五十七箇所(内補修工事五箇所)障碍物除却二箇所、護岸十三箇所、附帶工事十九箇所、合計二百六箇所ヲ竣功セリ

本年度ニ於テハ機械掘鑿二箇所、同浚渫一箇所、人力掘鑿五箇所、築堤六箇所、障碍物除却一箇所、附帶工事三箇所、合計十八箇所ヲ施工シ内竣功セルハ機械浚渫一箇所、人力掘鑿二箇所、築堤二箇所、障碍物除却一箇所、合計六箇所ナリ以下創業以來ノ成績ヲ各工種ニ分チ略述スベシ

浚渫及掘鑿工事ニ在リテハ施工總數百二十箇所中機力ニ依レルモノ六十三箇所(内浚渫三箇所ヲ含ム)、人力ニ依レルモノ五十七箇所之ヲ川筋別ニ内譯セバ本川筋九十八箇所(機械四七、同浚渫一、人力五〇)入間川筋十四箇所(機械八、人力六)新河岸川筋八箇所(機械五、浚渫二、人力二)トナリ是等掘鑿土ノ大部分ハ兩岸築堤用土ニ利用シ一部ハ民地ニ捨土セリ

進工ノ状態ハ本年度末現在本川筋ニ於テハ縣道大宮川越線以下ハ全部竣功シ古谷村ヨリ平方町ニ至ル區間即チ入間川ニ關聯スル部分ハ昭和七年度以來最モ主力ヲ傾注セル箇所ニシテ一時工費難ノ爲メ休止ノ止ムナキニ至リタルモ昭和十三年度末ヨリ再ビ着工シ略竣功ニ近ヅキタリ其土流區間即チ平方町ヨリ終點ニ至ル部分ハ大約九割九分ノ竣功ヲ見タリ

新河岸川筋ハ昭和八年度大體終了セルモ其後下流部ノ舊川利用箇所ニ流砂堆積セルヲ以テ同十一年度再ビ機械浚渫一箇所ヲ

起工シ本年度全ク竣功セリ

以上功程ハ機械ニ依レルモノ本年度土量十三萬九百四十一立方米 累計二千二百二十九萬三千二百九十八立方米 人力ニ依レルモノ本年度土量二十萬六千九百二十九立方米 累計六百九十五萬八十二立方米 合計二千九百二十四萬三千三百八十八立方米ニシテ計畫ニ對シ九割五分ノ竣功トナレリ

築堤工事ハ大正十一年度ヨリ着手シ爾來掘鑿工事ニ追隨工ヲ進メ本年度末現在本川筋左岸二十二箇所(内補修工事二箇所)右岸三十七箇所(内補修工事三箇所)入間川筋右岸二箇所 計六十一箇所ヲ施行セリ

功程ハ利用土ニ依ルモノ本年度無ク累計一千九百八十六萬一千六百八十二立方米 自辨土ニ依レルモノ本年度土量十二萬八千五百十六立方米 累計七十三萬三千三十立方米 合計土量二千五百九十九萬四千七百七十二立方米ニシテ計畫ニ對シ八割六分ノ竣功トナレリ

之ヲ地先別ニ見ルニ馬宮村以下ニ於テハ右岸ハ全ク竣功シ左岸亦用惡水路關係ノ爲メ施工シ得ザル樋管箇所ヲ殘スノミトナリ又其上流左岸小谷村 右岸東吉見村ニ至ル間ハ入間川附替ニ關聯スル部分即チ古谷村 平方町ノ間ヲ除キ是亦前者同様二三ノ樋管箇所ヲ殘スノミトナレリ

左岸吹上町 右岸吉見村及市田村ノ一部ハ昭和九年度以來配土ニ着手シ兩岸共ニ略完了セルモ只右岸ニ一箇所ヲ施工セルニ止マリ其上熊谷市ニ至ル間右岸ハ堤防法線變更計畫成ルヲ俟チ漸ク本年度ヨリ配土ニ着手セルモ左岸ハ未ダ着手ニ至ラズ熊谷市ヨリ上流ハ總テ自辨土築堤ニ依ルモノナルガ本年度末現在左岸三箇所 右岸二箇所 計五箇所ヲ施行シ右岸ハ全部ヲ竣ヘ左岸ハ八割ヲ竣功セリ

而シテ前掲入間川ニ關聯スル部分タル古谷村 平方町間ニ於ケル本川筋左岸ハ縣道太宮川越線橫斷箇所並ニ樋管部分四箇所ガ未着手ノ儘殘リ其右岸堤(瀬割堤)ハ芳野村(元植木村)地先及出丸村地先二箇所ヲ了シ古谷村地先ハ目下配土中ニシテ總體

的ニハ未ダ七割ノ配土ニ過ギズ

又入間川筋右岸ニ於テハ縣道上尾 川越線以下ハ配土六割トナリ其上流部左岸ハ縣道川越、桶川線迄配土ヲ完了シ其右岸芳野村地先新堤部分迄ハ是亦配土完了シ現ニ築立芝付施行中ナルモ其上流終點落合橋ニ至ル間ハ左右岸共未着手ナリ

護岸工事ハ本年度末現在本川筋古谷村以下ノ新低水路箇所ニ七箇所 上流市田村地先ニ一箇所 計八箇所 新河岸川筋ニ五箇所 合計十三箇所ヲ施工シ其延長七千三百八十九米四ニシテ未ダ約三割八分ヲ竣功セルニ過ギズ

附帶工事ハ主トシテ樋管、橋梁ノ改築又ハ新設ニシテ本年度末現在直轄施工二十一箇所 管理者施工五箇所 兩者分割施工一箇所 計二十七箇所ヲ施行シ計畫ニ對シ大約七割ヲ竣功セリ

右ノ内管理者施工ハ總テ昭和十三年度以前ニ竣功シ之ガ補助金モ交付済ナリ

直轄施工ハ昭和二年度以降ノ施工ニ係リ本川筋ニ於ケル十三箇所ハ何レモ樋管ノ改築若シクハ新築ニシテ内十箇所ハ竣功セリ

新河岸川筋ニ施工セルモノハ七箇所（内橋梁四箇所）ニシテ總テ昭和八年度以前ニ竣功セリ

入間川筋ニハ未ダ橋梁一箇所ヲ施工セルニ過ギズ

分割施行ハ大久保村ヨリ土合村ニ至ル鴨川關係ノモノニシテ直轄施行分ハ昭和九年度ニ又管理者施行分タル堤内幹支線水路工事ハ昭和十一年度ニ竣功セリ

本年度ハ本川筋左岸ニ三箇所ヲ施工シ内一箇所ハ昭和十年度ヨリ繼續セル三領排水路工事ニシテ本年度末現在其九割九分ヲ施工シ次年度へ繰越シタリ又他ノ二箇所ハ指扇村地先ニシテ共ニ本年度着工シ大約三割二分ノ功程ヲ擧ゲタリ

本年度ノ竣功高ハ三十五萬九千三百九十六圓ニシテ創業以來ノ累計ハ二千百六十二萬三千四百四十八圓トナリ之ヲ總工費豫算二千三百六十三萬八千三百八十二圓ニ比較スルトキハ九割二分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「□」ハ管理

者負擔額「▲」ハ提供材料及勞力費「△」ハ船舶及機械費支辨製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	二〇、四六六、一九六 立米	八七、九二二、三五七	二八、五五五 立米	五五、五二二、三九七	二〇、五九四、七二二 立米	九三、四四九、七五四	〇・八八
浚渫	二八、八九五、五〇〇	六、六九九、一〇一	三三、七七一、八七〇	九八、〇〇八、四三三	二九、一四三、三八〇	六、七七一、五三三	〇・五五
本工							
護岸水制							
工事							
障礙物除却	七、三九〇 米	一、九四一、〇〇一	七、三九〇 米	一、九四一、〇〇一	七、三九〇 米	一、九四一、〇〇一	〇・三六
費事							
亡失毀損	五五〇	八八四	七〇〇	一、一〇四	一、二五〇	三、一三三	
用地	三三、七五段	一、九九五	段		段		
附帶							
直轄施行	簡所 一九	三、八四一、六九八	簡所 三	三、六六二、二二六	簡所 一九	三、八四一、六九八	
工事							
費事							
船舶及機械費	五	一、五七六、六六六	三	三、九五二、四二八	五	一、五七六、六六六	〇・四七
船							
測							
營繕費							
雜費							
共濟組合給與金							
退職手当當							

總計	臨時家族手當	費目	
		前年度、 竣功高	本年度、 竣功高
		數量	金額
		▲□	二、一六四、〇三五 一、〇五一、三三八 一、一五二、六六九
		數量	金額
		▲□	三、五九、三九六 一、二五、四二八 二、三四、九六八
		數量	金額
		▲□	三、一六三、四四八 一、四四六、七七六 一、七一九、〇七二
		數量	金額
		▲□	四、三三八
		數量	金額
		▲□	四、三三八
		數量	金額
		▲□	〇・五

## 第一 最上川改修工事

本工事ハ大正六年度ヨリ同十五年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費八百二十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ大正十年度河口ニ於ケル計畫變更ノ爲メ百五十萬圓（全部山形縣負擔）ヲ追加シ工期二箇年度ヲ延長セリ更ニ歐洲大戰ニ因ル物價騰貴ニ鑑ミ工費ヲ増額シ一千五百萬圓ト爲セルモ其ノ後財政緊縮ノ爲メ三回ニ互リ工費百五十四萬九百五十六圓ヲ減額シテ一千三百四十五萬九千四十四圓（内山形縣負擔額四百五十五萬九千八百二十四圓）ト爲シ又三回ニ互リ工期十二箇年度ヲ繰延ベ二十五箇年度繼續事業トシ昭和十六年度ニ於テ竣功セシムルコトナレリ而シテ其ノ區域ハ幹川ニ於テハ左岸山形縣東田川郡清川村、右岸同縣飽海郡上郷村以下海ニ至ル三十二村、支川赤川ニ於テハ左岸同縣東田川郡齊村、右岸同縣同郡廣瀬村以下幹川合流點ニ至ル二十三村六ナリシが大正九年度ニ於テ支川赤川ノ計畫ヲ變更シ大山川合流點附近ヨリ同縣西田川郡袖浦村地内西山砂丘ヲ開鑿シ直ニ日本海ニ放流セシムルコトナレリ從テ赤川ニ於ケル改修區間ハ二十村ニ短縮セリ尙昭和四年度山形縣ノ希望ニ依リ同縣ヨリ十萬五千圓ニ相當スル材料其他ノ提供ヲ受ケ既定工費ヲ増額セズ赤川改修計畫ノ一部ヲ變更シ小支川内川ノ新放水路ヲ開鑿スルコトト爲セリ

因ニ本川ニ於テハ曩ニ政府ニ於テ專ラ航路ノ改良ヲ目的トシ工費七十六萬四千九百八十四圓ヲ以テ明治十七年度ヨリ同三十六年度ニ至ル二十箇年度ニ互リ改良工事ヲ施行シタリ

## 施工狀況

本改修工事ハ大正六年度ノ創業ニシテ翌七年度幹川右岸全部ノ土地買收ヲ了シ大正八年度ヨリ本工事ニ着手シ爾來工事ノ進捗ニ伴レ本年度迄四十三次ニ互リ用地ノ買收ヲ行ヒ幹川左岸東田川郡新堀村及西田川郡袖浦村ノ一部、支川赤川右岸東田川

郡押切村及廣野村地内ノ堤敷ヲ殘シ大部分ノ買收ヲ了セリ

尙大正九年度ヨリ機械工場ヲ設置シ諸機械及船舶ノ修理製作ヲ行ヘリ本年度ニ於ケル本工事ノ施行箇所ハ前年度ヨリ繼續ノ二十五箇所ト新ニ着手ノ六箇所(内四箇所ハ昭和十五年七月十二日赤川筋未曾有ノ洪水ニ依ル被害箇所ノ復舊工事)計三十一箇所ニシテ内十三箇所ヲ竣功セル外休工中ノ二箇所ヲ打切竣功セリ附帶工事ハ新ニ一箇所ヲ着手シ年度内ニ竣功セシメタリ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續ノ下瀬、第五西山、堀野、第一新渡、第二新渡及落野目ノ各人力掘鑿六箇所ニシテ土運搬ニハ人力ノ外瓦斯倫機關車三噸一臺及木炭瓦斯發生機付瓦斯倫機關車三噸半一臺ヲ運轉シ土量二萬四千六百五十七立方米ヲ掘鑿シ主トシテ新堤敷ニ、他ハ附近低地へ運搬投棄セリ而シテ年度内下瀬、堀野、第一新渡及第二新渡ノ四箇所ハ竣功セリ外ニ休工中ノ宮野浦機械掘鑿ヲ打切り竣功ト爲セリ

浚渫工事ハ前年度ヨリ繼續ノ第一酒田、第五酒田浚渫ノ二箇所ノ酒田港内浚渫ニシテ自航唧筒式浚渫船、電動唧筒式浚渫船各一隻ヲ運轉シ土量五萬四千八百三十三立方米ヲ浚渫シ土砂ノ一部ハ漂砂ノ影響ナキ酒田港外ニ運搬投棄シ一部ハ附近官有低地へ排出セリ而シテ休工中ノ第二宮野浦浚渫一箇所ヲ打切竣功トセリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續中ノ幹川筋九木原、落野目ノ二箇所、支川赤川筋文下、湯野澤、横山、青山ノ四箇所ノ外新ニ赤川筋鶴岡築堤復舊ノ計七箇所ヲ施行シ採取運搬ニハ人力ノ外瓦斯倫機關車四噸一臺ヲ運搬シ零立方米六積土運車ヲ使用セリ而シテ本年度築立土量ハ掘鑿土利用一萬五千五百七十七立方米、自辨土一萬四千四百四十八立方米、計二萬九千九百六十五立方米ニシテ年度内九木原、文下及鶴岡築堤復舊ノ三箇所ヲ竣功セリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續ノモノ幹川ニ於テハ九木原、第二酒田、第四宮野浦、第二九木原、第二小出上川原第二回増補第四酒田ノ六箇所、支川赤川筋ニ於テハ第七西山新川一箇所及本年度新ニ着手セル幹川筋第二宮野浦増補、赤川筋西山新川補

修ノ二箇所、計九箇所ニシテ工種ハ河狀ニ應ジ礫、石張、蛇籠張三脚杭出工等ヲ施行シ又酒田港内ニ施工セル第二酒田護岸ハ水深一米八ノ護岸ニシテ小船ノ繫留ト荷役ノ便ヲ計リ鐵筋混凝土矢板ヲ主體トセルモノニシテ水面上一米二以上ハ法勾配六割ノ石張斜面ヲ以テ埋立地盤ニ取付ケ又第四酒田護岸ハ大型漁船ノ繫留並ニ荷役ノ便ニ充テントスル物揚場ニシテ混凝土方塊ヲ主體トシ水面上一米五以上ハ法勾配六割ノ石張斜面ヲ施シ埋立地盤ニ取付ケタリ而シテ年度内ニ九木原、第二酒田、第七西山新川ノ三箇所ヲ竣功セリ

床固工事ハ本年度新ニ着手セル赤川筋第六西山新川床留復舊一箇所ニシテ年度内ニ其ノ大部分ヲ了セリ

突堤工事ハ前年度ヨリ繼續ノ北突堤第一部、中央突堤、北突堤第三部ノ三箇所ニシテ北突堤第一部ハ基礎捨石八百六十九立方米ヲ投入シ堤體保護用抱方塊三個ヲ据付ケ頂部混凝土二百九十立方米ヲ施工シ中央突堤ハ基礎捨石九百一立方米ヲ投入シ堤體用方塊十二個ヲ据付ケ頂部混凝土二百九十六立方米ヲ施行シ延長六十六米ヲ竣功セシメ北突堤第三部ハ堤體用型枠拵ヘノミヲ施行セリ

埋立工事ハ前年度ヨリ繼續ノ第二酒田埋立工事一箇所ニシテ酒田港ニ接續セル舊川敷及國有低地ヲ埋立ツルモノニシテ前年度ニ於テ浚渫土ヲ利用シ埋立テタル箇所ノ内二千平方米ノ地均シヲ施工セリ

水門工事ハ本年度新ニ着手セル支川赤川筋内川水門復舊工事一箇所ニシテ年度内竣功セリ

石材採取運搬ハ本年度新ニ着手セル三崎石材採取運搬ノ一箇所ニシテ主トシテ突堤工事及護岸工事用割石ヲ採取運搬スルモノニシテ運搬ハ五十立方米積工業船二隻ニ積込ミ曳船ニ依リ海上二十五籽ヲ運搬セルモノニシテ年度内採取數量二千二百九十五立方米、運搬數量二千五百九十七立方米ナリ

附帶工事ハ本年度新ニ着手セル支川赤川筋久保田落樋門及文下樋管新設並ニ水路附替ノ一箇所ニシテ年度内竣功セリ

船舶及機械修理製作ハ主トシテ當所々屬機械工場ニ於テ施行シ年度内製作セル主ナルモノハ圓鋸盤、繫船柱等ニシテ修理ノ

主ナルモノハ浚渫船、曳船、起重機船、各種工業船、瓦斯倫機關車、各種土運車其ノ他土工用諸器械等ナリ

用地買收ハ工事施行ニ必要ナル範圍ニ止メ年度内東田川郡新堀村及西田川郡東郷村ノ土地買收並地土物件移轉等ナリ

以上本年度ニ於ケル竣功額ハ十七萬六千九百四十二圓ニシテ起工以來ノ累計ハ一千三百二十七萬七千八百八十二圓トナリ之

ヲ總工費一千三百四十五萬九千四十四圓ニ比スレバ九割九分ノ竣功ナリトス其ノ工事功程表左ノ如シ但シ表中「○」ハ利用土

量「□」ハ管理者負擔額「△」ハ山形縣提供額「○」ハ赤川、吉田堰、中川堰普通水利組合提供額「■」ハ土取、土捨出願者提供額

「▲」ハ別途設計直營採取及製造ノ使用材料評價額「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費ヨリ流用セリ

事 工 本	費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣功 歩合
		數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
掘	鑿	立米 一四、三三五、七五	一、一三三、二五	立米 二四、八七五	一、〇三三、二五	立米 一四、四一〇、五〇	二、一六六、五〇	〇・九八
浚	渫	三、五九、〇七六	五〇、八、九七	五、四、八三三	一一、八、〇九	三、五三、九〇九	一一〇、〇〇八	一・〇〇
築	堤	二、九八、八八三 二、二五、七〇〇	九八、九、四四 八、三、三三	一、四、五五七 一、五、五七	一一、八、四	一、九、〇一四 三、八、三〇七	九八、九、四四 一、一、八、七〇	一・〇〇
護	岸	二六、四七四	一、〇、〇〇〇	二六、六	一、一、一五	五三、〇八〇	二、一、一五五	〇・八八
床	固	三、八、四一七	一、一、八、八	一、	一、〇、一〇	三、八、四一七	一一、八、九〇	一・〇〇
突	堤	二	二、九、九四	一	一、〇、一〇	三	四、〇、〇四	〇・一四
	未竣功	▲▲	六、九、九四	▲▲	一、〇、一〇	▲▲	八、〇、〇四	



### 第三 江合、鳴瀬兩川改修工事

本川改修ハ大正六年度宮城縣ニ於テ起工シタル事業ニシテ同十年度ニ至リ明治三十年法律第三十七號ニ依リ内務大臣ニ於テ直接施行スルコトナレリ當初ノ豫算總額五百六十九萬二千圓ノ内縣施行額百三十一萬二千圓ヲ控除シタル殘額四百三十八萬圓ヲ以テ大正十五年度ヲ竣功期限トシ爾來繼續施行中ナリシガ大正十二年度ニ至リ河川法ニ依ル國ノ直轄工事トナリ同時ニ物價騰貴ニ因ル工費不足額百萬圓ヲ追加シ事務費ヲ分チ豫算ヲ更正シ工費總額ヲ六百四十七萬四千圓トシ昭和四年度迄ノ繼續事業ト改メタリ超エテ大正十四年度ニ至リ既往ニ於ケル工事施行ノ實績ニ鑑ミ物價騰貴ニ因ル工費不足額三百七十三萬圓ヲ追加シ工費總額ヲ一千二十萬四千圓トシ其竣功年度ヲ昭和十年度ト更正シタリシガ昭和四年度ヨリ同七年度間ニ於テ工費百十九萬七千九百二十二圓ヲ節減シ總工費九百萬六千七百七十八圓ト改メ竣功年度ヲ昭和十四年度迄延長セリ然ルニ昭和十四年度ニ至リ既定計畫ヲ遂行スル爲ニハ工費九十六萬圓ノ不足並新規工事トシテ護岸水制床固突堤擁壁ヲ施行スル工費四十六萬七千圓ト合計百四十二萬七千圓ヲ追加シ總工費一千四十三萬三千七百七十八圓ト改メ竣功年度ヲ昭和十九年度迄延長スルコトトセリ前記工費總額ノ内國ノ施行額ハ九百四萬一千七十八圓、事務費八萬圓ニシテ縣ノ施行額ハ百三十一萬二千圓トス

本改修區域ハ鳴瀬川ニテハ宮城縣志田郡高倉村ヨリ河口ニ至ル五十軒六、吉田川ハ黒川郡落合村ヨリ小川舊落口二子屋ヲ經テ鳴瀬川ニ沿ヒ河口ニ至ル三十一軒四トシ江合川ハ江合橋上流栗原郡宮澤村ヨリ下流志田郡荒雄村ニ至リ同村大字福沼ニ於テ同郡敷玉村大字下中之目ニ至ル新川ヲ開鑿シ鳴瀬川ニ合流セシム此延長七軒九、多田川ハ同郡志田村ヨリ鳴瀬川合流點ニ至ル三軒四ニシテ延長九十三軒三ニ達ス

## 施工狀況

本改修工事ハ大正六年度宮城縣ニ於テ起工シ江合川本川部鳴瀬川支川多田川ノ落合ヨリ上流部並吉田川ノ粕川村ヨリ上流部ノ各築堤工事ヲ大正九年度迄ニ完成大正十年ヨリ國ノ直轄事業トシ大正十一年十月着工爾來十八箇年餘ノ星霜ヲ經テ現在ニ至ル當所ニテ着工以來鳴瀬川幹川部ノ施行ニ主力ヲ注ギ新江合川合流點以下河口迄ノ築堤並掘鑿ノ大部分ト支川多田川ハ竣功ノ域ニ達セシメタリ又支川吉田川ハ桃生郡小野村若針迄本年度ニ於テ通水セシメ下流部ノ開鑿ヲ餘スノミトナリ新江合川ハ開鑿部等ヲ全般的ニ施行中ニシテ着々其ノ工事ノ進捗ヲ見ツツアリ而シテ本年度施行狀況ハ掘鑿工事ハ主トシテ人力ニ依レルモ一部一立方メートル三十二番型ドラクライン掘鑿機一臺ヲ使用大部分ハ水中掘鑿シ自力ニ依リ利用土トシ新堤ヘ投棄セリ又人力掘鑿ニ於テハ人馬力 畚等ヲ併用シ主トシテ新堤敷ニ運搬利用土トシ一部附近官有地ニ運搬投棄セリ築堤工事ニ於テハ鳴瀬川幹川筋ノ用土ハ全部掘鑿土ヲ利用シ支川吉田川上流部及新江合川ノ一部用土ハ二十噸蒸汽機關車一臺 小型蒸汽機關車二臺及瓦斯倫機關車一臺 デイゼル機關車一臺並人馬力トロ 畚等ニ依リ堤外地及官有地ヨリ採取運搬充用セリ

護岸水制工事ハ河狀ノ變化ニ依リ流水ノ衝擊ヲ受ケ堤脚ヲ洗掘セララルル虞レアル箇所ニ水制並石張護岸工事ヲ施行セリ擁壁工事ハ法面ノ崩壞甚シキ箇所ヲ施行セリ

附帶工事ハ鳴瀬川筋ニ於テ前年度ヨリ繰越ノ水路並樋管一箇所 本年度着工ノ樋管一箇所 吉田川筋ニ於テハ前年度ヨリ繰越ノ橋梁一箇所 本年度着工ノ伏越一箇所 新江合川筋ニ於テ本年度着工ノ伏越一箇所施行 新江合川筋ノ伏越ヲ來年度ニ繰越セシノミニテ全部ヲ竣功セリ

土地買收ハ本年度協議セシモノナク前年度ヨリ繰越分ノ整理ニ努メ所有地主ノ行方不明等ノ爲メ未濟四件ヲ殘スノミトナレ

リ而シテ本年度工事竣功表ヲ表セバ左ノ如シ但シ「□」ハ管理者負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘築堤壩	九、三三九、〇〇一 立米	二、五五四、一三三	五九、七四七 立米	三、一三三	九、三三九、〇〇一 立米	二、五八七、四九九	〇・九
工事護岸水	七、一九一、四七一	九〇四、七五五	一四一、七〇〇	五九、六六五	七、三三〇、一九一	九六四、四二〇	〇・九
事伏擁壁	三、九六六 箇所	五九、九七八	九五六 箇所	一〇、九四三	四、九六六 箇所	七〇、九二一	〇・一四
用地	五、九七三 段	一、三三六、五〇五	五段	一一九	五、九七三 段	一、三三六、六二四	〇・〇一
附事直接施行	未竣功	□	未竣功	□	未竣功	□	〇・〇〇
帶管及機器施行	二五 箇所	三〇、〇〇一	一四 箇所	五、六〇〇	三九 箇所	三五、六〇一	〇・〇〇
工費	未竣功	□	未竣功	□	未竣功	□	〇・〇〇
船舶及機械	一、一九一、二六	三、三三三	一、一九一、二六	三、三三三	一、一九一、二六	三、三三三	〇・〇〇
測量	二、八〇〇	一、一八〇	一、八〇〇	一、一八〇	二、八〇〇	一、一八〇	〇・〇〇
營業繕費	六四〇、四九九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六四〇、四九九	一、〇〇〇	〇・〇〇
雜費	八三三、八八五	三、八八〇	三、八八〇	一、八六三	八三三、八八五	三、八八〇	〇・〇〇
共濟組合給與當	三六、八八五	一、八六三	一、八六三	一、八六三	三六、八八五	一、八六三	〇・〇〇
臨時家族手當	□	□	□	□	□	□	〇・〇〇
總計		七、〇〇〇、〇〇〇		七、〇〇〇、〇〇〇		七、〇〇〇、〇〇〇	〇・八七

## 第四 雄物川改修工事

本工事ハ當初大正六年度ヨリ同十五年度ニ至ル十箇年度ノ繼續專業ニシテ總工費七百二十萬圓ヲ以テ施行ノ計畫ナリシモ大正十二年度ニ至リ物價騰貴ノ爲メ總工費ヲ一千百七十萬圓（内地方負擔額三百四萬七千圓）ニ増額シ其施行年限ヲ昭和六年度ニ延長セシガ偶々大正十二年九月一日ノ關東大震災ニ因リ施行年度ヲ五箇年延長シテ昭和十一年度迄繰延べ昭和三年度ニ於テ二十萬圓 同五年度ニ於テ二十三萬三千九百圓、同六年度ニ於テ六十四萬九百四十五圓ヲ減額シ施行年度ヲ三箇年延長シテ昭和十四年度トシ更ニ昭和七年度ニ至リ三十二萬八千二百二十七圓ヲ節減シテ總工費一千二十九萬七千二百二十八圓トナリシガ昭和十三年度ニ至ツテ百四十萬圓ヲ増額シ尙施行年度ヲ三箇年延長シテ昭和十七年度迄トシ結局總工費一千百六十九萬七千二百二十八圓トナレリ

其改修區域ハ幹川ニ在リテハ左岸秋田縣河邊郡豊岩村、右岸同縣同郡川添村以下日本海ニ至ル間二十一籽及支川岩見川ニ在リテハ左右岸共秋田縣河邊郡豊島村以下雄物川合流點ニ至ル間五籽、計二十六籽ナリ

### 施工狀況

本改修工事ハ大正六年度ノ創業ニシテ翌七年度ニ一部ノ土地買收ヲ行ヒ大正八年度ヨリ河邊郡新屋町地内新川開鑿工事ニ着手シ爾來二十一箇年間改修ノ主力ヲ之ニ傾注シ新川低水路掘鑿ニ伴ヒ護岸床固ヲ施シ昭和十三年四月舊府縣道ノ一部長六十米、幅八米ヲ爆破シ新川ヲ通水セシメ多年ノ宿望タリシ改修工事ノ目的ノ一部ヲ達スルヲ得タリ

本年度掘鑿總土量五萬一千七十九立方米ニシテ牛島掘鑿ニ於テ四萬二千八百八十三立方米ト四ツ小屋掘鑿ニ於テ八千八百九十六立方米ヲ掘鑿シタルノミナリ浚渫工事ニ在リテハ南秋田郡土崎港町相染新田地先ニ於テ土量二十七萬一千百七十立方米ヲ

浚渫シ其ノ大部分ハ港外ノ海中ニ運搬投棄シ他ノ一部ハ土崎港東北振興土地株式會社所有地内ニ吸上排砂セリ其ノ他牛島浚渫ニ於テ三萬九千四百二十四立方米ヲ人力ニテ右岸堤外河川敷へ運搬セリ

築堤工事ニ於テハ主トシテ掘鑿土ヲ利用シ之ガ築設ヲ爲シ川添村及四ツ小屋村ニ於テ二箇所ヲ施行シ本年川ニ於ケル築立土量八百八十三立方米ナリ

突堤工事ハ前年度ノ方針ヲ踏襲シ北突堤ハ單ニ越冬中ノ基礎ノ被害ヲ補修スルノ程度ニ止メ專ラ南突堤ノ進捗ニ努メタルモノニシテ工事ト夏期ニ於テハ土崎港修築突堤工事ニ主力ヲ注ギ八月下旬ニ至リ漸ク堤體工事ニ着手セリ南突堤三區ノ一ニ於テ二千八百二十立方米ノ捨石ヲ行ヒ南突堤三區ノ二ニ於テ方塊百七十三個ヲ据付ケタリ而シテ第五方塊製造所ニ於テ百四十三個ヲ製造セリ

護岸水制工事ハ雄物川締切堤護岸（五號）ニ於テ二百二十八米ト四ツ小屋第三護岸ニ於テ二百米ヲ施行セリ其ノ外向中川原水制増補ニ於テ三十五米 豊成水制ニ於テ六十米ヲ施行セシノミナリ

第二割石採取運搬ニ於テ七百九十六立方米六ノ割石ヲ運搬シタリ

床固工事中新屋第一床固ハ昭和十五年十一月三十日打切竣功トセリ

洗堰床固ハ締切堤護岸ト相俟チテ洗堰基礎及河床ノ洗掘ヲ防止セシ爲メ施行スルモノニシテ昭和十五年五月十五日竣功セリ

洗堰第二ハ先ニ雄物川舊川締切箇所ニ沈設セラレタル基礎井筒上ニ設置セラルベキ徑間三米六ノ角落堰三連ノ上部工ニシテ本體並ニ其ノ上下流ノ護岸ヲ施工シ洗堰前後ノ床固ト相俟チテ本川及舊川間ノ舟航ニ便ヲ與フル一方濁水時ニ於ケル舊水路ノ清淨作用ニ役立タシメントスルモノニシテ昭和十五年十二月三十一日竣功セリ

附帶工事ニ在テハ河邊郡川添村字野開地内ニ於テ野開樋管ヲ施行シタルモ竣功スルニ至ラザリキ

改修工事本年度竣功高ハ二十四萬七千五百四十八圓ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功高ハ一千七十三萬二百五十三圓トナリ總工費一千百六十九萬七千二十八圓ニ對シ九割二分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中□ハ管理者負擔額▲ハ土捨出願者提供額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 一七、三五五・八八	三、八七五・八六	立米 五二、〇七九	九、八八二	立米 一七、四〇五・九七	三、八七五・八六	〇・九五
浚渫	立米 三〇、一四一	三、九〇七・九五	立米 三三、〇五四	五、三三三・七	立米 六三、一八五	九、一四一・六	〇・三三
築堤	二、〇七八・一〇四	一、九一三・〇	八八三	六、七四	二、〇七九・九八	一、九一三・〇	〇・九一
護岸	五、三七七	三、六二八・五	五三三	一、八二七・三	五、八一〇	二、四四五・八	〇・六〇
工事	箇所	八六、四四	箇所	二八、四九一	箇所	一一四、九三	〇・三三
事費	箇所	二、五〇、五八一	箇所	七	箇所	二、五〇、五八一	〇・九八
費	米 四九六	四、三二一・八〇	米	四、八一四	米 四九六	四、三二一・八〇	〇・九七
橋梁	箇所 一	一〇七、〇〇〇	箇所	一	箇所 一	一〇七、〇〇〇	一・〇〇
用地	段 四、四三三	九、四一、三六九	段	一	段 四、四三三	九、四一、三六九	一・〇〇
直接施行	箇所 一	一〇、三三三・三三	箇所	一	箇所 一	一〇、三三三・三三	〇・八七
附工	—	—	—	—	—	—	—
事費	—	—	—	—	—	—	—
帶費	—	—	—	—	—	—	—
雄物川架橋負擔	—	八、〇〇〇	—	—	—	八、〇〇〇	—

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
船舶及機械費		▲ 三〇、〇〇〇		▲ 三〇、〇〇〇		▲ 三〇、〇〇〇
測量費		▲ 五、〇〇〇		▲ 五、〇〇〇		▲ 五、〇〇〇
營繕費		▲ 二、〇〇〇		▲ 二、〇〇〇		▲ 二、〇〇〇
雜費		▲ 一、〇〇〇		▲ 一、〇〇〇		▲ 一、〇〇〇
共濟組合給與金		▲ 四、〇〇〇		▲ 四、〇〇〇		▲ 四、〇〇〇
臨時家族手當		▲ 一、〇〇〇		▲ 一、〇〇〇		▲ 一、〇〇〇
總計		▲ 四、〇〇〇		▲ 四、〇〇〇		▲ 四、〇〇〇
						歩竣 合功

## 第五 千曲川改修工事

本工事ハ大正七年度ヨリ昭和二年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費八百五十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ歐洲大戰ニ因ル物價騰貴ノ爲メ大正十二年度ニ於テ工費三百六十萬四千圓ヲ増額シテ一千二百十萬四千圓ト爲シ施行年度四箇年ヲ繰延ベ昭和六年度迄トシタルモ關東大震災突發ノ爲メ更ニ五箇年ヲ延長シ尙國庫財政緊縮ヲ要スル爲メ昭和三年度以降ニ於テ三回ニ亙リ工費百十萬四百三十圓ヲ減額シ工費一千百萬三千五百七十圓(内長野縣負擔四百四十五萬八千五百二十四圓)ト爲シ昭和十四年度ニ於テ竣功セシムルコトナレリ然ルニ昭和十二年度ニ於テ日支事變勃發ノ爲メ竣功年度ヲ更ニ一箇年度延長シ昭和十五年度ト爲セリ而シテ其ノ區域ハ幹線ニ在リテハ左岸上田市 右岸小縣郡神川村以下下高井郡高丘村大字立ヶ花ニ至ル五十七軒並ニ左岸下水内郡秋津村 右岸下高井郡倭村以下同郡瑞穂村左岸下水内郡太田村ニ至ル十三軒 支川犀川ニ在リテハ右岸更級郡共和村以下幹川合流點ニ至ル十軒、計八十軒ナリトス

### 施工狀況

本年度ハ前年度ニ引續キ築堤八工事、護岸七工事ヲ施行シ全工事ヲ竣功セシムル豫定ニテ銳意工事ノ進捗ヲ圖リシモ出役者ノ大半ハ農蠶業ノ餘暇ニ出役スル沿岸民ナルヲ以テ冬期ノ閑散期ヲ利用シ工事ノ進捗ニ努メタリシガ事變ノ進展ニ伴フ勞力不足ノ爲メ築堤三工事、護岸四工事ヲ竣功セシガ爾餘ノ八工事ハ十六年度ニ繰越スノ已ムナキニ至レリ其ノ狀況左ノ如シ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續ノ瑞穂、下鹽尻、柏尾、下之條、下半過、村上、反町、蓮第二ノ八工事ヲ施行シ土量八萬七千七百六十八立方米中二千八百七十五立方米ハ護岸根掘土ヲ利用シ一萬六千二百七十三立方米ハ有償ニテ採土シ六萬八千六百二十立方米ハ舊堤及川敷等ヨリ人力ニテ採土シ之ヲ五瓩瓦斯倫機關車又ハ馬力ニ依リ運搬シ柏尾、村上、蓮第二ノ三築堤ハ竣

功セリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續ノ下鹽尻、沖田、反町、下之條第二、下半過、南屋島、村上ノ七工事ニ於テ石張、木工沈床、捨石等ヲ施行シ沖田、下之條第二、南屋島、村上ノ四工事ハ竣功セリ

用地買收ハ南條村外五箇村地内ノ土地二段五畝十五歩ヲ買收シ其ノ他地上物件移轉ヲ行ヒ八百圓ヲ支拂ヘリ

本年度ノ竣功額ハ十五萬五千三百三十二圓ニシテ創業以來ノ累計ハ一千六十七萬九千八百二十五圓(外ニ河川改良費當時ノ事務費二十七萬五千圓)トナリ之ヲ總工費一千七十二萬八千五百七十圓ニ比スレバ九割七分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ

如シ但シ「〇」ハ利用土量「▲」ハ地元寄附額「□」ハ管理者提供額「△」ハ別設計採取石代金「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費ヨリ流用セリ

費用目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 六八、〇〇〇	三、四、六、八	立米 八、八、八三	四、八、八三	立米 六八、〇〇〇	三、四、六、八	1.00
本築堤	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇.00
工水門	簡所 七、一、五、五、八五五	三、五、三、九、四六	簡所 八、八、八三	四、八、八三	簡所 七、一、五、五、八五五	三、五、三、九、四六	〇.99
事護岸	簡所 二、〇〇、九六五	二、七、八、二、七四	簡所 二、八、八三	二、八、八三	簡所 二、〇〇、九六五	二、七、八、二、七四	〇.99
費採石	米 三、八、〇、九六	一、一、七、七、五〇	米 一、二、七、〇、六	一、二、七、〇、六	米 三、八、〇、九六	一、一、七、七、五〇	〇.99
運搬	簡所 三、三、三、三	三、三、三、三	簡所 三、三、三、三	三、三、三、三	簡所 三、三、三、三	三、三、三、三	1.00
用地買收	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇.00
其他	簡所 二、一、九	二、一、九	簡所 二、一、九	二、一、九	簡所 二、一、九	二、一、九	1.00
合計	立米 六八、〇〇〇	三、四、六、八	立米 八、八、八三	四、八、八三	立米 六八、〇〇〇	三、四、六、八	1.00

第一章 河川改修工事 (千曲川改修工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	退職手当當	臨時手当當	雜費	營業繕費	測量費	船舶及機械費
1	1	1	1	1	1	1	1	1
×▲□					×			
100,000 33,900 104,100 115,000 1,540,000 1,654,100	1	41,840	907	101,011	3,990,000 1,950,000 5,940,000	1,868,600	58,331	4,495,900
1	1	1	1	1	1	1	1	1
×▲□					×			
111,111 1,111,111 1,222,222	982	1,801	1	1	1,111,000	661	11	7,853
1	1	1	1	1	1	1	1	1
×▲□					×			
100,000 100,000 111,111 1,111,111 1,222,222 1,333,333 1,444,444 1,555,555 1,666,666 1,777,777 1,888,888 1,999,999 2,000,000	982	1,801	907	101,011	3,990,000 1,950,000 5,940,000	1,868,600	58,331	4,495,900
1	1	1	1	1	1	1	1	1

## 第六 岩木川改修工事

本工事ハ當初大正七年度ヨリ昭和二年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業トシテ總工費七百萬圓ヲ以テ施行ノ計畫ナリシガ大正十二年ニ至リ時局ノ影響ヲ受ケ諸物價及勞銀ノ昂騰ニ因リ三百四十萬圓ヲ増額シ總工費一千四十萬圓トシ其繼續年度ヲ昭和十一年度迄トセリ

其後物價ノ變動財政緊縮等ノ爲メ昭和三年五萬圓 同五年十九萬五千四百五十圓、同六年五十三萬七千八百六十三圓ヲ節減シ總工費九百六十一萬六千六百八十七圓トシ施行年限ヲ昭和十三年度迄トセシガ昭和七年更ニ二十五萬四千六百六十六圓ヲ減額シ總工費九百三十六萬二千二十一圓ニ變更シ昭和十四年度竣功ノコトニ更メタリ

然ルニ偶々昭和十年八月未曾有ノ大洪水ニ際會シ當初計畫區域外ノ岩木川上流幹支川堤防ハ隨處ニ決潰又ハ溢流ヲ來シ津輕平野ノ大半凡ソ二萬二千ヘクタールハ全ク水中ニ没シ湛水二日乃至七日ニ及ビ農作物並工作物ノ被害甚大ナルモノアリ慘害實ニ其極ニ達セリ

此慘害ニ鑑ミ當初計畫改修區域外上流部ヲモ追加改修ノ緊要ナルヲ認メ昭和十一年之ガ工費三百七萬六千圓ヲ追加シ總工費一千二百四十三萬八千二十一圓トシ繼續年度ヲ昭和二十三年度迄トセシガ其後國庫財政ノ都合ニ依リ施行年度ノ繰延ベヲ行ヒ昭和十五年ニ於テ繼續年度ヲ昭和二十五年迄ト更改セリ

施行區域ハ幹川左岸青森縣中津輕郡藤代村、右岸同郡和德村以下西津輕郡十三湖ニ至ル五十五軒九、支川平川左岸同縣中津輕郡和德村、右岸南津輕郡藤崎町以下幹川合流點ニ至ル四軒、支川新十川左岸同縣北津輕郡梅澤村、右岸同郡榮村下新合流點ニ至ル六軒八、支川舊十川左岸同縣北津輕郡三好村、右岸同郡嘉瀨村以下現合流點ニ至ル四軒五、支川山田川同縣西津輕郡車力村地内田光沼下流河口ニ至ル約十軒トス

## 施工狀況

本工事ハ大正七年六月ノ創業ニシテ初年度及八年度ニ於テハ專ラ測量調査其他施行上諸般ノ準備ヲ進メ九、十兩年度ニ於テ一部掘鑿工事ニ着手シ主トシテ人力トロニ依レリ次デ十一年度以降ニ至リ土工用諸機械愈々整備セルヲ以テ人力並機械ヲ以テ活潑ナル掘鑿工事ノ施行ヲ見ルニ至リ之ガ進捗ニ伴ヒ築堤工事其他ノ諸工事モ著々進行セシムルコトヲ得タリ由來當地方ハ本州北端ニ位スル爲メ天候ニ惠マルコト少ナク施行上其ノ受クル打撃ハ決シテ寡ナシトセズ即チ冬期十二月ヨリ翌年三月迄ハ降雪多ク吹雪猛烈ニシテ寒期亦嚴シク工事ノ施行殆ンド不可能ナリ

四、十一月ノ兩月モ亦天候不良ノ障礙ニ因リ施行ノ難澁ヲ免レズ更ニ五、六、十ノ三箇月ハ工事ノ進捗ヲ圖ルニ最モ好時期ナルモ農繁期ノ爲メ出役人夫極度ニ拂底シ工事進捗ノ掣肘ヲ受クル甚大ナリ斯テ一箇年ヲ通ジ工事施行ノ好期ハ僅々七、八、九ノ三箇月ニ過ギズ加之輓近地方特産苹果ノ栽培激増ノ結果益々就勞者拂底ノ度ヲ深メ勞銀高率ヲ誘掖スルノ傾向アルモノノ如シ

如斯當地方ハ工事施行上幾多ノ障礙ヲ擁スルヲ以テ圓滑ナル事業ノ遂行ニハ不寡苦慮ヲ要スト雖モ一意之ガ進捗ヲ企圖セル結果豫定ノ功程ヲ進メ得タリ

本年度ニ於ケル施行狀況ノ概要ハ次ノ如シ掘鑿工事、本工事施行區域ハ本川筋ニ於テ西津輕郡車力村、支川新十川筋ニ於テ北津輕郡榮村、五所川原町ノ各地内ニシテ○・四二立方米積トロヲ以テ人力並馬匹ニ依リ高水敷及低水路ノ掘鑿ヲ爲シ其土砂ハ主トシテ前記地内ノ築立土ニ利用シ功程一萬四千八百三立方米工費九千九百六十二圓ヲ要セリ

浚渫工事ハ本川筋西津輕郡車力村、北津輕郡武田村地内ニ於テ前年度浚渫土量ノ運搬ヲ爲セリ其竣功土量五千五百立方米ニシテ支川筋西津輕郡車力村地内ニ於テ小運搬セル土量一千四百五十九立方米工費三千三百十六圓ヲ要セリ

築堤工事ハ前記掘鑿土ヲ利用ノ外自辨土量ニ依リ北津輕郡榮村、五所川原町、三好村、嘉瀬村、金木町、武田村、西津輕郡車方村、中津輕郡和徳村ノ各地内ニ互リ竣功土量十一萬二千三百六十三立方米、延長一千十三米、工費四萬二千九百七十二圓ヲ要セリ

突堤工事ハ西津輕郡十三村地先南突堤ノ一部補修工事ヲ爲シ工費二千六百十二圓ヲ要セリ

護岸工事施行箇所ハ中津輕郡和徳村地内ノ礫詰護岸ニシテ其延長百二十米、工費二千四百四十三圓ヲ要シテ本年度之ヲ竣功セリ

土地買收ハ工事施行上ノ必要限度ニ止メ地積一町二段此買收費一千四百三十圓、物件移轉費七十七圓、賃借地喪失補償二十二圓ヲ要セリ

附帶工事施行箇所ハ支川新十川筋北津輕郡榮村地内ノ本體長九十四米、内法高幅共二米ノ五所川原伏越ニシテ本年度竣功額二萬三千三百九十二圓全額國庫補助セリ

以上本年度ニ於ケル竣功額合計十五萬二千二百六十圓ニシテ起工以來ノ累計九百七十六萬九千八百五十一圓ナリ

之ヲ總工費一千二百四十三萬八千二十一圓ニ比スレバ約七割九分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「」ハ管理者負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	五、一五八、〇〇〇 <small>立米</small>	一、五九八、五五二 <small>圓</small>	一四、八〇三 <small>立米</small>	九、九六二 <small>圓</small>	五、一七二、〇〇〇 <small>立米</small>	一、六〇一、五一〇 <small>圓</small>	〇・七〇 <small>割分</small>
本浚	三三三、〇八七	九、九八二 <small>圓</small>	五、五〇〇	三、三三三 <small>圓</small>	三三三、〇八七	一〇一、七四三 <small>圓</small>	〇・〇〇



## 第七 阿賀川及阿武隈川改修工事

本工事ハ大正八年度ヨリ昭和八年度ニ至ル十五箇年度ノ繼續事業トシテ工事費一千三百七十二萬百五十圓(内阿賀川七百三十三萬九百七十七圓、阿武隈川六百三十八萬九千七百七十三圓)事務費二十萬七千九百六十圓、合計一千三百九十二萬八千一百十圓ヲ以テ施行ノ計畫ナリシモ大正十二年帝都ノ大震災ニ因リ財政上年割額ヲ變更シ昭和十一年度迄三箇年度ノ繰延トナリ次テ昭和五、六年度ニ於テ工事費百十八萬六千四百二十一圓ヲ節約減額ノ外竣功年度ヲ昭和十五年度ト更定セシガ昭和七年度ニ至リ福島市附近一帯ヲ追加施行スルコトトナリ工事費五十九萬二千圓ヲ増額シタル共同年度ニ於テ財政上ノ都合ニ因リ四十三萬七千二百三十三圓ヲ節減シタル結果工事費一千二百六十八萬八千四百九十六圓トナレリ然ルニ昭和十一年度及十三年度ニ於テ更ニ各一箇年度ヲ延長シ昭和十七年度迄トセシガ本年度ニ至リ阿武隈川改修費ニ於テ既定計畫並ニ新規追加工事費トシテ事業費二百五十萬圓ヲ追加シ竣功年度モ亦七箇年度繰延ベ結局總工費一千五百二十三萬八千四百九十六圓(内阿賀川六百十四萬七千七百七圓、阿武隈川九百九萬七百八十九圓)施行年度ヲ昭和二十四年度迄三十一箇年度ノ繼續事業トシテ施行スルコトトセリ

阿賀川改修區域ハ幹川福島縣北會津郡大戸村大字雨屋以下同縣河沼郡川西村大字長井ニ至ル三十一軒五、支川宮川ハ同縣北會津郡荒井村以下阿賀川合流點ニ至ル二軒八、支川湯川ハ若松市以下阿賀川合流點ニ至ル二軒五、合計三十六軒八ナリトス

阿武隈川改修區域ハ福島縣安積郡永盛村ヨリ下流同縣田村郡逢隈村ニ至ル十四軒及同縣安達郡本宮町附近一軒八、並同縣信夫郡杉妻村ヨリ下流同縣伊達郡五十澤村ニ至ル二十二軒、支川荒川ハ同縣信夫郡荒井村字地藏原以下合流點ニ至ル十四軒、支川逢瀬川ハ郡山市ヨリ合流點ニ至ル一軒五、合計五十三軒三ニ達シ郡山市ヲ中心トスル安積平野、本宮町及信達平野ノ主

要部ヲ包含ス即チ兩川ヲ通ジタル改修區域ノ延長ハ九十軒一ナリトス

## 施行狀況

阿賀川改修工事ハ大正十年二月ノ創業ニ係リ爾來十九箇年餘ノ星霜ヲ經テ現今ニ至リ著々其ノ工事ノ進捗ヲ見ツツアリ而シテ本年度ニ施行セル掘鑿工事ハ支川湯川筋新水路開鑿及支川宮川筋新水路開鑿ニシテ主トシテ機械掘鑿ニ依リ短梯掘鑿機一臺ヲ使用シ之ニ二十噸蒸汽機關車一臺並木製三立方米積土運車ヲ配屬シ土砂ハ大部分附近築堤敷へ運搬シ一部分附近洪水敷へ運搬セリ其ノ他人力掘鑿積込ヲ爲シ小型瓦斯倫機關車二臺並小型デーゼル機關車一臺ト人力トロ運搬、畚擔等ヲ併用セリ而シテ本年度掘鑿土量ハ四萬八千六百八十立方米ナリ

築堤工事ハ主トシテ掘鑿土量ヲ利用シ得ルモ一部掘鑿土少キ箇所ハ附近洪水敷ヨリ自辨採取シ築堤施行中ニシテ本年度ニ於テハ本川筋縮ノ内村地内、荒井村地内、神指村地内、金上村地内、勝常村地内及支川湯川新水路兩岸築堤並田付川築堤ヲ施行シタル外既成堤防ノ不同沈下等ニ因ル補修工事ヲモ施行シ築立土量三萬九千七百七十七立方米ヲ竣功セリ

護岸水制工事ハ河狀ノ變化ニ因リ流水ノ激突ヲ受ケ新堤法先洗掘ノ虞レアル門田村飯寺地内、神指村南四合地内、勝常村堂畑地内、廣瀬村五香及立川、青木並青津地内、川西村長井地内及支川濁川筋堂島村大田木地内ニ玉石張護岸、木床、杭出水制等ヲ施行延長一千五百二十七米ヲ竣功シ専ラ洪水ニ因ル被害ノ輕減ニ努メタリ附帶工事ハ支川田付川筋耶麻郡堂島村大字大田木地内ニ排水樋管四箇所ヲ新設ノ爲メ本年十二月着手床掘及基礎ノ一部分ヲ施行シ翌年度へ繰越セリ、其ノ他支川湯川筋神指村地内湯川新水路ニ橋梁一箇所及同川筋同村南四合地内ニ用惡水路及樋管新設等ヲ曩ニ起工シ一部施行シタルモ工事ノ都合上本年度休工セリ

土地買收ハ昭和十三年九月一日ノ災害ニ因ル復舊工事用地タル本川筋河沼郡川西村大字長井地内及同郡金上村地内村社諏訪

神社境内代地ノ買収ニシテ此ノ段別二町六段九畝餘歩、價額五千四百四十三圓ナリ而シテ本年度ニ完了セシ段別一町三段餘歩ニシテ手續未済ノ爲メ翌年度へ繰越スモノ一町八段餘歩ナリ

本改修工事ノ竣功額ハ本年度二十二萬二千五百九十一圓、着手以來ノ累計五百七十五萬四千三百四十一圓ニシテ總工費六百十四萬七千七百七圓ニ對シ九割四分ノ竣功ニ當レリ

阿武隈川改修工事ハ大正八年度ノ創業ニシテ爾來工期ノ延長、豫算ノ削減、物價ノ高騰等幾多工事施行上ノ困難ヲ經テ着々工ヲ進メ築堤ノ如キハ全區域ヲ通ジ大部分其ノ形態ヲ整ヘタリト雖モ之ヲ保護スベキ護岸水制工事ハ未ダ充分ナラズ偶々昭和十三年七月及九月前後二回ニ互リ起工以來ノ大出水ニ遭遇シ益々其ノ不備ヲ思ハシムルモノアリタルニ依リ本年度豫算ヲ増額シ事業ノ完遂ヲ期スコトナレリ

本年度施行ノ掘鑿工事ハ郡山附近田村郡小泉村大字阿久津地内、同郡逢隈村大字鬼生田地内間ニシテ何レモ人カヲ以テ掘鑿シ其ノ土量四萬六千二百六十七立方米ノ内四萬三千百五十八立方米ハ久保田八丁目築堤へ運搬利用シ三千百九立方米ハ堤外官有地へ運搬投棄セリ

築堤工事ニシテ既定計畫ニ基クモノハ郡山附近左岸福島縣安積郡富久山町大字久保田、同郡日和田町大字三丁目間ニシテ築立土砂ハ前記掘鑿土ヲ利用充當セリ又補修工事トシテ施行セルモノハ支川荒川筋福島縣信夫郡佐倉村大字上名倉地内一箇所ニシテ築立土砂百四十三立方米ハ附近高水敷ヨリ運搬シ年度内之ガ竣功ヲ見タリ

本川筋右岸福島縣伊達郡伏黒村大字中瀬地内ヨリ下流ハ昭和十三年度災害復舊工事施行ニ當リ河川將來ノ維持上法線ヲ堤内ニ移動シタル結果之ニ接續セル既設堤防ヲモ移築スルノ必要ヲ生ジ昨年度伊達崎橋下流部四百五十米ノ移築ニ着手シ本年度更ニ其ノ上流部八百四十米ノ移築工事ニ着手セリ

本年度新堤敷ニ搬入セル土砂ハ五萬九千六百十四立方米ニシテ其ノ大部分ハ福島縣伊達郡伏黒村大字中瀬地内高水敷ヨリ掘

鑿機使用二十瓩蒸汽機關車運搬ノ工法ヲ以テ運搬セリ

支川逢瀬川ノ堤防ハ昭和十三年九月ノ出水ニ因リ溢水シ一部破堤スルノ被害ヲ蒙リタルニ鑑ミ左岸四號國道ヨリ下流右岸磐越東線ヨリ下流部ニ於テ川幅ヲ擴ゲ或ハ既設堤防ノ擴築嵩置ヲ爲スコトトシ本年度之ガ工事ニ着手セリ而シテ本年度搬入土量ハ二萬九百六十八立方米ニシテ土砂ハ本川筋廢川敷ヨリ四千七百七十六立方米、本川高水敷ヨリ一萬二千七十七立方米ヲ運搬スルト共ニ舊堤土四千八百八十五立方米ヲ移築セリ

護岸工事トシテ本年度着手セルモノハ福島縣伊達郡伊達崎村大字伊達崎地内、同縣信夫郡荒井村大字北水林地内、同郡佐倉村大字上名倉地内ノ三工事ニシテ福島縣伊達郡伏黒村大字中瀬地内、同縣信夫郡水保村大字庄野地内、同郡佐倉村大字上名倉地内ノ三工事ハ前年度ヨリ繰越シタルモノナリ而シテ是等ノ箇所ニハ夫々河狀ニ應ジ玉石張鐵線蛇籠工、木工、沈床合掌枿等ノ工法ヲ應用施行シ石張元詰沈床蛇籠ニ使用スル石材ハ信夫郡瀬上町大字向瀬上地内石山及荒川筋信夫郡佐倉村、水保村地内河川敷ヨリ採取運搬シ之ニ充當スルコトトセリ前記六工事ノ内本年度竣功セルモノハ伊達郡伊達崎村大字伊達崎地内、信夫郡水保村大字庄野地内、同郡佐倉村大字上名倉地内、同郡荒井村大字北水林地内ノ四工事ニシテ竣功延長五百七十九米ナリ又特殊工事タル支川荒川筋改修終點地藏原堰堤ハ昭和十年度第一次増補工事トシテ混凝土積堰堤部ノ水叩ヲ完成シ土堰堤部ニ嵩置ヲ施シ現在ニ至リタルモ其ノ後數次ノ出水ノ爲メ土砂堆積シ土堰堤部分溢水ノ虞レアルヲ以テ更ニ二米ノ嵩置ヲ施スベク本年度之ガ工事ニ着手セリ

改修工事用地トシテ本年度發表シタルハ二段八畝歩、金額一千八百五十三圓ニシテ前年度ヨリ繰越シタルモノト併セ年度内四千五百二十五圓ノ支拂ヲ了シ殘餘ハ次年度へ繰越スコトトナレリ

附帶工事トシテ管理者施行ノ福島縣伊達郡伊達崎村地内、福島、梁川線伊達崎橋繼足工事ハ既述堤防移築ノ結果必要ヲ生ジタルモノニシテ本年度工事ヲ完成シタルヲ以テ全額國庫負擔金ノ支拂ヲ了セリ

本改修工事ノ竣功額ハ本年度十九萬七千八百三十六圓、着手以來ノ累計六百七十一萬二千五百三十八圓ニシテ總工費九百九萬七百八十九圓ニ對シ七割四分ノ竣功ナリ

本年度阿賀川及阿武隈川改修工事竣功額ハ四十二萬四百二十七圓、起工以來ノ累計一千二百四十六萬六千八百七十九圓ニシテ總工費一千五百二十三萬八千四百九十六圓ニ對シ八割二分ノ竣功ニ當レリ其ノ竣功表左ノ如シ但シ表中□ハ管理者負擔額△ハ土捨出願者提供額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
浚渫	立米 五九〇、五八九	三、五二七、七〇〇 円	立米 一	一 円	立米 五九〇、五六九	三、五二七、七〇〇 円	一分
築堤	一三、三三〇、八六一	三、五〇九、三三〇	九四、九四七	五、四三三、三三三	一三、三四九、八〇八	三、五四八、六六三	〇・八三
締切	五、二七三、八七七	七、五〇〇、三三三	一三三、〇六一	六、六、五〇〇	五、四〇六、八八八	七、五〇六、八三三	〇・七二
工事	前所	六、六、六七	前所	一	前所	六、六、六七	〇・〇三
護岸	九〇、七五〇 米	九、四二一、九三七	二、一〇六 米	一、四七、八〇〇	九二、八五六 米	一〇、九〇〇、七三七	〇・六四
費	前所	四、九、九七七	前所	一	前所	四、九、九七七	〇・〇〇
水堰	一	一、四七、八八一	一	七、三、三三三	一	一、〇〇、〇〇〇	〇・〇〇
用	九、〇、八三三 費	一、八、八三三、一一八	二、五、四七	七、〇、九七	九、〇、八三三 費	一、八、八三三、一一八	一
直接	前所	三、〇、〇〇〇	前所	一、〇、〇〇〇	前所	三、〇、〇〇〇	〇・一六
附帶	前所	三、〇、〇〇〇	前所	一、〇、〇〇〇	前所	三、〇、〇〇〇	〇・一六
管理	前所	三、〇、〇〇〇	前所	一、〇、〇〇〇	前所	三、〇、〇〇〇	〇・一六
費	前所	三、〇、〇〇〇	前所	一、〇、〇〇〇	前所	三、〇、〇〇〇	〇・一六

本表ヲ更ニ河川別ニスレバ次ノ如シ

### 阿賀川改修

費用	工事費				前年度迄竣功高	本年度竣功高	合計	竣功歩合
	掘	築	締	護				
船舶及機械費					二、八四三、四三三	三、八、八四	二、八八三、三六六	一
測量費					一、六、一七	一、五、八	一、八、一七六	
營業費					一、一、三三三	二、八、七	一、一、七、一八一	
雜費					一、三、八七、四七九	七、三、七、四	一、四、四、〇、八五三	
共濟組合給與金					五、一、四、四、五	二、五、三、三	五、三、九、八	
臨時家族手當					一、三、〇、八、四、五	四、〇、〇、四、七	一、三、四、六、八七九	
總計					▲□ 一三、〇、八、四、五 三、一、〇、八、五 一三、四、〇、〇、〇	▲□ 四、〇、〇、四、七 七、八、八	▲□ 一三、四、六、八、七九 三、一、〇、八、五 一三、七、七、九三	〇・八一
掘	六、九四八、七九〇 立米	一、九、二、六、八七	三、九、一、七、七	四、八、六、八〇 立米	一、五、一、七、五	六、九、七、七、四〇 立米	一、九、二、一、〇、一一	〇・七八 割分
築	一、五、三、一、二九	三、三、一、二、五	三、九、一、七、七	四、八、六、八〇 立米	二、一、五、五、八	一、四、四、〇、〇、〇	三、三、四、一、八七	〇・七三
締	簡所 一	六、八、七	簡所 一	簡所 一	一	簡所 一	六、八、七	〇・三三
護	一、五、〇、〇、天米	四、八、四、一、四	一、五、七、七米	一、五、七、七米	一、〇、八、八、一	一、六、五、三、三米	五、五、九、一、五五	〇・五九
地	三、五、〇、度	六、五、一、五、八	三、度	三、度	二、一、五、七、二	三、五、三、三度	六、〇、七、八、〇、〇	

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
附事直接施行	未竣功	□	未竣功	□	未竣功	□	〇・四三
帶管理施行	簡所 二二	一三、九三五	簡所 八	一、〇八八	簡所 八二	一五、〇三三	
工費	四	四八、一五五			四	四八、一五五	〇・四三
船舶及機械費		一、三六六、四一五		一五、五六二		一、四〇、九七六	
測量費		八、一六七		五七二		八、五三九	〇・四三
營業繕費		四五、六二二		七五六		四六、三七八	
雜費		七五、一五二		三三、六四七		一〇八、八九九	〇・四三
共濟組合給與金		三〇、〇四〇		一、〇六六		三一、一〇六	
臨時家族手當		五、三二一、七五〇		九五五		九五五	〇・四三
總計		五、三二一、七五〇		二二二、五九一 七八		五、五四四、三四一 一〇〇、九〇〇	

阿武隈川改修

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	立米 五〇、五八九	三、七〇四	立米 四六、三三七	一、九、五二一	立米 五九〇、三八九	三、七〇四	〇・四三
鑿	立米 一、〇〇、六三六、〇〇〇	一、三、〇〇〇	立米 一、〇〇、六三六、〇〇〇	一、三、〇〇〇	立米 一、〇〇、六三六、〇〇〇	一、三、〇〇〇	

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶及機械費	工費	帶管理者施行	附事直接施行	用地費	費用		事護岸水制	工築堤
											堰	堤門		
							未竣功							
								一七	簡所	五、五三			簡所	三、七四一、七四八
▲								六〇	簡所	九八九、八六〇	一	簡所	四二、七六八	
□	一七、七三二	一、九七五〇	六、八、七五〇	八、四四七	一、四五八、〇七	一、七九、三九五		五、三四八	簡所	一七四、八八一		簡所	四九四、五三三	五、二七、六九七
▲								一	簡所	四、九五六		簡所	五七九	一、二、一八四
□	一、七、八三六	一、五、八二〇	四、〇、七二七	二、〇、三〇三	一、一九、一	二、三、三三三	一、六、一三九		簡所	五、五三三			三、六、七三三	四、〇、八四四
▲								八	簡所	四、五三五		簡所	三、八、六六六、三三三	
□	一、七、七三二	一、三、八三五	六、九、八、九五	一、〇、八三三	一、四、八、二八〇	一、五、三、四四		六〇	簡所	一八、一〇〇		簡所	四、六、九七	五、一、一、四三一
▲														
□	一、〇、四七	一、〇、四七												〇、一、一、四三一

## 第八 富士川改修工事

本工事ハ大正九年度ヨリ昭和四年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費九百三十萬圓(上流部七百萬圓、下流部二百三十萬圓)ナリシガ豫算編成當時ニ比シ一般物價及勞銀ノ昂騰甚シク工費ニ不足ヲ告ゲタルヲ以テ大正十二年度以降増額シテ一千二百萬圓(上流部九百萬圓、下流部三百萬圓)ニ改メ施行年限ヲ昭和六年度迄延長セリ然ルニ翌十三年度ニ於テ財政ノ都合ニ依リ施行年限ヲ更ニ昭和十一年度ニ延長シ施行中ナリシガ一般財政緊縮ノ爲メ昭和四年度以降百十一萬四千四百九十二圓ヲ減額シ竣功期限ヲ同十四年度迄延長シ更ニ昭和七年度ニ至リ工費三十七萬八千三百七十一圓ヲ減シ總工費ヲ一千五十萬七千三百七十七圓ニ改メ竣功期限ヲ一箇年度延長シテ昭和十五年度ニ至ル繼續事業ト更メラレシガ重テ同十四年度ニ至リ竣功期限ヲ更ニ同十七年度ニ至ル二十三箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ

其ノ區域ハ上流部ニ在テハ從來幹川山梨縣中巨摩郡龍王村以下ナリシヲ設計變更ニ伴ヒ更ニ上流ノ一部ヲ加ヘテ北巨摩郡葦崎町以下同縣南巨摩郡五開村ニ至ル二十六籽トシ支川笛吹川同縣東八代郡石和町ヨリ同縣西八代郡市川大門町三川合流點ニ至ル十九籽又下流部ニテハ幹川靜岡縣庵原郡富士川町以下海ニ至ル八籽、計五十三籽ナリトス

## 施工狀況

本工事ハ大正九年度ノ創業ニシテ直ニ上流及下流部ニ各土地收用事務所ヲ設置シテ土地買收調査ヲ行ヒ翌十年度ヨリ買收協議ヲ開始シ其ノ進捗ニ伴ヒ下流部ハ十年八月、上流部ハ同十三年六月各土地收用事務所ヲ閉鎖シ其ノ殘務ハ上流及下流改修事務所ニテ處理スルコトトシ大正十四年度迄ニ一般ノ買收ヲ終リ其ノ後ハ必要ニ應ジテ一部ノ追加買收ヲ行フニ過ギズ本年度ニ於テハ上下流部ヲ通ジテ用地費ヲ支出セシモノナリ而シテ着手以來買收總段別百九十七町五段餘ニシテ用地費九十四萬

一千三百五十二圓餘ヲ算セリ

工事ノ施行ニ關シテハ下流部ハ大正十年四月靜岡縣富士郡岩松村ニ又上流部ハ翌十一年一月山梨縣西八代郡市川大門町ニ各改修事務所ヲ置キ工事ニ當リシガ昭和四年九月末兩改修事務所ヲ合併シテ前記市川大門町所在ノ一箇所ト爲シ其ノ下ニ四工場十餘箇所ノ派出所ヲ設ケ各種ノ工事ヲ施行シ本年度末迄ニ築堤五百六十二萬一千四百九十三立方米、掘鑿七百九萬一千七百一立方米、護岸水制延長六萬二千百米餘及堰堤三箇所ヲ竣功セリ又附帶工事ノ内直轄施行ノ樋門十九箇所及水路附替一箇所並ニ管理者施行水路附替三十箇所及橋梁二箇所ヲ竣へ夫々補助金ノ交附ヲ了セリ

本年度施工ノ概況ハ上流部ニハ前年度ヨリ續工ノ築堤三箇所、掘鑿五箇所、護岸水制八箇所及堰堤一箇所並ニ本年度起工セラル掘鑿二箇所、護岸水制十箇所、計二十九箇所ヲ施行シ内築堤一箇所、掘鑿一箇所、護岸水制七箇所、計九箇所ヲ竣功セリ  
工事施行區域ハ幹川釜無川筋葦崎町地先ヨリ富士川筋羽鹿島村ニ至ル間並ニ支川笛吹川筋石和町以下富士川合流點ニ至ル間ニシテ築堤工事ニ在テハ既ニ大部分ノ工事ヲ了へ本年度土砂一萬八千三百七十九立方米ヲ搬入シタルニ過ギズ人力掘鑿ニテハ釜無、富士、笛吹各川ニ於テ亂流ヲ矯正セシ爲メ隆起セル寄洲ヲ除却シ土砂四萬五千二百九十四立方米ヲ掘鑿シ内一萬八千三百七十九立方米ヲ築堤敷ニ搬入シ二萬六千九百十五立方米ヲ堤脚底地ニ運搬シテ堤塘ノ補強ヲ圖レリ護岸水制工事ノ内釜無川筋ニ在リテハ混凝土練積石張及空積石張トシ護岸二箇、所竹筋混凝土三角構ヲ配列スル護岸及水制各一箇所、鐵筋混凝土三基柁ヲ主體トスル水制一箇所、混凝土、大、中聖牛ヲ配列スル水制二箇所ヲ施工シ之ニ伴ヒ木工沈床、木材三基柁、混凝土柁詰石ヲ根固トシテ築設セリ笛吹川筋ニテハ前年度ニ繼續セル竹筋混凝土三基柁ヲ配列セル水制一箇所及鐵筋混凝土杭出水制一箇所ヲ執レモ本年度ニ於テ竣功セシメタル外柳枝工護岸一箇所及導水堤一箇所ヲ起工シ工事中ニ屬セリ富士川筋ニテハ前年度ニ繼續セル混凝土柁詰石張護岸一箇所、本年度ニ於テ鐵筋混凝土大、中聖牛ヲ配列セル水制補修ハ本年度之ヲ竣功セシメ其ノ他ハ次年度ニ繼續セリ以上ノ工程ヲ綜合スレバ混凝土練積石張一千三百二十二平方米、空積石張一千七百七十六

平方米、竹筋混凝土三角構四十二個、鐵筋混凝土三基柱九個、竹筋混凝土三基柱三十六個、木材三基柱八十七個、混凝土大聖牛五組、同中聖牛七組、木工沈床一千五百七十一平方米餘、混凝土柱詰石張百七十二平方米、其ノ他鐵線蛇籠根固延長百三十二米、木材杭根固延長六百五十六米ヲ施工シ其ノ他竹筋混凝土板四百四枚、竹筋混凝土柱百十本ヲ製作シ此護岸水制竣功延長六百八十二米餘ニ上レリ堰堤工事ハ前年度來支川小柳川筋ニ一箇所ノ堰堤築造中ニシテ本年ニ於テ玉石混凝土二百二十八立方メートルヲ施工シ都合ニ依リ休工セリ

下流部ニテハ前年度ヨリ繼續セル掘鑿一箇所並本年度ニ起工セル護岸水制三箇所、計四箇所ヲ施行シ内掘鑿一箇所、護岸水制一箇所ヲ竣功セシメ他ハ工事中ニ屬セリ工事施行區域ハ富士郡岩松村以下海ニ至ル間ニシテ人力掘鑿工事ニテハ土砂三千三十六立方メートルヲ掘鑿シテ之ヲ堤脚底地ニ運搬投棄シ堤塘ノ安全ニ資シタリ護岸水制工事ニテハ鐵筋混凝土三角構ヲ配置セル水制一箇所、護岸石張補修一箇所、鐵筋混凝土聖牛ヲ配列セル水制増補一箇所ヲ施工セリ其ノ功程ヲ掲グレバ鐵筋混凝土三角構三個、混凝土ブロッタ八個、石張百四十七平方米、改良木床三百七十六平方米餘、木工沈床補修百二十九平方米餘及元詰延長七十四米ニシテ護岸水制延長三十三米ヲ算セリ

以上、下流ヲ通ジタル本年度竣功高ハ十七萬四千八百五十二圓餘ニシテ創業以來ノ累計竣功高ハ九百九十三萬三千三百二十圓餘ニ上リ之ヲ總工費一千五十萬七千三百三十七圓ニ比スレバ約九割五分ノ竣功ニ當レリ竣功内譯左表、如シ但シ表中「\*」ハ利用土、「□」ハ管理者負擔額、「▲」ハ提供勞力費、「△」ハ船舶機械費支辨製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	四、六六〇、立米	二、八八九、二五〇	一、八一九、立米	一、三三六、四〇〇	四、六六〇、立米	二、九〇〇、三三〇	〇・〇
本工	* 九六八、一八一	一、九一五、〇〇〇	* 一、八一九、立米	一、三三六、四〇〇	* 九六八、一八一	二、九〇〇、三三〇	〇・〇
濬	* 三、三〇〇、〇〇〇	八、八六六、六六六	* 四、六〇〇、〇〇〇	一、三三六、四〇〇	* 三、三〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	〇・八
工	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八
本工	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八
濬	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八
工	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八
本工	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八
濬	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八
工	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	▲ 三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	〇・八

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	測量費	船舶機械費	帶費	附工直轄施行	用費	費	事
							橋水路	水	樋門		
							三〇〇	二〇〇	二、九七五	三	六、三三五
▲□						△	□	△□			△
九、七五八、四六八 一七六、二八〇 三九、八六九		四四、一〇三	一、〇九、三三三	三六、三九二	三九、九八七	六八七、〇八九 三、〇〇五	一、六二、〇〇八 一、三三、七五二	一、一五、三七〇 六二、二七〇 二、五	九四、四三三	九五、四八四	二、七三、三三八 一、八九六
									樋門		
									樋門		
									一	三	七、五
▲□						△	□	△□			△
一、七四、八五二 一、七〇一	二、八三三	二、三九六	四、三三三	三〇九	一、〇三三	九、六三三		一、三三〇	三、四九九	三、四九九	八、五五五
									橋水路	水	樋門
							三〇〇	二〇〇	一、九七五	三	六、三三五
▲□						△	□	△□			△
九、九三三、三三〇 一七六、九八一 三九、八六九	二、八三三	四七、五九九	一、一四四、三〇三	三三、〇四九	〇〇〇、一四〇	六九六、七三三 三、〇〇〇	一、六二、〇〇八 一、三三、七五二	一、一五、三七〇 六三、二七〇 二、五	九四、四三三	九八、九四三	二、八五、九一三 一、八九六
〇・七										〇・八	〇・八

## 第九 木曾川上流改修工事

本川ハ曩ニ洪水ノ害ヲ除キ惡水ノ疏通ヲ圖リ兼テ舟楫ノ便ヲ改良センガ爲メ國ニ於テ明治二十年度ヨリ木曾、長良、揖斐ノ三川改修工事ヲ施行シ大正元年度竣功ヲ告ゲ豫期ノ效果ヲ舉グルヲ得タリト雖モ右改修區域ノ上流ニ屬スル部分ハ河幅狹隘屈曲甚シク且河底ニ土砂堆積シテ堤防亦薄弱ナルノミナラズ無堤ノ箇所サヘアルヲ以テ常ニ洪水ノ脅威ヲ感ジ一朝破堤ノ厄ニ會センカ當ニ上流ノ廣漠タル平野ヲ水底ニ没セシムルノミナラズ濁流更ニ下流ヲ襲ヒ既成下流改修ノ效果ヲ空シクスルノ虞アルヲ以テ夙ニ上流部改修ノ必要ヲ提唱セラレタリシが大正十年度ニ至リ工費二千萬圓（内愛知縣負擔六十八萬四千圓、岐阜縣負擔四百七十四萬五千圓）ヲ以テ十箇年度繼續事業トシテ之ヲ施行スルコトナレリ其後工期ヲ大正十一年度ニ二箇年度、翌十二年度ニ關東大震災ノ爲メ五箇年度ヲ延長シ更ニ昭和六年度ニ財政ノ都合上三箇年度ヲ昭和七年度更ニ一箇年度ヲ繰延べ昭和十一年度工費増額ニ伴ヒ六箇年度ヲ延長シ昭和十二年支那事變勃發ニ伴ヒ同年度一箇年度ヲ昭和十四年度更ニ一箇年度ヲ繰延べ都合二十九箇年度繼續事業トナレリ

然ルニ本川改修工事施工上之レニ附帶シテ支派川改修ノ緊要ナルヲ認メ昭和三年五月第五十五議會ニ於テ犀川外二箇川改良工事ニ對シ二百四十一萬四百五十圓（全部國費）ヲ追加シ更ニ第五十六議會ニ於テ境川外五箇川ノ改良工事ニ對シ二百一十一萬四千五百五十圓（全部國費）ヲ追加セルモ國家財政ノ都合上經費節減ノ爲メ昭和三年度二十一萬圓、同五年度八十二萬一千八百十圓、同六年度二百十萬五千二百二十八圓、同七年度百十九萬二千八百八十九圓ノ減額ヲ行ヒタルモ昭和十一年五月第六十九議會ニ於テ三百九十二萬五千圓ヲ増額シ結局總工費二千四百十二萬七千六百三圓（内愛知縣負擔六十九萬九千三百三十圓、岐阜縣負擔四百九十二萬四千九百八十三圓）トナリタリ

次ニ本工事施行區域ヲ示セバ木曾川筋ハ愛知縣丹羽郡犬山町以下既成區域ニ至ル約三十一軒、長良川筋ハ岐阜市以下約四十

二籽、揖斐川筋ハ岐阜縣揖斐郡北方村以下約十八籽、藪川筋ハ岐阜縣本巢郡山添村根尾川分派口以下揖斐川合流點ニ至ル約十二籽、牧田川筋ハ流末約四籽ニシテ其他犀川、三水川、牧田川上流、境川、鳥羽川、粕川、杭瀬川、津屋川及水門川等ノ各支派川ニ夫々工事ヲ施行ス

## 施工狀況

本工事ハ大正十年度ノ創業ニシテ用地買收ノ爲メ大正十一年一月土地收用事務所ヲ竹ヶ鼻町ニ開設シ其ノ後加納町ニ移セルモ大正十三年十一月之ヲ閉鎖シ改修事務所ニ於テ其ノ事務ヲ取扱ヒ來リ其後藪川筋土地買收ノ爲メ昭和三年十一月本巢郡北方町ニ再ビ事務所ヲ設置セルモ昭和四年七月之ヲ岐阜市ニ移轉シタルモ昭和十四年四月之ヲ閉鎖シ改修事務所ニ於テ其ノ殘務ヲ取扱フコトトセリ

本年度買收セル土地ハ三段餘金額三千百七十五圓四十一錢、諸補償金二千八百七十三圓八十五錢、合計六千四十九圓二十六錢ヲ支拂ヒタリ創業以來ノ成績ハ土地六百十四町五段餘歩金額四百八萬八千二百八十一圓十五錢四厘、占用禁止補償金十五萬九千四百七十七圓八十八錢、地上物件移轉料百六十八萬七千三百四十五圓十八錢、合計五百九十三萬五千四百二十一錢四厘ナリトス

工事施行ニ關シテハ大正十二年一月岐阜市忠節町ニ木曾川上流改修事務所ヲ設置シ其ノ下ニ數箇所ノ工場及多數ノ派出所ヲ置キ揖斐川、長良川、木曾川、藪川、牧田川ノ順序ニ起工シ土工用船舶機械器具ノ修理製作ノ爲メ大正十二年六月改修事務所構内ニ岐阜機械工場ヲ設置シ直營施工セリ

起工以來本年度ニ至ル功程ハ本工事ニ在リテハ掘鑿工ニ於テ一千二百八十一萬四十一立方米ヲ成工シ築堤工ニ於テハ自辨土六百九萬一千九百二十六立方米、利用土八百九十萬九千八百八十九立米、合計一千五百萬一千八百五十五立方米ヲ築立テ護岸

水制六萬二千六百七十四米二、假護岸水制一千二百四米三、床固八百八米、特殊工樋門一箇所ヲ竣成シ工費六百四十九萬一千七百七十三圓十三錢七厘六毛、機械工場製作品三萬一千四十三圓三十六錢、本工事費製作品二千九十一圓一錢、評價品一千四百五十五圓七十二錢五厘ヲ要セリ外ニ民地捨土提供勞力費十四萬一千九百十六圓十五錢三厘、寄附材料勞力費七萬九千二百二十九圓六十六錢九厘、合計工事費六百七十四萬六千八百九圓十五錢四厘六毛ナリトス

附帶工事ニ在リテハ直轄施行ニ於テ樋門六箇所、樋管七箇所、用水路工三箇所ヲ竣功シ工事中ニ屬スルモノハ犀川改修、三水川改修、花田川改修、根尾川改修、用水路工二箇所ニシテ國庫補助額ハ百六十二萬七千五百八十四圓七十九錢七厘六毛、機械工場製作品及修理費二十萬九千八百十六圓二十錢六厘、評價額六百五十二圓七十八錢七厘ヲ支拂ヒタリ

外ニ地元負擔金八千五百圓、民地捨土提供勞力一萬七千三百九十八圓六十九錢、管理者提供土地材料勞力費百四十六萬四千九十六圓四十七錢一厘、合計三百三十二萬四千四百四十九圓九十九錢五厘六毛ヲ要シタリ又管理者施行ニ係ル支派川外八箇所ニ對シ國庫補助二百四十九萬三千八百五十三圓ヲ交付シ工作物除却補助三萬六千三百七十八圓四十二錢ヲ支出セリ

右工事ニ使用セル主要土工機械ハ浚渫船一隻、梯型ショレン式掘鑿機六臺、ドラグライン三臺、二十噸機關車四臺、五噸機關車四臺、ディーゼル機關車五臺、三十疋軌條、五籽六、十五疋軌條、二十三籽五、十疋及九疋軌條、十七籽三、六疋軌條五籽、六三立方米積土運車三百十九臺、一立方米積土運車百五十臺、六分積土運車二千五百二十五臺、自動杭打機二臺、混凝土混合機八臺、捲揚機八臺等ナリ

本年度豫算ハ既定年割額六十六萬圓ノ處支那事變ノ爲メ二十八萬圓ヲ後年度ニ繰延ベ三十八萬圓ヲ以テ施行スルモノナルモ前年度迄ニ木曾川維持ヨリ流用額五千圓ヲ返戻又本年度ハ判任官以下從務員ニ家族手當ヲ支給スルコトトナリ一千四百二十一圓五十二錢ヲ流用差引三十七萬三千五百七十八圓四十八錢ノ實行豫算ナリ

而シテ本工事ニ於テハ人力掘鑿工二箇所、築堤工六箇所、護岸水制工十箇所、合計十八工事ヲ施行シタリ其ノ竣功額ハ三萬一千六百六十三圓六十六錢一厘、製作品四百九十三圓十錢七厘、評價品八圓、合計三萬二千六百六十四圓七十六錢八厘ヲ支拂ヒタリ

附帶工事ニ在テハ直轄施工ニ係ル犀川改修、三水川改修、花田川改修、根尾川改修、山口水路統一、宮田用水路頭首工事ノ六箇所ヲ施行中ニシテ其ノ竣功額ハ國庫七萬二千五百四十圓七十三錢五厘、製作品一萬一千四百四十四圓五十錢二厘、修理費一千五百九十三圓六十九錢四厘、評價品五十五圓、管理者提供三萬九千二百二十四圓九十四錢、外ニ支派川補助十七萬圓、工作物除却補助三百二圓八十錢、合計二十九萬四千七百六十一圓六十七錢一厘ヲ要シタリ

之ヲ要スルニ本改修工事ノ本年度竣功額ハ國費三十四萬八千九百四十四圓、管理者負擔三萬九千二百二十五圓、合計三十八萬七千二百十九圓ナリ

創業以來ノ累計竣功額ハ二千九百九十四萬九千九百四十一圓ニシテ總豫算二千四百十二萬七千六百三圓ニ對シ八割七分強ノ竣功ナリトス外ニ民地捨土提供十六萬八百三十八圓、地元負擔金八萬七千六百三十圓、管理者負擔百四十六萬四百九十六圓ヲ加算スルトキハ總工費二千二百六十五萬八千九百四十四圓ナリトス其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量、「□」ハ管理者負擔、「▲」ハ民地捨土提供、「○」ハ地元負擔、「△」ハ製作品價額、「×」ハ評價品價額ヲ示ス

工本	費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合	
		數量	金額	數量	金額	數量	金額		
掘鑿	立米	111,770.7	11,111,111.1	100,000.0	10,000,000.0	211,770.7	21,111,111.1	104.4%	
		▲	○	△	×	▲	○		△
浚渫	立米	11,111.1	1,111,111.1	10,000.0	1,000,000.0	21,111.1	2,111,111.1	104.4%	
		▲	○	△	×	▲	○		△
		11,111.1	1,111,111.1	10,000.0	1,000,000.0	21,111.1	2,111,111.1		
		▲	○	△	×	▲	○	△	×
		104.4%		104.4%		104.4%			

費目	前年度迄竣功高			本年度竣功高			合計		
	數量	金額		數量	金額		數量	金額	
築堤	*	六、八〇八、八〇〇 八、八八六、八五〇	立米	*	三、〇〇〇	立米	六、八〇九、八〇〇 八、九〇九、八九六	二、二一四、〇六六	
護岸水制	六、三三三米	△〇△	簡所	一、四〇〇米	△〇△	簡所	六、四〇〇米	一、七三九、三三九	
特別工事	簡所	△〇△		簡所	△〇△		簡所	一、〇〇〇	
土地	六、二四四費	△〇△		三費	△〇△		六、二四四費	四、〇八八、二八一	
地上物件移轉料		一、六六七、三四五						一、六六七、三四五	
諸補償費	簡所	一、二六六、七七八		簡所	二、八七四		簡所	一、一九〇、六九六	
樋門其他	未竣功	△〇△		未竣功	△〇△		未竣功	七、八〇〇	
支派川直轄	未竣功	△〇△		未竣功	△〇△		未竣功	九、九六三、三三三	
支派川縣營	未竣功	△〇△		未竣功	△〇△		未竣功	二、一〇〇、〇〇〇	
工作物除却		一、九六六、〇〇〇			一、九六六、〇〇〇			一、九六六、〇〇〇	
船機械		一、〇〇〇			一、〇〇〇			一、〇〇〇	
測量		一、〇〇〇			一、〇〇〇			一、〇〇〇	
經營費		一、〇〇〇			一、〇〇〇			一、〇〇〇	
雜費		一、〇〇〇			一、〇〇〇			一、〇〇〇	
合計									〇・八九

歩竣  
合功

總	計	共濟組合給與金	臨時家族手當
○▲□	10,610,847 1,401,572 1,333,000 87,275	55,350	
○▲□	3,480,950 39,125	1,100	3,000
○▲□	10,999,941 1,401,572 1,333,000 87,275	98,000	1,100
○▲□	0.87		

## 第一〇 斐伊川改修工事

本工事ハ當初大正十一年度ヨリ昭和八年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ總工費六百二十萬圓ヲ以テ起工セシガ大正十四年五月施行年限ヲ延長シテ昭和十一年度ニ至ル十五箇年度繼續事業ニ改メラレ次デ昭和四年六月緊縮ノ爲メ十四萬圓、同年十二月十九萬八千六百五十圓、同六年五月施行年限ヲ二箇年延長ト共ニ五十二萬七百二圓、同年九月三萬三千二百圓、同年十二月三萬一千六百圓、同七年十二月施行年限一箇年延長ト共ニ二十三萬二百六十五圓ヲ何レモ減額セラレシニ昭和九年十二月ニ至リ工費ニ於テ九十三萬三千二百三十五圓追加増額セラレ施行年限ニ於テ尙ホ四箇年度延長セラレタルヲ以テ遂ニ總工費五百九十七萬八千八百十八圓、昭和十八年度ニ至ル二十二箇年度繼續事業トナレリ其ノ施工區域ハ島根縣簸川郡出西村岩樋以下宍道湖(淀川吐口)ニ至ル十五籽六及下流大橋川即チ松江市白潟魚町ヨリ中海ニ至ル七籽七ノ改修工事ヲ施行スルモノナリ

## 施工狀況

本工事ハ大正十一年度ノ創業ニシテ同年度及十二年度ハ實施測量ニ從事シ十三年度ハ專ラ計算製圖等ノ整理ヲ爲シタルト共ニ船舶機械ノ整備ヲ爲シ大正十三年十一月ヨリ先ヅ大橋川筋ノ浚渫ヲ開始シタリ

前年度迄ノ施行高ハ築堤土量二百六十九萬九百三十九立方米此工費十五萬三千七百十三圓、掘鑿土量二百九十八萬二千五百三立方米此工費六十四萬四千六百六圓(外ニ民費三萬五千八百五十五圓)浚渫土量二百二十六萬一千六百七十九立方米此工費四十萬九千九百七十七圓(外ニ民費六萬七千九百五十圓)護岸延長一萬二百九十二米此工費十五萬四千二十九圓(外ニ民費一萬九千二百四十四圓、無代價品評價額七千九百九十五圓及直營採取品價額一萬四千七百二十五圓)等ニシテ特殊工事ハ樋管一箇所竣功シ此工費一萬二千九百九十七圓尙附帶工事ハ樋管及水路工事六箇所、橋梁二箇所、此國庫補助額六萬四千七圓、管

理者負擔額七萬一千八百九十七圓ナリ

次ニ本年度内施行狀況ヲ述ベム

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續施行ニ係ル鳥根縣簸川郡伊波野村、出西村、出雲町大字大石、武志及東林木地先ノ二築堤及同郡灘分、出東、國富、久木、伊波野村、出雲町大字東林木地先ニ於ケル既成堤防手入工事ノ三工事ニシテ之ガ築立土量ハ總テ人力掘鑿土ヲ利用シ此土量三萬百九十五立方米工費一萬六千九百二十四圓(外ニ直營採取品價額二十八圓)ヲ要シ累計土量二百七十二萬一千百三十四立方米工費十七萬六千三百三十七圓(外ニ直營採取品價額二十八圓)ナリ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ引續キ施工ニ係ル鳥根縣簸川郡出雲町大字大石、出西村、上津村地先ノ人力掘鑿ノ一工事ニシテ之ガ施行ニハ五噸蒸汽機關車、六噸四瓦斯倫機關車各一臺、六噸四ディーゼル機關車二臺、一立方米鍋土運車及十五匹、十匹六匹、四匹五等各種軌條ヲ使用シ土量三萬百九十五立方米ヲ舉ゲ工費一萬一千六百六圓ヲ要シ累計土量三百一萬二千六百九十八立方米工費六十五萬五千七百七十二圓(外ニ民費三萬五千八百五十五圓)ニシテ本年度掘鑿土砂ハ全部築堤ニ利用セリ護岸工事ハ前年度ヨリ繼續施行ニ係ル鳥根縣簸川郡國富、出西、久木、出東村及松江市東朝日、津田町地先ノ五工事及本年度起工セル出西村地先ノ一工事ニシテ内、出西村地先ノ一工事ヲ竣功セリ

本年度内護岸成功延長ハ二千二百十米此工費六萬四百五十四圓(外ニ直營採取品價額一萬一千十圓)ヲ要シ累計成功延長一萬二千五百二米工費二十一萬四千四百八十三圓(外ニ民費一萬九千二百四十三圓、無代價品評價格七千九百九十五圓及直營採取品價額二萬五千七百三十五圓)ナリ尙護岸工事用石材所出工事ハ前年度ヨリ引續キ鳥根縣簸川郡國富、出西兩村地内ニ於テ施工シ本年度内所出量ハ六千五百二十七立方米ナリ

附帶工事武志樋管及揚水設備ハ揚水機入手困難ノ爲メ休工セリ

本年度竣功總額ハ十二萬四千四百四十四圓ニシテ起工以來ノ累計ハ五百五十二萬二千六百十圓ナリ之ヲ總工費五百九十七萬

八千八百十八圓ニ比スレバ約九割二分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「▲」ハ提供物件價額「□」ハ管理者負擔額「×」ハ直營採取品價額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	立米 二、六九〇、七三三	一五、七三三	立米 一〇、一七三	一六、九八四	立米 一、七二二、二〇六	一、七〇、七三三	劃分 〇・二二
鑿	▲	六四、一〇六	▲	一一、六〇六	▲	六五、七一二	〇・三六
深	▲	三五、八四三	▲	一一、六〇六	▲	三、五五、七二〇	〇・三六
工	▲	四、九七九	▲	一、一〇六	▲	六、〇八五	〇・三三
浚	▲	四、九七九	▲	一、一〇六	▲	六、〇八五	〇・三三
護岸	米 一、〇一三	一、四一三	米 一、〇一三	一、四一三	米 一、〇一三	一、四一三	〇・三三
特殊	○×▲	一、四一三	○×▲	一、四一三	○×▲	一、四一三	〇・三三
費	一	七、九七九	一	一、四一三	一	九、三九二	〇・八七
附帶	○□	七、九七九	○□	一、四一三	○□	九、三九二	〇・三三
用地	三、四九三	二、四〇四、一六一	三、四九三	二、四〇四、一六一	三、四九三	二、四〇四、一六一	〇・三三
船舶及機械	○	八、四三〇	○	八、四三〇	○	八、四三〇	〇・三三
測量	○	七、九七九	○	七、九七九	○	七、九七九	〇・三三
營業	○	一、一〇六	○	一、一〇六	○	一、一〇六	〇・三三
繕	○	一、一〇六	○	一、一〇六	○	一、一〇六	〇・三三
雜費	○▲	六、二八八	○▲	一、一〇六	○▲	七、三九四	〇・三三
共濟組合給與金	○	三、七三三	○	一、一〇六	○	四、八三九	〇・三三
臨時家族手當	○	一、一〇六	○	一、一〇六	○	一、一〇六	〇・三三

第一章 河川改修工事 (斐伊川改修工事)

總				
計				
	○×▲□	五、三六、一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇		
	○×▲□	二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇		
	○×▲□	五、三六、一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇		
				〇 九

## 第一一 信濃川上流改修工事

本工事ハ大正十二年度ヨリ昭和七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費六百六十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ關東大震災及國庫財政緊縮ノ爲メ昭和三年度以降三回ニ互リテ工費百二十二萬二千九百二十二圓ヲ減額シ五百三十七萬七千七十八圓(内新潟縣負擔百九十萬八千九百七十六圓)ト爲シ尙工期十二箇年度ヲ延長シテ昭和十六年度迄トセリ而シテ其ノ施工區域ハ左岸新潟縣三島郡片貝村、右岸古志郡六市目村以下南蒲原郡中之島村地内信濃川締切堤防ニ至ル三十一軒ナリトス  
信濃川ニ於テハ曩ニ航路改善及洪水防禦ノ目的ヲ以テ明治十七年度ヨリ明治三十八年度ニ至ル二十二箇年度ニ新潟縣長岡市以下ノ河身改修工事ヲ施行シタルモ尙治水工事ノ必要ヲ認メ大河津村ヨリ分水路ヲ開鑿シ又上流千曲川ノ改修工事ヲ施行セリ

### 施工狀況

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿工事二箇所、築堤工事十二箇所、護岸工事一箇所及新ニ着手セル善喜島第二護岸工事ノ十六工事ヲ施行セリ其ノ狀況左ノ如シ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續ノ馬越島第一回及第二回工事ヲ短梯掘鑿機及人力ニ依リ七萬四千六百十四立方メートルヲ施行シ土砂ハ蒸汽機關車二十輛一臺、瓦斯輪機關車四輛一臺ノ外冬期間ハ發動機船二十四馬力一臺、三十五馬力一臺ヲ運轉シ全部右岸下流部築堤敷及左岸下流部築堤敷へ投棄セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續ノ五百島、蓬潟、下山、大島、篠花、本大島、水梨、前島、左近、草生津、左岸下流部、右岸下流部ノ十二工事ヲ施行築立土量八萬八千七百立方メートル、土羽付延長三千八百七十六米ヲ施工シ五百島築堤、左岸下流部築堤、

右岸下流部築堤ヲ除キ他ノ九工事ハ竣功セリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續ノ草生津護岸ト新ニ着手セル善喜島第二護岸ヲ施行シタルモ竣功スルニ至ラズ

附帶工事ハ市道取付工事及村上用水樋管伏替工事ノ二箇所ヲ施行シタルモ竣功スルニ至ラズ

本年度竣功額ハ十萬五百七十一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ五百二十九萬二千五百五十五圓トナリ之ヲ總工費五百三十七萬七千

七十八圓ニ比スレバ九割八分トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ築立利用土量「◎」ハ新潟縣負擔額「▲」ハ

地元寄附額「○」ハ別途設計直營製作額「■」ハ組合又ハ地元負擔額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
掘鑿	立米 一、四四五、六九二	五九八、〇七	立米 七四、六二五	三、五五七	立米 一、四二〇、〇一七	六〇一、六二四	〇・八二	
築堤	* 二、四三二、五五三 一、五二八、八二六	九六、三三九 一四、五三九	立米 七四、六二五	一、四一三	立米 二、四三六、六三九	九六、七五三	一・〇〇	
水護岸水制	九、六四五	五七、〇二	二米	六、一七五	九、六六六	五七、七九七	〇・八四	
費用	簡所 一	一、〇四五	簡所 一	一、〇四五	簡所 一	二、〇〇〇	一・〇〇	
用地	二、一九二	一、一五五、四八九	段	一	二、一九二	一、一五五、四八九	一	
附帶工事	簡所 三	五八二、四四六	簡所 二	二五九	簡所 五	五八二、七〇五	〇・〇〇	
船舶及機械	〇	一、三三八、九三三	〇	一、三三八、九三三	〇	一、三三八、九三三	〇・〇〇	
測量	〇	二、六六六	〇	一、八二五	〇	二、六六六	〇・〇〇	
費	〇	二五、三八〇	〇	三〇三	〇	二五、三八〇	〇・〇〇	

費目	前年度迄		本年度		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
營繕費		六三、二六一	一、九〇八	六五、一六九		
雜費		六三、一八七	三、〇〇〇	六六、一八七		
共濟組合給與金		二七、四三八	一、〇〇〇	二八、四三八		
臨時家族手當			一、四一一	一、四一一		
總計		一五、二九一、五八四	一、七四、〇〇一	一五、四六五、五八五		〇・九八
	▲■◎	一四、五三九	一四、	一四、五三九	▲■◎	一四、五三九

## 第一一 天龍川改修工事

本工事ハ大正十二年度ヨリ昭和七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費六百六十萬圓（内静岡縣負擔額二百二十九萬九千圓）ヲ以テ工事ニ着手セシガ大正十二年九月一日關東大震災ノ影響ニ依リ事業年度ヲ四箇年即チ昭和十一年度迄繰延ベ次テ經費節減ノ爲メ昭和三年度以降同七年度迄ニ百三十萬四千五百十八圓ヲ減額シ事業費五百二十九萬五千四百八十二圓（静岡縣負擔額百八十四萬六十一圓）ニ變更シ事業年度モ順次繰延ベラレ結局昭和十六年度迄トナレリ

本川ハ曩ニ主トシテ水害除去ノ目的ヲ以テ改修計畫ヲ樹テ明治十八年度ヨリ工費六十六萬圓ヲ以テ工事ニ着手シ静岡縣磐田郡二俣町以下ノ河幅ヲ整理シ新堤ヲ築キ舊堤ヲ増築シ其他護岸、水制、床固等ノ施設ヲ爲シ兼テ二俣町上流長野縣下伊那郡龍丘村時又ニ至ル山間狹窄部ニ於ケル危岩暗礁ヲ破碎シ明治三十三年度ニ至リテ一先ヅ竣功セリ其結果河狀匡正セラレ流路稍安定シ相當ノ效果ヲ收メ得タリ爾來地方廳ハ其ノ維持ヲ爲スト共ニ漸次新工事ヲ施シツツ現今ニ至レリ然ルニ東海道鐵道橋下流ハ依然トシテ荒廢憂懼ノ狀態ニ在リ其上流ト雖モ提防ノ鞏固ヲ誇ルニ足ラズ又長野縣管内ニ於テモ相當水害無キニ非ザレバ早晚改修ノ要アルハ之ヲ認ムル處ナルモ先ヅ最モ急務ナル下流静岡縣管内二俣町以下海ニ至ル二十八軒間ヲ更ニ改修セントスルモノナリ

## 施工狀況

本工事ハ大正十二年度創業以來諸般ノ準備ヲ爲スト共ニ同十四年度ニ於テ實地測量ニ着手シ東海道鐵道橋下流ノ改修法線ヲ決定シ之ガ用地買收ヲ爲ス爲メ大正十五年二月土地收用事務所ヲ開設シ區域内ヲ八次ニ分チテ買收シ用地買收ハ殆ド完了ヲ遂ゲタルニ依リ昭和七年十一月土地收用事務所ヲ閉鎖セリ爾來殘餘ノ分ハ改修事務所ニテ之ヲ處理シ契約濟ノ整理及諸

補償金ノ支拂等ヲ爲セリ本年度迄ニ買收シタル總段別ハ百八十四町八段其買收金額ハ地上物件移轉料及諸補償金ヲ合セ七百六十二萬九百二十一圓ナリ工事施行ニ關シテハ昭和二年七月改修事務所ヲ濱名郡中ノ町村ニ開設シ諸機械材料其他諸般ノ準備ヲ爲スト共ニ工所用機械器具等ノ修理製作ニ直接施行スル爲メ附屬機械工場ヲ濱名郡河輪村ニ設置シ昭和三年一月ヨリ工事ヲ着手スルニ至レリ前年度迄ニ竣功セル工事ハ築堤、掘鑿、護岸等三十一工事ニシテ本年度施行ノ工事ハ休止中ノ河輪第二機械掘鑿、掛塚第二人力掘鑿、掛塚第三人力掘鑿、掛塚第四人力掘鑿、龍池人力掘鑿、河輪築堤、十束築堤、中瀬第二築堤、十束護岸、飯田護岸ヲ除ク前年度ヨリ引續キ施行中ノ十七工事及本年度起工ニ係ル河輪第四護岸追加、豊西堤端護岸ノ計十九工事ニシテ内河輪機械掘鑿、豊西人力掘鑿、中瀬第二人力掘鑿、豊西築堤、河輪第四護岸追加、豊西堤端護岸、中瀬水制ハ竣功セリ本年度工事ハ改修區域全般ニ涉リ下流掛塚町、河輪村及芳川村兩岸新堤及堤脚護岸殆下竣功シ舊堤ハ大部分除却セルヲ以テ東海道鐵道橋下流ハ大體計畫河幅ヲ有スルニ至リ同橋上流ハ中ノ町村地先河幅擴張箇所ノ新堤築造及其ノ他舊堤擴築進捗セリ上流中瀬村西派川締切堤以下新堤及根固護岸、野部村築堤及根固護岸ハ大部分完了セリ

附帶工事ハ前年度迄ニ直轄施行ニ係ル掛塚町地先、掛塚用水樋管、芳川村地先、老間惡水樋管、飯田村地先飯芳用惡水樋管及管理者施行ニ係ル井通村地先井通惡水路移設、龍池村地先龍池用惡水路移設及富岡村地先富岡惡水路移設ヲ竣功セリ

本年度本工事功程ハ掘鑿土量十一萬二千五百八十八立方米、築堤土量五萬二千二百七十七立方米、護岸延長一千二百四十八米工費十四萬六千十八圓ヲ要セリ

本年度竣功高ハ二十三萬八千七百二十七圓ニシテ起工以來ノ累計ハ五百一萬六千五百五圓ナリ而シテ總工費五百二十九萬五千四百八十二圓ニ對シ九割五分ノ竣功トナレリ其工事竣功表次ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額

「○」ハ無價品評價額「△」ハ製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	立米 四、五七〇、〇七	九六七、〇九四	立米 二、二五八	四、六七一	立米 四、六九八	一、〇一〇、〇一〇	割分 〇・六六
工事築堤	〇	八二八	〇	七、四二	〇	八八元	〇・三三
事護岸水制	〇	一、九七〇	〇	九四、九六	〇	六九〇、三三	一・三三
費假	〇	五五五、四一九	〇	四八	〇	二、〇八八	
附直轄施行	〇	二、三〇、八八	〇	七、四二	〇	二、三〇、八八	
帶費事	〇	六五	〇	〇	〇	六五	
用土地	〇	二、〇六一	〇	〇	〇	二、〇六一	
船舶及機械費	〇	六五	〇	〇	〇	六五	
測量費	〇	一、六八、六六	〇	二、三三	〇	一、六八、六六	
營繕費	〇	六、九八、六九	〇	三九、五七	〇	六、九八、六九	
雜費	〇	八八、〇七	〇	二、三三	〇	八八、〇七	
共濟組合給與金	〇	一、〇九、〇三	〇	二、三三	〇	一、〇九、〇三	
亡失毀損	〇	二、六〇、五	〇	一、六九八	〇	二、六〇、五	
臨時家族手當	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
總計	〇	四、七二七、七七八	〇	二三八、七五	〇	五、〇一〇、〇五	〇・九五

## 第一三 千代川改修工事

本改修工事ハ大正十二年度ヨリ昭和七年度ニ至ル十箇年度繼續工事トシテ豫算五百六十六萬圓ヲ以テ施行スルモノナリシガ經費節約ノ爲メ昭和四年度ニ十一萬五千圓、同五年度ニ十七萬七千二百四十九圓、同六年度ニ四十七萬六千九百九十九圓、同八年度ニ二十二萬五千百十九圓ヲ夫々減額セラレ年限モ亦昭和十三年度ニ至ル六箇年ヲ延長サレシガ昭和九年度ニ於ケル出水ノ狀況ニ鑑ミ七十一萬六千八百圓ヲ増額總工費五百三十八萬八千七百三十三圓(内百八十三萬一千五百九十七圓鳥取縣負擔)ニ改メラレ年限亦三箇年ヲ延長サレ尙十四年度ニ於テ一箇年ヲ延長セラレ昭和十七年度トナレリ而シテ其ノ區域ハ幹川筋左岸、右岸鳥取縣八頭郡河原町以下海ニ至ル約十七籽、支川袋川筋岩美郡宇倍野村下流本川合流點ニ至ル約五籽八及野坂川筋約一籽五、砂見川筋零籽九、合計二十五籽二ノ間ヲ施行スルモノトス

## 施工狀況

本改修工事ハ大正十二年度ノ創業ニシテ同十四年度ニ至ル間ヲ專ラ實施測量諸般ノ調査及工事ノ準備ニ充テタリ

大正十三年三月ヨリ土地買収ヲ始メ其ノ進捗ニ從ヒ大正十五年ニ至リ始メテ千代川下流新開鑿部ノ掘鑿ニ着手シ昭和三年度ヲ迎ヘテハ新野坂川及新袋川筋開鑿並千代川下流新開鑿部兩岸堤ヲ開始シ之ニ改修ノ主力ヲ注グト共ニ漸次工事施行區域ヲ擴張シ護岸其ノ他ノ諸工事ヲ施工シツツ現在ニ至レリ而シテ新野坂川及新袋川筋開鑿ノ大部分ハ昭和四年度ニ、千代川下流新開鑿部ノ掘鑿ハ同七年度ニ於テ其ノ竣功ヲ告ゲタリ

昭和十年度ニ於テハ千代川上流ニ築堤ヲ起シ本川上流及中流ニ改修ノ主力ヲ注ギ爾來工事ノ進捗ヲ見殆ンド完成ノ域ニ達セ

本年度ニ實施セル工事ハ前年度ヨリ繼續施行セルモノ十一箇所、新ニ起工セルモノ四箇所、計十五箇所ニシテ内九箇所ヲ竣功セシメタリ

今本年度施行工事ノ概要ヲ述ブレバ次ノ如シ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續シテ四箇所ヲ施行シ内、二箇所ノ竣功ヲ見タリ

其ノ土量ハ自辨採取土三千二百五十二立方米、縣直營大路川改良工事ヨリノ利用一萬七千五百九立方米、合計二萬七千六百六十一立方米ニシテ採取土ハ零立方米三積土運車ヲ以テ人力及馬力ニテ運搬セリ

護岸水制土ハ前年度ヨリ繼續セルモノ四箇所及本年度起工セルモノ三箇所ヲ施行シ内六箇所ハ竣功ヲ告ゲ他ハ次年度ニ繰越セリ

本年度ニ於テハ特殊工事古海締切樋門工事及取付水路工事ニ着手シタルモ其一部分ヲ翌年度ニ繰越セリ

附帶工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續施行セル鳥取市大字富安及古市地先ノ澤井手古市惡水樋門及水路附替及氣高郡大正村古海地先古海用水唧筒導水管繼足ノ二工事ヲ施行シ前者ハ竣功ヲ告ゲ後者ハ其一小部分ヲ繰越セリ

土地買収ハ本年度ニ於テハ第十二次(八頭郡河原町大字袋河原、稻常、布袋地内)ノ協議發表ヲ爲シ其ノ内四萬二千四百十九圓五十一錢ノ支拂ヲ爲シタリ

本年度竣功高約十二萬五千三百六圓ニシテ起工以來ノ累計約五百十六萬八千六百五十五圓ナリ之ヲ總豫算五百三十八萬八千七百三十三圓ニ比スレバ約九割六分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表ハ次表ノ如シ但シ「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ提供品價額及勞力費「○」ハ無代價品評價額「×」ハ生産石評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	* 立米 七六、八七六 二、一九六、一〇三	四、六九四 一、〇三三	* 立米 一七、五五二 一、〇三三	九、九四五	* 立米 二、三三三 三、三三三	四、七二七 四、三六六	〇・五八
本掘	三、二六八	△七、五五六 二、三、五九〇	▲		三、二六八	八、二七五 〇、三九〇	〇・六四
工浚	三〇、九七七	九、七八三			三〇、九七七	九、七八三	〇・二二
事護岸水	一元、六〇〇 前所 二〇	四、七、五七七 五、四、九三三 一、二、九五四	〇		一元、六〇〇 前所 二〇	四、八、五二二 五、五、八二七 一、二、九五四	〇・二二
費特殊工		四、六八二				四、六八二	〇・一一
用帶地	二〇、五五五 前所 二五	一、五、六、一一〇	〇		二〇、五五五 前所 二五	一、五、六、一一〇	〇・九五
附帶工事	〇	五、五、七、七二七 三、〇、二、二四〇 一、〇、〇、一〇〇	〇		〇	五、五、七、七二七 三、〇、二、二四〇 一、〇、〇、一〇〇	〇・九五
船及機械	〇	五、〇〇、〇七〇	〇		〇	五、〇〇、〇七〇	〇・九五
測量	〇	一、六、四、四二〇	〇		〇	一、六、四、四二〇	〇・九五
營繕費	〇	一、四、一、七一一	〇		〇	一、四、一、七一一	〇・九五
雜費	〇	五、九、〇、四九八 一、〇、〇、〇〇〇	〇		〇	五、九、〇、四九八 一、〇、〇、〇〇〇	〇・九五
共濟組合給與金	〇	一、四、一、七一一	〇		〇	一、四、一、七一一	〇・九五
臨時家族手當	〇		〇		〇		〇・九五
總計	▲□	五、〇、〇、〇〇〇 一、〇、〇、〇〇〇 三、〇、〇、〇〇〇	▲□	一、三、三、〇〇〇 一、三、三、〇〇〇	▲□	五、一、三、三、〇〇〇 一、三、三、〇〇〇 三、〇、〇、〇〇〇	〇・九六

## 第一四 蘆田川改修工事

本工事ハ大正十二年度ヨリ昭和七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリジモ事業繰延ノ爲メ竣功期ヲ大正十四年度ニ於テ同十一年度迄、昭和六年度ニ於テ同十三年度迄、昭和十年度ニ於テ同十四年度迄、昭和十三年度ニ於テ同十五年度迄、同十四年度ニ於テ昭和十六年度迄、同十五年度ニ於テ昭和二十年度迄延長サレタリ

當初ノ工費五百六十六萬圓（内廣島縣負擔百九十八萬九千圓）ナリシモ財政緊縮或ハ節約ノ爲メ昭和四年度二十九萬圓、同六年五月四十六萬八千三百六十七圓、同年九月二萬五千五百六十四圓、合計七十八萬三千九百三十一圓及昭和七年度二十三萬九千八百四十四圓ヲ減額セラレ總工費豫算四百六十三萬六千二百二十五圓ノ處昭和十五年度ニ於テ既定計畫不足額九十五萬三千圓及區域延長ニ因リ追加工費四十七萬二千圓、計百四十二萬五千圓ヲ増額サレ總計六百六萬一千二百二十五圓ト改正サレタリ其ノ區域ハ幹川筋廣島縣蘆品郡府中町以下海ニ至ル二十七籽五、左支高屋川筋深安郡湯田村以下幹川合流點ニ至ル六籽五及右支瀬戸川筋ノ幹川合流點附近ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ大正十二年度起工爾來實施測量其他諸般ノ調査ヲ遂ゲ十五年九月幹川下流福山市草戸町地先ニ草戸工場ヲ設置シ附近ノ掘鑿及築堤ヲ施工セシニ始マリ漸次工事ヲ上流ニ及ボシ昭和十四年度末ニ於テ幹川蘆田川筋ハ左岸十九籽五、右岸二十籽三以下ハ大體工事ノ完了ヲ見ルニ至リ支川高屋川筋ハ全部竣成ノ域ニ達セリ

本年度ニ於テ施工年度ノ延長並ニ物價及人夫賃ノ騰貴等ニ因リ豫算ニ不足ヲ生ジ現計畫施工ニ由ル不足額九十五萬三千圓及本川改修ノ完璧ヲ期スル爲メ上流部蘆品郡府中町附近ノ追加施工ヲ認メラレ是レガ工費四十七萬二千圓、合計百四十二萬五

千圓ヲ増額サレ施工期限ヲ昭和二十年迄延長サレタリ

本年度ハ前年度ニ引續キ幹川蘆田川筋下流八籽附近ノ床固工及掘鑿ヲ施行シ左岸下流終點二籽七ヨリ四籽一二五ニ至ル草戸締切堤ヲ施工シ其ノ八割ノ竣功ヲ見、同下流ニ今回廣島縣ニ於テ施工ニ係ル蘆田川新涯築堤ト派川新涯川河口ニ逆水樋門設置ニ依リ蘆田川下流部左岸沿ヒ福山市方面ノ洪水防禦ハ一先ヅ完成ノ域ニ至レリ

上流部ハ十九籽附近ノ護岸及築堤ヲ施工シ高屋川筋ハ右岸現在終點六籽二ヨリ大坪川(深水川)沿ヒ四百七十七米間ノ築堤ヲ施工シ之ヲ完成セリ掘鑿ハ終始人力ニ依リ運搬ハ當初人馬力ニ依リシモ昭和五年度ヨリ機械運搬ヲ開始スルニ及ビ爾來機械運搬ヲ主トシ短距離ノミ人馬力ヲ適宜使用シ目下蒸汽機關車、瓦斯倫機關車各一臺ヲ使用セリ

附帶工事ハ本年度迄ノ起工ニ係ルモノハ三十五件總工費百五萬七百八十六圓、國庫補助額六十萬三千百四十七圓ニシテ内竣功セルモノ三十一件ナリ、同工事中用惡水路工事ハ大體直營施工ノ方針ニ則リ本年度施工ニ係ルモノハ前年度ヨリ繼續施工ニ係ル福山山手用惡水路外四箇所ニシテ内近田村管理小唐用水樋管改築外一箇所ハ完成引渡ヲ完了セリ

土地收用事務ニ關シテハ大正十四年度收用事務ヲ開設昭和六年度之ヲ閉鎖シ其ノ事務ヲ改修事務所ニ於テ繼承處理セリ大正十四年度ヨリ昭和十四年度迄ニ九次ニ互リ用地二百八十三町六段餘步、價額百八十三萬二千百八十六圓八十七錢ヲ發表シ其ノ買收ヲ了セリ本年度ハ支川高屋川上流湯田村地内二段八畝二八、價額四千二十四圓七十八錢ノ買收ヲ發表、特別事情アルモノヲ除キ二段八畝ノ代金三千九百十五圓九十八錢ノ支拂ヲ了セリ

本年度竣功高ハ八萬五百六十四圓ニシテ起工以來ノ累計四百九十八萬七百二十三圓、外ニ土木試驗所試驗費補給額三千圓ナリ之ヲ總工費六百六萬一千二百二十五圓ニ比スレバ約七割六分ノ竣功ニ當ル其ノ竣功表左ノ如シ但シ「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「×」ハ土木試驗所補給額「▲」ハ提供品價額及勞力費「○」ハ無代價品評價額「△」ハ製作品使用價額ヲ示ス

費目

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶及機械費	附帶工事費	用地費	費用	費		工事掘鑿	本築堤	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合		
										特殊	護岸水制			數量	金額	數量	金額	數量	金額			
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、九四七、三二五 立米	二、二一六、三三二 立米	二、九四七、三二五 立米	二、二一六、三三二 立米	五、一六三、六五七 立米	五、一六三、六五七 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	一、〇一〇、〇一〇 立米	一、〇一〇、〇一〇 立米	一、〇一〇、〇一〇 立米	一、〇一〇、〇一〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	三、五九六、六五三 立米	三、五九六、六五三 立米	三、五九六、六五三 立米	三、五九六、六五三 立米	七、四七三、六六〇 立米	七、四七三、六六〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	五、四七三、六六〇 立米	五、四七三、六六〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○
×▲□			○▲×	○	△	○	○	○	二八、三三、三		○	○▲	○	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	二、八〇〇、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	九、八六六、〇〇〇 立米	○	○	○

## 第一五 紀ノ川改修工事

本改修工事ハ大正十二年度ヨリ昭和七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ創始セラレ豫算總額四百七十二萬圓（内和歌山縣負擔額百六十二萬五千圓）ナリシガ大正十四年度乃至昭和十四年度ニ九箇年度ヲ延長セラルルト共ニ昭和三年度以降財政緊縮或ハ工費節約ノ爲メ數次ニ互リ八十八萬五千七百四十九圓ヲ減額サレ結局昭和十六年度竣功、總工費三百八十三萬四千二百五十一圓（内和歌山縣負擔百三十一萬五千七百圓）ト改定セラレタリ

而シテ其區域ハ左岸和歌山縣那賀郡小倉村、右岸同郡岩出町即チ貴志川合流點以下海ニ至ル幹川筋約二十軒間ナリ尙昭和六年度附帶工事トシテ和歌山縣ノ委託ヲ受ケ和歌山港修築工事ノ一部ヲ施行セルモ右ハ昭和八年度以降港灣改良工事トシテ別途施行セラルルコトトナレリ

## 施行狀況

本改修工事ハ大正十二年度ノ創業ニ係リ爾來實施測量及諸般ノ調査ヲ爲シ大正十五年八月第一回土地買收ヲ發表シ同年末右岸海草郡楠見村地先ニ工ヲ起シ次テ昭和二年ニハ左岸和歌山市有本地先ノ掘鑿及築堤ニ着手セリ本年度迄ニ施行セル區域ハ右岸改修終點那賀郡岩出町地先ヨリ下流支川土入川河口ニ至ル間、左岸同郡小倉村地先以下、下流和歌山市湊地先河口導流堤ニ至ル間ニシテ最上流左岸岩出町地先ノ一部、最下流左岸和歌山市湊地先ノ一部ヲ除キ殆ンド改修全區域ニ互リ左岸上流部小倉村地先、下流部和歌山市湊地先ヲ除ク外太體完了シ同功程ノ約九割七分ヲ竣功セリ

本年度掘鑿工事ハ右岸岩出町地先、左岸小倉村地先ニシテ掘鑿總土量四萬三千六百八立方米ニシテ右岸岩出町地先ハ竣功セリ掘鑿ハ全部人力ニ依リ運搬ハ主トシテ七噸データーゼル機關車及五噸蒸汽機關車ヲ使用シ附近築堤ニ利用セルモノ四萬五百

九十二立方米 其ノ他ハ堤外凹所ニ處分セリ

築堤工事ハ左岸小倉村地先及下流和歌山市湊地先ヲ施行シ築立土量五萬一千六百二十七立方米ヲ竣功シ本年度迄ニ施工セル  
總延長ハ左岸一萬六千六百二十三米、右岸二萬六百五十三米ニシテ内左岸一萬四千五百四十三米、右岸ハ殆ンド全部竣功セ  
リ

突堤工事ハ導流及水深維持ノ目的ヲ以テ左岸河口ヨリ海上六百八十米ノ導水堤ヲ築造シ其先端ヲ和歌山港北防波堤ニ接續セ  
シムルモノニシテ本年度施行ノ主ナルモノハ捨石五千三百三十八立方米ニシテ着工以來ノ捨石量ハ七萬四千五百五十七立方  
米ナリ而シテ昭和十二年十二月着手以來同十五年度末ニ於テ延長百八十五米ヲ竣功セリ

護岸工事トシテハ前年度ヨリ施工中ナル背割堤表護岸ノミニシテ本年度施工ハ捨石量百二十三立方米、石張二千四百七十二  
平方米ニシテ石張工ハ完了セルモ補強捨石四千三百三十四立方米ヲ殘セリ

之ヲ要スルニ築堤五萬一千六百二十七立方米工費五千六百六十八圓、掘鑿四萬三千六百八立方米工費一萬四千二百九十圓、  
突堤二萬二百八十圓、護岸六千五百五十一圓ノ竣功ナリ

本年度ニ於ケル總工費ハ八萬六千六十九圓ニシテ起工以來ノ累計ハ三百七十二萬七千九百五十五圓トナリ總豫算額ノ九割七  
分ニ達ス其ノ内譯左ノ如シ但シ「\*」ハ利用土「□」ハ管理者負擔價額「▲」ハ民地提供價額及勞力費「×」ハ直營所出石  
材價額「○」ハ無代價品評價額「■」ハ占用補償ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	2,456.95 立米	2,456.95 円	2,456.95 立米	5,668 円	2,456.95 立米	2,456.95 円	0.89
突堤	2,200.26 立米	2,200.26 円	2,200.26 立米	2,200.26 円	2,200.26 立米	2,200.26 円	1.00
工掘	1 公米	233.10 円	1 公米	101.20 円	1 公米	334.30 円	1.00
事浚	4,388.57 立米	72,880 円	3,608 立米	101,200 円	4,442.13 立米	173,080 円	0.70
費護	157.79 米	1,577.9 円	1 米	6,330 円	158.79 米	7,907.9 円	0.13
費特	6,378 米	18,318 円	6,378 米	18,318 円	6,378 米	18,318 円	0.40
用費	739.9 米	2,319.6 円	739.9 米	2,319.6 円	739.9 米	2,319.6 円	0.40
附帶	234 円	234 円	234 円	234 円	234 円	234 円	0.10
船舶及機械	499.73 円	499.73 円	499.73 円	499.73 円	499.73 円	499.73 円	0.20
測量	334.4 円	334.4 円	334.4 円	334.4 円	334.4 円	334.4 円	0.15
營業繕	18,569 円	18,569 円	18,569 円	18,569 円	18,569 円	18,569 円	0.85
雜費	4,184.8 円	4,184.8 円	4,184.8 円	4,184.8 円	4,184.8 円	4,184.8 円	0.19
共濟組合給與金	110,000 円	110,000 円	110,000 円	110,000 円	110,000 円	110,000 円	0.48
臨時家族手当	3,611.88 円	3,611.88 円	3,611.88 円	3,611.88 円	3,611.88 円	3,611.88 円	0.16
總計	23,456.95 立米	234,569 円	23,456.95 立米	234,569 円	23,456.95 立米	234,569 円	0.97

## 第一六 筑後川改修工事

本工事ハ當初工費一千百三十二萬圓（内福岡縣負擔三百二十八萬一千圓、佐賀縣負擔六十八萬六千圓）ヲ以テ大正十二年度以降昭和九年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシモ其ノ後財政緊縮ノ爲メ昭和六年度以降數次ニ互リ工費二百十八萬三千三百三十八圓ヲ減ジ且工期六箇年度ヲ延長施工中ノ處偶々昭和十年度ニ於ケル異狀ナル豪雨ニ鑑ミ本川ノ補強並ニ支川ノ改修及水門ノ擴築ヲ緊急施行スルノ必要ニ迫ラレ同十一年度ニ於テ是等ニ要スル工費三百六十九萬五千圓ヲ追加スルト共ニ年割額ノ改訂ニ伴ヒ工期七箇年度ヲ延長シ現在工費ノ總額ハ一千二百八十三萬一千六百六十二圓（内福岡縣負擔三百四十五萬二千八百五十六圓、佐賀縣負擔九十七萬五千七百五十一圓）トナリ更ニ昭和十三年度及同十四年度ニ於テ工期各一箇年度ヲ延長シ竣功期ハ昭和二十四年度トナレリ改修區域ハ幹川福岡縣浮羽郡千年村以下河口ニ至ル六十三籽、其ノ他小石原川外七支川早津江、諸富ノ兩派川等ヲ加ヘ合計八十七籽トス

### 施行狀況

本工事ハ大正十二年度創業ト共ニ直ニ施行準備及測量ニ着手シ翌年度ヨリ工事並ニ土地買收ヲ開始シ以後漸次區域ヲ擴張シ工事ノ進捗ヲ計レリ

本年度施行區域ハ右岸福岡縣朝倉郡朝倉村大字山田地先ヨリ下流同縣三潞郡城島町大字下田地先ニ至ル間左岸福岡縣浮羽郡千年村大字櫻井地先及同郡柴刈村大字八幡地先ヨリ下流同縣三潞郡大善寺町大字中津地先ニ至ル間並ニ同郡大川町大字小保地先ヨリ下流同郡川口村大字新田地先ニ至ル間延長四十八籽及派川早津江川右岸佐賀縣佐賀郡南川副村大字犬井道地先ノ延長一籽合計、延長四十九籽ニシテ其ノ間久留米市以下ハ感潮區域ニ屬セリ而シテ本年度施行工事箇所ハ前年度ヨリ繼續セル

モノ三十四箇所、本年新ニ着手セルモノ四箇所、計三十八箇所ニシテ兩岸高水敷並ニ低水敷掘鑿及築堤工事ヲ施行シ内掘鑿一箇所、水門一箇所、計二箇所ヲ竣功セリ又附帶工事ニ於テ前年度ヨリ繼續施行ノモノ七箇所本年度新ニ着手セルモノ三箇所、計十箇所ノ内七箇所ヲ年度内ニ竣功セリ

掘鑿工事ノ内金島放水路低水掘鑿ハ一千二百立方米掘短梯形掘鑿機ト二十瓩機關車ニ依ル機械掘鑿並ニ機械運搬ヲ爲シ其他ニ於テハ凡テ人力掘鑿ヲ行ヒ其ノ土砂ハ長距離ニ互ルモノハ七瓩ダイーゼル機關車五臺及四瓩瓦斯倫機關車五臺ニ依リ殘餘ハ人力又ハ馬力ニ依リ之ヲ運搬セリ掘鑿施工區域ノ内久留米市以下ハ一小部分ヲ餘スノミトナリ上流亦相當進捗セリ而シテ本年度内ニ於ケル掘鑿總土量ハ十七萬八千四百八十八立方米ニシテ其ノ内四割二分ヲ築堤ニ充用シ三割五分ヲ附近民有地ニ、其ノ他ハ高水敷洗掘凹地ニ投棄セリ

築堤工事ヲ施行セシハ右岸福岡縣朝倉郡朝倉村大字山田地先以下佐賀縣三養基郡南茂村大字天建寺地先ニ至ル間左岸福岡縣浮羽郡柴刈村大字八幡地先以下同縣三潞郡大善寺町大字中津地先ニ至ル間及同郡大川町大字小保地先以下同郡川口村大字新田地先ニ至ル間及派川早津江川右岸佐賀縣佐賀郡南川副村大字大井道地先ニシテ兩岸共相當進捗セリ所要築立土ハ十四萬二千九百九十八立方米ニシテ其ノ五割二分ハ掘鑿土ヲ利用シ殘餘ハ附近官有地及民有地ヨリ採取セリ

水門工事ハ前年度ヨリ引續キ施工中ノ左岸福岡縣三潞郡大善寺町大字中津地先大善寺水門、右岸福岡縣三潞郡城島町大字下田地先下田水門、同縣三井郡弓削村大字上弓削地先太刀洗水門及同郡宮ノ陣村大字宮瀨地先小森野水門ノ四箇所ニシテ本年度内ニ下田水門ヲ竣功シ大善寺水門約八割四分ノ太刀洗水門約八割一分、小森野水門約八割八分ノ進捗ヲ見タリ

石材採取工ハ早津江川右岸佐賀縣佐賀郡南川副村大字大井道地内舊干拓堤塘ヨリ築堤用土砂ヲ採取スル際同堤塘内ニ存スル雜石及栗石ヲ採取スルモノニシテ其ノ石材ハ將來床固工或ハ護岸工等ニ使用スルモノナリ

土地買收ニ在リテハ前年度迄ニ買收セル面積二百五十五町七段歩ニシテ本年度買收協議ヲ爲シタルハ右岸福岡縣朝倉郡朝倉

村地内ノ一町三段歩及左岸同縣浮羽郡千年村地内ノ七段歩ニシテ孰レモ圓滿ニ協議成立セリ而シテ年度内ニ所有權ノ移轉ヲ完了セル土地ハ六段歩ナリ

附帶工事ニシテ本年度ニ於テ施行セルモノ樋管ノ新設及改築六箇所、用惡水路移設四箇所ニシテ内樋管五箇所、用惡水路移設二箇所ハ本年度内ニ竣功セシメ管理者ニ於テ施行スルモノ皆無ナリ

斯クシテ右岸ハ福岡縣三井郡金島村大字金島地先ヨリ以下大中島ニ至ル間、左岸ハ福岡縣三井郡善導寺町大字木塚地先ヨリ以下同縣三潞郡城島町大字楠津ニ至ル間ハ兩岸共増補工事以外ノ築堤工事及高水敷竝ニ低水路ノ掘鑿工ハ一部ヲ除クノ外竣成シ此區間ヨリ上流兩築橋ニ至ル間及河口方面ノ工事モ共ニ相當進捗シ洪水ノ疏通益々良好トナリ溢流汎濫ヲ防止シ又附帶工事ノ竣功ニ依リ錯雜多岐ニ涉レル用惡水關係ヲ著シク改善シタル等效果大ニ見ルベキモノアリ

本年度竣功高ハ三十七萬二千四百二十九圓ニシテ起工以來ノ累計八百九十二萬五千七百六十六圓ヲ算シ總工費一千二百八十三萬一千六百六十二圓ニ對シ約七割ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ土捨出願者提供材料及勞力費「○」ハ評價品價額「△」ハ河川敷地占用禁止段別ヲ示ス

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	測量費	船舶及機械費	附帶工事		用地費	費	事	工	本	費	費目	
							帶費	事費							掘鑿	築堤
▲□	○	○	○	○	○	○	未竣功	未竣功	△	未竣功	未竣功	*	立米	前年度迄竣功高	數量	金額
▲□	○	○	○	○	○	○	未竣功	未竣功	△	未竣功	未竣功	*	立米	本年度竣功高	數量	金額
▲□	○	○	○	○	○	○	未竣功	未竣功	△	未竣功	未竣功	*	立米	合計	數量	金額
▲□	○	○	○	○	○	○	未竣功	未竣功	△	未竣功	未竣功	*	立米	竣功	數量	金額

## 第一七 綠川改修工事

本工事ハ當初工費四百萬圓(内熊本縣負擔百十七萬四千圓)ヲ以テ大正十四年度以降昭和十一年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシモ其ノ後財政緊縮ノ爲メ昭和六年度以降三回ニ互リ工費合計七十七萬七千四百二十五圓ヲ減ジ且工期二箇年度ヲ延長シ施行中ノ處昭和十二年度ニ於テ既定計畫遂行ニ要スル不足額五十八萬圓ヲ追加スルト共ニ工期二箇年度ヲ延長シ工費總額三百八十萬二千五百七十五圓(内熊本縣負擔百十三萬二千七百七十八圓)トナリ更ニ昭和十三年度ニ於テ工期一箇年度ヲ延長シ竣功期ハ昭和十六年度トナレリ而シテ其ノ改修區域ハ幹川筋熊本縣下益城郡杉上村以下河口ニ至ル約十六粁及支川加勢川筋飽託郡日吉村以下幹川筋合流點ニ至ル約四粁五、合計二十粁五トス

### 施行狀況

本改修工事ハ大正十四年度創業ト同時ニ實施測量ニ着手シ爾來引續キ土地買收並ニ諸般ノ調査準備ヲ進メ昭和三年十二月放水路嘉永新川ノ掘鑿ヲ開始シ漸次區域ヲ擴張シ工事ノ進捗ヲ圖レリ本年度施行セル工事ハ幹川筋ニ在テハ右岸熊本縣上益城郡大島村大字高田地先ヨリ飽託郡中綠村中無田地先マデ及左岸熊本縣下益城郡杉上村大字千町地先ヨリ宇土郡網津村地先ニ至ル區間ノ掘鑿、築堤、護岸並ニ支川加勢川筋ニ於ケル水門、開門ノ本工事ナリトス

掘鑿工事ハ總テ人力掘鑿トシ前年度ヨリ繼續施行ノモノ六箇所ニシテ内二箇所ハ年度内ニ竣功セリ掘鑿土量三萬五千三百七立方米中約五割八分ハ之ヲ築堤土ニ充用シ殘餘ハ官有地ニ投棄セリ而シテ是等ノ土砂ハ四瓏五瓦斯倫機關車二臺、蒸汽機關車一臺並ニ人馬力ニテ運搬シタル外一部ヲ舟運搬ニ依リ施行セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノモノ八箇所、本年度新ニ着手セル追加工事二箇所、計十箇所ニシテ内四箇所ハ年度内ニ竣

功ヲ見タリ築堤土量五萬一千八百九十一立方米中二萬三百三十四立方米ハ掘鑿土ヲ利用シ殘餘ヲ附近官有地ヨリ採取セリ

護岸工事ハ幹川筋ニ於テ前年度ヨリ引續キ施行ノモノ二箇所ニシテ内一箇所ハ工事ノ都合ニ依リ打切竣功トセリ

水門工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノモノ二箇所ニシテ何レモ年度内竣功ニ至ラズ次年度ニ繰越セリ

閘門工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノモノ一箇所ニシテ工事續行ノ儘次年度ニ繰越シタリ

土地買収及附帶工事ハ本年度ニ於テ實施セルモノ無シ

本年度竣功高ハ十四萬九千六百七十七圓ニシテ起工以來ノ累計三百五十八萬七千九百六十圓ヲ算シ總工費三百八十萬二千五百七十五圓ニ對シ約九割五分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ土捨出願者提供勞力費「○」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	* 立米 二、七九一、〇九〇	六八八、四四九 三、三〇、〇九八	立米 三、三三〇、三〇	三三、一四七 一、三、四七四	立米 二、八二一、三九〇	六八八、四四九 三、三〇、〇九八	〇・九三
築堤	○ 立米 二、一〇〇、一〇〇	一〇〇、〇七三 一、〇〇、〇七三	立米 三、五五五、七五	二九、五七八 二、九、五七八	立米 一、〇〇〇、一〇〇	一〇〇、〇七三 一、〇〇、〇七三	〇・八四
岸	○ 四、三九六米	一一、二八一 一、一、二八一	○ 四、三九六米	一、〇〇二 〇、一、〇〇二	○ 四、三九六米	一、一、二八一 一、一、二八一	〇・七八
護水	○ 箇所 二	一、七四八 一、七四八	○ 箇所 二	七、二二三 七、二二三	○ 箇所 二	一、八一九 一、八一九	〇・九三
水門	○ 未竣功	七、四七四 七、四七四	○ 未竣功	三、元、二二八 三、元、二二八	○ 未竣功	七、四七四 七、四七四	〇・七八
閘門	○ 未竣功	一、七七一 一、七七一	○ 未竣功	一、七七一 一、七七一	○ 未竣功	一、七七一 一、七七一	〇・七八
土地	○ 一段	一、七七一 一、七七一	○ 一段	一、七七一 一、七七一	○ 一段	一、七七一 一、七七一	〇・七八
費用							
合計							

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶機械費	帶事管理費	附工直
							三	簡所 六
▲□			○	○	○			〇〇
三、四三八、二八三 一四四、七五 三二、四三三		九、四一九	二、四七、四七 三三、七 三、七	七、七 三、一七六	二、一八、三三 一〇	二、四七、三九	一〇〇、六四七	二、九八、二二 一四、七五 三三
								簡所 一
▲□			○	○	○			〇〇
一四九、六七七 一一	一、〇六〇	九、九〇	二、三、七四 六	一、六二 四	六、〇六	二、一、六五		一一一
								簡所 三
▲□			○	○	○			〇〇
三、五八七、九六〇 一四四、七五 三三、四三三	一、〇六〇	一〇、三三六	二、九八、〇三 三三	七、四 一、一	三、一、九二 一〇	二、八、五〇四	一〇〇、六四七	二、九八、二二 一四、七五 三三
〇・九九								

## 第一八 北川改修工事

本川ハ大正十五年度ヨリ昭和九年度ニ至ル九箇年度繼續事業トシテ總工費二百三十六萬圓(内地方負擔額八十三萬一千圓)ヲ以テ改修工事施行ノ豫定ナリシガ昭和六年度ニ於テ施行年限ヲ二箇年度、同八年度ニ於テ一箇年度、同十二年度ニ於テ二箇年度、同十三年度ニ於テ一箇年度、更ニ十四年度ニ於テ一箇年度ヲ夫々延長シ昭和十六年度ニ至ル十六箇年度繼續事業トナル尙經費節約ノ爲メ昭和五年度ニ於テ八萬六千五百圓、同六年度ニ於テ二十二萬六千七百十三圓、同八年度ニ於テ十三萬七千六百六十六圓ヲ何レモ減額サレシガ同十二年度ニ於テ五十四萬圓ヲ追加シ現在總額二百四十四萬九千二百二十一圓(内地方負擔額八十四萬九千五百十八圓)トナル

其區域ハ幹川北川ニテハ福井縣遠敷郡三宅村以下海ニ至ル約十四軒支川南川ニテハ同郡口名田村以下海ニ至ル約六軒、支川遠敷川ハ同郡遠敷村ニ於ケル本川トノ合流點ヨリ上流約二軒、鳥羽川ハ同郡瓜生村ニ於ケル本川トノ合流點ヨリ上流約一軒七、合計二十三軒七トス

### 施行狀況

本改修工事ハ大正十五年度ノ創業ニシテ爾來實地測量及諸般ノ調査ヲ爲シ昭和三年十月初メテ人力掘鑿ヲ起シ翌年度ヨリ逐次築堤、護岸、床固、石堤、附帶工事、浚渫、突堤、樋門及隧道工事ニ着手セリ

土地買收ニ關シテハ昭和二年十二月第一次、同三年二月第二次、同四年十二月第三次、同六年二月第四次、同八年十一月第五次、同十三年三月第六次、同十一月第七次、同十六年一月第八次ノ買收ヲ順次發表セリ而シテ右買收總段別四十七町一段一畝步餘金額三十二萬九千四百六十四圓餘ヲ支拂ヘリ

掘鑿工事ハ昭和十二年度ニ着手セル三宅村野木村及瓜生村ノ一箇所、同十三年度ニ着手セル瓜生村ノ一箇所及同十五年度着手ノ瓜生村ノ一箇所共ニ未竣功ニシテ本年度迄ニ總土量七十九萬一千六百九十九立方米工費二十四萬六千二百八十一圓ヲ支出セリ

浚渫工事ハ昭和十一年度迄ニ全部竣功シ此土量十九萬一千九十一立方米(内石量百三十立方米)工費十萬一千八百五十八圓餘ヲ支出セリ尙前記土量ノ外ニ八千四百八立方米ハ民地捨土ニシテ勞力費一千七百十七圓餘ヲ提供セシメタリ

築堤工ハ昭和五年度着手セル北川筋右岸國富村地先一箇所、同六年度着手セル北川筋左岸小濱町地先ノ一箇所及同十五年度着手セル北川支川南川筋左岸口名田村地先ノ一箇所共ニ竣功シ昭和十二年度着手セル北川筋右岸三宅村野木村及瓜生村ノ一箇所、同十三年度着手ノ北川筋左岸三宅村野木村ノ一箇所共ニ未竣功ニシテ本年度迄ニ總土量百五十萬四千五百九十三立方米工費四十萬八百八十三圓餘ヲ支出セリ

石堤工事ハ昭和十一年度迄ニ全部竣功シ數量一千四十二立方米工費一萬一千八百八十三圓餘ヲ支出セリ  
護岸工及床固工ノ内護岸工事ハ昭和十二年度着手ノ北川筋三宅村地先ノ一箇所及同十三年度着手セル北川支川南川筋小濱町地先ノ一箇所共ニ竣功シ同十二年度着手ノ北川筋野木村三宅村地先ノ一箇所及同年度着手ノ北川筋野木村地先ノ一箇所共ニ未竣功ニシテ床固工ハ昭和十二年度着手ノ北川筋三宅村ノ二箇所未竣功ナリ而シテ本年度迄竣功長一萬一千八百四十一米餘工費三十七萬一千四百二十三圓ヲ支出セリ

突堤工事ハ昭和九年度ニ着手セル北川筋小濱町地先ノ一箇所及昭和十二年度ニ着手セル北川支川南川筋小濱町地先ノ一箇所、合計二箇所共ニ昭和十四年度竣功セリ此工費三萬三千七百六十二圓ナリ

樋門工事ハ昭和十三年度着手セル北川支川多田川筋小濱町地先ノ一箇所ハ昭和十三年度ニ竣功シ工費三萬九百十圓ヲ支出ス  
隧道工事ハ北川支川鳥羽川筋瓜生村地先ノ一箇所ニシテ其ノ掘鑿工事ハ昭和十三年度ニ着手セルモ未竣功ニシテ本年度迄ニ

五千百二十立方米ヲ掘鑿シ工費六萬三千四百五十七圓ヲ支出ス而シテ其ノ疊築工事ハ本年度ニ着手シ竣功スルニ至ラズ工費九千七百十二圓餘ヲ支出セリ

附帶工事ノ内直轄施行ニ係ル樋管及水路工事ハ昭和十四年度着手セル北川筋野木村地先一箇所、同筋遠敷村地先一箇所、同支川南川筋小濱町地先ノ二箇所及本年度着手セル北川筋三宅村地先ノ五箇所、同筋國富村地先ノ一箇所、同支川南川筋口名田村地先ノ一箇所、同小濱町地先ノ一箇所、計十二箇所共ニ竣功シ管理者施行ニ依ル樋管及水路工事ハ本年度着手ノ北川筋三宅村地先ノ一箇所モ本年度竣功セリ而シテ本年度迄ニ竣功セルモノ樋管及水路工事三十六箇所、橋梁九箇所ニシテ國庫負擔及補助額ハ二十二萬九千三百九十六圓餘ナリ

本年度ニ於ケル竣功高ハ九萬三千四百十六圓餘ニシテ創業以來ノ累計二百三十六萬三千二百七十九圓餘トナリ之ガ總豫算額二百四十四萬九千二百一十一圓ニ對スル竣功歩合ハ九割七分トナル其ノ竣功表次ノ如シ但シ表中「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ民地捨土及提供勞力費「○」ハ製作代價「△」ハ無代價品評價額ヲ示シ「×」印ハ土木試驗所費用補給金ニシテ雜費合計中ニ包含セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 七、七〇三	円 一三三、七五八	立米 一、四三六	円 一〇、四三三	立米 七、一六七	円 一四三、一九一	九〇・〇
浚渫	▲ 立米 一、九一八	▲ 円 一〇一、八五八	立米 一、一〇〇	立米 一、一〇〇	立米 三、〇一八	立米 二〇三、〇一八	九〇・〇
築堤(石堤共)	立米 一、四〇八	円 七、七〇八	立米 一、一〇〇	円 三、三〇〇	立米 二、五〇八	円 一〇、〇〇八	九〇・〇
護岸(床固共)	立米 一、三〇〇	円 三、三〇〇	立米 一、一〇〇	円 三、三〇〇	立米 二、四〇〇	円 六、六〇〇	九〇・〇
床固	立米 一、三〇〇	円 三、三〇〇	立米 一、一〇〇	円 三、三〇〇	立米 二、四〇〇	円 六、六〇〇	九〇・〇
合計	立米 一、三〇〇	円 三、三〇〇	立米 一、一〇〇	円 三、三〇〇	立米 二、四〇〇	円 六、六〇〇	九〇・〇

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	測量費	船舶及機械費	附帶工事費	用地費	費用	突門	突堤
									橋樑	隧	突
									水管		
▲□			X△	△		△○	□△○		簡所 一九九 四九	簡所 一	二〇〇
五七、一〇〇 三〇、〇〇〇 一、〇〇〇		二、四八二	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	二、四八二	四、〇〇〇	五、一七六 一、〇〇〇 一、〇〇〇	二、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇	三、九三六 一、〇〇〇 一、〇〇〇	三、九三六 一、〇〇〇 一、〇〇〇	二、九六三 二、九六三	三、〇〇〇 七、九〇〇
									水管		
▲□			X△	△		△○	□△○		簡所 二		△
四、〇〇〇 四、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇一	一、〇〇〇 一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇 一、〇〇〇	三、〇〇〇 一、〇〇〇	七、〇〇〇 一、〇〇〇	二、〇〇〇	四、〇〇〇	
									橋樑		
▲□			X△	△		△○	□△○		簡所 六九二	簡所 一	一〇〇
五七、一〇〇 三〇、〇〇〇 一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇 一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇 一、〇〇〇	三、〇〇〇 一、〇〇〇	三、〇〇〇 一、〇〇〇	三、〇〇〇 一、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇 一、〇〇〇

## 第一九 旭川改修工事

本工事ハ當初工費八百萬圓(内岡山縣負擔額二百七十五萬九千圓)ヲ以テ元年度ヨリ同十三年度ニ至ル十三年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシモ昭和五年度ニ於テ時局影響ノ爲メ三十五萬二千二百五十圓ヲ減額セラレ更ニ同六年五月九十八萬七千七百五十圓 同年九月二萬五千七百七十七圓 尙同八年三月五十三萬四千五百二十三圓、合計百八十九萬九千六百五十五圓ヲ減額セラレタルヲ以テ總工費六百十萬三百四十五圓トナリ期限ハ昭和十七年度迄延長セラレタリ

然ルニ昭和九年九月二十一日未曾有ノ大洪水ニ際會シ其ノ流量計畫水量ヲ超過シ到底既定計畫ヲ以テシテハ洪水ヲ快疏セシメ改修ノ效果ヲ收メ得ザルヲ以テ茲ニ計畫ヲ變更追加シ其所要工費及既定工費ノ不足額ヲ併セ六百十二萬八千五百圓ヲ増額シ總工費一千二百二十二萬八千八百四十五圓(内岡山縣負擔額四百十四萬三千九百四十七圓)トナリ竣功期限ヲ昭和二十五年迄延長セラル然ルニ時局影響ノ爲メ十三年度、十四年度、十五年度ニ於テ各一箇年ヲ繰延サレ昭和二十八年迄トナル其ノ區域ハ本川筋左岸岡山縣赤磐郡高月村、右岸同縣御津郡牧石村以下海ニ至ル約十七籽ト左岸岡山市中島及竹田ヨリ分岐シ上道郡沖田村ニ於テ海ニ注グ派川百間川ノ全川延長約十三籽ナリトス

## 施工狀況

本工事ハ昭和元年度ノ創業ニシテ同年十一月準備測量ニ着手セリ然ルニ原案ニテハ岡山市中島遊廓、鐘紡會社及瓦斯會社等ノ移轉ヲ要シ原計畫豫算ニテハ工費不足ヲ告グルノ虞アリシヲ以テ原計畫ニ依ル幅坑打測量ヲ中止シ各種ノ案ヲ比較調査シタル上昭和五年八月計畫ヲ變更シ該變更案ニ依リ幅坑ヲ設定スルト共ニ用地買收ヲ要セザル部分ヨリ工事ヲ開始シ爾來工事施行中ノ處昭和九年九月二十一日ノ洪水ニ因リ既定計畫ニ變更ヲ加フルノ必要ヲ生ジ同年十一月ノ臨時議會ノ協賛ニ依リ決

定セル現計畫ニ依リ施行スルコトナレリ

本年度施行區域ハ御津郡牧石村以下海ニ至ル本川筋及百間川下流上道郡沖田村地先ニシテ施行箇所數ハ本工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續セルモノ四十九箇所ニシテ本年度着手セルモノナク其工種ハ築堤、掘鑿、浚渫、護岸水制、特殊工事並採石ニシテ本年度竣功セルモノ築堤及掘鑿各六箇所、浚渫及特殊工事、採石各一箇所、護岸水制二箇所ノ計、十七箇所ナリ又附帶工事ハ前年度ヨリ繼續施行セル四箇所ノ内二箇所竣功セリ是等工事施行狀況ノ大要ヲ述ブレバ左ノ如シ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續セル十五箇所ノ内工事都合ニ依リ三箇所休工シ竣功セルモノ六箇所ノ内三箇所ハ附帶工事ノ完成ト相俟ツテ施行スベキ箇所ナルヲ以テ一應打切竣功トセリ所要土砂ハ全部附近掘鑿土ヲ利用シ十三萬三千五百六十三立方メートル築立ヲ了シ芝付三萬四千八百四十二平方米、境界石垣百八平方米四、側溝三百八十五米、駒止工五百米、阪路及階段二千五百九十平方米ヲ施行シ築堤延長六千百十九米ニ竣功ヲ見タリ

掘鑿工事ハ主トシテ堤外地整理ニシテ前年度ヨリ繼續セルモノ機械掘鑿三箇所、人力掘鑿十一箇所ノ内工事都合上人力掘鑿四箇所ヲ休工シ本年度竣功ハ機械掘鑿一箇所、人力掘鑿五箇所ナリ内人力掘鑿三箇所ハ築堤打切竣功ニ伴フ掘鑿土砂處分ノ關係或ハ時局影響ニ因ル努力不足ノ爲メ比較的不急工事ヲ後廻ト爲ス方針ノモトニ一應打切竣功トシ後日新ニ計畫施行セントスルモノナリ

使用土工器械ノ主ナルモノハ機械掘鑿ニ於テハバケツト式蒸汽一千二百立方米掘鑿機二臺、バケツト式セミデイーゼル六百立方米掘鑿機一臺及サイラスB五〇型ドラグライン一臺ヲ以テ掘鑿シ運搬ハ人力掘鑿ト共ニ二十噸蒸汽機關車三臺、五噸蒸汽機關車二臺、六噸四瓦斯倫及デイーゼル機關車各一臺、合計七臺、二十三立方米八ダンブカー、三立方米側開土運車、一立方米鍋土運車ヲ使用シ人力運搬ニハ零立方米三鍋土運車ヲ使用シ、年度内十七萬三千五百九十五立方米ヲ掘鑿運搬セリ是等土砂ハ附近築堤用土ニ利用セル外ハ堤外凹地或ハ民地ニ捨土セリ

浚渫工事ハ前年度ヨリ繼續セル下流低水敷浚渫一箇所及京橋下流狹隘部ノ浚渫一箇所ニシテ下流部浚渫ハ竣功セリ使用機械ハブリストマン型浚渫船一隻ト曳船一隻ヲ兩工事ニ共用シ浚渫土砂一萬二千四百七十五立方米ハ洪水敷或ハ堤外凹地へ捨土セリ

特殊工事ハ前年度ヨリ繼續セル三箇所ノ内金山川樋門ハ前年度ニ於テ暗渠ヲ完成セルヲ以テ本年度ハ河川附替ノ一部ヲ施工シタルモ附帶工事ノ關係上未ダ竣功ニ至ラズ後樂園裏新水路ニ施設スル國富床固ハ前年度ニ引續キ土工及沈床ヲ施工シ改良木床及捨石ヲ殘スノミトナレリ又濱第二床固ハ土工、沈床及捨石ヲ施工シ本年度竣功セリ

附帶工事ハ前年度ヨリ繼續セル四箇所ノ内國富樋門及後樂園用水伏樋ハ年度内竣功シ孰レモ管理者ニ引渡シ了シ三間川用水路附替工事ハ大部分竣功シ牧石用惡水工事ハ約六割ノ竣功ヲ見尙道路法ニ依リ費用ノ負擔ヲ爲スベキ橋梁架換工事ハ前年度ヨリ繼續セル縣道橋大原橋及本年度着手ニ係ル縣道橋蓬萊橋ハ孰レモ管理者ニ於テ施行中ナルモ未ダ竣功ニ至ラズ

土地收用ノ本年度買收セル區域ハ岡山市中島及竹田地内百間川分流點ニシテ其段別八町五段八畝十七步七合六勺ノ買收代金七萬三百十六圓五十二錢ト工作物及竹木類移轉料三百八十圓六十錢ナリ此買收協議ヲ昭和十五年十月十二日開始セルニ竹田地内居住小作人ハ耕作權ヲ主張セルヲ以テ之ガ解決ニハ多少ノ日時ヲ要スルモノト豫想セシモ時局柄案外協定速カニ運ビ年度内全部ノ調印ヲ完了スルニ至レリ

本年度竣功高ハ三十四萬五千三百四十二圓ニシテ起工以來ノ累計六百八十八萬三千八百十九圓、外ニ土木試験所試験費補給額五千圓ナリ之ヲ工費總豫算一千二百二十二萬八千八百四十五圓ニ比シ約五割六分ノ竣功ニシテ其工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「\*」ハ浚渫土量「□」ハ管理者負擔額「○」ハ無代價品評價額「●」ハ採取品評價額「△」ハ製作品價額「▲」ハ提供品價額及勞力費「×」ハ土木試験費補給額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	立米 二、〇〇一、七〇九	一九五、五五七 二、七一九八	立米 一、三三三、三三三	一七、六二二 五、三三三	立米 三、三三四、〇四二	二一三、一八〇 八、一三一	〇・一一
工浚	二、〇〇四、五〇四	五、七六二、二二一	一、四三三、五七四	六、九四三、八〇八	三、四三八、〇七八	一二、七〇六、〇二九	〇・四三
護岸水制	石材 一、八五五、一八五 七、四〇一、七〇二 七、七五五	四、四八、七五七 七、八五五、五七三 九、四七、四八八 五、五七、七二二 九、二一九九 三、三三、七九	二、一四七、五七五	六、九七四 二、六、九七四	四、二九五、一五二 一〇、四三三、〇六三 一三、〇七、二三七 七、一〇、七二七	六、六〇二、七二九 一七、〇六六、〇三六 二〇、一七九、九七四 一〇、一〇、七二七	〇・九一
特殊工	簡所 三所	一、一四、四〇六	簡所 一	七、八九九 一、七六六	四所 四所	二、二八、八〇二 一、〇、〇〇〇	〇・〇六
費用	二、四一七、七三三	二、六、六六五、五九九	六、四七、六〇六	五、七、一五四	九、〇九四、三三九	八、三三、七四〇	一・〇〇
附帶工事費	〇	三、一九八四	〇	二、一、三三三	〇	五、三三三	〇
船舶及機械費	〇	三、三三三	〇	二、〇〇〇	〇	五、三三三	〇
測量費	〇	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇	〇	二、〇〇〇	〇
營繕費	〇	六、六六六	〇	二、〇〇〇	〇	八、六六六	〇
雜費	〇	三、三三三	〇	五、五五五	〇	八、九〇八	〇
共濟組合給與金	〇	五、〇〇〇	〇	二、二二二	〇	七、二二二	〇
臨時家族手當	〇	三、六六六	〇	二、八八八	〇	六、五五五	〇
總計	〇	二、八八八、八八八	〇	二、八八八、八八八	〇	五、七七七、七七七	〇

## 第二〇 鬼怒川改修工事

本工事ハ大正十五年(昭和元年)度ヨリ昭和十四年度ニ至ル十四箇年度繼續事業トシテ總工費一千四百五十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ一般財政緊縮ノ爲メ昭和五年度以降二百二十三萬九千五百八十八圓ヲ減額シテ總工費ヲ一千二百二十六萬四千二百圓ニ改メ竣功期限ヲ昭和十七年度迄延長シタルモ政府財政ノ都合ニ依リ昭和七年度ニ至リ工費八十六萬八千五百八圓ヲ減額シ同十二年度ニ於テ施行年度ヲ一箇年度延長シ總工費一千百三十九萬一千九百四圓ヲ以テ昭和十八年度迄十八箇年度繼續事業トシテ施行中ノ處時局ノ影響ニ因リ昭和十三年度ニ於テ更ニ三箇年度ヲ延長シ昭和二十一年度ニ至ル二十一箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ

其區域ハ當初ニ於テハ栃木縣鹽谷郡三依、栗山、藤原ノ三村及同郡太宮村以下茨城縣北相馬郡大野村地先利根川合流點ニ至ル延長約百十籽及同郡取手町並ニ千葉縣東葛飾郡田中村地先約十籽ノ改修工事ヲ行フモノニシテ本工事ニ於テハ水害ノ最モ著シキ上記太宮村及大野村間百十籽ノ改修工事ヲ行フノミナラズ其上流部三依村ニ堰堤ヲ築造シ支流男鹿川流域ニ一大貯水池ヲ設ケ洪水ヲ停滯セシメ本川流量ノ一部ヲ調節スルノ計畫ナリシガ工事中途ニシテ不慮ノ斷層ニ遭遇セル爲メ昭和八年五月ニ至リ其工事ヲ中止スルコトナリ三依、栗山、藤原ノ三村ハ工事區域ヨリ除外セラレタリ其對策トシテ下流改修ニ必要ナル變更ヲ加ヘ其缺ヲ補フコトトセリ

下流改修工事ハ上記總工費一千百三十九萬一千九百四圓中堰堤工事ニ於テ使用セル百四十一萬四千六百九十一圓ヲ差引ケル殘額九百九十七萬七千二百十三圓ヲ以テ施行スルモノトス

## 施工狀況

本工事ハ元上流、下流ノ二工區ニ別チ上流部ハ栃木縣鹽谷郡三依村大字五十里ニ堰堤事務所ヲ設ケ三依、栗山、藤原ノ三村ヲ事業區域トシ大支男鹿川流域ニ貯水池設置ニ關スル諸工事ヲ分擔シ下流部ハ茨城縣眞壁郡伊讚村大字伊佐山ニ改修事務所ヲ置キ專ラ栃木縣鹽谷郡大宮村以下河道ノ改修及利根川トノ合流點附近ノ調節池築設ニ膺レルモノニシテ上流堰堤工事ハ已ニ述ベタル如ク大正十五年度着手以來堰堤築設箇所ノ地層試鑽其他事業遂行ニ必要ナル諸調査ヲ行フト共ニ各種ノ準備工事ヲ進メ昭和六年十一月ニ至リ床掘ヲ開始セル處其進捗ニ伴ヒ被覆土石ノ掘鑿ヲ爲シ岩盤ヲ露出セシメタルニ豫メ詳細ナル試鑽ヲ行ヘルニ拘ハラズ意外ニモ推定ニ反シ幅二十五米ニ互リ堰堤ヲ斜斷セル斷層群ニ遭遇セル爲メ昭和八年五月ニ至リ其工事ヲ中止スルコトトナリ同年七月末日ヲ以テ堰堤事務所ヲ閉鎖セリ

下流部改修工事ニ在リテハ先ヅ施行準備トシテ昭和元年十二月茨城縣結城郡宗道村及栃木縣河内郡本郷村ニ測量員詰所ヲ置キ調査ニ着手シ翌二年一月茨城縣結城郡宗道村ニ土地收用事務所ヲ設ケ同郡大形村鎌庭新河道開鑿用地ノ買收調査ヲ開始シ昭和十三年二月土地收用事務所ヲ宇都宮市ニ移シ引續キ改修部内ノ用地買收ヲ繼續シ前年度末迄ニ三百九町三段餘歩ヲ買收セリ而シテ本年度ニ於ケル用地ノ買收ハ栃木縣ニ於テ鹽谷郡氏家町及河内郡絹島村ノ各一部、茨城縣ニ於テ結城郡石下町及三妻村ノ一部等ニシテ約三町二段歩ヲ買收セリ斯クテ創業以來ノ買收段別累計三百十二町五段歩トナリ

工事施行ニ關シテハ昭和二年二月茨城縣眞壁郡伊讚村大字伊佐山ニ鬼怒川改修事務所ヲ置キ左岸栃木縣鹽谷郡大宮村、右岸同縣河内郡篠ノ井村ヨリ以下茨城縣北相馬郡大野村地先利根川合流點迄及利根川沿岸ノ内菅生、田中兩調節池設置區域左岸茨城縣猿島郡七郷村以下同縣北相馬郡取手町及右岸千葉縣東葛飾郡福田村ヨリ同郡我孫子町ニ至ル區間ヲ事業區域ト定メ各種ノ測量調査及機械器具ノ整備電話架設等種々ノ施行準備ヲ進メ同三年一月ヨリ本川中彎曲最モ甚シキ茨城縣結城郡大形村大字鎌庭地先新河道ノ開鑿ニ着手シ同四年度ヨリ栃木縣芳賀郡中村地先ノ築堤工事ヲ始メトシテ各所ノ築堤工事ヲ開始シ同六年九月ニ至リ栃木縣芳賀郡長沼村地先ヨリ護岸工事ヲ始メ爾來着々工ヲ進メ前年度迄ニ掘鑿土量二百十七萬二百七十六立

方米、築堤土量八百二十七萬八千八百四十八立方米、護岸延長一萬六百二十一米八、水制五十四箇所、床固三箇所ヲ竣功セリ掘鑿工事ニ在リテハ過去數箇年ヲ費セル鎌庭新河道ノ掘鑿ヲ了ヘ昭和十年三月十七日ヲ以テ通水セルヲ始メトシ爾來栃木縣部内數箇所ニ河道ノ整理掘鑿並ニ新ニ起工セル茨城縣北相馬郡菅生村地先ノ水路開鑿ヲ續行シツツアリ築堤工事ハ栃木縣管内鹽谷郡阿久津村以下茨城縣管内及千葉縣管内ハ全般ニ互リ過半延長ヲ施工セリ

護岸水制工事ハ未ダ尙栃木、茨城兩縣内ニ所々急施ヲ要セル箇所ニ施行セルニ過ギズ附帶工事ハ昭和九年度中鎌庭新河道開鑿ニ伴ヒ必要ヲ生ジタル惡水路附替工事ニ着手竣功セルヲ始メトシ爾來栃木、茨城兩縣下ニ着々工ヲ進メツツアリ

今本年度ニ於ケル工事ノ施行ニ付其概況ヲ述ベンニ掘鑿工事ニ在リテハ栃木縣管内ニ於テ前年度ヨリ引續キ施行ノ四箇所ノ内一箇所ヲ竣功シ新ニ機械掘鑿工事二箇所(鹽谷郡阿久津村、河内郡本郷村)ヲ起工シ河道整理掘鑿ヲ爲シ茨城縣管内ニテハ同ジク河道整理掘鑿ノ爲メ本年度着手ノ人力掘鑿工事一箇所(眞壁郡伊讚村)並ニ前年度ヨリ引續キ施行ノ北相馬郡菅生村地先ノ水路開鑿工事ノ一箇所、合計八箇所ヲ施行シ土量十萬二千五百二十七立方米ヲ舉ゲタリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繰越セル二十四箇所ノ外新ニ栃木縣管内ニ三箇所(芳賀郡清原村、河内郡平石村及吉田村)茨城縣管内ニ三箇所(結城郡三妻村、北相馬郡内守谷村及小絹村)計六箇所ヲ起シ合計三十箇所ヲ施行内三箇所ヲ竣功セリ而シテ其築立總土量ハ二十二萬七千四百五十五立方米ヲ竣成セリ

護岸水制工事ハ前年度ヨリ繰越ノ十四箇所ノ外新ニ栃木縣管内ニ二箇所(河内郡平石村、下都賀郡絹村)ヲ起工シ合計十六箇所ヲ施行内六箇所ヲ竣功セリ而シテ其出來高ハ護岸延長一千九百三十米、水制二十四箇所ナリ

附帶工事ハ前年度ヨリ繰越セル樋管三箇所、水路附替一箇所ノ外新ニ栃木縣管内ニ樋管四箇所、水路附替四箇所、茨城縣管内ニ樋管五箇所ヲ着工シ國庫補助三萬七千五百圓ヲ支出シ樋管三箇所、水路附替二箇所ヲ竣功セリ

尙事業用諸器械類ノ修理ニ就テハ茨城縣眞壁郡伊讚村大字伊佐山地先ニ小規模ノ修理工場ヲ設ケ作業ニ膺ラシメタリ  
 本年度ノ竣功高ハ三十六萬四千九百九圓ニシテ創業以來ノ累計ハ上下流ヲ通ジテ七百四萬五千二百九十九圓トナリ之ヲ總工  
 費豫算一千百三十九萬一千九百四圓ニ比較スルトキハ六割二分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「□」ハ管理者  
 負擔額「△」ハ船舶及機械費支辨製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	立米 八、二七六、八四八	一、四四〇、〇〇〇	立米 三、二七四、〇〇〇	六九、二九五	立米 八、五五〇、八四八	一、五〇九、〇〇〇	〇・八六
本浚	立米 二、一四〇、二七六	三、八八、九六七	立米 一、〇一四、二七六	三、一、〇〇〇	立米 三、一五四、五五二	六、八八七	〇・一一
工護岸水制	米 一〇、六三三	三、九四、三八八	米 一、九〇〇	七、六、七七一	米 一二、五三三	一一、〇一四	〇・三三
事堰堤	中止	簡所 一	簡所 一	簡所 一	簡所 一	簡所 一	〇・一一
費不用材料價額		三、〇、五、〇七九		二、二、一、七七一		四、二、六、八五六	
亡失毀損		二、〇、〇、〇〇〇		二、〇、〇、〇〇〇		四、〇、〇、〇〇〇	
用地費		一、二、六、二二		一、二、六、二二		二、五、二、四四	
附直轄施行	未竣功	九、九、六、九〇六	未竣功	一、四、一、三、七六	未竣功	一、一、〇、一、〇七二	
帶事	未竣功	一、〇、九、九、二二	未竣功	一、〇、九、九、二二	未竣功	二、一、九、八、四四	
船舶及機械費		一、一、六、七、二七		一、一、六、七、二七		二、三、三、四、五四	
測量費		一、四、六、八七五		一、六、九、三		三、一、六、八〇八	

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
營繕費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計		六、六〇〇、三九〇 九一、三三八		三、六四、九〇九 二二、七二七		七、〇四、五二九 一一三、九四五	一〇・三三

本表竣功高ヲ更ニ下流ト上流トニ區別スレバ左表ノ如シ

下流改修

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	八、一三八、八四八 立米	一、八一、〇四六 円	三、三九〇、〇〇〇 立米	六、九、一九九 円	八、一、七〇八、八四八 立米	一、九一、一、二四五 円	〇・八八
工浚	二、一七〇、二四六 立米	三、八一、九六七 円	一、〇一七、九一八 立米	三、三、三三〇 円	三、一、八八八、一六四 立米	五、一五、二七五 円	〇・四九
事護岸	一〇、〇三三 米	三、九四、三三八 円	一、一九〇、〇〇〇 米	六、八、六七一 円	一一、二二三、三三三 米	一〇、〇一、〇〇五 円	〇・三三
費亡失毀損							

# 上流改修

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶及機械費	帶費 管理施行	附工直轄施行	用地費
							未竣功	未竣功	
□	△	△	△	△	△	△	□	△	△
五、二五、六九八 九一、三三八			九八七、四七	一一三、九七〇 七三、三三〇	七六、七〇	四七、四四四 四七、四四四	四六、三二二 六九、九二一	三三、三三三 三三、三三三	三、〇〇〇 三、〇〇〇
							未竣功	未竣功	
□				△		△	□	△	△
三、六四、九〇九 二二、七七八	四、七八八	四、八六五	九三、八四一	五、九二〇	一、六九三	二五、〇三九 一、八六九	六二二	九〇、九五五 九〇、九五五	一、〇三七八
							未竣功	未竣功	
□				△		△	□	△	△
五、九三、〇〇八 一一三、九四四	四、七八八	五、九八六	一、〇八一、二五八	一一九、八九〇 二二、二二七	七八、四三三	七六、一八三 四九、三三四	三、七 三、七	三三、三三三 三三、三三三	三、〇〇〇 三、〇〇〇
〇・五五							〇・四四		

費目	竣功	金額	步合	費目	竣功	金額	步合
	數量				數量		
中止	高所	△	〇・三三	附帶工事費直轄施行	高所	△	〇・八五
三、〇〇〇	三、九一七 五、〇七九				四、六六 一一一	三、〇一七 一、〇七七	

第一章 河川改修工事 (鬼怒川改修工事)

費目	竣功	數量	金額	竣功	數量	金額	竣功
船舶及機械費			△			110,110 円	
測量費						10,110 円	
營繕費			△			1,241,691 円	
合計						1,261,811 円	0.3元
雜費						110,110 円	
共濟組合給與金						10,110 円	
總計						1,241,691 円	0.3元

## 第二一 大淀川改修工事

本工事ハ當初工費六百五十萬圓(内宮崎縣負擔二百十九萬九千圓)ヲ以テ昭和二年度以降同十四年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシモ昭和六年度及同八年度ニ於テ合計百四十四萬七千三百五十三圓ヲ減シ工費總額ヲ五百五萬二千六百四十七圓(内宮崎縣負擔百七十一萬一千二百二圓)ニ改ムルト共ニ工期ヲ三箇年度延長シ超エテ昭和十二年度ヨリ同十五年度ニ至ル迄更ニ工期各一箇年度ヲ延長シ竣功期ハ昭和二十一年度トナレリ

改修區域ハ幹川筋宮崎縣東諸縣郡倉岡村以下海ニ至ル約十四籽、支川本庄川筋同郡本庄町以下幹川合流點ニ至ル約十二籽、小支深年川筋同郡本庄町以下本庄川合流點迄約二籽、合計二十八籽餘トス

### 施工狀況

本改修工事ハ昭和二年度ノ創業ニシテ昭和三年度迄ニ一先ヅ實施測量ヲ終了シ引續キ諸般ノ調査ニ準備ヲ進メ來リ四年六月始メテ掘鑿工ニ着手セリ本年度内ニ施行セル工事ノ大要ハ左ノ如シ

掘鑿工ハ前年度ヨリ繼續施行ノモノ五箇所及工事ノ都合ニ依リ休工ノモノ四箇所、計九箇所ナリ本年度ニ於ケル掘鑿土量ハ三萬九千八百四立方米ニシテ凡テ人力掘ニ依リ運搬ニハ木炭瓦斯機關車並七瓩蒸汽機關車及人馬牛ヲ併用シ其ノ大部分ヲ築堤用土ニ供シ一部ヲ附近官有地ニ投棄セリ

築堤工ハ前年度ヨリ繼續施行ノ六箇所及工事ノ都合ニ依リ休工ノモノ四箇所、計十箇所ナリ本年度築立土量ハ五萬六千九百四立方米ニシテ内一萬一千九十六立方米ハ官有地ヨリ、七千六百二十九立方米ヲ民有地ヨリ採取シ他ハ掘鑿土ヲ利用セリ

護岸工ハ前年度ヨリ繼續施行ノモノ四箇所及工事ノ都合ニ依リ休工ノモノ一箇所計、五箇所ニシテ何レモ未竣功ノ儘次年度

へ繰越セリ

水制工ハ前年度ヨリ繼續施行ノ赤江町大字田吉地先ノ抗出水制工一箇所ニシテ未竣功ノ儘次年度へ繰越セリ

突堤工ハ前年度ヨリノ繼續施行ノ田吉假導流堤一箇所ニシテ未竣功ノ儘次年度へ繰越セリ

土地買収ニ關シテハ本年度ニ於テハ前年度ヨリ繰越ノ土地及物件移轉料ヲ支出セルノミニシテ未了ノ一部分ハ翌年度へ繰越セリ

附帶工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノ陸閘新設工事五箇所及本年度新ニ着手セル宮崎郡生目村小松地先ノ水門新設工事一箇所、東諸縣郡木脇村大字木脇地先ノ樋管新設工事一箇所、計七箇所ニシテ内宮崎市松山町地先ノ陸閘新設工事二箇所ハ竣功シ他ハ未竣功ノ儘次年度へ繰越セリ

尙管理者施行ニ係ル府縣道高岡、高鍋線ニ架設ノ本庄橋ノ繼足及嵩上工事竣功シ補助金ヲ交付セリ

本年度竣功高ハ二十萬五千二百十三圓ニシテ起工以來ノ累計三百四十一萬三千四百六十六圓ヲ算シ總工費五百五萬二千六百四十七圓ニ對シ六割八分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「▲」ハ土捨出願者提供材料及勞力費

「○」ハ評價品價額 「□」ハ管理者負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	3,137.699	1,484,609	3,984.84	2,637.84	3,117.743	1,522,453	1.11
工築	2,133.610	1,161,118	3,880.91	1,973.91	2,111.101	1,235,029	1.10
工事費	8,383.21	3,932,277	4,066.1	5,633.8	8,779.31	4,001,148	0.40
突堤	8,383.21	3,932,277	4,066.1	5,633.8	8,779.31	4,001,148	0.40
用地	2,133.610	1,161,118	3,880.91	1,973.91	2,111.101	1,235,029	1.10
附直	110	1,460,951	2	2,138	112	1,463,089	1.10
帶事	5	5,918	2	3,733	7	9,651	1.10
船及	2	3,733	1	1,036	3	4,769	1.10
測量	0	4,857.71	0	1,557.71	0	6,415.42	1.10
營繕	0	1,460,951	0	4,857.71	0	1,465,808.71	1.10
雜費	0	1,460,951	0	4,857.71	0	1,465,808.71	1.10
共濟組合給與金	0	1,460,951	0	4,857.71	0	1,465,808.71	1.10
臨時家族手當	0	1,460,951	0	4,857.71	0	1,465,808.71	1.10
總計	11,800.251	6,868,668	10,913.1	5,171,314	11,117.361	6,840,000	0.68

## 第二二一 狩野川改修工事

本工事ハ昭和二年度ヨリ同十四年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ工費六百三十五萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ政府財政ノ都合上昭和五年度以降ニ於テ百三十九萬三千六十五圓ヲ減額シ工費四百九十五萬六千九百三十五圓（内静岡縣負擔百七十萬九千六十六圓）トナリ施行年度ヲ三箇年度延長シテ昭和十七年度トセリ而シテ其ノ區域ハ幹川狩野川ニ在リテハ静岡縣田方郡修善寺町宇瓜生野ヨリ海ニ至ル約二十六籽、支川黃瀬川ニ在リテハ駿東郡大岡村地内合流點附近約一籽、合計二十七籽ナリトス

## 施工狀況

本工事ハ昭和二年度ノ創業ニシテ同年九月沼津市ニ改修事務所ヲ設置シ實地測量及調査ヲ行ヒ次デ翌三年四月土地收用事務所ヲ開設シテ土地收用ニ着手シ昭和四年度ヨリ工事ニ着手セリ而シテ土地買收ノ進捗ニ伴ヒ昭和十一年七月土地收用事務所ヲ閉鎖シ以後殘務ハ改修事務所ニテ處理スルコトトシ本年度末迄ニ土地百三十七町九段歩ヲ買收セリ

工事施行ニ當リテハ事務所ノ下ニ二工場ヲ置キ下流沼津市ヨリ上流右岸菲山村、左岸伊豆長岡町ニ至ル區間ニ於テ施行シ本年度末迄ニ掘鑿二百七十四萬七千四百九十九立方メートル、築堤百五十五萬二千三十二立方メートル、護岸及水制六千九百二十米ヲ竣成シ外ニ附帶工事四十六箇所ヲ直接施工シ内四十一箇所ハ竣功セリ  
本年度ニ於テ施行セルモノハ左ノ如シ

掘鑿ハ沼津市、清水村、江間村、菲山村及伊豆長岡町地先ニ於テ七箇所人カヲ以テ高水敷ヲ施工シ土量五萬九千五百十四立方メートルヲ舉ゲ内二萬二千七百三立方メートルハ築堤ヘ利用シ三萬四千百三十七立方メートルハ有償ニテ民地ニ盛土シ二千六百七十四立方メートル

ハ官地ニ捨土セリ而シテ土砂運搬ニハ人力、馬力及七種ディーゼル機關車ヲ使用セリ

築堤ハ沼津市、清水村、大平村、中郷村、江間村、菲山村及伊豆長岡町地先ニ於テ八箇所ヲ施工シ内二箇所ハ補修ニシテ土量二萬六千三百四十八立方米ヲ築立テ内二萬二千七百三立方米ハ掘鑿工事箇所ヨリ運搬利用シ三千六百四十五立方米ハ河川敷ヨリ採集運搬セリ

護岸ハ沼津市、中郷村及伊豆長岡町地先ニ於テ六箇所施工シ延長二百二十米ヲ竣功セシメタリ

附帶工事ハ沼津市、大岡村、中郷村、清水村、菲山村及伊豆長岡町地先ニ於テ惡水路樋管十箇所、用水路樋管三箇所ヲ直接施工シ内惡水路樋管六箇所、用水路樋管二箇所ハ竣功セリ

而シテ本年度竣功高二十七萬三千八百九十一圓、起工以來ノ累計四百三萬七千六百二十四圓ニシテ總工事費四百九十五萬六千九百三十五圓ニ對シ八割一分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「×」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ提供材料及勞力費「■」ハ寄附用地評價額ヲ示ス

總計	本掘	工事築堤	事業護岸水	費用	用地	附工直接	帶事管理	船舶及機械	測量	營業繕費	雜費	共濟組合給與金	臨時家族手當	費目		
														數量	金額	
1,120.0	0.63	0.99	0.68	0.32	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	前年度迄竣功高	本年	合計
														數量	數量	數量
														金額	金額	金額
														未竣功	未竣功	未竣功
														立米	立米	立米
														円	円	円
0.32	0.68	0.99	0.32	0.68	0.99	0.32	0.68	0.99	0.32	0.68	0.99	0.32	0.63	0.99		

## 第二三 那賀川改修工事

本工事ハ當初工費六百三十萬圓(内徳島縣負擔二百十四萬圓)ヲ以テ昭和四年度ヨリ同十六年度ニ至ル十三箇年度ノ繼續事業ナリシガ昭和六年度及同八年度ニ於テ政府財政ノ都合上百六十六萬九千四百二十五圓ヲ減額セラレシ結果工費四百六十三萬五千七百七十五圓トナレリ同時ニ竣功期限ヲ二箇年度延長セラレ又昭和十三年度ニ於テ竣功期限一箇年度延長セラレシヲ以テ都合十六箇年度(昭和十九年度迄)ノ繼續事業トナレリ

其改修區域ハ幹川那賀川ニ在テハ徳島縣那賀郡大野村ヨリ海ニ至ル十二籽、派川岡川ハ同郡左岸中野島村、右岸寶田村ヨリ海ニ至ル六籽又支川桑野川ハ同郡長生村ヨリ岡川合流點ニ至ル五籽ニシテ合計二十三籽ノ區間ナリトス

### 施工狀況

本改修工事ハ昭和四年度ノ創業ニシテ爾來實施測量其他諸般ノ調査ヲ爲スト共ニ土地買收ヲ開始シ昭和六年度ニ初メテ人力掘鑿工事ニ着手シ翌年度ヨリ逐次築堤、護岸、附帶工事ヲ施行セリ

本年度施行セル掘鑿工事ハ那賀川筋右岸ニ於テハ昭和十四年一月着手セル中野島村、平島村及富岡町ニ跨ル舊堤除却工事ヲ繼續施行シ新ニ大野村大字中大野地先高水敷掘鑿及富岡町大字辰己、平島村大字中島ニ亘ル地先ニ於テ夫々高水敷掘鑿ヲ起工シ中野島村大字南島ニ於ケル舊堤除却並ニ高水敷掘鑿ノ二工事ハ共ニ附帶工事那賀川橋繼足工事等ノ關係ニ依リ本年度中休工セリ左岸ニ在リテハ昭和十一年着手工ノ平島村大字赤池地先高水敷掘鑿(十二月竣功)同平島村大字西原地先舊堤除却並ニ高水敷掘鑿(九月竣功)羽ノ浦町及大野村大字下大野字明見地先高水敷掘鑿ヲ孰レモ繼續施行セル外平島村大字大京原地先高水敷ニ堆積セル流送土砂等ヲ掘鑿ノ爲メ本年度新ニ着手セリ

而シテ掘鑿ハ總テ人力ニ依ルモノニシテ本年度中ニ於ケル掘鑿土量ハ十一萬二千二十六立方米ニシテ是等土砂ハ主トシテ築堤用土トシテ利用ノ爲メ附近新堤敷豫定地ニ、一部ハ河敷内深掘箇所ノ埋立用ニ供セリ

前年度末竣功セル河口齋藤島掘鑿跡ニ於ケル中等潮位以下二米五〇迄浚渫ノ目的ヲ以テ前年度起工施行中ナリシ齋藤島浚渫工事ハ本年度十月迄ニ土量十四萬七千七十八立方米ヲ浚渫シ爾餘ハ工事ノ都合ニ依リ休工セリ

掘鑿土砂ノ運搬ハ十瓦軌條、七瓦重油機關車、五瓦瓦斯倫機關車、一立米積鐵製土運車並ニ六瓦梯形軌條及零立方米六積木製土運車ヲ使用セリ、又浚渫工事ハ鋤鏈式浚渫船及之ニ附隨スル曳船並ニ土運船二組ヲ賃借契約ニ依リ使用シ浚渫土砂ハ沖海中ニ投棄セシメタリ

築堤工事ハ專ラ掘鑿土砂ヲ利用シテ築立シタルモノニシテ前年度ヨリ繼續施行中ノ那賀川左岸平島村大字中島地先ニ於ケルモノ、羽ノ浦町大字岩脇字古毛地先並ニ大野村大字下大野字明見地先ニ互ルモノ二箇所、同右岸ニ在リテハ富岡町大字辰巳地先ニ於ケルモノ(十六年三月二十五日竣功)ヲ何レモ繼續施行セル外本年新ニ大野村大字中大野地先ニ於テ一箇所ヲ起工セリ

本年度中ニ於ケル築立土量四萬七千五百七十立方米ニシテ此延長七百八米ナリ

護岸工事ハ那賀川右岸ニ於テハ昭和十三年度末着手セル富岡町大字辰巳地先ノ石張護岸工事(十五年八月十五日竣功)前年度末着手セル同下流端富岡町大字辰巳地先石張護岸工事、同右岸平島村大字大京原地先ニ於テ附帶工事水路附替ノ都合ニ依リ休工中ナリシ石張護岸工事ヲ何レモ繼續施行セル外本年度ニ於テ新ニ大野村大字中大野地先ニ石張護岸工事ヲ起工セリ那賀川左岸ニ於テハ十二年度着工ノ平島村大字赤池地先石張護岸及改良木床、河口平島村大字中島地先ニ石張護岸工事ヲ羽ノ浦町大字古毛地先石張護岸工事、同所下流羽ノ浦町大字岩脇地先ニ石張護岸工事ヲ夫々繼續施行シ新ニ羽ノ浦町大字岩脇、大野村大字下大野兩地先ニ互リ石張護岸工事一箇所ヲ起工セリ

又岡川筋右岸ニ於テハ幹川トノ合流點上富岡町大字芥原地先ニ於テ十四年度ヨリ施行中ノ石張護岸並ニ水制工工事ヲ引續キ施行セリ而シテ本年度内ノ竣功延長一千六百五十九米、石張面積一萬六千六十一平方米、基礎根圍工三百九米二、改良木床百五米ナリ

附帶工事ニ在リテハ十四年度着工ニ係ル那賀川右岸中野島村大字南島地先ナル縣道那賀川橋繼足工事富岡大字辰巳地先ニ於テ施行ノ惡水樋管改築工事並ニ那賀川左岸羽ノ浦町大字岩脇同町大字古毛及大野村大字下大野兩地先ニ跨ル樋管改築並用惡水路附替ヲ各施行セル外右岸中野島村大字横見、平島村大字大京原地先ニ於ケル用惡水路ノ附替一箇所ヲ起工シ橋梁繼足工事ハ着工以來約五割八分ノ竣功ヲ示シ樋管改築並用惡水路附替ノ三工事ハ何レモ年度内ニ竣功セリ

用地買収ニ關シテハ本年度ハ專ラ前年度迄ニ買収協議濟ナル殘務ノ處理ニ當リ即チ承諾濟ニシテ支拂未濟ノモノ二萬一千二百九十圓ノ内主トシテ第十次買収地先タル羽ノ浦町大字岩脇及富岡町大字芥原地先ノ土地、家屋、物件移轉其他ニ對シ土地五段八畝七步餘、此金額五千二百二十九圓、家屋移轉料四千八百二十五圓、其他物件移轉料九百五十二圓右ニ伴フ借地權補償百三十二圓此金額合計一萬一千百三十八圓ヲ支出シ殘餘ハ時局ノ影響ニ依リ民間ニ於テ移轉ニ要スル諸物資配給入手充分ナラザル爲メ移轉ノ完了ヲ見ザリシモノニシテ翌年度ニ繰越セリ

本年度ニ於ケル竣功總額ハ二十九萬二千八百九十三圓ニシテ起工以來累計竣功額ハ二百二十九萬三千八百六十六圓之ヲ總工費四百六十三萬五百七十五圓ニ比スレバ約五割ニ當レリ、其工事竣功表左ノ如シ但シ本表中「一」ハ利用土量、「二」ハ附帶工事管理者負擔、「三」ハ民地捨土提供勞力費ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	1,313.93米	332,311.50円	1,117.01米	312,824.00円	2,430.94米	645,135.50円	0.84
本浚	51,738.8	1,142,500.00円	1,227.02米	51,424,000.00円	127,966.82米	52,566,500.00円	0.11
工事築堤	*	0.00円	1,227.02米	51,424,000.00円	1,227.02米	51,424,000.00円	0.11
事護岸	985.755	2,426,900.00円	1,227.02米	51,424,000.00円	2,212.777米	53,850,900.00円	0.11
費材	1,313.93米	4,427,311.00円	1,117.01米	3,570,000.00円	2,430.94米	7,997,311.00円	1.00
用地	1,010.00段	2,111,190.00円	6段	11,130.00円	1,016.00段	2,122,320.00円	0.00
附帶工事費(直營施行)	箇所六	9,000.00円	箇所三	6,100.00円	箇所九	15,100.00円	0.00
船舶及機械費		1,110,000.00円		1,110,000.00円		2,220,000.00円	0.00
測量費		19,200.00円		19,200.00円		38,400.00円	0.00
營業繕費		33,111.00円		22,600.00円		55,711.00円	0.00
雜費		1,275,500.00円		1,275,500.00円		2,551,000.00円	0.00
共濟組合給與金		7,900.00円		11,000.00円		18,900.00円	0.00
臨時家族手當							0.00
總計		11,000,400.00円		11,818,300.00円		22,818,700.00円	0.00

## 第二四 大野川改修工事

本工事ハ當初工費六百萬圓(內大分縣負擔二百四萬九千圓)ヲ以テ昭和四年度以降同十六年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシ處其後國庫財政ノ都合上昭和六年度及同八年度ノ兩年度ニ於テ合計百五十八萬七千六百七十一圓ヲ減ジ工費總額ヲ四百四十一萬二千三百二十九圓(內大分縣負擔百五十一萬七千二百九十五圓)ニ改ムルト共ニ工期ヲ各一箇年度延長シ超エテ昭和十二年度、同十四年度並ニ同十五年度ニ於テ更ニ工期ヲ各一箇年度延長シ竣功期ハ昭和二十一年度トナレリ其ノ改修區域ハ大分縣大分郡竹中村以下海ニ至ル延長約十八軒トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和四年度創業ト共ニ直ニ施工準備及實施測量ニ着手シ翌五年度ヨリ土地買収ヲ開始シ大分郡高田村地先ノ掘鑿及築堤工ニ着手セリ本年度内ニ於ケル施工概要左ノ如シ

掘鑿工ハ前年度ヨリ引續キ機械並ニ人力ニ依リ施行シ内機械掘鑿ハ右岸大分郡戸次町地先一箇所ニシテ掘鑿ニ六百立方メートル掘鑿機(蒸汽)ヲ用ヒ人力掘鑿工ニ在リテハ左岸大分郡松岡村地先ニ於ケル一箇所及右岸大分郡戸次町、北海部郡川添村及大在村地先ニ於ケル二箇所、計三箇所ヲ施工シ外ニ工事ノ都合上休工ノモノ五箇所アリ何レモ未竣功ノ儘次年度ニ繰越セリ

本年度掘鑿土量ハ十八萬六千七百五十四立方メートルニシテ運搬ニハ七瓩ダイーゼル機關車四臺、七瓩瓦斯倫機關車一臺、四瓩瓦斯倫機關車一臺及馬力ヲ併用シ其ノ大部分ハ築堤用土ニ供シ殘餘ハ附近官有地へ投棄セリ

築堤工ハ前年度ヨリ繼續施行ノ左岸大分郡松岡村及高田村地先ノ二箇所、右岸大分郡戸次町及北海部大在村地先ノ三箇所ノ外工事ノ都合上休工中ノモノ五箇所アリ何レモ未竣功ノ儘後年度ニ繰越セリ所要土量ハ全部掘鑿土ヲ利用シ本年度十六萬五

千七百五十一立方米ノ築立ヲ了セリ

護岸水制工ハ前年度ヨリ繼續施行ノ左岸大分郡松岡村及高田村ノ二箇所、右岸北海道郡大在村ノ一箇所、計三箇所ノ外本年度新ニ着工セル左岸大分郡松岡村地先一箇所、右岸北海道郡大在村地先ノ一箇所、計二箇所ニシテ合計五箇所内松岡村、高田村及大在村ノ三箇所ヲ竣功セシメタリ

水門工ハ前年度ヨリ繼續施行ノ左岸大分郡鶴崎町地先一箇所ニシテ工事續行ノ儘次年度ニ繰越セリ

土地買収ニ在リテハ豫算ノ都合ニ依リ前年度未迄買収未解決ノ土地ニ對シ極力解決ヲ期シ本年度内ニ買収登記ヲ了了セシ土地一町三段歩ニシテ起工以來ノ累計二百町六段歩トス

本年度竣功高ハ二十三萬六千三百九十八圓ニシテ起工以來ノ累計二百六十二萬四千五百五十三圓ヲ算シ總工費四百四十一萬二千三百二十九圓ニ對シ約五割九分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ土捨出願者提供勞力費「○」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 二、一八七、五九	五、四六、二一〇	立米 一、八六、七五四	五八、九二〇	立米 二、一、四、五三三	五、五五、一三〇	〇・六五
築堤	* 一、一、四、六、二八一	一一八、五七七	* 一、一、五、七、七八一	一、七、〇、七〇七	* 一、二、七、二、〇一四	一一五、九八四	〇・九五
水制	米 三、一〇、〇六	八八、七八九	米 一、〇〇、〇六	一一〇、四一四	米 四、一〇、一三	一九八、一三〇	〇・一四
護岸	箇所 一	五八、一三三	箇所 一	七、七、七三三	箇所 一	一一五、八六六	
水門	未竣功 一、九、九、三三四	七、六、六、六三三	未竣功 一	三、七、七三三	未竣功 一	一〇、四、三六六	
土地							
費用							

總計	臨時家族手当	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶及機械費	帶費 管理 者 施行	附工 直接 施行
▲□	二、三、七、七、五、五	九、六、九、六	二、〇、五、八、九、五	一、七、二、三、八、七、三	一、九、二、三、七、九、三	四、八、八、二、〇、五	四、五、三、三、三	三、四、七、五、八 一、七、三、八、〇
▲□	三、三、五、八、〇	一、四、九、七	三、三、三、三、三	一、三、三、三	一、九、〇、一	四、三、一、四、四		
▲□	二、三、五、〇、〇、一	二、一、一、二、一	二、三、八、二、五、二	一、三、三、一、五、七	二、〇、一、一、三、三	三、三、一、〇、三、九	四、五、三、三、三	三、四、七、五、八 一、七、三、八、〇
〇・五、九								

## 第二五 渡川改修工事

本工事ハ當初工費七百五十萬圓(内高知縣負擔二百五十三萬五千圓)ヲ以テ昭和四年度ヨリ昭和十七年度ニ至ル十四箇年度間ノ繼續事業トシテ施行シタル處國庫財政緊縮ノ爲メ昭和六年度ニ於テ工費六百七萬六千六百八十九圓(内高知縣負擔百九十八萬二千八百圓)ニ減額次デ昭和八年度ニ於テ工費五百四十九萬九千八百十二圓(内高知縣負擔百八十七萬二千七百八十一圓)ニ減額セラレ工期ヲ昭和十八年度迄延長セラレシガ昭和十年八月渡川未曾有ノ大洪水ニ鑑ミ一部工事ヲ追加スルノ必要ヲ生シ昭和十一年度ニ於テ總工費七百二十一萬八千八百十二圓(内高知縣負擔二百四十四萬五千七百八十一圓)ニ増額シ工期亦昭和二十二年迄ニ延長セラレタリ

其ノ施行區域ハ幹川筋高知縣幡多郡後川村以下海ニ至ル間十三村、支川後川筋同郡中村町以下渡川合流點ニ至ル間約五村及支川中筋川筋同郡東中筋村以下渡川合流點ニ至ル間約七村、合計約二十五村ノ區間ナリトス

### 施工狀況

本改修工事ハ昭和四年度ノ創業ニシテ當初測量其ノ他諸般ノ施行準備ヲ進メ翌五年度ニ至リ土地買收及掘鑿工事ニ着手シ昭和六年度ヨリ逐次築堤護岸及附帶工事等ヲ施行セリ

而シテ本年度ハ前年度ヨリ繰越セル諸工事並ニ本年度着手ノ工事ニ就キ銳意本改修工事ノ進捗ニ努メタリ本年度ノ施工概況ヲ述レバ左記ノ如シ

掘鑿工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續施行ニ係ル幹川渡川筋左岸中村町大字不破地先ニ二箇所、八束村大字山路地内ニ一箇所、同右岸八束村大字山路地先ニ二箇所、同左岸ニ一箇所、同左岸下田町大字鍋島地先ニ一箇所及支川中筋川筋左岸具同村大字

具同地先ニ一箇所、支川後川筋左岸東山村大字古津賀地先ニ一箇所、計九箇所ニシテ本年度着手セルモノハ幹川渡川筋左岸中村町大字不破地先ニ一箇所、同右岸八束村大字山路地先ニ災害復舊工事一箇所、計二箇所ニシテ本年度竣功セルモノハ災害復舊工事ノミニシテ他ハ何レモ翌年度ニ繰越セリ

而シテ是等掘鑿工事ハ主トシテ人力ニ依ルモノニシテ機械掘鑿ハ幹川渡川筋左岸中村町大字不破地先ニ二箇所、同右岸八束村大字山路地先ニ一箇所、同左岸ニ一箇所及支川中筋川筋左岸具同村大字具同地先ニ一箇所、計五箇所ニシテ掘鑿機ハ一千二百立方米掘短梯式掘鑿機三臺及ドラグライン掘鑿機一臺並ニスチームシヨベル一臺ヲ使用ス掘鑿土砂ノ運搬ニハ二十噸機關車及七噸瓦斯倫機關車等ヲ配セリ

以上施工シタル本年度ノ掘鑿土量ハ二十五萬五千四百三十八立方米ニシテ右運搬ニハ人力並ニ馬力ヲ適宜併用シ遠距離ニハ前記二十噸機關車及七噸瓦斯倫機關車ヲ利用セリ

築堤工事ニ在リテハ前年度ヨリ繰越セル幹川渡川筋右岸八束村大字坂本及中村町大字不破地先ニ延長二千五百五十米ニ互ル瀨割堤一箇所並ニ八束村大字山路及實崎地先ニ延長二千四百五十二米五ニ互ル瀨割堤一箇所及具同村大字具同及入田地先ニ一箇所、同左岸下田町大字竹島地先ニ一箇所、同町大字鍋島地先ニ一箇所及支川後川筋右岸中村町大字中村地先ニ一箇所、中村町大字中村及東山村大字佐岡地先ニ一箇所、中村町大字右岨大字角崎地先ニ一箇所、計八箇所ニシテ本年度竣功セルモノハ中村(後川)築堤工事並ニ長畑築堤工事ノ二箇所ニシテ他ハ翌年度ニ繰越セリ、築立ハ主ニ掘鑿土ヲ利用スルモノニシテ本年度築立土量ハ十二萬二千七百三十四立方米ナリ

護岸工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續セル幹川渡川筋右岸八束村大字坂本及中村町大字不破地先ニ互ル二箇所及同左岸下田町大字竹島地先ニ一箇所、計三箇所ニシテ本年度着手セルモノハ同町大字鍋島地先ニ一箇所ニシテ何レモ年度内竣功スルニ至ラズ翌年度ニ繰越セリ



第一章 河川改修工事 (渡川改修工事)

總計	陸		水		費		用		附帶		船		測		營		雜		共濟		亡失		臨時	
	所	門	採	取	地	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
▲□	簡所	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二、六四八、〇〇〇	一、三三八	二、七、三三四	五〇、一九〇	六〇〇、六七六	二、二五五																			
▲□	簡所	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二、六四八、〇〇〇	一、三三八	二、七、三三四	五〇、一九〇	六〇〇、六七六	二、二五五																			
▲□	簡所	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二、六四八、〇〇〇	一、三三八	二、七、三三四	五〇、一九〇	六〇〇、六七六	二、二五五																			

## 第二六 木津川改修工事

本工事ハ工費總豫算四百三十五萬圓(内京都府負擔百五十二萬二千圓)ヲ以テ昭和五年度ヨリ同十四年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業ナリシガ昭和六年度ニ於テ工費三百六十九萬九千三百圓(内京都府負擔百二十四萬五千六十五圓)ニ減額サレ年限ヲ二箇年度延長サレ昭和十六年度迄ニ改定セラレ次テ昭和八年度更ニ工費ヲ減ゼラレ三百三十三萬五千七百七十圓(内京都府負擔百十七萬五千六百八十七圓)トナリ年限モ一箇年度延長サレ昭和十七年度迄ト改定セラレタリシガ昭和十三年度ニ於テ施工年度ヲ更ニ一箇年度延長セラレ尙昭和十四年度ニ工期一箇年度延長サレ昭和十九年度迄トナリ延テ昭和十五年度ニ一箇年度工期ノ延長トナリ現在昭和二十年年度ニ竣功セシムルコトトナレリ

其ノ改修區域ハ左岸京都府相樂郡加茂町、右岸同郡瓶原村以下淀、桂及本川ノ合流點ナル京都府綴喜郡八幡町ニ至ル三十一料強ノ區間ニシテ主トシテ高水防禦工事ヲ施行スルモノトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和五年度ノ創業ニシテ六年度迄ハ各種ノ調査測量等準備ニ當リテ昭和七年度九月以降時局匡救土木事業費トシテ年度割ノ繰上配賦ヲ受ケ始メテ工事ニ着手セリ當時用地ハ買収未着手ナリシヲ以テ官有地ニ於テ工事施行可能ノ部分ヲ選ビ各所ニ工事分散的ニ築堤、護岸ヲ起工シ逐次用地買収ノ進捗ニ從ヒ緊急施行ヲ要スル箇所ヨリ築堤ヲ進行セシメ又掘鑿工ハ河道埋没セル狹窄部ヨリ始メ亦護岸ハ堤防ニ近接シテ荒廢破損、危險ニ頻セル一部ヲ施行シ昭和十四年度末迄ニ掘鑿六十萬五百十四立方米、工費十二萬七千二百二十三圓、築堤百六十三萬八千四百九十立方米、工費六十一萬九千三十四圓、護岸三千五百二十米、工費六萬一千六百三十圓ヲ竣功セシメタリ

本年年度ニ於テハ掘鑿工一箇箇所、土量二千五百九十一立方米、工費二千四百三十三圓、築堤工一箇箇所、土量九千三百三十一立方米、工費四萬九千二百一十一圓ヲ竣功セシメ、護岸工一箇箇所、土量一千四百八十八米、工費五千五百一十四圓ヲ竣功セシメ、完成ヲ見タリ

本年度ニ於テハ掘鑿工二箇所、土量三千百九十一立方米、工費二千四百三圓、築堤工ハ飯岡築堤多賀第二築堤ヲ竣功シ其ノ他未竣功ノ七箇所ヲ合セテ土量十萬九千三十立方米、工費四萬九千二百一圓ヲ竣功ス護岸ハ前年度ニ引續キ木津第一護岸ヲ施工四百四十八米、工費五千百十四圓ヲ要シ殆ド完成ヲ見タリ

尙本年度ハ割石採石工ヲ起シ竣功セシメタリ

以上本年度本工事費五萬六千七百十八圓、累年竣功額八十六萬四千六百五圓、本工事費約五十六パーセントヲ竣功セリ附帶工事ハ昭和九年度ニ手原川用水樋管ヲ竣功セシメタルヲ始メトシ前年度迄ニ八萬五千五百九十圓ヲ竣功シ本年度ニ於テハ前年度ヨリ繼續セルモノヲ合シテ工費四萬一千八十八圓ヲ費シテ十箇所ヲ施工シ内三箇所ノ水路及樋管等ヲ竣功セシメ累年竣功額十二萬六千六百七十八圓トナレリ

用地買收ハ昭和七年度大住村地先ニ着手以來逐次買收、十四年度末ニ五十二町步餘ヲ買收シ用地物件併セテ二十六萬四千二百九十三圓ヲ支出シ本年度ニ於テハ木津町地内五段餘ヲ買收シ二千六百餘圓ヲ竣功シ起工以來總計五十二町六段餘ノ用地ヲ買收シ物件其他等併セテ二十六萬六千八百九十四圓ノ竣功トナレリ

本年度ニ於ケル支出總額ハ十五萬五千八百六十二圓、起工以來ノ累計百八十二萬一千百九圓ニシテ總工費豫算三百三十三萬五千七百七十圓ニ比スレバ約五割五分ニ當ル其ノ竣功表ハ左ノ如シ但シ「□」ハ管理者負擔額「×」ハ土木試驗費補給額「○」ハ無代價品評價額「△」ハ製作品價額「●」ハ直營採取品價額「▲」ハ民地捨土ニ對スル提供額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	立米 一、六三八、四〇〇	六、一九〇、〇〇〇	立米 〇、〇〇〇	四九、一〇〇	立米 一、六三八、四〇〇	六、一九〇、〇〇〇	〇・八二
工事掘鑿	〇	〇	〇	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇	〇・〇四
護岸水制	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
用地費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
船舶及機械費	〇	一、七四、八七〇	〇	一、八、一三三	〇	一、九三、〇〇三	〇
附帶工事費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
測量費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
營業繕費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
共濟組合給與金	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
臨時家族手当	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
總計	〇	一、七四、八七〇	〇	一、八、一三三	〇	一、九三、〇〇三	〇

## 第二七 川内川改修工事

本工事ハ工費四百萬圓(内鹿兒島縣負擔百三十八萬五千圓)ヲ以テ昭和六年度ヨリ同十七年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ施行中ノ處昭和八年度ニ於テ工費三百六十萬五千圓(内鹿兒島縣負擔百二十四萬八千四百二十九圓)ニ改訂スルト共ニ工期一箇年度延長シ超エテ同十二年度及十四年度ニ於テ更ニ各工期一箇年度ヲ延長シ竣功期ヲ昭和二十年度ニ改メタリ  
施行區域ハ幹川鹿兒島縣薩摩郡下東郷村ヨリ下流ノ幹川(河口附近約二籽ヲ除ク)延長十四籽、平佐川、隈之城川等ノ支川ヲ加ヘ合計十七籽トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和六年度創業ト共ニ施工準備ニ着手シ實施測量及土地買收ヲ開始シ同七年十月掘鑿及築堤工事ニ着手セリ本年度工事ノ概要左ノ如シ

掘鑿工ニ在リテハ前年度ヨリ繼續セルモノ八箇所、内工事ノ都合ニ依リ休工ノモノ一箇所並ニ本年度新ニ着手セル右岸川内市宮内町地先及同市向田町、冷水町地先ニ各一箇所、計十箇所ニシテ此掘鑿土量十萬九千五百三十八立方米ヲ算ス掘鑿ハ六百立方米掘無限軌道短梯形掘鑿機(蒸汽)並ニ人力ニ依リ施工シ其ノ土砂ハディーゼル機關車二臺、蒸汽機關車一臺及人馬力ニ依リ運搬シ其ノ大部分ハ築堤土ニ利用シ其ノ他ハ附近官民有地ニ投棄セリ

築堤工ヲ施行セシハ前年度ヨリ繼續セルモノ十箇所、内工事ノ都合ニ依リ休工ノモノ二箇所並ニ本年度新ニ着手セル川内市宮内町地先及同市向田町、冷水町地先ニ各一箇所、計十二箇所ニシテ其ノ所要土量ハ一部分採取セル外ハ總テ掘鑿土ヲ利用シ年度内ニ十萬五千百三立方米ヲ築立タリ

護岸工ハ工事ノ都合ニ依リ休工ノモノ一箇所並ニ本年度新ニ着手セル鹿兒島縣薩摩郡水引村平島地先ニ一箇所 計二箇所ニシテ主トシテ石積並石張ヲ施行セリ

水門工ハ本年度初メテ鹿兒島縣薩摩郡下東郷村中郷地先ニ一箇所ヲ施行シ約九割餘ヲ竣功セシメタリ

土地買収ニ關シテハ本年度ニ於テハ前年度ヨリ繰越ノモノ大部分之ヲ解決シ更ニ年度内川内市宮里町、向田町、冷水町地先ニ於テ第十六次ノ買収協議ヲ行ヒ殆ンド承諾ヲ得タリ

年度内買収段別ハ約八町二段歩ニシテ累年度合計百一町四段歩ナリトス

附帶工事ニ在リテハ何レモ直接施行ニシテ前年度ヨリ繼續施行ノ三箇所ハ年度内ニ竣功セシメ本年度更ニ川内市大小路町地先ニ一箇所ヲ着手セリ

本年度竣功高ハ二十六萬二千八百七十六圓ニシテ起工以來ノ累計百七十七萬二千百九十九圓ヲ算シ總工費三百六十萬五千圓ニ對シ約四割九分ノ竣功ナリ其ノ竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ土捨出願者提供勞力費「○」ハ評價品價額ヲ示ス

費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘	立米 △ 1,101	14,406.00 円	立米 △ 1,027	13,711.10 円	立米 △ 2,128	28,117.10 円	0.45
築	米 △ 9,328	1,400.00 円	米 △ 11,110	1,922.11 円	米 △ 20,438	3,322.11 円	0.35
護	米 ○ 1,137	183.39 円	米 ○ 1,194	1,922.11 円	米 ○ 2,331	3,744.50 円	0.35
水	箇所 		箇所 	18,929 円	箇所 	18,929 円	0.00
未竣功							
計							

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶及機械費	帶費 附事 管理 者 施 行	直 接 施 行	用地 地 費
								未竣工	
								三三	九三
▲□				○	○	○		三三	九三
1,170,000		4,987	149,851	1,111,600	1,111,600	221,569	1,100	15,885	82,869
								三三	九三
▲□				○	○	○		三三	九三
810,000	1,170	7,891	110,101	404,700	404,700	33,881		6,087	101,101
								三三	九三
▲□				○	○	○		三三	九三
1,170,000	1,170	3,357	11,001	1,111,600	1,111,600	221,569	1,100	15,885	82,869
								三三	九三
▲□				○	○	○		三三	九三
1,170,000	1,170	3,357	11,001	1,111,600	1,111,600	221,569	1,100	15,885	82,869
0									

## 第二八 太田川(廣島)改修工事

本工事ハ總工費豫算一千五百萬圓(内廣島縣負擔五百六萬九千圓)ヲ以テ昭和七年度ヨリ同二十三年度ニ至ル十七箇年度ノ繼續事業トシテ施行スルモノトス

改修區域ハ左岸廣島縣安藝郡戸坂村、右岸同縣安佐郡原村以下海ニ至ル約十二軒ノ區間トス

### 施工狀況

本改修工事ハ昭和七年度ノ創業ニシテ七、八兩年度ハ主トシテ改修區域全川ノ準備測量ヲ行ヒ九年度ニ至リ下流部ニ於ケル浚渫、築堤、護岸ノ各工事ヲ起シ翌十年度ニ於テ掘鑿工事ヲ加ヘ爾來着々其ノ工ヲ進メルト共ニ九年度以降前記工事ニ必要ナル用地買收ヲ行ヘリ

本年度ニ於ケル用地買收ハ前年度ヨリ繰越シタル協議額百五十五萬八千八百六十餘圓ノ整理ニ努メ支川山本川筋ヲ除キ南三篠町地内特殊事情ノモノ二件ヲ殘シ承諾ヲ得之ガ所有權移轉ト代金支拂ノ手續ヲ進メタリ年度内其ノ支拂總額ハ(河口漁業權補償共)三十萬八百二圓ニシテ前年協議發表ノ廣島市南三篠町地内土地及物件協議總額百五十三萬九千餘圓ノ内本年度迄ノ支拂額ハ三十六萬八千五百五十圓弱ナリ

本年度ニ於ケル本工事箇所ハ前年度ヨリ繼續ノ七箇所ニ新ニ人力掘鑿一箇所ト附帶工事一箇所ヲ加ヘ施行セリ今施工概要ヲ述ブレバ左ノ如シ

掘鑿工ハ前年度ヨリ繼續ノ福島、福島第二人力掘鑿ノ二箇所及本年度著手ノ福島第三人力掘鑿一箇所、計三箇所ニシテ土量二萬二百九十一立方米ヲ掘鑿シ築堤敷ニハ馬匹ニ依リ運搬シ土量中一萬二千四百九十六立方米ハ民地捨土(出願者ニ於テ主

トシテ貨物自動車運搬)ヲ爲セリ

築堤工ハ前年度ヨリ繼續ノ草津 己斐 福島築堤ノ三箇所ヲ施行シ年度内ニ九千六百九十七立方米(内掘鑿土利用七千七百九十五立方米 前年度末官地假置浚渫土利用一千九百二立方米)ノ築立ヲ爲セリ

浚渫工ハ前年度ヨリ繼續セル觀音第一機械浚渫一箇所ニシテ七、八、九月約三箇月間フリストマン式浚渫船一隻ヲ運轉シ土量一萬一千七百三十立方米ヲ浚渫シ附近官地低地ニ放棄セリ

附帶工事中廣島市管理ニ係ル草津町惡水路附替工事一箇所ヲ新ニ著手シ年度内ニ竣功セリ

以上ノ如ク本年度ノ竣功高ハ三十五萬四千九百五十圓ニシテ創業以來ノ累計ハ二百九十九萬三千十圓ナリ之ヲ總工費一千五百萬圓ニ比スレバ約二割ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中(一)ハ管理者負擔額(二)ハ土木試驗所補給額(三)ハ提供物件價額(四)ハ無代價品評價額(五)ハ製作品價額ヲ示ス



## 第二九 安倍川改修工事

本工事ハ昭和七年度ヨリ同十九年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ工費四百八十萬圓ヲ以テ施行中ノ處支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ施行年度ヲ三箇年度延長ノト竣功期限ヲ昭和二十二年トシテ施行スルコトナレリ而シテ其ノ區域ハ幹川安倍川ニ在リテハ靜岡縣安倍郡美和村大字松野ヨリ海ニ至ル十七軒、支川藁科川ニ在リテハ同郡中藁科村大字大原以下合流點ニ至ル九軒、合計二十六軒ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和七年度ノ創業ニシテ靜岡市田町ニ改修事務所ヲ設置シ諸般ノ調査測量ヲ爲スト共ニ土地買収及工事ニ着手シ本年度迄ニ掘鑿四萬九千四百四十三立方米、築堤百十二萬四千九百七十七立方米、護岸一萬三千三百六十二米、水制八箇所三百六十一米ヲ竣成シ附帶工事ハ三十三箇所ヲ直接施行シ内三十箇所ハ竣功セリ又十六箇所ハ管理者施行ニシテ内十五箇所竣功セリ而シテ本年度ニ於テ施行セルモノハ左ノ如シ掘鑿工事ハ前年度ニ引續キ施行ニ係ル幹川安倍川筋靜岡市地先ノ一箇所ニシテ土量九千九百九十一立方米ヲ小型掘鑿機及人力ニ依リ掘鑿シ附近築堤敷ニ運搬投棄シ次年度ニ繰越セリ

築堤工事ハ前年度ニ引續キ施行ニ係ル幹川安倍川筋左岸靜岡市、右岸同市美和村支川藁科川左岸服織村、中藁科村、右岸南藁科村、中藁科村ノ十箇所ノ外新ニ着手セル幹川安倍川筋右岸靜岡市地先二箇所、合計十二箇所ニシテ本年度ニ於テ竣功セル工事ナク全工事ヲ次年度ニ繰越セリ而シテ本年度功程ハ自辨土四萬五百七十九立方米、利用土一萬四千七百五十四立方米、合計五萬五千三百三十三立方米ニシテ所要土砂ハ總テ川敷ヨリ人力ヲ以テ採取シ二瓩七機關車及人力ニテ運搬セリ

護岸工事ハ前年度ニ引續キ施行ニ係ル幹川安倍川筋左岸靜岡市、右岸同市服織村、美和村、支川藁科川、左岸服織村、中藁

科村、右岸同村南藁科村地先ノ十二箇所ノ外本年度ニ於テ新ニ着手セル幹川安倍川筋左岸静岡市地先ノ二箇所、合計十四箇所ニシテ本年度ニ於テハ竣功セル工事ナク全部次年度ニ繰越シタリ

而シテ水制工事ハ前年度ニ引續キ施行ニ係ル安倍川支川藁科川右岸中藁科村地先ノ一箇所ノ外本年度新ニ着手セル幹川安倍川右岸静岡市地先ニ於テ一箇所、計二箇所ニシテ内中藁科村地先ノ一箇所ハ次年度ニ繰越セリ

附帶工事ハ前年度ニ着手セル静岡市管理ノ丸子、中島及服織村管理ノ村口、和田ノ四箇所ノ樋管及服織村管理ノ谷津用水路、谷津排水路ノ二箇所、計六箇所ヲ直接施行本年度ニ於テ何レモ竣功シ本年度新ニ着手セル直接施行ニ係ル静岡市管理ノ静岡、下川原二號ノ二箇所ノ樋管及前年度ニ於テ着手セル南藁科村吉津下用水路ハ管理者ニ於テ施行シ竣功ニ至ラズ次年度ニ繰越セリ

前年度竣功ノ中藁科村管理施行ノ大原用水路ハ本年度ニ至リ補助金ヲ支拂ヒタリ

本年度新ニ着手セル服織村、中藁科村地内ニ於ケル府縣道附替工事ハ本年度内ニ竣功ニ至ラズ次年度ニ繰越シタリ

土地買収ハ前年度迄ニ幹川安倍川筋静岡市服織村及美和村、支川藁科川筋服織村、南藁科村及中藁科村ニ於テ二十五町二段餘ノ買収了了セシガ本年度ニ於テハ僅カニ前年度ノ買収協議ニ係ル幹川安倍川筋右岸静岡市、左岸同市ノ土地一段ヲ買収セシニ止マリ其ノ用地費一千三百二圓ヲ支拂ヘリ

斯クシテ本年度竣功高ハ十八萬七千七百八十圓ニ上リ起工以來ノ竣功高ハ百九十六萬三千七百七十三圓ナリ之ヲ總工費四百八十萬圓ニ比較スルトキハ四割一分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「□」ハ管理者負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘	三九、四二二 立米	一一、二五二 円	九、九九一 立米	三、一〇〇 円	四九、四一三 立米	一四、三五二 円	〇・四
築堤	一、〇六九、五七四	四一七、一八三	三、三三三	三六、二五二	一、一〇二、九〇七	四五三、四三五	〇・四
護岸	二二、八四三 米	六三三、九九三	八八〇 米	六七、九七四	二三、七二三 米	七〇一、九六七	〇・四
用地	二五、二二	一、〇〇四、〇〇四	一段	一、〇〇一	二五、二二	一、〇〇五、〇〇五	—
直接	簡所 二四	八八、〇〇三	簡所 六	三、七六二	簡所 三〇	九一、七六五	—
附帶	—	—	—	—	—	—	—
管理	—	—	—	—	—	—	—
船舶及機械	—	—	—	—	—	—	—
測量	—	—	—	—	—	—	—
營業	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
臨時家旅手當	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	一、七五五、九三三	—	一、八七、七八〇	—	一、九四三、七一三	〇・一

### 第三〇 多摩川上流改修工事

本工事ハ昭和七年度ヨリ同十八年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ總工費三百九十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ政府財政ノ都合ニ因リ昭和十二年度ニ於テ工費三十六萬圓ヲ減額シテ總工費ヲ三百五十四萬圓ニ改メ昭和十三年度以降ニ於テ工期ヲ二箇年度延長シ昭和二十年度ニ至ル十四箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ  
其區域ハ幹川東京府北多摩郡立川町ヨリ東京市世田谷區（舊砧村）ニ至ル延長二十一籽並ニ支川淺川高幡橋ヨリ合流點ニ至ル約二籽、計二十三籽ナリトス

#### 施工狀況

本工事ハ昭和七年度ノ創業ニ係リ同年七月一日ヨリ實施測量及調査ニ着手シ八月一日改修事務所ヲ東京府北多摩郡調布町ニ設置シ九月一日ヨリ築堤土運搬ヲ開始セリ

本年度ニ於ケル土地買收ハ日野町、七生村地内ニ於テ三町七段九畝餘歩ヲ發表シ内一町八段歩ノ承諾ヲ得之ヲ買收セリ

築堤工事ハ既着手ノ多摩、稻城、狛江、日野、川崎市町村地先各一箇所ヲ續工セシ外本年度更ニ多摩、七生ノ二箇所ヲ着工シ内二箇所ヲ竣功セシメタリ而シテ此竣功延長一千九十八米土量六萬七千八百八十四立方米ナリ

掘鑿工事ハ前年度着手ノ宇奈根人カヲ續工シタル外本年度ニ至リ日野町ニ人力掘鑿、多摩村ニ機械掘鑿ヲ開始シ土量五萬一千二百四十七立方米ヲ移動セリ使用機械ノ主ナルモノハデーゼル掘鑿機二、同機關車三、瓦斯倫機關車二、（内一臺ハ中途木炭車ニ改造ス）ニシテ此取扱土量掘鑿ニ於テ六萬六千六百六十二立方米、運搬ニ於テ八萬七千六百七十四立方米ナリ

護岸水制工事ハ前年度ヨリ繼續ノ川崎市二箇所ノ外本年度多磨、多摩各一箇所、西府、狛江、各二箇所、合計八箇所ヲ施行

シ内四箇所ヲ竣功セシメタリ

本年度ノ竣功高ハ十八萬六千八百五十二圓ニシテ創業以來ノ累計ハ百八十七萬二千五百七十圓トナリ之ヲ總工費豫算三百五十四萬圓ニ比較スルトキハ五割三分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「○」ハ管理者負擔額「△」ハ船舶及機械費支辨製作品價額「□」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	一、七七八、六六一 立米	五七二、三〇一 円	六七、一八四 立米	四九、二四七 円	一、七四五、八七五 立米	六二一、五四八 円	〇・四
工事費	二、七五〇、五〇六 米	三九、六四九 円	一、七四五 米	四、二二八 円	四、五〇五 米	一、七〇八、七三三 円	〇・四
費用	二、九〇九 段	一、九〇九 円	一、八段	一、八〇九 円	二、九〇九 段	二、〇一八 円	〇・四
附帶工事費(直轄施行)	○	○	○	○	○	○	〇・一
船舶及機械費	○△	二、四八八 円	○△	三、九〇八 円	○△	六、三九六 円	〇・一
測量費	○	○	○	○	○	○	〇・一
營業費	○	○	○	○	○	○	〇・一
雜費	○	○	○	○	○	○	〇・一
共濟組合給與金	○	一、二八二 円	○	一、九八八 円	○	三、二七〇 円	〇・一

總計	臨時家族手當	費目	
		數量	金額
		前年度迄竣功高	
—	—	數量	—
□	—	金額	—
—	—	本年度竣功高	
—	—	數量	—
□	—	金額	—
		合計	
—	—	數量	—
□	—	金額	—
		竣功高	
—	—	數量	—
□	—	金額	—
		合計	
—	—	數量	—
□	—	金額	—
		合計	
—	—	數量	—
□	—	金額	—
—	—	數量	—
□	—	金額	—

### 第三一 最上川上流改修工事

本工事ハ政府ニ於テ工費一千八百萬圓ヲ以テ改修計畫ヲ樹立シ昭和八、九兩年度ニ於テ工費二百四十萬圓ヲ支出シ單年度事業トシテ一部ノ施行ヲ爲シタルガ第六十七議會ノ協賛ヲ經テ工費一千五百五十五萬三千八百圓ヲ追加シ總工費一千七百九十五萬三千八百圓トシ昭和十年度以降二十箇年度ノ繼續事業トシテ施行スルコトナレリ然ルニ昭和十三、十五兩年度ニ於テ年度割額改定ニ伴ヒ工期ヲ二箇年度延長シ昭和三十一年度ニ於テ竣功セシムルコトナレリ而シテ其ノ施工區域ハ幹川西置賜郡豊田村以下伺郡鮎貝村ニ至ル十六籽、西村山郡寒河江町以下北村山郡横山村ニ至ル二十七籽、上流松川ハ米澤市以下最上川合流點ニ至ル三十六籽、支川須川南村山郡飯塚村以下最上川合流點ニ至ル十六籽、支川鬼面川東置賜郡吉島村以下松川合流點ニ至ル一籽、支川白川西置賜郡豊田村以下最上川合流點ニ至ル二籽、合計九十八籽トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和八年度ノ創業ニシテ爾來幹川最上川上流松川左支白川及右支須川ノ各筋ニ互リ掘鑿、築堤、護岸、特殊工事並ニ附帶工事ヲ施行セリ

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿十四工事、築堤十一工事、護岸七工事、水門工事一箇所、附帶工事一箇所ノ外新ニ起工セル築堤二工事、護岸一工事、附帶工事一箇所、合計三十八箇所ヲ施行セリ其ノ狀況左ノ如シ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續ノ谷地第一及第二、溝延、大富、落合、廣野、成田、東根、森、河井山、西五十川、吉島、洲島、夏茂掘鑿ノ十四工事ヲ施行シ掘鑿土ハ主トシテ附近築堤ニ利用シ殘餘ハ附近低濕地其ノ他ニ捨土シ内谷地第一、成田、東根及吉島ノ四工事ヲ竣功セリ而シテ之ニ使用セル主要機械ハ機械掘鑿ニ於テハ四十噸蒸汽短梯掘鑿機二臺、ドラグライン掘鑿

機二臺及二十瓩蒸汽機關車二臺ニシテ人力掘鑿ニ於テハ七瓩ディーゼル機關車四臺、同瓦斯倫機關車三臺ナリ尙機械運搬ニ於テハ七瓩機關車及二十瓩機關車ニ夫々一立方メートル積及三立方メートル積傾卸車ヲ配シ十五乃至三十瓩軌條ヲ使用シ人力運搬ニハ零立方メートル積土運車及四瓩五乃至九瓩軌條ヲ使用セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續ノ谷地、下釜、溝延、大富、成田、淺立、廣野、吉島、糠野目、洲島、夏茂築堤ノ十一工事ト新ニ起工セル落合築堤及長瀨築堤補強工事ヲ施行シ内淺立、及吉島築堤ヲ竣功セリ而シテ築立土ハ大半掘鑿ヨリ生ジタル土砂ヲ利用シ法面土羽八千六百四十八平方メートルヲ施工シ築堤延長五百九十五米ヲ竣功セリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續ノ谷地、溝延、下釜、吉野第二、谷地水制、護岸用石採取第五回、同第七回ノ七工事ト新ニ起工セル糠野目護岸ヲ施行シ内吉野第二護岸及護岸用石採取第五回ヲ竣功セリ

附帶工事ハ前年度ヨリ繼續ノ谷地橋架設ト新ニ起工セル東根惡水樋管新設ノ二箇所ヲ施行シ何レモ未竣功トナレリ

土地買収ハ本年度ノ協議件數百四十七件之ニ前年度未承諾ノ十五件ヲ加ヘタル百六十二件ニ對シ未承諾二十二件ニシテ年度内七十三段ヲ買収シ外ニ地上物件移轉ハ本年度協議件數百二十二之ニ前年度迄ノ未拂二百七十七件ヲ加ヘタル三百九十九件ニ對シ二百三十三件ヲ完結シ百六十六件(内未承諾四件、未拂百六十二件)ハ翌年度へ繰越シタリ

本年度ノ竣功額ハ三十六萬七千二百一十一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ五百七十三萬九千九百九十一圓トナリ之ヲ總工費一千七百九十五萬三千八百圓ニ比スレバ三割二分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ表中「○」ハ利用土量「□」ハ管理者提供額

「◎」ハ地元寄附額「×」ハ土木試驗費補給額「△」ハ別途設計直營採取ノ使用材料評價額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	5,113.000 立米	1,131,000 円	4,885.966 立米	1,279,944 円	5,188.966 立米	1,131,000 円	0.11
築堤	3,100.000 立米	3,100,000 円	1,515.355 立米	8,446 円	3,115.355 立米	3,115,355 円	0.11
護岸水制	1,713.300 米	806,618 円	338 米	2,255 円	1,713.300 米	808,873 円	0.11
水門	1 箇所	79,733 円	1 箇所	111 円	1 箇所	80,844 円	0.11
支川吐口整理	1,550 米	26,095 円	1 米	11 円	1,551 米	26,106 円	0.11
用地	5,113.000 米	1,131,000 円	3 段	4,600 円	5,116.000 米	1,135,600 円	0.11
附帶工事費	1,949.900 箇所	3,479 円	2 箇所	7,000 円	1,951.900 箇所	3,486 円	0.11
船舶及機械費	7,674.000 円	7,674 円	117.000 円	117 円	7,791.000 円	7,791 円	0.11
測量費	111,144 円	111,144 円	11,000 円	11,000 円	122,144 円	122,144 円	0.11
營繕費	111,144 円	111,144 円	11,000 円	11,000 円	122,144 円	122,144 円	0.11
雜費	111,144 円	111,144 円	11,000 円	11,000 円	122,144 円	122,144 円	0.11
共濟組合給與金	111,144 円	111,144 円	11,000 円	11,000 円	122,144 円	122,144 円	0.11
臨時家族手當	111,144 円	111,144 円	11,000 円	11,000 円	122,144 円	122,144 円	0.11
總計	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円	30,000 円	0.11

### 第三二 矢作川改修工事

本工事ハ當初昭和八年度ヨリ十箇年度繼續事業トシテ總工費六百萬圓ヲ以テ愛知縣西加茂郡舉母町以下海ニ至ル四十二軒ノ區間ニ施行ノ計畫ナリシモ政府財政ノ都合上該事業ノ一部即チ米津橋以下棚尾橋附近ニ至ル約七軒區間ヲ時局匡救事業トシテ工費百二十萬五千圓ヲ以テ昭和八年度ヨリ九年度ニ至ル二箇年度内ニ施行スルコトトシ更ニ昭和九年度末議會ノ協賛ヲ經テ工費四百七十六萬八千圓ヲ追加シテ總工費五百九十七萬三千圓トシ且施行年限ヲ十四箇年度延長昭和二十三年度迄ニ其殘工事ヲ竣功セシムルコトトシ施行中ノ處時局ノ爲メ豫算繰延ニ依リ竣功年度ヲ昭和二十五年トシ二箇年度延長トナレリ

### 施工狀況

本改修工事ハ昭和八年度ノ創業ニシテ本年度迄ニ買收セル用地八十一町步餘ニ及ビ築堤土量二百四十二萬七千六百五十九立方米、掘鑿土量五十三萬一千五百三十二立方米、護岸延長六千七百七十二米ヲ竣成シ附帶工事二十六箇所ヲ竣功セシメタリ本年度ノ用地買收ハ左岸岡崎市八帖町地先及額田郡岩津町地先ノ各一部及右岸碧海郡矢作町地先ノ一部並ニ前年度來手續未濟ノ爲メ本年度ニ繰越シタル殘部ニシテ其總段別二町一段餘、此用地費二萬五百九十九圓ヲ支拂ヘリ

本年度施行掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續セル右岸櫻井村地先ノ一箇所並ニ左岸三和村及六ツ美村地先ノ一箇所、計二箇所ニシテ掘鑿土量九千八百三十三立方米ハ全部附近築堤敷へ運搬利用セリ

築堤工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續セル右岸櫻井村及矢作町地先ノ各一箇所、左岸三和村、六ツ美村、岡崎市及岩津町地先ノ各一箇所並ニ本年度着手セル矢作町地先ノ一箇所、計六箇所ニシテ其築立土量八萬三千六百四十七立方米ノ内九千八百三十三立方米ハ掘鑿工事ヨリ利用シ他ノ七萬三千八百四十四立方米ハ川敷内寄洲及民有地ヨリ自辨採取セリ

掘鑿工事及築堤工費用土ノ土砂掘鑿ハ總テ人力ニ依ルコトトセルモ築堤用土ノ一部ハ採取船ニテ水中ヨリ採取スルコトトシ其運搬ニハ人力若クハ七噸ディーゼル機關車三臺ヲ使用セリ

護岸工事トシテハ前年度ヨリ繼續セル右岸櫻井村地先一箇所並ニ本年度着手セシ右岸櫻井村及矢作町地先ノ各一箇所計三箇所ニシテ施行延長百九十二米ニ及ベリ

附帶工事ニ在リテハ直轄施行トシテ本年度着手セル矢作町長申請ノ用水樋管改築工事一箇所ニシテ年度内ニ竣功セリ

尙管理者施行ニ係ル六ツ美村長申請ノ合歡木惡水路附替工事一箇所ハ前年度末竣功シ補助金支拂未濟ナリシモ本年度ニ其支拂ヲ完了セリ

本年度使役セル勞働者數ハ三萬三千七百三人ニシテ此勞力費六萬二千八百四十八圓ヲ支拂ヒタリ

本年度ノ竣功高ハ十六萬二千六十九圓(現在物品代價ヲ除ク)ニシテ起工以來ノ累計二百五十七萬一千九百八十四圓(現在物品代價ヲ除ク)總工費五百九十七萬三千圓ニ對シ四割三分ノ竣功トナル其竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「△」ハ無代價品價額「○」ハ製作品代價ヲ示ス

費用	項目	前年度		本年度		合計		竣功歩合
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費用	築堤	* 立米 一、八〇四、六六六 五九、三九六	七、四七〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇	* 立米 七、八八八 三三、八三三	四、〇六六、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇	* 立米 一、八七八、四〇〇 五九、三九六	一、〇七〇、〇〇〇 一、〇〇〇、〇〇〇	〇・〇〇
	掘鑿	△ 五二一、六九九	一、三三三、〇〇〇 一、七六六、〇〇〇	△ 九、八三三	三、一三三、〇〇〇	△ 五、〇一一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	〇・一〇
	護岸	△ 六、五八〇	九、三三三、〇〇〇 一、三三三、〇〇〇	△ 二、九二二	一、三三三、〇〇〇 一、三三三、〇〇〇	△ 九、五〇二	二、三三三、〇〇〇	〇・二〇
	地費	七九一	三、七五七、〇〇〇	三	一、〇〇〇、〇〇〇	八二二	四、七五七、〇〇〇	〇・三〇

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
附帶工事費		簡所 二 11,067		簡所 二 11,067		簡所 二 22,134	
船舶及機械費		〇△ 149,377		〇△ 111,557		〇△ 260,934	
測量費		△ 330,050		△ 98,800		△ 428,850	
營業繕費		△ 14,875		△ 1,541		△ 16,416	
雜費		△ 339,888		△ 76,101		△ 415,989	
共濟組合給與金其他							
臨時家族手當							
總計		11,067 149,377 330,050 14,875 339,888 11,067		11,067 111,557 98,800 1,541 76,101 11,067		22,134 260,934 428,850 16,416 415,989 22,134	〇・〇

### 第三三 淀川低水工事

淀川ハ古來治水ノ難河トシテ知ラルルト雖モ他方其水源ヲ琵琶湖ニ仰ギ水量豊富ニシテ天惠地利ヲ享受スルコト亦類ヲ見ズ即チ沿岸ニハ京阪ノ巨市ヲ始メ大小ノ都邑村落之ニ依ツテ逐年發達シ生計スル者多ク航運モ亦日ニ盛シニシテ今ヤ毛馬閘門ニ吞吐セラルル貨物年額百萬噸ヲ超過スルモノアリ然レ共淀川低水路ノ現況ハ法線不整ニシテ河狀甚シク亂レ適々舊水制有リト雖モ之ガ爲メ多ク破壊セラレ航路ニハ却ツテ土砂ノ堆積ヲ誘致スル箇所アリ從ツテ水深乏シク殊ニ渇水期ニ於テハ隨所ニ淺瀬ヲ生ジ舟行殆ンド不能ナル狀態ヲ呈ス若シ夫レ適確ナル水制ノ設置ニ依リテ之ヲ匡治セムカ開ハ雷ニ本川ノ利水ヲ益スルノミナラズ堤脚ヲ固メ且増水時流心ヲ堤防ヨリ遠ザケ得テ防水ニ資スル所以ナラズンバ非ラズ低水工事施行ノ趣旨蓋シ茲ニ在リ即チ政府ニ於テハ昭和八年度以降本年度迄概ネ單年度事業トシテ工費豫算百七十二萬三百四十圓ヲ以テ伏見觀月橋神崎川分派點間ニ淀川低水工事ヲ實施シ如上ノ目的タル低水路ノ屈曲匡正、水深保持、堤脚保護及高水順導等ヲ企圖シアリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和八年度ノ創業ニ係リ先ヅ幹部水制ニ使用スベキ鐵筋混凝土杭ヲ製作シ次デ航行ニ難澁セル箇所ヲ選ビ順次水制ヲ敷設シ其間或ハ宇治川筋航路ニ點々伏在セル舊護岸ノ沈床等ヲ除却シ或ハ三栖閘門下流部ノ航路ヲ浚渫シ或ハ左岸枚方大橋下流部派流ノ亂走甚シキ箇所ニ地均ヲ施行シ來レリ之ト同時ニ大阪府三島郡島本町大字東大寺地先ニ採石場ヲ設ケ水制工ニ要スル石材ノ大半ヲ自給シ以テ事業ノ圓滑ナル遂行ヲ期スルコトトセリ

而シテ本年度末迄ノ主ナル工事ノ竣功高ハ水制工延長三萬五千八百六十六米工費百二十四萬一千三百十三圓トス本年度ニ於テハ前年度ヨリ繼續工事中ノ磯島、鳥飼庭窪、二水制工ノ他新ニ五領枚方、三箇牧第二、大道、友呂岐鳥飼第二

及坂ノ五水制工ヲ起シ五領枚方、友呂岐鳥飼第二、坂ノ三工事以外ハ本年度内ニ竣功セリ其ノ成功延長一千二百二十三米工費六萬八千八百九十七圓トス

以上創業以降本年度末迄ノ竣功高合計ハ百七十萬五千五百八十七圓ニシテ總工費百七十二萬三百四十圓也ニ對シ約九割九分ノ進度ヲ示セリ其ノ竣功表次ノ如シ但シ表中「▲」ハ提供品價額「×」ハ生産品價額「○」ハ無代價品評價額「△」ハ製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工費	立米 1,310	1,171,330	立米 1,310	1,171,330	立米 1,310	1,171,330	100%
水没	立米 3,260	1,912,330	立米 3,260	1,912,330	立米 3,260	1,912,330	100%
工事費	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%
船隻及機械費	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%
測量費	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%
營業繕費	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%
雜費	○	1,912,330	○	1,912,330	○	1,912,330	100%
共濟組合給與金	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%
臨時家族手當	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%
總計	▲	1,912,330	▲	1,912,330	▲	1,912,330	100%

### 第三四 小貝川改修工事

本工事費ハ當初時局匡救事業トシテ昭和八、九兩年度ニ於テ工費九十一萬圓ヲ以テ左岸茨城縣筑波郡谷井田村以下同縣北相馬郡川原代村、右岸茨城縣北相馬郡山王村以下同郡相馬町ニ至ル八籽ノ區間ニ對シ工事施行ノ豫定ナリシガ昭和十年度ニ於テ工費三百六十六萬三千圓ヲ増額シ總工費ヲ四百五十七萬三千圓ニ改メ同時ニ竣功期限ヲ昭和二十年度迄延長シテ施行中ノ處政府財政ノ都合ニ依リ昭和十二年度ニ於テ更ニ一箇年度ヲ延長シ昭和二十一年度ニ至ル十四箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ

其區域ハ左岸茨城縣筑波郡上郷村以下同縣北相馬郡川原代村、右岸同縣結城郡豊田村以下同縣北相馬郡相馬町ニ至ル四十二籽ノ區間ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和八年度ノ創業ニ係リ先ヅ改修事務所ヲ茨城縣北相馬郡山王村ニ設置シ測量及土工器械ノ蒐集等施工準備ヲ爲スト共ニ土地買收ノ進捗ニ伴ヒ順次工ヲ進メ昭和十二年四月事務所ヲ茨城縣結城郡水海道町ニ移轉セリ

本年度ニ於ケル土地買收ハ前年度迄ニ買收協議開始セルモ未承諾ナリシモノ及承諾濟ノモノ合セテ六町六段歩ヲ買收セリ築堤工事ハ前年度末竣功ノモノ十箇所、本年度着手セルモノ大生村二箇所、十和村一箇所、合計十三箇所ニシテ内二箇所ヲ竣功セリ

掘鑿工事ハ前年度未竣功ノモノ十二箇所及本年度着手ノ山王村一箇所、谷原村一箇所、谷原村及十和村一箇所、十和村一箇所、十和村及水海道町一箇所、大生村一箇所、眞瀨村一箇所、眞瀨村及五箇村一箇所、合計二十箇所ノ内五箇所竣功セリ

其掘鑿ハ改修計畫ニ基キ河積ノ不充分及新低水路部分ノ浚渫ニシテ七瓩、デイーゼル機關車一臺、七瓩瓦斯倫機關車一臺、一・七瓩瓦斯倫機關車二臺、デイーゼル掘鑿機(一時間六〇立方米掘)一臺、一・一立方米積土運車四十臺、〇・九立方米積土運車三十臺、〇・六立方米積鐵製土運車四十臺、〇・六立方米積輕便土運車十臺、〇・四立方米積輕便土運車八百八十二臺ヲ使用シ掘鑿ハ人力及掘鑿機ニ依リ運搬ハ機關車及人力並牛馬力ヲ併用シ其土量二十一萬二千六百二十九立方米餘内十四萬八千四立方米餘ヲ築堤土ニ利用シ殘餘六萬四千六百二十五立方米餘ハ高水敷低地及廢川敷並堤脚ニ沿フ官有低地へ運搬捨土セリ護岸水制工事ハ前年度未竣功ノモノ六箇所ヲ繼續施行シ本年度ハ小絹村二箇所、合計八箇所ニシテ内二箇所ヲ竣功セリ

岡堰改築工事ハ山王村地先本改修計畫ニ依ル放水路並岡堰普通水利組合管理ニ屬スル水門及洗堰ノ施設ニ代ヘ高水總量四百五十立方米ヲ流下スルニ足ル水門一箇所ニ改築セントスルモノニシテ之ニ要スル工費ハ組合管理ニ屬スル水門及洗堰ノ改築費十四萬圓ニ本工事費十六萬圓ヲ合セ總額三十萬圓ノ豫算ナリ本工事ハ昭和十二年二月十六日起工シ前年度ヨリ繼續ノ上流人力掘鑿、下流第二人力掘鑿、橋臺及擁壁、橋脚下流床固、步道橋、下流低水路、護岸吊上橋並本年度着手セル取付堤防、護岸取付堤防、混凝土ブロック製作各工事ヲ施行シ此竣功額三萬二百四十八圓餘ニシテ内二萬八百八圓餘ハ組合管理者負擔額ナリ

附帶工事ハ前年度未竣功ノモノ一箇所及本年度起工セルモノ右岸五箇所及眞瀨村地先樋管改築一箇所、大生村及眞瀨村地先一箇所、大生村地先一箇所、小絹村及十和村地先一箇所、小絹村一箇所、眞瀨村地先用惡水路附替一箇所、合計七箇所ノ内小絹村地先一箇所ヲ竣功セリ

本年度ノ竣功高ハ二十萬二千六百六十三圓ニシテ創業以來ノ累計ハ二百二十六萬一千三百八十二圓トナリ之ヲ總工費豫算四百五十七萬三千圓ニ比較スルトキハ四割九分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「○」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「◎」ハ岡堰改築管理者負擔額「△」ハ船舶及機械費支辨製作品價額ヲ示ス

第一章 河川改修工事 (小貝川改修工事)

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合		計	竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額		
本築堤	* 立米 一、四八、七六六	110,800	* 立米 18,000	4,440	* 立米 1,700	112,500	0.44	
工浚	一九六、二三五	88,686	三三、三三〇	5,882	二二九、六〇五	94,568	0.42	
事護岸水制	九、六六三米	141,090	五八九米	9,180	一〇,二五二米	150,270	0.38	
費岡堰改築		九、九、六一一 七四、一一五		二〇、八〇八 九、四三九		一〇、七、四二〇 八四、九三三	0.26	
用直轄地	二、八七〇段 箇所 一、四	三三、二二八	六六段 箇所 一	一九、九九九	二、九三三段 箇所 二	五三、二二七	—	
附直轄施行	未竣功	三〇、〇〇〇 三〇、三九〇	未竣功	二、一八六 五、四七八	未竣功	三二、一八六	0.17	
帶事管理施行	三	三、七〇〇 三、七〇〇		—	三	三、七〇〇	—	
船舶及機械費	△	一八、六一九 二、四八八	△	二九、三五八 四八九	△	四七、〇七七	—	
測量費		110,000		一、七九八		111,798	—	
營繕費		一六、九四九		一、三三七		一八、三二六	—	
雜費		二、七、八九二		四九、六三七		三、二、四八五	—	
共濟組合給與金		一一、一九五		一、八八六		一三、〇八一	—	
臨時家族手当		—		一、六九九		一、六九九	—	
總計		二、三、四、三〇〇 七、四七五 一一、五二八 五、九六八		二、〇、八〇八 一、八〇八 一、一〇〇 一、一〇〇		四、三、五〇八 九、二八三 一、二、六二八 七、〇六八	0.49	

### 第三五 菊川改修工事

本工事ハ當初昭和八年度ヨリ同十七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費四百萬圓ヲ以テ改修區域ヲ幹川筋小笠郡六鄉村以下海ニ至ル十五籽 支川牛淵川筋左岸南山村右岸平田村以下菊川合流點ニ至ル一籽ノ區間トシ改修計畫ヲ樹立セシガ其ノ内下流水害ノ最モ著シキ部分ヲ限リ昭和八年度ヨリ二箇年度ニ互リ時局匡救事業トシテ工費八十二萬圓 (内静岡縣負擔三十萬七千圓) ヲ以テ改修工事ヲ施行シ其ノ後當初計畫ニ基キ昭和十年度ヨリ昭和二十年度ニ至ル十一箇年度繼續事業トシテ工費三百十五萬三千圓 (内静岡縣負擔百五萬一千圓) ヲ以テ事業ヲ繼續施行スルコトナリ創業以來ノ工費總額三百九十七萬三千圓 (内静岡縣負擔百二十八萬八千圓) トナレリ又支川牛淵川ハ昭和十四年三月左岸小笠村、右岸平田村丹野川合流點以下既改修點ニ至ル延長三籽二六ヲ追加施行スルコトニ改修區域ノ變更ヲ行ヘリ更ニ昭和十三年度中政府財政ノ都合ニ依リ事業年度ヲ一箇年度延長シ昭和二十一年度迄十四箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和八年四月平田村ニ改修事務所ヲ設置シ土地買收ニ在リテハ幹川筋中村、千濱村、平田村、三俣村、岩滑村、横地村、中内田村、下内田村、加茂村、六鄉村、支川牛淵川筋南山村、平田村、千濱村地内ノ用地ニ對シ前年度迄ニ百二十六町步ヲ買收シ本年度ニ於テハ前年度ニ引續キ支川上小笠川筋、下内田村、中内田村、横地村地内ノ用地ニ對シ買收調査ヲ進メ年度内ニ一町五段七畝餘歩ノ土地買收及地上物件ノ移轉ヲ行ヒ用地費ハ一萬六千餘圓ヲ支拂ヒタリ尙用地費ハ牛淵川丹野川改良事務組合負擔ニ係ル支川牛淵川筋平田村、小笠村地内用地ニ對シ買收調査ヲ遂ゲ段別八町五畝餘歩六萬二千百餘圓ノ支拂手續ヲ爲シタリ

本年度施行ノ掘鑿及築堤工事ハ前年度ヨリ引續キ施行中ノ千濱第二機械掘鑿、六郷機械掘鑿變更、千濱第五人力掘鑿、岩滑村人力掘鑿變更、内田人力掘鑿變更、横地人力掘鑿變更、中第二人力掘鑿、岩滑築堤、内田築堤、六郷築堤及本年度起工ニ係ル六郷人力掘鑿、小笠人力掘鑿、千濱第六人力掘鑿、加茂人力掘鑿、南山第二人力掘鑿、加茂築堤、南山第二築堤ノ十八工事ニシテ何レモ未竣功ノ儘次年度へ繰越シタリ

掘鑿ハ從來人力掘鑿ニ依リタルモ昭和十一年五月ドラクライン掘鑿機一臺ヲ購入七吨ディーゼル機關車ト共ニ千濱機械掘鑿工事ニ使用セル外前年度中六郷村地先ニ機械掘鑿工事一箇所増設セリ運搬ハ主トシテ人力及牛力ニ依リシモ遠距離運搬ニハ七吨ディーゼル機關車三臺ヲ使用セリ

本年度ノ功程ハ掘鑿土量十七萬三千八百八十一立方米ニシテ工費七萬八千九百五十六圓、築堤土量九萬一千五百三十九立方米ニシテ工費二千七百五十三圓ヲ要セリ而シテ築堤土ヘハ總テ掘鑿土ヲ運搬利用セリ又掘鑿土量ハ内機械投棄セルモノ零割六分、機械掘鑿機關車運搬ニ依ルモノ一割四分、人力掘鑿機關車運搬零割五分、人力掘鑿人力運搬ニ依ルモノ六割五分、人力掘鑿牛力運搬ニ依ルモノ一割ナリ低水路ノ開鑿及切擴箇所ニハ昭和九年度ヨリ必要ニ應ジ護岸工事ヲ施行セシガ本年度施行ノ護岸工事ハ前年度ヨリ引續キ施行中ノ平田護岸、平田第二護岸、内田護岸、千濱第五護岸變更工事ノ四工事ニシテ千濱第五護岸ノ竣功セルヲ除クノ外ハ何レモ未竣功ノ儘次年度へ繰越セリ而シテ本年度竣功延長七百十六米工費金三萬八千二百七十九圓ヲ要セリ

附帶工事ハ前年度ヨリ引續キ管理者ニ於テ施行中ノ用水路附替工事一箇所ハ年度内ニ其工ヲ竣了セリ

本年度竣功額ハ二十萬六千九百一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ二百二十五萬六千九百九十一圓トナリ總工費三百九十七萬三千圓ニ對シ五割七分ノ竣功トナル其工事竣功表ハ左ノ如シ但シ「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「○」ハ無代價品評價額「△」ハ製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	立米 一、一〇、三三〇	三三三、一九七	立米 一、三三、八八一	三六八、五七三	立米 二四、一六〇	三〇一、八四三	四分
工事築堤	* 七、五五、五二二	二〇二、二八四	九、九〇、五九五	二、三三、三三三	* 〇、〇〇、〇〇〇	二〇四、六一七	〇・〇〇
護岸水制	七段 一〇、七四、七〇七	二〇三、八八一	七段 七、二六、五九五	三三、二六六	三三、二六六	一四、〇一三	〇・〇〇
附直	簡所 二二	七、〇〇〇	簡所 二二	七、〇〇〇	簡所 二二	七、〇〇〇	〇・〇〇
帶費	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇・〇〇
用船及機械費	一、二二、一四四	一、〇〇、〇〇〇	一、二二、一四四	一、〇〇、〇〇〇	一、二二、一四四	一、〇〇、〇〇〇	〇・〇〇
測船量費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇・〇〇
營業繕費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇・〇〇
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇・〇〇
共濟組合給與金	〇	七、八四八	〇	〇	〇	七、八四八	〇・〇〇
臨時家族手當	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇・〇〇
總計	立米 二四、一六〇	三〇一、八四三	立米 二四、一六〇	三〇一、八四三	立米 二四、一六〇	三〇一、八四三	四分

### 第三六 烏、神流川改修工事

本工事ハ當初時局匡救事業トシテ昭和八、九兩年度ニ於テ工費八十萬八千圓ヲ以テ烏川ハ柳瀬橋以下利根川合流點ニ至ル八  
籽餘、神流川ハ神流川橋以下烏川合流點ニ至ル約一籽ノ區間ニ對シ工事施行ノ豫定ナリシガ昭和十年度ニ於テ工費二百七十  
九萬五千圓ヲ増額シ總工費ヲ三百六十萬三千圓ニ改メ同時ニ竣功期限ヲ昭和二十年度迄延長シテ施行中ノ處政府財政ノ都合  
ニ依リ昭和十二年度以降ニ於テ二箇年度ヲ延長シ昭和二十二年度ニ至ル十五箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ其  
區域ハ烏川左岸群馬縣群馬郡六鄉村、右岸同縣碓氷郡豐岡村以下利根川合流點ニ至ル十九籽、神流川左岸群馬縣多野郡美九  
里村、右岸埼玉縣兒玉郡青柳村以下烏川合流點ニ至ル十二籽及支川鑄川三籽、同碓氷川一籽、計三十五籽ノ區間ナリトス

#### 施工狀況

本工事ハ昭和八年度ノ創業ニ係リ同年四月群馬縣多野郡新町ニ改修事務所ヲ設置シ土地買收ノ進捗ニ伴ヒ順次施工區域ヲ擴  
大シ烏川上流部及支川碓氷川方面ヲ高崎工場、烏川ノ中流部以下及支川鑄川方面ヲ新町工場、神流川筋ヲ神流工場ノ事業區  
域トシテ各工事ヲ分擔セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノモノニシテ土量三萬七千四十立方メートル運搬ヲ爲シタリ而シテ此土砂ハ人力掘鑿土ヲ利用セ  
ルモノニシテ土運搬ノ未了ナル箇所又築立芝付等ノ完成ニ至ラザルモノ等アリテ大部分施工中ニ屬セリ

掘鑿工事ハ全部前年度ヨリ繼續セル人力掘鑿ニシテ五萬八千八百八立方メートル土量ヲ掘鑿シ内四萬七千六百三立方メートルハ瓦斯倫  
機關車及ディーゼル機關車ニテ運搬シ其他ノ大部分ハ馬匹運搬ニ據リタリ而シテ掘鑿土量ノ内三萬七千四十立方メートルハ築堤土  
ニ充テ一萬三千五百七十七立方メートルハ高崎市大字石原地先堤内民地ニ又一千五百九十二立方メートルハ附帶工事タル府縣道吉井高崎線

一部道路附替工事所要土ニ充テ三千五百十三立方米ハ高崎市大字石原地先新堤敷ニ又二千三百七十三立方米ハ八幡村大字木部地先遊水敷ノ窪地ニ捨土セリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續セル鑄川筋左岸八幡村大字木部地先ノ外新ニ烏川筋左岸岩鼻村大字岩鼻地先ニ起工シ延長四百二十米ヲ竣功シ岩鼻地先ノ護岸ハ翌年度ニ繰越シタリ

本年度買収セシ土地ハ二町二段歩ニシテ之ヲ前年度迄累計ニ加算スレバ百十七町一段歩トナレリ

附帶工事ハ前年度ヨリ繼續セル烏川筋右岸高崎市大字石原地先府縣道吉井高崎線一部道路附替工事ノ外新ニ樋管工事ヲ烏川筋右岸八幡村大字阿久津地先ニ一箇所、同左岸芝根村大字川井地先ニ二箇所起工シ何レモ竣功セリ又附帶工事トシテ主務大臣ノ認可セル多野郡八幡村大字根小屋地先ニ於ケル根小屋用水路附替工事ハ管理者之ヲ施行シ工費四百二十八圓九十一錢ヲ要シタルヲ以テ國庫ヨリ二百八十六圓ヲ補助シ組合ハ百四十二圓九十一錢ヲ負擔セリ

本年度ノ竣功高ハ十一萬八千六百二十圓ニシテ創業以來ノ累計ハ百九十一萬七千八百十六圓トナリ之ヲ總工費豫算三百六十六萬三千圓ニ比較スルトキハ五割三分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ提供材料及勞力費ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	1,477.96立米	1,048,400	377.00立米	6,586	1,854,000	1,151,141	0.44
工浚渫	1,123.25	1,007,133	58.08	2,595	1,131,387	1,010,728	0.45
事護岸水制	6.33	19,800	4.00	18,800	5.33	38,600	0.01
費落雷損失	1,149.9段	597,591	3.3段	8,822	1,153.2段	606,413	0.01
用直轄施行	未竣功	117,000	4所	2,695	1,174	119,695	0.01
附直轄施行	未竣功	117,000	4所	2,695	1,174	119,695	0.01
帶費	未竣功	117,000	4所	2,695	1,174	119,695	0.01
船舶及機械費	92,127	11,255	5.15	136	97.27	11,391	0.01
測量費	10.7	77	1.25	77	12.95	154	0.00
營業繕費	111,111	1,571	1.25	77	112.36	1,648	0.00
雜費	252.64	3,902	3.90	90	256.54	4,092	0.01
共濟組合給與金	2,838	377	1.00	107	2,945	387	0.00
臨時家族手当	1,197.71	15,114	1.15	114	1,200.86	15,228	0.01
總計	7,333.71	7,333,711	1,022.00	12,222	8,355.71	8,355,711	0.55

### 第三七 手取川改修工事

本工事ハ昭和九年度ヨリ同二十二年度ニ至ル十四箇年度繼續事業トシテ工費四百九十五萬圓ヲ以テ施行スルモノニシテ其ノ區域ハ石川郡鶴來町以下海ニ至ル十六軒ナリトス

#### 施工狀況

本工事ハ昭和九年七月十一日北陸一帯ヲ襲ヒタル稀有ノ大洪水ニ因ル災害ノ復舊ヲ兼ネ同年十二月起工セラレシモノニシテ直チニ大破堤箇所タル梅木堤、高島堤、八間堤、權正寺堤、新堰堤ノ應急締切堤ノ増大補強ニ着手シ翌年度ヨリ護岸工事ヲ起工シ逐次區域ヲ擴大シ今ヤ改修區域全般ニ互リテ施行スルニ至レリ

本年度ニ於テハ用地ノ買収ナク本工事トシテハ前年度ニ引續キドラグライン二臺、スチームシヨベル二臺、短梯掘鑿機一臺及タワトーエキスカベーター一臺ヲ用ヒ勞力ノ不足ヲ補ヒシモ工費充分ナラザル爲メ功程擧ラズ掘鑿五工事ヲ施行シ十二萬七千五百九立方米ヲ施工シ累計掘鑿土量二百七十萬三千七百六十四立方米ヲ竣功セシメタリ

築堤工事ハ七工事ヲ施行シ前記掘鑿土砂ノ一部及其ノ他ヨリ七萬五千八百八十四立方米ヲ利用築立テ芝付面積一萬九平方米法留石張一千九百七十二平方米ヲ施行シ累計築立土量二百一十一萬八千二百二十七立方米芝付面積十一萬三千百九十五平方米、法留石張四萬五千五百六平方米ヲ竣功セシメタリ

護岸工事ハ河勢ノ強暴ト災害復舊ヲ兼ネタル工事ノ性質トニ依リ着工當初ヨリ築堤工事ト併進セシメ本年度ニ於テ十工事ヲ施行シ改良木床五百九十二平方米、木工沈床一千三百二十八平方米、空石張八千四百三十六平方米、練石張一千三百八平方米、既設石張補修五百五十平方米ヲ竣功セシメタリ而シテ起工以來ノ累計ハ根固沈床(改良木床、粗朶沈床、木工沈床、木床補

修) 三萬七千六百八十一平方米、石張(練石張、空石張、既設石張補修)十一萬三千七百五十九平方米トナリ延長六千七百九十二米ヲ竣功セシメタリ

水制工事ハ六工事ヲ施行シ合掌改掌枰二十八箇所三百五十四米ヲ施行シ累計五十七箇所六百九十四米ヲ竣功セシメタリ

特殊工事ハ前年度ヨリ繼續ノ二工事ヲ施行シ内一工事延長千九百七十七米ヲ竣功シ外ニ工費用ノ玉石採取及コンクリート柱製作ヲ行ヘリ

附帶工事ハ直轄施工ノモノ一箇所ハ都合上休工シ管理者施行ノモノ一箇所ハ竣功シ累計樋管ノ改築三箇所、水路ノ附替六箇所五千七百六十米、橋梁ノ增長三箇所竣功セリ

機械ノ修理ハ前年度ト同様程度ノ大ナルモノハ新潟港修築事務所附屬機械工場ニ委託シ其ノ他ハ適宜改修事務所ニ於テ施行シ或ハ請負ニ附シタリ

本年度ニ於ケル竣功額ハ十九萬八千五百七十三圓ニシテ創業以來ノ累計ハ三百二十萬八千六百四十八圓トナリ之ヲ總工費四百九十五萬圓ニ比スレバ六割七分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中 □□ハ管理者負擔額、××ハ土木試驗費補給額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 11,447.13	7,511.01	立米 11,775.02	8,101.00	立米 23,222.15	15,612.01	0.41
築堤	立米 11,011.31	11,242.33	立米 7,548.45	5,888.88	立米 18,559.76	17,130.81	0.32
工事護岸水制	米 2,338.8	5,081.33	米 1,588.8	3,010.31	米 3,927.6	6,091.64	0.50
費水門其他	水路 1,211	44,402.11	水路 3,333	7,111.74	水路 2,122	33,290.37	0.11
用地	箇所 17	141,542.8	箇所 11	11,111.11	箇所 28	152,653.91	0.90
附直	未竣功 17	17,740.0	未竣功 11	11,111.11	未竣功 28	28,851.11	0.90
帶事	未竣功 12	110,201.14	未竣功 1	2,743.33	未竣功 13	112,944.47	0.31
船舶及機械		241,133.8		216,088.8		457,222.6	
測量		4,111.1		5,678.9		9,790.0	
營繕		31,247.1		3,111.1		34,358.2	
雜費		3,000.0		1,111.1		4,111.1	
共濟組合給與金		1,050.0		1,111.1		2,161.1	
臨時家族手當				1,111.1		1,111.1	
總計		300,241,100.0		196,845,511.1		497,086,611.1	0.44

### 第三八 小矢部川改修工事

本工事ハ昭和九年度ヨリ同二十三年度ニ至ル十五箇年度繼續事業トシテ工費五百十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ昭和十三年度及同十五年度ニ至リ年度割改定ニ伴ヒ施行年限ヲ二箇年度延長シ昭和二十五年年度ニ至ル十七箇年度繼續事業トナレリ而シテ其ノ區域ハ幹川ニ於テハ富山縣西礪波郡吉江村以下海ニ至ル四十籽、支川山田川ニ於テハ同郡東石黒村以下小矢部川合流點ニ至ル一籽、支川澁江川ニ於テハ同郡植生村以下小矢部川合流點ニ至ル二籽、支川子撫川ニ於テハ同郡子撫村地内一籽、支川千保川ニ於テハ高岡市地内一籽、合計四十五籽ナリ

#### 施工狀況

本工事ハ昭和九年度ノ創業ニシテ同年十二月高岡市ニ事務所ヲ開設スルト共ニ實地測量ヲ行ヒ土地買収其ノ他諸般ノ準備ヲ整ヘ翌十年二月高岡市二上地先ノ距離標六籽附近ヨリ工事ニ着手シ順次上流ニ向ヒ同十五年度末ニ於テハ左岸西礪波郡國吉村地先距離標十五籽附近、右岸同郡東五位村地先距離標十六籽附近ニ及ベリ尙同十五年度ヨリハ左岸西礪波郡石動町及子撫村地先距離標二十五籽附近ノ工事ヲ施行スベク諸般ノ準備ヲ爲セリ

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿工事九箇所、築堤工事九箇所、護岸工事一箇所ヲ施行シ内掘鑿工事一箇所ハ竣功シ其ノ他ハ何レモ未竣功トナレリ其ノ概況左ノ如シ

掘鑿工事ハ四ツ屋、二上、長慶寺、長江、支流祖父川、守山、國吉、下八ヶ及東五位ノ九箇所ヲ施行シ内東五位ヲ除ク八箇所ハ何レモ人力ニ依リ東五位ハ人力及三十瓩ドラグライン掘鑿ヲ併用セリ而シテ土量九萬三百七十三立方米ノ内六萬二千七百十二立方米ハ人力ニ依リ二萬七千六百六十一立方米ハ機械ニ據レリ而シテ掘鑿土ハ全部人力、馬力、瓦斯倫機關車（三瓩五

乃至四畝五) 及重油機關車(七畝)ニ依リ築堤敷ニ運搬シ前記九工事ノ内四ツ屋工事ハ竣功セリ

築堤工事ハ四ツ屋、二上、長慶寺、長江、支流祖父川、守山、國吉、下八ヶ及東五位ノ九箇所ヲ施行シ築堤ノ用土ハ掘鑿土

ヲ利用シ築立六萬一千七百四十五立方米、土羽面積二萬三千二十五平方メートルヲ施行シ築堤延長七百八十五米ヲ竣功セリ

護岸工事ハ前年度ニ引續キ支流祖父川工事ノ柴工沈床六百四十五平方メートル、石張面積五百四十九平方メートルヲ施行シ護岸延長百二十九米ヲ竣功セリ而シテ四ツ屋低水工事ハ前年度同様都合ニ依リ休工セリ

附帶工事ハ管理者ニ於テ前年度未竣功ノ府縣道守山橋繼足並扛上及國條橋架換外一橋新設ノ二橋梁工事ヲ施行シ内守山橋繼足並扛上工事ハ一月二十四日工事竣功認可ト爲リタルヲ以テ國庫負擔額一萬二千四百七十圓ヲ交付セリ尙國條橋架換外一橋新設工事ハ竣功スルニ至ラズ

用地關係ニ於テハ西礪波郡立野村渡地内ノ土地六段七畝二十五步此ノ金額三千二百二十八圓ニ付協議ヲ行ヒタリ而シテ支拂金額ハ土地五町五段四畝七步ニ對シ二萬九千二百六圓、地上物件移轉料其ノ他ニ對シ六百五十二圓、合計二萬九千八百五十八圓ナリ

本年度竣功額ハ十七萬三百八十六圓ニシテ起工以來ノ累計百五十一萬二千七百七圓トナリ之ヲ總工費五百十萬圓ニ比スレバ三割ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工本	5,464.800	1,511,935	9,033.333	3,337,919	14,498.133	4,849,854	0.12
掘築堤	5,464.800	1,511,935	9,033.333	3,337,919	14,498.133	4,849,854	0.12
工事費	5,464.800	1,511,935	9,033.333	3,337,919	14,498.133	4,849,854	0.12
護岸水制	5,464.800	1,511,935	9,033.333	3,337,919	14,498.133	4,849,854	0.12
用地費	2,447.500	500,258	2,447.500	500,258	4,895.000	1,000,516	0.11
附帶工事費	1,000.000	300,000	1,000.000	300,000	2,000.000	600,000	0.04
船舶及機械費	1,784.500	178,450	1,784.500	178,450	3,569.000	713,800	0.04
測量費	1,400.000	140,000	1,400.000	140,000	2,800.000	700,000	0.04
營業繕量費	1,400.000	140,000	1,400.000	140,000	2,800.000	700,000	0.04
雜費	1,011.800	101,180	1,011.800	101,180	2,023.600	505,960	0.04
共濟組合給與費	77.600	7,760	77.600	7,760	155.200	38,800	0.01
臨時家族手當	—	—	—	—	—	—	—
總計	24,498.133	6,849,854	33,531.466	12,187,773	58,029.600	19,037,627	0.11

### 第三九 天神川改修工事

本工事ハ昭和九年度ヨリ同二十三年度ニ至ル十五箇年度ノ繼續事業ナリシガ昭和十三年四月政府財政ノ都合ニ依リ施行年限ヲ一箇年延長セラレ昭和二十四年度ニ至ル十六箇年度ニ改メラレ工費豫算四百七十七萬圓(内事務費二十七萬圓)ヲ以テ幹川筋左岸鳥取縣東伯郡倉吉町、右岸同郡西郷村以下海ニ至ル約十一村、左支小鴨川筋左岸鳥取縣東伯郡南谷村、右岸同郡矢送村以下天神川合流點ニ至ル約十三村、左支小鴨川筋左岸鳥取縣東伯郡高城村、右岸同郡北谷村以下小鴨川合流點ニ至ル約七村、合計三十一村ノ間ヲ施行セントスルモノナリ

#### 施行狀況

本工事ハ昭和九年度ノ創業ニ係リ昭和九年九月二十一日突如トシテ關西中國方面ヲ襲ヘル颶風ニ困リ未曾有ノ大出水ヲ招來シ殆ンド壊滅ニ歸シタル天神川及支川ノ中流部以下ノ復興ヲ爲スモノニシテ急速ナル施工ヲ必要トシ始業ニ際シ他直轄河川ト趣ヲ異ニスル所アリ即チ昭和九年十二月第六十六回臨時帝國議會ノ協賛ヲ經テ改修豫算ノ成立スルヤ同月十七日鳥取縣東伯郡倉吉町ニ改修事務所及土地收用事務所ヲ設置シ直ニ實施測量ヲ開始シ併セテ計畫ノ再検討ヲ行ヘリ施行ニ際シ本川筋ハ相當洪水ニ對シ河積先ヅ充分ナルヲ以テ第二次トシ其ノ慘害最モ甚シカリシ國府川筋下流部小鴨川筋縣道橋福山橋以下本川合流點迄、本川筋右岸倉吉線附近ハ相當洪水ニ對シ防護スルノ要アルヲ以テ之ガ第一次着工ノ方針ニテ準備ヲ進メ前年度迄ニ築堤工事ニ於テ土量百二十七萬二千三百二十三立方メートル工費十一萬二千三百圓(外鳥取縣災害復舊費一萬三千六百九十三圓)掘鑿工事ニ於テ土量百十四萬八千九百七十四立方メートル工費三十一萬六千八百三圓、護岸工事ニ於テ石張延長一萬八千九百四十七米工費十九萬九千五百五十八圓(外鳥取縣災害復舊費八萬二千五百五十五圓)附帶工事ニ於テ四萬七千二百二十九圓(外別途採取材料價額七千三百十三圓)

管理者負擔十五萬六千八百五十八圓)ノ功程ヲ舉ゲタリ今本年度施工ノ概況ヲ各川筋ニ依リ述ブレバ次ノ如シ

本川及竹田川筋ニ於ケル築堤工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノ上井、下田中ノ二工事ニシテ之ガ築立土砂ハ全部掘鑿工事ノ土砂ヲ利用シ土量ニ於テ三萬五千六百七十七立方米、工費七千七百八十六圓ノ功程ヲ舉ゲ、掘鑿工事ニ於テハ前年度ヨリ繼續施行ノ下田中、上井、上井第二ノ三人力掘鑿工事ナルモ上井第二ハ工事ノ都合ニ依リ本年度ハ休工セリ掘鑿土砂ハ人力トロ及六・四瓩瓦斯倫機關車ハ時局柄瓦斯倫ノ關係ニ依リ瓦斯倫代用木炭瓦斯發生爐ヲ取付タルモノヲ使用シ築堤箇所ニ運搬捨土セリ此ノ土量三萬五千六百七十七立方米、工費一萬一千八百六十七圓ヲ要シタリ、護岸工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續施行ノ下田中護岸ノ一工事ニシテ石張延長百五十米工費三千九百七十九圓ノ功程ヲ舉ゲ年度ヲ越ヘタリ、小鴨川筋(天神川左支)ニ於ケル築堤工事ハ前年度依リ繼續施行ニ係ル倉吉、岡田ノ二築堤工事ニシテ之ガ築立土砂ハ人力掘鑿工事ノ掘鑿土砂ヲ利用シ土量四萬五千八百五十九立方米ノ功程ヲ舉ゲ此ノ工費一千百三十九圓ナリ、掘鑿工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續施行ノ倉吉、福守ノ二人力掘鑿工事ニシテ掘鑿土砂ハ初メ六・四瓩瓦斯倫機關車ニ依リ運搬シタリシモ前述ノ如ク瓦斯倫ノ關係ニ依リ中途ヨリ五噸蒸汽機關車ヲ使用シテ築堤箇所ニ運搬捨土セリ此ノ土量四萬五千八百五十九立方米工費一萬七千二百四圓ナリ、護岸工事ハ前年度ヨリ繼續施行ノ倉吉護岸ノ一工事ニシテ本年度功程ハ石張延長三百二十米ヲ施行シ工費一萬一千二百八十六圓ヲ要セリ

國府川筋(小鴨川左支)ニ於ケル築堤工事ハ前年度ヨリ繼續施行ニ係ル不入岡、福光、黒見、國府ノ四築堤工事ニシテ黒見築堤工事ハ工事施行ノ都合ニ依リ年度内休工セリ築立土砂ハ掘鑿工事ノ土砂及護岸工事ノ床掘土砂ヲ利用セリ此ノ土量五萬九百六立方米五ニシテ工費三百二十五圓ヲ要シ掘鑿工事ハ前年度ヨリ引續キ施行ノ不入岡機械掘鑿、和田、福光ノ二人力掘鑿ノ三工事ナリ機械掘鑿ニハドラグラインヲ使用シ掘鑿土砂ハ六・四瓩瓦斯倫機關車及人力トロヲ使用シテ和田、福光ノ二人力掘鑿工事ノ掘鑿土砂二萬七千八百八十四立方米五及不入岡機械掘鑿工事ノ掘鑿土砂ニシテ前年度迄假置シタル土砂二萬八百八

十二立方米、計四萬八千六十六立方米五ヲ築堤箇所ニ捨土シ不入岡機械掘鑿工事ノ掘鑿土砂一萬一千三百立方米ハ假置セリ此ノ工費ハ二萬八百四十三圓ナリ護岸工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續施行ノ社、黒見、福光ノ三工事ナルモ社、黒見ノ二工事ハ施行上ノ都合ニ依リ本年度ハ休工シ福光護岸工事ノミ施行シ石張延長四百八十米ヲ施シ工費四千八百七十六圓ヲ要シタリ以上ノ如ク本年度竣功高ハ築堤工事ハ築立土量十三萬二千三百八十二立方米五、工費九千二百五十圓、掘鑿工事ハ土量十一萬九千九百六十立方米五、工費四萬九千九百十四圓、護岸工事ハ石張延長九百五十米、工費二萬百四十一圓ナリ

附帶工事ハ直轄施行ノモノハ前年度ヨリ繼續施行ノ輪王寺、國分寺羽合ノ各用水樋門新設及水路附換ノ三工事ナルモ孰レモ工事施行ノ都合ニ依リ本年度ハ休工セリ之ガ國庫補助總額ハ二萬五千二百七十四圓ニシテ本年度支拂ヲ了シタルハ前年度竣功シタル倉吉排水及社排水路附換工事ノ管理者負擔超過額タル三萬四千五百三十八圓ナリ管理者施行ノモノハ本年度着工シタル鳥取縣施行ノ大原橋架換、倉吉町施行ノ三明寺橋架換、同圓谷用水路附換ノ三工事ニシテ之ガ國庫負擔金及補助金ハ五萬八千九百七十圓ニシテ孰レモ未竣功ナリ而シテ本年度支拂ヲ爲シタルモノハ前年度竣功セル中河原用水路附換工事ニ對スル國庫補助金一千八百九十八圓ナリ

土地買收ハ前年度迄ニ土地六十一町五段一畝五步餘此ノ買收代金二十八萬七百五十九圓、地上物件移轉料十一萬二千三百五十六圓、外電柱移轉料其ノ他雜費一萬一千九百八十二圓、合計四十萬五千九十八圓ヲ支拂タリ

本年度ハ協議發表ヲ爲シタルモノナク前年度ヨリ支拂ヲ繰越セル第二、八、十二、十六、十八、十九次ノ土地二町五段七畝一步餘ニ對スル買收代金一萬四千九百七十五圓、地上物件移轉料八千九百十四圓外ニ電柱移轉料一千七百三十二圓、陸地測量標移轉料七十三圓、其他雜費二圓、合計二萬五千六百九十六圓ヲ支拂ヒ土地買收代金十二萬三千八百三十九圓、地上物件移轉料六百七十四圓、計十二萬四千五百十三圓ノ支拂ハ翌年度ニ繰越シタリ依テ起工以來支拂ヲ爲シタルハ土地六十四町八畝六步餘此ノ買收代金二十九萬五千七百三十四圓、地上物件移轉料十二萬一千二百七十一圓外ニ電柱移轉料、其他雜費等一萬三

千七百八十九圓、合計四十三萬七千九百九十四圓ナリ

本年度竣功總額ハ十九萬七千十圓ニシテ起工以來ノ累計ハ百七十萬三千十三圓外ニ土木試驗所試驗費補給額三千四百圓ナリ之ヲ總豫算高四百五十萬圓ニ比スレバ三割六分ノ竣功トナル工事竣功表左ノ如シ但シ表中「◎」ハ鳥取縣災害復舊費「□」ハ管理者提供品價額「■」ハ別途採取材料價額「△」ハ製作品價額「○」ハ再使用品見積價額「×」ハ土木試驗所試驗費補給額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費	立米 1,141.13	111,100.00	立米 1,111.23	111,100.00	立米 2,252.36	111,100.00	0.11
掘鑿費	立米 2,148.97	336,800.00	立米 2,199.62	499,910.00	立米 4,348.59	336,800.00	0.28
護岸水制費	米 18,940	199,158.00	米 15,000	110,100.00	米 33,940	309,258.00	
用地費	段 65	45,098.00	段 26	15,620.00	段 91	60,718.00	
附帶工事費		47,329.00		33,300.00		80,629.00	
船舶及機械費		156,858.00		110,100.00		266,958.00	
測量費		110,000.00		110,000.00		220,000.00	
營業繕費		14,330.00		14,330.00		28,660.00	
雜費		3,700.00		3,700.00		7,400.00	
共濟組合給與金		9,385.00		11,100.00		20,485.00	

第一章 河川改修工事 (天神川改修工事)

總計	臨時家族手當	費目	
		數量	前年度迄竣工高
×①□			金額
一、四〇六、〇〇三 九五、八四五 三五、八四八 四〇〇八			円
×②□			金額
一、九七〇、〇一〇 三〇、五八六 一一	一、三八四		円
×③□			金額
一、一〇〇、〇〇〇 九、九九九 〇〇八	一、三八四		円
			合計
			數量
			金額
			合計
			歩合
			功

#### 第四〇 阿武隈川下流改修工事

本工事ハ總工費六百二十一萬圓（內宮城縣負擔二百一十一萬九千圓）ヲ以テ昭和十一年度ヨリ同二十七年度ニ至ル十七箇年度ノ繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシガ昭和十三年度、同十四年度及同十五年度ニ於テ國庫財政ノ都合ニ依リ工費ノ一部ヲ後年度ニ繰延ベ竣功年度ヲ昭和三十年度ト改定セリ其區域ハ左岸宮城縣伊具郡館矢間村、右岸同郡丸森町以下海ニ至ル四十二軒トス

#### 施工狀況

本改修工事ハ昭和十一年度ノ創業ニ係リ改修事務所ヲ名取郡岩沼町ニ設ケ諸般ノ準備ヲ進メ先ヅ岩沼工場及角田工場ヲ設置シテ亘理郡逢隈村、名取郡千貫村、伊具郡北郷村、櫻村及東根村地内ニ於ケル工事ノ實施調査測量ヲ施行シ以テ土地買收ヲ行ヒタリ本年度内ニ施行セル工事ノ大要ヲ左ニ記サン

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續施行セル本川左岸伊具郡櫻村大字佐倉地内ニ三箇所、同郡北郷村大字江尻地内ニ一箇所、柴田郡槻木町大字入間野地内ニ一箇所、名取郡玉浦村大字寺島地内ニ一箇所及右岸伊具郡東根村大字坂津田地内ニ一箇所、計七箇所ニシテ内本年度ニハ佐倉人力掘鑿一箇所ノ竣功ヲ見、他ハ何レモ未竣功ノ儘次年度へ繰越セリ本年度ノ掘鑿土量ハ十五萬七千五百七十四立方米ニシテ人力及掘鑿機ニ依リ施行シ運搬ニハ七噸データーセル機關車二臺、二十噸蒸汽機關車一臺及牛馬人力等ヲ併用シ築堤用土ニ利用ノ外一部民有地ニ投棄セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續セル本川左岸伊具郡櫻村大字佐倉地内ニ一箇所、同郡北郷村大字江尻地内ニ一箇所、名取郡千貫村大字南長谷地内ニ一箇所、同郡玉浦村大字寺島地内ニ一箇所、右岸ハ伊具郡東根村大字坂津田地内ニ一箇所及亘理郡逢隈

村地内ニ一箇所、計六箇所ニシテ築立土ハ掘鑿土ヲ利用ノ外一部民有地ヨリ採取運搬シ九萬八千八百六十二立方米ノ築立ヲ爲セリ水制工事ハ前年度ヨリ施行セル本川右岸亘理郡逢隈村大字中泉地先一箇所ニテ二百三十一米ヲ竣功セリ  
 附帶工事ハ本年度新ニ左岸伊具郡東根村小坂地内土瓜外三種管繼足工事ニ着手シ施行中ナリ  
 土地買収ハ本年度ニ於テハ左岸名取郡玉浦村、伊具郡東根村、同郡櫻村及右岸亘理郡逢隈村地内ニ於テ調査セルモノ三十七町三段二畝歩ニシテ前年度ヨリ繰越及本年度中協議セル内支出セルモノハ八町五段十三歩、價額二萬一千四百四十二圓七十五錢、物件移轉其他四千二百七十一圓五錢ニシテ用地費總額二萬五千七百十三圓八十錢ナリ  
 本年度ノ竣功高ハ十八萬四千七百三十五圓ニシテ起工以來ノ累計九十七萬一千八百十九圓トナリ總工費六百二十一萬圓ニ對シ約一割六分ノ竣功ニ當リ其ノ竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘鑿	八〇〇、七三三	一八、三三三	一五七、五〇〇	五、七〇〇	九五七、二三三	二八、〇三三	〇・一三
工事築	七六、八〇〇	三、一〇〇	九八、八〇〇	一三、七九三	一七五、六〇〇	四、八九三	〇・〇八
護岸水制	—	—	—	〇、〇〇〇	—	—	〇・〇〇
附帶工事	—	—	—	二、七九九	—	二、七九九	〇・〇〇
用地	—	—	—	—	—	—	—
船舶及機械費	—	—	—	二八、〇〇〇	—	二八、〇〇〇	—
測量費	—	—	—	一、六九〇	—	一、六九〇	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

第一章 河川改修工事 (阿武隈川下流改修工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費
七、七〇八圓		四、〇〇七圓	二九、九三三圓	一六、四六八圓
一、八四七圓	一、二三五圓	一、七三三圓	四、一八七圓	四、四六圓
九、五八八圓	一、二三五圓	五、八一九圓	二六、一八〇圓	二六、九三四圓
〇・一七				

#### 第四一 木曾川下流改修増補工事

木曾川水系トハ木曾川、揖斐川及其支川長良川ノ三大川ヲ總稱スルモノニシテ本計畫ニ於テ木曾川ト稱スルハ木曾川水系ノ謂ナリ

本水系ノ流域ハ長野、岐阜、滋賀、三重及愛知ノ五縣下ニ跨リ其上流部ハ山岳重疊シ耕地尠シト雖モ我國有數ノ水力地點ニシテ其發電力ハ實ニ四十九萬三千キロワットニ達ス而シテ山間部ヲ離レテ一度平地ニ出ヅレバ廣袤二千二百五十平方料ノ濃尾勢平野ニシテ田園、都市、村落此處ニ集中シ人口極メテ稠密ナリ國有鐵道及私設鐵道ノ外國縣道縱横ニ走リテ交通網整備シ古來農桑ノ業極メテ盛ナリシガ近時各種工業ノ隆興又著シキモノアリ然モ是等産業ニ缺クベカラザル各種用水ハ何レモ本水系ノ供給スル所タリ

又本水系ハ舟楫ノ便ニ富ミ木曾川ハ八百津町、長良川ハ瀬尻村、揖斐川ハ北方村迄川船ノ遡上スルヲ見ル

斯ノ如ク沿岸民ノ本川ニ負フ所極メテ大ナリト雖モ一面水害モ亦甚大ニシテ一朝大水ニ際會シ破堤、溢水ヲ生ズルニ於テハ數萬ヘクタールノ耕宅地ハ水底ニ沒シ其ノ水害損失ハ舉ゲテ數フベカラズ而シテ斯ル水害ハ古來稀ナラズト雖モ就中明治二十九年ノ供水ノ如キハ水害ノ最モ大ナルモノニシテ其慘況名狀スベカラザルモノアリタリ尙長良、揖斐兩川ニ於ケル洪水ニ對スル恐威ヲ感ズルコト痛切ナルヲ以テ政府ニ於テモ其必要ヲ認メ第六十九議會ノ協贊ヲ經テ昭和十一年度ヨリ同三十年度マデ二十箇年繼續工事トシテ總工費五百九十九萬九千八百三十六圓 (内事務費三十二萬九千八百三十六圓、工事費五百六十七萬圓) ヲ以テ施行スルニ至レリ

#### 施行狀況

本年度ニ於テ施行セシ築堤工事ハ前年度ヨリ續續セル八開築堤、松内第二築堤、楠築堤、福岡第二築堤、松内第三築堤、油島築堤、大卷築堤、鹽田築堤、野代築堤、船頭平築堤、揖斐長良瀬割築堤等ニシテ前年度着手セシ五明築堤、殿名第二築堤、七取築堤、森川第二築堤工事ハ都合ヒ休工セリ

築堤工事ノ竣功セルハ八開築堤、船頭平築堤ナリ他ハ未竣功ノ儘翌年度ニ繰越シタリ本年度着工セシ工事ハ木曾川筋右岸三重縣桑名郡長島村大字殿名地先斷面自八籽四、至九籽二間延長八百三十米ノ内關西線並ニ伊勢電兩橋梁ノ橋臺延長三十米ヲ除キタル延長八百米ノ堤防ヲ擴築セントスルモノニシテ此ノ施工區間ハ前年度ニ於テ竣功セル殿名築堤工事トシテ計畫堤肩ヨリ三米下リタル所迄腹付ヲ施シタルヲ以テ其ノ上ニ計畫堤防定規ニ準シ馬踏七米高サハ計畫高水位上二米、法内外共二割ヲ標準トシテ築造スルモノナリ所要土砂ハ篠橋人力掘鑿土ヲ利用シ之ハ總芝張ト爲シ目下工事中ナリ

本年度築堤工事ノ功程ハ土量九萬三千五百二十二立方米ニシテ工費三萬五千四百十二圓ヲ要シタリ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續セル篠橋人力掘鑿、福岡第二人力掘鑿、西小島人力掘鑿工事ニシテ七取人力掘鑿、小島第二人力掘鑿、森川人力掘鑿ハ工事都合ヒ休工シ西小島人力掘鑿工ハ本年度竣功ヲ告ゲ他ハ未竣功ノ儘次年度ニ繰越シタリ

掘鑿工事ハ篠橋第二人力掘鑿ニシテ本工ハ木曾川筋右岸三重縣桑名郡長島村大字篠橋、同郡楠村新所地先堤外地距離標九千四百五十籽ヨリ距離標一萬二千籽ニ至ル間ノ平水位上ヲ掘鑿シ河積ヲ掘擴スルモノナリ掘鑿土砂ハ同川右岸距離標一萬一千七百籽ヨリ一萬二千六百籽ニ至ル新設船頭平第二築堤工ニ利用シ殘餘ハ他ノ未設計箇所又ハ凹地ニ捨土スルモノニシテ目下工事中ナリ

本年度掘鑿工事ノ功程ハ土量五萬五千四百二十立方米ニシテ工費二萬三千五百七十八圓ヲ要シタリ

浚渫工事ハ前年度ヨリ繼續セル油島浚渫工ニシテ其功程ハ土量二萬七千百一十一立方米、工費一萬六百七十九圓ヲ要シ次年度ニ繰越シタリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續セル油島第二護岸工ナリ又本年度着工セシ混凝土方塊製作工ハ揖斐川筋岐阜縣海津郡今尾町附近ニ於テ工事用石材即護岸張石用玉石又ハ割石ヲ求メントスレバ何レモ其附近所在ニ適當ナル產地ナク遠ク木曾川筋川島村地先ヨリ玉石ヲ、或ハ愛知縣寶飯郡西浦村地先ヨリ割石ヲ海路ニ依リテ購入スル外ナク從テ其單價當モ現下ノ情勢ニ於テハ立方米當多額ノ經費ヲ要スル有様ナルヲ以テ其石材ニ代フル混凝土方塊ヲ製作シ代用品トスルモノニシテ目下工事中ナリ

本年度護岸工事ノ竣功延長ハ百五十米ニシテ工費一萬二千四百三十六圓ヲ要シタリ

採取工事ハ玉石採取工ニシテ本工ハ工事用材料トシテ木曾川筋岐阜縣羽島郡川島村地先ヨリ小船又ハ發動機船ニテ採取シ愛知縣海部郡立田村大字立田及同村福原新田地先ニ運搬スルモノニシテ其採取量ハ一千二百立方米工費九千三十三圓ヲ要シ次年度ニ繰越シタリ

土地買收及地上物件移轉ハ岐阜縣安八郡仁木村地係ニ於テ土地二萬三百二十七平方米(二町四畝二十九步)此代九千三百九十一圓ヲ費シ地上物件移轉費二十七圓ヲ支出シ愛知縣海部郡立田村地係ニ於テ土地六千五百四十二平方米(六段五畝二十八步八三)此代金五千六百七十六圓ヲ要シ地上物件移轉トシテ六千八百七十七圓ヲ支出シタリ

土地買收並地上物件移轉費合計二萬一千九百一十一圓ナリ

起工以來ノ累計ハ築堤工事土量七十萬四千二百八十八立方米工費十三萬七千七百三十七圓、法留工事延長三千四百二米工費一萬九千五百六十五圓、掘鑿工事土量三十四萬三千四百四十六立方米工費九萬八千六百五十三圓、浚渫工事土量十二萬九千六百四十四立方米工費三萬四千二百八十七圓、護岸工事延長二千二百二米工費四萬五千八十三圓、採取工事費三萬四千二百二十一圓ニシテ船舶及機械費其他四十五萬八千四百七十九圓、計八十二萬八千二百五十五圓ナリ總工費五百六十七萬圓ニ比スレバ一割四分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「△」ハ民地負擔額、「△」ハ評價品採取負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	410.2米	101,300円	25.5米	38,400円	435.7米	139,700円	0.11
築堤	21,401米	19,565円	1米	11円	21,402米	19,576円	0.11
法留	2,776.7米	1,076,077円	5,400米	2,358,768円	8,176.7米	3,434,845円	0.09
人力掘鑿	287.7米	7,076円	5.4米	13,600円	293.1米	20,676円	0.06
機械浚渫	67.3米	1,622円	1.0米	2,500円	68.3米	4,122円	0.01
掘鑿	101.9米	33,802円	27.2米	10,824円	129.1米	44,626円	0.04
護岸	1,001米	33,802円	10米	1,000円	1,011米	34,802円	0.04
材料採取	5.9段	15,188円	7.7段	29,000円	13.6段	44,188円	0.04
用地	1,778.8米	22,570円	21.9米	22,111円	1,800.7米	44,681円	0.04
船舶及機械費	104.7米	1,111円	1.1米	1,111円	105.8米	2,222円	0.01
測量	104.7米	1,111円	1.1米	1,111円	105.8米	2,222円	0.01
營繕費	104.7米	1,111円	1.1米	1,111円	105.8米	2,222円	0.01
雜費	104.7米	1,111円	1.1米	1,111円	105.8米	2,222円	0.01
共濟組合給與金	104.7米	1,111円	1.1米	1,111円	105.8米	2,222円	0.01
臨時家族手当	104.7米	1,111円	1.1米	1,111円	105.8米	2,222円	0.01
總計	8,176.7米	3,434,845円	36.7米	144,900円	8,213.4米	3,579,745円	0.10

## 第四二 常願寺川改修工事

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同二十四年度ニ至ル十四箇年度繼續事業トシテ工費三百九十六萬三千圓 (内富山縣負擔三十六萬六千圓) ヲ以テ施行スルモノニシテ其ノ區域ハ左岸上新川郡上瀧町、右岸中新川郡立山村以下海ニ至ル十八軒ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十一年度ノ創業ニシテ先ヅ最モ急ヲ要スル左岸太田村山室村及富山市内舊島村、右岸利田村地先ノ掘鑿、築堤及護岸ヲ施行セル外岡田堰堤ノ一部ヲ施行シタリ

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿工事五箇所、築堤工事五箇所、護岸工事八箇所ヲ施行シ何レモ未竣功ニ終レリ其ノ概況左ノ如シ

掘鑿工事ハ大場、太田、朝日、日俣、大森ノ七工事ヲ施行シ主トシテ人力及ドラクラインヲ以テシ〇・六立方米乃至一・二立方メートル積土運車ニ積込ミ馬力又ハディーゼル機關車ヲ以テ運搬シ三萬四千四百五十三立方米ヲ築堤ニ利用セリ

築堤工事ハ大場、西ノ番、朝日、日俣、大森ノ五工事ヲ施行シ掘鑿土及護岸床掘土三萬四千九百一立方米ノ搬入ヲ受ケ法留石張四千六百十五平方米ヲ施行セリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續ノ大中島、西ノ番、第二大中島、朝日、第三大中島、第二朝日、日俣ノ七工事ノ外新ニ日置護岸工事ヲ施行シ本工沈床四千五百六十四平方米、練石張一萬百五十一平方米、空石張三千四百平方米、目潰混凝土石張百六十六平方米ヲ竣功セリ而シテ起工以來ノ累計ハ本工沈床一萬七千三十三平方米、石張三萬一千七百四十七平方米ナリ

用地ハ前年度ノ協議ニ係ル未拂土地二段歩ノ買收費一千二百三十二圓、地上物件移轉補償費百六十一圓其ノ他ニ對シ合計一

千七百八十七圓ヲ仕拂ヒ新ニ右岸利田村日置地先ノ土地買收協議ヲ爲セリ

本年度竣功額ハ十七萬四千六十九圓ニシテ起工以來ノ累計ハ九十四萬九百二十八圓トナリ之ヲ總工費三百九十六萬三千圓ニ比スレバ二割四分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ表中「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	立米 三三、七四四	九、九八八	立米 三三、四三三	一〇、一〇八	立米 六七、一七七	一、〇〇〇、〇〇〇	〇・三三
工事築	二、七〇七	三、七七一	三、〇九一	四、八八一	五、七九八	三、九〇〇、〇〇〇	〇・三三
費事護	一所	一、一〇〇	一所	七、四〇一	一所	八、五〇一	〇・一六
費事岸	一段	三、一〇〇	一段	一、七六七	一段	四、八六七	〇・一四
費事水	未竣功	—	未竣功	—	未竣功	—	—
費事堤	二、八段	五、九〇〇	二、八段	一、七六七	五、六六七	七、六六七	〇・〇八
用地	—	—	—	—	—	—	—
船舶及機械	—	—	—	—	—	—	—
測量	—	—	—	八九一	—	三、七六八	—
營繕	—	一、九七七	—	二、三〇八	—	四、二八五	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

第一章 河川改修工事 (常願寺川改修工事)

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
臨時家族手當	1	1	1	1,825	2	1,825	割分
總計	1	7,618,559	1	1,825	2	7,620,384	0.11

### 第四三 米代川改修工事

本工事ハ總工費二百九十七萬圓(内秋田縣負擔百四萬三千圓)ヲ以テ昭和十一年度ヨリ同二十年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業ナリシモ國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十三年度ヨリ本年度迄ニ於テ二箇年度ノ繰延トナリ即チ昭和十一年度ヨリ同二十年度迄ノ繼續事業トシテ施行スルコトトナリシモノニシテ其區域ハ左岸秋田縣山本郡響村、右岸同郡種梅村以下海ニ至ル延長二十六軒トス

#### 施工狀況

本改修工事ハ昭和十一年度ノ創業ニシテ同年七月一日秋田縣山本郡能代港町ニ改修事務所ヲ設置シ直ニ實施測量及用地買收調査ヲ開始シ同年十一月一日ヨリ左岸富根村地内ニ於テ掘鑿工事ニ着手續テ左岸能代港町柳村、鶴形村及富根村ニ掘鑿及築堤工事ヲ起シ本年度ニ於テハ左岸扇淵村ニ掘鑿工事ヲ起シ是等工事ヲ續行セリ

掘鑿工事本年度掘鑿總工量ハ十四萬八千九百五十五立方米ニシテ内七萬四千三百四十一立方米ハ築堤土ニ利用殘リ七萬三千七百五十四立方米ハ附近民有地並ニ堤外河川敷ニ投棄セリ而シテ其ノ工法ハ掘取ハ總テ人力ニ依リ運搬ハ人力、馬力ニ依ルノ外、ディーゼル機關車ヲ併用セリ

築堤工事本年度築立土量ハ七萬四千三百四十一立方米ニシテ總テ前記ノ如ク掘鑿土ヲ利用セリ

附帶工事前年度ヨリ續行セル山本郡鶴形村地内鶴形水路附替工事並ニ本年度着手セル山本郡富根村地内飛根樋管新設工事及秋田縣能代市地内柳樋管新設工事ニシテ内柳樋管新設工事ハ竣成管理者ニ引渡シ鶴形水路附替工事及飛根樋管新設工事ハ工事ノ大半ヲ終リ翌年度ヘ繰越セリ

用地買収ニ在リテハ本年度ハ工事ニ支障ナキヲ以テ新規買収ヲ行ハズ専ラ前年度ヨリノ繰越額ノ支拂ニ努ムルコトトセシモ豫算ノ關係上土地積二町二段二畝十七歩、六十五坪五合一勺ノ金額四千九百十四圓九十五錢、外ニ地上物件十一圓八十五錢、合計金四千九百二十六圓八十錢ノ支拂ニ止メタリ

以上本年度竣功高ハ十五萬三千九百五十八圓ニシテ起工以來ノ累計ハ七十九萬一千五百二十三圓トナリ之ヲ總工費二百九十七萬圓ニ對比スル時ハ約二割七分ノ竣功ニ當ル其工事竣功表ハ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工	立米	円	立米	円	立米	円	割合
掘	七二、一五五	一一、一五五八	一四八、〇九五	七、六九八	八七〇、一五五	二九、五五〇	〇・三三
築	四、〇〇〇	三、七九八	三、三三三	一一、一四三	四、三三三	八、八八三	〇・三三
堤	九八段	一、四八八	三段	一、〇八〇	一〇一、一	一三、一八二	〇・三三
附帶工事費							
用地費							
船舶及機械費							
測量費							
管繕費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手当							
總計		三三、七五八		一五、九五六		四九、七一四	一〇・〇

#### 第四四 肝屬川改修工事

本工事ハ工費三百七十八萬圓(内鹿兒島縣負擔百三十一萬五千圓)ヲ以テ昭和十二年度以降同二十四年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシ施行中ノ處國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十二年度ニ於テ工期一箇年度延長竣功期ハ昭和二十五年トナレリ  
改修區域ハ幹川鹿兒島縣肝屬郡始良村以下河口ニ至ル十一籽及支川串良川同郡東串良町以下幹川合流點ニ至ル八籽、支川高山川同郡高山町以下幹川合流點ニ至ル三籽、支川始良川同郡始良村以下幹川合流點ニ至ル二籽、合計約二十四籽トス

#### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ鹿兒島縣肝屬郡高山町ニ改修事務所ヲ設置シ諸器械ノ整備、測量、調査、其他諸般ノ準備ヲ進メ同年度末支川高山川筋ニ於テ工事着手ノ運ビトナレリ而シテ着手後幾何モナラズ漸ク本格的施工ノ緒ニ就カントシツツアリシ秋ニ當リ昭和十三年十月十五日突如大隅半島ヲ襲ヒタル豪雨ノ爲メ本川流域一帶ハ未曾有ノ出水汎濫ヲ惹起シ人畜ノ死傷、家屋ノ流亡、耕宅地ノ損壞等其ノ慘害甚大ニシテ工事ノ施行ニモ亦一頓挫ヲ來セリ爾來此災禍ノ齎セル事態ニ照應シ萬全ノ策ヲ講究スルト共ニ最モ速ナル工事ノ成功ヲ期シ銳意進捗ニ努メタリ本年度ニ於テハ前年度ニ引續キ支川高山川筋改修起點以下幹川合流點迄及同箇所以下幹川斷面四籽五ニ至ル延長五籽五百米ノ區間ニ於テ掘鑿工三箇所、築堤工四箇所、護岸工二箇所及附帶工事一箇所、合計十箇所ノ工事ヲ施行セリ

掘鑿工ハ支川高山川筋ニ於テハ前年度ヨリ繼續ノ一箇所、本年度新ニ着手セルモノ一箇所、幹川筋ニ於テハ前年度ヨリ繼續ノ一箇所、合計三箇所ノ高水敷並低水敷掘鑿ニシテ凡テ人力掘鑿ニ依リ施行セリ本年度掘鑿總土量ハ十一萬八千五百五十五立

方米餘ニシテ之ガ運搬ニハ七吨デイーゼル機關車一臺及人牛馬力等ヲ併用シ其ノ掘鑿土ノ大部分ハ築堤敷へ、殘餘ハ附近官民有地へ投棄セリ

築堤工ハ前年度ヨリ繼續施行ノ幹川筋左岸及支川高山川筋右岸ニ於テ各一箇所並ニ本年度新ニ着手ノ幹川筋右岸及支川高山川筋左岸ニ於ケル各一箇所、合計四箇所ナリ其ノ所要土量ハ凡テ掘鑿土ヲ利用シ本年度ハ十一萬六千二百五十八立方米搬入シ前年度ニ於テ官有地投棄トシテ處理シ來リタルモノヲ合シ十三萬七千八百五十五立方米ヲ築立テタリ

護岸工ハ支川高山川筋右岸改修起點附近ニ於テ水流激突ノ衝ニ當リ新堤防護ノ必要最モ急ナル箇所ニ前年度ヨリ繼續施行中ノ高水護岸工一箇所、本年度新ニ着工セル低水護岸工各一箇所ヲ施行シ何レモ竣功ニ至ラズ翌年度ニ繰越セリ

土地買収ニ在リテハ本年度新ニ工事ニ着手スル爲メ鹿兒島縣肝屬郡高山町大字前田支川高山川筋左岸掘鑿箇所及同町新富幹川筋右岸築堤敷ノ買収協議ヲ開始シ年度内大部分ノ承諾ヲ得タリ而シテ本年度支拂ヲ了シタルハ土地六町四段歩三萬二千一圓、家屋移轉一千四百五十三坪二萬三千五百八十九圓及其他物件移轉料一萬二千五百五十六圓ナリ

附帶工事ハ支川高山川筋ニ於テ前年度ヨリ繼續施行中ノ一箇所ニシテ本年度内取水時期前ニ之ヲ竣功セシメタリ

本年度竣功高ハ二十一萬七千八百三十六圓ニシテ起工以來ノ累計六十二萬一千一圓ヲ算シ總工費三百七十八萬圓ニ對シ一割六分ノ竣功ナリ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「▲」ハ土捨出願者提供材料勞力費「○」ハ評價品價額「●」ハ亡失毀損代價ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	10,147.7	3,330.3	22,823.5	4,546.6	33,000.0	7,877.1	0.10
工事築	10,586.2	4,433.5	22,788.5	4,546.6	33,000.0	7,877.1	0.11
護岸	*		*		*		0.00
用地費	三四	100.0	三四	64.0	三四	144.0	
附帶工事費(直接施行)	簡所	1,101.1	簡所	1,444.4	簡所	2,545.5	
船舶及機械費		6,600.0		6,000.0		12,600.0	
測量費		8,588.8		1,000.0		9,588.8	
營業繕費		15,778.8		11,600.0		27,378.8	
雜費		60,110.0		33,000.0		93,110.0	
共濟組合給與金		1,101.1		400.0		1,501.1	
亡失毀損		338.0		300.0		638.0	
臨時家族手當				20.0		20.0	
總計		80,110.0		88,000.0		168,110.0	0.18

## 第四五 球磨川改修工事

本工事ハ工費三百五十一萬圓(内熊本縣負擔百二十三萬八千圓)ヲ以テ昭和十二年度以降同二十四年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ施行ノ處國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十二年度及同十四年度ニ於テ工期各一箇年度ヲ延長シ竣功期ハ昭和二十六年  
度トナレリ其ノ改修區域ハ熊本縣八代郡宮地村以下海ニ至ル約九料トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度創業ト共ニ施行準備ニ着手シ實施測量及掘鑿工ニ着手セリ本年度工事ノ概要左ノ如シ  
掘鑿工ハ前年度ヨリ繼續ノ五箇所ノ外本年度新ニ着手セル八代市植柳地先ノ一箇所、計六箇所ニシテ其ノ内一箇所ハ工事ノ都合ニ依リ打切り竣功ト爲シ二箇所ヲ年度内ニ竣功セシメ他ノ三箇所ハ翌年度へ繰越セリ是等掘鑿ハ一千二百立方米掘鑿短  
梯形掘鑿機ニ依ル機械掘鑿並ニ人力掘鑿ニシテ是ガ運搬ニハ二十噸蒸汽機關車及人力ニ依レリ本年度内ニ於ケル掘鑿總土量  
ハ六萬七千四百七十二立方米ニシテ其ノ内九割八分ヲ築堤豫定敷ニ捨土シ殘餘ハ附近民有地ニ投棄セリ  
土地買收ニ在リテハ八代市植柳下町地内ニ於テ買收協議ヲ爲シ全部承諾ヲ得年度内ニ約三町六段歩ノ買收ヲ了シタリ  
本年度竣功高ハ十六萬一千四百八十六圓ニシテ起工以來ノ累計ハ四十五萬六千五百五圓ヲ算シ總工費三百五十一萬圓ニ對シ一  
割三分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「▲」ハ土捨出願者提供勞力費ヲ示ス

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(掘鑿)	立米 117,100	2,101,405	立米 67,417	2,477,919	立米 184,517	5,579,324	0.08
用地費	箇所 二	113,377	箇所 三	281,200	箇所 二	1,501,981	
附帶工事費(管理者施行)	箇所 一	9,311	箇所 一		箇所 一	9,311	
船舶及機械費		78,859		85,339		1,031,988	
測量費		6,830		797		33,711	
營繕費		10,959		9,636		11,795	
雜費		38,866		11,181		59,147	
共濟組合給與金		1,147		687		1,834	
臨時家族手當				491		491	
總計		2,349,109		3,161,866		5,510,975	0.11

## 第四六 黒部川改修工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同二十三年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ工費三百五十一萬圓（内富山縣負擔百二十一萬六千圓）ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ本年度ニ於テ年度割改定ニ伴ヒ工期一箇年度ヲ延長シ昭和二十四年度ニ於テ竣功セシムルコトトナレリ而シテ其ノ區域ハ左岸富山縣下新川郡東山村、右岸同郡愛本村以下海ニ至ル十四軒トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ先ヅ最モ急施ヲ要スル左岸櫻井町出島及沓掛地先ノ富山縣委託工事ニ着手シ續イテ直轄工事トシテ左岸櫻井町出島沓掛、五郎八及右岸飯野村地先ニ掘鑿、築堤、護岸工事ヲ施行セリ

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿ニ工事、築堤四工事、護岸ニ工事ノ他新ニ起工セル上飯野、板屋築堤及板屋護岸ノ十一工事ヲ施行セリ其ノ狀況左ノ如シ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續ノ获生人力掘鑿、村椿人力掘鑿ノ二工事ヲ施行シ河道内高所其ノ他ニ於テ一萬五千五百四十二立方米ヲ掘鑿シ人力及瓦斯倫機關車ニ依リ全部築堤敷ニ運搬投棄セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續ノ获生、第二大布施、第三大布施、飯野築堤ノ四工事ノ外新ニ起工セル上飯野、板屋築堤ノ二工事ヲ施行シ築立土量五萬四千七百六十三立方米ノ内二萬八百三十立方米ハ掘鑿土又ハ護岸床掘土ヲ利用シ三萬三千九百三十三立方米ハ河道内ヨリ採土シ三瓩五又ハ四瓩瓦斯倫機關車、捲揚機、人力、馬力等ニ依リ運搬ノ上築立ヲ行ヒ法面石張九千三百二十二平方米ヲ施行シ延長九百三十米ヲ竣功セリ起工以來ノ竣功高累計ハ築立土量十九萬二千八十二立方米、法面石張二萬一千三百七十七平方米、竣功延長一千五十米ナリ

護岸工事ハ前年度ヨリ繼續ノ获生、大布施護岸ノ二工事ノ外新ニ起工セル板屋護岸工事ヲ施行シ床掘及根掘ハ人力又ハドラ  
 グライン掘鑿機ニ依リ土量一萬三百九十六立方米(内五千二百八十八立方米ヲ築堤用土ニ充當)練石張六千六百四十平方米、  
 空石張二千九百九十八平方米、木工沈床二千八十平方米ヲ施行セリ起工以來ノ竣功高累計ハ練石張八千二百五十七平方米、  
 空石張四千七百六十六平方米、木工沈床五千二百平方米ナリ  
 用地關係ニ在リテハ前年度迄ニ協議承諾濟ノ左岸櫻井町沓掛、右岸飯野村地内ノ土地二町四段歩ヲ買收シ地上物件六件ヲ移  
 轉セシメ用地費一萬百六十五圓ヲ支拂ヒタリ

本年度ノ竣功額ハ十六萬五千七百七圓ニシテ起工以來ノ累計ハ四十八萬九千七百四十三圓トナリ之ヲ總工費三百五十一萬圓  
 ニ比スレバ一割四分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ、表中「○」ハ富山縣委託工事費「×」ハ土木試驗費補給額「○」ハ  
 再用材料使用高ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セルモノナリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高數		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 九七、八八二	四〇、一三三	立米 一五、一五三	七、一五三	立米 一一二、〇三六	四七、二八六	〇・〇
築堤	米 一三、七三九	四、一六九	米 五、七三三	三、一八九	米 一九、四七二	七、三六八	〇・二
護岸	米 一、一〇〇	一、三三三	米 七、八八	五、一〇三	米 八、九八八	六、四四一	〇・〇
工事費	×	×	×	×	×	×	〇・〇
費用	×	×	×	×	×	×	〇・〇
用地費	×	×	×	×	×	×	〇・〇
附帶工事費	×水路 九、九一	〇×	×	〇×	×水路 九、九一	〇×	〇・〇
船舶及機械費	〇×	〇×	〇×	〇×	〇×	〇×	〇・〇
合計							

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
測量費		11,000		3,500		14,500	
營繕費		9,280		11,710		20,990	
雜費		67,246		19,154		86,400	
共濟組合給與金		2,789		1,134		3,923	
臨時家族手当				1,095		1,095	
總計		90,305		36,593		126,898	0.1%

## 第四七 馬淵川改修工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同二十一年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業トシテ總工費二百二十五萬圓（内青森縣負擔七十八萬四千圓）ヲ以テ施行ノ計畫ナリシモ昭和十三年度ニ於テ國庫財政ノ都合ニ依リ竣功年度ヲ一箇年度延長シ昭和二十二年迄十一箇年度ト爲シ次テ昭和十四年度ニ於テ改修計畫ヲ變更ノ結果總工費二百八十二萬八千圓（内青森縣負擔百三十六萬二千圓）ニ増額シ施行スルコトナレリ施行區域ハ幹川ニ在リテハ左岸青森縣三戸郡下長苗代村、右岸同縣八戸市以下海ニ至ル六料並新水路一料六、支川新井田川ニ在リテハ左岸青森縣八戸市、右岸同縣三戸郡大館村以下合流點ニ至ル五料、合計十二料六トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニ係リ同年六月一日青森縣八戸市ニ改修事務所ヲ設置シ直チニ實施測量其ノ他諸般ノ準備ニ着手セルモ同年度ハ本工事施行ノ運ビニ至ラザリシガ昭和十三年度ニ於テ掘鑿及築堤工事ニ着手セリ  
本年度ニ於テハ前年度ニ引續キ掘鑿工事、浚渫工事及護岸水制工事ヲ施行セルモノニシテ掘鑿工事ハ幹川筋右岸三料ヨリ四料六ニ至ル間人カヲ以テ土量一萬九百五十立方米ヲ掘鑿シ附近築堤敷ニ運搬投棄セリ此工費一萬四千九百六十九圓ナリ浚渫工事ハ幹川馬淵川筋零料ヨリ零料八ニ至ル間低水路ヲ唧筒式浚渫船ニ據リ五萬一千九百十四立方米浚渫シ民有地へ六千七百七十九立方米、他ハ海濱地及右岸埋立豫定低地へ投棄シ此工費二萬五千九百二圓ナリ  
護岸水制工事ハ幹川馬淵川筋零料ニヨリ一料二ニ至ル間ニ施行シ本年度ハ延長一千百七十三米ヲ竣功シ工費四萬七千八百八十七圓ヲ要シタリ

築堤工事ハ前々年度ニ於テ一箇所着手セルモ計畫變更ノ關係上本年度ハ施行セズ  
 用地買収ニ在リテハ本年度ハ土地買収一千九百十八圓、物件移轉其他補償一千九十二圓ニシテ此段別一町四段ナリ  
 本年度竣功高ハ二十二萬七千二百九十八圓、起工以來ノ累計四十九萬五千六十七圓ニシテ總工費二百八十二萬八千圓ニ比  
 スレバ約一割八分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣 合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本掘	立米 七四、九四六	一八、八九九	立米 一〇、九五〇	一四、九六九	立米 八五、八九六	三三、八六八	〇・〇七
工事費	1,474.00	5,113	51,914	1,211	69,814	3,111	0.13
築堤	82.11	808	—	—	82.11	808	0.04
護岸	1011米	1,175	1,175米	4,767	2,186	5,941	0.14
費用	四七段	九三、五五九	一四段	〇一〇、〇〇〇	六一一段	九六、六六九	0.11
船舶及機械費	—	四九、七七七	—	42,044	—	114,821	—
測量費	—	1,480.4	—	1,480.4	—	110,440	—
營業費	—	10,772	—	1,710.4	—	11,482.4	—
雜費	—	五九、六四九	—	三、八三〇	—	63,479	—
共濟組合給與金	—	一、六八〇	—	1,111	—	2,791	—
總計	—	二五、七八九	—	三三、七五八	—	82,547	0.12

## 第四八 大和川改修工事

本改修工事ハ總工費四百三十八萬二千百圓ヲ以テ昭和十二年度以降同二十六年年度ニ至ル十五箇年度繼續事業トシテ昭和十二年四月十五日告示ヲ以テ國直轄ノ下ニ之ヲ施行スルコトナレリ

而シテ昭和十四年度ニ於テ時局ノ影響ニ依リ一部豫算ノ繰延ヲ見タル結果工期一箇年度ヲ延長セラレタリ抑大和川改修ニ就テハ昭和六年十一月突發セル大阪府中河内郡堅上村大字峠ニ於ケル大地沁リノ復舊工事ヲ大阪、奈良兩府縣ヨリ受託施行セシニ始マリ昭和八、九兩年度ニ亘リ國直轄事業トシテ工費百六十一萬七千餘圓ヲ以テ該地沁リ箇所ノ上流及下流ノ一部分ヲ應急工事トシテ改修シ昭和十年八月一應之ガ竣功ヲ見タルモ昭和九年度以降數次ノ出水ニ鑑ミ尙急速ニ根本的改修ノ要アルヲ認メラレ茲ニ第一期計畫トシテ本改修ノ起工ヲ見ルニ至レリ其ノ改修區域ハ幹川左右岸奈良縣生駒郡川西村以下同縣北葛城郡王寺町（右岸生駒郡三郷村）ニ至ル十三籽及左岸大阪府南河内郡國分町、右岸同府中河内郡堅上村以下海ニ至ル二十四籽、支川曾我川ニ在リテハ左岸奈良縣北葛城郡箸尾町、右岸同縣磯城郡三宅村以下大和川合流點ニ至ル二籽、小支川葛城川左右岸同縣北葛城郡箸尾町以下曾我川落合ニ至ル一籽、支川石川左岸大阪府南河内郡川西村、右岸同郡彼方村以下大和川合流點ニ至ル十籽、合計五十籽トス

### 施工狀況

本改修工事ハ昭和十二年度創業以來專ラ實施測量及諸般ノ調査ヲ遂ゲ法線杭並ニ敷幅杭ノ設定ヲ殆ンド了シ工專用機械器具類ノ購入、修繕等着工準備ニ努メ前年度ニハ稍工事ノ進捗ヲ見ルニ至レリ而シテ本年度ハ前年度ニ引續キ上流部ニ於テハ支川曾我川筋ノ築堤工事進捗シ築立土量五萬三千七百七十八立方米此ノ工費一萬九千三百六十八圓ヲ竣功シ掘鑿工ニ着手掘鑿

土量二萬八千四十九立方米此ノ工費二萬一千四百六十二圓ナリ

尙護岸水制トシテハ曾我川床固工ニ着手シ四百三十九平方米工費三千六百六十六圓ヲ竣功セリ

下流部ニ在リテハ幹川筋左岸瓜破、惠我、長吉村地先ノ掘鑿工ヲ前年度ヨリ引續キ施行シ土量一萬三千五百二十立方米、此

ノ工費一萬四千七百九十圓ナリ

築立土量ハ前記土量ヲ利用シ此ノ工費四百八十六圓ノ竣功ヲ見ルニ至レリ

用地買收ニ在リテハ前年度ニ引續キ支川曾我川筋ニ於テ第一次、第五次追加買收ヲ爲シ幹川筋下流部ニ於テハ第二次、第四次ノ前年度ヨリ繰越シタルモノノ整理ト共ニ第六次ノ買收價額ヲ發表シ起工以來約二十二町七段歩此ノ買收費十六萬七千六百三十八圓、家屋其ノ他地上物件移轉料ヲ合セ二十二萬四千八百四十五圓ヲ竣功セリ

本年度ハ時局ノ影響ヲ受ケ勞力ノ不足甚シキ中ニ在リテ銳意工事ノ進捗ニ努メタル結果前述ノ通り漸クニシテ豫定ノ工事進行ヲ見タルモノナリ以上記述ノ通りニシテ本年度竣功額及起工以來ノ竣功額ハ次表ノ如シ但シ表中「×」ハ土木試験所試験費補給額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	立米 六、二二二	一〇、九四五	立米 六、七、一五七	一九、八二三	立米 一三、五、三七八	三〇、七、七〇一	〇・一〇
工事掘鑿	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
護岸水制	平米 〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
費用	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
用地	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
船舶及機械費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
測量	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
營業繕費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
雜費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
共濟組合給與金	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
臨時家族手當	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
總計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

## 第四九 久慈川改修工事

本工事ハ昭和十三年度ヨリ同二十八年度ニ至ル十六箇年度繼續事業ニシテ總工費七百六十萬圓ヲ以テ施行スルコトナレリ其區域ハ幹川久慈川ハ左岸茨城縣久慈郡世喜村、右岸同縣那珂郡大賀村以下海ニ至ル三十一籽、支川里川ハ同縣久慈郡佐都村以下合流點迄ノ十籽、支川山田川ハ左岸同縣久慈郡久米村、右岸同郡山田村以下合流點迄ノ十二籽、支川淺川ハ同郡郡戸村一籽、支川玉川ハ左岸同縣那珂郡上野村、右岸同郡瓜連町一籽、計五十五籽ノ區間ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十三年度ノ創業ニ係リ先ヅ改修事務所ヲ茨城縣久慈郡太田町ニ設置シ測量調査及土工器械類ノ蒐集等施行準備ヲ爲スト共ニ土地買收ノ進捗ニ伴ヒ順次工ヲ起シ前年度迄ニ築堤十六萬五千三百九十一立方米、浚渫二十一萬一千二百二十二立方米ヲ竣功セリ

本年度施行區域ハ前年度ニ引續キ支川里川ハ久慈郡佐都村地先ヨリ同郡機初、西小澤、佐竹及幸久ノ各村ニ互リ幹川久慈川モ亦前年度ニ引續キ東小澤村、石神村ノ一部ニ互リ工事ヲ施行セリ

工事進捗ニ伴ヒ石神村竹瓦地地先ニ竹瓦派出所ヲ新ニ設置シ尙木材伐出及製材ノ爲メ石神村龜下地先ニ石神派出所ヲ設ケ事務所直轄ノ下ニ營林署拂下ニ依ル官有林木材ノ伐出並ニ製材ニ着手セリ

本年度ニ於ケル土地買收ハ左岸久慈郡佐都村、機初村、西小澤村及那珂郡石神村右岸佐都村、譽田村ノ一部ニ互リ段別二十三町三段餘歩ニ對シ協議發表ヲ爲シ内十二町八段餘歩ノ買收ヲ了セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ引續キ六箇所ヲ施行シ内竣功セルモノ二箇所ナリ

三町三段蓋歩ニ對シテ掘鑿費表ヲ爲シ内十二町八段蓋歩ノ買収ヲ了セリ  
掘鑿工事ハ前年度ニ引續キ六箇所ヲ施行シ内竣功セルモノ二箇所ナリ

掘鑿工事ハ前年度竣功ニ至ラザリシモノ四箇所、本年度着手セルモノ三箇所、合計七箇所ニシテ内竣功セルモノ三箇所ナリ  
其掘鑿ハ改修計畫ニ基キ河積ノ不充分ナル部分ノ浚渫ニシテ二艘七D・L機關車二臺、二艘七G・L機關車三臺、五艘G・L  
機關車一臺、零立方米六積土運車二百五十臺、零立方米四積土運車百十臺ヲ使用シ掘鑿ハ人力ニ依リ運搬ハ機關車並ニ人力  
馬匹ヲ併用シ其土量十二萬五千九百九十七立方米内十萬二千五百三十三立方米ハ築堤土ニ利用シ一萬八千三百三立方米ハ自辨築  
堤土殘餘五千六百四十一立方米ハ官有地低地並ニ堤脚低地ニ捨土セリ

護岸水制工事ハ前年度末竣功ノモノ四箇所、本年度着手セルモノ四箇所、合計八箇所ニシテ内四箇所ヲ竣功セリ  
尙木材採集ノ爲メ木材伐出及製材ノ二設計ヲ起シ内製材工事ハ竣功セリ

附帶工事ハ前年度末竣功ノモノ一箇所、本年度着手セルモノ四箇所、計五箇所ニシテ其全部ヲ竣功セリ

本年度ノ竣功高ハ二十二萬三千百圓ニシテ創業以來ノ累計ハ六十一萬二圓トナリ之ヲ總工費豫算七百六十萬圓ニ比較スルト  
キハ約八分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「□」ハ管理者負擔額「△」ハ船舶及機械費支辨製

作品價額「○」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	* 立米 一五七、八五三 七、五三三	六、四四七	* 立米 三三、三三三 一八、三三三	一、四一四	* 立米 一、九一八 二、八三六	一、四一四	0.00
工浚漑	二二、一三三	五、一八七	一〇七、六九四	三、四〇六	一二九、八二七	三、四〇六	0.00
事護岸水	七〇米	一〇、七一九	四三米	三、四〇六	一一三米	一四、一〇五	0.00
費木材採集							0.00
用地費	三、五九四	二、五六、八三三	二、八四四	五、一八二	六、四三八	二、二〇〇	0.00
附帶工事費(直轄施行)	簡所 一	一、四三三	簡所 五	一〇、〇〇〇	簡所 六	一、四三三	0.00
船舶及機械費		〇△		〇△		〇△	
測量費		八、六四七		三、五八七		一二、二三四	
營業繕費		四、三九九		三、二二二		七、六二一	
雜費		五、七五五		一、三六一		七、一六一	
共濟組合給與金		一〇、〇〇〇		二、二二二		一二、二二二	
臨時家族手當		一、三六一		一、三六一		二、七二二	
總計		三六、九〇一		一〇、一〇〇		四七、〇〇一	0.00

## 第五〇 豊川改修工事

本工事ハ昭和十三年度以降同二十八年年度ニ至ル十六箇年度繼續事業トシテ工費七百五十萬圓（内愛知縣負擔二百六十二萬六千圓）ヲ以テ昭和十三年度ヨリ創始セルモノニシテ其改修區域ハ左岸愛知縣八名郡八名村、右岸同縣寶飯郡一宮村以下海ニ至ル二十三籽トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十三年度創業ニシテ同年五月十六日豊橋市ニ改修事務所ヲ開設シ諸般ノ準備ヲ進メ同年度末ニ至リ用地買收ヲ開始シ浚渫並ニ築堤工事ニ着手セリ而シテ次年度ハ前年ノ施工ヲ繼承シテ本年度ニ至ル

前年度迄ニ於ケル用地買收ハ八名郡石卷村玉川地先及豊橋市高洲町地先ナル舊堤塘ノ擴築敷ヲ買收シ其段別四町四段歩金額二萬八千六百四十九圓、物件移轉料九千九百圓ヲ支出シ本年度ニ於テハ寶飯郡牛久保町、豊橋市大村町地先ノ放水路用地及同市三ツ相町地先ノ舊擴築用地ヲ買收セリ其段別ハ十町五段金額九萬九千七百七十圓、物件移轉料五千九百四十六圓ヲ支出セリ本年度工事ハ前年度ニ引續キ豊橋市野田町、三ツ相町地先ノ豊川第一浚渫工事及三ツ相築堤工事並ニ八名郡石卷村玉川地先ノ玉川人力掘鑿工事及該掘鑿土利用ノ左岸堤擴築ノ玉川築堤工事ヲ施行セリ而シテ出役人夫不充分ナル爲メ何レモ未竣功ノ儘翌年度ニ繰越セリ其功程ハ本年度掘鑿土量二萬一千八百八十四立方米築堤土量二萬一千二百九十九米ニシテ本年度迄ノ竣功土量ハ掘鑿工事ニテ五萬二千四十三立方米、築堤工事ニテ五萬一千七百四十二立方米ナリ而シテ之ニ要シタル主要機械ハ一時間十坪掘浚渫船一隻、四立方米五積土運船六隻、七噸ディーゼル機關車一臺、六分積土運車百八十臺ナリ  
測量ハ前年度ニ引續キ放水路ノ調査牛久保町行明ヨリ下流前芝村ニ至ル新法線ヲ決定シ又幹川自十二籽至十三籽一間ヲ調査

シ築堤法線ヲ決定セリ流量測量ニ於テハ新城橋及江島橋等ノ高水流量ノ觀測準備並ニ三輪、寒狭、兩川ノ低水流量觀測等ナリ船舶機械ノ本年度購入セル主ナルモノハ七噸デイルゼル機關車一臺、二萬八百圓及一米五枕木四千挺、三千六百八十圓等ナリ本年度竣功高ハ十七萬九千五百六十九圓ニシテ起工以來ノ累計四十二萬八千七百二十圓、總工費七百五十萬圓ニ對シテ約六割ノ竣功トナリ類別スレバ次表ノ如シ但シ表中「\*」ハ利用土量「〇」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工費	立米 111011	8009	立米 2173	11111	立米 14915	10111	0.01
工事費	188447	8681	18111	8111	37058	16955	0.01
掘築費	11596	8031	18088	8099	29684	11111	0.01
用地費	38559	10111	10111	10111	10111	10111	0.01
船舶及機械費	115574	11111	27873	11111	143447	11111	0.01
測量費	7477	7477	7477	7477	14954	14954	0.01
營業繕費	4738	4738	4738	4738	9476	9476	0.01
雜費	3363	3363	3363	3363	6726	6726	0.01
共濟組合給與金	1110	1110	1110	1110	2220	2220	0.01
臨時家族手当	1110	1110	1110	1110	2220	2220	0.01
總計	189111	11111	19911	11111	38822	11111	0.01

## 第五一 利根川増補工事

本川流域内ニ於ケル毎年洪水被害ノ巨大ナルコトハ前年報ニ記述セルガ如ク政府ハ利根川根本治水ノ一日モ忽諸ニ附スベカラザルヲ痛感シ曩ニ答申アリタル利根川治水専門委員會案ヲ根幹ト爲シ之ニ實地調査ニ依ル資料ヲ加味シ更ニ昭和十三年七月洪水ニ對處スルタメ新タナル考慮ヲ加ヘ工事費八千六百十萬圓、事務費五百十六萬六千圓、合計九千二百二十六萬六千圓ヨリ成ル増補計畫案ヲ樹立セリ

而シテ本増補計畫ハ豫算厯大ニシテ其工事區域ハ三百九十軒ニ及ブラ以テ上記計畫中第一期工事トシテ工事費四千八百三十萬圓、事務費二百八十九萬八千圓、合計五千百十九萬八千圓ヲ第七十四帝國議會ノ協賛ヲ經、昭和十四年度ヨリ同二十八年度ニ至ル十五箇年度繼續事業トシテ施行ノ豫定ナリシガ政府財政ノ都合ニ依リ本年度ニ於テ工期一箇年度ヲ延長シ昭和二十九年年度迄十六箇年度繼續事業トシテ施行スルコトトナレリ

### 施工狀況

工事施行ニ關シテハ利根川上流増補、利根川下流増補、江戸川増補及利根川放水路ノ四事務所ニ於テ分擔施行スルコトト爲シ土地買收ニ關シテハ放水路事務所ノ施工區域ヲ除ク分ニ付テハ曩ニ設置セラレタル栗橋土地收用事務所ニ於テ、放水路事務所ノ施工區域ニ對シテハ船橋土地收用事務所ヲ新ニ設置シ夫々買收事務ヲ執掌スルコトトセリ  
次ニ各區域ニ就キ施工ノ狀況ヲ述ベシ

利根川上流及渡良瀬川洪水調節池ノ工事施行ニ關シテハ埼玉縣北葛飾郡栗橋町ニ利根川上流増補事務所ヲ設置シ昭和十四年四月二十一日ヨリ工事ニ着手セリ先ヅ測量調査及土工機械ノ蒐集等施工準備ヲ爲シ土地買收ト共ニ工事ノ進捗ヲ計リ前年度

中ニ土量四萬四千四百二立方米ノ掘鑿工事ヲ竣功セリ

本年度ニ於テハ前年度ニ引續キ掘鑿並築堤工事ヲ施行セルモノニシテ工事施行區域ノ擴大スルニ伴ヒ昭和十五年十二月一日ヨリ田中、栗橋、尾島ノ三増補工場ヲ設置シ各區域内ノ増補工事ヲ分擔施行スルコトトセリ

本年度ニ於ケル土地買收ハ千江田村外十箇町村ニ互リ六町步餘ノ買收ヲ了シ創業以來ノ累計ハ六町三段步餘トナレリ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續セル三箇所ト本年度着手セル利根川筋左岸七郷村、境町、右岸世良田村、新會村及渡良瀬川筋調節池左岸古河町、赤麻村各地先ニ於ケル六箇所、計九箇所ニシテ内中瀬村地先一箇所ヲ竣功シ他ハ次年度へ繰越セリ共工事ハ増補計畫ニ基キ河積ノ不充分ナル箇所ノ掘鑿ニシテ掘鑿ハ人力ニ依リ運搬ハ人力、馬力ヲ併用シ其土量二十三萬二千五百五十八立方米ニ及ビ何レモ附近築堤土ニ利用セリ

築堤工事ハ前年度ヨリ繼續セル一箇所ト本年度着手セル利根川筋左岸七郷村、境町、千江田村、右岸東村、新會村、島村各地先ニ於ケル六箇所、計七箇所ニシテ内中瀬村地先一箇所ヲ竣功シ他ハ次年度へ繰越セリ而シテ本年度築堤土量ハ二十六萬五千五百四十四立方米ニシテ凡テ前記掘鑿土ヲ利用セリ

利根川下流ノ工事施行ニ關シテハ千葉縣香取郡佐原町ニ利根川下流増補事務所ヲ設置シ昭和十四年四月二十一日ヨリ工事ニ着手セリ先ヅ測量調査其他通信用電話建設及土工機械ノ蒐集等施工準備ヲ爲スト共ニ工事ノ進捗ヲ計リ前年度中ニ土量六百五十立方米ノ浚渫工事ヲ竣功セリ

本年度ニ於テハ前年度ニ引續キ浚渫工事ト新ニ掘鑿並築堤工事ヲ施行セルモノニシテ工事區域ノ擴大スルニ伴ヒ昭和十五年十二月一日ヨリ佐原、安食ノ二増補工場ヲ設置シ各區域内ノ増補工事ヲ分擔施行スルコトトセリ

本年度ニ於ケル土地買收ハ東文間村外六箇町村ニ互リ八段步餘ノ買收ヲ了シタリ

浚渫工事ハ前年度ヨリ繼續セル一箇所ト本年度着手セル佐原町地先ノ二箇所、計三箇所ニシテ内一箇所ヲ竣功シ他ハ次年度

へ繰越セリ年度内浚渫セル土量ハ十萬三千九百立方米ニシテ内四萬九千八百五十立方米ハ堤内民有地ニ捨土シ他ハ附近川岸深堀部ニ捨土セリ

掘鑿工事ハ本年度左岸輕野村、十餘島村、金江津村、東文間村、取手町、右岸神崎町、安食町、生板村各地先ノ八箇所ニ着手シ何レモ次年度へ繰越セリ其工事ハ増補計畫ニ基キ河積ノ不充分ナル箇所ノ掘鑿ニシテ掘鑿ハ人力ニ依リ運搬ハ機關車並馬匹、人力ヲ併用シ其土量十五萬三千六百四十二立方米ノ土砂ヲ掘鑿シ何レモ附近築堤土ニ利用セリ

築堤工事ハ本年度左岸輕野村、金江津村、東文間村、取手町、右岸神崎町、安食町、布鎌村各地先ノ八箇所ニ着手シ何レモ次年度へ繰越セリ本年度築堤土量ハ十四萬六千五百八十四立方米ニシテ凡テ前記掘鑿土ヲ利用セリ

附帶工事ハ本年度右岸安食町地先堤敷工作物ノ除却十五件ヲ施行セリ

江戸川増補及利根運河ノ工事施行ニ關シテハ千葉縣東葛飾郡野田町ニ江戸川増補事務所ヲ設置シ昭和十四年四月二十一日ヨリ工事ニ着手セリ先ヅ測量調査及土工機械ノ蒐集等施工準備ヲ爲スト共ニ工事ノ進捗ヲ計リ前年度中ニ土量一千八百四十九立方米ノ掘鑿工事ヲ竣功セリ

本年度土地買收ハ埼玉縣金杉村外一箇村ニ互リ一町九段步餘ノ買收ヲ了シタリ

掘鑿工事ハ前年度ヨリ繼續セル一箇所ト本年度着手セル江戸川筋左岸木間ヶ瀬村、二川村、右岸金杉村各地先ニ於ケル三箇所、計四箇所ニシテ何レモ次年度へ繰越セリ其工事ハ増補計畫ニ基キ河積不充分ナル箇所ノ掘鑿ニシテ掘鑿ハ人力ニ依リ運搬ハ馬力ヲ用ヒ其土量ハ六萬四千四百四十七立方米ニ及ビ何レモ附近築堤土ニ利用セリ

築堤工事ハ本年度右岸金杉村及川邊村、富多村、豊岡村、各地先ノ三箇所ニ着手シ何レモ次年度へ繰越セリ本年度築堤土量ハ五萬六千五百四十三立方米ニシテ凡テ前記掘鑿土ヲ利用セリ

附帶工事ハ右岸埼玉縣富多村地先ノ根用水路附替工事、富多用水路附替工事ノ二箇所ヲ直轄施行トシテ本年度着手セルモ竣

功ニ至ラズ次年度へ繰越セリ

利根川放水路工事ノ施行ニ關シテハ千葉縣船橋市ニ利根川放水路事務所ヲ設置シ昭和十四年六月八日ヨリ工事ニ着手セリ先  
 ヅ測量調査及通信用電話建設並土工機械ノ蒐集等施工準備ヲ爲シ土地買收ト共ニ工事ノ進捗ヲ計レリ

本年度ニ於ケル土地買收ハ最下流部船橋市、津田沼町地内ニ於テ約二千四町二段歩ノ買收ヲ了シ創業以來ノ累計ハ三十二町  
 三段歩トナレリ

掘鑿工事ニ在リテハ本年十月船橋市地先ニ船橋機械掘鑿工事ヲ起シ掘鑿土量三萬七百二十立方米ヲ舉ゲタリ  
 附帶工事トシテ津田沼町地先ニ橋梁工事一箇所ノ着工ヲ見シノミニテ年度ヲ終ヘタリ

本年度利根川増補工事ノ總竣功高ハ百九十九萬六千七百七十圓ニシテ創業以來ノ累計ハ二百三十三萬五千五百五十圓トナリ之ヲ  
 總工費豫算四千八百三十萬圓ニ比較スルトキハ約五分八厘ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「□」ハ管理者負擔  
 額「○」ハ評價品價額「▲」ハ提供材料及勞力費ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工費	立米 6,110	11,118	立米 4,672	11,118	立米 10,782	22,236	100.0
工事費	立米 4,333	11,118	立米 4,000	11,118	立米 8,333	22,236	
掘	立米 4,333	11,118	立米 4,000	11,118	立米 8,333	22,236	
築堤	立米 1,777	2,666	立米 672	2,666	立米 2,449	5,332	
用地費	箇所 1	11,118	箇所 3	11,118	箇所 4	22,236	
附帶工事費(直轄施行)	箇所 1	11,118	箇所 3	11,118	箇所 4	22,236	

本表ノ竣功高ヲ各事務所別ニスレバ左ノ如シ

利根川上流増補

總計	船舶及機械費	測量費	營繕費	雜費	共濟組合給與金	臨時家族手當
▲□	○					
四、八、三〇	二、五、〇六	三、八、九七	二、四、二二	八、〇、五〇	二、一、五八	
▲□	○					
一、九、〇六 三、四、九〇 二、四、九〇	一、五、一〇	三、一、九〇	五、〇、八八	一、〇、三三	六、六九	
▲□	○					
二、三、三三 三、一、三〇 三、四、九〇	三、一、二二	七、〇、五二	八、五、二九	二、八、八五	八、八四九	
〇・〇五						

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
立米		二六六	二二五、五四	一五、八一	二四〇、三四	一、〇、〇一	四分
掘鑿	立米	一、〇、〇一	三三、三三	九、五、九八	三四、三四	一、一、〇〇	
地費	三段	一、八、五九	三、三、三三	八、六、五七	五、一、九二	八、八、五二	
船舶及機械費		三、三、四九		六、六、二〇		六、九、六九	

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
測量費		三、七二一		一、九八八		五、六九九	
營繕費		二六		九一〇		八四六	
雜費		一八、八八九		五〇、四四五		六九、三五四	
共濟組合給與金		五五七		一、八二二		二、三七八	
臨時家族手當				一、九二六		一、九二六	
總計		四、八八四		三二、三五二		三六、四三六	

本表ノ本工事費及用地費竣功高ヲ更ニ區域別ニ示セバ左ノ如シ

利根川上流

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	立米	一六六	立米	二五、八三五	立米	一六、一〇一	
工事費	段	一、八五九	段	七九、一六八	段	七九、〇〇七	
用地費	段	一、八五九	段	七九、一六八	段	七九、〇〇七	
總計		一八、二五三		一八四、四六〇		二〇二、七一三	

渡良瀬川洪水調節池

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤			11,816	8,871	11,816	8,871	
浚渫				9,379		9,379	
掘費				9,379		9,379	
用地費							
總計				18,250		18,250	

利根川下流増補

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	6,155	2,116	14,654	6,125	20,779	6,125	
浚渫			10,900	3,111	10,900	3,111	
掘費			15,344	5,715	15,344	5,715	
用地費			8	33	8	33	
附帶工事費(直轄施行)				6,633		6,633	
總計				15,000		15,000	

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
船舶及機械費		八、三三五		一七、九七四		二六、三〇九	
測量費		三、九三三		一、二四〇		五、一七三	
營業繕費		三、三三七		一、五八〇		四、八五七	
雜費		一六、五九三		三、五〇八		二〇、一〇一	
共濟組合給與金		四三三		一、一〇二		一、五三五	
臨時家族手當				一、二七六		一、二七六	
總計		三四、六三三		一八、七六九		五三、四〇二	

江戸川増補

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工築堤	立米		立米		立米		
掘鑿	一、八四九	五四二	六四、一四七	二、三八三	六五、九九六	二、四五七	
用地費			一、九段	一、五、六三九		一、五、六三九	
附帶工事費(直轄施行)	箇所		箇所		箇所		
	一		二	七、九五六	三	七、九五六	
未竣功				二、三〇八		二、三〇八	
合計				二、九一〇		二、九一〇	

船舶及機械費	測量費	營繕費	雜費	共濟組合給與金	臨時家族手當	總計
○	1,658	148	19,937	589	22,382	
○	2,911	855	26,331	797	30,894	
○	16,198				100,711	

利根川放水路

費用	項目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工(築堤)	費用	立米						
		掘鑿						
		用地費						
		附帶工事費(直轄施行)						
船舶及機械費	費用	立米	110,011	154,134	304,145			
		掘鑿						
		用地費						
		附帶工事費(直轄施行)						
		合計						
		未竣功						
		合計						

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
測量費		3,001.11		2,619.94		5,621.05	
營繕費		2,013.11		5,819.77		7,832.88	
雜費		3,669.55		1,008.71		4,678.26	
共濟組合給與金		957.00		3,073.00		4,030.00	
臨時家族手當				1,298.00		1,298.00	
總計		3,381.28		13,268.55		16,649.83	

## 第五二 表六甲河川改良工事

六甲山系ハ神戸市ヲ中心トシテ東武庫川沿岸寶塚、生瀬方面ヨリ西須磨、鹽屋海岸ニ至ル延長約三十軒、幅員凡ソ十軒ニ及ブ阪神地方ノ背影ヲ爲ス一帶ノ連峯ノ謂ニシテ其ノ地質概ネ花崗風化土ヲ以テ被覆サレ崩壊容易ニシテ殊ニ南面表六甲方面ハ山地海ニ迫リ地勢急峻各河川ハ出水毎ニ多量ノ土砂ヲ流出セシガ昭和十三年七月ノ豪雨ハ遂ニ大洪水ト化シ山地ノ崩壊在來ノ堤防護岸ヲ破壊シ一瞬ニシテ多數ノ人命財産ヲ奪ヒ各種文化施設ヲ壊滅シテ稀有ノ慘禍ヲ惹起シタルニ鑑ミ斯ル禍根ヲ永久ニ芟除スベク東、東川ヨリ西、千森川ニ至ル所謂表六甲二十五水系ニ對シ總延長七萬百五十八米ニ互リ豫算三千四十七萬五千二百九十五圓ヲ以テ明治三十年法律第三十七號ニ依リ昭和十四年度以降七箇年度繼續事業トシテ國ニ於テ之ガ根本的改良工事ヲ直接施行スルコトニ決定、後本年度ニ於テ政府財政ノ都合ニ依リ一部豫算ヲ繰延ベ一箇年度延長八箇年度繼續事業トシテ施行スルコトトナレリ而シテ右ノ外兵庫縣外八市町村起業表六甲河川流域昭和十三年國庫補助災害土木工事（以下災害土木工事ト稱ス）ノ一部（十一河川七十二箇所 工費二百三十萬六千四百四十八圓）及兵庫縣知事起業水害復興都市計畫事業ノ一部（東川、宮川、天上川、住吉川、石屋川、都賀川、宇治川、妙法寺川ノ八河川沿道路工費四百八十一萬七千七百圓）ハ前記表六甲河川改良工事ト相關聯セルヲ以テ當所ニ於テ受託施行スルコトトナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十四年度ノ創業ニ係リ同年五月復興部復興掛及水害復興土地收用事務所ノ新設ニ引續キ同八月水害復興事務所（東川以西、西新田川ニ至ル九河川、擔當）ヲ開設其ノ他諸般ノ準備ヲ整ヘ各河川ノ實地測量ヲ爲スト共ニ用地ノ買收ヲ急ギ災害殊ニ激甚ニシテ緊急施行ヲ要スル蘆屋川、住吉川、石屋川、都賀川、西郷川、新生田川、宇治川、新湊川、妙法寺川ノ

九河川ニ着手シタルモ前年度ニ於テ大體準備工ノ程度ニ止マレリ而シテ本年度ニ於テハ前記九河川ノ外夙川、天上川、觀音寺川ノ三河川ヲ加ヘ計十二河川ニ對シ愈々本格的改良工事ヲ施行スルト共ニ復興工事ニ則リ之ニ關聯セル災害土木工事ノ一部ニ着手セリ

本年度ニ於ケル施工概況左記ノ如シ

水害復興東部河川事務所管下

一、夙川

本年四月一日ヨリ本川改良工事(測點自〇號)ニ着手先ヅ流出土砂扞止並河狀ノ安定ヲ計ルベク上中下流ヲ通ジテ略同程度ノ床止堰堤四基ヲ計畫シ内上流部ノ一基(高三米、長十九米六)ヲ完成他ノ二基ノ約九割ヲ竣功セリ之ニ引續キ掘鑿、護岸ノ各工ヲ起シ前者ニ於テハ土量四千九百五十八立方米ニテ掘鑿附近官民地ニ運搬投棄シ後者ニ於テハ上、下流部ヨリ工ヲ起シ一部災害土木工事ヲ併セ施工六千七百七十二平方米三ノ竣功ヲ見、中流部護岸計畫ト共ニ愈最後ノ段階ニ入ルコトトナレリ本年度竣功額十萬三千四百四圓ナリ

外ニ本川ニ於ケル災害土木工事費竣功額ハ三萬七千三百四十三圓ナリ

一、蘆屋川

本年度工事施行區域ヲ東海道本線ヨリ上流部(測點自六四號)トシ先ヅ流出土砂ノ扞止並ニ勾配ノ緩和ヲ計ルベク阪急線ヨリ上流部ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ床止堰堤一基ノ外ニ新ニ六基ヲ施工各其ノ約六割ヲ竣功セリ之ニ引續キ掘鑿、護岸ノ各工ヲ施行、掘鑿工ハ一萬三千三百四十二立方米三、護岸工ハ一千四百八十四平方米ノ竣功ヲ見タリ本年度竣功額十二萬九百四十六圓、起工以來累計十五萬五千二百八十六圓外ニ災害土木工事費竣功額二萬八千九百八十圓ナリ

一、天上川

本年十二月一日ヨリ着手先ツ最上流部(測點九四號附近)ニ於テ床止堰堤一基ヲ施工其ノ約七割ヲ竣功セシメタルモ着工以來日淺ク其ノ他ノ工事ニ就テハ次年度ヨリ施行スルコトトナレリ

本年度竣功額二萬一千百五十九圓ナリ

一、住 吉 川

本年度工事施行區域ハ東海道本線ヨリ上流部(測點自六五號至一二二號)トシ最上流部ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ床止堰堤(高七

米長六十六米)ノ約七割ヲ竣功セシムル一方掘鑿工ニ於テ一萬五千六百三十五立方米、護岸工ニ於テ四千五十三平方米八

ノ竣功ヲ見タリ本年度竣功額六萬四千三百七十八圓、起工以來累計十三萬七千七百六十二圓ナリ

外ニ災害土木工事費竣功額八萬四千九百六十八圓ナリ

一、直營材料採取

本事業ニ於テハ西宮市甲陽園目神山(民有地)ノ石山及夙川、蘆屋川、住吉川筋等ノ河川敷内ニ散在又ハ埋沒セルモノヨリ

石材砂利等ヲ採取スルモノニシテ本年度ニ於テハ間知石二千六百五十七個、割石十一萬四千九百二十六個、栗石百七十立

方米、砂利一千五百二十立方米ヲ採取セリ此工費五萬百六十九圓起工以來累計九萬四千三百六十六圓ナリ

水害復興中部河川事務所管下

一、石 屋 川

本年度ニ於テハ前年度ヨリ繼續施行ノ左支新田川(測點自〇號、至一二號加二〇米)ト新ニ其ノ合流點ヨリ本川上流(測點

自六四號、至九四號加八米)並本川中流部(測點自五二號加四米五、至五四號加八米三)ニ着工掘鑿、護岸、床固、床張ノ

諸工ヲ併セ施行セリ

而シテ新田川ニ於テハ掘鑿工ニ於テ一千三百六十六立方米、護岸工ニ於テ一部災害土木工事ヲ併セ八百十五平方米五、床

固工ニ於テ九百五十一平方米ヲ竣功本川ニ於テハ護岸工ニ於テ一部災害土木工事ヲ併セ一千三百七十四平方米、床張工ニ於テ五十二平方米ヲ竣功セリ本年度竣功額四萬三千九百四十五圓、起工以來累計六萬七千六百七十五圓ナリ  
外ニ災害土木工事費竣功額五千二百五十四圓ナリ

一、都 賀 川

左支六甲川(測點自○號加一一米五、至四四號)及右支柚谷川(測點自○號加一五米五、至二九號)ニ於テ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿、護岸、床固ノ諸工ヲ施工六甲川ニ於テハ掘鑿工ニ於テ六千九百十六立方米、護岸工ニ於テ二千二十二平方米三、床固工ニ於テ一千六百七十二平方米ヲ竣功、柚谷川ニ於テハ掘鑿工ニ於テ二百五十立方米、護岸工ニ於テ一千六百八十三平方米、床固工ニ於テ四百三十七平方米ヲ竣功セリ本年度竣功額九萬五千九百九十四圓、起工以來累計十七萬二千四百六十圓ナリ外ニ災害土木工事費竣功額十四萬四百八十九圓ナリ

一、觀 音 寺 川

本年十二月一日ヨリ本川改良工事(測點自一號、至九號加五米五)ニ着手上流部在來暗渠ヲ開渠ト爲スベク先ヅ流出土砂并止並河狀安定ノ爲メ局所ニ床止堰堤二基ヲ計畫約其ノ六割ヲ竣功セシムルト共ニ掘鑿並開渠工ヲ起セリ而シテ掘鑿工ニ於テハ四百三十五立方米一、開渠工ニ於テハ護岸二百八平方米三ヲ竣功セリ  
本年度竣功額二萬八百三十圓ナリ

一、西 郷 川

本年度本川改良區域ハ阪急線上流(測點自四九號、至九五號)及下流部(測點自○號、至二七號加七米七)延長一千八百十六米七ノ區間ニシテ掘鑿、護岸、床固ノ諸工ヲ施行、掘鑿工ニ於テハ三千二十九立方米六、護岸工ニ於テハ二千六百八十八平方米七、床固工ニ於テハ六百六十平方米ニヲ竣功セシメタリ本年度竣功額五萬八千三百五十二圓、起工以來累計九萬四千

三百十七圓ナリ

外ニ災害土木工事費用地買收費五千四百十三圓ナリ

### 一、新生田川

本川ニ於テハ(測點自〇號、至七〇號)延長一千七百八米ノ區間ニ於テ在來暗渠ヲ開渠ニ改造ノ爲メ其ノ被覆土約十萬一千六百立方米ヲ掘鑿スベク前年度ヨリ繼續之ガ掘鑿ニ努メ本年度ニ於テハ三萬三千十五立方米八ヲ主トシテ都賀川河口神戸市埋立地ニ搬出投棄スルト共ニ引續キ上流部ヨリ護岸及床張工ニ着手八百七十五平方米四ヲ竣功尙左支苧川(測點自〇號加九米、至二六號)ニ於テハ延長三百九十四米二ノ區間ニ於テ前年度ヨリ繼續ノ床固及護岸工ヲ施行約一千九百三十九平方米九ヲ竣功セリ本年度竣功額十二萬二千八百六十六圓、起工以來累計十五萬一千七百九十三圓ナリ

### 一、直營材料採取並材料運搬

本事業ニ於テハ護岸床固其ノ他工事ニ使用スル目的ヲ以テ管下河川敷内ニ轉在セル石材、砂利等ヲ採取之ヲ所定ノ場所ニ運搬スルモノニシテ本年度採取ニ於テハ割石一萬七千五百九十個、栗石五千四百二十九立方米一、玉石四百五十二立方米一、砂利及砂三千九百三十三立方米八ヲ採取セリ此工費二萬三千二百六十二圓、起工以來累計五萬一千四百四十五圓ニシテ之ガ運搬ニ於テハ六甲川及柚谷川ニ於テ採取ノ栗石一千立方米ヲ新生田川ニ運搬セリ此工費一千圓ナリ

### 水害復興西部河川事務所管下

### 一、宇治川

前年度ヨリ繼續施工ニ係ルモノニシテ市電山手線トノ交叉點ヨリ上流再度谷川(測點自三七號、至九〇號)及楠谷川(測點自〇號、至一八號)ヲ合セ延長約一千七百七十四米ノ區間ニ於テ掘鑿護岸工事ニ併セ床固工ヲ上流部ヨリ順次下流ニ施行掘鑿工ニ於テハ人力ニ依リ八千二百七十三立方米八ヲ掘鑿附近官民地及都賀川河口ニ投棄シ護岸工ニ於テハ二千三百三十

平方米、床固工ニ於テハ一千三百五十平方米ヲ竣功セリ

本年度竣功額六萬八千五百二十圓、起工以來累計七萬四千七百五十三圓ナリ

一、新 湊 川

左支天王川上流兵庫縣武庫郡山田村大字下谷上字中一里山地内ニ於テ洪水調節用堰堤地質調査ノ爲メ前年度ニ於テ施工セ  
ル幅一米、高一米八、長二十米ノ横坑四箇所ニ對シ尙十米ノ延長試坑ヲ行ヒ好結果ヲ得タルヲ以テ天王川堰堤築造計畫ノ  
下ニ同地内ニ於テ天王川常時流量測定ノ爲メ量水堰ヲ設クルコトトナリ之ガ工事ヲ急ギタルモ時局下所要鐵材等入手不  
意ノ爲メ豫期ノ如クナラズ次年度へ繰越施行スルコトトナレリ

尙新計畫ニ基ク右支石井川上流(神戸市湊區烏原村字裏山地内)ニ於ケル石井川洪水調節用堰堤地質調査ハ前年度三月一日  
ヨリ着工試錐一箇所及試坑四箇所ヲ施工調査ヲ遂ゲタルモ結果思ハシカラザルヲ以テ調査箇所ヲ更ニ上流(神戸市湊區烏  
原村字中山及同區烏原字清水谷地内)ニ移スト共ニ支川イヤガ谷川(神戸市湊區烏原村字礎石及同區夢野村字口一里山地内)  
ニ於テモ調査ヲ爲スコトトナリ試錐四箇所、試坑八箇所ノ工事ニ着手シタルモ本年度内ニ於テハ一部ノ調査ヲ爲シタルニ  
止マリ次年度へ繰越サレタリ

一、妙 法 寺 川

本年度改良工事施行區域ハ須磨區板宿町養老橋ヨリ上流同區車村地内ニ至ル(測點自一〇二號、至二三〇號)延長約三千二  
百三十一米五ノ區間ニシテ前年度ヨリ繼續施工ノ掘鑿、護岸工ニ併セ床固工ヲ局所ニ施行セリ而シテ掘鑿工ニ於テハ一部  
災害土木工事ヲ併セ一萬九千三百五立方米一ヲ河口及附近官民地ニ投棄シ護岸工ニ於テモ一部災害土木工事ヲ併セ八千三  
十九平方米四、床固工ニ於テハ百七十五平方米ヲ竣功セリ

本年度竣功額八萬三千二百七十二圓、起工以來累計十一萬一千四百九十九圓ナリ

外ニ災害土木工事費竣功額一萬八百八十九圓ナリ

### 一、直營材料採取

本事業ニ於テハ須磨區妙法寺字池ノ尻及同岩山地内(民有地)ニ於ケル石山ヨリ火藥ヲ用ヒ石材ヲ採取スル一方工事區域附近地及河川敷内等ニ於テ石材、砂利及砂ヲ採取スルモノニシテ割石二千七百六十二立方米三、栗石六千四百六十五立方米九、砂利一千五百七十三立方米六、砂一千四百十九立方米四ヲ採取シタリ本年度竣功額四萬五千六百四十五圓、起玉以來累計六萬二百五十九圓ナリ

尙直營材料採取ニ於テハ淡路國津名郡浦村地内ニ石材採取用地ヲ買收シタル外十二月十二日須磨區妙法寺字鷺田ニ水害復興神戸採石工場(獨立工場)ヲ設置シ西部河川事務所管下ニ於ケル採取地ノ一部ヲ本工場管下ニ移管スルト共ニ新ニ林田區長田村口一里山民有地ニ採取地ヲ設ケ復興工事用石材ノ確保ヲ期スルコトトセリ而シテ同工場ニ於ケル本年度功程ハ石材五千七百四立方米一、砂利百四十七立方米ニシテ各河川ニ配給セリ此工事費二萬五千七百五十九圓ナリ

以上表六甲二十五河川ノ内本年度ニ於テ施行セル河川ハ上述ノ十二河川ニシテ他ノ十三河川ハ着工ノ運ニ至ラズ次年度ヨリ順次施行スルコトトセリ

而シテ一方本事業ノ先驅トシテ施行スベキ用地買收、物件移轉及借地權補償等ニ關シテハ夙川、蘆屋川、住吉川、石屋川、都賀川、西郷川、宇治川、妙法寺川ノ八河川及淡路國津名郡浦村所在石材採取用地關係ニ於テ之ガ發表ヲ爲シ用地買收ニ於テハ發表額八十一萬三千六百九十五圓(二百二十七件)ニ對シ承諾額六十二萬八千五百五十圓(百九十二件)ニシテ内支拂ヲ完了セルモノ五十三萬六千九百四十三圓(百五十七件)物件移轉ニ於テハ發表額十萬八千七百七十圓(百四十七件)ニ對シ承諾額八萬三千九百八圓(百二十六件)ニシテ内支拂ヲ完了セルモノ五萬六千九百二十圓(八十七件)借地權補償ニ於テハ發表額一萬二千五百七十八圓(三十九件)ニ對シ承諾額一萬一千四十四圓(三十四件)ニシテ内支拂ヲ完了セルモノ七千九百四十

三圓(二十七件)ニシテ其ノ他ハ次年度ニ於テ處理スルコトセリ  
 以上ノ外兵庫縣知事委託ニ依ル水害復興都市計畫事業河川沿道路工事ハ着工ヲ見ルニ至ラズ次年度へ繰越サレタリ  
 本年度竣功高ハ二百四十八萬四千七百九圓ニシテ起工以來ノ累計ハ四百三萬一千九百六十四圓之ヲ總工費ニ比スレバ約一割三分ニ當ル其ノ竣功表左ノ如シ但シ表中「×」ハ土木試驗費補給額「●」ハ當所復興工事ト併セ施行セル災害土木工事費ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度、竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
護岸	● 平米 六、七六四	九八、六八一	● 平米 三三、〇〇九	三三、〇〇九	● 平米 四〇、〇一三	四〇、〇一三	0.10
堤	● 箇所 二	九、〇七八	● 箇所 一	二、六四三	● 箇所 三	一、五五二	
本床	● 平米 三三〇	四四、四六三	● 平米 五、二四五	二四、八四四	● 平米 五、四四五	一、二、九〇六	0.10
床	● 平米 三三〇	四四、四六三	● 平米 五、二四五	二四、八四四	● 平米 五、四四五	一、二、九〇六	
掘	● 立米 六五、四七九	七三、六六三	● 立米 一〇六、五七	一三三、四六五	● 立米 一七二、〇〇六	二〇六、九三〇	0.10
築	● 1,000	一、四八二	● 1,000	一、四八二	● 1,000	一、四八二	
運	● 平米 一	一、〇〇〇	● 平米 一	一、〇〇〇	● 平米 一	一、〇〇〇	0.10
床	● 平米 一	一、〇〇〇	● 平米 一	一、〇〇〇	● 平米 一	一、〇〇〇	
開	● 個 一四三、三三〇	一、〇〇〇	● 個 一四三、三三〇	一、〇〇〇	● 個 一四三、三三〇	一、〇〇〇	0.10
材	● 立米 一九、〇二八	八六、六九三	● 立米 二九、五七五	一四四、八三三	● 立米 四八、六〇三	二三一、五二六	
費	● 個 一四三、三三〇	一、〇〇〇	● 個 一四三、三三〇	一、〇〇〇	● 個 一四三、三三〇	一、〇〇〇	0.10
費	● 立米 一九、〇二八	八六、六九三	● 立米 二九、五七五	一四四、八三三	● 立米 四八、六〇三	二三一、五二六	
用地及補償費	● 一九四、三三六	一九四、三三六	● 一九四、三三六	一九四、三三六	● 一九四、三三六	一九四、三三六	0.10
費	● 一九四、三三六	一九四、三三六	● 一九四、三三六	一九四、三三六	● 一九四、三三六	一九四、三三六	

第一章 河川改修工事 (表六甲河川改良工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	工事雜費	營繕費	測量費	機械器具費
●×	1,544,750	3,151	169,488	44,933	22,980	410,898
●×	2,282,400	5,398	1,211,100	211,569	2,000	3,311,280
●×	8,000,000	5,398	5,111,100	226,500	2,000	1,000,000
0.111						

## 第五三 鶴見川改修工事

本工事ハ當初工費六百七十萬圓ヲ以テ昭和十四年度ヨリ同二十三年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業ナリシガ昭和十五年度ニ於テ支那事變、歐洲大戰並ニ強度國防國家建設等ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ施行年度ヲ一箇年度延長シ昭和二十四年度ニ至ル十一箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ而シテ其區域ハ幹川鶴見川ニ在リテハ左岸橫濱市港北區川和町、右岸同區青砥町以下合流點ニ至ル一九籽六、其他矢上川、早淵川、鳥山川等ノ支川四籽九、合計二十四籽五ナリトス

## 施工狀況

本改修工事ハ昭和十四年度ノ起工ニシテ川崎市小倉地先ニ改修事務所ヲ設置シ直チニ實施測量、機械器具ノ購入整備其ノ他諸般ノ準備ニ着手スルト共ニ改修區域中最モ急ヲ要スル箇所ヲ選ビ鶴見川筋左岸三籽（舊國道）ヨリ五・八籽（末吉橋）ニ至ル區間ニ於テ土地買収及工事ヲ進メ同年度中ニ土地買収及物件移轉其ノ他補償費合計三萬四千七十四圓ヲ支拂ヒ人力掘鑿ニ依ル利用土一千五百九十二立方米ヲ以テ築立ヲ施行シ同年度竣功高ハ十萬九千二百五十八圓ニシテ總工費六百七十萬圓ニ對シ六分ヲ竣功セリ

本年度ニ於テハ前年度ニ着手セル鶴見川左岸橫濱市鶴見區江ヶ崎町地先ニ於ケル掘鑿及築堤工事ヲ何レモ繼續施行シ土地買収ノ進捗ト共ニ一部起工承諾ヲ得テ新ニ同區市場町地先ニ築堤工事及川崎市小倉並ニ加瀬地先ニ掘鑿及築堤工事ヲ夫々起工スルト共ニ鐵筋混凝土材製作工事ヲ起工セリ、掘鑿ハ總テ人力ニ據ルモノニシテ本年度ニ於ケル功程ハ土量三萬七千五百四十立方米ニシテ工費二萬三千三百四十七圓ヲ要シタリ是等土砂ハ總テ築堤用土トシテ利用セリ

掘鑿土砂ノ運搬ハ遠距離ノモノハ機械運搬トシ二・七瓩瓦斯倫機關車二臺及木製○・六立方米積土運車ヲ使用シ近距離及中距

離ノモノハ夫々入力運搬或ハ馬力運搬トシ線路ハ總テ六呎軌條ヲ使用シタリ

築堤ハ總テ前記掘鑿土砂ヲ利用充當セルモノニシテ本年度ノ築立土量ハ三萬七千五百四十立方米ニシテ工費六千三百八十三圓ヲ要セリ

本年度ニ於テ掘鑿並ニ堤防築設ノ爲メ土地買收協議ニ附セル額ハ自橫濱市鶴見區矢向町、至同區市場町區域ニ於ケル四十二萬五千三百四十四圓ト自川崎市南加瀬、至同市小倉區域ニ於ケル十三萬七百五圓、總額五十五萬六千四十九圓ニシテ内年度内ニ契約成立支拂ヒタル金額ハ前年度繰越額計一萬三千四百十四圓ヲ含ミ土地買收費二十八萬六千二百二十四圓ハ物件移轉其他補償費六萬一千九百四十三圓、合計三十四萬八千六十七圓ナリ

本年度使用セシ勞働者延人員、總數一萬七百五十四人ニシテ其ノ勞力費三萬一千十圓ナリ  
 以上本年度ニ於ケル竣功額ハ四十三萬七千二百六十一圓ニシテ本年度迄累計五十四萬六千五百二十圓ナリ、之ヲ總工費六百七十萬圓ニ比スレバ約八分二厘ノ竣功ナリトス其ノ工事竣功表左ノ如シ

費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘 鑿	立米 一、五九二	円 二、一九四	立米 三、七、三三〇	円 二、三、三、七、七	立米 三、九、一、三三	円 二、一、一、八、一	〇〇〇〇
築 堤	立米 一、五九二	円 五、五〇〇	立米 三、七、五、四〇	円 六、一、三、八、三	立米 三、九、一、三三	円 三、九、一、三三	
護 岸							
準 備							
材 料							
運 搬		円 二、四、七、八		円 四、六、八		円 四、六、八	
費 事 工 本							

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
用地費		三、〇四九		三、四八、〇六九		三、八二、一四一	四分
船舶及機械費		三、五四三		八、二二八		一一、一六一	
測量費		五、八五一		一、二四三		六、九九五	
營業繕費		五、四九九		一〇、〇四四		一五、五四三	
雜費		三三、六六七		三、七二九		三〇、八八六	
共濟組合給與金		六九六		九九〇		一、六八六	
臨時家族手当				九六一		九六一	
總計		一〇三、五九九		五三、一八三		一五六、七八二	
						一、〇〇〇	

## 第五四 猪名川改修工事

本工事ハ昭和十五年度ヨリ同二十四年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費一千百八十萬圓（兵庫縣負擔三百八十八萬圓、大阪府負擔二百二萬圓）ヲ以テ施行スルモノナリ而シテ其ノ區域ハ下流部ニ在リテハ幹川猪名川左岸大阪府池田市、右岸兵庫縣川邊郡川西町ヨリ兵庫縣尼崎市ニ至ル（派川藻川ヲ含ム）十三村、支川久安寺川大阪府池田市以下合流點ニ至ル一村、最明寺川兵庫縣川邊郡川西町以下合流點ニ至ル一村、箕面川兵庫縣川邊郡神津村以下合流點ニ至ル一村、合計十六村ノ區間ニシテ上流部ニ在リテハ洪水調節池トナルベキ兵庫縣川邊郡多田、東谷、中谷三箇村ナリトス

工費ヲ下流部、上流部ノ別ニ區分スレバ前者ハ四百九十萬圓、後者ハ六百九十萬圓ナリ

猪名川ハ其ノ源ヲ攝津、丹波ノ國境大野山ニ發シ幾多ノ溪流ヲ集メテ狹谷又ハ盆地ノ間ヲ流過シ多田村石道ニ至リ右支野尻川ヲ加ヘ更ニ大左支能勢川ヲ容レ池田市ニテ左支久安寺川ヲ併セテ大阪平野ニ出デ川西町下加茂ニテ右支最明寺川ヲ、神津村中村ニテ左支箕面川ヲ合シ伊丹市ニ至リ右ニ藻川ヲ分派ス之ヨリ本流ハ一ツノ放水路ト化シ大阪府南豊島村利倉ニテ千里川ヲ合シテ南流シ兵庫縣園田村戸ノ内ニ於テ神崎川ニ合流ス幹川ノ流路延長四十四村七ナリ

本川ハ池田市ニ至リ一度平地ニ出ヅレバ沃野開ケ古來農業盛ナリシガ近時工業ノ興隆ニ伴ヒ工場ノ建設サルルモノ多ク流域内ノ重要性昔日ノ比ニアラズ省線東海道本線、福知山線、尼崎線竝ニ能勢電鐵、阪神急行電鐵、神戸線、寶塚線、箕面線、阪神電鐵其ノ他國道第二號線、府縣道縱横ニ走リテ流域内ノ交通網ヲ爲シ尼崎市、池田市、豊中市及伊丹市ハ産業ノ中心地タリ

本流域ハ大阪府、京都府、兵庫縣ノ二府一縣ニ跨リ總面積三百九十七平方村（内平地面積八十二平方村）ヲ有シ流路延長百九十七村四五（内幹川四十四村七）灌溉面積四千五百二十六ヘクタール（内改修區域三千四百三十三ヘクタール）水害面積約四千ヘクタール（内改修區域三千七百ヘクタール）ナリ而シテ本川ノ洪水ハ初夏ノ候京阪神地方ヲ襲フ豪雨ニ因ルモノト晩夏ヨリ初秋

ニカケテ我國ニ襲來スル颱風ノ影響ニ起因スルモノト在リテ昭和十年及同十三年ノ大水害ハ前者ニ屬シ明治二十九年及同四十年ノ大水害ハ後者ニ屬ス

而シテ池田市附近ハ河幅狹小ニシテ屢々溢水ノ被害ヲ受ケ又伊丹市以下ニ於テハ堤防矮小薄弱ナルノミナラズ河道ノ迂曲著シク洪水ノ疏通ヲ阻害スルコト夥シク古來屢々破堤ノ厄ニ遭遇シタリ

猪名川ニ於ケル最近ノ大洪水ハ昭和十三年七月五日ニ起リタルモノヲ最ト爲ス四日ノ最大日雨量池田市百八十六耗四、妙見山百六十三耗ヲ算シ猪名川ハ未曾有ノ増水トナリ池田市木部ニ於テハ午後一時三十分最高水位六・一米ニ達シタリ

上記洪水ニ因リ大阪府下ニ在リテハ池田市木部ニ於テ激流ノ爲メ家屋流失シ又久安寺川、箕面川、千里川等ハ破堤シ其ノ他護岸、道路、橋梁等ノ破損流失ヲ見、農耕地ノ被害モ亦甚大ニ上リタリ兵庫縣下ニ在リテハ鼓瀧上流多田村ニ於テ殆ド全村汎濫シ又久安寺川合流點ヨリ絹延橋ニ至ル間ノ右岸及榮根、天津、森本、口酒井、田能ノ各地ニ於テ破堤シ其ノ他省線福知山線、阪急電鐵、能勢電鐵等ノ交通機關モ被害甚シク又各種工場モ浸水ノ爲メ甚大ナル損害ヲ被リタリ

水害損失額ハ昭和四年ヨリ同十三年ニ至ル最近十箇年ノ平均額百四十一萬九千餘圓ヲ算シ就中前記昭和十三年ニ於テハ實ニ九百十一萬五千餘圓ノ巨額ニ達スル大損害ヲ被レリ

本川改修計畫ハ主トシテ高水防禦ヲ又上流洪水調節池ノ運用ニ依リ新ニ工業用水ヲ供給スル利水ヲモ併セテ目的トスルモノニシテ計畫高水流量ハ幹川久安寺川合流點ヨリ海ニ至ル區間毎秒一千百立方米、久安寺川毎秒二百八十一立方米、最明寺川毎秒三十一立方米、箕面川毎秒百八十一立方米尙洪水調節池上流ニ於テ毎秒一千四百五十立方米ト定メタリ

從來神崎川ハ猪名川合流點下流ニ於テハ計畫高水流量毎秒一千三百九十立方米ヲ以テ計畫セラレタルモ昭和十三年七月ノ大洪水ニ際シ猪名川沿岸ニ數箇所ノ破堤溢水アリタルニモ拘ラズ實測最大流量ハ毎秒一千六百五十立方米ヲ算シタリ破從ツテ上記ノ堤、溢水ナカリセバ其ノ最大流量ハ毎秒一千八百五十五立方米ニ達シタルベシ

依テ本計畫ニ於テハ猪名川ノ上流兵庫縣川邊郡多田村、東谷村、中谷村ニ洪水調節池ヲ設ケテ最大流入量毎秒千一四百五十  
立方米ヲ調節シ最大流出量ヲシテ毎秒一千立方米タラシメ神崎川改修區域ニ於ケル最大流量ヲ現計畫ニ止ムルモノトス  
又猪名川ノ本川ハ伊丹市以下ニ於テハ全ク放水路ト化シ低水流量ノ全部ハ派川藻川ヲ流レ高水流量モ亦約七割之ニ流入スル  
現況ニ鑑ミ本計畫ニ於テハ伊丹市ニ於テ猪名川ヲ締切リ專ラ藻川ヲ擴張シテ幹川ト爲スモノナリ

堤防ハ大體舊堤ヲ利用擴張スト雖モ河幅ノ著シク廣大ナル箇所ハ上流ニ於ケル洪水調節池ノ作用ト相俟ツテ之ヲ適當ナル幅  
員ニ整理シ新堤ヲ築設ス而シテ河積不十分ナル箇所ハ掘鑿ヲ施ス外引堤ヲ行ヒテ計畫高水流量ノ淤疏ヲ圖ルモノトス

藻川ハ近來河床ノ低下著シク護岸ノ維持困難トナルノミナラズ之ニ依存スル灌溉用水ノ取水ニモ支障ヲ來シ且潮汐ノ影響中  
圍橋附近ニ達スルヲ以テ宮圍橋ノ上手ニ床固ヲ設ケテ河床ノ低下ヲ防止シ併セテ防潮ノ作用ヲ爲サシム

支川久安寺川ハ池田市中河原ヨリ下流ノ左岸ニ築堤シ又支川最明寺川ハ川西町榮根ノ高臺ヨリ幹川合流點ニ至ル間大體現川  
ニ沿ヒ築堤ヲ行ヒ箕面川ハ幹川合流點ヨリ現在ノ堤防迄兩岸ニ新堤ヲ築設スルモノトス

計畫河幅ハ幹川ハ改修起點ニ於テ百十米トシ以下漸次擴大シテ最大河幅百六十米又久安寺川、箕面川ハ五十米、最明寺川ハ  
二十五米トス

堤防ハ天端幅幹川六米、外法二割、内法二割乃至二割五分トシ其ノ天端高ヲ計畫高水位以上一・二米トシ裏小段ヲ附ス久安  
寺川及箕面川ハ天端幅四米、最明寺川ハ天端幅三米ニシテ支川三川共外法二割、内法二割、天端高ヲ計畫高水位上一米トス  
改修ニ伴フ附帶工事ハ池田市地先用水堰ノ改築、縣道橋宮圍橋、田能橋ノ架換、同吳服橋ノ扛上、同絹延橋阪急電鐵橋梁ノ  
繼足等ヲ主ナルモノトシ其他樋門樋管伏越ノ新設、改築、繼足及道路、用排水路ノ附替等ナリ

## 施工狀況

本工事ハ本年度ノ起工ニシテ八月一日改修事務所ヲ兵庫縣川邊郡川西町ニ又、多田村、東谷村、中谷村ノ三村ヲ區域トスル  
工事ヲ分擔スル多田工場ヲ川邊郡多田村ニ設置シ直ニ諸機械ノ購入整備實施測量其ノ他諸般ノ準備ニ着手シタリ  
土地買收ニ關シテハ九月一日土地收用事務所ヲ兵庫縣川邊郡川西町ニ設置シ用地ノ買收ニ關スル諸般ノ調査ヲ開始セリ  
測量ハ尼崎市額田地先ヨリ桑津橋ニ至ル區間ノ法線杭ノ設定ヲ了シ縱橫斷測量ヲ實施シ引續キ次年度へ繰越シ施行スルコト  
トセリ

又堰堤地點附近ノ平面、縱橫斷測量ヲ行ヒ其ノ他貯水池、湛水區域ノ境界附近ノ地形測量ヲ實施シタリ

堰堤敷地箇所ニ於ケル地質調査ノ爲メボーリングヲ爲スト共ニ兩岸堰堤築造箇所ニ幅一・五米、高一・八米、奥行十米、試掘  
濟ミノ横坑四箇所ニ對シ更ニ奥行十米宛追加施行シ外奥行二十米ノ横坑二箇所、合計六箇所ノ掘鑿ヲ施行セリ  
ボーリングハ未了ノ爲メ次年度へ繰越施行スルコトトセリ

尙用地杭ニ使用スベキ混凝土杭四百本ヲ製作シ引續キ次年度ニ於テモ製作スルコトトセリ

船舶機械ノ本年度購入セシ主ナルモノハ渦卷唧筒十馬力石油發動機付三臺、鋼製運搬車〇・八立米積五十臺、鑿岩機二臺、グ  
ラウチングポンプ二臺ナリ

本年度竣功高ハ十八萬三千九百七十七圓ニシテ總工費一千八百八十萬圓ニ對シ約一分六歩ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
船舶及機械費				100,000.00		100,000.00	0.01%
測量費				17,326		17,326	
營繕費				80,123		80,123	
雜費				24,999		24,999	
共濟組合給與金				0		0	
臨時家族手当				589		589	
總計				183,927		183,927	

## 第五五 菊池川改修工事

本工事ハ工費七百五十萬圓(内熊本縣負擔二百五十五萬圓)ヲ以テ昭和十五年度以降同三十年度ニ至ル十六箇年度繼續事業トシテ施行中ノ處國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十五年度ニ於テ工期一箇年度ヲ延長シ竣功期ハ昭和三十一年度トナレリ

其ノ改修區域ハ幹川熊本縣菊池郡菊池村以下同郡山鹿町ニ至ル十九糎並ニ玉名郡小田村以下海ニ至ル十四糎、其ノ他支川追間川外三支川及一小支ヲ加ヘ合計延長四十九糎トス

菊池川ハ熊本縣ニ於ケル重要ナル河川ニシテ其ノ源ヲ阿蘇火山帶ニ屬スル深葉山ニ發シ廣大ナル外輪諸山ノ溪流ヲ集メ南西ニ向ヒ隈府町ニ至リテ全ク山間ヲ離レ山鹿盆地ヲ迂餘曲折シ右支追間川左支合志川ヲ合流シ山鹿町下流ニ於テ右支岩野川ヲ合セ流向ヲ西ニ轉ジ山間部ニ入り蜿蜒十七糎ヲ縫流シ小田村ニ至リ再ビ平地ニ進出ス梅林村ニ於テ左支木葉川ヲ高瀬町南端ニテ右支繁根木川ヲ加ヘ流路ノ迂曲數次ニ及ビ島原海灣ニ注グ此ノ幹川流路延長七十二糎トス河口ヨリ九糎ノ區間ハ感潮區域ニシテ干満ノ差四米七ニ達シ滿潮時ニ於テハ舟楫ノ便アレドモ干潮時ニ於テハ水深淺ク航行不能ナリ

本川流域ハ熊本縣玉名、鹿本、菊池、阿蘇、大分縣日田ノ二縣五郡ニ跨リ流域面積九百九十六平方糎(内山地面積七百九十八平方糎、平地面積百九十八平方糎)灌漑面積三萬二千三百三十二ヘクタールニシテ上ハ山鹿町ヲ中心トセル山鹿平野ヲ涵養シ下ハ高瀬町ヲ中心トセル玉名平野ヲ灌漑ス沿岸ハ地味豊饒ニシテ農作物殊ニ肥後米ノ主產地ナリト雖モ一朝豪雨ニ際會セバ浸水、溢水或ハ破堤相次イデ起リ濁流ハ菊池、鹿本、玉名ノ平野ヲ掩ヒ其ノ慘害名狀スベカラズ水害面積九千七百四ヘクタールニ及ビ昭和二年ヨリ同十一年ニ至ル十箇年水害損失平均年額五十五萬六千餘圓ニシテ就中昭和十年ノ如キ百四十萬圓ノ巨額ニ達シタリ

本川上流平地部ニ於テハ斷續的ニ矮小ナル堤防アレドモ大部分ハ無堤ニシテ又下流部ハ堤防連續スト雖モ薄弱ナルヲ以テ本

改修計畫ニ於テハ舊堤ヲ擴築補強スルト共ニ新堤ヲ築設シテ洪水ノ汎濫ヲ防止セントス而シテ河積不足ノ箇所ハ引堤ヲ行フト共ニ掘鑿又ハ浚渫ヲ施シテ所要ノ河積ヲ與フルモノトス

加茂川村及山鹿町下流ハ流路ノ彎曲甚シキヲ以テ捷水路ヲ開鑿シテ高水流量ノ快疏ヲ圖ラントス

支川木葉川流末ハ寺田川ヲ擴張シテ之ニ落シ合流點ヲ下流ニ引下グルコトトセリ

尙幹支川ヲ通シテ流路ノ屈曲著シキ箇所又ハ掘鑿箇所ニシテ河岸崩壞ノ虞アル處ニハ護岸水制ヲ施シ堤防及河岸ノ安固ヲ期シ又新水路ニハ床固ヲ設ケテ河床ノ著シキ低下ヲ防止セントス

計畫高水流量ハ幹川上流部ニ於テ改修起點ヨリ迫間川合流點迄每秒九百五十五立方米、迫間川合流點ヨリ合志川合流點迄一千五百五十立方米、合志川合流點ヨリ岩野川合流點迄二千五百立方米、下流部ニ於テ三千立方米、支川合志川一千立方米、同岩野川六百五十立方米、同内田川六百立方米、同迫間川四百五十乃至九百立方米、同木葉川二百立方米トス又計畫河幅ハ幹川上流部百十米乃至二百十米、下流部二百二十米乃至六百米、支川ハ概ネ四十米乃至二百米トス堤防ノ標準斷面ハ幹川天端幅上流部五米、下流部六米、表裏法共二割、天端餘裕高ハ上流部一米二、下流部一米五トシ尙川裏ニハ適當ナル小段ヲ附スモノトス支川ハ幹川上流部ニ總テ同シ尙山鹿町地先ニ於ケル人家櫛比スル箇所ニハ特殊堤ヲ築造ス又附帶工事ノ主ナルモノハ橋梁ノ架換、用水堰ノ改築、樋門、樋管ノ新設、改築用排水路及伏越等トス

## 施工狀況

本工事ハ本年度ノ創業ニシテ四月改修事務所ヲ熊本縣玉名郡高瀬町役場内ニ假設シ實施測量並ニ諸般ノ準備ヲ爲シ十月ニ於テ用地ヲ買收スルト共ニ掘鑿及築堤工事ニ着手セリ

掘鑿工ハ上流部ニ在リテハ鹿本郡山鹿町地先右支岩野川合流點附近ニ於テ一箇所及下流部玉名郡高瀬町地先ノ一箇所、計二

箇所ニシテ掘鑿ハ總テ人力ニ依リ施工シ此土量二千八百三十五立方米ヲ算シ入馬力ニ依リ大部分ヲ築堤敷ニ運搬投棄セリ  
 築堤工ハ鹿本郡山鹿町地先ニ一箇所着手シ其ノ築立土量二千六百二十四立方米ハ掘鑿土ヲ利用セリ  
 土地買収ニ在リテハ玉名郡高瀬町地先及鹿本郡山鹿町大字山鹿地先ニ於テ第一次買収ヲ了シ續イテ玉名郡高瀬町大字永徳寺  
 地先ニ第二次買収協議發表ヲ爲シタリ本年度支拂ヲ了シタル土地ハ四町九段歩ニシテ物件移轉料ヲ合セ四萬二千六百一圓ヲ  
 支拂タリ

本年度竣功高ハ八萬六千九百六十八圓ニシテ總工費七百五十萬圓ニ對シ約一分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中  
 「〇」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工掘鑿			立米 二、八三三	一、三七八	立米 二、八三三	一、三七八	〇・〇一
工事築堤			四九段 二、六二四	二、三七一	四九段 二、六二四	二、三七一	
用地							
船舶及機械費			〇		〇		
測量費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計						八六、九六八	一〇・〇

## 第五六 庄川改修工事

本工事ハ昭和十五年度ヨリ同二十九年年度ニ至ル十五箇年度繼續事業トシテ工費五百九十萬圓(内富山縣負擔額二百萬圓)ヲ以テ施行スルモノニシテ其ノ區域ハ富山縣東礪波郡雄神村以下海ニ至ル二十五籽ナリトス

庄川ハ源ヲ岐阜縣大野郡莊川村ノ南端ニ屹立スル烏帽子岳(標高一千六百二十五米)ニ發シ北流スルニ從ヒ尾上郷川、六川、太白川其ノ他ノ諸支川ヲ併セ富山縣ニ入り左支利賀川其他ヲ加ヘ礪波平野ニ出デ新湊町ニ於テ富山灣ニ注グ其ノ幹川流路延長百二十五籽、流域面積一千五百一十一平方籽(山地面積二千百平方籽、平地面積五十一平方籽)ナリ

青島村以下平地部ニハ本堤ノ外二番堤及三番堤ノ設アリテ其ノ延長本堤五十一籽、控堤二十九籽ナリ又河口ニ於ケル潮汐干満ノ差ハ極メテ尠ク平均三十糎、最大六十糎ナリトス

本川ガ礪波平野ニ出ヅル直前ニ祖山及小牧ノ二大堰堤アリ前者ハ高七十五米、貯水量三千三百萬立方米、後者ハ高七十八米貯水量三千八百萬立方米ニシテ祖山堰堤ハ昭和五年竣功以來十箇年ニ二千萬立方米ノ土砂ヲ貯溜セルヲ以テ本川沿水上多大ノ貢獻ヲ爲セルモ小牧堰堤並下流ハ甚シク侵蝕セラレ中田橋附近ニハ砂礫ノ堆積ヲ來セルモノノ如シ

地質ハ水源地方ハ主トシテ火山岩ヨリ成リ就中西南部ハ侏羅層ヲ貫キテ生成セル白山火山脈ノ諸峰及大日嶽、鷲ヶ嶽、烏帽子嶽等アリ又東部ノ分水嶺ニハ石英斑岩ヲ見又中流部ニハ少許ノ片麻岩及石英斑岩ヲ交フル外花崗岩南北ニ長ク連亘シ其ノ外縁ニハ石英粗面岩分布ス富山縣内ヲ下レバ漸次第三紀層ノ丘陵ヲ見其ノ盡クル所洪積層ノ小區域アリ次デ下流部ハ沖積層ノ大平野ヨリ成ル

本流域ハ殆ンド山林ヲ以テ掩ハレ國有林其ノ大部ヲ占ム就中中流部ニ於ケル森林狀態ハ最モ良好ニシテ針濶葉樹ノ密林ヲ成スモ白山火山脈ニ屬スル諸峰ニハ禿山ヲ見三方崩山ハ其ノ尤ナルモノニシテ土石流出ノ根源ヲ成ス

雨量ハ大正十一年ヨリ昭和十四年ニ至ル十八箇年ノ平均ニ於テ富山縣利賀村最大ニシテ三千耗ヲ示シ同縣小松町最少ニシテ一千七百九十七耗ヲ示セリ次ニ日雨量ノ最大ハ昭和九年七月莊川村新關ニ於ケル三百三十耗ナリ

本川ハ下流平地部ヲ除キ山岳重疊スル峡谷ヲ流下スルヲ以テ低水流量豊富ニシテ最大理論水力三十萬キロワットト稱セラレ既ニ發電ヲ開始セルモノ昭和十年末ニ於テ最大十六萬キロワットニ達ス又下流部礪波射水ノ平野ノ内一萬一千ヘクタールハ其ノ灌溉用水ヲ本川ニ求ム然シ共本川平地部ハ水面勾配百四十三分ノ一乃至一千百三十五分ノ一ニシテ大門下流部ヲ除クノ外極メテ急流ナルヲ以テ水運ノ利用大ナラズ

明治以降本川ニ於テ水害ノ最モ激甚ナリシハ明治二十九年夏期ノ洪水ニシテ水害面積八千八百ヘクタール、水害損失額六百二十萬圓ニ達シ高岡市ニ於テハ工場人家等ノ流失セルモノ多數ニ上リシヲ以テ明治三十二年度ヨリ工費二百九十七萬餘圓ヲ以テ改修工事ヲ施行シ明治四十四年度竣功セリ本工事ニ依リ射水郡二塚村以下十籽ノ區間ハ全ク水害ノ禍根ヲ除去セラレ爾來二十有餘年間大水害無カリシガ昭和九年七月十一日大洪水襲來シ中田橋以下ニ於テ砂堤二十二箇所、延長三千二百八十五米ニ達シ被害面積五千ヘクタール、水害損失額一千百萬圓ニ及ベリ因ニ幹支川ノ沿川ニシテ最大洪水ノ際破堤又ハ浸水等ニ依リ水害ヲ被ルベキ面積ハ一萬四千六百三十ヘクタールトス

本改修工事ハ富山縣礪波郡雄神村以下海ニ至ル二十五籽ノ區間ニ於ケル水害ヲ除去セントスルモノニシテ計畫高水流量ハ測定ノ結果並ニ昭和九年七月ノ洪水ニ於ケル最高水位ヲ基トシ更ニ流域面積、地勢、雨量等ヲ參酌シ每秒四千五百立方メートル又計畫高水勾配ハ大體昭和九年七月ノ洪水ヲ標準トシ河口附近ニテ一千四十五分ノ一、國道橋附近ニテ八百四分ノ一、雄神橋ニテ四百三十二分ノ一、中田橋附近ニテ二百六十五分ノ一、太田橋附近ニテ百六十二分ノ一、改修起點ニテ百五十分ノ一トセリ

本計畫ニ於テハ土砂ノ堆積著シキ箇所ハ適當ニ掘鑿又ハ浚渫ヲ行ヒテ河床ノ低下ヲ圖ルト共ニ河積ノ不充分ナル部分ニ對シ

テハ掘鑿ト引堤トニ依リテ計畫高水流量流下ニ必要ナル河積ヲ與フルモノトス又堤防ハ大體舊堤ヲ利用擴築スルモ河幅廣大ニ失スル箇所ハ新堤ヲ築設スル等適當ニ河幅ヲ整理シテ河口附近四百二十米、大門町附近四百五十米、中田橋附近五百米、太田橋附近四百米、改修起點四百米トセリ尙左岸二塚村、右岸大門町以下ノ既改修區域ハ計畫高水流量ノ増加ニ伴ヒ掘鑿及堤防ノ嵩上ヲ施行シテ河積ノ増大ヲ圖ルモノトス

築堤ハ主トシテ舊堤擴築トシ必要ニ應ジ新堤ヲ築設ス而シテ天端幅ハ雄神橋下流七米、之ヨリ中田橋ニ至ル間八米、中田橋上流九米、法ハ表裏共二割トシ川裏ニハ小段ヲ附ス尙天端餘裕高ハ雄神橋以下一米五、之ヨリ上流一米八ヲ保タシム護岸ハ中流部ヨリ上流ハ水面勾配二百分ノ一以上ノ急流ナルヲ以テ新堤及水衝リノ強キ箇所ト共ニ堅固ナル護岸ヲ施シ其ノ他舊堤擴築ノ部分ニ於テハ在來護岸ハ之ヲ補強シ又ハ繼足ヲ行フモノトス  
附帶工事ハ縣道橋、雄神橋、越中電鐵橋梁ハ扛上ゲヲ行ヒ堤防ノ擴築ニ伴フ在來ノ樋門及樋管ハ繼足ヲ爲シ又堤脚沿ヒノ用排水路ハ移築スルモノトス

## 施工狀況

本工事ハ昭和十五年度ノ創業ニシテ五月高岡市小矢部川改修事務所内ニ事務所ヲ開設スルト共ニ先ヅ急ヲ要スル距離標六杆八ヨリ十三杆六ニ至ル左右兩岸ノ實地測量ヲ行ヒ十一月ヨリ高岡市赤祖父ノ新築事務所ニ於テ諸機械器具ノ整備及土地買収其ノ他諸般ノ準備ヲ整へ十二月射水郡二塚村地先ノ距離標九杆七五ヨリ十一杆五ニ至ル掘鑿及築堤工事ニ着手セリ  
本年度ハ二塚掘鑿及二塚築堤工事ヲ起工シ何レモ未竣功トナレリ其ノ概況左ノ如シ

二塚掘鑿工事ハ主トシテ人力ヲ以テシ七千六百七十四立方米ノ内二百二十二立方米ハ人力ニ依リ運搬路竝ニ假締切ニ利用シ七千四百五十二立方米ヲ馬力ニ依リ築堤敷へ運搬セリ

二塚築堤工事用土ハ掘鑿土ヲ利用シ築立七千四百五十二立方米ヲ施行セリ  
 用地ハ射水郡二塚村地内ノ土地三町七段一畝十九歩及地上物件移轉其ノ他ニ付協議ヲ行ヒ宅地十七坪其ノ他土地七段九畝四歩ニ對シ四千八百六十一圓、家屋竝ニ地上物件移轉料其ノ他ニ對シ百八十圓ヲ支拂ヒタリ  
 本年度ノ竣功額ハ八萬三千三百三十五圓ニシテ之ヲ總工費五百九十萬圓ニ比スレバ一分四厘ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セルモノナリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿			立米 2,623.00	2,623.00	立米 2,623.00	2,623.00	800.0
築堤			坪 7,111.00	7,111.00	坪 7,111.00	7,111.00	200.0
用地							
船舶及機械				180.00		180.00	
測量				51.00		51.00	
營業繕費				1,000.00		1,000.00	
雜費				1,000.00		1,000.00	
共濟組合給與金				11.00		11.00	
臨時家族手當				41.00		41.00	
總計				83,335.00		83,335.00	100.0

## 第二章 河川附屬物及水路維持工事

### 第一 木曾川附屬物及水路維持工事

木曾川一部附屬物及閘門前後水路ハ利害關係岐阜、愛知及三重ノ三縣ニ於テ其ノ程度ニ厚薄アルヲ以テ是等附屬物ハ内務大臣ニ於テ直接管理スルノ必要ヲ認メ明治三十五年度ヨリ年々工費三萬圓ヲ以テ維持修繕ヲ行フ事トナリ明治四十年年度ヨリハ總豫算六十九萬圓ヲ以テ二十三箇年度繼續事業トシテ維持修繕ヲ爲スコトトナリシガ大正九年度ニ於テ物價騰貴ノ爲メ二十四萬圓、同十一年度事業區域擴張、物價騰貴ノ爲メ四萬二千圓、同十二年度ニ七十七萬四千圓、合計百五萬六千圓ヲ増額セラレ次デ經費節約ノ爲メ大正十三年度以降ニ於テ十七萬四千六百三十圓ヲ減額セラレ昭和十二年度ニ十五萬二千七百三十六圓ノ追加ヲ受ケ結局總豫算百七十二萬四千六百圓トナリ維持年限モ昭和十六年度迄延長セラレタリ而シテ維持ノ目的ハ左ノ如シ

木曾川ニ在リテハ左岸愛知縣海部郡八開村大字藤ヶ瀬ヨリ同郡立田村大字立田ニ至ル水路、右岸岐阜縣海津郡吉里村大字成戸ヨリ愛知縣海部郡立田村大字福原ニ至ル瀨割堤及水路、木曾川河口導水土堤及石堤ニシテ長良川ニ在リテハ左岸岐阜縣海津郡吉里村大字成戸ヨリ愛知縣海部郡立田村大字立田ニ至ル瀨割堤及水路並愛知縣海部郡立田村大字立田ヨリ三重縣桑名郡伊曾島村大字都羅新田ニ至ル水路、右岸岐阜縣海津郡大江村大字油島ヨリ三重縣桑名市ニ至ル瀨割堤及水路、揖斐川ニ在リテハ左岸岐阜縣海津郡大江村大字油島ヨリ三重縣桑名市ニ至ル瀨割堤及水路、右岸三重縣桑名郡野代村大字南ノ郷ヨリ同郡城南村大字小貝須ニ至ル水路、揖斐川河口導水土堤及石堤、以上ノ維持修繕及船頭平閘門及前後附屬物ノ管理及維持修繕ナ

リトス

## 施工狀況

本年度ニ於テ施行セシ堤防工事ハ前年度ヨリ繼續セル木曾、長良、瀬割堤補修工ニシテ二老堤防増補工ハ工事都合上中止シ  
兩工事共竣功ノ儘次年度ニ繰越シタリ本年度堤防工事トシテ工費六千七百九十九圓ヲ要シタリ

本年度ニ於テ施行セシ護岸水制工事ハ前年度ヨリ繼續セル成戸第二護岸工、成戸第三護岸工ニシテ成戸第二護岸工ハ竣功ヲ  
告ケ他ハ工事中ノ儘次年度ニ繰越シタリ本年度着手セシ工事ハ

水制修繕工事 本工ハ木曾川右岸岐阜縣海津郡東江村大字秋江地先ノ水制維第二十一號ハ幹部前端延長六十米ノ内上層二十  
米ハ上流側分約三分ノ一破損シ又其先四十米ハ上層全部破損セルニ依リ之ヲ舊狀ニ復舊修繕スルモノナリ幹部ノ上流側延長  
四十米ハ沈床流失セルヲ以テ幅四米、長四十米ノ副沈床ヲ沈設シ更ニ頭部ニ幅八米、長三十米ノ沈床ヲ増設スルモノニシテ  
本年度全部完了セリ

葛木護岸工事 本工ハ長良川左岸愛知縣海部郡立田村大字葛木地先ニテ同附近ノ左岸寄りニハ護岸、水制等ノ施設無キヲ以  
テ河身一定セス全幅ニ互リテ廣ク淺流ヲ爲シ渴水時ニハ寄洲ノ輕砂ヲ西北風ニ因リテ堤腹ニ吹キ付ケ之ヲ埋没シ更ニ之ヲ越  
ヘテ木曾川寄りニ堆積スルヲ常トセルヲ以テ從來之ガ防砂ニ勉メ松樹ヲ植林セシモ近來對岸ニ水利等ノ設備ヲ爲セシ爲メ其  
反動ノ水勢ニ因リ之等砂丘ハ崩壞シ始メ漸次堤腹ニ及フ危險ヲ感スルニ至リシヲ以テ簡易護岸ヲ施サントスルモノナリ其工  
法ハ堤防法先ニ延長八百七十四米、幅六米ノ單床ヲ沈設シ夫レヨリ上部ハ五割法ニ法拵ノ上厚十種ノ葎根土ヲ以テ張付ケ更  
ニ柳枝或ハ萩苗ヲ植付ケ防砂工ト爲スモノニシテ目下工事中ナリ

假水制修繕工事 本工ハ岐阜縣海津郡東江村大字大和田地先木曾、長良瀬割堤即長良川左岸堤距離標二十一軒八附近ノ長良

川假水制ヲ修繕スルモノニシテ從來ハ單床ノ上ニ併杭ヲ用ヒ中間ニ詰石ヲ爲シタルモノナルガ經年ノ爲メ幹部ノ中間部破損シ從テ河身ヲ亂ス恐レアルヲ以テ之ヲ匡正スルモノナリ其工法ハ沈床、單床、鐵線蛇籠ヲ施シ水制根元附近ハ後部本堤迄ノ間ニ局部的ニ隆起或ハ凹地アルヲ以テ出水時ニハ流水ノ疏通ヲ阻害スル恐レアルニ依リ切取或ハ盛土ヲ爲シ前後ニ做ヒ平坦ニセシムルコトトセリ目下工事中ニテ次年度ニ繰越シタリ

本年度護岸水制工事ノ竣功額ハ一萬六千二百十二圓ヲ費シタリ

本年度着手セシ揖斐川河口導水堤修繕工事ハ導水堤土堤部ノ中部ニシテ右側ハ内海ニ直面シ居ルヲ以テ風浪ニ因ル法先洗滌ヲ防グ爲メ從來法先ニ捨石工ヲ施シアレドモ其效果僅少ナルト又滿潮位ニ比シテ捨石法高低キヲ以テ堤腹芝張部分ヲ破壞セラルルコト頻繁ナルニ依リ之ヲ防止センガ爲メ張石工ニ改造スルモノナリ其工法ハ普通干潮位迄ハ平時水中ニ浸セルヲ以テ洗滌ノ害少ナキ爲メ之ヨリ上部即堤肩ヨリ七十糎下迄即法長七米間ヲ石材中ノ大石ヲ選ミ土臺根石ト爲シ三割法ニ張上ゲルモノニシテ目下工事中ナリ本年度工費九千九百一圓ヲ要シタリ

望標修繕工事 本工ハ三重縣桑名郡城南村大字大貝須地先揖斐川筋右岸河口導水石堤先端ニ大正十一年度ニ於テ建設セル徑十三糎ヲ柱トスル一米五十糎正三角四面形ヲ附シタル望標累年次ニ依リ下部取付腐蝕シ強風ニテ折損シタルヲ以テ補強修理ヲ爲スモノニシテ既設物ハ三本ノ支線ヲ用ヒアリシモ潮水ノ爲メ腐蝕シ其効薄弱ナルヲ以テ之ヲ廢シ基礎工ニ於テ補強ニ代ルベク中等潮位上五十糎即石堤馬踏上ニ長一米、徑六十糎、厚五糎五ノ鐵筋混凝土管ヲ据付ケ其中央へ標柱ヲ建込ミ此周圍ヲ混凝土ヲ以テ根固ト爲スモノナリ本年度工費八十五圓ヲ要シ全部完了シタリ

船頭平閘門ノ狀況 本年度ニ於ケル通航數ヲ示セバ大船五千四百四十六隻、中船百八十六隻、小船四千八百十五隻、合計一萬百四十七隻ナリ外ニ木竹筏二百六十一組通過セリ

本年度維持竣功額ハ四萬四千八百九十三圓ニシテ起工以來ノ累計百六十七萬五千七十八圓ナリ而シテ豫算百七十二萬四千

六圓ニ對シテ約九割七分ノ竣功歩合トナル其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「X」ハ材料採取品價額「△」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本 堤防	立米 九〇、二三八	三、八七、七三五	立米 一九、〇五八	六、七九九	立米 九五、一九六	三、九四、五三四	〇・九八
築 通	一七三米		一米		一七三米		
工 浚	立米 九〇、七八六	六五、九〇三	立米 一米		立米 九〇、七八六	六五、九〇三	〇・九八
護 岸	△X	五五、二五五	△X	一六、一三三	△X	五五、二五五	
事 導		九、九〇〇		九、九八六		九、九〇〇	〇・九八
水 堤	△	一〇一、一七五	△		△	一〇一、一七五	
費 假		五三、九六三				五三、九六三	〇・九八
閘 門		六、一〇八				六、一〇八	
費 材		五、一三三				五、一三三	〇・九八
料 採		八、八六〇		三二		八、八九二	
船 舶	△	一四、八九九	△	五、六〇一	△	二〇、五〇〇	〇・九八
及 機		三、九三三		五、五八		九、五三一	
測 量		三、九三三		五、五八		九、五三一	〇・九八
營 繕	△	一四、八九九	△	五、六〇一	△	二〇、五〇〇	
費 費	△	三、〇九、一三九	△	九、七三八	△	三二、八七七	〇・九八
共 濟		七、八三八		三、七六		一一、六四四	
組 合							〇・九八
給 與							
金 費							

第二章 河川附屬物及水路維持工事  
 (木曾川附屬物及水路維持工事)

總計	臨時家族手當
1,600,185	
44,843	
1,645,028	
0.44	

## 第二 淀川維持工事

改良河川ニ於テ治水ノ效果ヲ克ク舉グルカ舉ゲサルカハ其維持ノ良否ニ俟ツコト頗ル大ナリ。飜ツテ淀川ヲ顧ルニ其維持如何ハ直接影響スル所大阪、京都、滋賀ノ二府一縣ニ跨リ利害極メテ廣汎且重大ナルモノアルヲ以テ政府ハ明治四十四年度以降逐次瀨田川看守場（滋賀縣栗田郡下田上村大字黒津）淀川看守場（大阪市東淀川區長柄濱通四丁目）「以上明治四十四年度」看守場（京都市伏見區向島葎島新用）「昭和五年度」ヲ設置シ淀川下流改修工事（大正十一年度竣功）及淀川改修増補工事（昭和宇治川八年度竣功）ニ於テ夫々構築セラレタル特殊營造物、洗堰閘門等ノ維持管理ヲ直轄シ來レルガ本川ノ維持ヲ更ニ徹底セシムル爲メ淀川改修増補工事ノ略々完成セルヲ機トシ昭和六年度ニ至リ其範圍ヲ淀川筋直轄工事施行區域全般ニ擴張シ新ニ大阪府北河内郡枚方町ニ淀川維持事務所ヲ設置シテ之ニ伏見、八幡、枚方、三箇牧、毛馬ノ五工場（現在八幡及三箇牧ノ兩工場ヲ閉鎖）ヲ附屬シ伏見觀月橋以下新淀川尻海ニ至ル間ノ維持ニ當ラシメ同時ニ淀川、宇治兩看守場ヲ廢止シテ瀨田川看守場ニハ依然瀨田川ニ屬スル維持ヲ負ハシメタリ

茲ニ其維持管理スベキ特殊附屬物及維持修繕スベキ區域ヲ摘録スレバ下記ノ如シ

維持管理トシテハ瀨田川看守場ニ屬スル瀨田川洗堰、淀川維持事務所ニ屬スル三栖閘門及洗堰、毛馬第一閘門、第二閘門、長柄運河給水樋門、六軒屋洗堰サイフォン、第一及第二閘門、傳法第一及第二閘門、西島閘門及平戶陸閘、同樋門、長柄可動堰、三栖豫備發電所、毛馬豫備發電所以上各附屬地ノ維持管理ト淀川本川左右岸京都市伏見區地内觀月橋以下淀川派川新淀川口（海）ニ至ル、支川木津川左右岸京都府綴喜郡八幡町地内兩岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同支川船橋川左右岸大阪府北河内郡枚方町地内兩岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同支川穗谷川左右岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同支川天ノ川左右岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同支川新高瀨川左右岸京都市伏見區地内兩岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同小支川左岸七瀨

川右岸京都市伏見區地内兩岸標柱以下新高瀨川合流點ニ至ル、同支川左岸京都市伏見區地内、桂川右岸京都市府久世郡淀町地内兩岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同小支川小畑川右岸京都市府乙訓郡大山崎村地内兩岸標柱以下桂川合流點ニ至ル、同小支川小泉川右岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同支川水無瀨川右岸大阪府三島郡島本町地内兩岸標柱以下桂川合流點ニ至ル、同檜尾川右岸大阪府三島郡高槻町地内兩岸標柱以下淀川合流點ニ至ル、同芥川左右岸大阪府三島郡高槻町地内兩岸標柱以下淀川合流點ニ至ル各區域ノ維持修繕ナリトス

爾來今日迄三十年堤防護岸水制等ノ維持修繕及閘門洗堰等ノ操作並維持管理ヲ施行シテ洪水ニ對應スルト共ニ水位ノ調節ヲ並施シ渴水時ト雖モ灌漑舟運ニ支障ヲ來サザルヘク努力シ來レリ工費豫算ニ至リテハ創業以來左表ノ如キ幾多ノ經緯アリタレ共結局現在ニ於テ(明治四十四年度ヨリ昭和十七年度マデ)二百九十四萬六千六百十七圓ニシテ本年度末迄ニ工費二百七十五萬六千六百十七圓ヲ支出セリ

## 施工狀況

前述ノ如ク堤防及護岸等ノ維持工事ハ昭和六年度ヨリ創始セラレ爾來堤防表裏ノ護岸ヲ主トシテ施工シ其ノ他所要ニ應ジ堤防馬踏小段法面昇降路階段及護岸水制小破ノ修理或ハ高水敷均新淀川葭刈等ヲ併施シ河川ノ荒廢ヲ未然ニ防止スルト共ニ前記特殊營造物ノ水叩補修路、門扉修繕等ヲ行ヒ且之ガ管理ヲ爲セリ此ノ間昭和七年出水ニ因ル、同九年高潮ニ因ル、同十年水害ニ因ル、同十二年激浪ニ因ル、並ニ同十三年豪雨ニ因ル、各特發災害ニハ既定維持費ニテハ對應シ得サリシタメ止ムナク別途工費通計百九萬四千五十圓ノ支給ヲ受ケ夫々應急復舊セリ

又淀川維持ニ關スル既定豫算額ハ前述ノ如ク明治四十四年度ヨリ昭和十七年度マデニ於テ二百九十四萬六千六百十七圓ヲ支出セリ

本年度施工狀況ハ閘門及洗堰開閉並修繕トシテ八閘門、二洗堰及一可動堰等開閉費二萬八千七百七十一圓、修繕費二萬二千五百三十二圓ヲ要シタリ

堤防トシテハ維持區域全般ニ互リ堤防維持ノ爲メ堤防小破修理ニヲ起シ土量二千九百三十三立方米、工費三萬八千四百二十二圓ヲ要シタリ尙別ニ左岸大阪市東淀川區南大道町地先堤防表小段法先一部出水ノ都度洗掘セラレツツアル箇所ニ新ニ大道堤防表法先補修ヲ起工シ埋立土量四千九百立方米、工費四千七百圓ノ内年度内ニ土量二千七百二十七立方米、工費二千二百二十七圓ヲ竣功セシメ殘餘ヲ明年度ニ繰越セリ

護岸水制トシテハ前年度ヨリ繰越セル景勝護岸延長三百八十五米ヲ工費八千八百圓ニテ竣功セシメタル外維持區域全般ニ互ル小破箇所修理ノ爲メ新ニ護岸水制小破修理、第二回護岸水制小破修理ノ二設計ヲ起シ工費合計三萬二千七百二十八圓ヲ以テ共ニ本年度内ニ竣功セシメタリ

此他毛馬洗堰水叩ノ一部著シク洗掘セラレ現況ノ儘放置シ難キ状態ニ在ルヲ以テ十五年度毛馬洗堰水叩補修ヲ起工シ捨石八百九十九立方米、工費四千圓ヲ要シテ竣功セリ

創業以來本年度末迄ノ竣功高ハ二百七十五萬六千二百五十七圓ニシテ總工費二百九十四萬六千六百十七圓ニ對シ約九割四分ヲ竣功セリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ「▲」ハ提供品價額「○」ハ無代價品評價額「×」ハ生産價額「△」ハ製作品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤	立米 六五、〇〇五	門 一、五五、〇〇〇	立米 六、五〇〇	門 四、四、四〇〇	立米 七一、二二五	門 一、九、八〇〇	〇・二〇
本浚	立米 六七、七三三	門 一、九、七八九			立米 六七、七三三	門 一、九、七八九	〇・三三
工護岸水制	立米 二五、八五九	門 六、五五、七七八	立米 六、八六六	門 三、三、七六八	立米 三二、七二五	門 一〇、九二六	一・〇〇
事關門及洗堰開閉其他		門 五、二、八四四		門 二、八、一七一		門 五、一、〇七三	〇・四三
費同修繕其他		門 二、八、七八一		門 三、三、五〇三		門 一、〇、二七八	一・〇〇
亡失毀損		門 一、九、三五五		門 一、九、八四五		門 一、九、八〇〇	一・〇〇
船舶及機械費		門 三、三、七四二		門 七、一、五〇三		門 三、三、七四二	
測量費		門 一、三、六四三		門 一、四、〇三三		門 一、四、〇三三	
營業繕費		門 四、八、九〇〇		門 一、〇、〇〇〇		門 四、八、九〇〇	
雜費		門 一、〇、四二四		門 一、〇、四二四		門 一、〇、四二四	
共濟組合給與金		門 三、一、五八二		門 四、一、四〇〇		門 三、一、五八二	
臨時家族手当		門 三、一、五八二		門 三、一、五八二		門 三、一、五八二	
總計		門 二、五、五、四〇〇		門 一、九、八、八〇〇		門 二、七、七、七〇〇	〇・九三

### 第三 利根、渡良瀬兩川維持工事

本工事ハ當初大正十二年度ヨリ昭和九年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ總工費四百一萬四百圓ヲ以テ利根幹川筋並ニ渡良瀬川下流部ニ於ケル維持修補ヲ施行ノ豫定ナリシガ大正十三年度ニ至リ工費二萬三千圓ヲ増額シ竣功期限ヲ昭和十一年度迄延長セリ然ルニ其後昭和元年度ニ至リ施行區域ヲ利根川ノ派川江戸川及支川渡良瀬川ノ上流部迄擴張スルニ及ビ工費百八十四萬一千四百圓ヲ増額シ總工費ヲ五百八十七萬四千八百圓ニ改メ施行中ノ處一般財政緊縮ノ爲メ昭和五年度以降工費七十六萬三千六百九十七圓ヲ減額シ總工費ヲ五百一十一萬一千三百圓ニ改メ竣功期限ヲ昭和十四年度迄延長シ更ニ昭和十一年度ニ至リ工費百十八萬二千九百三十五圓ヲ追加増額シテ總工費ヲ六百二十九萬四千三十八圓ニ改メ竣功期限ヲ昭和十五年度迄トセシガ昭和十二年度ニ於テ再ビ政府財政ノ都合ニ依リ猶一箇年度ヲ延長シ昭和十六年度ニ至ル十九箇年度繼續事業トシテ施行スルコトトナレリ

其區域ハ利根川幹川筋群馬縣佐波郡芝根村以下左岸茨城縣鹿島郡矢田部村、右岸千葉縣海上郡椎柴村ニ至ル約百八十一軒及江戸川流頭以下千葉縣東葛飾郡行徳町地先海ニ至ル五十九軒並ニ渡良瀬川筋栃木縣足利郡毛野村以下茨城縣猿島郡新郷村地先利根川合流點ニ至ル三十五軒、計二百七十五軒ナリトス

利根川及渡良瀬川改修工事ハ大正十一年度末迄ニ八步通り竣功(渡良瀬川ハ昭和元年度、利根川ハ同五年度竣功)ヲ告ゲ堤塘ノ連續、水路ノ矯正等相俟ツテ河狀ヲ整齊シ復タ往年ノ慘害ヲ見ザルニ至レリト雖モ既成部ニ於ケル工作物ハ其竣功古ク堤塘ノ沈下、護岸及水制ノ破損等相當多ク是等ハ歲ト共ニ加ハリ其儘放置スル時ハ遂ニ昔日ノ險惡ナル狀態ニ戻リ所謂九段ノ功ヲ一簣ニ虧クノ虞ナシトセズ且其利害ノ及ブ所數府縣ニ跨リ重大ナル關係アルヲ以テ之ガ維持上常時修補ノ緊切ナルヲ認メ第四十七議會ノ協賛ヲ經テ前記ノ如ク施行スルコトトナレリ

## 施工狀況

工事施行ニ關シテハ當初利根川第二期、同三期並ニ渡良瀨川各改修事務所ニ於テ分擔大正十二年八月ヨリ工事ニ着手セシガ昭和元年度ニ至リ施工區域ヲ江戸川部内(江戸川改修事務所施行)及渡良瀨川上流部迄擴張ニ際シ偶々渡良瀨川改修工事竣功ト共ニ同改修事務所ヲ廢止セル爲メ埼玉縣栗橋町ニ利根渡良瀨兩川維持事務所ヲ設置シ利根川第三期及渡良瀨川部内ノ維持工事ヲ統轄シ更ニ之ヲ利根維持、渡良瀨維持ノ二工場ニ區分シ工事ヲ施行シ來リシガ昭和四年四月岩舟工場ヲ併セ越テ同年七月前記兩維持工場ヲ廢シ新ニ尾島、栗橋、田中、渡良瀨ノ四工場ニ劃テ次デ同五年度末利根川第二期及江戸川改修事務所ノ廢止ニ伴ヒ同六年四月ヨリ前記兩事務所ニテ施行中ノ維持工事ヲモ統轄繼承スルコトトナリ更ニ安食、佐原、野田、松戸ノ四工場ヲ増設シ各工場ノ下ニ若干ノ見張所ヲ設ケテ工事ノ施行ニ當ラシメ尙橫利根、關宿兩閘門ニハ夫々監守所ヲ置キテ之ガ維持管理ヲ爲スコトトナレリ

斯クテ全區域ニ於ケル本年度迄ノ竣功累計ハ築堤土量百八十萬七千四百八十一立方米、浚渫土量三百三十八萬四千七百六十八立方米、護岸水制延長十三萬六千六百六十六米三ナリトス

尙本年度施工セルモノハ築堤土量三萬七千八百六十二立方米、浚渫土量四萬四千四百二立方米、護岸水制延長六千六百六十六米五ニシテ左ニ各方面ニ於ケル施工ノ狀況ヲ述ベシ

### 笹川—滑河間(利根川第一、第二期部内)

堤防修補工トシテハ左岸佐原東大戸、右岸高岡各町村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長一千三百三十四米ニ互リ修補工事ヲ行ヒ補給土砂三千二百三十一立方米ヲ要セリ、護岸水制工ニ在リテハ右岸津宮村地先ノ河岸ガ流心ノ偏倚ニ因リ侵蝕ノ虞アルヲ以テ延長二百米ニ石張護岸ヲ施工スルコトトシ本年度百四十米ヲ竣功シ翌年度へ繰越セリ尙小修補工トシテハ左岸十餘島、

右岸佐原、神崎各町村地先ノ護岸水制ノ破損沈下セルモノ延長二百六十六米ニ互リ修補工事ヲ行ヒタリ  
滑河―取手間(利根川第二期部内)

堤防修補工トシテハ右岸木下、井野、取手各町村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長一千八百六十四米ニ互リ修補工事ヲ行ヒ補給土砂三千八立方米ヲ要セリ

護岸水制工ニ在リテハ大破セル箇所ナキヲ以テ小修補工トシテ右岸滑河、安食兩町地先ノ護岸水制修補工事ヲ延長八十米ニ互リ行ヒタリ

取手―境間(利川第三期部内)

堤防修補工トシテハ左岸大野境右岸我孫子、富勢田中、木間ヶ瀬、二川各町村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長三千百八十九米ニ互リ修補工事ヲ行ヒ補給土砂四千六百九十六立方米ヲ要セリ

護岸水制工ニ在リテハ左岸猿島村浦向地先ノ混凝土護岸工事ヲ前年度ニ引續キ行ヒ本年度三百二十一米ヲ以テ竣功セリ尙小修補工トシテ左岸稻戸井、大野、猿島右岸我孫子、田中、福田、二川各町村地先ノ護岸水制修補工事ヲ延長七百四十九米ニ互リ行ヒタリ境―赤岩間(利根川第三期部内)

堤防修補工トシテ左岸香取、川邊、梅島、佐貫右岸大越、新郷各村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長六千六百米ニ互リ修補工事ヲ行ヒ補給土砂五千八百六十四立方米ヲ要セリ

護岸水制工ニ在リテハ右岸川俣村稻子地先ノ護岸ハ前年度ニ引續キ施行シ本年度二百米ヲ竣功セリ又右岸大越村大越地先ノ水制ハ深掘破損ヲ來シタルヲ以テ鐵筋材杭打水制ヲ五箇所延長三百八米ニ互リ設置スルコトトシ本年度百五十四米ヲ竣功シ翌年度へ繰越セリ尙小修補工トシテハ左岸利島、大箇野右岸五霞、原道、大越、川俣各村地先ノ護岸水制ノ破損沈下セルモノ延長一千二十九米ニ互リ修補工事ヲ行ヒタリ

掘鑿工事ニ在リテハ左岸靜村地先ノ人力掘鑿工事ヲ前年度ニ引續キ施行シ本年度三千二百四十八立方米ヲ搬出シ洪水時流水ノ疏通ヲ良好ナラシメタリ

赤岩―沼之上間(利根川第三期部内)

堤防修補工トシテハ左岸男沼、尾島、世良田、名和右岸男沼、明戸、尾島、新會各町村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長七千四百米ニ互リ之ガ修補工事ヲ行ヒ補給土砂五千三百四十五立方米ヲ要セリ

護岸修補工ニ在リテハ左岸名和村八斗島地先ノ河岸ガ流心ノ偏倚ニ因リ缺壞甚シキヲ以テ延長二百九十五米ニ互リ石張護岸ヲ本年度着工シテ全部之ヲ竣功セリ尙小修補工トシテハ左岸大川、男沼、尾島、新會、世良田、仁手、豊受、名和右岸男沼、世良田、仁手芝根各町村ノ護岸水制ノ沈下破損セルモノ延長七百二十二米五ニ互リ修補工事ヲ行ヒタリ

渡良瀬川筋

堤防修補工トシテハ左岸界、吾妻兩村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長二千四百九十米ニ互リ之ガ修補工事ヲ行ヒ補給土砂一萬六百七十二立方米ヲ要シ内一萬立方米ハ人力掘鑿土ヲ利用セリ

護岸水制工トシテハ流心ノ偏倚或ハ洪水等ニ因リ破損流失セラレタルモノニ對シ工事ヲ施行シタルモノニシテ左岸ニテハ前年度ヨリ引續キ施行ノ吾妻村上高橋地先ノ護岸百三十米及本年度着工ノ藤岡町地先ノ護岸百二十米ハ何レモ竣功シ右岸ニテハ久野村野田地先ノ水制七十六米及梁田村神明地先ノ護岸百二十二米ヲ本年度着工シ水制ハ竣功セルモ護岸ハ根固工ノ一部ト材料採取ヲ爲シ他ハ翌年度へ繰越セリ尙小修補工トシテハ左岸野木、毛野右岸梁田各町村地先ノ護岸水制ノ沈下破損セルモノ延長三百二十六米ニ互リ修補工事ヲ行ヒタリ

掘鑿工事ニ在リテハ何レモ前年度ヨリ引續キ施行ノモノニシテ右岸渡瀬村下早川田地先ニテ七千五百三十二立方米ノ人力掘鑿ヲ行ヒ之ヲ竣功シ左岸界村高山地先ニテ二萬二百八十八立方米ヲ搬出シテ翌年度へ繰越シ洪水時流水ノ疏通ヲ計レリ

行徳―新川間(江戸川部内)

堤防修補工トシテハ右岸流山町、右岸八木郷村地先ノ堤防沈下破損ニ對シ延長一千三百七十五米ニ互リ修補工事ヲ行ヒ補給土砂三千二百十二立方米ヲ要セリ

護岸水制工トシテハ何レモ流心ノ偏倚ニヨリ流水ノ激衝ヲ受ケ河岸ヲ侵蝕シ或ハ既設護岸ヲ破壞セラレタルヲ以テ之ガ修補工事ヲ施シタルモノニシテ左岸松戸町傳兵衛地先百五十米ニハ石張護岸ヲ流山町流山地先七百五米ニハ混凝土張護岸ヲ施行スルコトトシ松戸護岸ハ本年度之ヲ竣功シ流山護岸ハ沈下埋ト材料ノ一部ヲ採取セルノミニテ翌年度へ繰越シタリ又前年度ヨリ引續キ施行ノ右岸八木郷村長戸呂地先四百米同村大膳地先二百八十四米ノ混凝土張護岸ハ本年度全部竣功セリ尙小修補工トシテハ左岸行徳、松戸兩町地先ノ護岸延長三百三十九米ニ互リ修補工事ヲ行ヒタリ

掘鑿工事ニ在リテハ前年度ヨリ繼續施行ノ右岸八木郷村地先ノ人力掘鑿工事ヲ行ヒ本年度一萬三千三百三十四立方米ヲ搬出シテ竣功シ洪水時流水ノ疏通ヲ計レリ

新川―關宿間(江戸川部内)

堤防修補工トシテハ左岸木間ヶ瀬右岸川邊兩村地先ノ堤防破損沈下ニ對シ延長九百十五米ニ互リ修補工事ヲ行ヒ補給土砂一千八百二十九立方米ヲ要セリ

護岸水制工トシテハ前年度着手セル右岸豊岡村木津内地先ノ護岸百七十五米ヲ施行本年度竣功セリ尙小修補工トシテハ左岸七福右岸川邊寶珠花、豊岡各村地先ノ護岸ノ沈下破損セルモノ延長二百十米ニ互リ修補工事ヲ行ヒタリ

尙所屬横利根閘門ニ於ケル通航船舶數ハ本年度二萬三千五百六十隻ニシテ大正十二年八月管理施行以來累計七十三萬三千八百八十七隻、又關宿閘門ハ本年度三千五百十九隻ニシテ大正十五年九月以來累計十三萬六千十一隻ヲ算セリ

本年度ノ竣功高ハ二十九萬一千六百九圓ニシテ創業以來ノ累計ハ六百五萬九千四百四十八圓トナリ之ヲ總工費豫算六百二十

九萬四千三十八圓ニ比較スルトキハ九割六分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	立米 一、七五九、六一九	八、四四、六四四	立米 三、七、八八二	一九、三三四	立米 一、八〇七、四八一	八、四四、〇一八	〇・九七
工浚渫	立米 三、三三〇、三六六	六、七二、六九八	立米 四、四、四〇一	三三、七三九	立米 三、三三四、七六八	六、六六、四三七	〇・五九
事護岸水制	米 三三〇、五〇〇	二、一〇、一三三	米 六、一七七	二、七、八八八	米 三三六、六七七	二、一三、〇二一	〇・九四
費特殊工		九、一〇、〇〇〇		八、一三三		一、九六、八六七	
材料採集費		三、三三、〇〇〇		一、一、五三二		三、三三、〇〇〇	
船舶及機械費		三、四、〇九六		一、一、五三二		三、三三、〇〇〇	
測量費		九、五〇〇		五、三三三		一、四、一三三	
營業繕費		三、三三、一三三		二、二、三三三		一、四、一三三	
雜費		一、二、六六六		五、二、二二二		一、三、八八八	
共濟組合給與金		六、四、二二八		二、六、二二二		六、七、〇五〇	
臨時家族手当				二、二、五五五		二、二、五五五	
總計		五、七、七、八三五		二、五、一、六〇九		六、〇、九、三九四	〇・九六

本表ノ本工事費竣功高ヲ期別スレバ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
第二期中部 築堤	1,770.983	182,193.3	6,288	3,321	8,058.983	185,514.3
	10,000米	356,885	486	11,350	110,510	368,235
第二期中部 護岸	988.333	111,110.8	15,901	10,674	10,000	894,908
	773.135	156,333	3,248	768	776.383	157,101
第三期中部 築堤	886.680	133,139.4	3,477	66,239	890.157	1,397,633
	1,999.432	1,999,432	3,761	76,831	2,003.193	2,076,263
第三期中部 護岸	1,311.394	1,311,394	66,239	66,239	1,377,633	1,377,633
	1,311.394	1,311,394	66,239	66,239	1,377,633	1,377,633
渡良瀬川内部 築堤	336.234	117,941	2,710	8,760	338.944	126,701
	19,133	310,000	2,710	8,760	21,843	318,760
渡良瀬川内部 護岸	19,133	310,000	2,710	8,760	21,843	318,760
	19,133	310,000	2,710	8,760	21,843	318,760
江戶 築堤	509.808	110,946	13,333	4,135	523.141	115,081
	4,757	100,333	5	3,333	4,762	103,666
江戶 護岸	1,913	310,000	2,710	8,760	4,623	318,760
	1,913	310,000	2,710	8,760	4,623	318,760
合計						
前年度迄竣功高	1,770.983	182,193.3	6,288	3,321	8,058.983	185,514.3
本年度竣功高	10,000	356,885	486	11,350	110,510	368,235
合計	11,770.983	539,078.3	6,774	14,671	18,569.963	553,749.3

歩分

川 部 内

護 特

計 殊 岸 水 工 制

八、六七米

一一、六八四

一、五五八米

五、七四九

一〇、一四米

一、八八三

二九、五五六

三、一三三

三、一四四

三、三三三

〇、七五〇

四、二二二

## 第四 信濃川維持工事

本工事ハ昭和二年度ヨリ同六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ工費八十七萬六千四百圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ昭和五年度及同六年度ニ於テ財政緊縮ノ爲メ四萬二千五百五圓ヲ減額セラレタリ而シテ同七年度以降モ引續キ工事ヲ施行スルコトトナリ工費六十萬三千七百七十四圓ヲ追加セラレシガ其ノ後減額又ハ追加アリ就中同十五年度ニ於テ計畫高水量ヲ變更シ毎秒九千立方メートル定メ之レガ快疏ヲ圖ルト共ニ諸構造物ノ安全ヲ期センガ爲メ更ニ維持工事ノ必要ヲ認メ工費四十五萬一千九百四十五圓ヲ追加セラレ結局二百五萬二千七十四圓ヲ以テ昭和十九年度ニ於テ竣功セシムルコトトナレリ而シテ其ノ施行區域ハ新潟縣三島郡大河津村地内ニ於ケル信濃川附屬物即チ自在堰、固定堰、洗堰及閘門並ニ新潟市内通船川合流點以下海ニ至ル區間ナリシガ昭和二年六月自在堰ノ陥没ニ因リ直チニ補修工事ニ着手シ同工事ハ昭和六年度竣功シタルヲ以テ同七年度以降ハ閘門及洗堰ハ信濃川ノ附屬物トシテ又可動堰、隔壁、固定堰、床固及床留ハ新信濃川ノ附屬物トシテ維持スルト共ニ新信濃川全川ニ互リ維持ヲ行フコトトナレリ而シテ新潟市内ノ河口水深維持工事ハ昭和七年度ヲ以テ竣功セリ

## 施工狀況

本工事ハ昭和二年度ノ創業ニシテ専ラ閘門及洗堰上下流ノ浚渫工事、固定堰及可動堰下流ノ捨石工事竝ニ信濃川河口ノ浚渫工事ヲ施行シ來リシガ昭和二年六月自在堰陥没シ其ノ機能ヲ喪失シタルヲ以テ別途起工セラレタル應急工事ト相俟テ自在堰殘存部ノ安全ヲ期センガ爲メ其ノ上下流ニ補強工事ヲ施シ堰ノ構造ヲ一部變更シ角落堰ト爲シ以テ水位調節ノ用ニ供スルト共ニ補修工事ト並行シ固定堰ノ補強ニ努メタリ其ノ後昭和七年三月補修工事ノ竣功ニ伴ヒ可動堰、床固、床留等ノ新設構造物ヲモ併セ維持シ來レリ

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ掘鑿工事三箇所、築堤工事一箇所、護岸工事一箇所、堰堤工事一箇所、床固工事二箇所、混凝土方塊製作工事ノ外新ニ起工セル五千石右岸堤防修補工事、閘門及洗堰附近浚渫第十回工事、洗堰修理第五回工事、可動堰修理第三回工事、大河津床留増補工事、石港床留増補工事、閘門洗堰及可動堰運轉第十回工事、混凝土方塊製作第八回工事ノ十七工事ヲ施行シ内掘鑿工事一箇所、築堤工事一箇所、護岸工事一箇所、堰堤工事一箇所、床固工事一箇所、閘門洗堰及可動堰運轉、混凝土方塊製作二工事ノ八工事ヲ竣功セシメ爾餘ノ九工事ハ未竣功ニ終レリ其ノ概況左ノ如シ

浚渫工事ハ沈澱土砂ヲ除却シ航行ノ利便ヲ計ル目的ヲ以テ閘門ノ上下流ニ於テ電動唧筒又ハブリストマン式浚渫船ヲ以テ施行セリ

掘鑿工事ハ低水路幅員ヲ擴大シ河床ノ侵蝕ヲ防止スル目的ヲ以テ新信濃川固定堰下流高水敷、三島郡大河津村大字新長地先高水敷並ニ西蒲原郡國上村大字渡部及三島郡寺泊町大字野積地先高水敷ニ於テ人力ヲ以テ施行セリ

築堤工事ハ左岸堤防ノ沈下箇所或ハ法面損傷箇所ニ對シ復舊ヲ行ヘリ

護岸工事ハ右岸三島郡大河津村大字五千石地先ニ於テ施行セリ

可動堰修理ハ可動堰、鋼扉、捲揚機、鋼構脚橋等鐵構造物ノ塗裝並ニ其ノ他ノ修理ヲ施行セリ

床固修理ハ第一床固ニ於テ木工沈床二百六十四平方米、粗朶沈床六百九十六平方米、混凝土方塊沈設一千二百平方米ヲ施行セリ

床留修理ハ五千石床留ニ於テ捨石五十立方米ヲ施工シ同修理ヲ竣功セシメタリ

大河津床留ニ於テハ低水路幅員擴大ノ爲メ新ニ増補工事ヲ施行シ木工沈床四百八十平方米、粗朶沈床百二十平方米ヲ、石港床留ニ於テハ同様ノ目的ヲ以テ粗朶沈床八十平方米、護岸根固メ杭柵百十八米、石張四百三十二平方米ヲ施工セリ

洗堰修理ハ角落桁ノ腐朽又ハ損傷セルモノヲ三十七挺取換補足シ其ノ他鋼扉ノ塗裝並ニ修理ヲ行ヘリ

閘門ハ三千六十六回ノ開閉ヲ行ヒ發動機船六千四百十五隻ノ通航アリタリ其ノ他閘門、洗堰及可動堰ノ運轉ヲ行ヒタリ

本年度ノ竣功額ハ十萬九千七百十七圓ニシテ起工以來ノ累計ハ百六十萬五千二百二十圓トナリ之ヲ總工費二百五萬二千七百四圓ニ比スレバ七割八分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
浚渫	11,810.111米	11,810.111圓	0	0	11,810.111米	11,810.111圓	0.0%
堰堤	0	0	0	0	0	0	0.0%
閘門	0	0	0	0	0	0	0.0%
洗濯堰	0	0	0	0	0	0	0.0%
可動堰	0	0	0	0	0	0	0.0%
及門運	0	0	0	0	0	0	0.0%
護岸	3,233米	3,233.000圓	1,777米	1,777.000圓	5,010米	5,010.000圓	0.0%
床固	0	0	0	0	0	0	0.0%
掘鑿	4,100.000立米	4,100.000圓	2,263.333立米	2,263.333圓	6,363.333立米	6,363.333圓	0.0%
築堤	0	0	0	0	0	0	0.0%
採石	3,766立米	3,766.000圓	0	0	3,766立米	3,766.000圓	0.0%
材料運搬	0	0	0	0	0	0	0.0%
地料	0	0	0	0	0	0	0.0%
船用及機械費	0	0	0	0	0	0	0.0%
其他	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	11,810.111米	11,810.111圓	4,040.333米	4,040.333圓	15,850.444米	15,850.444圓	0.0%

第二章 河川附屬物及水路維持工事 (信濃川維持工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	測量費
10,000,000	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000
	1,130,000	1,978,700	2,250,000	1,011,000	1,131,000

## 第五 荒川維持工事

本工事ハ荒川下流改修工事ニ於テ二十箇年ノ歲月ト工費三千百三十四萬四千圓ヲ以テ昭和五年度ニ竣功ヲ告ゲタル新荒川及荒川ニ於ケル維持修補ヲ施行スルモノニシテ總工費二百五十萬圓ヲ以テ昭和五年度ヨリ同十四年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業トシテ施行中ノ處政府財政緊縮ノ爲メ昭和六、七兩年度ニ於テ工費五十五萬四千七百七十七圓ヲ減額シテ總工費ヲ百九十四萬五千八百二十三圓ニ改メ且竣功期限ヲ三箇年度延長シ昭和十七年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ、其ノ區域ハ左岸埼玉縣川口市、右岸東京市王子區袋町以下海ニ至ル新荒川筋二十三軒六、荒川筋二十四軒、計四十七軒六ナリトス

### 施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和五年十一月東京市江戸川區平井四丁目ニ荒川維持事務所ヲ設置シ爾來其下ニ新荒川工場及新荒川監守場ヲ設ケ更ニ新荒川工場ノ下ニ豊島、千住、隅田ノ三派出所ヲ設ケ工事施行監督ヲ分擔セシメ新荒川監守場ノ下ニ岩淵、小名木川、船堀ノ三監守所ヲ置キ各閘門並ニ水門ノ維持管理ヲ施行スルコトトセリ

本工事ハ昭和五年度創業以來高水ノ疏通ヲ益々良好ナラシムル爲メ土砂堆積セル淺所ハ之ヲ浚渫シ河岸崩壞セル箇所ニハ護岸ヲ施シ以テ水路幅ヲ確定シ人車ノ頻繁ナル通行ニ因リ破損セラレタル堤塘ハ其天端及法面或ハ犬走等ヲ修補シ前年度末迄ニ浚渫土量百十七萬七千六百四十七立方尺、築堤土量十二萬六千三百十八立方尺、護岸延長一萬八百八十七米ヲ竣成セリ  
本年度ニ入り浚渫工事ニ於テハ前年度繰越及本年度着手ノ工事無ク築堤工事ハ前年度繰越工事一箇所、本年度着手工事三箇所、計四箇所ヲ施行シ内三箇所ヲ竣功シ一箇所ヲ次年度ニ繰越セリ

護岸工事ニ於テハ前年度繰越工事三箇所、本年度着手工事二箇所、計五箇所ノ内四箇所ヲ竣功シ一箇所ヲ次年度ニ繰越シタ  
 リ外ニ閘門水門ノ維持及修補ヲ施行セリ

尙本工所用諸機械器具ノ製作及修理ハ維持事務所ニ隣接シテ荒川機械工場ヲ設置シテ之ニ當ラシメタリ

本年度ノ竣功高ハ十九萬六千六百九十八圓ニシテ創業以來ノ累計ハ百四十一萬三千七百一圓トナリ之ヲ總工費豫算百九十四  
 萬五千八百二十三圓ニ比較スルトキハ七割三分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「▲」ハ提供材料及勞力費「△」  
 ハ船舶及機械費支辨製作品並ニ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	立米 二二六、三三八	四、九八八	立米 二二、二二九	三、七五五	立米 二三八、五五七	八、七四三	四分
工浚	▲	二、七、八九八	▲	一、一	▲	二、八、五八九	
事護岸水制	▲	二、八、九五一	▲	一、一	▲	二、八、六四九	
費特殊工事	▲	一、四、八〇〇	▲	七、九、九五五	▲	二、二、七、七九五	
船舶及機械費	▲	九、九、八八七	▲	一、八、七八五	▲	二、八、六、七四	
測量身量費	▲	二、七、四八七	▲	一、五、一八七	▲	九、九、六、七四	
營業繕費	▲	二、一、九六九	▲	九、七、七四〇	▲	二、三、七、七〇九	
雜費	▲	九、七、七三三	▲	九、七、七三三	▲	一九、五、四六六	
共濟組合給與金	▲	一、三、〇〇〇	▲	四、〇、〇〇〇	▲	五、三、〇〇〇	
合計		四、九八八		三、七五五		八、七四三	

總計	臨時家族手當	費目	
		數量	金額
		前年度迄竣工高	
		數量	1
		金額	1,111,711.1 圓
		本年度竣工高	
		數量	1
		金額	1,355 圓
		合計	
		數量	2
		金額	1,113,066.1 圓
		步竣工合功	1 割分

## 第六 多摩川維持工事

本工事ハ多摩川改修工事ニ於テ十六箇年ノ歲月ト工費七百二十一萬餘圓ヲ以テ昭和八年度ニ竣功ヲ告ゲタル多摩川下流ニ於ケル維持修補ヲ施行スルモノニシテ總工費百十萬圓ヲ以テ昭和八年度ヨリ同十七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ施行中ノ處政府財政ノ都合ニ依リ昭和十二年度ニ於テ施行年度ヲ一箇年度延長シ昭和十八年度ニ至ル十一箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ其區域ハ左岸東京市世田谷區砧町以下右岸神奈川縣川崎市高津町以下海ニ至ル約二十二村ナリトス

多摩川改修工事ハ大正七年度ニ於テ起工爾來銳意工ヲ進メ昭和八年度ヲ以テ全ク竣功ヲ告ゲ其結果沿岸七千ヘクタールニ及ブ水害ノ慘禍ヲ根絶シタルハ勿論進ンデ水利改善ノ實ヲ舉ゲ得タリト雖モ之ガ效果ヲ恒久ナラシムルニハ一ニ其維持修補ノ宜シキニ俟タザルベカラズ然ルニ本川ハ帝都ニ近接シ且東京、神奈川ノ兩府縣界ヲ貫流シ水利上極メテ重要ナル河川ニ屬スルヲ以テ之ガ維持ヲ一般河川ノ如ク府縣ニ委ネンカ施設上ノ統一ヲ缺キ或ハ種々ナル地方事情ニ禍サレ期年ナラズ舊時ノ亂流狀態ニ復スベシ斯クテハ既ニ十數年ノ歲月ヲ費シ巨額ノ國帑ヲ投ジテ達成セル改修ノ效果ヲ空ウスル虞ナシトセズ茲ニ於テ政府ハ之ガ維持工事ヲ國ノ直轄トシ前記ノ如ク施行スルコトナレリ

### 施工狀況

本維持工事ハ昭和八年度ヨリ開始セルモ初年度ニ於テハ猶改修殘工事ヲ併施セル關係ト又一ニハ諸準備時代ニ在リタルヲ以テ本工事ニ見ルベキモノナク同年六月川崎、田園調布ノ二工場ヲ設置シ之ニ夫々從務員ヲ配シ前者ニハ下流部ヲ、後者ニハ上流部ヲ擔當セシメ爾來本工事モ順次進捗シ茲ニ八箇年ヲ經過セリ而シテ本年度迄ニ施行シタル工事ヲ舉グレバ堤防修補ニ

十二箇所、護岸水制二十箇所（一箇所未竣功）、高水敷地均工事四箇所、野芝殖栽工事一箇所並ニ低水路浚渫工事四箇所ナリ而シテ本年度施行セルモノハ前年度ニ於ケル未竣功ノ工事ヲ繼續セルモノ四箇所、新ニ着手セルモノ三箇所ニシテ内一箇所ヲ除キ他ハ竣功セリ

今本年度施行セル工事ニ付略述セン

築堤工事ニ在リテハ昭和十五年度川崎堤防修補工事ハ左岸蒲田區下丸子町以下、右岸川崎市下沼部以下海ニ至ル延長二萬三千二百十三米ニシテ四月着手年度末竣功セリ

昭和十五年度田園調布堤防修補工事ハ左岸世田谷區宇奈根町以下、大森區調布嶺町二丁目ニ至ル間並ニ右岸川崎市高津町以下上丸子ニ至ル延長七千四十五米ニシテ年度末竣功セリ

東町堤防修補工事ハ神奈川縣川崎市東町地先多摩川筋右岸延長二百六十五米ノ堤防ヲ修補スルモノニシテ昭和十四年十二月着手シ前年度ニ於テ五分通竣功シ本年度之ヲ繼續シテ七月之ヲ竣功セリ

堤防修補用野芝ヲ採取スル目的ヲ以テ川崎市向河原地先高水敷ニ野芝殖栽工事ヲ起セリ即チ工費三千圓ヲ以テ昭和十四年十一月着手前年度八分通り竣功シ本年度繼續シテ五月之ヲ竣功セリ

浚渫工事ニ於テ玉川高水敷地均工事ハ東京市世田谷區玉川地先設計土量一萬八千立方メートルニシテ昭和十五年三月着手シ前年度施行土量四千七百四立方メートル、本年度一萬三千五百五十六立方メートルヲ施行シ昭和十五年八月竣功セリ

護岸水制工事ニ於テ玉川護岸工事ハ東京市世田谷區玉川町地先低水護岸ニシテ昭和十四年四月工費一萬八千六百圓ノ豫算ヲ以テ着手シ前年度八分通り竣功シ本年度一分通りノ竣功ニテ次年度ニ繰越トナレリ

玉川護岸根固工事ハ東京市世田谷區玉川町地先低水護岸ノ根固工事ニシテ昭和十五年七月工費五千七百圓ノ豫算ヲ以テ着手シ同年十二月之ヲ竣功セリ

本維持工事ハ開始以來茲ニ八箇年ヲ經過セシガ最初兩三年ハ砂利砂亂盜掘ノ取締ニ主力ヲ注ギタル結果本工事ノ施設上影響  
 スル處大ナリシ爲メ其見ルベキモノ少カリシガ其後ハ順調ニ進ミ本維持工事計畫ニ添ヒ一層ノ效果ヲ擧ゲタレドモ本年度ニ  
 至リ使傭人夫ガ諸會社ニ轉傭セラレ減少セル爲メ豫期ノ目的ヲ遂ゲ得ザリシハ寔ニ遺憾トスル處ナリ  
 本年度ノ竣功高ハ十萬三百三圓ニシテ創業以來ノ累計ハ八十三萬八百四十六圓トナリ之ヲ總工費豫算百十萬圓ニ比較スルト  
 キハ七割五分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「▲」ハ提供材料及勞力費「◎」ハ遞信省委託工事費支辨「△」ハ船  
 舶及機械費支辨製作品價額「○」ハ評價品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本築堤	立米 10,906	4,410.00	立米 1,100	1,913.90	立米 12,006	6,323.90	0.76
工浚	立米 5,676.65	1,839.00	立米 3,156	6,155.50	立米 8,832.65	7,994.50	
事護岸水	立米 10,858	1,141.00	立米 1,500	5,278.00	立米 12,358	6,419.00	
船及機械費	立米 1,171	1,000.00	立米 1,171	9,411.00	立米 2,342	10,411.00	
測量費	立米 1,870	1,000.00	立米 1,870	2,111.00	立米 3,740	3,111.00	
營繕費	立米 1,960	1,000.00	立米 1,960	5,991.00	立米 3,920	6,991.00	
雜費	立米 1,150	1,000.00	立米 1,150	2,111.00	立米 2,300	3,111.00	
共濟組合給與金	立米 9,468	1,000.00	立米 2,695	4,784.00	立米 12,163	5,784.00	

第二章 河川附屬物及水路維持工事 (多摩川維持工事)

總計	臨時家族手當	費目	
		數量	金額
		前年度迄竣功高	
		數量	金額
		本年	本年
		數量	金額
		合	合
		數量	金額
		竣功	竣功
		數量	金額
		合計	合計
		數量	金額
		合計	合計

本工事ハ北上川維持工事ニ於テハ...

## 第七 北上川維持工事

本工事ハ北上川改修工事ニ於テ施行シタル脇谷閘門、鵠波洗堰、脇谷水門及飯野川可動堰ノ管理維持修繕並ニ北上川筋左岸宮城縣本吉郡柳津町地内、右岸同縣登米郡豊里村地内兩岸標柱以下、左岸同縣桃生郡桃生村地内、右岸同縣登米郡豊里村地内兩岸標柱ニ至ル間ノ水路及附屬物(前記閘門洗堰及水門ヲ除ク)新北上川筋新北上川分流點以下、左岸宮城縣桃生郡飯野川町地内、右岸同郡二俣村地内兩岸標柱ニ至ル水路及附屬物(前記可動堰ヲ除ク)ノ維持修繕ヲ總工費七十四萬一千圓ヲ以テ昭和八年度ヨリ同十七年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ施行中ナリシガ昭和十四年度ニ至リ國庫財政ノ都合ニ依リ工期ヲ一箇年度延長シ竣功年度ヲ昭和十八年度ニ改メタリ

### 施工狀況

本工事施行ニ關シテハ桃生郡飯野川町相野谷地内ニ事務所ヲ置キ各工事ヲ統轄施行セリ

浚渫工事ニ於テハ脇谷閘門上流即チ新川路分流點附近ハ上流ヨリ流下セル土砂年々堆積シ中洲ヲ生ジ水流ヲ沮ミ尙航路維持上放置シ難キヲ以テ浚渫スル事トシ前年度着手シ引續キ施行中ノモノニシテ本年度土砂一千四百三十一立方米ヲ浚渫シ殘餘ヲ次年度ニ繰越セリ

築堤工事ハ桃生郡大谷地村大字小船越及飯野川町大字成田地内延長百十米ニ互リ法覆工ヲ施行スル事トナリ本年度着手シタルモ法覆用割石ノ一部斫出運搬ヲシタルノミニテ次年度ニ繰越セリ又前記地内堤防延長百五十米ニ對シ小船越第二堤防補修工ヲ施ス事トナリ本年度着手シ築立土量一千八百七十立方米ヲ施行シタルモ竣功ニ至ラズ次年度ニ繰越セリ尙飯野川町大字成田地内堤防延長三百二十四米ニ對シ本年度成田堤防補修工ニ着手シ築立土量百四立方米ヲ施行シタルノミニテ竣功ニ至ラ

ズ次年度ニ繰越セリ護岸工事ニ於テハ新北上川筋右岸可動堰上流成田第三護岸ハ前年度ヨリ引續キ本年度ニ於テ石張二千四百平方米ヲ完成シテ延長四百米ニ互ル工事ヲ又合戦谷床固下流左岸彎曲部ニ前年度ヨリ引續キ施行中ノ合戦谷護岸ハ本年度捨石一千八百七十立方米ヲ投入シ延長八十四米ニ互ル工事ヲ共ニ本年度竣功セシメタリ

可動堰上流右岸既成護岸ニ隣接シ成田第四護岸ヲ又對岸ニ成田第五護岸ヲ各延長四百米ニ互リ施行スル事トナリ本年度末着手シ兩岸共基礎杭打ヲ了セルモ石張ニ至ラズ次年度ニ繰越セリ

鴛波洗堰下流水路兩岸ハ浸蝕崩壞セラレタルヲ以テ前年度ニ於テ着手セル鴛波第二護岸ハ本年度殘餘ノ石張六百七十五平方米ヲ完成シ延長二百一十一米ニ互ル工事ヲ竣功セシメタリ又前記護岸ノ下流モ浸蝕崩壞セラレタルヲ以テ之ヲ鴛波第三護岸トシテ延長二百三十米ニ互リ本年度着手シ基礎杭打ヲ了シ石張百八十二平方米ヲ施行シタルモノミニテ次年度ニ繰越セリ

新北上川筋左岸桃生郡飯野川町大字相野谷地内堤防ハ高水時堤防法先洗掘セラレタルヲ以テ相野谷第四護岸トシテ前年度ニ引續キ本年度柳枝工九百平方米ヲ施行シ殘餘ノ工事ヲ次年度ニ繰越セリ

鴛波洗堰上流側左岸寄袖石垣法先深掘箇所ニ前年度ニ引續キ施行中ノ鴛波洗堰上流床固ハ本年度捨石四百三十二立方米ヲ投入シ延長四十五米ニ互ル捨石床固工ヲ竣功セリ又是ヨリ上流鴛波洗堰水路入口左岸寄深掘セラレ延イテハ締切堤ニモ影響ヲ及ボス虞アルニ至リタルヲ以テ延長四十米ニ互リ鴛波洗堰上流第二床固ヲ施行スル事トシ本年度着手シ捨石百十三立方米ヲ投入セルニ止マリ竣功ニ至ラズ次年度ニ繰越セリ

飯野川可動堰脇谷閘門等ノ特殊重要構造物ニ對シテハ常ニ監視ヲ充分ニシ維持修繕ヲ完全ニ爲スコトニ努メ之ガ圓滑ナル運用ヲ期シツツアリ飯野川可動堰ニ於ケル本年度ノ主ナル修繕ハ降開式轉堰ニ於テ捲揚臺及閘ノ補強並ニ修繕ヲ爲シタリ又昇開式及降開式轉堰捲揚用石油機關三臺ノ修繕ヲ爲シタリ又本年ハ瓦斯倫ノ使用極度ニ規整セラレタルヲ以テ右三臺ノ内一臺ヲ石油使用ニ改造セリ此結果ハ從來ヨリ稍能率低減セルモ異狀ナク運轉シツツアリ脇谷閘門ニ於テハ通水部扇形扉一個

ノ修繕ヲ鹽釜機械工場ニ於テ施行セリ尙可動堰、閘門、水門等ノ扉及其ノ他ノ金物ニハ錆落シ塗裝ヲ完全ニシ是ガ腐蝕防止ニ努メタリ

可動堰、洗堰、閘門、水門ノ扉開閉ハ高水調節及灌漑用水取入、惡水排除並ニ通航舟筏ニ便ヲ與フル爲メ隨時之ヲ行ヒ本年度可動堰ハ昇開堰ニ於テ百二回、降開堰ハ百十八回、脇谷水門ハ八回、脇谷閘門ハ一千七百六回ノ開閉運轉ヲ見タリ脇谷閘門ニ於ケル本年度通閘舟筏數ハ二千五百二十三隻ニシテ昭和五年度通閘開始以來本年度迄ノ累計通閘舟筏數ハ三萬七千三百十八隻ナリ本年度竣功高ハ八萬三千五百一十一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ五十五萬三千二十九圓ナリ之ヲ總工費七十四萬一千圓ニ比スレバ約七割五分ノ竣功高ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
浚渫	立米 七四、四一九	一五、五二二	立米 一、四三二	一七、三三三	立米 七五、九五一〇	一七、六四四	〇・二八
築堤	立米 四、七九〇	三九、八四九	立米 一、九七四	四、五六一	立米 六、七六四	四、〇〇〇	〇・五九
護岸	立米 一〇、八七七	三、〇七六	立米 九九五	三、〇〇三	立米 二〇、八七二	二、〇七六	〇・八六
床固	立米 三、五〇八	一、八〇一	立米 九九五	三、〇〇三	立米 七、四〇三	三、〇七六	〇・四一
可動堰	立米 一、〇〇〇	二、一九五	立米 一、〇〇〇	三、一九五	立米 二、〇〇〇	二、〇〇〇	一〇〇
閘門	立米 一、〇〇〇	七、八〇五	立米 一、〇〇〇	一〇、一〇一	立米 二、〇〇〇	八、一〇一	一〇〇
洗堰及水門	立米 一、〇〇〇	六、一二九	立米 一、〇〇〇	四、四四四	立米 二、〇〇〇	六、五七二	一〇〇
特殊工開閉	立米 一、〇〇〇	二、三七八	立米 一、〇〇〇	三、三三三	立米 二、〇〇〇	二、三七八	一〇〇

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
船舶及機械費		四、六三三		七、六二二		四〇、一四三	六分
測量費		二、三〇〇		一、八八八		一四、一八一	
營業繕費		七、四四〇		八七三		六、五六七	
雜費		九七、六一四		一九、五三三		一、七、一四〇	
共濟組合給與金		三、五五二		八七七		五、四一〇	
臨時家族手當				九〇九		九〇九	
總計		四六、五二八		二八、五二二		四九、〇五〇	〇・五八

第二章 砂防工事

## 第三章 砂防工事

### 第一 淀川流域(瀬田川)砂防工事

本工事ハ明治十一年度ヨリ淀川全流域ニ互リ施行中ノ處同四十年年度以降十箇年度繼續事業トシテ工費三十萬圓ヲ計上シ淀川流域中瀬田、木津兩支川流域ニ於テ施行ノコトトナリシガ其後數次ニ互リ之ヲ追加延長セラレ即チ昭和四年度ニ至ル二十三箇年度繼續事業トシ工費六十九萬圓ト改定セラル而シテ昭和二年度ニ於テ本工事中木津川流域ニ屬スル分ハ之ヲ別途計畫トシテ分離セラレシヲ以テ爾來瀬田川流域ノミヲ元計畫ノ下ニ施行シ來リ昭和四年度ヲ以テ豫算計畫期間滿了トナリシモ尙荒廢地廣汎ニシテ且急施ヲ要スル箇所多キヲ以テ更ニ同五年度ヨリ工費三十萬圓、工期十箇年度ノ事業トシテ施行中財政緊縮ノ爲メ減額或ハ繰延トナリ更ニ昭和十五年年度ヨリ同二十四年度ニ至ル十箇年度九萬九千九百圓ヲ追加計上セラレ結局工事三十七萬九千四百圓ヲ以テ昭和五年度ヨリ同二十四年度ニ至ル二十箇年度ノ繼續事業トナレリ

### 施工狀況

創業以來累次工ヲ進メ漸次良好ナル結果ヲ擧ゲツツアリト雖モ工費僅少ナル爲メ功程遅々トシテ進マズ前途尙遼遠ノ感アリ本年度施行ニ係ル上流部ハ前年度ニ接續シ甲賀郡北杣村大字牛飼字岩出及同郡雲井村大字牧字稻葉竝ニ本年度新タニ起工セル雲井村大字黃瀬字金山ノ三箇所ニ山腹工事ヲ施行セリ

下流栗太郡地先ニ於テハ下田上村大字森字舍利尾ニ前年度施行地ニ山腹工事ヲ接續施行シ同字五味谷ニハ山腹補修工事ヲ施

行セリ

而シテ本年度ノ竣功表ハ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本堰	箇所 一〇	四、二五〇	〃	〃	箇所 一〇	四、二五〇	一・〇〇
工事	立米 九七八	〃	〃	〃	立米 九七八	〃	一・〇〇
護岸	三三三米	三、五九九	〃	〃	三三三米	三、五九九	一・〇〇
山腹	ヘクタール 一、二七	一、〇〇〇	ヘクタール 四	八、〇七二	ヘクタール 一、二七	一、〇〇〇	〇・二〇
船舶及機械費	〃	八、五二八	〃	三〇二	〃	八、八三〇	〃
測量費	〃	九二	〃	五四	〃	一、〇〇	〃
營業繕費	〃	五三	〃	〃	〃	五三	〃
雜費	〃	五七、一九一	〃	一、五九九	〃	五八、七九〇	〃
共済組合給與金	〃	二、一〇二	〃	六九	〃	二、一七二	〃
臨時家族手当	〃	〃	八四	〃	八四	〃	〃
總計	〃	一、〇七、〇七二	一〇、一七〇	一、〇七、〇七二	一〇、一七〇	一、〇七、〇七二	一〇・七六

淀川流域砂防工事一七二

## 第一 富士川流域砂防工事

本工事ハ明治四十四年度ヨリ昭和四年度ニ至ル十九箇年度繼續事業トシテ毎年度工費七萬五千圓、總工費百四十二萬五千圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ其後既定工費ヲ百四十一萬一千圓ニ改メ同時ニ年割額ヲ變更シ且施行年度ヲ二箇年度延長施行中ノ處一般財政緊縮ノ爲メ昭和五年度以降減額シテ總工費ヲ百三十八萬四千二百三十七圓ニ改メ施行年度ヲ延長セシガ事業區域ノ擴張ト農山村振興、時局匡救等ノ爲メ昭和七年度以降同十年度迄年次ニ互リ工費二十四萬四千圓ヲ増額シ更ニ同十一年度ニ至リ工費二十二萬七千二百七十圓ヲ増額スルト共ニ施行年度ヲ昭和十五年迄延長施行中支那事變ニ伴フ政府財政ノ都合ニ依リ二箇年度ヲ延長シ昭和十七年度ニ至ル三十二箇年度繼續事業トシテ總額百八十五萬五千五百七圓ヲ以テ施行スルコトトナレリ

其施工區域ハ富士川支川笛吹川小支日川筋、釜無川支川御勅使川筋及釜無川上流ノ本支川並ニ富士川支川早川筋ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ明治四十四年度ノ創業ニ係リ大正五年度迄ハ主トシテ舊川筋東山梨郡勝沼町以下ニ施行シ此ノ期間ニ水制七十四箇所、護岸一箇所、堰堤一箇所、低水路掘鑿二十六萬五千立方米ヲ完成セリ是等ノ施設ニ依リ水流ハ一定ノ法線内ニ集リ河床ハ漸次低下シ約三十二ヘクタールノ石河原ヲ豊饒ナル田畑ト化スルニ至リ極メテ良好ナル結果ヲ得タリ

依テ勝沼町附近ノ工事ハ補修ニ止メ同九年度以降ハ其ノ上流山間部ニ堰堤十三箇所、床固二箇所ヲ施行シ昭和七年度ニ至リ一時休工セシガ昭和八年度ニ於テ堰堤水通保護工事一箇所ヲ施行本川筋ノ工事ヲ完了スルニ至レリ

起工以來ノ累計功程ハ浚深二十六萬一千二百六十二立方米、護岸水制七十六箇所、堰堤十三箇所、床固四箇所ナリ

御勅使川筋ニ於テハ大正五年度ヨリ中巨摩郡安村及源村地内ニ堰堤十一箇所並堰堤増設工事及是等ニ附隨スル工事又ハ堰堤補修工事ヲ施行シ起工以來ノ累計功程堰堤十二箇所、床固二箇所、護岸三箇所ニシテ昭和八年度ヲ以テ完成セリ

尙舊川、御勅使川筋ノ工事完成ニ近ヅキ昭和七年九月ヨリハ時局匡救ノ目的ヲ以テ富士川流域砂防費ヲ追加増額シ早川筋及釜無川上流ニ昭和十年度迄繼續施工シ更ニ昭和十一年度ヨリハ五箇年度繼續事業トシテ前記兩川筋ニ工事ヲ施行スルコトトナレリ

釜無川筋ニ於テハ昭和七年九月以來本年度迄左岸長野縣諏訪郡落合村、右岸山梨縣北巨摩郡鳳來村地先ニ大澤、同下流、白谷、唐澤ノ四堰堤、大澤、廣岩、白獅子、有洞薙ノ四護岸、カヒツケ澤、二ツ薙ノ二床固、カヒツケ澤、花場坂、同第二絡窟及花場坂補修工事ノ五山腹工事、花場坂水制並本川筋カヒツケ澤、白獅子間三千六百米ノ區間ノ除石工事ヲ施行シ内唐澤堰堤工事ヲ除キテハ何レモ竣功セリ

早川筋ニ在リテハ釜無川ト同時ニ山梨縣南巨摩郡本建村地先春木川筋ニ仲島、枋原、同第一副ノ三堰堤、枋原床固、同増嵩及補修、枋原、高住、同第二ノ三護岸並高住護岸補修工事、高住同第一、同第二ノ三水制及流末一千二百米ノ區間除石工事ヲ施行シ昭和十一年七月ヲ以テ全部竣功セシメ工事ノ都合上一時本川筋工事ヲ中止セリ

本年度ハ釜無川筋ニ於テ前年度ヨリ施行中ノ唐澤堰堤工事ヲ引續キ施行、設計ニ對シ六分六厘通りノ竣功歩合ヲ以テ未竣功ノ儘本年度ヲ終了セリ

而シテ昭和七年度起工以來ノ(春木川筋ヲ含ム)累計工程ハ堰堤七箇所(副堰堤ヲ含ム)、床固二箇所、護岸水制十一箇所、山腹工事五箇所(補修工事ヲ含ム)除却セル轉石及砂礫一萬八百四十八立方米トナレリ

尙本年度工事費竣功高ハ二萬八千九百八十二圓、起工以來ノ累計ハ百七十九萬三千六百二十圓ニシテ總工費百八十五萬五千五百七圓ニ對シ約九割七分ノ竣功ニ當レリ

次ニ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本 費	立米	円	立米	円	立米	円	割分
濬	22,110	22,110			22,110	22,110	
護 岸 水 制	箇所	円	箇所	円	箇所	円	割分
堤	3	30,120	1	10,401	4	40,521	
工 事 費							割分
堰	3	9,170			3	9,170	
床 固							割分
山 腹	10	110,000			10	110,000	
用 地 費							割分
船 舶 及 機 械 費							
測 量 費							割分
營 繕 費							
雜 費							割分
共 濟 組 合 給 與 金							
臨 時 家 族 手 當							割分
總 計		1,774,626		284,922		2,059,548	

### 第三 信濃川水系砂防工事

本工事ハ信濃川流域砂防工事ノ改稱ニシテ大正七年度以來ノ繼續事業トス其沿革ヲ記スレバ當初五箇年度繼續事業トシテ工費豫算三十一萬四千百圓ヲ以テ幹川千曲川及支川犀川兩流域ニ於テ急施ヲ要スル荒廢溪流ニ施行セシガ其後工費三萬四千五百圓ヲ増額シ總工費三十四萬八千六百圓(長野縣負擔額十一萬六千二百圓)ヲ以テ大正十一年度終了セシヲ以テ新ニ工費四十萬八千圓ヲ以テ同十二年度ヨリ昭和六年度迄ノ繼續事業トシテ施行スル豫定トセリ然ルニ昭和四年度以降ニ於テ國庫財政ノ緊縮ニ依リ事業繰延又ハ節減等ヲ行ヒ結局工費八千九百十圓ヲ減額シ且工期モ亦一箇年度延長シ昭和七年度ニ完成セシムル豫定ナリシモ廣汎ナル千曲川及犀川兩流域ノ水源地方ニハ尙數多ノ荒廢溪流アリテ是等ノ内特ニ急施ヲ要スル箇所ヲ選ビ昭和七年九月先以テ工費六萬圓ノ追加ヲ得 其後八年度ニ八萬五千六百八十一圓、九年度ニ五萬四千圓、十年度ニ四萬圓ヲ遞次追加シ以テ從來ノ平穩 本郷、陸郷、入山邊村ノ各地内ノ各砂防工事ノ完成ヲ期スルト共ニ一面梓川筋、檜澤川筋等ノ工事ニ着手スルコトトナリ梓川筋ヲ除キ概ネ昭和十年度ニ於テ完成ヲ告グルニ到レリ然ルニ梓川筋ハ着工後日淺キヲ以テ僅々數箇所ニ於テ工事ヲ施行シタルニ過ギズ到底所期ノ目的ヲ達成シ得ザルニ依リ昭和十一年度ニ於テ更ニ工期五箇年度ヲ延長シ工費二十二萬七千二百七十圓ノ追加ヲ見ルニ到リ結局昭和十五年度迄繼續施行スルコトトナレリ因ニ創業以來ノ工費總額ハ百二十一萬四千六百四十一圓(内長野縣負擔額四十萬四千九百三十七圓)ナリトス

### 施工狀況

大正七年度ヨリ昭和十年度ニ至ル十八箇年度ニ互リ施行セル箇所ハ千曲川流域ニ於テハ横湯川、犀川流域ニ於テハ木澤、八代澤、岡田川、女鳥羽川、薄川、梓川、檜澤川其ノ他ノ流域ニシテ其ノ工種ハ溪流工事トシテ粗石混凝土堰堤、石堰堤、床

固、護岸、山腹工事トシテ山腹石積、水路張石、積苗其ノ他トス

梓川流域ニ於テハ昭和七年度ニ至リ農村振興土木事業トシテ工事ヲ開始セルモ單年度工事ナルニ加ヘ豫算額僅少ノ爲メ唯荒廢特ニ甚シキ小支川障子川瀨、榛澤ニ堰堤三箇所及梓川本流ニ沿ヘル松本、船津線ノ道路側ニ山腹工三箇所ヲ施行シ當面ノ被害ニ備ヘタルニ過ギズ

本年度ハ昭和十一年度以來繼續施行シ來レル釜ヶ淵上流堰堤ヲ施行シ七百五立方米ヲ築立テ高平均二十六米ニ達セリ

本年度ノ竣功額ハ三萬七百九圓ニシテ創業以來ノ累計ハ百二十萬九千八百三十八圓トナリ之ヲ總工費百二十一萬四千六百四十一圓ニ比スレバ九割九分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ表中「▲」ハ寄附額ヲ示ス而シテ臨時家族手當ハ雜費中ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
堰堤	立米	585,500	▲	1,500	立米	587,000	100%
山腹		1,010				1,010	100%
岸腹		1,111				1,111	100%
運搬		10,000				10,000	100%
材料		10,000				10,000	100%
地費		100				100	100%
船及機械費		10,110		100		10,210	100%
測量費							
合計		706,620	▲	1,600		708,220	100%

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
營繕費	立米	二四、八三六	三三	四	二五、一七〇	四
臨時手当當		一、九三〇			一、九三〇	
退職手当當		四			四	
雜費		三、四四〇	一〇、八二四		一四、二六四	
共濟組合給與金		五、七三九	一、七		五、七五六	
臨時家族手当當		一	一五六		一五六	
總計		一、一〇九、八三六	三〇、七〇一	一、一〇九、八三六	一、一〇九、八三六	二、二一九、六七二
						〇・九二

## 第四 鬼怒川流域砂防工事

本工事ハ大正七年度ヨリ昭和四年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ總工費三十九萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ其後諸物價騰貴ノ爲メ大正八年度以降三回ニ亙リ二十七萬四千五百圓ヲ増額シ總工費ヲ六十六萬四千五百圓ニ改メ施行年度ヲ三箇年度延長シ昭和七年度迄ニ竣功セシムルコトナレリ然ルニ一般財政緊縮ノ爲メ昭和五年度以降工費一萬三千二百二十九圓ヲ減額スルト共ニ竣功期限ヲ延長施行中ノトコロ事業區域ノ擴張ト時局匡救、農山村振興事業ノ爲メ昭和七年度ヨリ同十年度迄年次ニ亙リ二十四萬四千圓ヲ追加増額シ更ニ昭和十一年度ニ至リ工費十八萬一千八百十五圓ヲ増額スルト共ニ施行年度モ昭和十五年度迄延長、事業遂行ニ努メ居リシモ政府財政、都合ニ依リ昭和十二年度ニ於テ尙一箇年度ヲ延長シ昭和十六年度迄二十四箇年度ノ繼續事業トシテ百七萬七千八百六圓ヲ以テ施行スルコトナレリ其區域ハ栃木縣上都賀郡日光町鬼怒川支川大谷川筋及支川稻荷川筋竝同川小支荒澤及鳴澤筋、同縣鹽谷郡三依、栗山兩村地内ノ鬼怒川支川男鹿川左支大鹽澤筋及男鹿川右支湯西川左小支廣手澤及明田澤筋ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ大正七年度ノ創業ニ係リ同年度ニ於テ先ヅ稻荷川筋ニ施行、以來前年度迄ニ稻荷川筋ニ堰堤十八箇所、床固六箇所、捨石工事一箇所及既設堰堤補修七箇所、堰堤増補六箇所、床固増設一箇所、荒澤筋ニ堰堤二箇所更ニ鳴澤筋ニ堰堤一箇所、大谷川筋ニ床固四箇所、水制五箇所、護岸一箇所、除石工事一箇所、大鹽澤及廣手澤ニ堰堤各一箇所、明田澤ニ堰堤二箇所ヲ施行セル結果何レモ相當ノ成果ヲ收メツツアリ就中稻荷川中流部以奥及大谷川筋ニ於ケル本工事施行箇所附近ノ河狀ハ頓ニ革マリ昔日ノ荒廢狀態ハ再見スルヲ得ズ其效果ハ自ヲ逐フテ顯著ナリ

稻荷川筋川口ヨリ四百米ノ區間ニハ多量ノ土石河心ニ堆積シ爲ニ水流ハ右岸ニ或ハ左岸ニ偏倚セラレ極度ノ亂流ヲ起シ漸次兩岸護岸ノ基礎ヲ侵蝕セラルルノ虞アリタルヲ以テ是等護岸基礎ノ安定並ニ流身ヲ整備セシムル目的ヲ以テ第一次の施行トシテ四箇所ノ床固ヲ設ケ更ニ昭和十二年度ニ於テ距川口二百米ノ地點ニ第五床固ヲ竣功セシメ之ニ依リ川口附近ノ河床ハ全ク整備セラレタリ

然レドモ上流部ニ於ケル砂防施設ノ進捗ニ伴ヒ河床ハ漸次低下ノ傾向ヲ示シ殊ニ第四床固上手約八百米ノ區間ニ互リ栃木縣ニテ施行セル右岸部護岸基礎ハ出水毎ニ脚部ヲ露出スルニ至リ惹テハ既設第四床固右翼部ヲ襲ハンノ状態ニシテ治水ノ萬全ヲ期スル爲メ更ニ上流部ニ數箇所ノ水制付床固ヲ新設スルハ最モ緊要ナリトス

故ニ本年度ハ前年度未竣功ニ終レル稻荷川筋第七、第八床固及第十堰堤増設工事ヲ繼續施行シ新ニ同川筋ニ瀧尾護岸、瀧尾下流護岸ヲ夫々起工セリ第七床固ハ稻荷川筋距川口一千十米ノ地點ニ築設セラレ高四米、長八十六米、築立々積一千三百九十立方米ニシテ二月竣功セリ

第十堰堤ハ稻荷川筋距川口三千八百九十七米ノ地點ニ在リ昭和十四年九月、起工ニ係リ本年度迄ニ約八割ヲ竣功シ後年度へ繰越セリ

第八床固ハ稻荷川筋距川口八百五十米ノ地點ニアリ昭和十四年一月起工、築立々積一千四百十二立方米ニシテ起工以來ノ功程九割三分ノ竣功ニシテ後年度ニ繰越セリ瀧尾護岸ハ稻荷川筋右岸距川口一千九米ヨリ一千四十四米ニ至ル間ニシテ同箇所ハ流路急曲シ水流ノ激突甚シキニ依リ第七床固右岸袖部ハ高水時ニハ溢流ノ虞アルヲ以テ本工事ヲ施工シ既設取付護岸ヲ高サ一米五ヲ增高シ上手へ延長三十五米施行五月中ニ着手シ同月竣功セリ

瀧尾下流護岸ハ稻荷川筋右岸距川口三百三十二米ノ地點ヨリ上手へ延長六十五米ニ互リ施行セルモノニシテ本箇所ハ洪水ノ衝撃ヲ甚シキヲ以テ本工事ヲ施行シ缺潰ヲ防止セントス一月起工シ年度内ニ其工程三割九分ヲ竣功シ未竣功ノ儘後年度ニ繰

越セリ

本年度ノ竣功高ハ三萬六千五百二十六圓ニシテ創業以來ノ累計ハ百六萬六千九百九十三圓トナリ之ヲ總工費豫算百七萬七千八百六圓ニ比較スルトキハ九割九分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本堰堤	未竣功 一五	五九四、三七	未竣功 一	九、七六六	未竣功 一五	六〇四、一三三
工床固	未竣功 二二	一〇五、二一八	未竣功 二	一、五〇九	未竣功 二二	一〇六、七二七
工事護岸水制	未竣功 六	三九、八〇一	未竣功 一	三、五七三	未竣功 七	四三、三七四
費除石	—	—	—	—	—	—
船舶及機械費	—	—	—	—	—	—
測量費	—	—	—	—	—	—
營業繕費	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—
臨時家族手當	—	—	—	—	—	—
總計	—	一、〇一五、一六二	—	一、〇三、八四七	—	一、〇二九、〇〇九
竣功合計	—	—	—	—	—	〇、八二

## 第五 常願寺川流域砂防工事

本工事ハ大正十五年度ヨリ昭和九年度ニ至ル九箇年度繼續事業トシテ工費二百七十三萬六千圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ昭和六年度以降財政緊縮ノ爲メ五十一萬五千七百三十八圓ヲ減額シ二百二十二萬二百六十二圓(内富山縣負擔七十二萬六千九百四十五圓)ト爲シ且工期六箇年度ヲ延長シ昭和十五年度迄ト爲セリ然ルニ本年度ニ於テ工費九十萬九千九十一圓(内富山縣負擔三十萬三千三十一圓)ヲ追加シ工期四箇年度ヲ延長シ昭和十九年度迄トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ大正十五年度ノ創業ニシテ先ヅ工事材料運搬ニ供スル爲メ富山縣中新川郡立山村大字蘆峠寺字藤橋ヨリ水谷平ヲ經テ白岩堰堤箇所ニ至ル延長十六籽ノ軌道工事其ノ他ヲ施行シ昭和四年度ヨリ堰堤工事ニ着手シ昭和十四年度ヲ以テ竣功セリ本年度ハ白岩堰堤上流百四十米ノ箇所ニ高十二米(有効高九米七)長百六十五米、水通幅百米、推定貯砂量四十三萬立方米ナル松尾堰堤ノ築造ニ着手シ諸準備工事ノ完了ト共ニ九月ヨリ築立ヲ實施シ年度内一千二百十三立方米ノ築立ヲ行ヒタリ次ニ護岸裏埋工事モ前年度ニ引續キ施行シ年度内五百九九立方米ヲ盛土セリ本年度竣功額ハ九萬六百四十七圓ニシテ起工以來ノ累計二百二十九萬二千二百二十六圓トナリ總工費三百十二萬九千三百五十三圓ニ比スレバ七割三分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ表中「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本 堰	—	四九、三九〇	—	三九、八七七	—	八八、二八七
工 護 岸	自一號至四號	三三九、五七七	自一號至四號	—	—	三三九、五七七
事 土 留 擁 壁	—	三三、六九九	—	—	—	三三、六九九
費 護 岸 埋	未竣功	一一〇、五九九	未竣功	七三、—	—	一八三、五九九
用 地 費	—	五八	—	—	—	五八
船 舶 及 機 械 費	—	二四、三七〇	—	六、八三三	—	三一、五〇三
測 量 費	—	八、三三八	—	六、八三三	—	一五、二一五
營 繕 費	—	一四、九六五	—	三、八二二	—	一八、七八七
雜 費	—	八三、九七八	—	三、七八三	—	八七、七七六
共 濟 組 合 給 與 金	—	三、七四〇	—	三、七八三	—	七、五二三
臨 時 家 族 手 當	—	三、三三三	—	四、九七九	—	八、三一三
總 計	—	一、一〇一、一〇三	—	一、四〇、七四七	—	二、五〇八、八五〇
						〇・八三三

## 第六 手取川流域砂防工事

本工事ハ昭和二年度ヨリ昭和十四年度ニ至ル十三箇年度繼續事業トシテ工費百九十一萬一千圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ昭和四年度以來數次ニ互リ工費四十一萬八千八百八圓ヲ減額セラレ又工期二箇年度ヲ延長セラレタリ然ルニ昭和九年七月ノ大水害ニ因リ昭和十一年度ニ於テ工費三十六萬三千六百四十圓ヲ追加シ總額百八十五萬六千五百三十二圓(内石川縣負擔六十二萬四百六圓)トシ昭和十八年度ニ於テ竣功セシムルコトトナレリ而シテ其ノ區域ハ幹川手取川及牛首川筋右支宮谷筋及左支柳谷流域其ノ他トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和二年度ノ創業ニシテ昭和九年度迄ニ柳谷ニ九箇所、甚之助谷ニ十四箇所、甚之助谷上ニ十箇所ノ堰堤ヲ竣功セシメ其ノ他施行中ノモノ四箇所所在リシカ同年七月ノ大出水ニハ良ク其ノ效果ヲ發揮セリ

昭和九年七月ノ大水害ニ鑑ミ工費ヲ増額シ區域ヲ擴大シ幹川手取川、牛首川及支川宮谷、別當谷等ニモ施行スルコトトナリ昭和十五年度迄ノ竣功高ハ百三十一萬六千三百六十一圓ニシテ七割一分ノ竣功ヲ示シ起工以來十四箇年度間ニ施行セル堰堤數ハ柳谷十二箇所、甚之助谷二十箇所、甚之助谷上流十二箇所、別當谷四箇所、宮谷二箇所、牛首川一箇所、手取川二箇所、計五十三箇所ニシテ内五十箇所ハ竣功セリ

本年度ハ五月一日ヨリ工事ニ着手シ前年度未竣功ニ終レル甚之助谷上第十八號堰堤、柳谷第十八號堰堤、別當谷第四號堰堤、河内谷堰堤、佛師ヶ野堰堤ヲ施行シ内甚之助谷上第十八號、柳谷第十八號堰堤(打切)ヲ竣功セシメ爾餘ノ三堰堤ハ未竣功ノママ十月十六日工事ヲ休止セリ

本年度ノ竣功額ハ九萬八千九百三十三圓ニシテ起工以來ノ累計百三十一萬六千三百六十一圓トナリ總工費百八十五萬六千五百三十二圓ニ比スレバ七割一分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ表中「×」ハ土木試驗費補給額「△」ハ再用材料評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工費	未竣功	77,100	未竣功	68,800	未竣功	145,900	0.41
堰堤	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
山腹	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
工事材料運搬	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
用地費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
船舶及機械費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
測量費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
營業繕費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
雜費	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
共濟組合給與金	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
臨時家族手當	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
總計	〃	1,111,100	〃	98,600	〃	1,209,700	〃

## 第七 揖斐川流域(根尾川)砂防工事

本工事ハ揖斐川支流根尾川及其ノ沿川ニ施行スルモノニシテ昭和二年度ヨリ總工費百二十五萬圓ヲ以テ十三箇年度繼續事業トシテ施行スル豫定ナリシガ其後數度ニ減額セラレ結局總工費九十六萬八千二百十七圓ヲ以テ昭和十七年度迄施行スルコトトナレリ

### 施工狀況

昭和二年度工ヲ起スヤ直ニ工場ヲ根尾村字樽見ニ置キ其ノ後同村字市場ニ工場事務所ヲ新設シ其下ニ各派出所ヲ設ケ所員ヲ配置シ工事ノ施行監督ニ當ラシメタリ而シテ昭和十三年十月農林省ヨリ移管セシ同一地内ノ現在事務所ニ移リ諸般ノ事務ヲ處理スル事トナレリ本年度派出所ハ能郷、中村、奥谷、板屋ノ四箇所ニ設ケラレタリ

既ニ前年度迄ニ竣功セル工事ハ堰堤三十二、山腹二十三、及護岸二ノ五十七工事ニシテ本年度堰堤工事トシテハ前年度ヨリ繼續セル尾砂第一堰堤工事、屏洞口堰堤工事ニ新規着手ノ半中谷第一堰堤工事、千勝堰堤工事、石原堰堤工事、半中谷第二堰堤工事ノ六工事ニシテ内四工事ハ年度内ニ竣功シ二工事(石原堰堤工事、半中谷第二堰堤工事)ヲ次年度ニ繰越セリ山腹工事ハ前年度ヨリ繼續セル上葛山腹工事ハ之ヲ次年度へ繰越シ施行スル事トナレリ尾砂第一堰堤及屏洞口堰堤兩工事ハ前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ本年度竣功セリ

半中谷第一堰堤、千勝堰堤、石原堰堤、半中谷第二堰堤ノ各工事ハ年度内ニ着手セルモノニシテ半中谷第一堰堤及千勝堰堤ハ共ニ竣功シ石原堰堤ハ二割八分、半中谷第二堰堤ハ三分ノ竣功ヲ見タリ

上葛山腹工事ハ前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ標高一千四十二米ノ山頂近クノ山腹工事トシテ地利甚ダ悪ク派出所ヨリ

現場迄往復三時間ヲ要スル箇所ナレドモ鋭意工事ニカフ注グ結果五割八分ノ竣功ヲ見タリ  
 本年度竣功額ハ三萬四千七百一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ七十五萬五千六百六十三圓トナリ總工費九十六萬八千二百十七圓ニ  
 對シ七割八分ノ竣功トナル但シ表中「△」ハ無代價品評價額「×」ハ苗木培養費ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本埠	三三	三三、一四六	四	一、二七一	三三	三三、一四六	〇・七八
工護	二八七米	一五、五二八			二八七米	一五、五二八	〇・三三
事費	二九四、〇八七	一九六、八六六	×△	一四、二	二九四、〇八七	一九六、八六六	〇・三三
船舶及機械費		二〇、四二二		一、一七二		二〇、四二二	
測量費		二、七三一				二、七三一	
營業繕費		二、九七六	△	一〇、〇		二、九七六	
雜費		一〇、〇〇〇	△	六、三三三		一〇、〇〇〇	
共濟組合給與金		五、二二〇		三三三		五、二二〇	
臨時家族手當				二八〇		二八〇	
總計		七二〇、四三三		三、四、一〇一		七二〇、四三三	〇・七八

## 第八 淀川流域(木津川)砂防工事

淀川支木津川流域ニ於ケル山地ハ古來ヨリ赭兀地各所ニ散在シ其ノ被害特ニ甚シカリシヲ以テ明治十一年砂防工事ヲ直轄施行スル事トナリ之ガ下流部ハ當工場ノ前身棚倉砂防工場之ニ當リ上流部ハ元河合砂防工場ノ前身伊賀砂防工場之ヲ分擔シ相俟ツテ土砂扞止ノ目的ヲ達シツツ在リシガ明治四十年ニ至リ淀川本流域砂防工事トシテ總工費六十九萬圓ヲ以テ木津川及瀬田川ノ二川ニ屬スル水源山地ニ繼續施行スル事トナリ木津川流域ハ當工場並元河合砂防工場之ガ擔當施行スル事トナリタリ然ルニ昭和二年淀川本流域ノ内木津川砂防工事トシテ新ニ總工費四十四萬七千三百圓ヲ以テ十三箇年間ノ繼續事業トナリシガ其ノ後工費減額セラレ尙二箇年間繰延施行スル事トナリ遂ニ總工費三十四萬九千百十四圓ヲ以テ兀地最モ多ク砂害甚大ナル箇所ヲ選ビ施行スル事トナリ工場ヲ各地ヘ移轉シ之ガ功程益々進捗シ順次當初ノ計畫ハ略完成スルニ至リタリト雖モ尙新ニ急施ヲ要スル殘兀地各所ニ點在スルヲ以テ更ニ昭和十六年度ヨリ同二十年度迄五箇年間繼續事業トシテ總工費四萬五千四百五十四圓(外ニ事務費四千五百四十六圓)ヲ追加セラレ之ガ完結ヲ計ルベク本年度割當工費九千圓ノ配賦ヲ受ケ豫定ノ工事ヲ遂行セリ

### 施工狀況

前述ノ如ク創業以來各小支川一圓ニ互リ當初ノ計畫順調ニ進捗シ之ガ大部分ノ竣功ヲ告ゲ其成績最モ顯著ニシテ施行工作物ノ存在セル山地ハ今ヤ流砂ノ虞全ク絶チ中ニハ用材及薪炭材等ノ産出年々増加シ治水並ニ産業助成ノ効顯著ナル箇所在リト雖モ概シテ明治三十年以前ノ工事ニ在リテハ植栽樹木ハ一時的繁茂ニ止マリ數年ニシテ萎縮或ハ臥龍狀ニ生育シ其ノ成績良好ナラズ往々ニシテ再施行ヲ要スル箇所サヘ在リ然レドモ明治三十年以來ノ工事ニ在リテハ適樹ノ混植適肥ノ最善ヲ盡セシ

カバ其ノ效果顯ハレ今ヲ去ル二十有餘年前ニ係ル小支名張川筋笠間川及小支栢植川筋川合川上流ニ屬スル水源山地ノ如キハ優秀ナル林相ヲ呈シ昔時ノ赭兀全隠蔽セラレ今ヤ逐年好成績ヲ舉ゲツツアリ

本年度施行工事箇所ハ神戸村、美濃波多村、波多野村ノ三箇村地先ノ赭兀地ニ對シ山腹工事ヲ施行セリ何レモ難易ノ箇所在リト雖モ功程順調ニ進捗シ何等滯リナク豫定ノ工事ヲ遂行セリ尙本年度新設工事ノ外新居村地先ニ屬スル工事ハ一度施行セシ箇所ナリシガ偶々昭和十五年六月ノ豪雨ニ際シ既設工作物大崩壊セシ爲メ之レガ復舊ヲ計ルベク補修工事ヲ完全ニ施行シ以テ再崩壊ノ虞ナキヲ期シタリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工費	—	081,100	—	54,100	—	135,200	0.0%
堰	—	—	—	—	—	—	—
山腹	ヘクタール 二六七	112,100	ヘクタール 三	54,100	ヘクタール 0.00	166,200	1.00
船舶及機械費	—	10,000	—	11,000	—	21,000	—
測量費	—	410,000	—	77,000	—	487,000	—
營繕費	—	1,800	—	1,800	—	3,600	—
雜費	—	100,000	—	2,700	—	102,700	—
共濟組合給與金	—	22,800	—	1,000	—	23,800	—
臨時家族手當	—	—	—	1,000	—	1,000	—
總計	—	1,400,000	—	112,600	—	1,512,600	0.0%

## 第九 神通川流域砂防工事

本工事ハ昭和七年度ヨリ同十六年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費五十四萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ支那事變ノ影響ヲ受ケテ工期一箇年度ヲ繰延ベタリ而シテ其ノ區域ハ神通川上流高原川右支岩坪谷筋及高原川右支蒲田川左小支足洗谷筋トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和七年度ノ創業ニシテ岐阜縣吉城郡上寶村大字栃尾ニ工場ヲ設置シ工事ヲ開始シタルモ冬期ハ積雪多量ニシテ施工不可能ナル爲メ休工シ富山市愛宕新町ノ假事務所ニ於テ執務スルコトトセリ而シテ起工以來前年度迄ニ岩坪谷ニ堰堤四箇所、山腹一箇所、足洗谷ニ堰堤八箇所、護岸四箇所、計十七工事ヲ施行シ内岩坪谷ノ五工事及足洗谷ノ堰堤五箇所、護岸二箇所ハ竣功シ同谷ノ堰堤三箇所及護岸二箇所ハ未竣功トナレリ

本年度ハ前年度ニ引續キ足洗谷第三號堰堤ヲ施行シ右岸部延長三十六米、高十米乃至八米ヲ築立テ一千百三十七立方米ヲ竣功セシメタリ

本年度ノ竣功高ハ三萬九千五百十一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ四十六萬三千六十六圓トナリ之ヲ總工費五十四萬圓ニ比スレバ八割六分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本堰堤	未竣功 3	17,880	未竣功 3	23,190	未竣功 3	210,000
工事護岸	未竣功 22	34,997			未竣功 22	34,997
山腹	-	1,158			-	1,158
船舶及機械費		34,280		1,933		36,213
測量費		5,176		2,350		7,526
營業繕費		19,918		2,763		22,681
雜費		136,432		11,943		148,375
共濟組合給與金		3,511		1,301		4,812
臨時家族手当				188		188
總計		433,558		39,511		473,069
						0,550

## 第一〇 利根川流域(烏川)砂防工事

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同十五年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ毎年度工費十八萬一千八百十八圓、總工費九十萬九千九百圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ政府財政ノ都合ニ依リ竣功期限ヲ一箇年度延長シテ昭和十六年度迄トシ同時ニ年割額ヲ變更シ六箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ其ノ區域ハ烏川流域烏川本川筋白川合流點以奥ノ本支川及支川碓氷川左支九十九川左小支秋間、後閑及増田川筋竝ニ支川鏑川右支下川及雄川筋ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十一年度ノ創業ニ係リ爾來本年度未迄ニ起工セルハ堰堤二十二箇所、床固十箇所、除石工事二箇所、計三十四箇所ニシテ内堰堤十八箇所、床固七箇所、除石工事二箇所、計二十七箇所ヲ竣功セシメタリ而シテ本年度ハ前年度未竣功トナレル堰堤三箇所、床固三箇所ノ内般若澤第三堰堤(秋間川支川般若澤)伏間床固(烏川支川滑川)ヲ竣功セシメ蘆ノ和田堰堤(増田川)雄川堰堤(鏑川支川雄川)長源寺澤床固(後閑川支川長源寺澤)相間川床固(烏川支川相間川)ハ未竣功ノ儘次年度へ繰越セリ尙工事ノ進捗ニ伴ヒ本年度内新ニ着手セルハ大久保澤堰堤(榛名川支川大久保澤)滑川床固(烏川支川滑川)雄川中流堰堤(鏑川支川雄川)ノ三箇所ナリ

本年度ニ於ケル功程ハ堰堤及床固築立々積八千四百三十九立方米ニ及ベリ

本年度ノ竣功高ハ十六萬九千六百八十四圓ニシテ創業以來ノ累計ハ七十四萬一千九百九十九圓トナリ之ヲ總工費豫算九十萬九千九百圓ニ比較スルトキハ八割一分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工床堰	未竣功 一三七箇所	一七七,〇〇〇円	未竣功 四一箇所	七六,〇〇〇円	未竣功 一八箇所	三三三,〇〇〇円
除石	未竣功 三六	一五,四四六	未竣功 三一	四八,三三七	未竣功 三七	一七三,七八三
船舶及機械費		五,四四九			二	五,四四九
測量費		三三,九九九		六,四〇三		四〇,四〇二
營業繕費		五,二二九		八二六		五,九五五
雜費		一四,九九六		一,三三三		一六,三二九
共濟組合給與金		九五,五六一		三四,二六八		一三九,八二〇
臨時家族手当		三,八三四		一,二八三		五,一三七
總計		五三一,四一五		一六九,六八四		六八一,一〇〇
						〇・七〇

## 第一一 天神川流域砂防工事

本工事ハ總工費十八萬一千八百十五圓 (内鳥取縣負擔六萬六百五圓)ノ豫算ヲ以テ當初昭和十一年度ヨリ同十五年度ニ至ル五箇年度ノ繼續事業トスル計畫ナリシモ支那事變ノ影響ニ因リ十三、十四兩年度ノ年度割額ヲ減額ノ上一箇年度繰延トナリ即チ十六年度迄六箇年度ノ繼續事業ニ變更サレシモノニシテ天神川左支小鴨川上流部鳥取縣東伯郡矢送村内ヲ貫流スル右支矢送川(流域面積二十八平方籽)竝ニ山守村内ヲ流ルル右小支清水川(流域面積十四平方籽)及同小鴨川本流ノ上流部(下流部堰堤施行豫定箇所)以奥流域面積二十八平方籽)ヘ施行セムトスルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十一年度ノ創業ニ係リ本年度ハ其ノ第五年目ニシテ過去四箇年度間ニ施行セルハ矢送川ニ一箇所、清水川ニ五箇所、計六箇所ノ練積堰堤ニシテ本年度ハ前年度施行ニ係ル小鴨川第一號堰堤ヲ引續キ施行竣成セシメ更ニ本年度計畫ニ依ル小鴨川第二號堰堤ニ着手セリ

小鴨川第一號堰堤ハ前年度中ニ本堰並水叩及前垂壁ノ一部作業困難ナル箇所ヲ施行シアリシ爲メ本年度ハサシタル障害モナク順調ニ運ブヲ得タリ

然ルニ小鴨川第二號堰堤ハ豫算少額ニシテ加之降雪期ニ入りタル爲メ排水路及床掘等一部ノ準備ヲ爲シタルニ止マレリ  
本年度ノ竣功高二萬三千四百二十八圓ニシテ創業以來ノ累計十四萬五百二十一圓ナリ之ヲ總工費豫算十八萬一千八百十五圓ニ比スルトキハ七割七分二厘ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費 (堰堤)	六	七六、六三五	一	一四、一七九	七	九〇、八一四	〇・二二
用地費		九三		二七		一二〇	
船舶及機械費		六、五六七		五一一		七、〇七八	
測量費		一、〇〇〇		一、〇〇〇		二、〇〇〇	
營繕費		二、一五七		一、九二		四、〇七九	
雜費		二、一三三		七、〇二二		九、一五五	
共濟組合給與金		八二二		三二二		一、一四四	
臨時家族手當				四七一		四七一	
總計		一一〇、七三三		一三、四三三		一二四、一六六	一〇・二〇

## 第一二 阿武隈川流域(荒川)砂防工事

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同十五年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ計畫シタリシガ昭和十三年度ニ於テ工期ヲ一箇年度繰延ベ六箇年度繼續事業トシ總工費十八萬一千八百十五圓ヲ以テ阿武隈川支川荒川ニ施行スルモノトス  
其ノ區域ハ福島縣信夫郡土湯村地内ニシテ同郡荒井村地先阿武隈川改修工事施行ノ地藏原堰堤上流ノ荒川及之ニ合流スル東西兩鴉川ノ二支川ヲ包含シ流路延長約十五軒、流域面積六十四平方軒ナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十一年度ノ創業ニシテ本年度施行ニ係ルモノハ曩ニ阿武隈川改修工事ニテ施行セル地藏原堰堤ヲ基點トシ上流七千二百米ノ地點ニ於ケル荒川第三堰堤及昭和十三年六月竣功セル荒川第二堰堤ノ副堰堤竝ニ荒川第二堰堤上流五百七十米ノ地點ニ於ケル川上第一堰堤ノ三工事ナリトス堰堤ハ何レモ粗石混凝土造ニシテ前年度ヨリ繼續施行セル荒川第三堰堤工事ハ昭和十五年十一月竣功ヲ遂ゲ前年度マデニ竣功セル荒川第一、第二兩堰堤ト共ニ相當ノ成果ヲ收メツツアリ荒川第二堰堤副堰堤ハ本堰堤水裏法尻ヨリ流心ニ於テ二十二米下流ニ施行シ稀有ノ大出水ニ際シ水落部基岩ノ衝激作用ヲ柔ゲ侵蝕磨滅ニ因ル被害ヲ防止シ以テ本堰堤ヲ保護スルモノニシテ昭和十五年十一月着手シ年度内ニ竣功ヲ見ルニ至ラズ一部ヲ翌年度ニ繰越シタリ

川上第一堰堤工事ハ昭和十六年一月着手シ其ノ大部分ヲ翌年度へ繰越セリ

本年度ニ於ケル竣功額ハ三萬四千四百五十三圓、累計十六萬二千八百八十四圓ニシテ總工費十八萬一千八百十五圓ニ對シ九割ノ竣功ニ當レリ

其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工	未竣功	70,855	未竣功	113,100	未竣功	184,155	0.33
〔堰〕	箇所 一一	円	箇所 一一	円	箇所 二二	円	
〔護岸〕	米 二四	210,190	米 一	10,000	米 二五	220,190	0.33
用地		6,886				6,886	
船舶及機械費		6,429		468		6,897	0.33
測量		4,355		5,839		10,194	
營業繕費		1,000				1,000	0.33
雜費		18,255		4,615		22,870	
共濟組合給與金		59		133		192	0.33
臨時家族手當				98		98	
總計		228,432		338,811		567,243	0.33

### 第一三 天龍川流域(小澁川)砂防工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ總工費四十五萬四千五百四十五圓ヲ以テ天龍川支流小澁川ニ施行ノ處支那事變ノ影響ニ因リ之ヲ六箇年度ニ繰延ベ施行スルモノトス

#### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ前年度迄ニ着工堰堤四基、本年度着手ノモノ一基ニシテ其ノ施行狀況左ノ通り

上澤第一號堰堤工ハ昭和十二年度着手ノ工事ナルガ昭和十三年六月稀有ノ大暴雨ニ際會シ堰堤設備箇所ニ多大ナル變化ヲ來シ降雨毎ニ谷狀變化甚シク危險ニシテ近寄ルコト能ハザルヲ以テ谷狀ノ落着ヲ俟チテ再着手ノ豫定ナリシガ本年度ニ至ルモ着工ノ見込ナク三分通り竣功ノ儘休工ス

釜澤堰堤變更工ハ昭和十二年十一月十六日起工シ前年度迄ニ九分通り竣功シ本年度ニ至リ本堰堤水通部並ニ袖部ヲ二百四十二立方米築立、堰堤上流護岸ハ高平均三米迄施行ノ上九分四厘通りノ竣功ニテ年度ヲ繰越セリ

小澁第一堰堤工ハ昭和十四年三月一日起工前年度迄ニ三分通り竣功シ本年度ニ至リテ前年度築立セシ右岸ヨリ平均高五十、一千四百三十五立方米ヲ築立、昭和十六年二月ニ至リ労働者ノ増員ヲ見タルニ依リ左岸殘餘三十米ノ掘鑿ニ掛リ水路ヨリ工ヲ進メ延長五十米ノ水路掘鑿ヲ完成四分八厘ノ竣功ニテ年度ヲ繰越セリ

釜澤第二堰堤工ハ昭和十四年六月六日起工前年度迄ニ四分通り竣功シ本年度ニ至リ極力築立ニ全力ヲ注ギ冬期嚴寒ノ季節ハ耐寒劑ヲ使用シ工ヲ進メ年度中ニ五千五百十三立方米平均高六米ニ築立、六分七厘通り竣功シ年度ヲ繰越セリ

小澁第二堰堤工ハ小澁第一堰堤工事ノ上流七十五米ノ位置ニ階段式ニ昭和十五年八月一日起工ス最初石採集其他準備ニ掛リ

冬期渇水期ニ堰堤基礎延長百米餘ノ築立ヲ爲シ平水ヲ左岸ヨリ約四十五米河幅ノ中央ニ廻シ極力左岸部ヲ築立、出水期ニ安全ナラシムベク施工中ノ儘二分八厘通り竣功ニテ年度ヲ繰越セリ

ポルトン水車設置工ハ時局柄燃料不足ニ依リ水車ヲ利用混凝土混合機ヲ廻轉シ工事ノ進捗ヲ計ル爲メ設置シ昭和十五年八月二十日起工シ同年十二月十五日竣功セリ

第四回セメント運搬工ハ前年度ヨリ引續キ運搬ヲ繼續シ長野縣下伊那郡市田村ヨリ同郡大鹿村大字大河原區間ニ於テ施行シ昭和十五年三月五日着手同年五月六日竣功ス(運搬四百六十五袋)

第五回セメント運搬工ハ第四回セメント運搬工事ト同一區間ニ於テ施行シ昭和十五年七月十四日着手同年八月九日竣功ス(運搬一千七百七十袋)

敷地々均工ハ長野縣下伊那郡大鹿村大字大河原字湯ノ後ニ材料小屋ノ敷地々均工事ニシテ昭和十五年七月十九日着手シ同年八月三十一日竣功ス

材料小屋新築工ハ長野縣下伊那郡大鹿村大字大河原字湯ノ後ニ建設ス、昭和十五年十月十日着手シ同年十月三十一日竣功ス本年度小澁川流域砂防工事ノ竣功高ハ七萬七千七百三十五圓ニシテ起工以來二十三萬一千八百八圓ナリ之ヲ總工費四十五萬四千五百四十五圓ニ對比セバ約五割一分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「〇」ハ評價品價額ヲ示ス

第三章 砂防工事 (天龍川流域(小澁川)砂防工事)

三〇〇

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(堰堤)	未竣功	101,640	未竣功	6,556	5	108,196	〇・四三
船舶及機械費	〇	1,101	〇	2,348	〇	3,449	
測量費	〇	395	〇	1,121	〇	1,516	
營業繕費	〇	1,141	〇	1,121	〇	2,262	
雜費	〇	22,000	〇	22,215	〇	44,215	
共濟組合給與金	〇	77	〇	318	〇	395	
亡失毀損	〇	141	〇	31	〇	172	
臨時家族手當	〇	1,141	〇	31	〇	1,172	
總計	未竣功	103,177	未竣功	10,570	5	113,747	141・〇

## 第一四 利根川流域(渡良瀬川)砂防工事

本事業ハ昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ初年度ハ工費五萬四千五百四十五圓、次年度ヨリ工費十萬圓宛トシ總工費四十五萬四千五百四十五圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ其後時局ノ影響ニ依リ年割額ヲ變更シ且施行年限ヲ一箇年度延長シ昭和十七年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ其區域ハ栃木縣上都賀郡足尾町地内ニシテ松木川本川筋及支川仁田元川筋並ニ久藏川小支川タル安蘇澤筋ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニ係リ前年度迄ニ松木川支川仁田元川筋ニ堰堤二箇所 山腹工二箇所及土留工一箇所ヲ施行シ山腹工及土留工ハ之ヲ竣功セシメ堰堤二箇所及新ニ前年度ニ於テ松木川支川久藏川右小支安蘇澤筋ニ施工セル堰堤一箇所、計三箇所ハ未竣功ノ儘後年度ニ繰越セリ

前記三工事ハ仁田元川筋ニ於テハ井戸澤口堰堤及仁田元堰堤 安蘇澤筋ニ於テハ安蘇澤堰堤ニシテ本年度ニ於テ右三工事ヲ銳意施行セシガ井戸澤口堰堤ハ竣功セシメ他ハ未竣功トナレリ

今年度ニ於ケル施工概況ヲ述ブレバ左ノ如シ

仁田元川筋ニ於ケル井戸澤口堰堤工事ハ上流仁田元川堰堤工事ノ基礎トモ見做サルル重要ナル堰堤ナレバ之ガ竣成ヲ急ギタリ然ルニ井戸澤 仁田元兩川合流點ニ於テ時雨量三十耗ニ及ビテ屢々一大砂礫圓錐體ヲ形成計畫高十米竣成セシムル曉ニハ此影響ニ依リ仁田元副堰堤ノ天端ヲモ被覆スルニ至ル虞アルヲ以テ計畫高ヲ八米ニ變更工費ノ節約ヲ計リ之ヲ竣功セシメタリ仁田元堰堤工事ハ安蘇澤堰堤工事ト併行シテ交互ニ工ヲ進メタルモノニシテ時局ノ影響ニ因リ人的資源ノ拂底ハ工事ニ支

障ヲ來ス事甚シカリシガ設計立積ニ對シ前者ハ五割三分、後者ハ二割二分ノ步通り竣功ヲ告ゲ何レモ未竣功ノ儘越年セリ  
 本年度ノ竣功高ハ八萬四千三百九十五圓ニシテ創業以來ノ累計ハ二十六萬八千六百三十五圓トナリ之ヲ總工費豫算四十五萬  
 四千五百四十五圓ニ比較スルトキハ五割九分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣 合功																																								
	數量	金額	數量	金額	數量	金額																																									
本 堰	三	一、二四、九六一	二	六四、四三三	二四	一、七九、三八四	〇・八一																																								
工 山	二	四、八九八	一	一、六七八	二	四、八九八																																									
事 留	一	一、六七八	一	一、六七八	二	一、六七八																																									
費 腹	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
船 船	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
及 機	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
測 量	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
營 繕	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
費 費	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
雜 費	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
共 給	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
濟 與	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
組 金	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八		合 手	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八		時 當	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八		家 族	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八		手 計	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八		總 計	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八	
合 手	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
時 當	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
家 族	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
手 計	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									
總 計	一	一、八九八	一	一、八九八	二	一、八九八																																									

第一五 信濃川流域(魚野川)砂防工事

## 第一五 信濃川流域(魚野川)砂防工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ工費四十五萬四千五百四十五圓(内新潟縣負擔十五萬一千五百十五圓)ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ昭和十二、十三、十五ノ三箇年度ニ於テ國庫財政ノ都合上年度割額改定ニ伴ヒ工期ヲ二箇年度延長シテ昭和十八年度ニ於テ竣功セシムルコトトナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ同年度ニ於テハ左支押堀川、同田河川、右支登川小支一之澤川ニ床固、護岸及築堤ヲ施工シ昭和十三、十四ノ兩年度ニ於テ本川上流部魚野川第一號堰堤(高十米)右支大源太川ニ大源太川第一號堰堤(高十八米)及板木堰堤(高十米)ヲ竣功セシメタリ

本年度ハ前年度ヨリ繰越ノ右支蓬澤筋袈裟丸堰堤(高十二米)及右支大源太川筋猪小屋堰堤(高十五米)ヲ施行セル外新ニ右支蓬澤筋袈裟丸堰堤ノ上流ニ黒金堰堤(高十米)ヲ起工セルモ何レモ未竣功トナレリ

本年度ノ竣功額ハ六萬五千二百九十圓ニシテ創業以來ノ累計ハ二十三萬四千七百八圓トナリ之ヲ總工費四十五萬四千五百四十五圓ニ比スレバ五割二分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

第三章 砂防工事 (信濃川流域(魚野川)砂防工事)

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工							
堰堤、護岸、堤	二八	九五、三五	三	五〇、三三	三〇	一四五、九七	二〇・〇
砂防築堤	—	一一、七五	—	—	—	一一、七五	—
船舶及機械費		一一〇、二二		一、七二		一一二、〇四	—
測量費		一、六六八		三〇一		一、九六九	—
營業繕費		一一、九三四		四三		一二、三七八	—
雜費		三六、〇八		一一、七八四		四七、八六三	—
共濟組合給與金		—		三三二		一、三三二	—
臨時家族手当		—		二九六		二九六	—
總計		二六九、四一八		二五、一九〇		三〇一、四〇八	一一〇・〇

信濃川流域(魚野川)砂防工事

## 第一六 木曾川流域（中津川、落合川）砂防工事

本工事ハ當初昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ施行セラレシモノナリシガ昭和十三年度ニ工期ヲ一箇年度繰延ベ都合六箇年度ノ繼續事業トナレリ施工河川區域ハ岐阜縣惠那郡中津町木曾川支流中津川右支四ツ目川、同正ケ根谷、中津川左支中津町、阿木村前澤谷及落合村木曾川支流落合川左支本谷ニ夫々工費豫算三十萬九千九十一圓ヲ以テ砂防工事ヲ施行セルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ工事施行ニ關シテハ同年五月中津町四ツ目川筋ニ中津川砂防工場ヲ設置シ其ノ下ニ數箇所ノ見張所ヲ置キ當初四ツ目川、本谷、正ケ根谷ノ順序ニ起工セリ

本年度ニ在リテハ本谷及四ツ目川各流域ニ堰堤二箇所ノ起工ヲ爲シ前年度ヨリ引續キ工事ト合セ七工事ノ施工ニ當レリ本年度ノ豫算ハ四萬四千三百十八圓ニシテ其ノ功程ハ堰堤工ニ於テ築立々積二千百七十二立方米六ニシテ二箇所ノ堰堤ハ竣功セリ今工事施行ノ概要ヲ工事別ニ述ブレバ次ノ如シ

杉流第一堰堤ハ基礎及兩岸共ニ岩盤ナク前庭ノ洗掘ヲ防止スル爲メ副堰堤ヲ施工ス本年度ニ在リテハ前年度ニ引續キ專ラ本堰堤ヲ築立テ竣功ヲ告ゲタリ

杉流河床整理ハ河床ノ低下ヲ計リ出水ニ因ル汎濫ヲ防止スルモノナリ  
本年度ニ於テハ施工區域全長ニ互リ除石ヲ爲シ六割二分竣功セリ

杉流第二堰堤ハ基礎及兩岸共ニ大部分岩盤ヨリ成リ從ツテ水叩部ハ安全ナルヲ以テ水叩工ハ施行セズ本年度ハ主トシテ基礎

掘鑿ノミニシテ五分ノ竣功ナリ

日陰第二堰堤ハ基礎及兩岸共岩盤ナク前庭ノ洗掘ヲ防止スル爲メ副堰堤ヲ施工ス本年度ハ前年度ニ引續キ本堰堤ノ築立ヲ爲シ大部分竣功セリ

本谷第一堰堤ハ左岸ハ岩盤ヨリ成リ基礎及右岸ハ到底岩盤ニ達シ得ザルヲ以テ前庭ノ洗掘ヲ防止スル爲メ副堰堤ヲ施行ス本年度ニ於テハ本堰堤及副堰堤ノ基礎ヲ築立二割三分竣功セリ

正ヶ根第一堰堤ハ基礎及兩岸共岩盤露出シ從ツテ水叩部ハ安全ナルヲ以テ水叩工ハ施行セズ本年度ニ於テハ堤冠部ノ補強工ヲ施シ竣功セリ

正ヶ根第二堰堤ノ基礎及兩岸共岩盤ヨリ成リ水叩部ハ安全ナルヲ以テ水叩工ハ施行セズ本年度ハ前年度ニ引續キ築立ヲ繼續シ九割竣功セリ

各々溪流ノ堰堤竣功ニ伴ヒ出水ニ因ル土石流ハ扞止サレ從ツテ之レヨリ上流ノ河床勾配ハ緩和サレタリ本年度ニ於テハ六月、八月ニ豪雨アリ二回共局部的ノモノニシテ去ル昭和七年八月ノ豪雨ヲ遙カニ突破シ山地ノ崩壊モ亦甚大ナリ

從ツテ土石ノ流増モ多量ナリシガ流域ノ被害ハ極メテ僅少ナルハ一ツニ堰堤ノ效果ニ依ルモノナリ

本年度ノ竣功額ハ四萬三千三百七十九圓ニシテ創立以來ノ竣功額ハ十六萬九千二百九十八圓ナリ之レヲ總工費三十萬九千九十一圓ニ比スレバ約五割五分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工	未竣功	九〇、〇八八	未竣功	二九、六七〇	未竣功	一一〇、〇八八
事費	未竣功	一、四六六	未竣功	二、九三三	未竣功	四、三九九
護	未竣功	八、五五九	未竣功	六七三	未竣功	九、二三二
船舶及機械費		〇		〇		〇
測量費		〇		〇		〇
營繕費		三、三三三		一、九四		三、三三三
雜費		一一〇、九九七		九、二二五		一二〇、二二二
共濟組合給與金		七、八四		三、九四		一一、七八
臨時家族手当		〇		三、三九		三、三九
總計		一二五、九一九		四三、二七九		一六九、二九八
						〇・五八

## 第一七 庄内川流域(土岐川)砂防工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十七年度ニ至ル六箇年度(最初昭和十二年度乃至同十六年度ノ五箇年度ヲ昭和十三年度變更)繼續事業トシテ岐阜縣土岐郡笠原町、下石町、土岐津町、妻木町、多治見町等土岐川流域中砂害最モ甚シキ町村内ニ工費豫算三十萬九千九十一圓(内岐阜縣負擔七萬二千二十一圓、愛知縣負擔三萬九千九百九圓)ヲ以テ砂防工事ヲ施行セントスルモノナリ

### 施工狀況

本年度土岐川ニ於テ施行セル工事ハ堰堤十七、山腹一ニシテ此ノ内竣功セルモノ堰堤十五、山腹一ニシテ二工事ハ歩通ノ竣功ニシテ次年度ニ繰越セリ前年度迄ハ主トシテ混凝土堰堤ナルモ追澤第一、釜下第一、同第二、同第三、平園第四、東山第一、砦山第四、追澤第二、鳥屋第三、日歸第二ノ十工事ハ土堰堤(水通部ヲ混凝土造リ)トセリ

是等ノ工事ヲ支川別ニ示セバ市之倉川流域ニ於テハ右支大洞川水源ニ前年度四割五分通リノ竣功ナル大洞山腹ヲ本年度ニ入リテ竣功セシメ笠原川流域ニテハ笠原町平園谷ニ平園第三、同第四(水通部ハ混凝土造)ヲ起シ之ヲ竣功セリ、妻木川流域ニ於テハ右支追澤谷ニ前年度七割通リ竣功ナル追澤第一堰堤(水通部ハ混凝土造)ヲ竣功シ縣既設堰堤、追澤第一堰堤間ニ注グ左小支ニ砦山第三、同第五、同第六堰堤ヲ起シ之ヲ竣功セシメ同間右小支ニ東山第一堰堤ヲ起シ之ヲ竣功シ追澤第一堰堤、同第二堰堤間ニ注グ左小支ニ砦山第四(水通部ハ混凝土造)同第七堰堤ヲ起シ之ヲ竣功セシメ追澤谷本流ニ追澤第一堰堤、上流二百六十米ニ追澤第二堰堤(水通部ハ混凝土造)ヲ起シ本年度ハ五割九分ノ竣功ナリ

妻木川右支下石川日野谷三日歸第二堰堤(水通部ハ混凝土造)ヲ起シ之ヲ竣功セシメ隣接セル鳥屋洞本流ニ鳥屋第三堰堤(水通部ハ混凝土造)ヲ計畫シ本年度一割九分通リノ竣功ナリ更ニ妻木川上流妻木町上郷地内ニ於テハ西ヶ澤ニ隣接セル釜下谷ノ

釜下第一(水通部混泥土造)同第二(水通部石張)堰堤ハ前年度前者ハ六割二分、後者ハ三割六分通りノ竣功ナルモノヲ本年度竣功セシメ釜下第三(水通部ハ混泥土造)同第四、同第五堰堤ヲ起シ之ヲ竣功セシメタリ而シテ本年度庄内川流域土岐川砂防工事竣功額ハ四萬九千五百十五圓ニシテ起工以來ノ累計十七萬五千七百九十九圓ナリ之ヲ總工費三十萬九千九十一圓ニ比スレバ約五割七分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「△」ハ無價材料評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工							
〔堰堤〕		八八、一五七	一五	三三、六七六	二〇	三三、六七六	〇・二二
〔山腹〕	二元						
船舶及機械費		八、四三六		一、四七六		一〇、九一二	
測量費		四二		三		四五	
營業繕費		二、一四〇		三三		二、一七三	
雜費		△				△	
共濟組合給與金		四、三三三		〇、八二九		五、一六二	
臨時家族手當		九七三		一、〇三三		二、〇〇六	
總計		一一六、一八四		四六、二二四		一六二、四〇八	〇・九四

## 第一八 安倍川流域（大河内川）砂防工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ總工費三十萬九千九十一圓ヲ以テ施行中ノ處支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ竣功年度ヲ昭和十七年度トシ且六箇年度繼續事業トナレリ而シテ其ノ區域ハ静岡縣安倍郡大河内村及梅ヶ島村地内ノ大河内川筋トス

### 施工狀況

本年度ハ本堰堤第一水叩並ニ第一副堰堤ノ築立ヲ施行セリ

本堰堤ニ於テハ前年度ニ引續キ左半ノ築立ヲ施工、平均高四米二迄ノ築立ヲ了シ左右總平均高四米五ニシテ其ノ立積四百七十立方米、累計二千九百三十一立方米ニシテ總立積八千六百五十立方米ノ三割四分ニ當ル第一水叩ニ於テハ左半ノ基礎掘鑿並ニ築立ヲ施工築立立積二百九十九立方米ニシテ累計七百三立方米、總立積一千三百二立方米ノ五割四分ニ當ル

第一副堰堤ニ於テハ河床下四米ノ基礎掘鑿ニ當リ浸透水多量ノ爲メ排水路延長三百六十米ヲ掘鑿シ基礎面ヲ陸ト爲シ築立ヲ施工其ノ立積九十五立方米ニシテ總立積一千二百八十九立方米ノ七分ニ當ル

以上本年度迄竣功高ハ四萬五千四百十二圓ニシテ創業以來ノ累計十五萬九千三百八十六圓トナリ之ヲ總工費三十萬九千九十一圓ニ比較スルトキハ約五割二分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(堰堤)	未竣功 1	48,853	未竣功 1	31,726	未竣功 1	80,579	0.1%
船舶及機械費		8,909		21,716		30,625	
測量費		21,336		5,777		27,113	
營繕費		9,888		8,202		18,090	
雜費		4,331		8,599		12,930	
共濟組合給與金		6,477		1,008		7,485	
臨時家族手当		1		333		334	
總計		111,338		113,846		225,184	0.1%

## 第一九 最上川流域(立谷澤川)砂防工事

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ工費三十萬九千九十一圓(山形縣負擔十萬三千三十圓)ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ日支事變ノ勃發ニ因リ工期二箇年度ヲ延長セラレタリ而シテ其ノ施行區域ハ山形縣東田川郡立谷澤村地内立谷澤川小支濁澤筋トス

### 施工狀況

本年度ハ六月四日工事ヲ開始シ前年度ニ引續キ第二號堰堤工事ヲ施行スルト共ニ八月八日新ニ第三號堰堤工事(高十七米、長四十二米)ニ着手シ前者ハ九百三立方米ヲ築立テ五割九分通り竣功シ後者ハ掘鑿ノ一部ヲ施工シ十一月十日降雪ト共ニ工事ヲ中止シタリ

本年度ノ竣功額ハ四萬二千三百三十八圓ニシテ起工以來ノ累計ハ十三萬二百二十三圓トナリ之ヲ總工費三十萬九千九十一圓ニ比スレバ四割二分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(堰堤)	未竣工 —	四六、八二二	未竣工 二	二七、七四二	未竣工 二	七四、五六四	〇・二九
船舶及機械費		五、六六九		五八一		六一、一三一	
測量費		三八〇		一四一		五二一	
營業繕費		三、〇一〇		三、〇九〇		六、一〇〇	
雜費		三、〇〇八		一〇、一六〇		一三、一六八	
共濟組合給與金		五九五		二五三		八八八	
臨時家族手当				二六七		二六七	
總計		八七、八八五		四一、三〇八		一二九、一九三	〇・四

## 第二〇 六甲山系砂防工事

本工事ハ昭和十三年七月五日ノ阪神地方大水害ニ起因シテ同年度ニ於テ六甲山系二十五水系ニ對シ二十五箇所ノ堰堤下部工事ヲ災害對策砂防工事トシテ國庫補助ノ下ニ兵庫縣起業ニ依リ委託工事トシテ當所ニ於テ施行シ更ニ水害復興計畫樹立セラ  
ルルニ及ビ總工費一千萬圓ヲ以テ表六甲二十六水系、裏六甲二十五水系、計五十一水系ニ對シ堰堤其ノ他六百九十三箇所ノ砂防工事ヲ昭和十四年度以降十箇年度繼續事業トシテ直轄施行セントスルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十四年度ノ創業ニ係リ同年度ニ於テ二十六河川、四十五箇所ノ堰堤及一箇所ノ護岸工事ヲ施工内二十八箇所ノ完成ヲ見タリシガ本年度ニ於テハ前年度ヨリ繰起シタル十八箇所ト新ニ着工シタル十三箇所トヲ併セ二十河川、三十一箇所ニ亙リ堰堤工事ヲ施行シ内十五箇所ヲ完成他ハ翌年度へ繰越シ施行スルコトトナレリ本年度ニ於ケル施工概況ヲ述ブレバ左記ノ如シ

水害復興第一砂防事務所管下(郡部擔當)

#### 一、夙川

右支中新田川ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ幸保堰堤(高八米、長四十三米五)ヲ完成シ更ニ本流ニ於テ北山堰堤(高七米、長七十四米)ヲ起工其ノ半ヲ竣功セリ

#### 一、蘆屋川

本流ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ城山堰堤(高二十米、長八十一米五)ヲ完成スルト共ニ其ノ上流部ニ奥山堰堤(高一五米、

長九十六米)ヲ起工其ノ約三分ノ一ヲ竣功セリ

一、高橋川

右支風呂之川ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ保久良堰堤(高七米五、長二十六米)ヲ完成セリ

一、住吉川

本流上流ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ小峯ヶ原堰堤(高二十一米、長六十米)ヲ施工其ノ半ヲ竣功更ニ右支西谷川ニ於テ赤塚堰堤(高十三米、長四十二米)ヲ起工之ヲ完成セリ

一、有馬川

本流上流ニ於テ射馬山堰堤(高十五米、長六十三米)ヲ起工其ノ一部ヲ竣功セリ

一、有野川

右支奥山川ニ於テ柴小場堰堤(高十米、長四十九米)ヲ起工其ノ約七割ヲ竣功セリ

一、山田川

左支丸山川ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ丸山堰堤(高十五米五、長四十一米)ノ半ヲ竣功セリ

水害復興第二砂防事務所管下(市部擔當)

一、石屋川

右支新池谷筋ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ神嘉堰堤(高十米、長四十一米)ノ九割ヲ竣功セシムルト共ニ左支地獄谷筋ニ於テ墓ノ平堰堤(高十米、長四十三米)ヲ起工其ノ半ヲ竣功セリ

一、六甲川

都賀川上流六甲川右支大月川ニ於テ六月堰堤(高五米、長三十米)ヲ起工其ノ一部ヲ竣功セリ

一、杣谷川

都賀川上流杣谷川ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ永峯堰堤(高九米、長六十五米)ヲ完成セリ

一、西郷川(青谷川)

本川上流ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ龜ノ瀧上流堰堤(高七米、長四十米)ヲ完成スルト共ニ更ニ其ノ上流部ニ北畑堰堤(高十一米、長三十二米)ヲ起工セリ

一、苧川

生田川右支苧川ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ苧川谷堰堤(高十米、長三十八米)ヲ完成スルト共ニ其ノ上流部ニ於テ西谷堰堤(高十米、長三十九米)ヲ起工其ノ一部ヲ竣功セリ

一、宇治川

上流再度谷筋ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ宇治川堰堤(高二十米、長六十七米)ノ半ヲ竣功セリ

一、天王谷川

新湊川上流天王谷川ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ天王谷堰堤(高十七米、長四十七米)ヲ完成スルト共ニ同右支湊雪谷筋ニ於テ金形堰堤(高十米、長四十米)ヲ起工其ノ一部ヲ竣功セリ

一、苧藻川

新湊川右支苧藻川岩洞谷筋ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ岩洞堰堤(高九米五、長三十六米)ヲ完成スルト共ニ堀切堰堤(高五米、長五十二米)ヲ起工其ノ一部ヲ竣功セリ

尙本川上流大日川ニ於テ牛ヶ瀧堰堤(高七米、長十八米五)ヲ起工之ヲ完成セリ

一、妙法寺川

上流右支イヤガ谷筋並西丈夫谷筋ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ宗高堰堤(高九米五、長三十二米)及辻ノ池堰堤(高九米五、長四十一米)ヲ夫々施工前者ヲ完成、後者ノ六割ヲ竣功セシムルト共ニ尙下流右支天井川ニ於テ水野堰堤(高五米、長三十八米)ヲ完成セリ

一、千 森 川

上流ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ青山堰堤(高六米、長二十八米)ヲ完成セリ

一、一ノ谷川

右支赤旗谷ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ赤旗堰堤(高六米、長四十八米)ヲ完成セリ

一、敦盛塚川(二ノ谷川)

本川中流ニ於テ前年度ヨリ繼續施工ノ二ノ谷堰堤(高十米、長二十七米五)ヲ完成セリ

一、堺 川

上流ニ於テ堺川堰堤(高十七米、長三十六米)ヲ起工其ノ一部ヲ竣功セリ

一、直營材料採取

武庫郡山田村地内生田川上流ニ於テ堰堤工事用石材採取ニ着手割石三千二百五十個ヲ得タリ

右ノ外神戸市須磨區妙法寺宇鷺田ニ水害復興神戸採石工場(獨立工場)ヲ設置附近石山ヨリ水害復興工事用石材採取ニ着手砂防工事用トシテ栗石六百九十六立方米ヲ得タリ

以上本年度ニ於テハ二十河川、三十一箇所ニ互リ堰堤工事ヲ施行シ内完成十五箇所、未竣功ノ爲メ翌年度へ繰越シタルモノ、十六箇所ニシテ起工以來ノ完成累計ハ二十六河川、四十三箇所ナリ而シテ右ニ對スル本年度竣功額ハ八十五萬五百六十一圓、起工以來ノ累計ハ百七十一萬五千五百圓ニシテ總豫算額ニ比シ約一割七分ノ竣功ニ當レリ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本埠	未竣工	—	未竣工	—	未竣工	—	—
工事費	—	—	—	—	—	—	—
護岸	—	—	—	—	—	—	—
材料採取	—	—	—	—	—	—	—
船舶及機械費	—	—	—	—	—	—	—
測量費	—	—	—	—	—	—	—
營業費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
臨時家族手当	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	—	—	—	—
未竣工	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

## 第四章 港灣改良工事

### 第一 關門海峽改良工事

本工事ハ曩ニ第一期工事トシテ明治四十三年度ヨリ昭和三年度迄ニ工費一千四百四萬六千圓ヲ以テ東口部崎沖航路ヲ水深九米ニ其ノ他航路ヲ十米ニ浚渫シ更ニ第二期工事トシテ本航路ヲ水深十一米ニ中央水道ヲ水深八米ニ浚渫スル計畫ヲ立テ昭和四年度以來引續キ單年度事業トシテ工事ヲ施行シ昭和十四年度迄ニ四百五萬三千五百一圓ノ豫算ヲ計上セラレタリ然ルニ其ノ後本海峽ノ現狀ヨリ考察シ之ガ根本的改良ノ必要ヲ認メ差當リ四千五百四十萬五千九百圓ノ豫算ヲ以テ昭和十五年年度以降同二十四年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業トシテ現工事ヲ施行スルコトナレリ

### 施工狀況

本工事ヲ從來ノ船舶ノミニテ遂行セントスルニ於テハ工期ニ制限サルルヲ以テ本年度以降三箇年度間ハ船舶ノ建造、諸設備等ノ整備時代トス依テ本工事タル浚渫、除礁トモ未ダ見ルベキモノナシ本年度施行セル主ナル工事ハ浚渫、假航路浚渫及工場設備等ノ諸工事ニシテ其ノ概要左ノ如シ

浚渫工ハ大礮根附近ニ水深僅カニ五米内外ノ地點アリ然モ其ノ位置航路ノ彎曲部ニ近キ爲メ船舶ノ通航ニ障害尠カラズ依テ水深ヲ増大シ航路ノ急激ナル彎曲ヲ改ムルコトハ最大ノ急務ナリト認メ本箇所ノ浚渫ニ着手セリ地質ハ概ネ土砂ニシテ其ノ一部ヲ浚渫シタルニ過ギズ

金ノ弦岬沖航路ノ彎曲セル部分ハ大部分岩礁地帯ニシテ本年度ハ前年度碎岩セルモノヲ浚渫セル外一部ノ碎岩ヲ施行セリ

假航路浚渫工ハ小倉市平松埋立地先ニ曳船、雜役船等ノ假航路ヲ作り工事現場トノ聯絡ヲ計ルコトトシ七月二十二日着手目下施行中ナリ

工場設備ハ本工事ニ使用スル船舶ノ修理設備ノ必要ニ依リ巖流島北西部ニ一萬九千七百平方米ノ埋立地ヲ造成シ此内ニ約三千噸級船ヲ入渠セシメ得ベキ乾船渠ヲ築造スル計畫ヲ以テ十月八日之ガ工事ニ着手シ目下施行中ナリ

本年度ノ竣功高ハ百三十四萬一千六百五十七圓ニシテ工費總豫算四千二百八十六萬六百十圓ニ對シ約三分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「■」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工 浚渫			立米 111,111	1,111,111	立米 111,111	1,111,111	100.0
測費				1,111		1,111	
船舶及機械費				1,111		1,111	
營業繕費				1,111		1,111	
雜費				1,111		1,111	
共濟組合給與金				1,111		1,111	
臨時家族手當				1,111		1,111	
總計				1,111,111		1,111,111	

## 第一 神戶港修築工事

曩ニ政府ハ本港修築計畫ヲ定メ對外貿易ノ一部ハ明治三十九年度以來神戶稅關海陸聯絡設備トシテ大藏省ニ於テ起工シ翌四十年度ニ之ヲ擴張シテ小野濱前面ニ繫船突堤四條ヲ築設シ上屋其ノ他ノ陸上設備ヲ施シ爾來稅關ニ於テ利用ヲ開始シ舊來ノ面目ヲ一新シタリト雖モ歐洲大戰ニ於ケル本港對外貿易ノ發展ハ更ニ計畫ノ擴張ヲ促シ且港内ノ靜穩ヲ期スベキ防波堤ノ築造及對内貿易ノ設備ニ至リテハ一日モ忽緒ニ附スベカラザルモノアリ茲ニ於テ神戶市ハ之ガ急施ヲ要望シ政府ニ向ツテ經費ノ一部ヲ負擔セラレシコトヲ稟請スルニ至レリ即チ政府ハ之ヲ採納シ總工費當初二千七百十萬圓ノ豫算ヲ以テ兵庫地先ニ於ケル内國貿易ノ設備、濱邊通地先ニ於ケル外國貿易ニ對スル設備ヲ始メトシ兵庫及神戶海岸地先ノ埋築、物揚場、舥船溜場ノ新設並ニ防波堤ノ延長等港ノ發展ニ資スベキ諸工事ニ大正八年度ヨリ着手シタリシガ大正十三年度ニ於テ既定計畫ニ改定増補ヲ加ヘ工費五百七十七萬八千二百八十二圓ヲ更ニ昭和七年度ニ於テ貯木場設置ニ伴フ工費七十五萬圓ヲ追加シタル外越ヘテ昭和八年度ニ於テ浚渫工事ハ追加並ニ修築費ノ不足額トシテ四百三十一萬圓ヲ増加セリ

而シテ其ノ工期ハ當初十箇年度ナリシガ第一次二箇年度、第二次三箇年度、第四次一箇年度、第五次四箇年度何レモ延長シ第三次一箇年度繰上ゲタルヲ以テ都合十九箇年度ノ繼續工事即チ昭和十二年度迄ノ工期トシテ施行シ來リシモ貿易ノ躍進ハ逐年目覺シク本港ノ狹隘ヲ痛感スルニ至リシヲ以テ地方關係官民ハ其ノ擴張工事急施ノ必要ヲ力説シ政府モ亦之ヲ認ムルニ至リ昭和十二年度以降同二十六年年度ニ至ル十五箇年度ノ繼續事業トシテ工費一千二百七十五萬圓ノ追加豫算ヲ第七十議會ニ提案シ同年三月其ノ協賛ヲ得テ神戶港東部擴張工事ヲ決定シ新防波堤ノ築設 既設防波堤ノ移築ヲ行ヒ在來港内水面積約九百二十二萬平方米ナリシニ對シ更ニ約七百五十萬平方米ノ港域ヲ得ントスルモノナリ

## 施工狀況

本年度ノ施行狀況ヲ便宜大別シ防波堤築造 材料採取、同製造等ノ各項ニ分類シ記述セントス

### 一 防波堤築造工事

東防波堤(移築)築造工事ハ既設東防波堤(大藏省施行)ノ南端ヨリ百八十一米ヲ殘シ以東東防波堤ノ一ニ至ル二千三百米ノ除却部分ニ換ヘ其ノ南方ニ右殘存部ニ接續シ延長一千九百米ノ防波堤ヲ構築スルモノニシテ昭和十二年度ヨリ工事ニ着手シ本年度ニ於テハ基礎置換 同捨石 荷重据置、上部床均 函沈置 函内填充 函根固工ノ各一部ヲ竣功延長百十五米ヲ施行シ殘部ハ翌年度へ繰越シタリ

東防波堤(移築)頭部築造工事ハ前記防波堤ノ頭部ヲ築造スルモノニシテ昭和十二年度ノ着手ニ係リ本年度内ニ於テハ基礎捨石工ノ一部ヲ竣功延長三米ヲ施行シ他ハ翌年度ニ繰越シタリ

東防波堤除却工事ハ既設東防波堤ノ南端ヨリ百八十一米ヲ殘シ以東ノ殘部二千三百米ヲ除却スルモノニシテ昭和十四年五月四日着手シ本年度内ニ於テハ捨石除却三千八百三十三立方メートル延長六十九米ヲ施行シ殘部ハ翌年度ニ繰越シタリ

新築東防波堤築造工事ハ既設假防波堤ノ南方ヘノ延長部分(四百米)ノ中間附近ヨリ東方ニ向ヒ長二千五百五十米ノ防波堤ヲ構築スルモノニシテ昭和十五年六月十六日着手シ本年度内ニ於テハ基礎置換六十六米竣功延長三十米ヲ施行シ翌年度ニ繰越シタリ

### 二 直營採取竝ニ同製造工事

直營採取材料ハ割石及砂礫ノ二種類ニシテ兵庫縣津名郡岩屋町鵜崎海岸ニ於テ爆藥及人力ヲ以テ斫出シ陸上小運搬ノ上運搬船ニ積替ヘ曳船ヲ介シテ神戸港所定ノ位置迄海路片道約十二哩ヲ輸送スルモノニシテ本年度ニ於テハ割石一萬一千二百七十

七立方米、礫四萬八千八百二十九立方米ヲ採取輸送セリ

材料ノ製造ハ防波堤築造用ノ鐵筋混凝土函及函内填充用混凝土ノ二種類ナリ

本年度ニ於ケル鐵筋混凝土函ノ製造ハ東防波堤(移築)用函十二個製造ノ中四個ノ引卸(前年度迄ニ六個)殘二個ハ翌年度ニ繰越シタリ

混凝土製造ハ東防波堤(移築)函蓋用六十八立方米ヲ製造セリ

以上本年度施行ニ係ル本港修築工事ノ竣功高ハ四十五萬二千三百三十七圓ニシテ竣功累計ハ三千八百八十九萬三千百九十三圓ニ達ス之ヲ事業費總工費四千九百五十二萬六千三百四十六圓(大藏省施行ニ係ル工費百六十九萬四千九百九圓ヲ含ム)ニ對比スルトキハ約七割九分ノ竣功トナル其ノ竣功表左ノ如シ但シ表中「×」ヲ付シタル金額ハ材料採取製造費ノ項ニ掲ゲタル金額中ヨリ各工事ニ使用シタル直營採取品代「△」ヲ付シタル金額ハ同項ニ掲ゲタル金額中ヨリ各工事ニ使用シタル直營製造品代ヲ轉記シタルモノナリ



### 第三 橫濱港修築工事

本工事ハ當初工費一千三百四十五萬圓ヲ以テ大正十年度以降十箇年度繼續事業トシテ着手シタルモ半途大正十二年九月一日關東大震災ニ遭遇シ在來ノ港内諸設備ノ大半ヲ破壊セラレタルヲ以テ之ガ復舊ノ爲メ數次ニ互リ工費九百二十五萬五千五百四十六圓ヲ追加シ爾來一年有半ヲ其ノ爲ニ專念從事セシガ大正十四年其ノ功略終ルニ及ビ再ビ修築工事ヲ開始シタリ次デ昭和二年度ニ於テハ外防波堤築造ヲ加ヘ工費八百三十二萬圓ヲ更ニ追加シ總額三千百二萬五千五百四十六圓トナリ事業年度ヲ延長シテ十七箇年度繼續事業ト爲シ昭和十二年度竣功ニ改メタリ然ルニ其ノ後工事急施ヲ要スルノ故ヲ以テ一旦竣功年度ハ三箇年度短縮セラレタルモ續イテ政府財政ノ都合及物價下落ノ理由ニ依リ昭和四年度以降同八年度ニ至ル間ニ總額二百七十二萬七千八百十六圓ノ工費節約ヲ見竣功年度ハ再ビ二箇年度ヲ繰延ラルル等ノ經緯アリ昭和十一年度ニ於テハ外防波堤追加工事トシテ三百六十五萬圓ヲ加ヘラレ竣功年度ハ同二十年度トナリ更ニ同十二年度ヨリ工事不足額トシテ二百萬圓ヲ追加セラレ竣功年度ハ昭和二十三年度トナリシモ次イデ支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ一箇年度工期ノ繰延ベヲ見工費總額ハ三千三百九十四萬七千七百三十圓ニシテ竣功年度ハ昭和二十四年度トナレリ

更ニ本年度末ニ於テ防波堤、浚渫及棧橋追加工事トシテ六百七十五萬圓ヲ加ヘラレ昭和十五年度末現在工費總額ハ四千六十九萬七千七百三十圓(内橫濱市負擔四百九十四萬五千八百九十八圓)ニシテ竣功年度ハ昭和二十四年度トナレリ

前述ノ如ク震災復舊ハ本工事ニ包含セララルルモノナリト雖モ其性質修築工事トハ確然ト區別シ得ルモノニ屬シ既往ノ年報ニ於テ報告セシ處ナルガ故ニ本報ニ於テハ之ヲ除外シ單ニ爾餘ノ修築工事ニ就テノミ記載スルモノニシテ之ニ關スル現在豫算總額ハ震災復舊工事ノ殘額十二萬四千八百七十八圓ヲ加ヘ三千百五十六萬七千六十二圓ナリトス

## 施工狀況

本年度ニ於テハ外防波堤並ニ港内浚渫ト關聯シテ瑞穂町外國貿易地帯ノ殘存埋立工事ヲ施行セリ以下各項ニ分チ記述セン

一 岸壁及護岸

### 外國貿易設備

本工事ハ瑞穂町外貿地帯ノ周壁ヲ築造スルモノニシテ既ニ其ノ大半ヲ終了シ現在施行ノモノハ十米岸壁工事、第二號三米岸壁及物揚場工事第一號及第二號ニシテ孰レモ前年度ニ於テ記述セルガ如ク既ニ九割以上ノ功程ナリ本年度ハ工事ノ都合ニ依リ殆ド施工セズ僅ニ三米岸壁工事第二號ニ於テ前年度ニ引續キ附近海底ヨリ採集セル土丹岩塊二千七百六十立方米ヲ以テ裏込工ヲ施行セルニ止ル

### 二、浚渫

本年度施工箇所ハ港内山下町地先計畫水深七米三區域及東水堤内側計畫水深十一米區域ノ各未竣功部分ニシテ本工事ハ共ニ後述ノ第四號埋立工事ト關聯ヲ有セリ即チ山下町地域ハ地質泥混リ細砂ニシテ四月ヨリ翌年一月マデ全土量五萬九千立方米ヲ浚渫シ内良質ノモノ五萬五千八百立方米ヲ第四號埋立ニ使用、他ヲ沖合投棄トセリ又東水堤内側地域ハ地質惡シク泥砂又ハ軟粘土ニシテ一月ヨリ三月迄ニ得タル全土量七千五百立方米中四千八百立方米ヲ埋立工事ニ、殘リヲ沖捨トス以上ノ如ク本年度總浚渫土量ハ六萬六千五百立方米ニシテ使用浚渫船ハプリストマン二隻ナリ

### 三、埋立

### 外國貿易設備

瑞穂町外貿地帯埋立地ノ未竣功部分面積八萬三千四百六十三平方米此土量四十二萬九千立方米ヲ埋立ツル工事ヲ第四號埋立

工事トシ本年度初頭ヨリ前記浚渫工事ト併行シテ之ガ施工ニ當リタリ即チ浚渫工事ヨリ得タル土砂六萬六百萬立方メートルノ内五萬二千六百萬立方メートルハ土運船ヨリ直接投築セルモ殘餘ノ八千立方メートルハ水深ノ關係ヨリ直接投築不能ナル爲メ一先ヅ三米岸壁前面ニ投築シテ假置シ相當溜リタル時ヲ見計ヒテ唧筒船ニ依リ埋立ツルコトトセリ此他別途ニ横濱市内河川改修工事ヨリ生ズル浚渫土砂ヲ無償讓受クルコトトシ本年度ニ於テ二萬三千百萬立方メートルヲ讓受ケ内一萬九千立方メートルヲ土運船ニ依リ直接投築シ殘リ四十百萬立方メートルハ前記同様岸壁前面ニ投築假置セリ

而シテ唧筒船ハ十一月ヨリ作業ヲ開始シ年度末マデニ九千九百萬立方メートルヲ埋立タリ即チ本年度ニ於ケル總埋立土量ハ八萬一千五百立方メートルナリ

#### 四、外防波堤

##### (イ)南堤及北堤

南堤八百米、北堤一千五百五十八米ハ本年度ニ於テハ見ルベキ功程ナク僅カニ南堤ニ於テハ胸壁混疑土十米ヲ、北堤ニ在リテハ前年度ヨリ施工中ナリシ副堤頭函ノ荷重工ヲ終了セルノミナリ

##### (ロ)神奈川堤

全延長六百八十五米ハ前年度ニ引續キ基礎及荷重工ノ促進ヲ計リタリ即チ基礎土丹岩塊マウンドハ年度末期ニ横須賀海軍ヨリ讓受ケタル土丹岩塊ヲ以テ更ニ五十米ヲ築造シテ起點ヨリ五百八十米迄竣功セシメ又上層割栗石投築ヲ百三十米施行シ起點ヨリ五百四十米迄進メ得タリ

本堤ハ南北部ニ互リ地質ニ相當ノ變化アリ即チ南部三百四十米ハ可成軟弱ナルヲ以テ荷重方法モ二回ニ互ツテ施工スルコトトシ他方北部三百四十五米ハ割合良好ナルニ依リ荷重ハ一回ニテ済マスコトトセリ便宜上前者ヲ一區、後者ヲ二區ト稱スルコトトス而シテ一區ニ於テハ既ニ前年迄ニ第一回荷重ハ全區域ニ互リ施工中ニシテ本年度ニ於テ第二回荷重ニ移リタル部分

ハ百五十米ニ達シタリ

又二區ニ在リテハ昨年度ニ引續キ更ニ五十米ヲ進メテ現在八十米ヲ荷重中ナリ

(ハ)本牧堤一號

全延長三百二十米前年度ニ引續キ施工シ今年度中基礎工ハ根固共副堤頭部ヲ除キ全部ヲ終了シ函塊ハ更ニ十一個ヲ本据シテ副堤頭函ヲ除ク全部ノ据付ヲ了シタリ更ニ中詰工ハ百十米ヲ進メテ累計二百九十米ヲ又上部工ハ百六十米ヲ夫々竣功セシメタリ他ニ本堤根元ノ護岸トノ取付部ヲモ完成セリ

(ニ)本牧堤二號

全延長三百八十六米ニシテ前年度一時中止シアリタルモ本年度ニ於テ本牧寄ヨリ再ビ施工ニ掛リ基礎マウンドハ五十米ヲ竣功セシメ更ニ函塊ハ五個四十米ヲ据付ケ一個分ノ中詰ヲ完了セシメタリ

(ホ)函塊及方塊製造

函塊ハ外防波堤ノ軀體ヲ爲スモノニシテ前年度マデニ大型函塊百六十六個、中型十三個、小型(小)二十六個、堤頭函二個及副堤頭函二個ノ製作ヲ了シ更ニ本年度ニ於テハ引續キ小型(小)十六個ヲ製作シテ累計四十二個ヲ了ヘタリ又方塊ノ製造ニ付テハ年度末期ヨリ本牧堤中央副口堤頭部ノ根固用異型方塊ノ製造ニ着手シ内六個ヲ完了セシメタリ

(ヘ)割石其ノ他採取

外防堤工事其ノ他ニ使用スル割石ヲ採集スル爲メ昭和五年四月靜岡縣田方郡小室村川奈ニ工場ヲ設置シ爾來同地區ヨリ割石 小割石及碎石ヲ適宜採取セルモノニシテ本年度ニ於テハ割石 小割石一萬三千二百九十九立方米ヲ採取シ累計三十二萬九千七百六十七立方米トス

之ト別途ニ本年度ヨリ港内ニ於テ切込砂利ノ採取ヲ開始セリ即チ本牧堤函塊ノ中詰ニハ從來川奈工場採取ノ小割石ヲ使用シ

來タリタルモ今年ハ都合ニ依リ採取量少ク函塊据付ニ即應シ得ザル爲メ山下町地先ノ海底ヨリ大粒ノ切込砂利ヲ採取シテ之ニ充當ス更ニ此切込砂利中良質ノモノヲ本牧堤ノ上部混泥土並ニ異型方塊ノ製造ニ利用シ好成績ヲ收メ得タリ本年度ニ於テ之ガ採取量二千六十一立方米ナリ

##### 五 船舶及機械修理製作

本年度ハ製作ハ殆ド無ク大部分ヲ修理工事トス内譯（延隻數）ヲ示セバ浚渫船六隻、起重機船三隻、混合機船二隻、汽船四隻、自動艇三隻、發動機船二隻、土運船八隻、雜船七隻及其他諸器械類ニシテ是等工事ハ殆ンド直營施工セルモ工事ノ都合ニ依リ一部ヲ請負ニ附シタリ

本年度ハ年度初頭ニ於ケル豫算ノ削減豫算ノ三期分割配賦、年度中途ニ於ケル實行豫算ノ削減或ハ工事材料ノ入手困難等ノ爲メ工事ノ施行ニハ一段ト苦心ヲ要シタルモ前述ノ如ク銳意工事ノ進捗ヲ計リ克ク所期ノ成績ヲ擧ゲ得タリ而シテ本年度竣功高ハ二十四萬六千二百八十七圓、起工以來ノ累計一千九百二十三萬七千五百十八圓ニシテ今年度新ニ追加セラレタル工事ヲ含ム工事費豫算二千九百五十八萬二千四百四圓ニ對シ約六割五分ノ竣功ナリ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
岸壁及護岸	四、〇二九 米	五、〇〇六、九四九 円	五	二、七六九 円	四、〇三三 米	五、〇〇九、七一八 円	〇・九八
浚渫	七、五五〇、四五五 立米	一、四七二、八三三 円	六、四六七 立米	一、四七二、〇一一 円	七、五五七、九二二 立米	一、四七四、三〇三 円	〇・六一
埋立	二、一四五、八二四 米	三、一九、八五三 円	八、五五五	六、八三七 円	二、二三三、三九九 米	三、二六、六三〇 円	〇・八七
防波堤	二、六〇七 米	三、八八六、七六一 円	五〇	一、四九六 円	二、六五七 米	五、三八三、二〇七 円	〇・八〇
橋	一基	五八五、四九五 円	一基	—	一基	五八五、四九五 円	一・〇〇
繫船浮標	七個	一、八三三、六二八 円	一個	—	七個	一、八三三、六二八 円	〇・八二
掃海	—	四、六三三 円	—	—	—	四、六三三 円	一・〇〇
船舶及機械費	—	四、二七五、七六八 円	—	四、〇〇一 円	—	四、二七九、七六九 円	—
雜費	—	三、〇八一、八八八 円	—	三、三三三、三一八 円	—	六、四一五、二〇六 円	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
臨時家族手当	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	一八、九七二、三三三 円	—	一、四六六、二六七 円	—	二〇、四三八、六〇〇 円	九六・〇

## 第四 土崎港修築工事

本工事ハ昭和三年六月秋田縣ニ於テ修築工事施行ノ認可ヲ得テ起業シタルモノニシテ總工費二百五十萬圓（内國庫補助百十八萬七千五百圓）ヲ以テ昭和三年度ヨリ同八年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ實施中ナリシガ昭和四年六月ニ至リ明治三十年法律第三十七號ニ依リ國ニ於テ直接施行スルコトナレリ而シテ其ノ總豫算ハ二百二十五萬圓（縣施行額二十五萬圓ヲ控除シタル額）ナリシガ政府財政ノ都合上四十六萬一千二百七十一圓ヲ緊縮減額ノ上竣功期ヲ三箇年度延長シテ昭和十一年度迄トシタルニ昭和八年度ニ至リ更ニ十六萬五千四百七十三圓ヲ減額シ總工費百六十二萬三千二百五十六圓トナリタルヲ以テ昭和九年十二月既定計畫ノ一部ヲ變更シタルモ尙修築費ニ不足ヲ生ズルニ至リ昭和十一年度ニ於テ四十五萬圓ヲ追加シ總工費ヲ二百七萬三千二百五十六圓トシ且計畫ノ一部ヲ變更シテ工期ヲ二箇年度延長昭和十三年度ニ至ル十箇年度繼續事業ニ改メタリ然ルニ昭和十三年度ニ至リ政府財政ノ都合上工期ヲ一箇年度延長シテ昭和十四年度迄トシ全工事ノ竣功ヲ見タルモ昭和十五年度ニ至リ百五十萬圓ヲ追加シ總工費三百五十七萬三千二百五十六圓トシ六箇年度延長昭和二十年度ニ至ル十六箇年度繼續事業トナリシガ國家財政ノ都合上昭和十五年度ニ於テ工期ヲ更ニ一箇年度繰延べ昭和二十一年度ニ至ル十七箇年度繼續事業トナレリ

### 施工狀況

本修築工事ハ昭和四年六月ノ創業ニシテ測量、調査、船舶機械類ノ購入並製作其他諸般ノ準備作業ニ從事シ昭和五年突堤物揚工事ニ着手爾來着々工ヲ進メタル處其ノ完成ヲ目前ニ控ヘテ昭和十四年五月一日秋田縣男鹿地方ヲ襲ヒタル激震ニ因リ本修築工事ニ甚大ナル被害ヲ蒙リタリ依テ震災ニ對シテハ第二豫備金ノ支出ヲ受ケテ復舊工事ヲ施行一方本工事ノ進捗ニ努力

シ或ハ物資ノ統制、人夫ノ拂底等幾多工事施行上ノ困難ヲ生ジタルモ天候ニ恵マレ昭和十五年三月至工事ノ竣功ヲ見本年度ヨリノ追加豫算ヲ以テ工事施行中ナリ其ノ概要左ノ如シ

防波堤ハ本年度石材採取及補強突堤捨石ヲ施行シタルノミニシテ石材採取一千八百九立方米、補強突堤捨石ハ一千七百九十五立方米ヲ完了セリ

浚渫ハ本年度ハ自航唧筒式浚渫船第一開北丸ヲ使用シ土量九萬一千八百立方米ヲ浚渫ス

本年度竣功額ハ六萬九千二百七十二圓ニシテ總工費三百三十三萬二千六圓ニ比シ約六割ノ竣功トナル其ノ竣工表左ノ如シ但シ表中一△ハ土捨出願者提供金額ヲ示ス

費目	本工事費				船舶及機械費	測量費	營業繕費	雜費	共濟組合給與金	臨時家族手当	總計	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計			
	岸壁	物揚場	突堤	防波堤								浚渫	埋立	航路標識	數量	金額	數量	金額	數量
	米	米	米	米	一基	一基					1,423,410	1,423,410	1,423,410	1,423,410	1,423,410	1,423,410	1,423,410	0.00	
		△																	

## 第五 高知港修築工事

本工事ハ高知縣ノ企業ニ係ルモノヲ明治三十年法律第三十七號ニ基キ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ當初豫算四百三十萬圓(内國庫補助二百十五萬五千圓)ヲ以テ昭和四年度ヨリ同十三年度ニ至ル十箇年度繼續事業ナリシガ其ノ後政府財政ノ都合上二百二十九萬八千二百九十七圓ヲ節減セラレ豫算三百七萬一千七百三圓(内國庫補助百五十一萬六千二百八十七圓)トナリ工期モ二箇年度繰延トナリシガ偶々支那事變ノ爲メ昭和十二年度以降數次ニ互リ豫算ノ繰延ヲ受ケ之ニ伴ヒ工期モ亦延長セラレシ結果十五箇年度ノ繼續事業トナレリ

### 施工狀況

本年度配賦豫算額ハ僅カニ九萬三千九百圓(事業費)ニシテ到底活發ナル工事ノ進捗ハ期シ得ベクモナク漸ク防波堤築造並ニ港口除礁工事等ノ一部ヲ施行セリ

#### 一 防 波 堤

本工事ハ港口蛭子堂起點以東五百七米ニ互リ一條ノ防波堤ヲ築造スルモノニシテ昭和七年十月五日先ヅ蛭子堂起點ヨリ百九十四米間ノ甲部防波堤(連礁上ニ場所詰混凝土ヲ施行)ニ着手。同十一年九月二十日更ニ甲部八米之ニ續グ乙部防波堤(袋詰混凝土ニテ均セル岩盤ヲ基礎トスル函塊堤トス)百十二米ニ着手シ更ニ同十三年四月一日乙部防波堤ノ一部構造變更並ニ乙部防波堤ヲ接續シテ丙部防波堤百二十六米ヲ追加施行中ノ處本年度迄ニ甲部步通百八十八米五、乙部百八米、丙部十一米ヲ施行シ(九、十ノ二箇年度休止)本年度ハ之ニ接續シテ更ニ步通乙部二米四、丙部零米三ヲ施行殘餘ハ翌年度ニ繰越セリ

#### 一 港 口 除 礁

本工事ハ港外航路筋ニ當ル沖ノ落及蛭子堂北側連礁約十萬立方米ヲ水深六米七ニ爆藥及碎岩船ニテ除却スルモノニシテ昭和十年六月一日着手昭和十四年九月末日迄ニ三萬七千六百七十七立方米一、浚漑六萬九百五十九立方米（内岩礁間ニ狹在セル砂礫二萬五千六百八十二立方米）ヲ施行セル處工事ノ都合ニ依リ昭和十四年九月末日ヲ以テ一旦打切竣功トシ同十月一日ヨリ殘岩量六萬一千立方米ニ對シ從來ヨリノ碎岩船ニ依ル工法ト共ニ新ニ移動式木製作業槽上据付ケタル試錐機ニ依リ穿孔ノ上爆藥ヲ裝填シ爆破々碎スル方法トヲ併用シ昭和十七年度迄ニ竣功ノ豫定ヲ以テ別設計ヲ計上シ工事ヲ繼續施行セリ即チ別設計ニ對シテハ前年度迄ニ碎岩量四千四百四十六立方米、浚漑量四千九百七十八立方米（内砂礫百五立方米）ヲ施行シ本年度内ニ於ケル除礁功程ハ碎岩量四千二百十三立方米、浚漑量二千九百十立方米（内砂礫二百八十立方米）ヲ施行セリ而シテ右浚漑岩石及砂礫ノ總テハ無害ノ海中ニ運搬投棄シタリ

以上本年度施行ニ係ル本港修築工事ノ竣功高ハ八萬六千六百二十七圓ニシテ竣功累計二百三十五萬八千二百二圓ニ達ス之ヲ事業費總額二百八十四萬一千九百三十一圓ニ對比スルトキハ約八割三分ノ竣功トナル其ノ竣功表左ノ如シ但シ表中「△」ハ材料採取ノ項ニ掲ゲタル金額中ヨリ各工事ニ使用シタル直營採取材料代ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
防波堤	108 米	1,075,545 円	3 米	4,933 円	111 米	1,080,478 円	0.16
本浚渫	21,246.8 立米	3,340,640 円	1 立米	1,000 円	21,247.8 立米	3,341,640 円	0.94
工事同 (港口除礁)	1,113 米	1,807,418 円	4,113 米	3,770,010 円	5,226 米	5,577,428 円	0.54
事埋立	1,317.9 米	807,772 円	1 米	1,000 円	1,318.9 米	808,772 円	0.91
費岸壁	354 米	3,347,090 円	1 米	1,000 円	355 米	3,348,090 円	0.97
船舶及機械費	298	78,977 円			298	78,977 円	1.00
營繕費		6,000,918 円		13,901 円		6,014,819 円	
雜費		1,000,000 円				1,000,000 円	
共濟組合給與金		3,179,972 円		2,718 円		3,182,690 円	
材料採取費		1,818,008 円		2,500 円		1,820,508 円	
臨時家族手當		19,848 円		1,000 円		20,848 円	
總計		12,141,444 円		8,662,717 円		20,804,161 円	0.80

本工部局... 昭和二十一年... 第七百九十八号... 第七百九十八号... 第七百九十八号...

## 第六 七尾港修築工事

本工事ハ石川縣ノ起業ニ係リ明治三十年法律第三十七號ニ依リ國ニ於テ直接施行スルモノニシテ昭和四年度ヨリ同十三年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ工費三百五十五萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ政府財政緊縮ノ爲メ昭和六年度以降ニ於テ百四萬六千四百四十四圓ヲ減額シテ二百五十萬三千五百五十六圓（内國庫補助九十三萬五千六百二十五圓）ト爲シ且工期四箇年度ヲ繰延ベ昭和十七年度迄トセリ

### 施工狀況

本年度ハ物揚場及護岸 埋立 貯木場 雜ノ各工事ヲ施行セリ其ノ狀況左ノ如シ

物揚場及護岸工事ハ前年度未竣功ニ終レル府中埠頭矢田新間海岸物揚場及護岸ニ關スル四工事 矢田新埠頭西物揚場工事

第一及第二矢田新物揚場及護岸工事 矢田新東埠頭物揚場及護岸基礎工事 鐵筋混凝土塊製作工事 並ニ本年度新ニ着手セ

ル矢田新東埠頭護岸工事、同物揚場工事ノ十一工事ニシテ府中埠頭矢田新間海岸物揚場及護岸工事ハ年度内ニ基礎工七十六米、下部四十五米、繫船柱五箇所、頭部場所詰混凝土三十七米五ヲ施行セリ

矢田新埠頭西物揚場工事ハ前年度ニ引續キ施工シ上部鋪裝ヲ打切り全工事ヲ竣功セリ

第一矢田新物揚場及護岸工事ハ矢田新埠頭西物揚場工事トノ取付部ヲ施行シテ全工事ヲ竣功セリ

第二矢田新物揚場及護岸工事ハ本年度内ニL型塊二十九個ヲ製作セリ

矢田新東埠頭物揚場及護岸基礎工事ハ前年度ニ引續キ敷掘一千三百六十八立方米ヲ施工セリ

鐵筋混凝土塊製作工事ハ前年度ニ引續キL型塊二個ヲ製作シテ全工事竣功セリ

矢田新東埠頭護岸工事ハ矢田新東埠頭ニ護岸工事ヲ築造スルモノニシテ其ノ延長(頭部百二十米、東側百九十五米)三百十五米、水深二米ト爲スモノナルガ同地域ハ海底土質不良ナルヲ以テ別途設計矢田新東埠頭物揚場及護岸基礎工事ニ依リ泥土ヲ浚渫シテ砂ト置換ヘ土丹岸(厚一米五)ヲ裏込トシ割石ヲ以テ法面及天端ニ石張工ヲ施行スルモノニシテ本年度新ニ着手シ年度内ニ捨石(割石二十吨乃至四十吨)百二十三立方米、裏込土丹岸一千六百五十四立方米ヲ施行シ法面石張用割石(一個ノ重量百瓦内外)二百十立方米ヲ運搬シテ東側水面下延長八十米ノ石張ヲ施行セリ

矢田新東埠頭物揚場工事ハ矢田新東埠頭ノ西側ニ延長百二十米、水深三米五及延長三十米、水深二米二ノ物揚場ヲ築造スルモノニシテ基礎ハ別途設計基礎工事ニ依リ泥土ヲ浚渫シ砂ト置換ヘ之ニ厚六十糎ノ捨石ヲ行ヒ既塑鐵筋混凝土A型塊及L型塊ヲ其ノ上ニ配列シ頭部場所詰混凝土ヲ施工スルモノニシテ本年度新ニ着手セシガ鐵筋混凝土A型塊製作用ノ型枠準備ニ止マレリ

埋立工事ハ前年度ニ引續キ府中埠頭矢田新聞海岸埋立工事矢田新東埠頭埋立工事ヲ施行シ松百ノ山地ニ於テ人力ヲ以テ採土シ木造小舟ニ依リ土砂九千八百二十二立方米運搬シ又能登島須會ヨリ土丹層六千六百立方米ヲ購入運搬シ合計一萬六千四百二十二立方米、府中埠頭矢田新聞海岸埋立工事八千二百十立方米、矢田新東埠頭埋立工事八千二百十二立方米ヲ竣功セシメタリ

貯木場工事ハ前年度ニ引續キ貯木場埋立地排水路工事第二號、取水裝置配水路工事、貯木池圍堤工事乙號 第二貯木場埋立地物揚場工事ノ四工事ヲ施行シ本年度内ニ全部ヲ竣功セリ

雜工事ハ前年度ニ引續キ新大谷川築堤工事、矢田新埠頭埋立地道路工事、神戸川道路橋架設工事並ニ本年度新ニ着手セル矢田新東埠頭道路工事ヲ施行シ新大谷川築堤工事ハ取水裝置配水路工事ノ竣功ト共ニ全工事竣功セリ矢田新埠頭埋立地道路工事ハ前年度ニ引續キ基礎一千二百十平方米、路面三千四百八十五平方米、側溝二百三十三米ヲ施行セル外混凝土塊側溝用二

百四十四個、鋪裝用四千個ヲ製作シ道路延長二百米ヲ竣工セリ神戸川道路橋架設工事ハ前年度ニ製作セル下部工用ノ鐵筋混凝土塊四個ヲ所定ノ位置ニ沈設スルニ止メ上部構造ハ其ノ沈下ヲ俟チテ次年度ニ施工スルコトトセリ 矢田新東埠頭道路工事ハ七尾市矢田新地内縣道七尾鵜浦線ヨリ分岐シ矢田新東埠頭ニ通ズル有効幅員十一米、延長五百七十八米ノ道路ヲ新設スルモノニシテ本路線敷ノ大部分ハ先ニ附替セル大谷川ノ廢川敷ヲ利用ス其ノ路面ハ二十五分ノ一ノ拋物線型ニ仕上ゲ十糎厚ノ切込砂利ヲ敷均スモノニテ本年度新ニ着手シ年度内ニ切取百八十二立方米、盛土七百四十一立方米ヲ施行セリ  
本年度ノ竣功額ハ五萬七千八百五十圓ニシテ起工以來ノ累計ハ二百萬七千六百十八圓トナリ之ヲ總工費二百三十三萬三千二百一十一圓ニ比スレバ八割六分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ表中「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
物揚場及護岸	1,282 米	374,688 円	101 米	18,338 円	1,383 米	393,026 円	0.80 歩合功
横棧橋	4 米	33,567 円	—	—	4 米	33,567 円	0.53 歩合功
埋立	948.75 立米	393,090 円	16.4 立米	11,685 円	965.19 立米	804,775 円	0.79 歩合功
浚渫	23.95 米	29,296 円	—	—	23.95 米	29,296 円	1.00 歩合功
工事費	—	—	—	—	—	—	—
圍堤	—	—	—	—	—	—	—
防波堤	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
貯木場	—	—	—	—	—	—	—
用地	—	—	—	—	—	—	—
船舶及機械費	—	—	—	—	—	—	—
測量費	—	—	—	—	—	—	—
營業繕費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合與金	—	—	—	—	—	—	—
臨時家族手当	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	1,999,762 円	—	39,545 円	—	2,039,307 円	0.80 歩合功

## 第七 尾道港修築工事

本工事ハ廣島縣ノ起業ニ係リ總豫算四百十萬圓（內事務費十九萬圓）ニシテ內百六十五萬七千三百四十圓ヲ國庫ニ於テ補助シ昭和四年度ヨリ昭和十六年度ニ至ル十三箇年度ノ繼續事業トシ明治三十年法律第三十七號第一條ニ依リ國ニ於テ直接施行中ナリシガ一般財政緊縮ノ爲メ昭和五年度中工費三十八萬七千四百六十圓ヲ減額サレ工期一箇年度ヲ延長セラレタリ然ルニ昭和六年度ニ於テ事業年度ノ繰上トナリ工期六箇年度ヲ短縮シテ竣功期限ヲ昭和十一年度ニ變更シ八箇年度繼續事業トシ更ニ工費五十三萬三千九百三十一圓ヲ減額セラレ尙引續キ昭和六年度ニ六百二十一圓ヲ減額サレ昭和七年度ニ於テ二十五萬五千九百六十一圓ヲ節減セラレタルモ漸次工事ノ竣功ニ伴ヒ豫算ノ不足ヲ告グルニ至リタルヲ以テ昭和十一年度ニ工費七十萬八千圓ヲ増額サレ總工費三百六十三萬二十七圓（內事務費十八萬四千五十二圓）內國庫補助百五十一萬四百二十四圓ニ改訂、工期三箇年度ヲ延長シテ竣功期限ヲ昭和十四年度ニ變更セラレ更ニ昭和十二、十三兩年度ニ於テ時局ノ影響ニ依リ工期二箇年度ヲ延長シ（事務費ヲ二十萬三千四百四十六圓ニ更正）竣功期限ヲ昭和十六年度ニ改訂セラレタリ

### 施工狀況

本年度ニ於テハ前年度ヨリ引續キ施工ノ外西口航路、挂燈浮標工事ニ着手セリ其ノ概要ハ左ノ如シ

#### 一、浚渫工事

本年度該當ナシ

#### 一、陸上設備工事

前年度ヨリ二號、三號上屋新築、陸上設備地鋪裝工事ヲ施行中

一、航路標識工事

五月二十一日西口航路挂燈浮標設置工事ニ着手施行中ナリ

本年度ノ竣功高ハ三萬六千六百八圓(事務費ヲ除ク)當初以來ノ累計ハ三百十九萬六千七百七十七圓トナリ總工費三百四十三萬六千五百八十一圓(事務費ヲ除ク)ニ比スレバ九割三分ノ竣功ニ當ル其ノ竣功表ハ左ノ如シ但シ「▲」ハ提供品價額「×」ハ土木試驗所試驗費補給額「○」ハ無代價品價額「△」ハ製產品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
浚	立米	27,769.94			立米	27,769.94	1.00
埋立		560,149.91				560,149.91	
護岸		1,880,181.12				1,880,181.12	
岸壁		171,779.33				171,779.33	
浮棧		212,264.80				212,264.80	
航路標識		20,111.11				20,111.11	
陸上設備		11,840.00				11,840.00	
雜木		1,000.00				1,000.00	
貯場		1,000.00				1,000.00	
補償費		1,000.00				1,000.00	
工事費		1,986,661.11		15,339.91		2,002,001.02	0.40
事務費		3,311.11		1,811.11		5,122.22	0.50
其他		141,149.91				141,149.91	0.42
合計		3,432,703.06		17,150.82		3,449,853.88	0.42

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	船舶及機械費
▲x			▲x	○		▲
三、一五〇、九六九 一一六、七〇九 一、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	二、九一九 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一、一七五 一、一七五	一、〇〇〇	八、七三六 一、五六一 一、五〇四
▲x			▲x	○		▲
三、一五〇、九六九 一一六、七〇九 一、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	二、九一九 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一、一七五 一、一七五	一、〇〇〇	八、七三六 一、五六一 一、五〇四
▲x			▲x	○		▲
三、一五〇、九六九 一一六、七〇九 一、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	二、九一九 一、〇〇〇 一、〇〇〇	一、一七五 一、一七五	一、〇〇〇	八、七三六 一、五六一 一、五〇四
0.00						

## 第八 博多港修築工事

本工事ハ福岡市ノ事業ヲ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ當初總豫算五百三十萬圓(内國庫補助二百三十一萬七千二百七十圓)ヲ以テ昭和四年度以降同十七年度ニ至ル十四箇年度繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシモ昭和六年度ニ於テ工費百十九萬八千四百十圓ヲ減ジ且工期六箇年度ヲ繰上ゲ更ニ昭和八年度ニ於テ工費三十三萬九千八十圓ヲ減ジ三百七十六萬二千五百十圓ヲ以テ施行中ノ處更ニ昭和十二年度ニ於テ航路改良及泊地擴張ニ伴フ工費二百八十八萬圓ヲ追加シ引續キ昭和十六年度迄ノ繼續事業トシテ施行スルコトトナリ現在豫算ノ總額ハ六百六十四萬二千五百十圓(内國庫補助三百五萬七千三百四十四圓)トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和四年度ノ創業ニシテ當初ノ計畫工事ハ昭和十二年度初メニ於テ全部竣功セシメ本年度ハ前年度ニ引續キ追加計畫ニ係ル工事ノ内東防波堤、西防波堤、船溜防波堤及浚渫工事等ヲ施行セリ其ノ概況左ノ如シ

東防波堤工ハ延長一千五百米ヲ鐵筋混凝土函ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ前年度迄ニ一千米ノ函塊ノ据付ヲ了シタルヲ以テ本年度ニ於テハ前面捨石百四十五米、前面地形均百四十六米及函内填充砂八千三百七十三立方米ヲ了シ約六割三分ノ功程ヲ示セリ

西防波堤工ハ延長七百五十米ヲ鐵筋混凝土函並ニ方塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ前年度中ニ製作セシ函六個(九十六米)ト本年度製作セシ五個(八十米)ノ据付ヲ爲シ捨石二百四十九米、地形均二百四十二米及函内填充砂三千四百二十八立方米ヲ了セリ又方塊製作ハ本年度ヨリ着手シ計畫全數量四百一個ノ製作及据付ヲ完了シ全功程ノ約六割二分ノ竣功ヲ示セリ

船溜防波堤工ハ方塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ本年度ニ於テ方塊五個(累計四百九十四個)ヲ製作シ二百三十九個ノ据付ヲ了シ捨石百八十一米、地形均二百三十四米ヲ施行シ七割一分ノ竣功ヲ示セリ

浚渫工ハ前年度ニ引續キ鋤鏈式浚渫船ヲ使用浚渫シ本年度ニ於ケル浚渫土量ハ六十四萬七千六百十三立方米ニシテ起工以來ノ累計四百二十六萬一千三百二十三立方米ヲ算シ計畫土量ノ七割六分ヲ竣了セリ

而シテ其ノ浚渫土砂ハ自航土運船並ニ曳船ニ依リ福岡市委託ニ係ル箱崎地元西公園地先竝ニ須崎裏地先埋立地ニ投棄セリ  
其他雜石採取工、採砂工、砂利採取工及假設物ノ造築等ノ諸工事ヲ施行セリ

本年度ノ竣功高六十四萬三千百十五圓ニシテ起工以來ノ累計ハ五百五十五萬八千四百二十三圓ヲ算シ工費總豫算六百二十四萬三千五百四十三圓ニ對シ約八割九分ノ竣功ナリ

其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「\*」ハ他工事ニテ直接埋立地内ニ投棄シタル土量「▲」ハ提供勞力並材料價額「■」ハ評價品使用見積價額ニシテ岸壁及防波堤費等ノ竣功額中ニハ函工場設備費、雜石及砂利採取費並ニ諸機械運轉費等ヲ含ム

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
岸壁及防波堤	— 米	一、一七二、八五四	— 米	— 円	— 米	一、一七二、八五四	1.00
本防波堤	— 米	八六、五五〇	— 米	— 円	— 米	八六、五五〇	1.00
工事浚渫	三、六三三、七〇〇 立米	七、四〇、二一八	六、四七、六三三 立米	一、〇一、九〇二	四、一六、一三三 立米	九、六、〇一九	0.80
事埋立	* 二、四〇七、一四六	二、二二、一四四	* 二、四〇七、一四六	— 円	* 二、四〇七、一四六	二、二二、一四四	1.00
費航路標識	— 標	二、八、一〇〇	— 標	— 円	— 標	二、八、一〇〇	1.00
船繫船浮標	— 標	二、一六、三三四	— 標	— 円	— 標	二、一六、三三四	1.00
船舶及機械費	— 費	一、五三三、四八二	— 費	三、三三〇、三三〇	— 費	一、五三三、四八二	1.00
營業繕費	— 費	九、四六六	— 費	三、八八〇	— 費	九、四六六	1.00
測量費	— 費	三、八、八九五	— 費	一、七〇、一	— 費	三、九、九七四	1.00
雜費	— 費	五、五七四	— 費	— 円	— 費	五、五七四	1.00
共濟組合給與金	— 金	四、二、九四五	— 金	五、八、五〇〇	— 金	一〇、一、四四五	1.00
臨時家族手當	— 當	四、四、九四五	— 當	四、八、八七	— 當	九、三、八二二	1.00
總計	—	四、九、五、〇〇八	—	六、四、三、二八〇	—	一、一、五、八、四八三	0.89

## 第九 青森港修築工事

本工事ハ青森縣ノ起業ニ係リ總工費三百五十萬圓(内國庫補助百五十七萬八千圓)ヲ以テ昭和七年度ヨリ同十六年度ニ至ル十箇年度ノ繼續事業トシテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ國ニ於テ直接施行中ナリシガ國庫財政ノ都合上昭和十三年度ニ於テ工期ヲ一箇年度延長更ニ十四 十五ノ兩年度ニ互リ一箇年度延長シ昭和十八年度ニ至ル十二箇年度ノ繼續事業ニ改メタリ

### 施工狀況

本年度ニ於テ施行シタル工事ハ防波堤 岸壁及埋立ニシテ物揚場護岸ハ工事ノ都合上其ノ施行ヲ見合せタリ各工事施行ノ概要次ノ如シ

防波堤ニ於テハ前年度同様青森港ヨリ約十軒ヲ距ル野内村海岸浦島山ヨリ所要石材ヲ斫出シ海路運搬シテ西防波堤ニ一萬九百八十二立方米ノ基礎捨石ヲ爲シ其ノ仕上ヲ行ヒ又假据付中ノケーソンニ對シ混凝土及層石中詰ヲ施工シタリ北防波堤ニ於テハ前年度迄ニ施工シタル基礎捨石ノ仕上ヲ行ヒ又假据付中ノケーソンニ混凝土中詰ヲ施工シタリ尙昭和十四年一月九日ノ風波浪ニ因リ滑落及移動シタルケーソンノ復舊工事ハ前年度ニ引續キ施行中ノ處本年度ニ於テハケーソン二個ヲ浮揚セシメ据付ケタリ

岸壁ハ南部側延長二百二十米ノ基礎工事ヲ前年度ニ引續キ施行シ其ノ基礎工事ノ完了セル部分ニ本年度製作セルケーソン二個ヲ据付ケタリ

埋立ハブリストマン浚渫船ヲ使用シ附近海濱淺所ヲ浚渫シ土砂三千五百三十九立方米ヲ埋立タリ  
斜路維持ハ埋没土砂ヲ浚渫シ滑路ヲ補修シ岸壁用ケーソンノ進水ニ支障ナカラシメタリ

本年度竣功高ハ十二萬七百二十六圓ニシテ其ノ累計二百十六萬九千九百三十五圓ナリ之ヲ工事費三百二十三萬一千五百二十七圓ニ比スレバ六割七分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
防波堤		八二六、五八三		四九、一〇〇		八七五、七八二	〇・四一
本岸壁		八六、六三三		二六、八四四		一一三、四七七	〇・三三
工事岸		一四、〇九二	一			一四、〇九二	〇・四一
工物揚場護岸	三三三		一			三三三	〇・四一
事埋立	二四〇、二四四	二九、六二七	三、三三六	一、七八九	二四三、七三〇	二二、四一六	〇・四九
費雜工		三、七七四				三、七七四	
船舶及機械費		二六〇、八二〇		一〇、三六一		二七一、一八一	
管繕費		一四、一三二		二、七		一四、一三九	
雜金		一〇一、一四四		一〇、五九九		一一一、七四三	
共濟組合給與金		一四、一三一		一、〇九二		一五、二二三	
臨時家族手當				一、〇〇一		一、〇〇一	
總計		一、〇八四、一〇六		一四一、〇一四		一二、一三三、九二〇	四七・〇

第一〇〇字 青森港修築工事

## 第一〇 宇野港修築工事

本工事ハ岡山縣ノ起業ニ係リ總豫算二百五十萬圓（工費二百三十二萬一千六百六圓、事務費十七萬八千九百三十四圓）ニシテ内百七萬四千圓ヲ國庫ニ於テ補助シ昭和七年度ヨリ同十八年度ニ至ル十二箇年度繼續事業トシテ明治三十年法律第三十七號第一條ニ依リ起業者岡山縣ニ代リ國ニ於テ直接施行スルモノナリ

### 施工狀況

前述ノ計畫遂行ノ爲メ昭和七年九月修築事務所ヲ開設シ諸種ノ基本調査ト共ニ倉庫、工場、船舶、器械等ノ整備ヲ行ヒ一方順次浚渫、埋立、岸壁、浮棧橋、貯木場、其他ノ諸工事ニ着手シ現在ニ至レリ前年度迄ノ分ハ既ニ報告ノ通りニ付之ヲ略シ以下主トシテ本年度ニ於ケル進捗程度及施工ノ狀況ヲ記サントス

#### 一 埋立工事

本年度ハ第一突堤へ一千百九十九立方米、第二突堤へ一萬八千六百四十五立方米、合計一萬九千八百四十四立方米ノ土砂ヲ別途設計採砂工事ニ於テ唧筒式浚渫船櫻島丸ニ依リ玉野市日比地先オヅノ瀬ヨリ採取セルモノヲ使用シ尙第二突堤ニハ前記土砂數量ノ外二萬二千八十八立方米ヲ鐵道省岡山工事事務所ニ於テ捨土セルヲ無償ニテ讓受ケタリ依テ年度末ニ於ケル着手以來ノ總土量ハ第一突堤七萬二千三百八十五立方米、第二突堤九萬三千五百一立方米トス

#### 一 岸壁工事

第一突堤岸壁基礎工事ノ床掘ハ全區域共昭和十一年度ニ終了シ砂置換ハ昭和十三年度迄ニ計畫ニ對シ全區域共略完了セリ而シテ前年度水深五・二米及七・九米岸壁ノ基礎高ニ合致セシムル爲メ別途採取工事ノ砂ヲ投棄セルガ本年度ハ之ガ一部ノ床均

ヲ爲シタルノミトス

第一突堤水深九米岸壁工事ハ本年度工事ノ都合ニテ休工セリ水深五・二米岸壁工事ハ昭和十三年二月着工シ前年度迄ニ基礎石投入及基礎杭打床均シヲ施行セルガ本年度ハ方塊百九十六個ヲ疊積シ裏込石二百四十一立方米三及捨石三百四十六立方米ヲ投入シ前記ノ外裏込石八百立方米、捨石二百九十立方米ヲ寄附ニ依リ投入セリ

第二突堤水深七・九米岸壁工事ハ昭和十年十月着工シ前年度迄ニ上部場所打混凝土ノ大部分ヲ終了セルガ本年度ハ工事ノ都合ニテ上部工ノ一部ヲ施行シ又水深五・二米岸壁工事ハ昭和十一年十二月着工前年度迄ニ上部場所打混凝土ノ大半ヲ終リ本年度ハ七・九米岸壁工事ト同様上部工ノ一部ヲ施行シタルノミトス

一 護岸工事

第二突堤西側護岸工事ハ昭和十年五月着手シ前年度迄ニ上部場所打混凝土ノ大半ヲ終リ本年度ハ石垣ノ一部ヲ施工シタリ第一突堤東側取付護岸ハ工事ノ都合ニ依リ前年度同様休工セリ

汐入川物揚場及取付護岸工事ハ本年四月着工シ床掘及基礎杭打並ニ方塊製造ハ終了セリ其ノ外一部基礎石ヲ投入床均シヲ施工シ方塊二十九個ヲ疊積セリ本工事ハ當初年度内ニ竣功ノ豫定ナリシガ地盤其他ノ關係モアリ殘餘ハ翌年度ニ施行スルコトトセリ

一 方塊製造工事

前記岸壁及護岸工事ニ使用スル爲メ昭和八年五月第一回方塊製造ニ、同十年四月第二回方塊製造ニ着手シテヨリ順次工ヲ進メ本年度ノ製作ハ七十三個ニシテ累計二千六百七十七個ヲ製造ス

一、採砂工事

埋立及岸壁、護岸等ノ諸工事ニ使用スル爲メ昭和十年六月採砂工事ヲ起シ順次工ヲ進メ本年度ニ於テハ一萬九千八百四十四

立方米ヲ啣筒式浚渫船櫻島丸ヲ使用シ玉野市日比地先オゾノ瀬ヨリ採取セリ

以上ノ如クニシテ本年度使用セル事業費ハ八萬五千五百八十五圓ニシテ累計百五十萬一千六百八十三圓ナリ 又事務費ハ本年度一萬六千二百圓ニシテ累計十二萬六千六百八十七圓トス起工以來ノ合計ハ百六十二萬八千三百七十圓ニシテ總工費二百三十二萬一千六百六圓ニ較ブレハ六割五分餘ニ當ル但シ「△」ハ寄附物品評價額「×」ハ土木所試驗費補給額「△」ハ製作品價額「■」ハ直營採取品價額「○」ハ無代品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
浚渫	立米 40,445.5	131,115.00	立米 1	5,190.00	立米 40,446.5	136,305.00	1.00
埋立	1,146.43	11,213.11	■	5,319.00	1,146.43	16,532.11	0.11
岸壁	1	1,000.00	1	1,000.00	2	2,000.00	0.11
岸揚場護岸	173.77米	7,674.00	1米	1,000.00	174.77米	8,674.00	0.41
物揚場	175	11,101.00	1	1,000.00	176	12,101.00	0.41
貯木場、防波堤	175	11,101.00	1	1,000.00	176	12,101.00	0.41
浮棧橋	40.5米	40,500.00	1米	1,000.00	41.5米	41,500.00	1.00
雜工	1	11,000.00	1	1,000.00	2	12,000.00	0.04

第四章 港灣改良工事 (宇野港修築工事)

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
亡失毀損費		四				四	
土地買收其他補償費		一八、五七八				一八、五七八	
船舶及機械費		三三、三九八		一〇、〇一四		三三、三九八	
測量費		六、四四四		一		六、四四五	
營繕費		三九、三九九		一〇		三九、七八七	
雜費		四〇		一〇		四六	
共濟組合給與金		一、八五二		七三三		九、四八五	
臨時家族手當				五八六		五八六	
總計		一、四三三、三六〇		一、八六六、八八五		一、四三三、三六〇	〇・九一

宇野港修築工事 第一二二號 港灣改良工事

## 第一一 三角港修築工事

本工事ハ熊本縣ノ事業ヲ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ總豫算二百四十五萬圓（内國庫補助百十九萬圓）ヲ以テ昭和七年度以降同十四年度ニ至ル八箇年度ノ繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシガ支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十二・十三兩年度ニ於テ工期各一箇年度ヲ繰延ベ竣功期ハ昭和十六年度トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和七年度ノ起工ニシテ本年度ニ於テ施行セル主ナル工事ハ岸壁、物揚場、護岸、埋立、浚渫、掘鑿工事等ニシテ其ノ施工狀況左ノ如シ

岸壁工ハ八米岸壁百三十七米及九米岸壁百六十米（A部二十二米、B部百三十八米）ヲ何レモ鐵筋混凝土函ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ前年度ニ引續キ施行セリ兩岸壁共防舷材ノ取付ヲ殘シ他ハ全部完了シ本年度ニ於テハ防舷材取付ニ着手シ八米岸壁二箇所、九米岸壁A部及B部各一箇所ヲ施行セルノミニテ何レモ約九割九分ノ竣功ヲ示セリ

三米物揚場工ハ八米岸壁ノ東端ヨリ東方ヘ延長五百九十米ヲ混凝土方塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ前年度ニ引繼キ東西兩方ヨリ工事ヲ進メ基礎捨石、基礎沈壓、地形均、方塊据付等ノ諸工ヲ施行シ本年度ノ竣功高ハ十米七ニシテ着工以來ノ累計ハ三百三十三米六ニ達シ計畫延長ニ對シ約五割六分ノ竣功ヲ示セリ

護岸工ハ埋立地ノ東西兩端及棧橋取付部ヲ築造スルモノニシテ東端部既ニ竣功シ西端部ハ前年度迄ニ壁體ヲ完了シ本年度ニ於テ斜面ノ一部ヲ施工セシノミニシテ約九割七分ノ竣功ヲ示セリ棧橋取付部長四十米ハ前年度ニ引續キ本年度ニ於テモ基礎捨石、基礎沈壓、地形均、方塊据付等ノ諸工ヲ施行シ約五割八分ノ竣功ヲ示セリ

浚渫工ハ前年度ニ引續キ從來ノプリストマン式浚渫船一隻、土運船二隻ヲ以テ七米五區域、三米物揚場前面及三米浚渫區域ヲ施工シ土量二千八百十七立方米ヲ浚渫シ着工以來ノ累計ハ五十六萬一千五百九十八立方米ニ達シ設計總土量ニ對シ約九割九分ノ竣功ヲ示セリ

掘鑿工ハ前年度ニ引續キ中神島西部ヲ除却シ小型帆船ニ依リ所定ノ箇所ニ運搬投入セリ本年度内ノ掘鑿土量ハ三千二百十四立方米九ニシテ累計六萬七千八百五十三立方米四ニ達シ計畫土量ニ對シ約五割七分ノ竣功ヲ示セリ

埋立工ハ前年度ニ引續キ三米物揚場裏ノ埋立ヲ施行シ主トシテ掘鑿ヨリ生ジタル雜石及三角浦土砂採取場ニ於テ採取セシ土砂ヲ運搬投棄シ本年度内四千五百五十九立方米五起工以來ノ累計三十四萬八千三百六十三立方米八ニ達シ約七割ノ竣功ヲ示セリ

本年度ノ竣功高ハ八萬八千六百三十九圓ニシテ起工以來ノ累計百九十三萬三千七百六十四圓ヲ算シ工費總豫算二百二十七萬九千二百三十三圓ニ對シ約八割五分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ハ左表ノ如シ但シ表中「\*」ハ他工事ニテ直接埋立地内ニ投棄シタル土量「■」ハ評價品使用見積價額ニシテ岸壁費及物揚場護岸費竣功金額中ニハ雜石、砂利、砂等ノ採取費並ニ諸機械運轉費ヲ含ミ又埋立竣功金額中ニハ下水工事費ヲ含ム

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	船舶及機械費	費事工本					費目		
						繫船浮標	浮棧橋	除礁	浚深及掘擊	理立		物揚場護岸	岸壁
												數	前年度迄竣功高
												量	
												金	
1,888,800												額	
												數	本年度迄竣功高
												量	
												金	
888,800												額	
												數	合計
												量	
												金	
1,234,500												額	
												計	
0.0												步竣	
												合功	

## 第一二 大分港修築工事

本工事ハ大分縣ノ事業ヲ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ總豫算百九十五萬圓(内國庫補助九十三萬六千圓)ヲ以テ昭和七年度以降同十四年度ニ至ル八箇年度ノ繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシガ支那事變ニ伴フ物資及勞務需給並ニ國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十二、十三、及十五ノ三年度ニ於テ工期各一箇年度ヲ繰延ベ竣功期ハ昭和十七年度トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和七年度創業ト同時ニ諸般ノ施行準備及測量調査ヲ行ヒ同年度末ヨリ防波堤工事ニ着手シ爾來順次各種工事ニ及ベリ本年度ニ於テ施行セシ主ナル工事ハ岸壁、浚渫、埋立等ノ諸工事ニシテ其ノ概要左ノ如シ

岸壁工ハ前年度ニ引續キ施行シ本年度ニ於テハ六米五岸壁ニ在リテハ防舷材十一箇所ノ取付ヲ完成セル外笠石延長百五十六米六四、繫船柱二箇所ヲ施工シ計畫全長ニ對シ約九割八分ノ竣功ヲ示セリ

七米三岸壁ニ在リテハ防舷材十八箇所ノ取付ヲ完成セシ外笠石二百四十米一八、繫船柱三箇所九ヲ施工シ計畫全長ニ對シ九割九分ノ竣功ヲ示セリ

浚渫工ハ前年度ニ引續キ唧筒式浚渫船不知火號ヲ使用シ七米三浚渫區域東部淺所ノ浚渫ヲ施行シ本年度ニ於ケル浚渫土量ハ六萬四千五百八十立方米ニシテ全部埋立地内へ送土セリ而シテ起工以來ノ浚渫土量ハ九十五萬九百九十五立方米ニ達セリ

埋立工ハ前年度ヨリ引續キ埠頭突堤ノ埋立ヲ行ヒ浚渫土砂六萬四千五百八十五立方米ヲ利用シ起工以來ノ埋立土量ハ二十五萬五千八百十立方米ニ達シ計畫土量ニ對シ約七割九分ノ竣功ヲ示セリ

其ノ他混凝土用砂利砂ノ直營採取工事ヲ施行セリ

本年度ノ竣功額ハ八萬四千八百九十一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ百五十三萬七十五圓ヲ算シ工費總豫算額百七十九萬二百八十六圓ニ對シ約八割五分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功内譯ハ左ノ如シ但シ表中「\*」ハ他工事ニテ直接埋立地内ニ投棄シタル土量「▲」ハ提供品價額「■」ハ評價品使用見積價額ニシテ防波堤 岸壁及護岸ノ竣功金額中ニハ函工場設備費 雜石 砂利及砂等ノ採取費並ニ諸機械運轉費ヲ含ミ又埋立竣功金額中ニハ下水工事費ヲ含ム

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
防波堤	九	三六、八九九	九	三六、八九九	九	三六、八九九	100.0
岸壁	一五二	三三、〇四五	一五二	三三、〇四五	一五二	三三、〇四五	100.0
護岸	六九、四九五	二二、三三三	六九、四九五	二二、三三三	六九、四九五	二二、三三三	100.0
工事費	八八六、四四五	二五、一、二四八	八八六、四四五	二五、一、二四八	八八六、四四五	二五、一、二四八	100.0
費事	一五五、六四五	一、二二二	一五五、六四五	一、二二二	一五五、六四五	一、二二二	100.0
船及機械	一五五、六四五	一、二二二	一五五、六四五	一、二二二	一五五、六四五	一、二二二	100.0
營繕費	五三三、八〇六	一、三三三	五三三、八〇六	一、三三三	五三三、八〇六	一、三三三	100.0
雜費	九、一〇四	二二二	九、一〇四	二二二	九、一〇四	二二二	100.0
共濟組合給與金	一六四、五〇〇	一、八〇八	一六四、五〇〇	一、八〇八	一六四、五〇〇	一、八〇八	100.0
臨時家族手當	一四、八九八	一、〇一〇	一四、八九八	一、〇一〇	一四、八九八	一、〇一〇	100.0
總計	一、四四三、一八四	八四、八八九	一、四四三、一八四	八四、八八九	一、四四三、一八四	八四、八八九	100.0

### 第一三 廣島港修築工事

本工事ハ廣島縣ノ事業ヲ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ昭和八、九兩年度ニ於テ時局匡救事業トシテ工費百十萬圓ヲ以テ最モ急施ヲ要スル港灣ノ外廓工事ヲ施行シ其後工費二百四十萬圓ヲ追加シ昭和十年度以降同十六年度迄七箇年度繼續事業トシテ内港設備ヲ施行ノ計畫ナリシガ支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ工期一箇年度ヲ繰延ベ竣功期ハ昭和十七年度トナレリ

#### 施工狀況

本工事ハ昭和八年度ノ創業ニシテ本年度ニ於テ施行セル工事ノ中防砂堤、護岸、物揚場、浚渫、埋立及宇品古石採取等ハ前年度ニ引續キ採石工、貯木場圍堤工ノ二工事ハ新ニ着手セルモノニシテ其ノ概況左ノ如シ

##### 一、防砂堤工

前年度迄ニ基礎、捨石並ニ方塊据付ヲ終了シ本年度ニ於テハ浚渫区域内ニ土砂流入ノ著シキ通筏門ヲ之ガ利用ノ程度ニ稽ミ捨石二千九十九立方米三、方塊五十一個ヲ以テ一先ヅ閉鎖シ防砂堤ノ效果ヲ全カラシメタリ

##### 一、護岸工

護岸中甲種護岸ハ本年度新ニ着手セルモノニシテ水深二米及三米物揚場ヲ結ブ突堤先端部九十米ニシテ年度内ニ土砂四百七十五立方米ヲ床掘セリ又乙種護岸ハ前年度迄ニ矢板部二百米竣功セルヲ以テ本年度ハ方塊部四十四米分ノ方塊製造及試験荷重並ニ方塊十六個ノ据付ヲ爲セリ

##### 一、物揚場工

水深一米物揚場ハ前年度ニ引續キテ階段三百米ヲ竣功シ斜面物揚場ノ石張三千五百五十八平方米四ヲ施行シ延長三百米ヲ

完成セリ又突堤東側水深二米物揚場ハ前年度ニ引續キ方塊据付及場所打混凝土ト共ニ年度内ニ完了シ雜割石三百四十一立方  
米四ヲ裏込セリ尙乙種護岸ニ隣接スル三米物揚場ハ年度内ニ床掘土砂一萬四百十五立方  
米 雜割石一千六百五十二立方  
米八  
ノ捨石ヲ爲シ方塊八十一個ヲ製作セリ

一 機械浚渫工

前年度ニ引續キフリストマン型浚渫船ヲ以テ土量六千二百六十六立方  
米ヲ浚渫シ二千九百九十五立方  
米ハ埋立地内ヘ放棄セリ

一 埋立工

本年度竣功土量二千九百九十五立方  
米 地均面積一千五百五十平方  
米ナリ

一 採石工

採石工(第四回)ヲ以テ防砂堤 物揚場 護岸工事ニ使用スル石材採取ノ爲メ本年度新ニ着手セルモノニシテ五千立方  
米ヲ採取運搬シ年度内ニ竣功シ宇品古石採取工ヲ以テ古割石百十六立方  
米八、古雜割石三十一立方  
米三ノ採取ヲ爲シ前年度ニ於テ運搬完了分ヲ合セ古割石二百一立方  
米八五、古雜割石八十七立方  
米五ヲ運搬シ物揚場(水深一米)ニ使用セリ

一 雜工事

本年度ニ貯木場圍堤工ヲ新ニ着手シ貯木場區域内ヘ侵入スル反射波防護ノ爲メ延長五十米ノ圍堤ヲ築造スルモノニシテ年度内雜割石一千七百七十立方  
米九ノ捨石ト方塊十二個ノ据付ヲ爲セリ

以上本年度ニ於ケル竣功額ハ十六萬五千六百七十四圓ニシテ起工以來ノ累計額ハ二百二十五萬一千六圓ナリ其ノ竣功内譯表左ノ如シ但シ表中(△)ハ製作品使用價額(■)ハ直營所出石材使用價額(○)ハ無代價品使用價額(×)ハ土木試驗所補給額ヲ示ス尙防波堤費本年度竣功高一萬八百八十圓ハ石材採取費(採石工第四回一萬五百二十圓、宇品古石採取工三百六十圓)ナリ

費目	本工事										費目				
	防波堤	防砂堤	揚場	物揚場	護岸	浚渫	埋立	雜工	船舶及機械費	測量費		營業繕費	雜費	共濟組合給與金	臨時家族手当
數量															
金額															
前年度迄竣功高															
本年															
本年															
合															
數量															
金額															
計															
步竣															
合功															

## 第一四 和歌山港修築工事

本工事ハ元和歌山縣ノ起業ニ係リ工費百七十萬圓ヲ以テ昭和六年度ヨリ紀ノ川改修無補助ノ七箇年度繼續附帶工事トシテ國ニ於テ直轄施行ノ處昭和七年十二月計畫ノ一部ヲ變更シ工費ヲ二百四十萬圓ニ増額シ以テ第二種重要港灣ニ指定セラレ昭和八、九兩年度間工費百萬圓（内和歌山縣負擔五十萬圓）ノ時局匡救事業トシテ防波堤及其附屬工事ヲ直轄施行セリ

殘餘ノ諸設備ハ昭和十年度以降工費百二十四萬圓（内和歌山縣負擔七十萬圓）ヲ以テ昭和十五年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ繼續施行中ノ處本工事ハ急速完成ノ要アリ昭和十一年度ニ於テ工期ヲ二箇年度繰上ゲラレシモ昭和十二年ニ至リ時局ノ爲メ一箇年度ヲ繰延ベラレ計畫ノ一部ヲ變更縮小シ昭和十四年度ヲ以テ完成スル豫定ナリシモ昭和十五年度ニ於テ工費百九十六萬圓（内和歌山縣負擔九十九萬五千十六圓）ヲ追加シ工期亦十箇年度ヲ繰延ベ昭和二十四年度ヲ以テ原計畫ヲ完成スルコトトナレリ

### 施工狀況

本修築工事ハ紀ノ川改修附帶工事トシテ昭和六年度着手爾來實地測量、用地買收及諸般ノ調査ヲ經テ貯木場ノ掘鑿ニ着手セルモ其後幾何ナラズシテ第二種重要港灣ニ指定セラレ獨立修築サルルニ及ビ昭和八、九兩年度ニ於テ時局匡救事業トシテ防波堤及其附屬工事ノミヲ施行スルコトトナリ先ヅ方塊製作ニ着手スルト共ニ海草郡大崎村海岸ニ採石工場ヲ開設シ基礎捨石ノ所出及堤體方塊製作ト之ガ沈設ニ工ヲ進メ傍ラ徳島縣小松島港ニ造函工場ヲ設置シ函塊ノ製作ヲ開始セリ次デ昭和十年度ヨリ五箇年度繼續事業トシテ殘餘ノ諸工事ヲ施行スルコトトナリシモ昭和十五年度ニ於テ更ニ十箇年ヲ繰延ベ施行スルコト

トナリ南北防波堤内外港ノ浚渫、掘鑿及貯木場ノ新設並ニ埋立工事等ヲ銳意施行中ナリ其ノ内譯ヲ擧グレバ次ノ如シ  
 防波堤工ハ南防波堤一千二百八米及紀ノ川導水堤ニ接續スル北防波堤四百五米ヲ築造スルモノニシテ何レモ前年度ヨリ繼續  
 施工セルモノナリ本年度ノ竣功高ヲ掲グレバ南防波堤ニ在テハ捨石量九百二十八立方米 上置混凝土二百三萬九百九立方  
 米 延長約二百八十五米ニシテ北防波堤ニ在テハ捨石量九千二百六十七立方米 方塊据付四百八十六圓 堤體延長約二百  
 二米上置混凝土百四十四立方米八 堤體延長十八米ナリトス

方塊製作工ノ防波堤用方塊ハ前年度ヨリ引續キ製作中本年度ニ於テ混凝土量約二千八百立方米三百圓ヲ製作シ昭和九年一月  
 着手以來累計四千五百十八圓ニシテ全部竣功セリ其ノ一立方米當十一圓九十八錢五厘ナリ

掘鑿及浚渫工ハ前年度ヨリ引續キ施行セルモノニシテ本年度ニ於ケル掘鑿ハ内港斷面十四號附近ノ舊堤土砂ヲ一千八百九十  
 三立方米ヲ人力掘鑿シ昭和十年五月着手以來三十萬九千四百三立方米ヲ竣功シ全部完了セリ

浚渫ハ聯絡航路ヲ唧筒式浚渫船ニ依リ内港泊地ヲバケット式及擱上式浚渫船ニ依リ三十一萬九千八百七十七立方米ヲ浚渫シ  
 約五割ヲ港外放棄シ其他ハ民地埋立及未處分土砂トセリ其ノ土砂處分ハ港外放棄十五萬九千二百二十立方米 官地支障ナキ箇所  
 九千九百立方米 民地捨土五萬五千九百九立方米四、未處分十萬五千六百九十九立方米六、合計三十二萬九千七百二十立方米ナ  
 リトス

貯木場新設工ハ前年度迄ノ殘工事出入口扉及捲揚機ヲ設備シタリ昭和十年五月着手以來工費約六萬七千四百圓ヲ要シ水面積  
 九萬六千二百六十四平方米 陸上面積七千九百六十五平方米 道路延長九百八十七米ヲ竣功シ全部完了セリ

前記諸工事ニ使用セル船舶機械ノ主ナルモノヲ擧グレバ浚渫船三隻(唧筒式一、バケット式一、擱上式一)曳船三隻(蒸氣船  
 二、重油發動機船一)三十瓩起重機一臺、三十瓩ゴライヤス一臺、五瓩蒸氣機關車一臺ナリ

而シテ本年度竣功高ノ主ナルモノハ

突堤工事ニ於テ南防波堤二千八百八十八米ノ金額一萬六千四百四十七圓 方塊製作三百個ノ金額二萬六千三百九十五圓 北防  
波堤二萬四千三百八十圓 計六萬六千八百二十三圓 提供價額二萬二千八百二十六圓 生産石一萬一千立方米ノ金額二萬一  
千四百四十一圓 掘鑿費一千八百九十三立方米ノ金額百十五圓 提供價額七百七十圓 浚渫費三十二萬七千八百二十七立方  
米ノ金額十萬二千四百十一圓 提供價額三萬六百七十八圓 貯木場費三百六十七圓 提供價額五百七十四圓ニシテ其ノ他ノ  
諸費ヲ合シ二十七萬四千九十二圓ニシテ本年度迄ノ累計二百二十四萬二千三百八十八圓ニ達シ總工費三百九十七萬八千五百  
五十圓(事務費ヲ除ク)ニ比シ約五割六分ノ竣功ナリ其ノ竣功表ハ次ノ如シ但シ表中「△」ハ提供價額「×」ハ土木試驗所補給額  
「△」ハ製作品價額「■」ハ生産品價額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	測量費	補償費	船舶及機械費	亡失毀損費	貯木場	費事工本			費目
										護岸	埋立	浚深	
													前年度迄竣功高
													數量
													金額
													額
													本年度竣功高
													數量
													金額
													額
													合
													數量
													金額
													計
													額
													步
													合功

## 第一五 酒田港修築工事

本工事ハ山形縣ノ起業ニシテ昭和八 九ノ兩年度ニ於テ時局匡救事業トシテ工費七十萬圓(内國庫補助三十五萬圓)ヲ以テ施行シ其ノ後工費九十五萬圓ヲ追加シ昭和十年度ヨリ同十五年度ニ至ル六箇年度繼續事業トナレリ然ルニ昭和十三年度以降ニ年度割改定ニ伴ヒ工期ヲ二箇年度延長セラレ結局工費百六十五萬圓(内國庫補助七十九萬五千圓)ヲ以テ昭和十七年度ニ於テ竣功セシムルコトナレリ

### 施工狀況

昭和八年創業以來防波堤(延長百四十八米)水深六米岸壁(延長二百五十米)物揚場護岸(延長二百十米)ヲ完成セシメ本年度ハ前年度ニ引續キ北防波堤 護岸 浚渫 埋立等ノ諸工事ヲ繼續施行セリ其ノ施行概況左ノ如シ

一 北防波堤

最上川改修工事施行ノ北突堤ニ接續シテ築造スルモノニシテ構造ハ捨石基礎上ニ函塊ヲ据付ケ更ニ高サ一米五二ノ頂部混凝土ヲ施シ頂面ヲ水準基面上二米七ニ保タシメ堤體保護トシテ重量一個四十噸及二十四噸方塊ヲ基面下四米ニ据付ケ法面被覆捨石ハ一噸以上ノモノヲ用フルモノトス

本年度ハ豫算ノ關係上積極的ニ工事ヲ進ムル能ハズ基礎捨石一個重量四百噸以上ノモノ六百十六立方米ヲ山形縣飽海郡吹浦村地内ヨリ直營採取ノ上曳船ニ依リ海上運搬ヲ爲シ現場ニ投棄セルノミニシテ頂部混凝土工事及基礎捨石補充等ノ殘工事ハ次年度ニ繰越シタリ

一、防砂堤工事

構造ハ捨石基礎上ニ方塊ヲ据付ケ頂面ヲ基面上三十糎ニ保タシメ法面ニハ一糎以上ノ捨石ヲ施シテ堤體ヲ保護スルモノトス  
本年度ハ基礎捨石一千八百八立方米ヲ投棄シ堤體用方塊二十個ハ全長百五十米ノ内五十五米ニ設置セリ

一、護岸工事

水深一米八船溜護岸ハ捨石基礎上ニ方塊ヲ二段積トシ頂部混凝土ヲ施シ全延長七百米ヲ築造スルモノニシテ本年度ハ前年度ニ引續キ石張斜面一千三十二平方米ヲ施工シ竣功セシメタリ  
又水深三米假護岸ハ前記船溜護岸ニ接續シ延長三百十九米ヲ築造スルモノニシテ構造ハ捨石基礎上ニ混凝土方塊ヲ二段積トシ基準面上二米一ノ頂部混凝土ヲ施スモノニシテ本年度ハ前年度ニ引續キ壁體用方塊四十個ヲ製造セリ

一、浚渫工事

前年度ニ引續キ自航唧筒式浚渫船ニ依リ浚渫深基準面下七米五ノ航路浚渫ヲ行ヒ土砂四萬三千五百三十三立方米ハ港外二千  
米ノ沖合深所へ運搬投棄シ又船溜浚渫ニ於テハ專ラ障害物ノ除却ヲ行ヒタリ

以上ノ外調査測量ハ港内並河口附近ノ深淺 海岸線ノ移動 風向 風速 波高及潮位等ノ觀測ヲ續行シ諸器械及船舶ノ修理  
製作ハ最上川改修事務所所屬酒田機械工場ニ於テ施行セリ

本年度ノ竣功額ハ六萬七千九百九十二圓ニシテ起工以來ノ累計金ハ百二十七萬三千六百七十三圓トナリ之ヲ事業費百五十一  
萬二千三百四十五圓ニ比スレバ八割四分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表次ノ如シ但シ表中「△」ハ別途設計直營採取及製造ノ材料  
評價額「▲」ハ土捨出願者提供「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
防波堤	一四八	四八、九八七	一八、九六三	八、九七七	一六七	五八、九六〇	〇・〇
岸壁	二五〇	二、三三八			二五〇	二、三三八	〇・〇
工事揚場及護岸	六五〇	九八、五九九	三〇〇	五〇、〇〇〇	九五〇	一四八、五九九	〇・〇
費事	五〇八	三、九六六	三、五三三	八、七七一	八、〇四一	七、五〇〇	〇・二
費理	四六七	一、四一〇	平		四六七	一、四一〇	〇・〇
船及機械		一、七五七		一、七五七		一、七五七	
測量		三、九一四		一、七五七		五、六七一	
營業繕費		六、六三三		一、七五七		八、三九〇	
雜費		一、五一一		一、五一一		三、〇二二	
共濟組合給與金		一〇、〇一一		一、〇九六		一一、一〇七	
臨時家族手當				五、九六三		五、九六三	
總計		一、一〇九、六六一		七、七九三		一、一一七、四五四	〇・〇

## 第一六 八幡、戸畑兩港修築並航路改良工事

本工事ハ福岡縣ノ事業ヲ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ總豫算一千九百九十四萬二千三百七十一圓（内國庫補助二百九十八萬五千五百九十二圓）ヲ以テ昭和十一年度以降同十五年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ施行ノ豫定ナリシガ今次時局ニ際シ物資及勞務需給並國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十五年度ニ於テ一箇年度ヲ繰延べ竣功期ハ昭和十六年度トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十一年度ノ創業ニシテ本年度ニ於テ施行セル主ナル工事ハ浚渫 岸壁 物揚場 護岸 埋立及陸上設備等ニシテ其ノ概況左ノ如シ

航路浚渫工ハ本港航路改良計畫ニ基キ港内葛島北端ヨリ關門海峡西口ニ達スル延長約八軒、幅員二百二十米乃至三百五十米ノ航路ヲ水深九米ニ浚渫又ハ掘鑿スルモノニシテ其ノ後工費ノ關係上差當リ全延長ニ互リ幅員百八十米乃至二百米ノ航路ヲ貫通セシムル方針ノモトニ施行シ一部岩礁區域ヲ除キ大部分ヲ竣了セリ本年度ノ功程ハ土砂五十九萬二千四百九十九立方（累年計六百一十一萬五千六百七十七立方）岩石十二萬八千八百八十七立方（累年計五十一萬百七十四立方）ニシテ右浚渫土砂及岩石ノ大部分ハ曳船運搬ニ依リ前年度ヨリ引續キ施行中ノ日鐵八幡製鐵所出願ニ係ル戸畑市名護屋崎地先埋立前面ニ、又一部ハ八幡港埋立地前面ニ投棄シ是等ハ更ニ唧筒式浚渫船ニ依リ埋立地ニ送入セル外若松市北方八幡製鐵所鑛滓捨場及若松燈臺東北方沖合其他ニ投棄セリ

泊地浚渫工ハ若松市藤之木地先前面淺洲約三十七萬五千平方米ヲ水深三米ニ浚渫スルモノニシテ昭和十四年六月浚渫ニ着手

シ爾來引續キ施行中ナリ本年度ノ功程ハ土砂三萬六千五百三十三立方米（累年計二十三萬五千六百七十三立方米、岩石六十九立方米）ヲ竣了セリ其ノ土砂ハ曳船運搬ニ依リ戸畑市名護屋地先製鐵所埋立地前面ニ投棄セリ

戸畑港浚渫工ハ戸畑港計畫岸壁前面ヲ水深七米三乃至八米ニ浚渫スルモノニシテ前年度ニ引續キ施行本年度ニ於テ土砂一萬九千六百八十八立方米（累年計土砂五十九萬七千九百三十九立方米、岩石三萬二千五百四十三立方米）ヲ浚渫シ其ノ土砂ハ前同様處分セリ

八幡港浚渫工ハ八幡港修築埋立地前面ヲ所定ノ深度ニ浚渫スルモノニシテ前年度ニ引續キ土砂六萬四千二百九十立方米（累計土砂二十萬九千八百七十六立方米）ヲ浚渫シ其ノ土砂ハ一部ヲ八幡港埋立ニ其ノ他ハ前同様處分セリ

方塊製作工事ハ岸壁 護岸及物揚場ニ使用スベキ混凝土方塊ヲ製作スルモノニシテ前年度ニ引續キ本年度ニ於テハ岸壁用百七十二個（累年計一千二百二十三個）護岸用六十六個（累年計三百五十八個）物揚場用三百十七個（累年計八百九十個）ヲ製作シ本工事ヲ完了セリ

戸畑港岸壁工ハ戸畑港突堤北側ニ八米岸壁長百七十米及七米三岸壁長二百四十米ヲ築造スルモノニシテ八米岸壁ハ前年度迄ニ軀體ハ完了セルヲ以テ本年度上部工事ヲ施行シ笠石据付百五十二米 前床混凝土百五十九米、防舷材十八箇所繫船柱十一箇所ノ取付ヲ終了セリ又七米三岸壁ニ在リテハ前年度ニ引續キ方塊据付、根固及裏込捨石並頂部混凝土ヲ完了シ防舷材十九箇所 繫船柱十四箇所、前床混凝土百三十五米ヲ施行セリ斯クテ八米及七米三岸壁トモ殆ンド完成ノ域ニ達セリ

八幡港岸壁工ハ航路延長二百三十米及其ノ西側泊渠沿長十五米ノ八米岸壁並長二百九十五米ノ四米五岸壁ヲ築造スルモノニシテ前年度ニ引續キ施行本年度ニ於テ八米岸壁ニ在リテハ四米五岸壁トノ接續部ニ於ル方塊据付根固均、裏込捨石頂部混凝土等ヲ完了シ笠石据付百七十米、防舷材十二箇所 繫船柱二箇所ヲ取付ケ前床混凝土三十四米ヲ施工セリ又四米五岸壁ニ在リテハ床掘、基礎、根固及裏込等ノ捨石並均、L型及方塊ノ其他防舷材据付十五箇所、繫船柱十四箇所及頂部混凝土ヲ完了

シ笠石据付百三十米前床混凝土ノ一部ヲ施行セリ斯クテ八米岸壁ハ笠石七十五米、防舷材十四箇所、繫船柱七箇所、前床混凝土二十三米ヲ殘シ全工期ノ約八割三分ヲ竣功シ四米五岸壁ハ繫船柱一箇所、笠石百六十五米及前床混凝土二百八十七米ヲ殘シ全工期ノ六割五分ヲ竣功セシメタリ

戸畑護岸工ハ戸畑港突堤前端ニ延長九十米ノ護岸ヲ築造スルモノニシテ前年度迄ニ其ノ大半ヲ竣成シ本年度ハ前床混凝土四十四米ヲ施行セリ

八幡護岸工ハ八幡港八米岸壁ノ東側ニ接續シ延長四十米ノ假護岸ヲ築造スルモノニシテ前年度ヨリ引續キ施行本年度ハ根固均、上部混凝土、笠石、繫船柱取付等ヲ完了セシメ又前床混凝土三十一米ヲ施行シ其ノ殘九米ヲ後年度ニ繰越スノ外全部竣功セリ

戸畑物揚場工ハ戸畑港突堤基部ニ延長六十米、水深三米五ノ物揚場ヲ築造スルモノニシテ十四年度着手ノ本年度ハ基礎及根固捨石及均、方塊据付、階段、繫船柱取付等ヲ完成シ其ノ他上部混凝土及笠石ノ一部ヲ施行シ全工期ノ九割ヲ竣功セシメタリ八幡物揚場工ハ八幡港水深四米五岸壁ニ接シ其ノ南方ニ水深三米物揚場延長三百九十米ヲ築造スルモノニシテ前年度ヨリ引續キ施工シ本年ニ於テ床掘、基礎及根固ノ捨石及均、裏込、繫船柱取付等ヲ完了シ殘工事トシテ頂部混凝土六米、前床混凝土三百二十米及笠石三百四米ヲ後年度ニ繰越スルコトトセリ

戸畑港埋立工ハ戸畑港突堤中北側幅員七十一米ノ部分約三萬七千三百平方米ノ埋立ヲ爲スモノニシテ十四年度着手、本年度ハ航路浚渫ニ依リ土砂三萬七千三百三十一立方米（累年計十六萬六千九百四十一立方米）ヲ吸揚投入ヲ受ケ一部地均ヲ爲シタリ八幡港埋立工ハ八幡港岸壁及物揚場ノ背面約三萬三千平方米ノ埋立ヲ施行スルモノニシテ十四年度着手、本年度ハ八幡港及航路浚渫ノ土砂四萬八千五百五十五立方米（累年計八萬二千三百九十五立方米）ヲ吸揚投入セリ

戸畑港陸上設備工ハ八幡港岸壁及物揚場ノ背面ニ道路並鐵道ヲ設クルノ外上屋一棟ヲ建設スルモノニシテ本年度着工埋立工

事トノ關係上先以テ道路工事ニ着手シ路面鋪裝、排水溝ノ一部ヲ施行セリ

八幡港陸上設備工ハ八幡港岸壁及物揚場ノ背後ニ道路並鐵道ヲ設クルノ外上屋、倉庫等ヲ建設スルモノニシテ先以テ本年上屋一棟ノ建築ニ着手シ其ノ他鐵道用材ノ整備ヲ殆ド完了セシメタリ

以上ノ外本年雜工事トシテ八幡港三米物揚場南端ニ接續シ在來護岸トノ間ニ延長九米五〇ノ取付護岸工事ヲ施工シ殆ド竣功セシメタリ

本年度竣功高ハ百三十七萬一千七百五圓ニシテ起工以來ノ累計一千三十四萬九千六百一十一圓ヲ算シ總工費一千百二十七萬八千圓ニ對シ九割一分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「▲」ハ提供勞力材料價額「■」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
浚渫及掘鑿	立米 六、八六二・三七	二、三三三・一八一	立米 八、四〇七・七七	三、三三三・一八一	立米 一五、二七〇・一四	三、三三三・一八一	〇・九
埋立	立米 一、三三、五五	一、六九二	立米 八、五、六八五	一〇、九一〇	立米 一〇、九、〇三六	一、六九二	〇・六
岸壁		六、一四〇		六、一四〇		六、一四〇	〇・八
工場		一六、三八一		一六、三八一		一六、三八一	〇・九
物揚		八、九、〇〇四		七、三、六九三		一六、二、三九七	〇・九
護岸		三、〇一〇		三、〇一〇		三、〇一〇	〇・九
陸上設備		三、一、一三三		三、一、一三三		三、一、一三三	〇・九
雜工		四、四、三、七七〇		四、四、三、七七〇		四、四、三、七七〇	〇・九
船舶及機械費		一、四、〇〇〇		一、四、〇〇〇		一、四、〇〇〇	〇・九
營業繕費		五、八、〇、六六		五、八、〇、六六		五、八、〇、六六	〇・九
雜費		九、一、六、一四		九、一、六、一四		九、一、六、一四	〇・九
共濟組合給與金		三、四、〇、九三		三、四、〇、九三		三、四、〇、九三	〇・九
臨時家族手当		八、八、七、七、九〇六		八、八、七、七、九〇六		八、八、七、七、九〇六	〇・九
總計		二、一、七、一、〇、九一		二、一、七、一、〇、九一		二、一、七、一、〇、九一	〇・九

第一七 下關港修築工事

## 第一七 下關港修築工事

本工事ハ總豫算五百萬六千圓(内二百五十萬三千圓下關市負擔)ヲ以テ昭和十二年度以降同十七年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ國直轄ノ下ニ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ前年度ニ引續キ浚渫及彦島埋立地盛土、同前面埋立並ニ岸壁、物揚場、護岸、大型壁體製造、小型壁體製造、護岸用塊製作工事ヲ施行セリ其ノ概況左ノ如シ

浚渫工ハ既定計畫區域内ヲ所定ノ深度ニ浚渫スルモノニシテ前年度ニ引續キ干潮面下九米區域内ヲ鋤鏈式及唧筒式浚渫船ヲ使用施工セリ本年度ニ於ケル浚渫土量ハ十八萬六千三百三十一立方米ニシテ累年計九十一萬七千七百三十八立方米ヲ浚渫シ計畫土量ノ約三割ノ功程ヲ示セリ而シテ右浚渫土砂ハ曳船土運船ニ依リ港外所定ノ土捨場或ハ埋立地ニ運搬投棄シ唧筒式浚渫船ニ依ルモノハ直接埋立地内へ吸揚送入セリ

彦島埋立地盛土工ハ既成彦島埋立地内一部ノ不足土嵩上及地均ヲ施スモノニシテ本年度ハ地均ノミヲ施行シ三萬一千九百五十八平方米(累年計十九萬八千五百五十一平方米)ヲ完成セリ

埋立工ハ彦島埋立地先ノ海面ヲ干潮面上三米八ニ埋立セントスルモノニシテ前年度ニ引續キ十五萬九千九百五十五立方米(累年計三十六萬七千四百五十六立方米)ヲ埋立テ十三年度中他工事ヨリ直接投棄セル土量三十二萬三千七百三十六立方米ヲ合算セバ六十九萬一千九百九十二立方米ニシテ計畫土量ニ對シ約三割三分ノ竣功ヲ示セリ

岸壁工ハ彦島埋立地先突堤北側及南側ニ水深九米岸壁延長六百六十米ヲ鐵筋混凝土L型壁體ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ突堤北側三百三十米ノ内、本年度ニ於テハ床掘、基礎杭打、基礎捨石、基礎均、根固捨石、根固均、壁體据付、床版据付、填充凝土及裏込ヲ施行シ又突堤南側三百三十米ハ本年十月着工シ床掘百三十一米九ヲ施行セリ起工以來ノ竣功延長ハ二百六十九米ニシテ計畫延長ニ對シ四割一分ノ竣功ヲ示セリ

物揚場工ハ彦島埋立地先運河沿並ニ突堤基部兩側ニ三米物揚場ヲ築造スルモノニシテ運河沿ノ内五十米ハ鐵筋混凝土矢板杭ヲ主體トシテ築造シ繫船柱ヲ殘シ昭和十四年度中ニ殆ド完成セリ尙之ガ兩側ニ小型壁體ヲ主體トシテ百八十米ノ物揚場ヲ築造スルモノニシテ床掘ノ一部ヲ施行シ計畫長ニ對シ三割ノ竣功ヲ示セリ突堤基部南側甲種物揚場百二十米ハ鐵筋混凝土矢板杭ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ矢板杭建込ハ昭和十四年度中完成シ本年度ニ於テハ之ガ錨定裝置約四十六箇所ヲ施行シ計畫長ニ對シ八割三分ノ竣功ヲ示セリ又突堤基部北側甲種物揚場百五十米ハ小型壁體ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ基礎工事ハ昭和十四年度中ニ完成シ本年度ニ於テハ壁體据付根固均ヲ施行シ計畫長ニ對シ八割二分ノ竣功ヲ示セリ

護岸工ハ彦島埋立地先北護岸延長三百八十五米ヲ鐵筋混凝土塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ床掘、基礎捨石、矢板及杭打ハ前年度中ニ完成シ本年度ハ基礎均、塊据付、底板据付、場所打混凝土裏込、根固捨石及根固均ヲ施行シ計畫長ニ對シ約九割一分ノ竣功ヲ示セリ

壁體製造工ハ九米岸壁用鐵筋混凝土L型壁體(長五米、奥行九米五、高十一米三混凝土容積八十立方米)ヲ製造スルモノニシテ本年度ニ於テハ三十六箇ヲ製造セリ依テ起工以來ノ製作個數七十三個ニシテ總個數百三十六個ニ對シ約五割八分ノ竣功ヲ示セリ床版製造工ハ九米岸壁用L型壁體ノ底板相互間ニ使用スベキ鐵筋混凝土床版(一個所大型二個、小型一個)ヲ製造スルモノニシテ本年度ニ於テ大型十二個、小型六個ヲ製造シ起工以來大型九十四個、小型四十七個ニシテ本工事ハ壁體底板變更ノ爲メ之ヲ以テ打切竣功トセリ

小型壁體製造工ハ水深三米物揚場ヲ築造スルニ要スル鐵筋混凝土L型壁體（長六米、奥行四米四、高五米五、混凝土容積二十七立方米五）ヲ製造スルモノニシテ前年度ニ引續キ本年度ハ十二個ヲ製造シ着工以來三十六個ヲ製造シ之ヲ進水セリ  
護岸用塊製作工ハ彥島埋立地先北護岸ヲ築造スルニ要スル塊底板及矢板ヲ製作スルモノニシテ内矢板製作ハ前年度ニ於テ完了シ本年度ニ於テハ塊百五十四個（累年計二百四十四個）及底板十一個（累年計百二十七個）ヲ製作セリ  
本年度ノ竣功高ハ七十九萬七千六百六十六圓ニシテ起工以來ノ累計二百六十三萬九千九百五十二圓ヲ算シ工費總豫算四百六十七萬三千三百六十一圓ニ對シ五割六分ノ功程ヲ示セリ其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ、但シ表中「\*」ハ他工事ニテ直接埋立地ニ投棄シタル土量ニシテ「④」ハ評價品使用見積債額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
岸壁		三三〇、〇一九	一七四、七五五	五〇七、八五〇		四七五、五〇五	〇・四一
揚場		一一、三三三	二二、八七六	三三、二〇九		五五、〇八五	〇・四八
岸		六三、〇五八	三六、三三三	九九、三九一		一〇五、七二四	〇・一六
護		三三、八〇四	八九、八五一	一二三、六五五		一五七、四六〇	〇・四六
浚	立米	七三、六〇七	一八六、三三三	二六〇、九四〇	九一七、七六八	四二二、六五五	〇・四〇
埋立		三三三、七三六	四八、三九五	三八二、〇九一	三三七、七六六	九六、九六〇	〇・二八
船及機械費		七八、八六七	三九、四四九	一一八、三二六		一五七、六五二	
測量費		一、九〇四	一〇三	二、〇〇七		二、〇〇七	
營業繕費		五八、四三三	一、五二四	六〇、九五七		五九、九五七	
雜費		一七、〇一六	一〇一、四一四	一一八、四三〇		一三五、四四四	
共濟組合給與金		一七、〇一六	七、三三四	二四、三五〇		二四、三五〇	
臨時家族手當			二、七六三			二、七六三	
總計		一、八四二、七八六	七九七、一六六	二、六三九、九五二		三、三七八、一一一	〇・五七

第一八 中子町港修築工事一五五

## 第一八 宇部港修築工事

本工事ハ山口縣ノ事業ヲ内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ總豫算三百十七萬九千八百圓（内國庫補助百五十八萬九千九百圓）ヲ以テ昭和十二年度以降同十九年度ニ至ル八箇年度ノ繼續事業トシテ施行ノ計畫ナリシガ支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ昭和十二年度ニ於テ工期一箇年度ヲ繰延ベ竣功期ハ昭和二十年度トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ爾來各種準備工事ヲ施行シ主要工事タル浚渫工事ハ工具其ノ他種々ノ事情ニ依リ昨年度迄ハ一小部ヲ浚渫スルニ止マリタリ然ルニ本年度ニ於テハ時局ノ影響ヲ受ケ既定豫算ノ約三分ノ一ヲ繰延ベラレシ外約四箇月間宇部市委託浚渫工事ヲ實施セシニ依リ豫期ノ工程ヲ舉グルニ至ラズ而シテ本年度ニ於テ施行セル工事ハ浚渫工事及排砂管移設工事等ニシテ其ノ概要左ノ如シ

浚渫工ハ前年度ニ引續キ唧筒式浚渫船一隻ヲ使用シ最モ急施ヲ要スル箇所ヲ差當リ水深四米ニ又縣營棧橋附近ヲ浚渫セリ本年度浚渫土量ハ九萬九千九百二十八立方米ニシテ縣營埋立地内ニ送入セリ起工以來ノ累計ハ二十八萬十八立方米ニシテ計畫土量ニ對シ約八分ノ竣功ニ過ギズ

排砂管移設工ハ唧筒式浚渫船ニ依ル浚渫土砂排送ノ爲メ宇部港内ヨリ藤曲地先山口縣埋立地間ニ敷設セル排砂管延長二千五百五ノ内工業運河海底及理研金屬株式會社工場敷地ヲ横斷セル部分延長四百九十七米ヲ移設セムトスルモノニシテ昭和十五年十二月三十日着工シ海底部分ノ移設ヲ殘シ其ノ大部分ヲ竣功セシメタリ

測量工ハ前年度ニ引續キ宇部港内ノ深淺測量ヲ實施セリ  
 本年度ノ竣功高ハ二十萬四千二百五十四圓ニシテ本年度迄ノ累計ハ六十七萬六千四百七十六圓ヲ算シ工費總豫算二百九十六萬三千七百八十七圓ニ對シ約二割三分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「■」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(浚渫)	180,000 立米	1,438,850 円	99,928 立米	540,560 円	280,108 立米	1,979,410 円	0.08
測量費	■	5,015 円	■	33 円	■	5,048 円	■
船舶及機械費	■	118,500 円	■	110,000 円	■	328,500 円	■
營繕費	■	11,000 円	■	1,499 円	■	12,499 円	■
雜費	■	67,598 円	■	21,998 円	■	89,596 円	■
共濟組合給與金		5,010 円		1,290 円		6,300 円	
臨時家族手當				717 円		717 円	
總計		1,618,373 円		1,109,350 円		2,727,723 円	0.08

第一九 門司港修築工事

## 第一九 門司港修築工事

本工事ハ總豫算百九十五萬圓(内百十七萬五千圓門司市負擔)ヲ以テ昭年十三年度以降同十六年度ニ至ル四箇年度繼續事業トシテ國直轄ノ下ニ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本年度ハ前年度ニ引續キ防波堤、岸壁、物揚場、埋立及方塊製作工事ヲ施行シ本年度ヨリ新ニ護岸工事、物揚場用塊製作工事ヲ起セリ其ノ概況左ノ如シ

防波堤工ハ捨石基礎上ニ方塊ヲ据ヘ混成堤ト爲スモノニシテ昭和十三年十一月ヨリ基礎捨石ニ着手シ前年度迄ニ捨石及地形均ノ大部分ヲ了セリ本年度ニ於テハ防波堤除却ノ進工ニ伴ヒ基礎捨石六千立方米、基礎沈壓四十五米、地形均百三十米、方塊据付九百五十四個及根固方塊九十五個ヲ施行シ頂部混凝土、階段、網取等ヲ殘シテ殆ンド完了セリ

防波堤除却工ハ前年度迄ニ防波堤用方塊ノ製作完了セシニ依リ之ガ設備ヲ撤去シ昭和十五年四月直チニ上部混凝土及方塊ノ除却ニ着手セリ而シテ年度内ニ上部混凝土百八十米、方塊一千五十個、捨石五千五百八十八立方米ヲ除却シ捨石ノ一部ヲ殘シテ他ハ殆ンド完了セリ

岸壁工ハ延長三百四十五米ニシテ方塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ昭和十三年十二月着手シ前年度迄ニ基礎工ノ大部ヲ了シ、本年度ニ於テハ引續キ基礎均九十五米、方塊据付七百五十三個、填充混凝土五十箇所ヲ施工セシ外根固捨石、裏込等ノ一部ヲ施行シ計畫全長ニ對シ約六割四分ノ竣功ヲ示セリ

物揚場工ハ干潮面以下三米總延長三百九十米ヲ鐵筋混凝土塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ昭和十四年九月着手シ基礎拾石延長約二百四十七米ヲ施行セシノミニシテ本年度ニ於テハ引續キ雜石一萬一千八百立方米、基礎均二百二十米、塊八十四個ノ据付ヲ了シ計畫全長ニ對シ三割六分ノ竣功ヲ示セリ

護岸工ハ本年度ヨリ着手シ雜石八千六百五十立方米ノ捨込ミヲ施行セシノミナリ

埋立工ハ昭和十四年十月着手シ前年度迄ニ物揚場ノ裏面ニ二萬八千立方米ヲ捨込ミ假土留ヲ施セリ本年度ニ於テハ下關港修築工事ヨリ利用土砂三千七十立方米、八幡、戸畑兩港修築並航路改良工事ヨリ利用土砂二千九百八十立方米、計六千五百立方米ノ捨込ヲ了セシニ止マリ唧筒式浚渫船ヲ使用セルニ至ラズ

岸壁用方塊製作工ハ昭和十四年九月製作ニ着手シ本年度ニ於テ六百五十四個ヲ完成シ起工以來ノ累計一千七十三個ニシテ約九割二分ノ竣功ヲ見タリ

塊製作工ハ昭和十五年九月設備並型枠ノ製作ニ着手シ總數三百二十九個ノ内年度内ニ百二十六個ヲ完成セシメタリ  
本年度ノ竣功高ハ五十一萬四千二百五十四圓ニシテ起工以來ノ累計ハ百二十七萬七千五百三十八圓ヲ算シ工費總豫算百八十四萬五百八十九圓ニ對シ約六割九分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「 $\square$ 」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
防波堤	五三米	七、八七九	六五米	五、〇〇〇	一一八米	一二、八七九	〇・四〇
岸壁	六五	二七、五九二	二五	三、〇〇〇	九〇	三〇、五九二	〇・四三
工事揚場		三、一〇〇	一、一三三	六、〇〇〇	一、一三三	九、一〇〇	〇・三三
護岸立		五三〇	一、一三三	三、〇〇〇	一、一三三	四、一三三	〇・三三
埋立	二八、〇〇〇 <sup>立米</sup>	一四、五六九	六、〇〇〇 <sup>立米</sup>	三、〇〇〇	三四、〇〇〇 <sup>立米</sup>	一七、五六九	〇・四二
船舶及機械費		一四、〇六八		四、一三七		一八、二〇五	
測量費		一、九七九		四四〇		二、四一九	
營業繕費		一〇、七四〇		一、六一		一一、三五一	
雜費		四、五五九		一、〇八二		五、六四一	
共濟組合給與金		四、八五七		三、九九六		八、八五三	
臨時家族手當				二、〇一〇		二、〇一〇	
總計		四、二二二		四、四四四		八、六六六	〇・三三

## 第二〇 新潟港修築工事

本工事ハ新潟縣ノ起業ニ係リ總工費三百萬圓(内國庫補助百五十萬圓)ヲ以テ昭和十四年度ヨリ同十九年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ起工セラレシモノニテ明治三十年法律第三十七號ニ基キ國ニ於テ直接施行スルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ起工年度タル昭和十四年度ニ引續キ防波堤築造ニ必要ナル諸工事ヲ進メ是等一應ノ整備ヲ俟ツテ西防波堤工事ニ着手セリ其ノ概要左ノ如シ

防波堤ノ堤體ヲ構成スル函塊ハ昨年度ニ引續キ二十一個ヲ製作進水セシメ之ト並行シテ方塊製造場ノ完成ヲ急ギ搬出路未完成ノ儘製作ヲ開始シ年度内二十六個ヲ製作セリ

西防波堤延長二百五十米ノ内先ヅ九十米ヲ施工ノコトトセルガ同區間ハ昨年度以來海底狀態ノ精査ヲ遂ゲシ結果地盤割合ニ良好ニシテ浮泥ナク其ノ水深モ深ク床掘ノ必要ヲ認メザリシヲ以テ基礎掘ヲ省キテ五月下旬ヨリ捨石ヲ開始シ十月ニ至ル間凡ソ一萬一千立方米ノ石材ヲ水深七米五〇附近迄投入セリ斯クテ冬期ヲ經過セシガ幸ニシテ波浪ニ依ル散逸、漂砂ノ堆積又ハ洗掘等ノ障害ナク年度ヲ過スコトヲ得タリ

石材ハ前年度開始セル佐渡郡河崎村大字羽二生、同村大字大川、同郡水津村大字野浦ノ直營採石場ヨリ海上四十八軒ヲ船持船夫及石材運搬船ニ依リ運搬シ採取ハ從來專ラ勞働力ノミニ依存セルヲ本年度ヨリ壓搾空氣ニ依ル鑿岩機ヲ使用シテ工程ノ進捗ヲ計リ好果ヲ得タリ

右ノ外採石工場用火藥類假貯藏所等ノ造營ヲ施行シ船舶諸器械ノ製作修理ハ附屬新潟機械工場ニ於テ施工セリ  
 以上本年度ノ竣功額ハ二十六萬七千八百九十八圓ニシテ創業以來ノ累計ハ五十萬七千二百二十圓トナリ之ヲ總事業費二百八十一萬四千九百圓ニ比スレバ一割八分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中「×」ハ土木試驗費補給額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(防波堤)		△、八七七		一八七、五五五		二、九、四三二	〇・一五
用地費	三段	三、八〇〇	一段		三段	三、八〇〇	
船舶及機械費		九、九、七三三		二、七、三三七		一二、七、一七一	〇・一五
營業繕費		二、一、九八〇		四、四、四四四		六、六、四二四	
測量費		一、四七五		一、八七五		三、三五〇	〇・一五
雜費		一、四〇〇		一、四〇〇		二、八〇〇	
共濟組合給與金		二、〇、〇〇〇		二、〇、〇〇〇		四、〇、〇〇〇	〇・一五
臨時家族手當				一、〇、〇〇〇		一、〇、〇〇〇	
總計		一、〇、一、一〇〇		二、七、七、八九八		三、七、八、九九八	〇・一五

## 第二一 荊田港修築工事

本工事ハ總豫算七百萬圓(内百五十萬圓福岡縣負擔)ヲ以テ昭和十四年度以降同十七年度ニ至ル四箇年度繼續事業トシテ國直轄ノ下ニ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十四年度創業ト同時ニ工事區域及其ノ附近ノ測量並ニ調査ヲ行ヒ銳意諸般ノ準備工作ヲ進ムルト共ニ防波堤、浚渫、埋立及物揚場ノ一部ヲ施行セリ其ノ概況左ノ如シ

防波堤工ハ昭和十五年五月十六日北側防波堤工ニ着手シ年度内ニ基礎捨石二萬六千九百八十八立方米ヲ投入セリ

浚渫工ハ前年度ニ引續キ唧筒式 鋤鏈式及ブリストマン式浚渫船ヲ使用シ通路開鑿ヲ施行スルト共ニ岸壁前面ノ一部及物揚場ノ前面大部分ノ浚渫ヲ完成スルニ至レリ本年度浚渫土量ハ五十萬二百五十五立方米ニシテ大部分ヲ埋立ニ利用シ一部港外投棄ヲ爲セリ

埋立工ハ工場敷地トシテ急施ヲ要スル箇所ノ埋立ヲ前年度ニ引續キ施行シ漸ク所期ノ目的ヲ達セルニ依リ逐次埋立區域ヲ擴大シ年度末ニ於テハ荒漠タル砂原化シテ新興港灣ノ體形ヲ示現スルニ至レリ本年度埋立土量ハ四十四萬五千百六十五立方米ニシテ全部浚渫土砂ヲ以テ之ニ充テ埋立ノ成ルニ從ヒ其ノ一部三千五百三十平方米ノ地均ヲ行ヒ工場用地トセリ

物揚場工ハ昭和十六年三月一日着手セルモ日猶ホ淺ク僅ニ床掘ノ一部ヲ施行セルニ止マリ又物揚場築造ニ使用スベキ塊製作工事モ漸ク其ノ緒ニ就キタルニ過ギズ

其他岸壁及物揚場用塊製作場設備工事、物揚場、基礎地質試驗工事並ニ工所用雜石、砂利、砂ノ直營採取工事等ヲ施行セリ

本年度ノ竣功額ハ百七十七萬百三十二圓ニシテ起工以來ノ累計ハ二百十六萬四千六百六十三圓ヲ算シ工費總豫算額六百五十四萬五千圓ニ對シ約三割三分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「\*」ハ浚渫工事ニテ埋立地内ニ直接投棄シタル土量「■」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
防波堤		三三、二四一		三、一〇三		三六、三四四
本浚渫	立米 二八、二四三	七、七、九八五	立米 五、〇〇〇	二、六、〇〇〇	立米 三三、二四三	一〇、三、九八五
工事埋立	*	二四、九二五	*	一、三、一〇三	*	二六、二二八
事岸壁		一、一八		一、一八		二、三六
費物揚場		三、三一		五、六、六七一		六、〇、〇〇八
測量		二、八二		一、九〇		四、七二
船舶及機械費		二、二八		一、九〇		四、一八
營業繕費	■	二、二八	■	一、九〇	■	四、一八
雜費	■	四、八、五九四	■	一、〇、一〇一	■	五、八、六九五
共濟組合給與金		三、〇四		五、三、四八		八、三、五二八
臨時家族手当		三、〇四		五、三、四八		八、三、五二八
總計		一一〇、四三三		一一、〇、〇七		一二一、四、五〇

## 第二二一 臨海地帯造成工事

本工事ハ總豫算二千百二十七萬圓(内二百三十六萬五千五百十圓福岡縣負擔)ヲ以テ昭和十五年度以降同二十四年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ國直轄ノ下ニ施行スルモノナリ

抑々關門海峽ハ國際航路ノ要衝ニ當リ我西日本ニ於ケル大關門トシテ今次事變ノ勃發以來愈々其ノ重要性ヲ加ヘ更ニ東亞新秩序建設態勢ニ應ジ將來益々重大性ヲ增加セントスル情況ニ鑑ミ此際本海峽ノ航路、港灣並ニ一般陸上設備改良ヲ一定計畫ノ下ニ綜合的ニ施行スルハ軍事上將又產業貿易上喫緊ノ要務タルヲ痛感シ茲ニ關門海峽綜合改良計畫ヲ樹立スルニ至レリ

臨海地帯造成工事ハ本綜合計畫ノ中核ニシテ關門海峽其ノ他ヨリ生ズル浚渫土砂ヲ利用シテ小倉、戸畑地先ニ廣大ナル埋立地ヲ造成シ港灣施設ヲ整備シ一ハ以テ内外貿易港トシテノ機能ヲ發揮セシメ關門兩港ニ於ケル船舶ノ輻輳ヲ緩和シ海運ノ急激ナル進展ニ備ヘ一ハ以テ臨海工業地帯ニ充テ日本重工業ノ躍進ニ對ヘントスルモノナリ之ガ工費總額ハ約二千八百萬圓ヲ要スベキモ差當リ第一期工事トシテ急施ヲ要スル部分ヲ施行スルコトトナレリ

翻ツテ見ルニ小倉港ハ北九州重工業地帯ノ中樞ニ位シ昭和十五年七月關門港ノ一部トシテ第一種重要港灣ニ編入セラレ近キ將來ニ於ケル一大飛躍ヲ約サレタリト雖モ從來港灣施設ノ見ルベキモノナク入港船舶八十八萬噸(昭和十四年)出入貨物百五十萬噸(昭和十四年)ニ過ギズ臨海地帯造成工事ノ實現ニ依リ愈々面目ヲ一新セントスルモノナリ其ノ計畫ノ大要ヲ述ブレバ左ノ如シ

浚渫ハ本計畫ニヨル突出埠頭ト關門海峽航路トノ間面積約九十二萬三千平方米ヲ水深九米ニ浚渫ス

埋立ハ小倉、戸畑地先面積約百九十二萬一千平方米ヲ埋立テ外國貿易設備地帯(十二萬九千九百五十平方米)内國貿易設備地

帶(六十二萬六千五百平方米) 及臨海工業地帶(約百十六萬五千平方米)ニ供ス

岸壁ハ突出埠頭ノ兩側ニ夫々長五百米、水深九米ノ岸壁ヲ築造シ内東側ハ外國貿易設備、西側ハ內國貿易設備トス  
物揚場ハ埋立地ノ周圍ニ延長一千六百八十米ノ物揚場ヲ築造シ内三百五十米ヲ外國貿易設備ニ、一千百米ヲ內國貿易設備ニ、  
百二十米ヲ臨海工業地帶トス

護岸ハ埋立地周圍ニ延長四千七十米ノ護岸ヲ築造ス内二百七十三米ハ外國貿易設備ニ、八百四十七米ハ內國貿易設備ニ、二  
千九百五十米ハ臨海工業地帶ニ屬ス

陸上設備ハ內國貿易地帶ニ上屋三棟ヲ設クル外、內國貿易地帶及臨海工業地帶ニ主要道路ヲ築造ス

## 施工狀況

本工事ハ本年度ヨリ起工セルモノニシテ先ヅ準備工作トシテ工事區域及其ノ附近ノ平面高低及深淺測量ヲ行フト共ニ見張  
所、倉庫等ヲ建設シ船舶機械ヲ整へ順次左記主要工事ニ着手セリ

浚渫工ハ十一月十四日着手シ鋤鏈式浚渫船一隻及搔揚式浚渫船一隻ヲ使用シ二萬九千八百八十五立方米ヲ浚了セリ

埋立工ハ本年五月二十八日着手シ關門海峽改良工事其ノ他ヨリ生ジタル浚渫土砂ヲ埋立計畫區域内ニ直接運搬投棄シ三十九  
萬六千三百九十七立方米ノ埋立テヲ爲セリ

物揚場工ハ方塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ一號乃至五號物揚場ノ内一號物揚場ノ築造ニ着手シ床掘五百二十三米ヲ施  
工セリ

護岸工ハ方塊ヲ主體トシテ築造スルモノニシテ一號乃至十號護岸ノ内本年度ニ於テハ九號護岸ニ着手シ基礎捨石二百三十二  
米ヲ竣功セリ

塊製作工ハ岸壁、物揚場及護岸築造ニ要スル混凝土方塊ヲ製作スルモノニシテ八月二日ヨリ一號物揚場用方塊ノ製作ニ着手シ二百十五個ノ製作ヲ了セリ

工場設備工ハ混凝土方塊ヲ製作スルニ要スル設備ヲ築造スルモノニシテ九月二十四日着手シ年度内ニ完了セリ  
試験工ハ岸壁、物揚場及護岸築造箇所ノ海底地質ノ調査ヲ行フモノニシテ人力試験機ヲ使用シテ十七箇所ノ試験ヲ行ヒタリ  
本年度ノ竣功高三十六萬一千六百九圓ニシテ工費總豫算二千六萬圓ニ對シ約一分八厘ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ハ左ノ如シ  
但シ表中「\*」ハ他工事ニテ直接埋立地内ニ投棄シタル土量「■」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本浚			立米 二九、一八五	三、四一四三	立米 二九、一八五	三、四一四三	〇・〇
工埋立				四、七五〇	*	四、七五〇	〇・〇
事揚				六八、六七七		六八、六七七	〇・〇
費護岸				四、〇〇五		四、〇〇五	〇・〇
測量				一、八八四		一、八八四	〇・〇
船舶及機械				一、〇〇五 一、〇〇五		一、〇〇五 一、〇〇五	〇・〇
營業繕費				三、四〇三九		三、四〇三九	〇・〇
雜費				三六、五四一		三六、五四一	〇・〇
共濟組合給與金				一、六二八		一、六二八	〇・〇
臨時家族手當				一、四三六		一、四三六	〇・〇
總計				三三、一、〇六九		三三、一、〇六九	〇・〇

## 第二三 八戸港修築工事

本工事ハ青森縣ノ起業ニ係リ總工費二百萬圓(内國庫補助百萬圓)ヲ以テ昭和十五年度ヨリ同二十一年度ニ至ル七箇年度ノ繼續事業トシテ明治三十年法律第三十七號ニ依リ國ニ於テ直接施行スルコトナリシガ國庫財政ノ都合上昭和十五年度ニ於テ工期ヲ一箇年度繰延ベ昭和二十二年度ニ至ル八箇年度ノ繼續事業ニ改メタリ

八戸港ハ本州東海岸ノ最北部ニ位スル港灣ニシテ東南ハ丘陵ヲ爲シ北方ニ展開シ本州北海道ノ聯絡路トシテ青函聯絡線ニ對シ副交通路トモ稱スベキ海陸交通ノ要衝ニ當ル昭和十年二月第二種重要港灣ニ選定セラレ昭和十四年三月開港トシテ指定セラレタリ

青森縣ニ於テハ昭和七年度以降工費百二十一萬八千圓ヲ以テ本港ノ修築工事ヲ施行シ昭和十五年度ヲ以テ竣功シタルト雖モ波浪ニ對スル遮蔽尙不充分ニシテ水陸聯絡不便ナリ近時本港附近ニ於ケル產業殊ニ工業ハ躍進的發展ヲ遂ゲ幾多ノ工場設立セラレ移出入貨物ハ激増ノ一途ヲ辿リ現在ノ施設ニテハ到底時運ニ適應スル能ハズ依テ本修築工事ノ實施ヲ見ルニ至レリ其ノ計畫ノ大要ハ防波堤ヲ既設北防波堤西方ニ六百米延長シ又既設埠頭ノ西方ニ延長三百米ノ假防波堤ヲ築造シ以テ波浪ヲ防ギ港内碇泊地ヲ擴張セントス

## 施工狀況

本工事ハ昭和十五年度ノ創業ニシテ同年八月一日青森縣八戸市ニ修築事務所ヲ設置シ直チニ實施測量船舶機械其ノ他諸般ノ準備ヲ整ヘ防波堤工事ニ着手シタルモ尙準備時代ノ域ヲ脱セズ本格的工事施行ノ運ビニ至ラズ

本年度ニ於ケル防波堤工事割石採取ニ在リテハ表土一萬一千百八十二立方米ヲ剝取シ附近ノ低地ヘ投棄セリ此工費六千七百  
 十四圓ニシテ工事場整備ニ要シタル工費ハ一千三百九圓ナリ  
 本年度竣功額ハ五萬八千八百八十五圓ニシテ之ヲ總工費百八十七萬六千六百圓ニ比スレバ約三分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ  
 如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(防波堤)				58,045		58,045	0.00
船舶及機械費				3,444		3,444	
測量費				1,001		1,001	
營繕費				1,141		1,141	
雜費				1,141		1,141	
共濟組合給與金				1,141		1,141	
臨時家族手當				3,331		3,331	
總計				58,045		58,045	0.00

## 第五章 復舊修補及應急工事

### 第一 相模川外四箇川流域震災復舊砂防工事

本工事ハ大正十三年度ヨリ昭和八年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ總事業費四百五十五萬圓ヲ以テ大正十二年關東大震災ニ因ル山地荒廢復舊ノ爲メ相模川、酒匂川、早川、花水川及多摩川流域ニ施行ノ豫定ナリシガ一般財政緊縮ノ爲メ昭和五年度以降數次節約繰延ノ結果工費八十二萬六千六百七十六圓ヲ減額サレ總工費ヲ三百七十二萬三千三百二十四圓ニ改メ且竣功期限ヲ昭和十六年度迄延長シ十八箇年度繼續事業トシテ施行スルコトトナレリ而シテ本工費ハ關係府縣ニ於テ其負擔ニ堪ヘザルヲ以テ全額ヲ國庫支辨トセリ

### 施工狀況

本工事ハ大正十三年度ノ創業ニ係リ同年度道志川、桂川（相模川流域）河内川（酒匂川流域）早川、花水川、多摩川ノ各工場ヲ設置シテ夫々工事ニ着手シ更ニ翌十四年度ニ中津川、笹子川（相模川流域）鮎澤川（酒匂川流域）小菅川（多摩川流域）ノ各工場ヲ昭和二年度ニ秋川（多摩川流域）工場ヲ増設シテ工事ノ施行ニ當リシガ笹子川、桂川、小菅川、秋川、多摩川、鮎澤川及花水川筋ノ各工事ハ昭和七年度迄ニ、早川筋ノ工事ハ同九年度ニ於テ工費ノ關係上一先ヅ中止シ現在施行中ニ係ルモノハ道志川、中津川、河内川工場所管ノ工事ニシテ本年度ニ於テハ前年度未竣功堰堤四箇所、床固一箇所ノ外新ニ起工セル運搬工事一箇所ヲ施行シ内堰堤一箇所、運搬工事一箇所ヲ竣功セシメ起工以來ノ竣功堰堤百四十一箇所、同補修二十七箇所、床固十

六箇所、同補修二箇所、護岸二箇所、同補修一箇所、捨石一箇所、運搬一箇所、合計百九十一箇所ニ達ス其ノ竣功工事ヲ河川別ニ表示スレバ左ノ如シ

流域名	堰堤	同補修	床固	同補修	護岸	同補修	捨石	運搬	計
相模川	五	一四	七	一	二	一	一	一	三七
酒匂川	二四	七	五	一	一	一	一	一	三七
多摩川	七	二	一	一	一	一	一	一	一四
花水川	七	一	一	一	一	一	一	一	一七
早川	三	四	三	一	一	一	一	一	一五
合計	一四一	二七	一六	二	二	一	一	一	一九二

本年度竣功高六萬三千六百六十圓ニシテ起工以來ノ累計三百六十七萬七千二百二十二圓ナリ之ヲ總工費三百七十五萬六千七百六十四圓ニ對シ九割九分ニ當レリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
堰	未竣功 127箇所	2,581,400円	未竣功 3箇所	30,180円	未竣功 130箇所	2,611,580円	0.4%
本床	未竣功 18	100,920円	未竣功 -	未竣功	未竣功 18	100,920円	
工護	3	4,992円	-	21,822円	3	26,814円	0.4%
事捨	-	3,110円	-	1,110円	-	4,220円	
費運	-	-	-	1,110円	-	1,110円	0.4%
亡失	-	4,783円	-	-	-	4,783円	
用地	-	1,620円	-	-	-	1,620円	0.4%
船舶及機械	-	94,131円	-	6,330円	-	100,461円	
測量	-	210,566円	-	1,110円	-	211,676円	0.4%
營繕	-	30,788円	-	100円	-	30,888円	
雜費	-	648,640円	-	19,274円	-	667,914円	0.4%
共濟組合給與金	-	111,101円	-	6,430円	-	117,531円	
臨時家族手當	-	1円	-	680円	-	681円	0.4%
總計	-	3,631,421円	-	131,820円	-	3,763,241円	

## 第一 利根川應急増補工事

昭和十年九月ニ於ケル利根川ノ洪水ハ未曾有ノ大洪水ニシテ其水位ハ既往ノ最高即チ明治四十三年ノ洪水ヲ基準トセル本川改修計畫高水位ヲ遙ニ突破シ埼玉縣栗橋町ニ於テハ計畫高水位上實ニ一米六六ヲ示セリ爲ニ全川堤防ハ破堤ノ危険ニ瀕セシモ常ニ維持修繕ヲ怠ラズ其高モ計畫以上ノ餘盛ヲ保持セルト最高水位當日及前後ハ偶々天候靜穩ナリシ爲メ必死ノ水防ニ依リ辛フジテ溢流破堤ノ厄ヲ免レ得タルモノナリ斯ノ如キ大出水ヲ現在ノ改修堤ヲ以テ防禦シ得タルハ一ニ天祐ニ因ルモノニシテ不幸破堤ヲ見ンガ其慘狀酸鼻ヲ極メ直接ノ損害ノミニテモ巨額ニ達スベキハ想像スルニ難カラズ利根渡良瀬兩川維持區域外支川小見川堤防ハ溢流決潰ノ不幸ヲ見損害ヲ被リタルモ若シ此破堤ナカリセバ或ハ他ニ於テ更ニ大ナル災害ヲ見タリシナルベシ而シテ本川洪水ノ將來ヲ按ズルニ斯ノ如キ大出水ノ再ビアランハ豫想シ得ベク斯クテハ現在ノ改修堤ヲ以テシテハ到底防禦シ能ハザルニ依リ此際本川ノ根本對策ヲ樹立シ工事ヲ施行スルノ急務ナルヲ認ムルモノナルモ就中將來ノ洪水ニ對シ最モ危険ノ状態ニ在ル箇所即チ昭和十年九月ノ洪水ニ際シ小見川堤防決潰溢流セル偶發ノ事情ニ依リ水位低下シ破堤ノ危険ヲ脱シタル第一、二期部内及第三期部内中茨城縣境町ヨリ下流同縣取手町間ノ堤防ニ對スル嵩上擴築工事並ニ栗橋町附近遊水地以下ノ渡良瀬川、江戸川上流部及其他滲透漏水ニ因ル堤防危險箇所ノ補強工事ハ本川維持上一日モ之ヲ放置シ難ク速ニ應急工事施行ノ必要アルヲ以テ第七十議會ノ協賛ヲ經テ總工費豫算二百八十二萬圓ヲ以テ昭和十二年度ヨリ同十四年度ニ至ル三箇年度ノ繼續事業トシタルモ政府財政ノ都合上昭和十二年度ニ於テ尙一箇年度ヲ延長シ昭和十五年度ニ至ル四箇年度繼續事業トシテ施行スルコトトナレリ

## 施工狀況

本工事ハ工事ノ性質上極メテ緊急ヲ要スルモノナルヲ以テ豫メ諸般ノ準備ヲ整ヘ昭和十二年四月十五日施行方下命ノ翌日ヨリ直ニ工事ニ着手セリ

工事ハ利根、渡良瀬兩川維持事務所ニ於テ施行スルコトトシ土地買收ニ關シテハ別ニ昭和十二年六月一日埼玉縣栗橋町ニ栗橋土地收用事務所ヲ設置シ工地上最モ急ヲ要スル箇所ヨリ順次買收ノ歩ヲ進メタリ

工事施行ニ關シテハ工事ノ性質上極メテ緊急ヲ要スベキ堤防嵩上並ニ滲透漏水ノ甚シキ箇所ヨリ着手シ土地買收ト共ニ銳意之ガ達成ニ努メタリ

堤防増補用土砂ハ主トシテ附近堤外地ヨリ採取スルモノトシ掘鑿ハ全部人力ニ依リ土運搬ハ其距離ニ應ジ人力並ニ小型機關車ニ據レリ而シテ土工器具ハ大部分從來維持工事ニ使用セルモノヲ併用シ以テ大ニ工事ノ進捗ヲ計レリ之ガ爲メ前年度迄ニ土量二百九十八萬百三十八立方米ノ築堤工事ヲ竣功セリ

本年度ニ於ケル用地ノ買收ハ七郷村外二十七箇町村ニ互リ四町三段歩ノ買收ヲ了シ創業以來ノ買收段別累計ハ七十四町歩ニ及ベリ

本工事ノ内施行豫定ナリシ江戸川筋野田町地先ノ無堤地延長一千九百米ノ混凝土特殊堤防高ハ昭和十年ノ出水位ヲ標準トシタルモノナルガ昭和十四年度起工セル利根川増補工事ニ於テハ更ニ二米餘ノ嵩上ヲ爲ス計畫ナルヲ以テ之ガ各別ニ工事ヲ施行スルコトハ技術上經濟上不得策ナリト認メ特殊堤防工事費ヲ以テ増補断面ニ做ヒタル堤防五百五十五米ヲ施行スルコトトセリ而シテ右堤防五百五十五米ノ箇所ハ既ニ地元ニ於テ應急堤防高ニ做ヒ嵩上ヲ施行完了セルヲ以テ右變更ニ依リ將來工事ノ手戻ヲ避ケ得ルノミナラズ應急特殊堤防工事本來ノ目的ヲ完全ニ達成シ得タリ

本年度着手セル本工事ハ築堤十箇所ト特殊工事トシテ横利根開門及小野川水門ノ繼足工事二箇所ニシテ前年度ヨリ繼續施行セル築堤工事三十五箇所ト共ニ本年度ニ於テ全部竣功セリ

而シテ年度内運搬土量ハ人力ニ據リ六十五萬三千二百六十五立方米、機關車ニ據リ十七萬二千二百二十三立方米、計八十二萬五千三百八十八立方米ニシテ起工以來ノ累計三百八十萬五千五百二十六立方米ニ及ベリ次ニ應急増補工事ニ於テ施行豫定ナリシ附帶工事ノ内樋門樋管ノ増築(繼足或ハ改築)ハ昭和十四年度起工セル利根川増補工事ニ於テ再ビ増築ヲ要スルコトナリ此二回ニ互ル増築ヲ各別ニ施工スルコトハ技術上不得策ナルノミナラズ經濟上頗ル不利益ヲ齎スコトトナルニ鑑ミ増補工事上支障ナキ水路附替工事ノミヲ施行スルコトトシ前記附帶工事箇所ハ開渠ト爲シ置キ後年増補工事施行ノ際増築ヲ爲スコトニ變更セリ而シテ増補工事ニ於テ差向急施ノ要アリト認ムル堤防ノ薄弱ナル箇所ニ該増築工事ニ相當スル豫算ヲ振向ケ堤防ノ嵩上擴築工事ヲ施行シ以テ堤防ノ強度ヲ一貫セシメタリ

本年度着手セル附帶工事ハ利根川筋右岸木間ヶ瀬村地先ノ水路附替工事及江戸川筋右岸豊岡村地先ノ木津内用水路附替工事ノ二箇所ニシテ前年度着手セル江戸川筋右岸吉田村地先ノ中島用水路附替工事ト共ニ年度内ニ竣功ヲ見タリ

本年度ノ竣功高ハ五十三萬五圓ニシテ創業以來ノ累計二百八十一萬九千十圓トナレリ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中□ハ管理者負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工築堤	立米 二、九八〇、一三六	円 一、二一〇、一三六	立米 八五、三八八	円 三九、二四七	立米 三、〇六六、五二四	円 一、二四九、三八三	一〇〇
工事費	箇所 一	円 一、五八〇	箇所 三	円 八、二六〇	箇所 四	円 九、八四〇	一〇〇
用土地費	坪 六九七	円 四三〇、七三三	坪 四三	円 一三、七四一	坪 七四〇	円 四四四、四七九	一〇〇
附帶工事費直轄施行	箇所 一	円 七九〇	箇所 三	円 一五、八八〇	箇所 四	円 一七、四六〇	一〇〇
船舶及機械費		円 三三三、五六六		円 三五、七三六		円 三九九、三〇二	一〇〇
測量費		円 六、九八〇		円 三四八		円 七、三二八	一〇〇
營繕費		円 二、七二二		円 一、七七一		円 四、四四三	一〇〇
雜費		円 一四一、四九九		円 四四、九九七		円 一八六、四九六	一〇〇
共濟組合給與金		円 九、七三六		円 二、九四三		円 一二、六七八	一〇〇
臨時家族手當				円 二、〇〇〇		円 二、〇〇〇	一〇〇
總計		円 二、二八九、〇〇五		円 五三三、〇〇五		円 二、八二二、〇一〇	一〇〇

### 第三 淀川修補工事

淀川ハ本邦著名ノ大河ニシテ其源ヲ琵琶湖ニ發シ近畿七州ノ諸水ヲ合セ汪洋トシテ攝河ノ平野ヲ貫キ終ニ大阪灣ニ注グ灌漑ノ利、水運ノ便アルニ加ヘテ沿川ニハ京阪ノ巨市ヲ初メ大小ノ都邑數多逐年發達シ産業亦殷盛ヲ極メ之ガ惠澤ノ及ブ處實ニ廣汎ナリト雖モ他面本川ハ古來治水ノ難者トシテ知ラレ水患累起シ應接ニ遑アラズ而モ一度破堤セムカ幾多ノ日子ト巨億ノ國努ヲ投ジタル國家百年ノ大計須臾ニシテ水泡ニ歸スルノミナラズ其餘殃亦往年ノ比ニ非ズ輓近水防機關漸ク完備ニ近キモノアリト雖モ歲月ノ經過ニ伴フ諸種ノ事象頻發シ之ガ爲メ堤防其他ノ機能著シク減殺サレ現狀ノ儘一日モ忽諸ニ附シ難キモノアルヲ以テ政府ニ於テハ總工費一千六百萬圓十箇年度繼續事業トシテ昭和十四年度先ヅ第一期淀川補修工事ヲ起工スルニ至レリ其區域ハ左支天野川、右支檜尾川ヨリ新淀川尻ニ至ル間トス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十四年四月事務所ヲ淀川維持事務所内ニ併置スルト同時ニ高槻、九箇莊、長柄ノ三工場ヲ開設シ諸般ノ準備ヲ爲シツツ先ヅ最モ危態ニ類セル箇所ヲ選ビテ着工セルモノニシテ初年度ニ於ケル築堤工事ハ左岸枚方町三矢、出口、友呂岐村木屋、太間、長柄町及西島町ノ四地先ニ夫々枚方木屋、太間、長柄及西島各築堤右岸高槻町大塚深澤地先ニ大塚築堤ヲ起シ木屋、太間築堤ノミ竣功セリ枚方大塚ノ二築堤ハ十五年度ヨリ本格的ニ進工スベク夫々枚方町及高槻町地先堤内土取場ニ至ル延長約四軒五及約八軒ニ互ル二十噸機關車運搬線路ノ敷設ヲ終ヘテ長柄、西島兩築堤ト共ニ十五年度ニ繰越セリ

護岸工事ハ前記木屋、太間、西島各築堤施行箇所及左岸庭窪村大日、本庄町及毛馬町地先ニ夫々木屋、太間、西島、大日及本庄各護岸並ニ長柄裏護岸ヲ起シ木屋、太間、本庄ノ二護岸ノミ竣功シ他ハ十五年度ニ繰越セリ是等護岸ニ要スル石材ハ三島郡島本町大字東大寺地先ニ採石場ヲ直營シテ採石シツアリ

土地買収ニ在リテハ大塚引堤箇所ニ於ケル買収協議ヲ爲シ地上物件一部補償ヲ爲シタル外前記東大寺採石場敷地トシテ約二段四畝歩ノ買収ヲ行ヘリ

本年度ニ於ケル施行狀況ハ左ノ如シ

#### 築堤工事

初年度ヨリ繰越ノ長柄、西島、枚方、大塚ノ四築堤ノ他ニ新ニ左岸庭窪村大日地先、同大阪市毛馬町地先ニ夫々大日、毛馬ノ二築堤ヲ起シ枚方、大塚、毛馬ノ三築堤ヲ除キ他ハ竣功セリ此土量二十五萬九千三百十六立方米ノ金額三十三萬七千六百六十三圓ナリ

#### 護岸工事

初年度ヨリ繰越セル西島、大日兩護岸及長柄裏護岸ノ他ニ枚方築堤箇所ノ一部及新淀川右岸大阪市姫島町地先ニ夫々枚方、姫島各護岸工及長柄裏護岸ニ接續シテ下流へ本庄裏護岸ヲ起シ枚方、姫島兩護岸及本庄裏護岸ヲ除キ他ハ竣功セリ此延長二千十米ノ金額十六萬五千七百五十六圓ナリ

#### 掘鑿工事

右岸高槻町中小路地先及左岸大阪市毛馬町地先ニ夫々中小路人力掘鑿、毛馬低水路掘鑿ノ二工事ヲ起シ土量六萬五千六百二十一立方米ノ金額四萬九千三百五十九圓ヲ支出セルモ竣功スルニ至ラズ翌年度へ繰越シタリ

特殊工事

左岸大阪市長柄地先長柄運河給水樋門ハ長柄築堤ニ依ル堤防擴築ニ伴ヒ樋門吐口ノ胸壁及翼壁ノ嵩上等ノ修補工事ヲ起シ之ニ着手年度内ニ竣功セリ此金額二千八百七十七圓ナリ

其 他

土地買收ニ關シテハ前年度ニ協議發表セル大塚引堤箇所ノ買收未承諾者ニ對シ勸誘之努メテ漸ク土地物件全部ノ承諾ヲ得着々移轉ヲ實行シツツアリ此金額二十萬八千九百六十七圓ヲ支出セリ

尙本年度四月以降高槻工場内ニ簡易ナル船舶土工器械ノ直營修理作業場ヲ開設シ其ノ支出高十九萬六千七百五十三圓ヲ要セリ其他測量費、營繕費、雜費等ヲ合算スルトキハ本年度竣功高ハ百六萬三千圓ニシテ創業以來本年度迄ニ竣功累計ハ百四十九萬七千五百五十九圓トナリ總工費一千六百萬圓ニ對シ九分四厘ノ功程ヲ舉ゲリ

因ニ本年度内竣功内譯ハ左表ノ如シ但シ「▲」ハ提供品價額「×」ハ生産品價額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工築堤	立米 三〇、五六八	九三、九三〇 四、五八三	立米 二五九、三六六	三三三、六三三 三、七三三	立米 二八九、八八四	四三三、五九三 八、三三三	0.0%
掘岸	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.0%
護特殊	一、四八〇米	一四、九〇四 九、二六〇 五、六二二	〇	一、一五九 一、七〇〇 二、八五九	〇	一、一五九 一、七〇〇 二、八五九	0.0%
用地	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.0%
船舶及機械	〇	一四〇、九九一 三、二六八	〇	一九六、七五三 二、九〇〇	〇	三三三、七四三 六、一六八	0.0%
測量	〇	一、〇〇〇	〇	一、一三六	〇	一、一三六	0.0%
營業繕	〇	九、〇三〇 三、三〇〇	〇	八、五八八 一、一三六	〇	一七、七二四 四、四六四	0.0%
雜費	〇	四〇、九一八	〇	八四、六六九	〇	一二五、五八七	0.0%
共濟組合給與金	〇	一、四〇六	〇	三、〇〇〇	〇	四、四〇六	0.0%
臨時家族手当	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.0%
總計		一四九、五五九 一、四〇六		一、〇三三、〇〇〇 一、一三六		一、一八二、五六五 二、五四二	0.0%

## 第六章 國道改良工事

### 第一 國道一號線(保土ヶ谷)改良工事 繼續國道改良

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同十七年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ總工費二百十萬圓ヲ以テ施行中ノ處本年度ニ於テ支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ施行年度ヲ一箇年度延長シ昭和十八年度ニ至ル八箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ而シテ本工事以下改良計畫ノ大要ニシテ前年度へ掲記シタルモノハ之ヲ省略ス

#### 施工狀況

本年度改良工事ハ前年度ニ引續キ神奈川縣中郡大磯町所在相模國道改良事務所ニ於テ同郡國府村地内一千百七十四米及大磯町地内三千三百四十四米區間ノ各種工事ヲ施行セリ

即チ前年度ニ引續キ大磯町及國府村地内ノ路體築造ヲ爲シ更ニ大磯町大磯字山王後ヨリ大磯町大磯字山王町ニ至ル延長三百二十米ノ土地買收及物件移轉ヲ爲セリ

掘鑿工ハ火藥爆破ニ依リ三百七十七立方米ヲ竣功シ同時ニ全量ヲ築堤ニ利用セリ

路面工ハアスファルト混凝土鋪裝一萬四千七十三平方米、セメント混凝土鋪裝四千五百十平方米 計一萬八千五百八十三平方米ヲ竣功セリ

溝橋工ハ函型溝橋ニシテ三箇所延長三十四米ヲ竣功セリ

排水工ハ混凝土U型側溝延長九米街渠柵七箇所ヲ竣功セリ

橋梁工事ハ三澤橋ノ擴築ニシテ前年度ノ殘工事ヲ施行シ全功程ヲ竣功セリ

雜工事ハ路床手入ノ一部ヲ竣功セリ

土地買收ハ四十九件面積一千三百七十二坪ニシテ此金額二萬五千六百二十七圓ヲ發表前年度支拂未濟ノ土地代金ノ内五萬五千九百四十五圓ヲ支拂ヒ二萬九千九百九十圓ヲ次年度ニ繰越シタリ

物件移轉其他補償ハ其件數八十二件此金額四萬三千八百八十五圓ヲ發表前年度ヨリノ繰越額ト合セ二萬四千八百九十四圓ヲ支拂ヒ一萬八千三百五十九圓ヲ次年度ニ繰越シタリ

以上本年度竣功額合計十八萬九千三百三圓ニシテ使用勞働者延人員一萬一千八百二十一人、勞力費二萬八千四十四圓ナリ其  
工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	42,111 立米	507,620 円	377	6,912 円	42,488 立米	514,532 円	0.33
築堤	38,355	6,778	377	551	38,732	7,329	0.33
本擁壁	299 米	4,901 円	1 米	1 円	300 米	4,902 円	0.11
工路	6,051 平米	109,419 円	18,583 平米	61,185 円	24,634 平米	170,604 円	0.14
溝橋	1 箇所	8,487 円	1 箇所	1,180 円	2 箇所	9,667 円	0.92
側溝	33,731 米	110,312 円	1,009 米	7,961 円	34,740 米	118,273 円	0.82
橋梁	4 箇所	50,328 円	1 箇所	566 円	5 箇所	50,894 円	0.54
雜工	23,708 平米	337,122 円	4,535 平米	1,080 円	28,243 平米	338,202 円	0.92
用地	60,708 平米	239,234 円	4,535 平米	55,945 円	65,243 平米	295,179 円	
地物		227,802 円		2,889 円		230,691 円	
費用		117,382 円		11,337 円		128,719 円	
器具		1,480 円		51 円		1,531 円	
營業		1,480 円		51 円		1,531 円	
雜費		133,629 円		3,273 円		136,902 円	
共濟組合給與金		4,559 円		966 円		5,525 円	
臨時家族手当		1 円		886 円		887 円	
總計		1,011,010 円		119,101 円		1,130,111 円	

## 第一 國道一號線(沼津)改良工事 繼續國道改良

本工事ハ昭和十四年度ヨリ同十九年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ總工費百八十萬圓ヲ以テ施行スルモノニシテ其ノ區域ハ神奈川縣足柄下郡溫泉村ヨリ靜岡縣沼津市三枚橋ニ至ル延長三萬三千九百十五米四二トス

### 施工狀況

工事施行ニ當リテハ既設事務所ヲ其儘使用シ工事ヲ統轄ス本年度ハ前年度ニ引續キ溫泉村及元箱根村地内ノ工事ヲ施行セルモノニシテ其ノ狀況次ノ如シ

土工トシテハ掘鑿土量一萬八千三百二十六立方米ノ内五千五百五十七立方米ハ附近官地及民地ヘ捨土セリ

擁壁トシテハ土留擁壁九平方米、法留擁壁九百一平方米ヲ施行ス

路面トシテハ小鋪石鋪裝(厚二十一糎五)一千四百十三平方米、セメント混凝土鋪裝(厚十七糎)一千百十三平方米、碎石被覆セメント混凝土(厚十七糎)四千七百九十六平方米、石張鋪裝(厚十二糎乃至十七糎)三百四十五平方米ヲ施行シ他ハ割栗路床トス溝橋ハ底倉地内ニ於テ函型二箇所ヲ施行ス

側溝ハ道路兩側ノ排水設備ヲ施行スルモノニシテL型側溝、U型石積側溝、U型石積側溝、側溝繼足ノ四種ヲ施行ス  
雜工トシテハ割石、割栗石、碎石、砂ノ採集及準備、小屋掛ヲ施行セリ

土地買收並物件移轉ニ在リテハ買收件數十件、面積五千八十五平方米ニシテ地上物件移轉十五件アリ

本年度ノ竣功高二十二萬九千四百八十九圓ニシテ總工費百八十萬圓ニ對シ一割三分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 一四、五六一	二、〇一〇	立米 一八、三三三	一、七、八八九	立米 三三、八九七	二、八、九一九	〇・三三
築堤	立米 六、二二一	九、〇〇〇	立米 五、五五七	四、三三八	立米 一一、七七八	一、〇、八八八	〇・三三
本擁壁	平米 六八五	九、二二六	平米 九〇九	三、〇三九	平米 一、五九四	二、一、六六五	〇・三三
工路面	〇・五、五〇二	一、七、四三三	〇・五、三三三	四、〇三三	〇・一〇、八三五	六、一、七六六	〇・一〇
事溝橋	簡所 四	一、七、七七一	簡所 二	一、八八〇	簡所 六	三、六六一	〇・三三
費側溝	米 一、四七六	八、〇三三	米 一、九六八	六、一三三	米 三、四四四	一、四、一六六	〇・〇六
橋	簡所 一	八、四四一	簡所 一	二、一、三三三	簡所 二	三、〇、〇〇〇	〇・一三
土地買收	平米 二、三六六	三、三六九	平米 五、〇五五	三、〇八三	平米 七、四二一	三、三、四四二	〇・一三
物件移轉其他補償費	件 一八	一、二六四	件 一五	一、〇三三	件 三三	二、二、九七	
器具機械		七、八〇七		二、八三三		一〇、六四〇	
營業繕費		九、九一		四		一〇、九一五	
雜費		一、六三三		一、三三三		二、九六六	
共濟組合給與金		一〇六		七二		一、七八	
臨時家族手当				九七五		九七五	
總計		九、七、七四		二、七、七八五		三、三、五二九	〇・三三

## 第三 國道一號線(清水)改良工事 繼續國道改良

本改良工事ハ昭和十五年度以降同二十一年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ工事費三百五十萬圓ヲ以テ静岡縣沼津市城内ヨリ同縣清水市辻ニ至ル區間ノ内未改良區間延長三萬百十六米九ノ改良工事ヲ施行セントスルモノナリ

本改良區間タル沼津市ヨリ清水市ニ至ル間ハ東海道ノ一部ニ屬シ東京ヨリ關西方面ニ通ズル唯一ノ幹線ニシテ近時文化ト産業ノ進展ニ伴ヒ益々重要性ヲ加ヘ本邦産業及軍事上極メテ樞要ナル大動脈ナルニモ不拘在來國道ハ其ノ沿道長キニ互リ人家連擔シ街衢ヲ形成シ又幅員四米五乃至八米ニシテ一般ニ狹隘ナルノミナラズ國有幹線鐵道ト平面交叉ヲ爲スモノ四箇所ニ及ビ又急角度ノ屈曲、勾配等不適當ナル箇所アリ之ガ爲メ一般交通ハ甚シク極限セラレ殊ニ輓近時局關係諸産業ノ發展ト共ニ車馬ノ往來益々輻輳ヲ極メ交通上危險ナルト共ニ其ノ能力ハ甚シク減殺セララルノ状態ニ在リ

仍テ昭和七年度ヨリ單年度事業トシテ改良工事ニ着手シ既ニ富士川町、蒲原町及興津町ノ全部及由比町、袖師村ノ各一部ノ工事ハ昭和十四年度ヲ以テ竣功セルモ殘餘ノ本改良區間ハ之ヲ繼續事業トシテ實施スルノ得策タルヲ認メ昭和十五年度以降七箇年度繼續事業トシテ工事ヲ施行シ以テ全線ヲ一貫シタル新裝道路ト爲シ繁激ナル交通運輸ノ圓滑ヲ期セントスルモノナリ而シテ計畫路線ハ國道ニ聯絡スル縣道及町村道ノ利用狀態及沿道都邑將來ニ於ケル發展等ヲ考慮スルト共ニ線形ヲ整ヘ勾配及屈曲ノ緩和ヲ計リ且鐵道トノ平面交叉ヲ避クル主旨ニ依リ舊道ノ利用ト新線トニ依リ中心線ヲ決定セリ

即チ本改良區間ノ内沼津市、富士川町、袖師村地内ハ全テ都市計畫豫定路線ニ準據シ之ヲ利用スルコトトシ其他片濱村及原町地内ハ線形概ネ良好ナリト雖モ幅員狹少ニシテ然モ延長約九軒ニ互リ街衢ヲ形成シ且又鐵道トノ平面交叉ニ二箇所アリ依テ工事費ノ節減ヲ計ルト同時ニ鐵道トノ平面交叉ヲ避ケテ新路線ヲ選定セリ

次ニ元吉原村地内ニ於ケル在來國道ハ線形概ネ良好ナルヲ以テ之ヲ擴築スルコトトセルモ元吉原村、富士川町間ノ在來國道ハ其ノ線形蜿蜒迂回シ幅員狹小ニシテ又急角度ノ屈曲極メテ多ク又鐵道トノ平面交叉一箇所アリ交通上ノ不便尠カラズ依ツテ元吉原村字大野新田附近ヨリ新路線ヲ選ビ鐵道ニ對シテハ跨線橋ヲ設ケ富士都市計畫豫定線ニ接續セリ

次ニ富士川以西ノ由比町地内ノ在來國道ハ幅員狹小ニシテ四米五ニ滿タザル箇所アリ街衢ヲ形成シ然モ南側ハ鐵道ト接近シ北側ハ人家稠密ニシテ些ノ餘地モ殘サズ新路線ヲ選定スル時ハ巨費ヲ要スルヲ以テ線形概ネ良好ナル在來國道ヲ擴築スルコトトセリ

次ニ由比町、興津町間ノ海岸道路ハ曩ニ改良セラレアリ殘餘ノ線形亦良好ナルト共ニ波浪防禦ノ施設ハ多額ノ工事費ヲ要スレドモ他ニ求ムベキ地積ナキ爲メ在來國道ヲ擴築スルコトトセリ

最後ノ改良區域タル袖師村ノ一部ノ在來國道ハ概ネ良好ニシテ而モ都市計畫豫定線ナルヲ以テ清水市トノ聯絡上本計畫ニテハ在來國道ヲ改築利用スルコトトシ本改良工事ノ中心線ヲ決定セリ

其ノ計畫概要左ノ如シ

總延長三萬百十六米九ニシテ有効幅員ハ七米五、九米、十一米、十五米、十九米ニシテ路面構造ハ車道ニテハ一層式厚十五糎ノセメント混凝土鋪裝、下層厚五糎、上層厚三糎トトベカ式ノアスファルト混凝土鋪裝及小鋪石鋪裝ノ三種ニシテ歩道ハセメント混凝土平板鋪裝トス排水設備トシテハ路面兩側ニU型蓋付側溝或ハL型側溝ヲ設ケ溝橋或ハ河川ニ排水セシムルモ排水設備無キ箇所ニハ適宜側溝柵ヲ設ケ排水管ニ依リ路外ニ排水セシムルモノトス又最急縱斷勾配四、六%、其ノ延長百五十米、最小屈曲半徑ハ三十米ナリ特殊工作物トシテ橋梁ハ總數十六箇所ニシテ鐵道跨線橋二箇所、鋼板桁橋一箇所、突桁式鐵筋混凝土丁桁橋二箇所、其他ハ鐵筋混凝土丁桁橋ナリ

## 施工狀況

本改良工事ハ昭和十五年度ヨリ繼續事業トシテ創業セシモノニシテ本年四月着手ト同時ニ事務所ヲ静岡縣駿東郡原町地内ニ設置シ土地買収並物件移轉ノ調査ヲ行ヒ同時ニ興津國道改良工事終了ニ伴ヒ當所ニテ繼承シタル事務所其他假設物 器具機 械等ノ移轉、運搬等諸般ノ施行準備ヲ爲セリ

而シテ本年度ニ於テハ沼津市、片濱村界附近ヨリ執リタル新路線ガ在來國道ト交會スル箇所ヲ起點トシ片濱村及原町地内ノ新路線施工延長九千二十米ヲ改築施行スルモノトシテ概況次ノ如シ

本改良區間ノ内新路線タル在來町村道ノ擴築ハ縣有保安林ナルヲ以テ之ガ解除及松樹木伐採セザレバ全ク工事ヲ施行スルコト能ハザルノ狀況ナリ從ツテ本年度ニ於テハ主トシテ鋪裝工事ノ材料タル砂利ヲ直營採取スルコトトシ土地買収及物件移轉ノ終了ニ伴ヒ土工及側溝工事ニ着手セリ

土工工事ハ片濱村地内ノ松樹木伐採並土地買収及物件移轉ノ進捗ニ伴ヒ切取及盛土工事ニ着手セリ

側溝工事ハ工事起點タル在來國道交會點ヨリ町村道ニ到ル區間延長六百四十米ノ内三百三十二米八〇ニ對シテ土工工事着手ト同時ニ本工事モ基礎根掘及型枠製作等ニ着手セリ

雜工事ノ内砂利採取工事ハ七月着手シ駿東郡片濱村及原町地内ノ海岸數箇所ニ採取場所ヲ選定シ波打際ニテ採取セル砂利ヲ零立方米六積ノ土運車ニテ波打際ヨリ保安林際迄距離八十米勾配十分ノ一ヲ捲揚機ニ依リ捲揚ゲ保安林際ニ設ケタル砂利置場ニ運搬セリ

而シテ本年度ニテハ第一號乃至第三號砂利採取工事ノ内第一號及第二號砂利採取工事ハ年度内ニ竣功スルニ到レリ

其他ハ測量調査、用地境界及セメント運搬工事等ニシテ用地境界工事以外ハ全テ年度内ニ完了セリ

又土地買収及物件移轉ハ主トシテ起點ヨリ町村道ニ至ル約六百四十米ノ區間ト片濱村及原町地内ノ縣有山林ニシテ十一月初

旬發表承諾ヲ得、物件移轉ハ一月ニ其他ハ全テ年度内ニ完了セリ即チ買收件數三十三件、宅地面積四百十九坪五合九勺、畑面積一畝二十步、山林面積六町三段七畝四步、其他一畝二十步ニシテ地上物件移轉五十七件ナリ

勞働者使役狀況ハ定傭者、日傭人夫ノ二種ニシテ使用人員總數一萬百四十四人其ノ勞力費二萬六千三百九十四圓七十九錢ナリ而シテ本年度工事竣功ヲ示セバ次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工							劃分
土側							
工事							
費							
土地買收費							0.011
物件移轉其他補償費							0.012
器具機械費							
管繕費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計							0.011

## 第四 國道一號線(袖師)改良工事 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度事業トシテ工事費十萬圓ヲ以テ施行セルモノナルガ内一萬圓ヲ繰越シ本年度ニ於テ殘工事ヲ施行セリ其ノ區間ハ静岡縣庵原郡袖師村大字横砂地内延長一千六十米ナリ

### 施工狀況

本改良工事ハ昭和十四年四月着手シ同年度内ニ工事ノ大部分ヲ了シ本年度ニ於テハ其殘工事ヲ施行セルニ止マレリ而シテ本年度ニ於テハアスファルト、混凝土鋪裝七千九百九十九平方米、測溝百五十五米、擁壁二十六米七及雜工事ヲ施行何レモ完了セリ

本年度ニ於テ使傭セル勞働者延人員二千七百二十三人ニシテ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本路土工	立米 一、一三五〇	二、五九九	立米 一		立米 一、一三五〇	二、五九九	100.1
側溝	米 二、〇〇五	一、八〇七	米 七、一九〇	一九、九七	米 九、二九五	三、七三三	100.1
溝橋	米 一、四〇	九、四九	米 一、五	二、二	米 一、一九七	九、七〇七	100.1
溝壁	米 三	一、三三	米 一		米 三	一、三三	100.1
雜費							100.1
土地買收費		七、六三八				七、六三八	100.1
物件移轉其他補償費		二、〇四三				二、〇四三	100.1
器具機械費		六、〇四		三		六、〇七	100.1
雜費		二、六八八		一、二九二		三、九八〇	100.1
共濟組合給與金		三、〇		二		三、〇	100.1
總計		三、〇七		三、〇七		三、〇七	100.1

## 第五 國道一號線(名靜)改良工事 繼續國道改良

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十六年度ニ至ル五箇年度繼續事業トシテ總工費九十萬圓ヲ以テ施行中ナリシモ昭和十三年度ニ於テ政府財政ノ都合ニ依リ事業年度一箇年度ヲ繰繰ベ昭和十七年度迄六箇年度繼續トシテ施行セントスルモノニシテ其ノ區域ハ濱松市淺田町ヨリ靜岡縣濱名郡新居町ニ至ル延長一萬二千米ナリ

## 施工狀況

工事施行區域ハ舞阪町及新居町地内ニ施工中ノ處九月ヨリ可美村地内ニ着手セリ其ノ道路延長舞阪町新居町地内ニ於テ一千八百七十米一、可美村地内ニ於テ三千三百四十三米此總延長五千二百十三米一ナリ前年度未竣功ノ舞阪路面工其二、同擁壁工其一、同排水工其二、同側溝工其二、同擁壁工其二等ノ工事ヲ引續キ施行シ更ニ辨天島第一土工、縁石製作工事、伐採並製材工、其二側溝蓋製作工事、可美側溝工事、可美排水工事等ノ諸工事ヲ設計施行セリ其ノ概要ヲ述レバ次ノ如シ

舞阪路面工其二ハ工事ノ都合上一時中止シタルモ鋪裝ノ關係上再ビ路盤ノ輾壓ヲ行ヒ工費一千四百二十五圓ヲ支出來年度ニ繰越タリ舞阪擁壁工其一ハ前年度施工殘延長十米五ノ工費六百四十一圓ヲ支出五月末日竣功セリ舞阪排水工其二ハ前年度繰越ノ排水管延長二十三米七ノ伏込ヲ爲シ工費五百三十六圓ヲ支出本年三月十五日竣功セリ舞阪側溝工其二、同擁壁工其二何レモ前年度ヨリノ繰越工事ニシテ側溝工事ニ於テ延長四十一米ノ工費百六十九圓、擁壁工ニ於テ延長百六十六米五ノ工費五千三百三十七圓ヲ支出シ前者ハ十一月五日後者ハ三月末日全ク竣功セリ辨天島第一土工ハ辨天大橋西詰橋臺ヨリ辨天島舞阪及新居兩町ニ跨ル道路延長三百九十四米六ノ盛土及切取ヲ施行セントスルモノニシテ本年度ハ八百二十八立方米ノ功程ヲ舉ゲ工費七百十一圓ヲ支出シ來年度ニ繰越シタリ縁石製作工事ハ一千九百九十個ノ製作ヲ爲シ工費二千四十九圓ヲ支出シ翌年

度ニ之ヲ繰越タリ伐採並製材工其二ハ本年度三百三十本全部ノ伐採ヲ完了シ製材品ニ於テ八十二立方米七ヲ製材シ工費六千  
 四十八圓ヲ支出シ翌年度ニ繰越タリ側溝蓋製材工事ハ型枠ノ一部ヲ製作工費六百六十四圓ヲ支出セリ可美側溝工事ハ年度内  
 ニ延長百六十米ノ功程ヲ舉ゲ工費一千三百九十六圓ヲ支出シ來年度ニ繰越タリ可美排水工事ハ着手日淺ク僅ニ五十四圓ノ工  
 費ヲ支出セルノミニテ翌年度ニ繰越タリ  
 用地買収ハ宅地二畝十歩此買収額二千四百六十七圓五十錢、物件移轉其他補償費二萬八千七百六十五圓ニシテ雜費一千六百  
 四十一圓ヲ支出セリ

本年度竣功高ハ九萬二百六十一圓ニシテ其ノ内譯ヲ示セバ左ノ如シ但シ「○」ハ無代價品評價額「△」ハ製作品代價ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工(橋道)	米 七八四	六四、〇三六	米 一	一、九〇四	米 七八五	六五、九四〇	〇・一
事費	箇所 一	三、一五〇	箇所 一	一、九〇九	箇所 二	五、〇五九	〇・一
用地	段 一九、二	一〇八、七七一	段 〇	三三、八七三	段 一九、二	一四四、六四四	〇・一
器具		一六、四九		三、一〇三		一九、五九二	
營繕		七、三二二		一、一三三		八、四五五	
雜費		二八、八六八		一六、八六六		四五、七三四	
共濟組合給與金		一、二二三		五三六		一、七五九	
臨時家族手當				八〇八		八〇八	
總計		二四一、一八八		九〇、七三四		三三一、九二二	〇・三

## 第六 國道一號線(名靜)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十二年度ヨリ同十七年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ總工費九十五萬圓ヲ以テ國道一號路線靜岡縣濱名郡新居町ヨリ豊橋市岩屋町ニ至ル間延長二萬米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ十五年度ニ於テハ工事費豫算十二萬圓ヲ以テ靜岡縣濱名郡白須賀町大字白須賀地内ヨリ愛知縣渥美郡二川町大字二川地内ニ至ル間延長七千四百十九米ノ改良工事ヲ施行スル豫定ナリシモ工事ノ都合ニ依リ一萬圓ヲ減額シ更正豫算額十一萬圓ヲ以テ前記區間ニ於ケル用地買收並ニ豫定工事ノ一部ヲ後年度ニ繰延ベ施行セルモノナリ

### 施工狀況

本年度ハ前年度ニ於テ施行セル愛知縣渥美郡二川町大字二川ヨリ靜岡縣濱名郡白須賀町大字白須賀ニ至ル地内延長五千七百八十八米間ノ殘工事及之ニ連レル靜岡縣濱名郡白須賀町大字白須賀地内潮見坂延長一千六百三十一米間ニ於ケル土工工事ヲ施行セリ即チ前年度ヨリ引續キ施行セル二川第二土工、第二回側溝工、白須賀土工及菅池橋臺工、同高欄工、荒古、落合川、長田ノ各橋梁工並ニ本年度着手セル法留工、二川境界杭設置工、白須賀第二土工、白須賀側溝工ニシテ二川第二土工、白須賀土工、白須賀第二土工、白須賀側溝及菅池橋梁橋臺工ヲ除キテ孰レモ竣功セリ其ノ概要ヲ述ブレバ次ノ如シ

二川第二土工工事ハ前年度迄ニ於テ殆ソド工事ノ大部ヲ終了シ僅カニ縣境ニ架設スベキ橋梁取合箇所ノ盛土施行ノ都合上同地點附近ニ於ケル一部ノ切取工事ヲ殘セリ

本年度ニ於テハ同所ニ於ケル側溝施工ノ爲メ約二百立方米ノ切取ヲ行ヒ殘工事ヲ後年度ニ繰越シタリ

第二回側溝工事ハ前年度ニ引續キ同一ノ工法ヲ以テ其ノ殘部ヲ施行シ十六年一月ニ至リ全ク竣功セリ施工延長三千八百三十

六米ニシテ集水榭施工箇所十箇所ナリ

白須賀土工工事ハ前年度ニ引續キ路線内切取土掘鑿ノ上人力運搬ヲ以テ盛土ヲ行ヒ路床ヲ築造セリ運搬土量一萬八千三百三十五立方米、芝付面積二千平方メートルナリ

法留工事ハ測點番號六十三號附近ノ土質軟弱箇所ニ近接丘陵ヨリ滲透スル地下水ノ爲メ法尻ヲ崩壞サルルヲ防護スル目的ヲ以テ高五十五糎ノ間知石積ヲ、又測點番號七十四號附近ノ用悪水路ト接スル箇所ニハ高一米八十糎ノ混凝土擁壁ヲ施行セリ  
四月中旬間知石積ヨリ工事ニ着手シ六月竣功セリ施工延長百二十八米ニシテ内間知石積延長七十三米、混凝土擁壁延長五十五米ナリ

二川境界杭設置工事ハ二川町大字大岩ヨリ大字下細谷ニ至ル地内縣界ヨリ縣道二川、田原線ニ至ル延長六千九百八十米間ノ道路敷地ト民地トノ境界ニ花崗石境界杭ヲ設置セルモノニシテ十二月工事ニ着手シ同月中ニ竣功セリ施工箇所三百八十箇所ナリ

白須賀第二土工工事ハ白須賀町大字白須賀地内潮見坂附近延長一千六百四十一米間ノ道路路床ヲ築造スルモノニシテ十二月中旬施工路線ノ西端部ヨリ工事ニ着手シ人力土呂及貨物自動車ニ依リ切取、盛土ヲ行ヒタリ運搬土量一萬二千二百三十二立方メートルナリ

白須賀側溝工事ハ白須賀町地内白須賀土工工事施行區間内ニ於ケル改良道路ノ兩側ニ路上ノ惡水ヲ排除スル爲メU型及L型混凝土側溝ヲ施工スルモノニシテ十六年二月中旬縣境附近ヨリ工事ニ着手シ延長百五十米ノ混凝土U型ヲ施工セリ

菅池橋梁橋臺、同高欄、荒古、落合川、長田ノ各橋梁工事ハ前年度迄ニ於テ孰レモ其ノ主體ヲ築造セルヲ以テ本年度ニ於テハ殘工事タル踏掛石及橋銘飯ノ取付ヲ行ヒ菅池橋梁橋臺工事ヲ除キテ竣功セリ

土地買收及地上物件移轉ニ對シテハ本年度買收セル宅地三百九坪二合五勺、畑一段七畝九步、山林一段八畝十四步其他三畝

歩ニシテ此金額二千四十圓、物件移轉及其他補償七百六十五圓、他ニ雜費一千八十八圓ヲ支出前年度分ヲ合スレバ用地費トシテ四萬九千七百八十四圓トナル

本年度竣功額ハ六萬六千圓前年度分ヲ加ヘ三十萬二千三十三圓ニシテ總工費九十五萬圓ニ比スレバ三割二分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ「〇」ハ無代價品評價額「△」ハ製作品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工	未竣功	△〇	未竣功	△〇	未竣功	△〇	〇・〇
道	萬所	六六、八〇九	萬所	二四、四八四	萬所	九一、二九三	〇・〇
橋	三坪	四八、六〇九	三坪	九、〇〇〇	三坪	五七、六〇九	〇・〇
事費	五段	四八、六〇九	五段	四八、六〇九	五段	九七、二一八	〇・〇
用地	其他	〇	其他	〇	其他	〇	〇・〇
器具	機械	△〇	機械	△〇	機械	△〇	〇・〇
營業	繕費	〇	繕費	〇	繕費	〇	〇・〇
雜費	費	〇	費	〇	費	〇	〇・〇
共濟組合給與金		一、二八六		五、六六五		六、九五一	〇・〇
臨時家族手當		〇		六六四		六六四	〇・〇
總計		一一三、〇〇〇		六六、〇〇〇		一七九、〇〇〇	〇・〇

## 第七 國道一號線(愛知第二)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十五年度ヨリ同二十一年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ總工事費三百七十五萬圓ヲ以テ國道一號線豊橋市下地町ヨリ名古屋市南區星崎町ニ至ル區間延長四萬四千二百九十四米七十二糎ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ起工年度タル昭和十五年度ニ於テハ當所工事費八萬五千圓ヲ以テ愛知縣知多郡大高町地内昭和十四年度工事(單年度國道改良工事)終點ヨリ同縣愛知郡豊明村地内既改修地點ニ至ル延長一千二百十三米八十七糎ノ改良工事ヲ施行セシモ用地買收ノ豫想外ノ進捗ニ依リ愛知第一國道改良費ヨリ一萬圓ノ流用ヲ受ケ更正豫算額九萬五千圓ヲ以テ前記區間内ニ於ケル用地買收及大高町地内工事起點ヨリ有松隧道西口ニ至ル延長五百二十米間ノ土工溝橋工事ヲ施行セルモノナリ

豊橋、岡崎區間ノ東海道ハ徒歩ヲ以テ交通ノ單位トセル往時ノ儘ニシテ國府町ノ踏切附近及御油町ノ一部ヲ除キテハ何等改良ヲモ加ヘスレズ總延長ノ五分ノ三ハ丘陵部ニ屬シ爲ニ急勾配ノ箇所隨所ニ存シ一般交通ノ不便尠カラズ剩ヘ小坂井町、國府町及藤川村地内ニハ高速度鐵道ト平面交叉スルアリテ交通能力ヲ減殺スル事大ナルノミナラズ保全上寒心ニ堪ヘザルモノアリ近時各產業ノ殷賑ニ伴ヒ交通量ハ頓ニ激增シ此儘ニテハ到底圓滑ナル運輸ヲ期スル能ハズ關係區民ノ改修ヲ要望スルノ聲甚ダ切ナルモノアリ

又岡崎、名古屋區間國道ハ肥沃ナル大平野ヲ縱貫シ物資ノ集散夥多ニシテ沿線ニハ幾多ノ重要ナル大工場ヲ有シ樞要ナル工業地帶ナルヲ以テ其ノ製産高モ巨額ニ上リ是等ハ概ネ自動車ニ依リテ本道路ヲ利用シ各方面ニ運搬セラレ交通量ハ逐日増加シ特ニ大都市ニ接近セル本地域ニ在リテハ其ノ顯著ナルモノアリ

然レドモ該區間ニ於ケル道路ノ現況ハ必ズシモ之ニ應ズル能ハズ其ノ幅員概ネ狹隘ニシテ就中人家連擔ノ箇所ニ於テ特ニ著シク甚ダシキハ其ノ幅員四米内外ニシテ爲メニ自動車ノ摺違ニモ困難ヲ來シ且見透シ困難ナル屈曲箇所モ隨所ニ存シ剩ヘ知

立町、有松町地内ニ於テハ鐵道トノ平面交叉ヲ爲ス等アリ交通ノ圓滑ヲ缺ク事大ナリ

曩ニ改良セル矢作町地内、知立町、豊明村地内ノ各區間モ是等ヲ連結スルニ非ザレバ其ノ效果完カラズ之ガ改修ノ速カナラ  
ンコトヲ切望セル現狀ナリ

本區間ノ沿道ニハ東海道ノ松並木トシテ名高キ老松路傍ニ鬱蒼ト茂リ其ノ間ニ各部落點綴セルヲ以テ中心線決定ニ當リテハ  
是等松並木ヲ出來得ル限り保存シ人家連擔箇所ヲ除クノ外現道擴張ヲ行ヒ或ハ複道施工ト爲スコトトセリ即チ豊橋、岡崎兩  
都市計畫區域ニ於テハ都市計畫路線ニ準據スル事トシ小坂井、國府、御油、赤坂、長澤、本宿、藤川各町村ニ於ケル連擔地  
ハ在來道路ノ線形不良若クハ家屋移轉等困難ナルニ鑑ミ新線ヲ設クルコトトセリ

小坂井町地内ニ於テ將來施工サルベキ豊川放水路ニ對シ橋梁ヲ架設スルコトトシ又同町並ニ藤川村地内ノ鐵道交叉箇所ハ跨  
線橋トシ國府町地内ハ跨道橋トシテ立體交叉セシムル事トセリ

矢作町地内ニ在リテハ岡崎都市計畫路線ト矢作橋架換トノ關係上現在橋梁ヨリ下流十米ノ位置ニ架橋スル事トセルヲ以テ北  
側ハ現在ノ儘トシ南側ヲ擴張シ舊橋ノ大部分ハ工事中假橋トシテ使用スル事トセリ

知立町地内ニ於テハ曩ニ愛知縣ニ於テ施行セル改修部トノ取付並ニ三河鐵道トノ交叉ヲ念慮シ現國道ノ北側ヲ通過セシメ且  
ツ該鐵道トハ立體交叉ヲ爲ス事トセリ

有松、名古屋間ハ曩ニ國直轄工事トシテ施行セル桶狹間ノ既成道路既ニ改築セル名古屋都市計畫第二十二號路線トヲ最短距  
離ニ結ブ路線ヲ選ビタルモノナリ即チ有松町地内ニ於テハ現道ノ紆餘曲折甚シキヲ以テ之ヲ擴張スルモ良好ナル線形ヲ得ル  
コト困難ナルニ鑑ミ且現道トノ聯絡ヲ考慮シツツ其ノ南側ニ新線ヲ設クルコトトシ鳴海町地内ニ在リテハ本年度工事區域ヲ  
經テ扇川、天白川ニ橋梁ヲ架シ名古屋都市計畫第二十二號路線ニ結ブ事トセリ

其他區間ハ出來得ル限り現道ヲ活用シ勾配ノ緩和、屈曲部ノ除去等ニ依リテ良好ナル路形ヲ得ルニカメタリ

## 施工狀況

本年度ニ於テ施行セル工事ハ有松土工其一、大高排水管布設工、地質調査工事ニシテ其ノ概要ヲ述ブレバ次ノ如シ  
有松土工其ノ一工事ハ大高町地内工事起點ヨリ有松隧道西口附近町道三ツ屋線ニ至ル延長四百四十九米ノ道路路床ヲ築造セ  
ルモノニシテ路線内切取土掘鑿ノ上人力運搬ヲ以テ盛土ヲ行ヒタリ八月中旬工事ニ着手シ年度内ニ計畫運搬土量ノ約二五%  
七千三百八十四立方米ヲ終了セリ

大高排水管布設工事ハ有松土工其ノ一工事區間内ニ於テ路線ヲ横斷スル小水路並ニ惡水除去ノ爲メ管渠ヲ布設セルモノニシ  
テ十二月中旬工事ニ着手シ十六年二月竣功セリ施工箇所ハ十箇所ニシテ布設延長百四十一米九十糎ナリ

地質調査工事ハ天白川、扇川兩橋梁架設地點ノ地質ヲ調査セルモノナリ試錐箇所四箇所ニシテ二月工事ニ着手シ同月竣功セ  
リ

次ニ用地買収及地上物件移轉ノ狀況ヲ述ブレバ本年度買収セル宅地九百七十坪、田其他六段四畝歩ナリ  
以上本年度ノ竣功高ハ八萬八千二百三圓ニシテ其ノ竣功表左記ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工事費(道路)			宅 田其他 九七坪	11,410 円	宅 田其他 九七坪	11,410 円
用地費				40,867		40,867
器具機械費				15,965		15,965
營業繕費				3,209		3,209
雜費				14,289		14,289
共濟組合給與金				1106		1106
臨時家族手當				249		249
總計				88,100 円		88,100 円
						0.4 割分

第一八 國道一號線(愛知第二)改良工事

## 第八 國道一號線(愛知第三)改良工事

### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度單年度事業トシテ工事費七萬圓ヲ以テ國道一號愛知縣愛知郡鳴海町ヨリ同縣知多郡大高町ニ至ル延長一千四十米ノ改良工事ヲ施行スル豫定ナリシモ豫算ノ都合上一萬圓ヲ節減工事ノ一部ヲ次年度ニ繰越施行セルモノナリ

### 施工狀況

本年度施行セル工事ハ鳴海土工其四、路面工、排水管布設工ノ前年度殘工事並ニ本年度着手セル側溝工、境界杭設置工、取付道路工ニシテ其ノ概要ヲ述ブレバ次ノ如シ

鳴海土工其ノ四工事ハ前年度ニ於テ殆ンド完了シ僅カニ一部過剩土砂ノ切取ヲ餘スノミナリシヲ以テ本年度ニ於テハ四月ニ其ノ一部ヲ民地ニ捨土シ一時工事ヲ中止セシモ十月ニ至リ町道柿ノ木線トノ取付道路工事ニ於ケル盛土所要土砂ヲ掘鑿運搬スルニ至リ全ク竣功セリ

本年度施工土量ハ一千六百四十立方米ニシテ累計三萬七千四百九十八立方米ナリ

排水管布設工事ハ測點番號六十三號附近ニ於テ前年度敷設セル内徑六十糎管渠ト近接小水路トヲ結ブ延長約十一米間ニ内徑四十五糎管ヲ布設シ十一月竣功セリ本年度施工布設延長十一米二十糎ニシテ前年度トノ累計延長百二米三十糎ナリ

路面工事ハ前年度ニ引續キ同一ノ工法ヲ以テ路床竣功部分ヨリ順次路盤拵ヘニ着手セリ即チ先ヅ土工工事ニ於ケル切取採取土砂中ヨリ砂利含有量多キモノヲ選ビ之ヲ平均厚二十糎ニ敷均シタル上八噸及四噸半道路輾壓機ヲ以テ充分輾壓シ所定ノ路盤形狀ニ仕上ゲタリ八月ニ至リ路盤完成部分ヨリ逐次表面砂利敷ヲ施工セリ先ヅ土工切取土砂中ヨリ砂利ヲ篩分ケタル後之ヲ平均厚三糎ニ撒布シ四噸半輾壓機ヲ用ヒ輾壓表面ヲ仕上ゲタリ本工事ハ九月ニ於テ殆ンド工事ノ大半ヲ終了シ十一月竣功

セリ其ノ施工面積一萬一千四百四十平方米ナリ

側溝工事ハ内徑幅深各三十糎及四十糎ノ配合一・三・六混凝土U型側溝ヲ道路ノ縱斷勾配ニ準ジテ築造シ惡水除去並ニ接續ノ爲メ必要箇所ニ鑿溝集水榭ヲ設ケタリ本工事ハ六月工事ニ着手八月ヨリ混凝土ヲ施工シ十一月ニ至リ竣功セリ施行延長一千二十六米五十糎ナリ

取付道路工事ハ測點番號六十號附近ニ於ケル新設國道ト町道柿ノ木線トノ交叉箇所ニ施行セルモノニシテ幅員一米八十糎、縱斷勾配ハ一〇%及一二%トシ所要土砂ハ鳴海土工其ノ四工事ヨリ生ジタル剩餘土砂ヲ利用セリ而シテ在來町道上ニ存在セシ惡水路並ニ法尻ニ沿ヘル用惡水路ニ對シテハ内徑九十糎管渠ヲ布設シ近接地惡水排除並ニ灌漑ノ爲メ更ニ内徑四十五糎管渠ヲ之ニ分岐布設セリ本工事ハ九月工事ニ着手シ十一月末竣功セリ

境界杭設置工事ハ道路敷地ト民地トノ境界ニ花崗石境界杭ヲ設置セルモノニシテ十一月工事ニ着手シ二日間ニ互リ施行セシメタリ施工箇所二十五箇所ナリ

次ニ用地買収及地上物件移轉ノ狀況ヲ述ブレバ本年度買収セル田四段、畑九段等ナリ

以上本年度ノ竣功高ハ一萬五千六百六十七圓ニシテ其ノ竣功表左ノ如シ但シ一・二ハ評價額ヲ示ス而シテ昭和十四年度愛知第二國道改良工事費ヨリ移管材料三千四十六圓、同十五年度愛知第二國道改良工事費へ移管材料八百三十六圓同十五年度、枇杷島國道改良工事費へ移管材料八十七圓アリタリ

費目	前年度迄		本年度迄		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工(道)	米	円	米	円	米	円
事費(橋)	箇所	円	箇所	円	箇所	円
用地	段	円	段	円	段	円
器具	台	円	台	円	台	円
營業	日	円	日	円	日	円
雜費	日	円	日	円	日	円
共濟組合給與金	日	円	日	円	日	円
總計						

## 第九 國道一號線(愛知)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良事業トシテ豫算總額十五萬圓ヲ以テ愛知縣西春日井郡西枇杷島町並ニ新川町ヨリ清洲町ニ至ル間延長四千二百十三米三ノ路面鋪裝工事ヲ施行スル豫定ナリシモ西枇杷島町並ニ新川町地内ニ於ケル歩車道ノ區別之ニ伴ヒ排水工ヲ施行シ又清洲町地内鋪裝幅員六米ヲ九米ニ夫々變更セシ爲メ當初ノ延長ヲ減ジ本年度ニ於テハ三千百六十米六ノ鋪裝工事ヲ施行セルモノナリ

本工事施行區間ハ國及縣ニ於テ夫々昭和七年度及九年度ニ着工シ同十一年度迄ニ是ガ改良工事ヲ竣功セル砂利道ニシテ爾來大量交通ニ供用セシモ鋪裝工事ヲ施行スルニ非ザレバ其ノ利用價值ヲ充分發揮シ能ハザル現狀ナリ茲ニ本工事ヲ施行セルモノナリ

道路有効幅員ハ新川大橋ニ至ル延長一千五百六十米六區間ハ一部ノ既設歩車道區別ニ倣ヒテ施工シ幅員二十二米一〇乃至十六米二〇ニシテ車道混凝土鋪裝十五米六乃至九米ナリ又新川大橋以北一千六百米間ハ幅員十米六ニシテ中央九米ニ混凝土鋪裝ヲ施行セリ

横斷勾配ハ各五十分ノ一拋物線形トシテ歩道部分何レモ砂利敷仕上ゲ三十分ノ一直線勾配トセリ

### 施工狀況

鋪裝ヲ行フニ當リテハ先ヅ在來路盤ヲ八噸並ニ十噸五輾壓機ニ依リ充分輾壓ヲ爲シツツ所定ノ路盤形ニ仕上ゲタリ鋪裝ハ下層厚十二糎配合一・三・六、上層厚五糎配合一・一・五、三ノ混凝土ヲ七切及十四切練混合機ニ依リ同時打施工シ縱斷ニハ全幅ノ中央ニ横斷ニハ延長約十米毎ニ伸縮目筋ヲ設ケエラストタイトヲ挿入シ鋪設後ハ濡漉ヲ覆ヒ充分養生セリ

鋪裝兩側敷砂利部分ノ路肩嵩上箇所ハ張芝ヲ施シ路盤掘鑿土ヲ充當セリ七月一日工事着手以來銳意進捗ニ努メタル結果年度内ニ全ク竣功セシメタリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ「△」ハ評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(道路)			3.1	1,100,000	3.1	1,100,000	100
器具機械費				2,000		2,000	
營繕費			△	1,000	△	1,000	
雜費				8,800		8,800	
共濟組合給與金				100		100	
臨時家族手當				400		400	
總計				1,900,000		1,900,000	100

## 第一〇 國道一號線(參宮)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十二年度以降七箇年度ニ係ル國道改良繼續事業トシテ豫算總額二百十萬圓ヲ以テ四日市市大字羽津(十六年二月十一日四日市市へ編入)ヨリ津市上濱町ニ至ル延長三萬一千四百九十八米間ノ改築鋪裝工事ヲ施行スルモノニシテ十五年度ニ於テハ豫算總額十三萬圓ヲ以テ河藝郡神戸町ヨリ同郡白子町ニ至ル延長六千八百六十八米六及三重郡河原田村ヨリ同郡内部村ニ至ル地内延長三千十五米五間ノ殘工事ヲ引續キ施行セルモノナリ

### 施工狀況

#### 一、三重郡河原田村内部村地内工事

本區間ニ於ケル土工路面工ハ工事ノ都合ニ依リ前年度ノ儘大部分ヲ殘工事トセリ

#### 二、河藝郡神戸町ヨリ白子町ニ至ル地内工事

玉垣村ヨリ白子町地内ノ土工ハ玉垣村打越地内ノ丘陵地帶ト白子町寺家地内丘陵部ノ一部ヨリ機關車ニテ運搬盛土築立ヲ爲セリ此土量一萬九百五十三立方米ナリ又神戸町ヨリ玉垣村地内一千九百九米二間ノ土工ハ玉垣村大字玉垣地内ニ於ケル丘陵地帶ヨリ手押運搬盛土築立ヲ爲セリ此土量ハ一千四百四十九立方米ナリ

路面工ハ道路輾壓機ニ依リ所定ノ路盤形狀ニ仕上ゲタル後砂利厚平均六糎ニ撒布シ輾壓仕上ゲヲ爲セリ此數量七百四十一平方米ナリ

神戸町玉垣村地内ニ於ケル水田灌溉並ニ惡水除去ノ爲メノ小水路ニハ鐵筋混凝土管渠ヲ伏設セリ本年度ニ於テハ其ノ管ノ製作ト内徑三十糎管渠二十一箇所、延長二百二十五米ヲ伏設セリ

玉垣村——白子町地内ニ於ケル管伏設工ハ前年度ノ殘工事トシテ内徑十糎管渠一箇所延長十七米、内徑十八糎、陶管渠一箇所延長十一米ヲ伏設シテ此區間ノ工事ヲ竣功セシメタリ

橋梁工事ニ於テハ白子一號橋梁ハ兩橋臺杭打礫地形上ニ重力式混凝土橋臺ヲ築造シ橋體ハ鐵筋混凝土T型橋トシ縱桁五列橫桁三列ヲ配セリ橫斷勾配五十分ノ一雙曲線トシ高欄ハ高五十糎鐵筋混凝土造トシ袖石積ヲ兩岸ニ夫々取付ケ竣功セシメタリ橋長七米、有効幅員七米五ナリ

堀切橋梁ハ前年度締切工水替機械設備左岸在來道路ノ附替橋臺。橋脚根據用矢板及型枠製作等ヲ爲シ本年度ハ之ニ引續キ橋臺二基、橋脚二基ヲ竣功セシメ附帶工トシテ袖石積工ヲ大部分施行セリ橋臺ハ長四米五、末口十五糎ノ松丸太ヲ打込ミ礫基礎地形上ニ重力式混凝土構造トシ橋脚ハ橋臺ト同様ノ基礎杭礫地形上ニ鐵筋混凝土構造トセリ

橋體工、高欄工等ハ工事ノ都合ニ依リ翌年度施行スルコトトセリ

用地買收ハ前年度ニ於テ未承諾ノ爲メ支拂未済トナリタル河藝郡玉垣村神戸町地内ノ殘全部ノ支拂ヒヲ爲シ尙前年度ヨリ繰越シタル四日市市大字日永(三重郡日永村ハ昭和十六年二月十一日四日市市ニ編入ス)地内全部ノ代金支拂ヲ完了セリ此總計面積一千七百七十二坪六代金一萬三千八百三十六圓ナリ此外買收測量其他ニ要シタル費用八百五十五圓ナリ

物件移轉及補償ハ四日市市大字日永ニ於ケル本年度ニ繰越分ヲ全部仕拂完了シ更ニ河原田村地内用買收ニ伴フ物件移轉料ノ一部ヲ支拂ヘリ此合計金額四萬七百七十二圓ニシテ關係者四十七件ナリ

本工事本年度竣功高十二萬五千五百五十九圓、前年度ヨリノ合計四十八萬五千二百八十八圓ニシテ之ガ總工事費二百十萬圓ニ比スレバ二割三分ノ竣功高トナレリ此工事竣功表ハ左ノ如シ但シ△ニハ無代價評價額ヲ示ス



## 第一一 國道二號線(滋賀)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度單年度鋪裝工事トシテ總工費九萬圓(內滋賀縣負擔額三萬圓)ヲ以テ國道二號線中滋賀縣栗太郡治田村ヨリ同郡草津町ニ至ル延長三千九百十三米間ノ直轄國道鋪裝工事ニシテ內橋梁十米及隧道五十三米ハ鋪裝濟ナルヲ以テ實施施行延長ハ三千八百五十米ナリ

本區間ハ曩ニ內務省直轄ノ事業トシテ昭和八・九・十年度ニ互リ國道改良工事ヲ施行シ路床工事ヲ竣功セシメタル所ノ一部ニシテ今年度ニ於テ之ガ路面鋪裝工事ヲ施行セラレタルモノナリ

國道二號線中滋賀縣栗太郡治田村ヨリ瀨田町ニ至ル間ハ曩ニ改良工事ヲ施行セラレタル區域ニシテ本工事起點ヨリ二千五百八十米間ハ有効幅員七米五、殘餘ノ區間ハ九米ニ路床工事竣功濟ナリ內草津町地內一千百七十米ハ滋賀縣ニ於テ中央六米ノ簡易鋪裝ヲ爲シタルモ近時自動車、牛馬車ノ交通頻繁ナル爲メ其ノ損傷甚シキモノアリ

尙起點ヨリ二千六百八十米ノ箇所ニ於テ國道八號線ヲ併セ近來其ノ交通量ノ増加ハ特ニ著シキモノアリテ鋪裝工事ノ施行セラルルニ至リタル所以ナリ

本工事有効幅員七米五〇及九米ノ所中央六米ヲ鋪裝幅員トシ其ノ厚中央部三米六〇ヲ十五糎ニ、兩端ニ於テ二十糎トシ兩端ヨリ一米二〇ノ箇所ニ於テ十五糎厚ニ取付ケルモノニシテ尙草津川隧道ノ前後九十米ノ間ハ全幅十米ヲ鋪裝シ横斷勾配ハ五十分ノ一拋物線ヲ用フ而シテ一層式混凝土鋪裝ニシテ其ノ配合ハ一・二・四ナリ中央ニ縱目地ヲ十米毎ニ横斷目次ヲ設クルモ一部試驗鋪裝トシテ縱目地ヲ廢スルモノト横斷目地ヲ五米毎ニ施行スル所アリ目地材料トシテハ厚一糎、幅十五糎ノエラストイトヲ用フルコトトセリ

## 施工狀況

昭和十五年四月二十日事務所開設、五月十六日工事ニ着手シ先ヅ野洲郡内野洲川ニ於テ砂利、砂ノ採取ヲ爲シ爾來諸工事材料ノ入手、諸機械ノ整備ニ伴ツテ工事ヲ進メ昭和十六年三月三十一日ヲ以テ竣功セリ

次ニ施行ノ概要ヲ述ベンニ先ヅ在來ノ路盤ヲ鋪裝厚丈鋤取り切均ヲ爲セリ尤モ在來路床ハ自然輾壓ノ結果多少ノ不陸ヲ生ジ居タレバ之ヲ縱斷方向ニ修正シ鋤取地均ハ必ズシモ均一ニハ非ザレドモ努メテ深ク鋤トルコトヲ避ケテ良好ナル路面ヲナルベク鋪裝基礎ト爲スコトトセリ、此ノ上ニ地質ノ良否ニ應ジテ敷砂利ヲ施シ其ノ平均厚ヲ一糎五トシ之ニ二十三匹瓦斯倫輾壓機ヲ使用シテ反覆輾壓シ鋪裝基面ヲ成形セリ

混凝土鋪裝ニハ十切練混和機ヲ使用シ木製タムバーニ依リテ表面仕上ヲ爲シタル後濡蒔ヲ以テ被覆シ適度ノ撒水ヲ爲シ良好ナル養生ヲ計リタリ

本區域ハ幸ニ迂回路ニ依リテ一搬交通ニ支障ナキヲ得タルニ依リテ工事中ハ通行ヲ禁止スルコトヲ得全幅同時ニ施行スルヲ得タリ

本工事ハ延長モ僅々三千八百五十米ノ單年度工事ニシテ極メテ局部的鋪裝工事ナリト雖モ一部ハ國道八號線重用ノ區間ニシテ交通量モ近時特ニ頻繁ヲ加ヘツツアレバ自動車用燃料ノ節約及之ニ伴フ運搬費ノ輕減ノ效果ハ長期ニ互リテハ相當ノ額ニ達スベク從ツテ重要物資ノ移動モ促進セラルベク現下ノ時局ニ於テ最モ要求セラルル一要件ヲ充足シ得ルモノト認メラル尙一面路面ノ維持修繕費ヲ著シク輕減シ是亦長期ニ互リテ尠カラザル額ニ達スベク一方快適ナル路面ハ一搬通行ノ便利ヲ増大シ沿道地ノ發展ニ寄與セル所多カルベシ

第六章 國道改良工事 (國道二號線(滋賀)改良工事)

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(鋪裝)				21,481		21,481	1.00
機械費				2,010		2,010	
營繕費				187		187	1.00
雜費				10,120		10,120	
共濟組合給與金				112		112	1.00
臨時家族手當				112		112	
總計				89,977		89,977	1.00

## 第一二一 國道二號線(兵庫)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十二年度以降六箇年度繼續事業ナリシガ第七十四議會ニ於テ一箇年度ヲ繰延ラレ昭和十八年ニ至ル七箇年度繼續事業トナレリ工費ハ國道改良繼續費百四十五萬圓ト姫路市内都市計畫街路第六號線ト合併施行ニ依ル姫路市特別負擔金十三萬圓及市川改修幅員ノ擴大ニ伴フ市川橋梁ノ計畫徑間増加ニ對スル兵庫縣委託工事費八萬八千六百圓ノ合計百六十六萬八千六百圓ニシテ區域ハ兵庫縣飾磨郡花田村一本松ヲ起點トシ同縣揖保郡揖保村西構ニ至ル間ノ内既改良箇所ヲ除キタル延長一萬三千五百六十五米九四ナリ

### 施工狀況

本年度ノ工事費豫算額ハ國道改良繼續費十萬圓並ニ兵庫縣委託工事費前年度ヨリノ繰越額二萬八千圓ノ合計十二萬八千圓ニシテ最モ緊急ヲ要スル市川橋ノ完成ニ主力ヲ注ギタリ  
其ノ概要次ノ如シ

市川橋及取付道路改良工事ノ内下部工事ハ前年度ニ於テ殆ド完成シ本年度ニ於テハ其ノ殘工事タル橋臺兩翼袖石積ノ一部及取付道路ノ内路床工盛土八百立方米ヲ施行セリ

市川橋上部工事ハ鐵筋混凝土突桁式T型桁橋ニシテ橋長二百四十七米、有効幅員九米、長短十一徑間ヨリ成リ前年度ニ於テハ碇着桁一連、複碇着桁一連ヲ架シ本年度ニ於テハ碇着桁一連、複碇着桁三連、單桁五連ヲ十二月末迄ニ完成シ高欄ハ鐵筋混凝土構造トシ殆ド完成セシモ橋面鋪裝及親柱ノ一部施行ヲ翌年度ニ繰越シタリ

姫路都市計畫區域内道路改良工事ノ本年度ニ於テハ姫新線跨線橋以西下手野(夢前川左岸)間ノ殘工事ヲ施行此延長九百十三

米九三ヲ竣功セシメ十二月初旬ヨリ交通ヲ許可セリ

以上本改良工事ノ本年度竣功額ハ合計九萬四千二百二十五圓(委託工事ヲ加ヘズ)ニシテ起工以來本年度迄ノ竣功累計額三十九萬六千五百三十八圓ニ達ス之ヲ總豫算額百四十五萬圓ニ對比スルトキハ二割七分ノ竣功ニ當レリ而シテ本年度使用勞働者數延人員一萬六千百三十九人ニシテ勞力費四萬六千五百五十二圓ナリ其竣功高ヲ表示スレバ左ノ如シ但シ本表中(○)ハ姫路市ノ負擔金(◎)ハ兵庫縣委託工事費(△)ハ古材及組入材料ノ遣拂額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路床	五、一八九 立米	一八、七六五 八、四八五 九、四八五 八七	六、四六〇 立米	七、〇三四	五、七六九 立米	二五、七八九 九、四八五 八七	〇・三三
路面	—	—	—	—	—	—	—
側溝	三、二七米	一、六四〇 四、四〇〇 一、六四〇	—	—	三、二七米	一、六四〇 四、四〇〇 一、六四〇	〇・二七
擁壁	二、二六	一、六七一 七七一	—	—	二、二六	一、六七一 七七一	〇・〇九
溝橋	—	—	—	—	—	—	—
雜工	—	—	—	—	—	—	—
橋	—	—	—	—	—	—	—
橋梁	—	—	—	—	—	—	—
土地買收費	—	—	—	—	—	—	—
物件移轉其他補償費	—	—	—	—	—	—	—
器具機械費	—	—	—	—	—	—	—
管繕費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
臨時家族手当	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	—	—	—	—

### 第一三 國道二號線(岡山)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度單年度事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ前年度ニ引續キ施行中豫算一萬五千圓繰延ノ爲メ八萬五千圓ヲ以テ施行セリ

其ノ區域ハ岡山縣淺口郡玉島町大字玉島ヨリ同町大字阿賀崎ニ至ル區間ニシテ岡山市ヨリ倉敷、福山、尾道及三原ノ諸都市ヲ經テ廣島市ニ通ズル重要幹線所謂山陽道ノ一部ナルニ拘ラズ屈曲甚シク幅員極メテ狹隘ニシテ之ガ改良ハ玉島港ノ發展ニ伴ヒ焦眉ノ急ヲ告グル状態トナリ緊急之ガ改良ヲ認メラレ昭和十四年度ヨリ工事ヲ施行シツツアルモノナリ

本工事區域ハ昭和十四年度終點ヨリ一直線ニ平坦ナル田面ヲ西走シ游水池ノ幅員狹キ箇所ヲ横斷シ工費ノ低廉ヲ圖リ縣道總社——玉島港線(驛道)ニ結ビテ終ラントスルモノニシテ延長三百九十五米、有効幅員九米、路面ハ砂利厚十糎ヲ敷込ム横斷勾配ハ四%、縱斷最急勾配百分ノ一(玉島橋梁取付箇所)ナリ

### 施工狀況

本工事ハ前年度終點ヨリ一直線ニ平坦ナル田面ニ盛土シツツ西走シ游水池、溜川ニ至リ玉島橋梁ヲ架設シ更ニ短區間ノ田面ニ盛土シ舊驛道ヲ切取横斷シテ高瀬通リヲ鐵筋混凝土管ヲ以テ互リ僅少ノ宅地部分ヲ經テ三度田面ニ出テ再ビ游水池ニ至リ末廣橋ヲ架設シ新驛道ニ接續ス

而シテ前年度鐵材及勞力ノ關係上打切竣功トセル玉島道路工事ノ殘工事ヲモ施行竣功セシメタルモノニシテ本計畫ノ玉島第一二道路及玉島並ニ末廣橋梁ヲ併セテ四工事ノ施行概況左ノ如シ

玉島道路工事(前年度殘工事)ハ路床盛土約一萬三百立方米、擁壁延長四百六十九米、溝橋ハ前年度ニ於テ基礎工ノミ完成セ

ル溝橋二箇所、函渠八箇所及残りノ水抜一箇所、路面ハ厚五糎ノ敷砂利、雜工事ハ取合道路二十五箇所ニシテ極力工ヲ急ギタルモ農繁期ト共ニ人夫ノ出役次第ニ尠ク九月ニ至リ漸次出役ヲ見ルニ至リタル爲メ其竣功ハ十二月二十七日トナレリ

玉島第二道路工事ハ七月六日ノ着手ナルモ前述ノ如ク人夫ノ出役尠ナキ爲メ本格的ニ工事ヲ開始シタルハ九月以降ニシテ路床延長約三百六十米ノ田面ノ盛土ニシテ平均高一米四ニ要スル土砂ハ前年度ノ土取場タル起點附近ノ丘陵ヨリ採取シテ馬力ニ依リ運搬セリ土質ハ花崗岩ノ風化セル良質ノ眞砂ニシテ路床ハ殆ンド完成セリ擁壁ハ地質軟弱ナルガ爲メ前年度同様基礎栗石及胴木ヲ施シ其ノ上ニ高サ約九十糎ノ間知石布積三段ノ空石積トセリ

溝橋一箇所及函渠一箇所ノ鐵筋混凝土構造物並ニ内徑六十糎乃至九十糎ノ鐵筋混凝土管使用ノ水抜二箇所ハ全ク竣功セシモ芝付及路面ノ處理迄ニ至ラズ

玉島橋梁工事ハ橋長三十五米八二、有効幅員九米、鐵筋混凝土T型桁橋(徑間十一米六ノ三連)ニシテ十一月一日ノ着手ナリ而シテ此地方排水用游泳池タル溜川ヲ横斷スルモノニシテ地質極メテ軟弱ノ粘土質其ノ深サ又大ナルヲ以テ締切工及河底以下二米五ニ近キ床掘ニ際シテハ相當ノ危険ヲ思ハシメタルモ二、三回ノ締切危険ヲ感ジタル外概ネ順調ニ進捗シ杭打基礎重方式混凝土橋臺一基、杭打基礎ラーメン式鐵筋混凝土橋脚一基及殘一基ノ橋脚基礎ヲ竣功シ最後ノ橋臺ノ床掘モ略々完了、本工事竣功ノ目安ヲ得ルニ至レリ

末廣橋梁工事ハ橋長十二米八、有効幅員九米ニシテ鐵筋混凝土連續床版橋徑間六米四ノ二連トシ橋臺ハ重力式混凝土橋脚ハ鐵筋混凝土構造トシ基礎ハ何レモ杭打混凝土橋面ハセメント混凝土鋪裝ノ設計ニシテ三月九日着手セシモ材料節約ノ折柄土堰締切ヲ採用之ヲ大體完了セルノミ土地買収ハ意外ニ最モ順調ニ進捗シ七月末ニハ全部ノ支拂ヲ完結シ物件移轉ハ資材並ニ勞力ノ關係ヲ以ツテ豫定ヨリ稍々遅延セシモ十月ニハ全ク其ノ完了ヲ見タリ其ノ工事竣公表左ノ如シ

費目	費目								總計	
	本路	工路	事溝	費雜	用橋	機地	雜費	共濟組合給與金		臨時家族手當
前年度迄竣功高										
本年度迄竣功高										
本年度迄竣功高	二、三、九、六、三	七、七、三、二、五	一、四、〇、〇、一	一、〇、〇、〇、〇	一、三、一、三、三	七、一、八、三	一、一、〇、〇、〇	一、三、〇、三、四	四、三、八	二、八、八
合										
計	二、三、九、六、三	七、七、三、二、五	一、四、〇、〇、一	一、〇、〇、〇、〇	一、三、一、三、三	七、一、八、三	一、一、〇、〇、〇	一、三、〇、三、四	四、三、八	二、八、八
竣功	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇	一、〇、〇

## 第一四 國道二號線（廣島）改良工事 國道改良

本工事ハ廣島市ト海田市町ヲ結ブ路線ノ改良工事ニシテ單年度事業トシテ廣島縣安藝郡海田市町字西八ノ割、廣島市仁保町境間延長一千五百七十一米ノ新設工事及安藝郡船越町 廣島市仁保町間延長一千百九十二米、同郡府中町地内一千二百四米計二千三百九十六米ノ鋪裝工事ヲ豫算額三十萬圓ヲ以テ昭和十四年度迄ニ施行セラレタルモ引續キ昭和十五年度ニ於テ單年度事業トシテ豫算六萬圓（改築費）ヲ以テ安藝郡海田市町地内字西七ノ割ヨリ字西八ノ割ニ至ル延長二百八十六米ノ新設並廣島市仁保町地内側溝工事延長一千百四十八米、合計一千四百三十四米ノ新設工事ヲ又豫算六萬圓（鋪裝費）ヲ以テ海田市町地内延長一千三百七十米、廣島市仁保町地内延長一千百三十米、合計二千五百米ノ鋪裝工事ヲ施行スルコトナレリ

本工事ハ廣島市ト海田市町ヲ結ブ二號國道ヲ改良スルモノニシテ三十二號國道ノ改良ニ伴ヒ廣島、吳兩市聯絡上特ニ必要ニ迫ラルルニ至レリ

本區間在來道路ハ山間部ヲ經由シ坂路急峻ニシテ幅員狹小且屈曲多キ爲メ高度交通ニ適セザル状態ナルヲ以テ昭和十三年度以降引續キ施行スルコトナリ特ニ經費ノ關係上平坦且近距離ナル鐵道ノ海側ニ路線ヲ撰定シ海田市町ニ於テ三十二號國道ニ聯絡セシメ向洋ヲ經テ廣島市ニ入ルコトトセリ

新設區間路床ハ全部盛土ニシテ所要土砂ハ前年度同様廣島市仁保町堀越地内民有地堀越山ヨリ掘鑿機關車ニ依リ運搬スルコトトシ水路横斷箇所ニハ溝橋又ハ圓管渠等適當ナル排水設備ヲ爲シ又雜工事トシテ取付道路等ヲ施行スルモノトス

道路ハ車歩道ノ區別ヲ設ケズ全幅員十二米、有効幅員十一米、最小屈曲半徑三百米、最急縱斷勾配二・五%ナリ

橋梁ハ三箇所延長百一米（有効幅員十米）ヲ施行セントス

鋪裝工事ハ前述ノ通り新設區間及一部廣島縣ニテ路床施行濟ノ箇所ノ鋪裝ヲ爲スモノニシテ構造ハ大體三十二號國道ト同様

ナルモ舗裝幅員ハ道路中央九米トス

## 施工狀況

昭和十五年四月海田市第二道路工事ニ着手以來銳意進捗ニ努メ盛土量一萬四千百立方米、溝橋十箇所、擁壁四十八平方米、側溝三千百七十米ノ竣功ヲ見タリ

瀬野川橋上部工事ハ昭和十四年度ニ施行スベキ計畫ノ處丸鋼、セメント等入手遅延並努力不足等ノ爲メ前年度中竣功ニ至ラズ引續キ施行セシモノニシテ計畫通り本年度末迄ニ竣功セシモノナリ

延長八十米、有効幅員十一米、竣功金額四萬一千九百九十七圓ナリ

舗裝工事ハ海田市町字西七ノ割ヨリ西八ノ割ニ至ル間延長三百三十四米、同町地内窪地ヨリ下古川床ニ至ル間延長二百四十九米、同町地内鴻治新田ヨリ西窪二ノ割ニ至ル間延長百八十七米、廣島市仁保町地内延長一千五百三十米、合計二千百米間

ニ幅員九米ノ二層式混凝土舗裝ヲ爲スモノニシテ着工以來銳意進捗ニ努メタルモ廣島市仁保町地内、廣島縣委託工事タル向洋道路工事及海田市地内海田市町第二道路工事ハ一時材料入手遅延努力不足等ノ關係ニ依リ進捗意ノ如クナラザリシ爲メ本年度ニ於テ延長約一千八百三十米、金額四萬九千七百四十圓ヲ竣功、設計額ニ對シ約六十八%ノ竣功ヲ見タリ

而シテ海田市町地内西七ノ割ヨリ西八ノ割ニ至ル間延長三百三十四米及廣島市仁保町地内約三百四十米、計六百七十米ハ後年度へ繰越スコトナレリ此殘工事ニ對シ本年度豫算六萬圓ノ内八千圓ヲ繰越シ充當セントス

本年度竣功表左ノ如シ但シ「○」ハ廣島縣單獨工事費負擔額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器機費	用地費	工事費		費目
							橋	道路	
									前年度迄竣工高(改築費)
									數量
									金額
									竣工歩合
									本年度竣工高(鋪裝費)
									數量
									金額
									竣工歩合

1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
12,000	1,300	2,800	7,700	2,900	1,300	3,500	6,000	28,000	28,000
1.00							1.00	1.00	
6,127	1,000	1,000	6,900	700	4,400		49,700		0.72

## 第一五 國道二號線(廣島、山口)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ廣島縣佐伯郡小方村字烏帽子新開ヨリ岩國市大字裝束ニ至ル間延長三千九百八十一米一ノ道路新設並ニ兩縣境ヲ流ルル小瀬川ニ架設セントスル延長百六十八米九ノ橋梁ノ新設工事ヲ施行スルモノニシテ事業費總額六十九萬圓ノ内十二萬圓ヲ橋梁費ニ計上シ下部工事ノ大半ヲ施行セルモノニシテ上部工及下部工事ノ殘部ハ豫算二十萬圓ヲ以テ昭和十六年度ニ施行セントス

而シテ事業費總額六十九萬圓ノ内一萬圓ハ後年度へ繰越シ一萬圓ハ阪鶴國道へ流用シ本年度實施豫算六十七萬圓ヲ以テ施行セルモノナリ

本區間ノ現況ヲ顧ルニ紆餘曲折多ク幅員亦狹小ニシテ高速度運輸交通ニ適セズ就中附近ノ軍事重要施設ノ利用上是ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ要スルヲ以テ軍部ノ要望ニ應ジ廣島縣佐伯郡小方村字烏帽子新開ノ鐵道踏切ヨリ鐵道以東ノ地ヲトシ之ニ略々併行シ縣境小瀬川ヲ渡リ山口縣岩國市大字裝束海岸堤防迄平坦且近距離ナル路線ヲ選定セリ本路線ハ殆ンド盛土ニシテ盛土兩側法面ハ法勾配一割五分ノ筋芝張トシ有効幅員十一米、全幅員十二米、屈曲半徑最小四百米、最大一千六百米、縱斷勾配最急二・五%、最緩〇・一二五%トシ路面ノ構成ハ全線一律ニ步車道ノ區別ヲ設ケズ二%拋物線形橫斷勾配ヲ付シ人力輾壓ヲ行ヒ自然輾壓ヲ待ツテ後年度ニ於テ鋪裝スルモノトス

廣島、山口兩縣境小瀬川ニ架設セントスル橋梁ハ有効幅員十一米、步車道ノ區別ナク徑間二十二米二(中央徑間)六連、十七米二ノ二連(兩側徑間)計八徑間延長百六十八米九(踏掛石ヲ含ム)ゲルバー式鐵筋混凝土丁桁橋ニシテ十五年度ハ橋脚全部(七基)及左岸橋臺ヲ竣功セシメ右岸橋臺其ノ他雜工事及上部工事ハ昭和十六年度ニ施行シ完成セシムルモノトス

## 施工狀況

本改良工事ハ本年度新規單年度工事トシテ軍部ノ要望ニ應ジ急速完成ノ必要アルヲ以テ四月二十日事務所開設ト同時ニ諸般ノ準備ヲ急ギ道路工事ハ五月六日(廣島、山口兩縣側共)橋梁工事ハ六月十日何レモ着工セリ

## 一、道路工事

道路ニ在リテハ路床盛土ハ廣島、山口兩縣側共何レモ鐵道線路下ヲ潜リ民有地ヨリ採土シ機關車運搬セルモノニシテ其ノ土量廣島縣側四萬一千四百七十一立方米、山口縣側三萬二千五百立方米、計七萬三千九百七十一立方米、切取土量山口縣側ニ僅カニ百五十立方米アリタルハ附近盛土ニ流用セリ

擁壁工ハ盛土法裾ニ高六十糎、延長二千九百四十五米七ノ空石積及高五十糎、延長三千四百九十五米ノ混凝土方塊積擁壁ガ全線大部ヲ占メ特殊ノ箇所ニハ必要ニ應ジ高八十五糎乃至二米ノ練石積擁壁延長五百七十七米ヲ施行セリ  
新設道路ガ在來ノ水路ヲ遮斷スル箇所ニハ流量ニ應ジ徑間一米乃至二米ノ鐵筋混凝土床版橋一九箇所並ニ内徑二十四糎乃至七十六糎ノ鐵筋混凝土圓管三十五箇所ヲ設置シテ用排水ニ支障ナカラシムル様施工セリ小方村地内新興人絹大竹工場前ニハ混凝土造ノL型側溝七十七米、U型側溝二百二十一米、同蓋付側溝四十九米ヲ又鐵道敷盛土法留石積ノ法裾保護ノ爲ニ排水溝延長二百八十米ヲ施行セリ

## 一、橋梁工事

本橋梁ノ橋臺ハ中徑二十二糎、長七米ノ松丸太ヲ基礎杭トシテ打込ミ重力式玉石混凝土トノ軀體ヲ築造シ橋脚ハ外徑四米五厚一米、長八米二ノ混凝土井筒ヲ中心間隔八米八ニ二本宛基準面迄沈下セシメ之ガ基礎上ニラーメン式鐵筋混凝土軀體ヲ築造スルモノニシテ固定脚四基、可動脚三基其ノ全部ノ左岸橋臺(廣島縣側)ト其ノ兩側袖石張ヲ本年度橋梁下部工事トシテ着

手シ十六年三月三十一日竣功セリ

以上道路及橋梁工事ニハ時局柄資材ノ不足ト附近ノ種々ナル建築大工事アリタル爲メ勞力ノ不足トニ依ル困難ヲ克復シ晝夜兼行ヲ以テ豫定工事ノ竣功ヲ見タリ本年度ノ竣功額左表ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費							
道							
橋							
梁							
路							
用 地 費							
器 械 費							
營 繕 費							
雜 費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計							

## 第一六 國道二號線(東山口)改良工事 繼續國道改良

本工事ハ昭和十五年度以降同二十一年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ總工費四百二十萬圓ヲ以テ二號國道山口縣都濃郡久米村ヨリ同縣吉敷郡小郡町ニ至ル總延長四萬七千八百四十米ノ改良工事ヲ施行セムトスルモノナリ

本工事施行區間ハ山口縣下内海沿岸一帶ニ勃興セル諸種工業殷賑ナル都邑ヲ結ビ徳山 防府ノ兩市並小郡町ヲ經テ下關ニ通ズル國道二號線ノ一部ニシテ近ク關門海底隧道完成ノ曉ハ九州各重工業地帶トモ直接聯絡スル唯一ノ樞要幹線ニシテ軍事並產業上極メテ重要ナル路線ナルニ拘ラズ在來ノ道路ハ其ノ大部分ノ區間ノ現況凡ソ現下ノ趨勢ト相隔ルコト甚ダ遠ク往時ノ山陽道其ノ物ヲ思ハスルノ状態ニシテ幅員僅ニ四米内外勾配又急ニシテ急曲折多ク路狀劣惡ナルヲ以テ降雨雪ノ際ハ交通全ク杜絶スルノ状態ニアリ加フルニ都濃郡福川町及同郡夜市村、佐波郡富海村地内ニ於テ山陽本線トノ平面交叉ヲ爲セル等運輸交通上ノ支障甚大ナルヲ以テ之ガ改修ハ寔ニ焦眉ノ急ヲ要スルモノアリ仍テ本計畫ハ山口縣都濃郡久米村ヨリ同縣吉敷郡小郡町ニ至ル總延長四萬七千八百四十米ノ内未改築區間延長四萬一千六十三米ノ改築及鋪裝ヲ施工スルト共ニ縣ニ於テ改築セル區間延長六千六百七十七米ノ鋪裝ヲ施行シ以テ全區間ノ運輸交通ノ利便圓滑ヲ期セムトスルモノナリ

本計畫中心線ノ決定ニ當リテハ之ニ聯絡セル各種道路ノ利用及都市將來ノ發展性並經濟的見地ヨリ改良ヲ爲スノ主旨ニ依リ又移轉困難ナル家屋連擔部及鐵道トノ交叉ハ成ルベク之ヲ避クル方針ヲ以テ概ネ新線ニ依ルコトトシ尙在來道路ヲ利用シ得ル部分ハ之ヲ擴築シ且線形ヲ整ヘ勾配屈曲ノ緩和ヲ圖リ運輸交通上支障ナキヲ期スベク中心線ヲ決定セリ其ノ設計大要左ノ如シ

總延長四萬七千八百四十米ノ内道路延長四萬七千三百六十米、橋梁延長四百八十米ニシテ有効幅員ハ徳山市大字遠石ヨリ同市大字正重ニ至ル鋪裝區間及防府市大字牟禮ヨリ同市西佐波令ノ改良區間ハ十五米、徳山市大字正重ヨリ都濃郡福川町ニ至

ル改良區間ハ十一米、防府市大字西佐波令地内及吉敷郡陶村ヨリ終點同郡小郡町ニ至ル鋪裝區間ハ九米、其他ノ區間ハ七米五トス路面構造ハ有効幅員十五米、區間ハ車道中央九米ハ横斷勾配二%拋物線トベカ式アスファルト混凝土鋪裝トシ歩道兩側各々三米ハ横斷勾配二%直線混凝土ブロック鋪裝トシ其他ノ區間ハ歩車道ノ區別ナク中央六米ヲ横斷勾配二%双曲線一層式混凝土鋪裝トシ其ノ兩側ハ横斷勾配二%直線水締マカダムトス排水設備ハ人家連擔部ニハ道路ノ兩側ニU型側溝ヲ設ケ切取部ニハ石積或ハ混凝土側溝ヲ施シ在來水路及排水上必要ト認ムル箇所ニハ溝橋ヲ施設ス縱斷勾配ハ最急六%最緩水平トシ最小屈曲半徑ハ百八十米ナリ橋梁ハ總數二十箇所ニシテ鐵道跨線橋一箇所ハ鋼板桁橋、佐波川橋ハゲルバー式鐵筋混凝土T型橋トシ其他ハ鐵筋混凝土T型橋及同床版橋トス

## 施工狀況

本年度ハ繼續事業ノ初年度ニシテ工事區間ハ山口縣都濃郡富田町地内富田驛通(縣道停車場線)ヨリ同町字横町(現在國道)ニ至ル間延長一千三百十米、此工事費十萬圓ヲ以テ之ガ改築ヲ施工中ノ處山口縣知事ヨリノ申請ニ依リ國計畫ノ全幅員十二米ヲ更ニ三米擴張シテ此全幅員十五米トシ擴張ニ要スル費用ハ申請者ニ負擔セシムルコトトシ工費十三萬五千圓(内山口縣負擔額三萬五千圓)ヲ以テ歩車道ノ區別ヲ設ケ施工スルコトトナリタル處政府財政ノ關係上昭和十五年九月實施豫算ヲ二萬圓繰延減額トナリ工費十一萬五千圓(内山口縣負擔額三萬五千圓)ヲ以テ施行スルコトトセリ

本年度ハ繼續事業初年度ナルヲ以テ工場建設ノ運ビニ至ラズ富田町役場内ニ山口國道改良事務所富田工場ヲ設置シ工場員ヲシテ直接工事ノ監督ニ當ラシメタリ今此概況ヲ述ブレバ次ノ如シ

用地買収及地上物件ノ移轉ハ四月中旬各般ノ調査ニ着手シ六月初旬買収價額發表協議ノ運ビトナリタル處山口縣委託ノ關係アリタルヲ以テ之ガ認可ヲ俟テ十月上旬協議ヲ開始シ十二月中旬ニ至リ全部ノ承諾ヲ了セリ

土工ハ本年度工区内ニ於ケル大部分ハ盛土ナル處之ガ土取場ト目サルルハ現在國道沿ノ山地ヨリ採取セザル限リ他ニ適當ナル土取場ナキ地勢ナルニ加ヘテ國道添ヒ一帶ハ家屋連擔シ土砂運搬線路敷設等ニ相當至難ヲ伴ヒ且本工区内ハ徳山要港境域内ナルヲ以テ之ガ協議ニ付採土決定搬出ニ至ル迄相當困難ナルモノアリタリ本工ハ専ラ人力ニ依リ全線ニ互リ施行中ノ處政府財政ノ關係上實行豫算ヲ二萬圓減額サレタル結果部分的完成ヲ考慮ノ上施工區間ヲ短縮シ起點富田驛通りヨリ山崎八幡通ニ至ル間ニ主力ヲ注ギ他ノ諸工ノ施行ト共ニ完成ヲ圖リ年度内右區間ノ竣功ヲ遂ゲタリ山崎八幡通り以西終點ニ至ル間ハ大部分ノ土砂ヲ搬出シタルモ竣功ノ運ビニ至ラザリシヲ以テ殘餘ハ翌年度ニ於テ施行スルコトトセリ

擁壁工ハ混凝土ヲ以テ施工スルコトト爲シ十一月上旬之ニ着手シ土工完了シタル部分ハ三月下旬之ヲ竣功セシメ殘餘ハ翌年度施行スルコトトセリ

路面工ハ砂利道ニシテ一月中旬路面ノ浮陸直シニ着手シ土工ノ竣功セル箇所ヨリ砂利ヲ搬入シタルモ輾壓ハ翌年度ニ施行スルコトトセリ

溝橋工ハ函型及圓型ニシテ孰レモ鐵筋混凝土ノ構造ニシテ排水用ニ供スルモノナルヲ以テ灌溉ノ關係並盛土施行ニ支障ヲ生ゼザル様着手シ土工完成ノ部分ハ年度内全ク其ノ工ヲ了スリ

側溝工ハ全部混凝土ヲ以テ切取箇所ニハU型ヲ歩車道ノ間ニハL型ヲ施行スルモノニテ本年度ニ於テハ切取ナカリシ爲メ全部L型側溝ノ施行ニシテ土工完成ノ部分ニ對シテハ全ク竣功ヲ遂ゲタリ

其他雜工事ハ全部翌年度ニ繰越施行スルコトトセリ

本改良工事ノ竣功ノ曉ハ富田町地内在來國道ニ聯絡セル富田驛通り及山崎八幡通りノ區間ハ幅員屈曲等總テ整備セラレ舊道ニ比シ全ク面目ヲ一新セリ斯クテ運輸交通上寄與スル便益ハ勿論從來ノ維持費ノ節約ヲ齎セル等地方産業ノ發展ニ資スル處實ニ大ナルベシ

本工用材料總額ハ九千七百九十一圓ニシテ使用勞働者延人員ハ八千七百八十二人ナリ  
 本年度竣功高ハ七萬四千四百四十九圓ニシテ總工費四百二十萬圓ニ對シ約二分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ  
 但シ一〇二ハ山口縣負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
築堤			立米 二、二七	七、三三三	立米 二、二七	七、三三三	0.01
擁壁			平米 三、七五	一、二二七	平米 三、七五	一、二二七	0.01
路面				四、四一		四、四一	0.00
溝橋			九、八三	一、五三六	九、八三	一、五三六	0.00
側溝			二、五四	一、九四一	二、五四	一、九四一	0.00
諸掛				一、一四〇		一、一四〇	
土地買收費				三、四〇一		三、四〇一	
地上物件移轉費				一、八四七		一、八四七	
器具機械費				一、五八二		一、五八二	
其他諸費				一、〇〇〇		一、〇〇〇	
臨時家族手當				一、〇〇〇		一、〇〇〇	
總計				二八、四四九		二八、四四九	0.01

## 第一七 國道二號線(西山口)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ總工費二百十萬圓ヲ以テ二號國道山口縣吉敷郡嘉川村ヨリ同縣下關市長府町ニ至ル總延長四萬七千五百米ヲ昭和十四年度以降同二十年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ改良スルモノナリ

本工事施行區間ハ山口縣下内海沿岸ニ勃興セル工業地帶及徳山防府ノ各都市ヲ經テ下關市ニ達スル國道二號線ノ一部ニシテ又近ク關門隧道開通ノ曉ハ北九州重工業地帶トモ直接聯絡スル唯一ノ樞要道路ニシテ軍事及産業上特殊ノ主要道路ナルニ拘ラズ其大部分ノ現況ハ凡ソ現時ノ趨勢ト相距ルコト甚ダ遠ク往時ノ山陽道其儘ノ姿ニシテ幅員僅ニ四米内外勾配又急ニシテ降雨雪ノ際ハ交通全ク杜絶スル状態ナリ加フルニ厚狹郡王喜村及下關市小月町地内ニ於テ山陽本線ト平面交叉ヲ爲セル等運輸交通上支障セルコト甚大ニシテ之ガ改修ハ寔ニ焦眉ノ急ヲ要スルモノアリ而シテ本計畫中心線ハ概ネ現道ニ依リ屈曲勾配ヲ緩和シ運輸交通上支障ナキ線形ヲ整フル主旨ナルモ移轉困難ナル家屋連擔部大土工及鐵道トノ平面交叉ヲ避ケ附近郡邑地ニ於ケル將來ノ發展及縣町村道ノ利用狀況ヲモ考慮シ中心線ヲ決定セリ其ノ設計大要左ノ如シ

總延長四萬七千五百米ノ内道路延長四萬七千三百三十四米、橋梁延長三百六十六米ニシテ有効幅員ハ厚狹郡生田村ヨリ終點下關市長府町ニ至ル間七米五、九米、十一米及二十一米八トシ其ノ他區間ハ七米五トス路面構造ハ有効幅員二十一米八ノ區間ハ軌道中央六米、砂利敷車道兩側各四米ニハ何レモ橫斷勾配二%拋物線トベカ式アスファルト混凝土鋪裝ヲ施シ步道兩側各三米七ハ橫斷勾配二%直線混凝土ブロック鋪裝ト爲シ他ノ區間ハ歩車道ノ區別ナク中央六米乃至九米ヲ橫斷勾配二%拋物線トベカ式アスファルト混凝土鋪裝ト爲シ兩側七十五糎乃至一米ハ砂利敷トセリ縱斷勾配ハ最急五%、最緩〇・二%トシ排水設備ハ人家連擔部ニハ道路ノ兩側ニU型側溝ヲ設ケ切取箇所ニハ石積或ハ混凝土側溝ヲ施設シ在來水路及排水上必要ト認ムル箇所ニハ溝橋ヲ施設ス橋梁ハ總數三十二箇所ニシテ鐵道跨線橋三箇所ノ内二箇所ハ鋼板橋、他一箇所ハI型鋼板橋トシ厚東

川橋ハゲルバー式鐵筋混凝土T型橋トシ其他ハ鐵筋混凝土床版橋トス

## 施工狀況

本工事ハ昭和十四年度繼續事業トシテ起工セシモノニシテ本年度ハ其ノ第二年度ニ當リ本事業ヲ統轄スル事務所ハ前年度ニ建設セルモノニシテ又現場ニ見張所ヲ設置シ現場員ヲ配置シ工事ノ監督ニ當ラシメタリ

而シテ本年度ニ於ケル工事ハ前年度殘工事トナリタル一部及山口縣厚狹郡生田村大字植生ヨリ同郡王喜村大字工領ニ至ル區間延長二千六百八十五米ニシテ工費十二萬圓ヲ以テ之ガ改築ヲ施行セシモノナリ其概況左ノ如シ

用地買收及物件移轉ハ一月中旬各般ノ調査ニ着手シ三月初旬之ガ協議ヲ開始シ同月ノ下旬ニ至リ全部ノ承諾ヲ得タリ

土工ハ人力ヲ主トセルモ運搬距離長キ爲メ瓦斯輪機關車ヲ購入シ之ニ依リ土量ノ搬出ヲ爲シ豫定ノ効果ヲ舉ゲ得タリ

本年度ノ土取場タル傍示ノ山林部ニハ隨所ニ大岩石散點シ之ガ破碎ニハ火藥ヲ使用シタルモ施工上非常ナル困難ニ遭遇セルコト數次ニシテ且附近ノ盛土箇所ハ現道利用部多ク時局柄交通量ノ増大セル爲メトラック荷馬車等ノ來往頻繁ニシテ適當ナル代道ナク一般交通ヲ遮斷スルコト能ハザリシ爲メ工事遂行上非常ナル困難ニ相會シタルモ良ク之ヲ征服シ三月下旬迄ニハ全土工ノ大半ヲ了シタリ擁壁工ハ割石練積及空積ニシテ其ノ施工箇所ハ道路法先ガ田畑又ハ家屋ニ接スル箇所ニ施設スルコトトシ前年度ノ殘工事トナリタル一部及本年度施行箇所ノ全部ヲ三月中旬竣功セリ

路面工ハ砂利道ニシテ前年度未竣功ノ一部及本年度ノ施行箇所ヲ砂利ノ撒布ト共ニローラーニテ輾壓シ其ノ大部分ヲ完了シタルモ起點及終點ノ一部ヲ翌年度ニ施行スルコトトセリ

溝橋ハ函型及圓型ニシテ何レモ鐵筋混凝土構造ニシテ用排水ニ供スルモノナルヲ以テ盛土施工ニ差支ヲ生ゼザル様四月上旬着手シ一月下旬第四號函型暗渠ノ竣功ヲ最後ニ工ヲ終レリ

側溝工ハ石積及混凝土側溝ニシテ石積ハ切取箇所混凝土側溝ハ人家連擔部ニ施行スルモノナルガ故ニ四月上旬工ヲ起シ三月下旬豫定ノ工ヲ終レリ

橋梁工事系根橋ハ前年度殘工事トナリタル袖工ニ着手シ三月下旬踏掛石及親柱等ノ裾付ヲ最後ニ全部ノ工ヲ終レリ  
雜工事四月下旬境界標ノ製作ニ着手シ三月下旬取付道路ノ竣功ヲ最後ニ全部ノ工ヲ終レリ

本改良工事ノ竣功ニ依リ舊道ニ比シ全ク面目ヲ一新シ且小埴生地内ハ夏季ハ避暑地ニ好適ノ地ニシテ水浴ニ來ル者多ク爲ニ交通上ノ危險甚ダシカリシ處ナリシモ幅員、勾配、屈曲等總テ整備セラレ運輸交通上ニ與ヘタル便益ハ勿論地方産業ノ發展ニ資スル處顯著ナルモノアルベシ

本工事ノ材料總額一萬六千九百六十圓ニシテ勞働者延人員ハ一萬九千六百五十六人ナリ  
本年度竣功高ハ十一萬百四圓前年度ヲ併セ總工費二十萬八千五百三圓ニシテ總工費二百十萬圓ニ對シ約一割ノ竣功ナリ  
今其ノ工事竣功表ヲ示セバ次ノ如シ但シ一ニハ評價品使用見積價額ヲ示ス



## 第一八 國道二號線(關門)建設工事

### 繼續隧道新設

本工事ハ昭和十四年以降同二十三年度ニ至ル十箇年度繼續事業トシテ總工費一千七百萬圓ヲ以テ山口縣下關市ヨリ福岡縣門司市ニ至ル間ノ關門海峽海底隧道及之ニ聯絡スベキ陸上隧道延長四千百九十米及取付道路延長一千百五十米、總延長五千三百四十米ノ建設工事ヲ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本年度工事ハ前年度ニ引續キ水抜坑導及唧筒室ノ掘鑿並ニ卷立ハ堅坑ノ一部ヲ省キ完了シ新ニ海底本隧道下關側三百三十七米、門司側四百二十七米、總延長七百六十四米ノ導坑掘鑿ニ着手之ニ伴フ機械電氣設備並ニ地質調査作業地整地、路線測量其他ノ雜工事ヲ施行セリ營繕ニ在リテハ事務所並ニ傭人宿舍、人夫合宿所、セメント倉庫等ヲ建築セリ

用地買收並ニ物件移轉ハ下關側工事用土地物件調査發表ヲ爲シタルモ之ガ完結ヲ見ズ極力解決ヲ計ルト共ニ門司側本堅坑位置ニ於ケル用地ノ調査ヲ爲セリ

本工事ニ使用セシ材料總額ハ十八萬三千五百五十圓ニシテ使用勞働者延人員ハ九萬九千二百六十七人ナリ而シテ本年度ノ竣功高ハ百三十一萬二千八百六十九圓ニシテ起工以來ノ累計ハ百七十四萬三千二十八圓ヲ算シ總工費一千七百萬圓ニ對シ約一割ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ表中「△」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工 隧 道		二八、二〇三		三〇、三九八		五八、六〇一	0.0%
事費 雜 工		四、五七二		四、九一八		九、四九〇	0.0%
土地買收費				二一〇、〇二二		二一〇、〇二二	0.1%
物件移轉及其他補償費		六、一五五		四七、四四八		五三、六〇三	
器具機械費		二二、三三三		四八、九七四		七一、三〇七	
測量費		五、七七五		四九、八		五五、〇二九	
營業繕費		二、五三六		七、五八七		一〇、一〇二	
雜費		一一、〇〇四		一、七〇一		一二、七〇五	
臨時家族手当		五九、三六四		三、一〇〇		六二、四六四	
總計		九四、〇四四		一、三三二、八六九		一、四二六、九一三	0.1%

## 第一九 國道二號線(小倉)鋪裝工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費三十萬圓(内小倉都市計畫事業費負擔額二十萬圓)ヲ以テ二號國道福岡縣小倉市大字黃金町ヨリ同市大字到津本町ニ至ル延長二千八百二十米(内橋梁百二十七米縣施行濟)ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本工事施行區間ハ門司市ヨリ小倉 八幡ノ兩市ヲ經テ福岡方面ニ達スル重要幹線ノ一部ヲ爲シ且三號國道分岐ノ點ニ當リ産業並軍事上極メテ重要ナル使命ヲ有スルモノナルヲ以テ昭和十三、四兩年度ニ於テ砂津、三萩野間ノ改良工事ヲ施行セシモ同所ヨリ到津間ハ曩ニ區劃整理事業トシテ路盤ヲ築造セシ儘ニシテ路面ハ何等ノ加工ナク殆ド交通不能ノ狀態ニ在ルヲ以テ之ヲ整備鋪裝シ既改良區間ト併セ市内ヲ縱貫セル新路線トシテノ效果ヲ期セントスルモノナリ  
其ノ設計大要左ノ如シ

總延長二千八百二十米ノ内道路施工延長二千六百九十三米ニシテ有効幅員ハ二十五米及三十米ナリ而シテ二十五米區間ハ延長二千二百七十三米ニシテ路面ノ構造ハ歩道兩側各四米二五ヲ混凝土塊鋪裝トシ車道中央十六米五混凝土鋪裝トス而シテ橫斷勾配ハ車道二・五%拋物線、歩道二・五%直線トス

有効幅員三十米區間ハ延長四百二十米ニシテ該區間ハ省線日豊本線トノ交叉點ノ前後ナルヲ以テ將來跨線橋ニ改良セントスル關係上歩車道ノ區別ヲ爲サズ橫斷勾配二・五%拋物線ノ碎石道トシ縱斷勾配ハ最急二・一%、最緩〇・一二%ナリ

## 施工狀況

事務所其他ノ諸設備ハ前年度ニ於テ施設セルモノヲ引續キ使用又ハ移轉シ諸般ノ準備ヲ爲セリ

本年度ハ鋪裝工事トシテ施行スル設計ナルモ本區間ハ前記ノ如ク幅員ノ整備ト路盤ノ築造濟ナリト雖モ排水其他ノ施設全ク

ナク之ガ改良ニ當リテハ工種ヲ土工、擁壁、路面工、溝橋工、側溝工及雜工事ノ六種ニ別チテ施行スルコトトセリ  
土工中切取ハ四月下旬着手シ順次盛土並ニ土羽ヲ進メ年度内全工事ヲ竣功セリ

擁壁工ハ盛土ノ進捗スルニ從ヒ十六年三月下旬着手、同旬内竣功セリ

路面工ハ路盤掘鑿ノ進捗ニ伴ヒ床均輾壓ヲ行ヒ五月下旬混凝土鋪裝ニ着手セルモ勞力拂底セルト降雨極メテ多ク砂利、砂ノ搬入意ノ如クナラズ多大ノ辛酸ヲ嘗メタリト雖モ督勵之努メ十六年三月下旬ヲ以テ完成セリ尙歩道混凝土塊鋪裝ハブロック製作ノ大部分ヲ請負ニ附シ路盤ノ輾壓床均ヲ行ヒ七月上旬ヨリブロック鋪設ニ着手シ十六年三月下旬竣功セリ

其他歩道側緣石、街路境界石、街路樹根圍等モ夫々七月上旬着手、最後ニ街路樹ノ植付ヲ爲シ十六年三月下旬竣功セリ

溝橋工ハ七月上旬暗渠蓋ノ製作ニ着手シ次デ圓管ノ埋設並ニ暗渠ノ築造、蓋ノ架渡ヲ行ヒ十六年三月下旬竣功セリ

側溝工ハ土工ノ進捗ニ伴ヒ九月下旬着手シ十六年三月下旬竣功ス

其他中綠樹帶舊圓管掃除等八月下旬着手シ十六年三月下旬完成ス

斯クシテ本工事ノ竣功ニ依リ小倉市唯一ノ近代道路建設ヲ見市内ノ面目ヲ一新シ二號國道ノ交通及三號國道トノ聯絡ニ多大ノ便益ヲ與ヘ地方民ノ裨益スル所甚大ニシテ軍事上、地方産業上ニ資スル所大ナリト言フベシ本工費用材料ハ總額十九萬二百三十八圓ニシテ使用勞働者延人員三萬三千六百六十一人ナリ

其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ(○)ハ小倉都市計畫事業費負擔額(△)ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

總計	臨時家族手當	其他諸費	器具機械費	費事工本						費目			
				諸掛	雜工	側溝	溝橋	路面	擁壁	築堤	掘鑿	數量	金額
												前年度迄	竣功高
												數量	金額
												本年度	竣功高
												數量	金額
												合	計
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功
												數量	金額
												步竣	合功

## 第二〇 國道二號線(博多)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費二十一萬圓(内都市計畫事業費負擔額十四萬圓)ヲ以テ二號國道福岡縣福岡市湯洲町ヨリ同市東本町ニ至ル延長三百米ノ改良工事ヲ施行中昭和十五年九月ニ到リ政府豫算並ニ物資節約ノ方針ニ基キ國費七萬圓ノ内一萬圓ヲ翌年度ニ繰越シ施行スルコトナレリ

本國道ハ門司市ヨリ北九州工業都市及福岡市ヲ經テ佐賀、長崎並熊本、鹿兒島方面ニ通ズル重要幹線ニシテ本計畫區間附近ハ交通頻繁ヲ極ムルモ幅員僅ニ十五米又ハ七米五内外ニ過ギズ然モ十五米ノ區間ニハ中央ニ福博電車軌道ヲ敷設シアルヲ以テ益々狹隘ヲ感ジ又七米五ノ區間ハ屈曲甚シキノミナラズ鹿兒島本線ト平面交叉シ交通上ノ支障實ニ甚シク事故頻發スルノ現狀ニ在ルヲ以テ之ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ要スル狀態ニ在リ而シテ本計畫ハ既改良起終點ヲ聯絡スルモノニシテ其ノ中心線ハ總テ都市計畫路線ニ據レリ尙福岡市ニ於テハ總工費ノ三分ノ二即チ十四萬圓ヲ都市計畫事業費トシテ之ガ工事施行ヲ國ニ委託シ國直轄工事ト併セ執行セリ

其ノ設計概要ハ左ノ如シ

總延長三百米、有効幅員二十七米、歩道兩側各四米、車道十九米トス路面ノ構造ハ砂利道トシ横斷勾配ハ歩道二%、直線車道三%拋物線トス省線鹿兒島本線踏切附近ハ省線高架改築ヲ俟テ立體交叉ト爲スコトトシ現在線路ニ假取付ヲ爲シ平面交叉ヲ爲スモノナリ

## 施工狀況

昭和十五年四月改良事務所ヲ福岡市福岡町博多港修築事務所内ニ設置シ外ニ見張所トシテ同市眞砂町ニ民家ヲ借上ゲ用地買

收並ニ物件移轉調査測量其ノ他諸般ノ準備ニ着手セリ

土地買收並ニ物件移轉ニ在リテハ土地買收件數四十八件、地上物件ノ移轉百十七件、其他補償關係八件ニシテ十月一日協議ヲ開始シ各關係者ニ承諾ヲ得ベク努メタル結果地主、家主及小作人ハ全部十二月下旬迄ニ承諾セリ然レドモ借家人七十餘ノ世帯ハ現下ノ都市住宅難ニ伴ヒ移轉困難ノ爲メ福岡市市有地ノ拂下等種々對策ヲ爲シ二月中旬全部承諾移轉シ地上物件ノ移轉ハ三月中旬完了セリ本改良區間ハ人家連檐地區ヲ貫通スル新設國道ニシテ家屋ノ移轉ヲ了セザレバ急速ニ工事ヲ施行スルコト能ハザルノ狀況ニ在リ依テ境界用混凝土塊製作ヲ十一月ヨリ開始シ一月中旬ニ至リ家屋移轉ヲ完了セル箇所ヨリ土工ニ着手シ漸次路面、側溝、雜工事ヲ施行セルモ大部分ヲ翌年度ニ繰越スルコトニセリ

斯クテ本工事完了ニ當リテハ工事未完了ノ爲メ道路トシテノ使命ヲ達セザルモ之ガ竣功ノ曉ハ市街ノ面目ヲ一新スルト共ニ地方産業並ニ軍事上重要ナル使命ヲ帶ブルモノナリ本工事ニ使用セル材料總額ハ一千六百五十七圓ニシテ勞働者使用延人員ハ二千九百六十五人ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ表中「○」ハ福岡都市計畫事業費負擔額「△」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

費目	本											總計
	掘	築	工路	事側	費雜	諸	土地	土地	地上	器具	其他	
數量	立米	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪	坪
前年度迄竣功高												
金額												
本年度竣功高	356								40			
金額	1,941								1,804			5,408
合計	356								40			
金額	1,941								1,804			5,408
竣功高	0.21								0.14			

## 第二一 國道二號線(熊本)鋪裝工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費八萬圓ヲ以テ二號國道熊本縣熊本市川尻町ヨリ同縣下益城郡杉合村ニ至ル延長一千七百四十六米三ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本區間ハ北ハ久留米 福岡兩市ヲ經テ北九州各都市ニ通ジ南ハ鹿児島市ニ達スル重要幹線道路ノ一部ニシテ近時交通量ノ激増ニ鑑ミ昭和十四年度ニ於テ改築セシ箇所ナルモ路面砂利道ノ儘ニテハ到底高速度交通ノ圓滑ヲ期シ難キヲ以テ之ガ鋪裝工事ハ愈々切實ナルモノアリタリ其ノ設計概要左ノ如シ

總延長一千七百四十六米三ニシテ熊本市川尻町地内延長一千四十九米三ハ有効幅員十三米ニシテ同町ヨリ工事終點下益城郡杉合村迄延長六百九十七米ハ有効幅員十一米ナリ路面構造ハ歩道ハ後年度鋪裝スルコトトシ有効幅員十三米ノ區間ハ車道中央八米混凝土鋪裝トシ有効幅員十一米ノ區間ハ歩車道ノ區別ナク車道中央九米ヲ混凝土鋪裝トシ兩側各一米ハ砂利敷トシ縱斷勾配ハ最急二・八七%、最緩〇・一五% 最小屈曲半徑ハ二百米トス

### 施工狀況

本工事ノ施行ニ當リテハ事務所ヲ熊本市川尻町綠川改築事務所内ニ又見張所ヲ同町新町ニ設置シ諸般ノ準備ヲ進メ年度内ニ計畫全部ノ竣功ヲ見ルニ至レリ其ノ概要左ノ如シ

路面ノ施行ニ當リテハ交通ニ支障ナカラシムベク四月上旬路盤土工ニ着手シ中心線ヨリ片側ヅツ逐次竣功セシメタルモ一部舊大橋附近ハ前年度ニ於テ廢川敷ヲ埋立タル箇所ナルニ依リ幾分沈下ノ憂アルヲ以テ此間延長百四十八米七ノ鋪裝ヲ中止シ起點ヨリ綠川橋詰間ノ同一距離ノ鋪裝ヲ施行シ年度内ニ全部竣功セリ

其他難工事トシテ取付道路モ逐次ニ施行シ年度内ニ全部ノ竣功ヲ見タリ  
 斯クテ本工事ノ竣功ニ依リ市街ノ面目一新スルト共ニ交通頗ル圓滑トナリ地方産業ノ發展並軍事上重要ナル使命ヲ帶ブルニ  
 至レリ而シテ本工事ニ使用セル材料總額ハ二萬五千二百二十五圓ニシテ勞働者延人員ハ二萬四百二十二二人ナリ其ノ工事竣功  
 表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「△」ハ評價品使用見積額ヲ示ス

費 目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合 計		竣 功 合 歩
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
本 路 工 面			1,620	61,441	1,620	61,441	1.00
工 雜 掛				101		101	1.00
事 諸 費				2,112		2,112	
器 具 機 械 費				2,422		2,422	
其 他 諸 費			△	△	△	△	
臨 時 家 族 手 當				3,000		3,000	
總 計				20,000		20,000	1.00

## 第二二 國道二號線（熊本）改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費五萬圓ヲ以テ二號國道熊本縣下益城郡杉合村大字杉島ヨリ同村大字小岩瀬ニ至ル延長五百六十米ノ改良工事ナルモ政府豫算並ニ物資節約ノ方針ニ基キ内九千圓ヲ翌年度ニ繰越シ施行ノコトナレリ  
本計畫區間ハ北ハ久留米、福岡兩市ヲ經テ北九州各都市ニ通ジ南ハ鹿児島市ニ達スル重要幹線道路ノ一部ニシテ交通頻繁ナルニモ不拘現道劣惡ナルニ因リ昭和十四年度ニ於テ川尻町及杉合村ノ一部ヲ改築セルモ同所以南宇土郡花園村ニ至ル間ハ鐵道省線トノ平面交叉三箇所ニ及ビ且宇土町地内ハ家屋連擔シ幅員特ニ狹隘且屈曲多ク緊急之ガ改良ノ要アルヲ以テ本計畫ニ於テハ右ノ内綠川橋梁前後ニ於ケル道路ヲ完備シ運輸交通ノ安全ヲ期セントスルモノナリ  
其ノ設計概要下記ノ如シ即チ總延長五百六十米ニシテ有効幅員十一米ナリ路面構造ハ砂利敷厚十糎ニシテ歩車道ノ區別ナク縱斷勾配ハ最急三%、最緩水平ニシテ最小屈曲半徑ハ四百米ナリ

### 施工狀況

本工事施行ニ當リテハ事務所ヲ川尻町綠川改修事務所内ニ、又見張所ヲ工事區域中央綠川南端附近堤防ニ設置シ諸般ノ準備ヲ整ヘ四月下旬工事ニ着手セリ

土地買收物件移轉ハ四月上旬調査ニ着手シ綠川橋南端ヨリ濱戸川北岸ニ至ル區間ヲ第一次買收トシテ六月六日、工事起點ヨリ綠川橋北端迄ヲ第二次買收トシテ八月二十八日ニ何レモ協議承諾ヲ得工事支障ナク土地買收及物件移轉ヲ完了セリ  
土工ハ盛土二萬五千二百五十五立方米ニシテ切取土四百九十九立方米ヲ利用土トシ不足土二萬四千七百六十六立方米ハ綠川舊堤殘土ヲ以テ補フコトトシ專ラ機械運搬ヲ以テ五月上旬工ヲ始メ十六年三月末日迄ニ九千六百六十三立方米ノ土量ヲ運搬シ起點

ヨリ綠川北端迄ノ工事ヲ急ギ完成セシメ殘區間モ半バ土砂運搬モ了セシガ殘部ハ翌年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レリ  
擁壁工ハ第一號石積、第二號石積及法留石積ノ三種ニシテ五月上旬ヨリ着手シ割石ハ現場ニ發生セルモノヲ加工使用爲シ高  
三米以上ノ箇所ハ練積トシ何レモ三月末日ヲ以テ完了スルニ至レリ

路面ハ砂利敷道ニシテ土工ノ竣功セシ起點ヨリ綠川橋北詰ニ至ル區間延長百七十三米七八月上旬着手之ヲ完了セシメ殘部  
ハ翌年度ニ繰越スコトトセリ

溝橋工ハ水利關係ヲ詳細調査シ用排水溝ノ大小ニ應ジ断面ヲ決定ス而シテ田地ノ橫斷箇所ハ地主及小作人等立會ノ上埋設位  
置ヲ定メ函型混凝土溝橋及鐵筋混凝土管等ノ設置ヲ爲シ五月上旬着手、翌年一月下旬竣功セリ

其他水路附替二箇所、堰移轉一箇所、取付道等ハ本工事ノ進行ニ伴ヒ四月下旬着手シ翌年一月下旬全部ノ竣功ヲ告ゲタリ  
斯クテ本工事完了ニ當リテハ路面工未完了ナルヲ以テ道路トシテ使命ヲ達セザルモ之ガ鋪裝竣功ノ曉ハ産業並軍事上重要ナ  
ル使命ヲ帶ブルモノナリ

本工用材料總額ハ六千二百四圓ニシテ使用勞働者延人員七千四百六十九人ナリ今其ノ工事竣功表ヲ示セバ次ノ如シ

總計	臨時家族手當	其他諸費	器具機械費	地上物件移轉費	土地買收費	本工事費					費目	
						諸掛	雜工	溝橋	路面	擁壁		築堤
												前年度迄竣功高
												數量
												金額
												本年度竣功高
												數量
												金額
												合計
												數量
												金額
												竣功
												合計

## 第二三 國道三號線(椎田)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費二十二萬圓(內福岡縣負擔二萬圓)ヲ以テ三號國道福岡縣築上郡椎田町大字椎田ヨリ同郡西角田村大字上リ松ニ至ル延長一千七百五十五米ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

本工事施行區間ハ小倉市ニ於テ二號國道ヨリ分岐シ大分宮崎ノ各都市ヲ經テ鹿兒島市ニ通ズル重要幹線ノ一部ニシテ其ノ現況ハ小倉市ヨリ京都郡泉村ニ至ル間及築上郡西角田村ヨリ同郡東吉富村ニ至ル間ハ既ニ改築済ナルモ其ノ他ハ未改良ニ屬シ幅員頗ル狹小ニシテ僅々四米乃至五米ニ過ギズ屈曲又甚シク勾配最急五%ナリ斯クテハ近時地方産業ノ發展ニ伴ヒ頓ニ激増セル高速度交通運輸ニ多大ノ支障ヲ來タシ居ルノミナラズ殊ニ最近本區間ハ軍事上ニ於テモ重要視セララルニ至レル實情ニ鑑ミ之ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ要スルニ至レルモノナリ故ニ之ガ計畫中心線決定ニ當リテハ本計畫區間ハ起終點兩端ハ既改築道路ニ聯絡セシムルモノニシテ其ノ間ヲ利用スルコトハ屈曲ノ剪除、幅員ノ擴張等ニハ充分ナル效果ヲ舉グルコト困難ナルノミナラズ椎田地内ノ如キハ人家連擔セルヲ以テ多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ比較的人家少ナキ區間ヲ通ズル新線ヲ撰ビ以テ屈曲ヲ除キ路線ヲ短縮シ線形ヲ良好ナラシメ且經費ノ節約ヲ圖ルヲ最モ有利ト認メ本路線ヲ撰定セリ其ノ設計概要左ノ如シ

總延長一千七百五十五米、內道路延長一千七百四十一米、橋梁延長十四米ニシテ椎田町地内延長七百十五米ハ有効幅員十米、其ノ他ノ區間ハ七米五ナリ路面構造ハ砂利道橫斷勾配四%トシ排水設備ハ鐵筋混凝土床版橋、無筋拱形溝橋及鐵筋混凝土管並ニ地先側溝ノ施設ヲ爲シ縱斷勾配ハ最急一・五%、最小〇・〇五%、最小屈曲半徑四百米ニシテ橋梁ハ鐵筋混凝土丁桁橋トス

## 施工狀況

工事施行ニ當リ北福岡國道改良事務所椎田工場ニ於テ諸般ノ準備ヲ整ヘ直チニ土地買收並地上物件ノ交渉ヲ開始シ五月上旬

起工承諾書ノ調印完了セルヲ以テ直ニ工事ニ着手シ八月上旬之ガ協議ヲ爲シ承諾ヲ得逐次全工事ノ進捗ニ銳意傾注セリ  
土工ハ昭和十五年五月中旬切取ニ着手シ一方盛土ハ附近民有地ノ土砂ヲ掘鑿運搬スルコトトシ六月上旬着手シ銳意工事ノ進  
捗ニ努メシ結果切取一月上旬、盛土三月中旬夫々完了セリ

土羽ハ切取箇所ハ張芝ヲ爲シ盛土箇所ニ筋芝士羽ヲ爲シ十二月中旬着手三月中旬完了セリ

擁壁ハ石積擁壁ヲ施スベキ區間ノ大部分ハ水田ナレバ濁水期ヲ俟テ盛土箇所ヨリ着手シ切取箇所(宅地)ノ一部ニ五米未滿ノ  
石積ヲ爲シ十月上旬着手三月中旬完了セリ

路面ハ十月上旬盛土及切取ノ完了セル部分ヨリ不陸均ニ着手シ基層輾壓及基層大玉砂利敷均ヲ爲シ充分基礎ヲ固メ表層碎石  
撒布及仕上輾壓ヲ爲シ三月下旬完了ヲ見タリ

溝橋ハ七月中旬圓型溝橋ノ敷設ヲ始メ三月中旬完了セリ

側溝ハ六月下旬切取完了セル部分ヨリ着手シ三月中旬完了セリ

橋梁ハ八月上旬左岸橋臺ノ床掘ヲ始メ逐次橋脚、橋體、高欄袖工ノ順序ニ專心工事ノ進捗ニ努メ三月下旬其ノ完了ヲ見タリ  
雜工事ハ在來里道町村縣道トノ交叉點ノ取付道ヲ爲シ交通ニ支障ナカラシメ在來水路附替等三月下旬完了セリ

斯クテ本工事ノ竣功ニ依リ今ヤ九州東部唯一ノ本國道ハ着々ト改築セラレ地方産業交通運輸上ニ齎ス便益ハ蓋シ甚大ナルモ  
ノアリ而シテ本工費用材料總額ハ三萬三千三十七圓(内福岡縣負擔二百九十五圓)ニシテ使用勞働者延人員ハ一萬七千七百  
二十二ナリ今其ノ工事竣功表ヲ示セバ次ノ如シ但シ◎ハ福岡縣負擔額△ハ評價品使用見積價額ヲ示ス

總計	臨時家族手當	其他諸費	器具機械費	地上物件移轉費	土地買收費	費事工本						費目	
						諸掛	雜工	橋梁	側溝	溝橋	路面		擁壁
													前年度迄竣功高
													數量
													金額
													本年度竣功高
													數量
													金額
													合計
													數量
													金額
													合計
													步竣
													功合

## 第二四 國道三號線(宇佐)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度單年度事業トシテ總工費十六萬圓ヲ以テ三號國道大分縣宇佐郡宇佐町ヨリ同郡北馬城村ニ至ル延長二千七百二十米ノ改築工事ヲ施行スルモノナリ

本國道ハ小倉市ニ於テ二號國道ヨリ分岐シ大分、宮崎兩縣ヲ縱貫シテ鹿兒島市ニ達スル主要幹線ノ一部ニシテ現在道路ハ人家連擔セル宇佐郡北馬城村大字橋津部落ヲ通過シ而カモ此部落ニ於テ私設宇佐參宮鐵道ト平面交叉ヲ爲スノミナラズ幾多ノ急屈曲及急勾配箇所ヲ存シ交通運輸上ニ及ボス障害極メテ大ニシテ之ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ要スルモノナリ

計畫中心線ノ決定ニ當リテハ現在國道ニ沿ハシムルコトハ北馬城村大字橋津部落ノ擴築及同部落ニ於ケル宇佐參宮鐵道トノ平面交叉除却等極メテ困難ナル工事ヲ伴フヲ以テ之ヲ避ケ現道ノ北側日豐本線寄りニ新ニ路線ヲ選ビ同線宇佐驛前ニ達セシメ將來ハ北馬城村岩崎ニ於テ省線ト同様宇佐參宮鐵道ノ下ヲ潜リ日豐本線ニ沿フテ同村出光ニ至リ在來國道ニ接續セシムルコトトセリ其設計概要左ノ如シ

總延長二千七百八十米ノ内道路延長二千七百二十米(外ニ假橋延長六十米ハ縣ニ於テ施行)有効幅員七米五ニシテ步車道ノ區別ナク路面構造ハ厚七糎ノ砂利敷均トス  
排水設備ハU型混凝土側溝又ハ土質側溝ヲ設ケ尙必要箇所ニハ圓型暗渠等ニ依リ排水施設ヲ爲シ在來水路ニ放流シ又在來水路ニハ溝渠ヲ施設ス、縱斷勾配ハ最急三%、最緩水平トシ最小屈曲半徑ハ三百米ナリ

### 施工狀況

本工事ハ大分國道改良事務所々屬宇佐工場ニ於テ施行セルモノニシテ年度早々工場並ニ見張所ヲ宇佐郡北馬城村地内ニ新設

シ直チニ土地買收並ニ物件移轉ノ交渉ヲ開始スルト共ニ土工、溝橋、雜工事、側溝路面等ノ順序ニ施工シ年度内ニ工事ヲ全部竣功セシメタリ其ノ概要左ノ如シ

土地買收並ニ物件移轉ハ四月早々協議ヲ開始シ九月上旬全部ノ承諾ヲ得タリ

土工ハ先ヅ切取箇所ノ土地買收並ニ物件移轉ニ就テノ承諾ヲ得他面大野川改修事務所ヨリ六瓦軌條及〇・六立方米積土砂運搬車ノ轉用ヲ受ケ四月初旬切取ニ着手シ人力ヲ以テ之ヲ運搬シ盛土ニ流用セシモ時節柄勞力不足ヲ訴ヘ意ノ如ク工事進捗セザルヲ以テ更ニ同所ヨリ四瓦瓦斯倫機關車並ニ軌條ノ轉用ヲ受ケ切取土ノ運搬ヲ圖リ銳意進捗ニ努メタル結果所期ノ竣功ヲ見タリ擁壁工ハ盛土ノ進工ニ伴ヒ七月上旬ニ着手シ十二月下旬全部完了セリ

路面工ハ盛土工ノ進捗ニ伴ヒ十二月上旬ニ着手シ四瓦輾壓機並ニ十瓦輾壓機ヲ用ヒ充分輾壓ノ上砂利散布ヲ爲シテ年度末ニ完了セリ

溝橋工ハ函型並ニ圓型暗渠ノ數種ヲ施行セルモノニシテ四月下旬ニ着手シ、盛土工ノ進捗ヲ阻害セザル様銳意工ヲ進メ二月下旬ニ全部ヲ竣功セシメタリ

側溝工ハ切取箇所並ニ盛土工ノ進捗ニ伴ヒ七月下旬ニ着手シ年度末ニ竣功セリ

雜工事ハ主トシテ水路附替並ニ取付道路等ニシテ新路線ニ交叉スル道路並ニ水路ハ其ノ數多ク爲メニ工事施行上幾多困難ナル事情ニ逢着セルモ極力之ガ解決ニ努メシヲ以テ年度末ニ全部ノ竣功ヲ見タリ本工費用材料總額二萬七千四百九十八圓ニシテ使用勞働者延人員ハ二萬六千七百十人ナリ

本工事竣功ノ結果ハ幅員ハ擴大セラレ急屈曲、急勾配且ハ煩ハシキ宇佐參宮鐵道トノ平面交叉等ヲ除去シ得タル爲メ交通運輸並ニ地方産業進展上ニ齎ス利益ハ勿論延テハ軍事的ニ見テ寄與スルトコロ甚大ナルノミナラズ宇佐町ニ鎮座マシマス官幣大社宇佐神宮參拜者ノ利便又大ナリト言フベク道路改良ノ效果顯著ナルヲ見ルベシ



## 第二五 國道三號線(大分)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十四年度以降同二十年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ總工費百八十萬圓ヲ以テ三號國道大分縣速見郡中山香町ヨリ別府市大字南石垣ニ至ル延長二萬四千九百二十米ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

本工事施行區間ハ小倉市ニ於テ二號國道ト分岐シ大分宮崎兩縣ヲ縱貫シテ鹿兒島市ニ達スル九州東海岸ニ於ケル唯一ノ幹線道路ノ一部ニシテ軍事產業並ニ觀光上重要ナル使命ヲ有スルニ不拘全線未改良ニ屬シ其ノ幅員僅カニ六米未滿ニ過ギズ加フルニ隨所ニ急屈曲勾配アルノミナラズ豪雨ノ際ハ法面崩潰ノ箇所ヲ生ジ更ニ鐵道日豊本線トノ平面交叉ニ箇所アル等交通運輸上ニ及ボス危險ト困難トハ誠ニ寒心スベキ狀態ニ在リ且近時地方產業ノ發展ニ伴ヒ自動車ニ依ル交通運輸ハ愈々繁激ヲ加ヘ時局以來遽カニ軍用道路トシテノ重要性ヲ増加セル等ニ鑑ミ之ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ要スルモノアリ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ人家閑散ナル農村又ハ丘陵部ハ概ネ在來道路ヲ使用シテ線形ヲ整ヘ急屈曲急勾配ヲ緩和スルニ努メ平坦部ノ人家稠密ノ箇所ハ出來得ル限り之ヲ避ケタリ即チ中山香町ヨリ藤原村迄ハ現在道路ニ沿ヒ日出町地内ハ鐵道日豊本線北側ニ沿ヒテ新線ヲ設ケ豊岡町ヨリ別府市内竈迄ハ再ビ現在道路ニ沿ヒ内竈地内ニテ一部鐵道日豊本線寄りニ新線ヲ設ケ内竈ヨリ終點迄ハ現在道路ヲ鋪裝スルニ止メタリ其ノ設計概要左ノ如シ

總延長二萬四千九百二十米ノ内道路延長二萬四千七百五十六米、橋梁延長百六十四米ニシテ有効幅員ハ中山香町ヨリ豊岡町ニ至ル間延長一萬八千三百八十米ハ七米五、別府市内竈地内延長二千米ノ内延長三百九十米ハ九米、延長八百五十米ハ十一米、延長七百六十米ハ十五米内竈ヨリ終點ニ至ル間四千五百四十米ハ十三米五トス全區間中別府市内竈地内延長七百六十米區間車道十米(中央)步道兩側各二米五ヲ除クノ外歩車道ノ區別ナク路面構造ハ中山香町ヨリ豊岡町ニ至ル幅員七米五ノ間ハ中央六米ヲ別府市内竈地内ノ内豊岡町寄り一千三百四十米、幅員九米及十一米ノ箇所ハ全幅一層式混凝土鋪裝殘部七百六十

米ハ全幅二層式混凝土鋪裝トシ内竈ヨリ終點ニ至ル間幅員十三米五ノ箇所ハ中央五米五ノ軌道敷ヲ除キ兩側各四米ヲトベカ式アスファルト混凝土鋪裝トス

排水設備ハI型及U型側溝ヲ設ケ切取箇所ニハ石積或ハ土質側溝トシ在來水路及排水上必要ト認ムル箇所ニハ溝橋ヲ施設ス縱斷勾配ハ最急六%、最緩水平ニシテ橋梁ハ總數十一箇所ニシテ内二箇所ハ鋼板桁橋トシ其他ハ鐵筋混凝土型桁橋又ハ鐵筋混凝土床版橋トス

## 施工狀況

本工事ハ前年度ヨリ繼續セル事業ニシテ事務所ハ借上使用中ノモノヲ其儘使用セリ

本年度工事トシテハ當所速見郡豐岡町大字平道地内延長六百米ノ改築ヲ工事費五千圓、別府市内外鋪裝並ニ改築ヲ工事費九萬五千圓(外ニ別府都市計畫事業費負擔額八萬七千圓)計十萬圓ヲ以テ着手セシ處事變關係ニテ工事中途ニシテ豫算繰延ニ遭ヒ結局平道地内ヲ工事費五千圓、別府市内ヲ八萬五千圓(外ニ別府都市計畫事業費負擔額八萬七千圓)計九萬圓ニテ施行セリ其工事施行概要左ノ如シ

先ヅ別府市内ニ於ケル土地買收及物件移轉ノ協議ヲ四月上旬開始シ年度内ニ全部ノ承諾ヲ得タリ

土工ハ別府市内鋪裝區間ノ路面鋤取ニ四月上旬着手シ平道地内改築區間ニ於ケル切取ハ八月上旬ニ着手セルモ事變關係ニテ勞力不足或ハ豫算ノ減額等ニ遭ヒタルモ銳意進捗ニ努メタル結果年度内ニ九千立方米ノ土量ヲ處理セリ路面工ハ別府市内鋪裝區間ノミヲ施行セルモノニシテ前年度ニ引續キ軌道境界石及鋪裝止石混凝土工ニ四月上旬着手シ年度内ニ各三千六百八十米ヲ施行セリ又路盤土工ハ軌道境界石鋪裝止石工ノ進捗ニ伴ヒ四月上旬ヨリ着手シ十噸輾壓機ヲ使用シ所定ノ路盤高ニ仕上ダ年度内ニ二萬一千七百三十平方米ヲ施行セリ基礎混凝土工ハ四月下旬ニ着手シ〇・二立方米練混凝土混合機ヲ用ヒ鍋トロ

運搬ニ依リ現場ニ鋪設シタンバーヲ以テ充分搗固メ表面テンプレート仕上ゲトシ養生三週間以上經過ノ後交通ヲ開始シ年度内ニ一萬八千四百平方米ヲ施工セリ表層アスファルト工ハアスファルト及重油揮發油等ノ統制物資ノ入手ヲ待ツテ五月下旬着手シアスファルトフランク(能率六百五十平方米)ヲ以テ混合シトラックニ依リ現場ニ運搬シ八瓩タンDEM輾壓機ヲ以テ輾壓シ厚四、五糎ノ仕上ゲトシ銳意工事施行ニ努メタルモ工事中途ニ於テ豫算ノ繰延ニ遭ヒタルトアスファルト入手困難ノ爲メ二萬一千八百九十平方米ヲ施行セシニ過ギザリキ

雜工事ハ別府市内鋪裝區間ニ於ケル路肩補修及排水渠補修等ヲ施行シ年度内ニ百二米ヲ施工セリ

本改良工事竣功ノ曉ハ幅員ハ擴大セラレ路面ハ鋪裝セラレ且急屈曲及勾配或ハ鐵道線路トノ平面交叉等ノ交通上危險ニシテ不便ナル箇所ヲ一掃シ幹線道路トシテノ使命達成ニ資スルハ勿論地方産業進展上甚大ナル寄與ヲ爲スノミナラズ一面軍事的ニモ觀光的ニモ極メテ重要ナル使命ヲ果スコトトナルベシ

本工事ノ竣功高ハ本年度迄ニ十六萬一千四百四十八圓ニシテ總工費百八十萬圓ニ對シ約零割九分ノ竣功ナリ其ノ竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「〇」ハ別府都市計畫事業費負擔額ヲ示ス



## 第二六 國道三號線(延岡)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費二十一萬圓(内延岡都市計畫事業費負擔額十四萬圓)ヲ以テ三號國道宮崎縣延岡市大字恒富地内延長一千百七十七米(内橋梁七米改築濟)ヲ施行スルモノナリ

本區間ハ小倉市ニ於テ二號國道ヨリ分岐シ大分縣ヲ縱貫シ延岡、宮崎、都城各市ヲ經テ鹿兒島市ニ達スル重要幹線ノ一部ニシテ本計畫區間附近ニ於ケルモノハ曩ニ其ノ一部ノ改良ヲ完了セシモ未改良部分ハ幅員六米内外ニ過ギズシテ軍需工業都市唯一ノ道路トシテ繁激ナル交通ニ副ハザルヲ以テ前年度工事ニ引續キ之ヲ改良セントスルモノナリ

本改良計畫中心線ハ都市計畫路線ニ準據シ其ノ設計概要ヲ示セバ左ノ如シ

總延長一千百七十七米(内七米橋梁改良濟)ニシテ有効幅員十六米トス路面構造ハ車道中央十二米、歩道兩側各二米トシ車道ハ二層式混凝土鋪裝、歩道ハ混凝土平板鋪裝トス

排水設備ハ路面ノ雨水ハL型側溝ニ依リ雨水枳ニ集水シU型側溝ニ導キ民家ヨリノ汚水ト共ニ放流セシム、縱斷勾配ハ最急〇・四%トシ最緩〇・二%、最小屈曲半徑ハ三百米ナリ

## 施工狀況

本工事ハ前年度ヨリノ事務所ヲ其儘使用シ諸般ノ準備ヲ進メ年度内計畫全部ノ竣功ヲ見ルニ至レリ其ノ概況左ノ如シ

土地買收及物件移轉ハ五月下旬ヨリ準備手續ニ着手スルト共ニ一方工事執行ノ圓滑ナル進捗ヲ期スルノ必要上七月下旬土地所有者並ニ關係人ニ對シ起工承諾ヲ徵シ工事ノ施行ニ支障ナカラシメタルモ昭和十五年八月二十九日延岡市ヨリ工事委託ニ際シ土地買收並ニ物件移轉ヲ除ク工事施行方委託セラレ唯土地買收代金並ニ物件移轉料金ノ査定ノミヲ依頼セラレタルヲ以

テ九月十三日右金額ノ査定ヲ終ヘ延岡市長ニ移牒シ直接執行ヲ爲サシメ九月二十四日附全土地所有者並ニ關係人ノ承諾ヲ得ルニ至レリ尙電柱移轉ニ關シテハ七月十五日各所屬廳又ハ所有者ニ對シ移轉ノ交渉ヲ進メ何レモ其承諾ヲ得タルヲ以テ買收移轉共年度内ニ完了スルニ至レリ

土工ハ四月一日ヨリ鋪裝區間ノ鋤取並ニ混凝土準備ヲ爲シ材料ノ入手ヲ俟チテ六月上旬車道混凝土鋪裝ヲ開始シ七月ヨリ改築區間ノ盛土ヲ爲シ引續キ石積擁壁ヲ施工シ八月ヨリ側溝、溝橋等ニ着手シ九月ニハ在來國道部分ノ車道鋪裝ヲ爲シ家屋並ニ物件移轉ヲ待チテ車道混凝土鋪裝ヲ順次施行セリ

次ニ水利組合管理ニ係ル用水路ノ附替ハ十二月ヨリ着手シ竣功後床版、鋪裝、床版暗渠ヲ施工シ他方歩道混凝土平板鋪裝ヲ爲シ年度内無事全工事ノ竣功ヲ見ルニ至レリ

本工事ノ竣功ノ結果在來ノ狹隘ナル國道ハ幅員十六米ニ改築セラレタルニ依リ東九州ヲ縱貫セル唯一ノ重要幹線ノ一部トシテ舊態ヲ一新シ軍事並運輸交通上利便ナルハ勿論街路トシテモ又一段ノ精彩ヲ放チ保安衛生上ニ裨益スルコト尠カラザルモノアリ本工費用材料總額ハ四萬七百七圓餘(外ニ都市計畫事業費負擔額一萬六千二百二十七圓)ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ次ノ如シ但シ「〇」ハ都市計畫事業費負擔額ヲ示ス

總計	臨時家族手當	其他諸費	器具機械費	地上物件移轉費	土地買收費	費事工本						費目	
						諸掛	雜工	側溝	溝橋	路面	擁壁		築堤
													前年度迄竣功高
													數量
													金額
													本年度竣功高
													數量
													金額
													合計
													數量
													金額
													步竣功
													合功

## 第二七 國道三號線(都城)鋪裝工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費九萬一千圓ヲ以テ三號國道宮崎縣都城市大字郡元ヨリ同市大字川東ニ至ル延長三千百七十六米ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本工事ハ小倉市ニ於テ二號國道ヨリ分岐シ大分、宮崎ノ各市ヲ經テ鹿兒島市ニ達スル重要幹線ノ一部ニシテ幅員概ネ十一米ヲ有スルモ路面砂利道ニシテ近時益々激増スル高速度交通ノ繁激ニ副ハザルヲ以テ路肩ヲ整理シ之ヲ鋪裝セントスルモノナリ其ノ設計概要左ノ如シ

總延長三千六百九十六米ノ内橋梁並取付道延長五百二十米ヲ除キ鋪裝施工延長三千百七十六米ニシテ鋪裝幅員ハ六米ナリ路面ノ構造ハ一層式厚十五糎ノ混凝土鋪裝トシ兩側各二米ヲ砂利道トシ歩車道ノ區別ナク橫斷勾配ハ二・五%双曲線トス排水設備ハ在來道路ノ多クハ土質側溝ニ依リ水路ニ放流セルモ幅員狹隘ナル家屋連帶部ニハ側溝ヲ施設シ排水ス最急縱斷勾配一・四%延長百六十米、最小縱斷勾配水平延長百六十米、最小屈曲半徑百米トス

### 施工狀況

工事施行ニ當リ宮崎市大工町大淀川改修事務所内ニ事務所ヲ開設シ都城市大字郡元松ノ元ニ工場ヲ設ケ諸般ノ準備ヲ整ヘ四月初旬ヨリ着手セリ

土工ハ道路ノ片側ヨリ着手シ計畫路肩高ニ切取リ切取土ハ兩側肩ト鋪裝區間ノ凹地ニ盛土シ以テ計畫路面ヲ作りタルモノナリ

路面工ノ路床均輾壓及混凝土鋪設ハ土工ノ進捗ニ伴ヒ八月下旬ヨリ着工シ三月下旬ヲ以テ竣功セシメタリ而シテ之ガ施行ニ當リテハ十糎マカダム型輾壓機二臺ヲ使用セリ

側溝工ハ土工及路面工ノ進捗ニ伴ヒ六月下旬着手シ三月中旬竣功セリ其他取付道路及雜工事ハ逐次着工シ孰レモ年度内ニ完了セリ

本改良工事ノ竣功ヲ告グルニ及ビ幅員、勾配等總テ整備セラレ舊國道ニ比シ全ク面目ヲ一新セリ斯クテ將來益々繁盛ヲ來スベキ自動車並ニ一般ノ交通ニ便益ヲ與フルコト少カラズ地方産業發達ニ資スル所甚大ナリト謂フベシ本工事用材料總額三萬百五圓ニシテ使用勞働者延人員二萬一千二百二十五人ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
掘鑿	立米 11,000	11,000	立米 11,000	11,000	立米 22,000	22,000	1.00
本築堤	1,400	1,400	1,400	1,400	2,800	2,800	1.00
工事路面	1,400	1,400	1,400	1,400	2,800	2,800	1.00
工側溝	28,800	28,800	28,800	28,800	57,600	57,600	1.00
事側溝	5,600	11,200	5,600	11,200	11,200	11,200	1.00
費雜工	100	100	100	100	200	200	1.00
諸掛	2,100	2,100	2,100	2,100	4,200	4,200	1.00
器具機械	2,100	2,100	2,100	2,100	4,200	4,200	1.00
其他諸費	6,500	6,500	6,500	6,500	13,000	13,000	1.00
臨時家族手當	1,400	1,400	1,400	1,400	2,800	2,800	1.00
總計		91,000		91,000		182,000	1.00

## 第二八 國道三號線(鹿兒島)鋪裝工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費十二萬圓ヲ以テ三號國道鹿兒島縣始良郡加治木町ヨリ同郡帖佐村ニ至ル總延長四千三百八十八米八、内橋梁(混凝土橋)ヲ除キ四千二百三十米ノ鋪裝工事ナルモ政府豫算並物資節約ノ方針ニ基キ内一萬圓、翌年度ニ繰越施工ノコトトナレリ

本國道ハ九州東部ヨリ鹿兒島市方面ニ通ズル唯一ノ路線ニシテ本區間ハ縣下ニ於テモ交通最モ頻繁而モ其ノ一部ハ既ニ改築濟ニシテ他ノ部分モ大體計畫幅員ヲ有スルヲ以テ高速度ヲ要スル現時ノ運輸交通上之ガ鋪裝ヲ要スルコト切實ナルモノアリ依テ今回鋪裝工事施行計畫ニ當リ別途計畫ノ改築ト共ニ兩々相待チ工ヲ進捗セントスルモノナリ其ノ設計大要左ノ如シ  
 總延長四千三百八十八米八ノ内橋梁延長百五十八米八ヲ除キ鋪裝施工延長四千三百三十米ニシテ鋪裝幅員ハ六米ナリ路面構造ハ一層式混凝土鋪裝厚十五糎トシ縱斷勾配ハ最急三・一%最小〇・一%ナリ

### 施工狀況

本工事施行ニ當リ始良郡加治木町ニ事務所ヲ設置シ諸般ノ準備ヲ整ヘ四月上旬着工爾來銳意其ノ進行ニ努力施工中ノ處九月ニ至リ豫算ノ一部一萬圓ノ繰延ベヲ見タル爲メ昭和十六年三月下旬ニ至リ設計額ニ對シ八百米ヲ殘シ竣功セリ  
 路面工ノ路盤土工ハ設計高二萬五千七百六十平方米中本年度ニ於テ竣功ヲ見タルモノ二萬二千三百十平方米ニシテ八噸マカダム型輾壓機二臺ニ依リ充分輾壓シ本工ヲ完了シ殘部ハ本年度ニ繰越スコトトセリ鋪裝幅員ハ六米ニシテ厚十五糎ノ一層式混凝土鋪裝トシ伸縮目地ハエラストタイトヲ以テ八米乃至十米間隔及中央ニ施設シ鋪裝面積二萬五千七百六十平方米、内本年度二萬九百六十平方米ノ鋪裝ヲ完了シ殘部ハ本年度ニ繰越スコトトセリ

其他本工事ノ主要材料タル砂利及砂ハ本地方ノ諸情況ヲ考察シタル結果直營採取ニ非ザレバ到底圓滑ナル納入ト單價ノ低下期シ難シト思惟セラレシ爲メ昭和十五年七月中旬ヨリ始良郡加治木町網掛川及同町西方帖佐村境ヲ流ルル別府川ニテ昭和十六年三月末迄ニ砂利三千六百三十立方米二千二百九立方米砂ヲ採取ノ上馬車ヲ以テ夫々工事現場ニ運搬配置セリ

本鋪裝工事ノ竣功ニ伴ヒ別途施行ノ改築ニ依ル幅員及曲線ノ修正ト共ニ面目全ク一新シタル爲メ交通運輸ノ安全敏速ニ伴ヒ貨客ノ輸送力著シク増加シ産業上裨益スル處甚大ニシテ亦貨客自動車ノガソリン消費量及車體損傷上刮目スベキモノアリ

本工用材料總額三萬六千六百九十四圓ニシテ使用勞働者延人員一萬九千九十七人ナリ

今其ノ工事竣功表ヲ示セバ次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功額		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工路 諸掛面			10,960 <small>平米</small>	81,850 <small>円</small>	10,960 <small>平米</small>	81,850 <small>円</small>	0.81
器具機械費				5,800		5,800	
其他諸費				8,690		8,690	
臨時家族手當				80		80	
總計				103,840		103,840	0.81

## 第二九 國道四號線(蒲生)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良工事トシテ工費豫算十萬圓ヲ以テ埼玉縣南埼玉郡蒲生村ノ一部及同郡越ヶ谷町地内ヲ併セ延長一千五百九十二米五ヲ施行スルモノトス、

改良區間ノ内越ヶ谷町地内ノ兩側家屋櫛比シ路面ハ簡易鋪裝道ナルモ幅員狹隘ニシテ僅ニ六米内外ニ過ギズ而モ電柱亂立シ且逐年増加スル自動車運輸等ノ爲メ一般交通ノ危險尠カラザルナリ

本設計ニ於テハ現道擴築ニハ用地買收及物件移轉等ニ巨費ヲ要スルヲ以テ之ヲ避ケ十三年度ニ於テ現道ヲ距ル右方約六十米ニ新路線ヲ選定改良施行セルモノヲ踏襲シ之ニ接續シテ殆ソド一直線ニ終點ニ達セシム幅員ハ十五米トシ蒲生村地内ハ中央幅九米ヲ車道ニ兩側各幅三米ヲ歩道トシ之ヲ高低區別セズ新舊分岐點附近及越ヶ谷町地内ハ中央幅十米ヲ車道ニ宛テ其兩側各幅二米五ヲ歩道トシ歩車道ヲ高低區別ス

路面ノ橫斷形狀ハ五十分ノ一拋物線形トシ車道鋪裝ハ一層式混凝土(配合一、二、四)厚十五糎ニシテ起點寄延長九百五十五米ノ區間ヲ施行シ其他ハ後年度施行ノ豫定ナリ

排水設備ハ歩車道ヲ高低區別スル區間ノ車道兩側ニ幅四十五糎ノ街渠及適當ノ間隔ニ街渠枡ヲ設ケ之ニ聚集スル汚水ハ排水支管ヲ通ジテ人家寄ニ設クル側溝ニ導キ附近ノ水路ニ排疏セシメ其他ハ自然排水ニ據ラシム

### 施工狀況

工事施行ニ關シテハ前年度設置シタル越ヶ谷町所在改良事務所ヲ其儘使用シ先以テ用地買收協議ヲ開始シ五月十五日ヨリ新舊分岐點附近ノ路床工ニ着手シ之ヲ竣功セシメ次第終點寄延長六百七十七米五ノ土工ニ着手セリ切取土量ハ一千八百八立方メートルニシテ全部盛土ニ利用スルコトトシ輕便軌條ニ依リ之ヲ運搬シ其進捗ニ伴ヒ八噸並ニ十噸五道路輾壓機ヲ使用充分輾壓ヲ施

シ舗装ニ適スル路床ヲ竣成セリ

排水工ハ土工ノ進捗ト共ニ車道兩側ニ街渠延長八百八十三米ヲ施行シ側溝ハ凡テ混凝土造ニシテ内法深六十糎、幅三十糎ノモノ兩側ノ延長七百六十七米及排水多量ト認ムル左側延長百四十五米ノ間ニ内法深七十糎、幅四十糎ヲ施行シ之ヲ竣功セシメ道路ヲ横斷スル水路ニハ徑間一米五ノ混凝土暗渠ヲ築造セリ

車道舗装ハ所定ノ一層式ニ依リ起點寄ニ於テ面積六千四百平方米ヲ施行シ十六年三月末日ニ至リ全工事ヲ竣成セリ而シテ本工事ニ使用シタル勞働者延人員ハ七千九百七十六人トナレリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
木工道			一、五九三	400.411	一、五九三	400.411	100.1
工事費							
不用材							100.1
用地費			四段		四段		
器具機械費				1,151.1		1,151.1	100.1
營業繕費							
雜費				1,182		1,182	100.1
共濟組合給與金							
臨時家族手當				447		447	100.1
總計				99,848		99,848	

### 第三〇 國道四號線(越ヶ谷)改良工事 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良工事トシテ工費豫算十萬圓ヲ以テ埼玉縣南埼玉郡蒲生村地内延長二千二百二十五米ノ車道鋪裝及同郡越ヶ谷町地内前年度改良工事施行終點ヨリ延長三百十七米五ノ區間ニ於ケル用地買收竝ニ物件移轉等ヲ併セテ施行中ノ處一部竣功ニ至ラズ之ヲ十五年度ヘ繰越施行セリ

#### 施工狀況

諸工事ハ前年度ニ於テ八分通り竣功シ繰越ノ主ナルモノハ路面鋪裝ノ一部ニシテ是亦豫定通り竣功シ次デ境界杭設置等七月十五日ニ至リ其ノ全部ヲ竣成セリ而シテ本年度使用シタル勞働者延人員ハ七百九十二人ニシテ前年度使用人員ヲ合シ五千八百十八人トナレリ工事竣功表左ノ如シ

第六章 國道改良工事 (國道四號線(越ヶ谷)改良工事)

總計	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器具機械費	用地費	用材費	工事費		費目
							不雜	道	
									前年度迄竣功高
					四段				數量
									金額
八一、五四二	五二七	二二、七七一	九八九	二二、一五七	二二、二三四			三七、八五三	円
									本年度竣功高
					一段				數量
									金額
一八、四五六	一〇六	二一、一六四		二、五七	八、八七三	一、三三三	七	五、二四八	円
									合計
					四段				數量
									金額
九九、九九九	三三三	四三、九三六	九八九	二二、一四一	三六、〇七七	一、三三三	七	四三、一〇一	円
一〇〇							一〇〇	一〇〇	歩竣功高

### 第三一 國道四號線(幸手)改良工事

#### 繰越國良改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良工事トシテ工費豫算九萬圓ヲ以テ埼玉縣北葛飾郡高野村ヨリ同郡幸手町ニ至ル延長三千米ヲ施行中ノ處一部竣功ニ至ラズ之ヲ十五年度へ繰越施行セリ

#### 施工狀況

諸工事ハ前年度ニ於テ七步通り竣功シ繰越ノ主ナルモノハ土工及鋪裝等ナリ前者ハ土運搬二千五百十四立方米ニシテ進捗ニ伴ヒ地均シノ後十瓩五マカダム輾壓機ヲ以テ充分輾壓ヲ施シ七月ニ至リ竣功セリ

鋪裝ハ所定ノ一層式ニ依リ前年度施行ノ殘部面積八千五百八十平方米ヲ施工シ是亦七月ニ至リ竣功セリ

其他雜工及跡片付等ハ九月十五日ニ至リ全部ヲ完成セリ而シテ本年度使用シタル勞働者延人員ハ三千六百八十四人ニシテ前年度使用人員ヲ合シ一萬三千九百六十七人トナレリ工事竣功表左ノ如シ

第六章 國道改良工事 (國道四號線(幸手)改良工事)

總計	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器具機械費	用地費	工事用材料	本道 雜費	費目	
								數量	金額
					0.7段			米	前年度迄竣功高
六〇、五七九	一七	五、三四〇	一五七	二七八	三三	三〇〇	五四、八八〇	円	金額
							三、〇〇〇	米	本年度竣功高
二九、四八〇		八五		三三三		五〇	二七、六八〇	円	金額
					0.7段		三、〇〇〇	米	合
八九、九七九	一七	五、四二五	一五七	六一一	三三	三〇〇	五二、五六〇	円	金額計
一〇〇							一、〇〇	點分	步竣功高

### 第三三一 國道四號線(栃木)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良工事トシテ工費豫算十五萬圓ヲ以テ栃木縣下都賀郡桑村ヨリ同縣河内郡藥師寺村ニ至ル延長六千米ノ車道鋪裝ヲ施行スルモノトス

改良區間ハ四號國道ノ一部ニシテ省線東北本線ト並行シ線形良好且平坦ナル砂利道ニシテ幅員七米五乃至九米アリ其沿道ハ概ネ畑又ハ原野ニシテ國分寺村小金井部落延長一千二百米ノ區間ハ人家連擔ス近時高速度車輛ノ普及發達ニ伴ヒ其交通ハ一般物資ノ輸送ト共ニ逐年頻繁トナリ路面ノ維持漸ク困難ヲ告グルニ至リ且塵埃ニ依ル沿道農作物ノ被害及衛生保健上洵ニ憂慮スベキ狀態ナルヲ以テ之ガ改良ハ一般ニ切望セラレシ處ナリ

本計畫ニ於テハ幅員ハ之ヲ擴張セズ其中中央幅六米ヲ車道ニ充テ二層式砂利混凝土下層厚十二糎(配合一、三、六)表層厚三糎(配合一、二、四)鋪裝ヲ施シ其兩側ハ砂利敷ヲ施行ス

横斷勾配ハ鋪裝面ヲ五十分ノ一拋物線型ニ仕上ゲ兩側砂利道ハ二十五分ノ一トス最急縱斷勾配六十分ノ一、最小屈曲半徑六百米ナリ

### 施工狀況

前年度ニ於テ明治村鞆堂新田地内ニ設置シタル改良事務所ヲ其儘利用シ其下ニ起點寄國分寺村小金井地先ニ一見張所ヲ設ケ八月七日ヨリ諸工事ニ着手セリ

切取土ハ其數量大約四千三百立方米ノ豫定ニシテ之ガ運搬ニハ人力及貨物自動車ヲ使用シ切取土四千二十八立方米ノ内年度内三千四百五十立方米ヲ盛土箇所ヘ搬入センガ其他ハ未了ノ内ニ年度ヲ經過セリ

路床ハ土砂搬入ニ伴ヒ十噸五及六噸道路輾壓機ヲ以テ反覆輾壓ヲ施シタル上徑三十糎以下ノ並砂利ヲ敷均シ再ビ輾壓ヲ行ヒ面積二萬九千六百四十四平方米ヲ竣功セリ

排水工ハ小金井地先ニ於テ道路ヨリ低位ニ在ル宅地ニ雨水ノ流入ヲ防止スル爲メ幅三十八糎深四十糎ノ混凝土側溝ヲ設ケ兩側延長二千四百十米ノ内六百二十四米及蓋百八十九米竣功セシガ其他ハ次年度へ繰越トナレリ尙工費用砂利及砂ハ購入ヲ避ケ前者ハ二千六百立方米、後者ハ九百二十二立方米ヲ採集搬入セシガ運搬用燃料等ノ關係ヲ考慮シ打切トセリ

以上諸工事ニ使用セシ勞働者延人員ハ一萬七千二百十九人トナレリ而シテ本年度工事竣功高ハ十萬一千四百六十六圓ニシテ之ヲ工事豫算十五萬圓ニ比較スルトキハ六割八分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費							
道		22,888.8		22,888.8		22,888.8	0.24
雜工		11,119.0		11,119.0		11,119.0	0.12
用地		5.0		5.0		5.0	
器械		10,599.9		10,599.9		10,599.9	
營繕		1,888.9		1,888.9		1,888.9	
雜費		13,682.0		13,682.0		13,682.0	
共濟組合給與金		649.0		649.0		649.0	
臨時家族手当		309.0		309.0		309.0	
總計		101,882.6		101,882.6		101,882.6	0.26

### 第三三 國道四號線(雀宮)改良工事

#### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良工事トシテ工費豫算八萬圓ヲ以テ栃木縣河内郡明治村ヨリ同郡雀宮村ニ至ル延長二千五百米ヲ施行中ノ處工費ニ餘裕ヲ生ジタルヲ以テ起點附近ニ於テ延長二百八十米ヲ追加シ總延長二千七百八十米ニ改メ銳意進捗ニ努メシガ終ニ一部未竣功トナリシニ依リ之ヲ十五年度ヘ繰越施行セルモノリ

#### 施工狀況

諸工事ハ前年度ニ於テ大約六歩通り竣功シ本年度ヘ繰越ノ主ナルモノハ土運搬、路床工及路面鋪裝等ナリ  
土工ハ切取土六百七十二立方米、盛土運搬七百六十四立方米ニシテ其進捗ニ從テ地均ヲ行ヒ十瓩五輾壓機ヲ以テ充分ニ輾壓ヲ施シ更ニ砂利敷ノ上再ビ輾壓ヲ加ヘ面積九千七百五十平方米ヲ竣功セリ  
路面ハ路床ノ竣功ニ伴ヒ厚五糎ノ混合式瀝青乳劑マカダム又ハ二層式基層砂利混凝土(配合一、三、六)厚十五糎、上層碎石混凝土(配合一、二、四)厚三糎ノ鋪裝ヲ施シ面積七千六百二十平方米ヲ竣功セリ  
其他路面境界杭百二十四本ヲ建設シタル後跡片付ヲ行ヒ八月七日ニ至リ全工事ノ竣功ヲ見タリ而シテ本年度使用シタル勞働者延人員ハ四千四百九十七人ニシテ前年度使用ノ人員ヲ合シ一萬三千三十七人トナレリ其工事竣功表左ノ如シ

合 計	共 濟 組 合 給 與 金	雜 費	營 繕 費	器 具 機 械 費	用 地 費	工 事 費		本 路 工 料 費	費 目	
						不 用 材	雜 道		數 量	前 年 度 迄 竣 功 高
五四、三九九	二八九	九、五七一	四八六	二、九七九	二、七八七	六段	七、四一七	三〇、八七〇	米	額
二五、八〇〇		一、三〇〇		二八九		一段	一、五三三	二、七八〇	米	額
七九、一九九	二八九	一、一〇〇	四八六	三、一六八	二、七八七	六段	八、九五〇	五三、六五〇	米	額 計
一・〇〇								一・〇〇	劃分	步 竣 合 功

## 第三四 國道四號線(宮城)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良工事トシテ總工費十萬圓ヲ以テ宮城縣柴田郡船岡村地内延長三千二百米ノ改築工事ヲ施行スルモノナリ

本改良區間ハ福島、仙臺兩市ヲ聯絡スル幹線道路ニシテ車馬ノ交通輻輳シ地方産業上且軍事上極メテ重要ナル路線ナリ

而シテ本區間ニ連接スル白石町宮村間並槻木町仙臺市間ハ昭和七年度以降改良工事ヲ施シ其ノ效果頗ル顯著ナルモノアルモ之ニ挾マレタル本區間ハ幅員狹小路面ノ凹凸甚シク且屈曲部ニ在リテ交通ノ保全圓滑ヲ缺キ高速度交通路トシテ相應シカラザル現狀ニ在リ依テ終點附近屈曲半徑最モ小ナル箇所約四百米ハ路線ノ附替ヲナシ其ノ他ノ路線ハ大體ニ於テ在來ノ儘之ヲ利用スルモ全路線ノ路幅ヲ擴張シ又路形ヲ整備シテ砂利敷厚十糎ニ施スモノナリ其ノ他排水設備トシテ溝橋繼足一箇所、函渠新設繼足共三箇所並管渠ノ新設繼足等十二箇所ヲ夫々築設スルモノトス

縱斷勾配ハ最急三パーセント一箇所、延長百六十米、最緩〇・一%ニシテ最小屈曲半徑ハ三百米二箇所ナリ

## 施工狀況

本工事ハ昭和十五年四月二十一日諸般ノ準備ヲ終へ年度内ニ完成ノ目的ヲ以テ極力工事ノ進捗ヲ圖リ施行中政府豫算並物資節約ノ方針ニ依リ豫算額二千五百圓ヲ繰延セラレ全工程ハ七割五分ニシテ一部工事ノ施行ヲ本年度ニ繰越セリ

然シテ本年度施行工事ハ土工トシテ盛土二萬四百六十立方米、内二千八百立方米ハ切取土ヲ利用シ其ノ他ハ附近民有地ヨリ採取運搬ノ上築立法面ニハ芝付八千七百平方米ヲ施シ路面砂利敷ハ二萬三千十平方米、幅員七米五、厚十糎ニ施行セリ其ノ他溝橋ノ繼足一箇所、函渠二箇所、同繼足一箇所、管渠四箇所、同繼足十二箇所ハ夫々施行ヲ完了セリ

本年度ニ於ケル土地買収ハ宅地七百三十九平方米一千八百五十圓、田二千七百八十平方米一千九百八十三圓二十八錢、畑六千九百三十八平方米三千七百七十九圓六十五錢、原野池沼等三十平方米四圓二十錢、計一萬四百八十七平方米此總額七千六百十七圓十三錢、其ノ他家屋移轉並補償共百六十四件此金額一千三百七十五圓十九錢ヲ支拂ヒタリ而シテ使役勞働者延人員二萬五千八百四十人ヲ算セリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工			立米 111,100	4,411	立米 111,100	4,411	0.47
路面							
橋							
溝			平米 11,010	4,411	平米 11,010	4,411	0.47
材料採取							
土地買収			平米 10,477	4,411	平米 10,477	4,411	0.47
費用物件移轉其ノ他補償							
器具及機械費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計				4,411		4,411	0.47

### 第三五 國道四號線(宮城)改良工事

#### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良工事トシテ總工費十五萬二千四百圓ヲ以テ宮城縣名取郡地内千貫村ヨリ岩沼町ニ至ル延長三千六十三米ノ改築並鋪裝工事ニシテ本年度ニ繰越施行セリ然ルニ工事施行中本區間内ニ存在スル國有鐵道トノ平面交叉除去費用ニ就テ昭和十五年三月一日付内務、鐵道兩省間ニテ協定成立ノ通牒ニ基キ之ガ要負擔ニ付テハ目下鐵道省ト協議中ナリ依テ同省分擔ニ屬スル工事ヲ殘シ其ノ他ハ竣功セリ

本改良區間ハ福島仙臺兩市ヲ聯絡スル唯一ノ交通路ニシテ車馬ノ交通甚シク輻輳シ地方產業上極メテ重要ナル路線ナリ然シテ本區間ニ接續スル槻木町千貫村間ハ昭和十三年度ニ於テ改築鋪裝ヲ計畫起工シ又岩沼町仙臺市間ノ道路ハ昭和九年度ニ於テ鋪裝工事完成セルモ其ノ中間タル本區間ハ路面ノ凹凸甚シク降雨時又ハ融雪期ニハ交通困難ヲ極メツアリ殊ニ本區間中ニハ國有鐵道常磐線トノ平面交叉一箇所アリテ高速度交通ニ適合セズ爲ニ多大ノ支障ト危險トヲ蒙リ居ル現狀ニ在リ依テ一部屈曲半徑小ナル箇所ハ矯正シ路幅ヲ擴張シ又路形ヲ整備シ其ノ他ノ路線ハ大體ニ於テ在來ノ儘之ヲ利用セルモ國有鐵道トノ現在交叉箇所ノ位置ハ跨線橋架設ノ關係上約八十米終點寄ニ變更セリ次ニ路面構造ハ混凝土鋪裝ニシテ幅員六米、二層式上層五糎、下層十二糎ニ施シ又橋梁トシテハ跨線橋鐵筋混凝土T型桁橋長十八米、岩沼町地内用水路ニ鐵筋混凝土T型桁橋長十二米三ノモノ等各一箇所ヲ築造シ其ノ他函渠四箇所、管渠三箇所ヲ夫々設置シ尙起點ヨリ二百五十米ノ片側ニハ排水設備トシテ混凝土開渠ヲ設クルモノトス縱斷勾配ハ最急三%ニ箇所、延長三百七十米、最緩〇・一%ニシテ最小屈曲半徑ハ百十米一箇所ナリ

## 施工狀況

本工事ハ昭和十四年度ニ於テ功程七割ニシテ繰越シタルモノナリ

本年度ハ土工トシテ盛土六千五百三十九立方米、内一千二十六立方米ハ切取土ヲ利用シ其ノ他ハ附近民有地ヨリ採取運搬シ築立ノ上輾壓二千二百平方米ヲ施シ築立法面ニハ芝付六千七百二十平方米ヲ張付ケタリ路面混凝土鋪裝ハ中央ニ二層式厚十  
七糎ニ施行セルモノ四千六百五十平方米、同厚十八糎ノモノ七千三百六十八平方米五ヲ施行セリ又橋梁工事トシテ西原橋ハ  
橋臺杭打基礎一基、橋體一連、高欄二十四米七二、橋面鋪裝七十三平方米、袖石積二十平方米ヲ夫々施行シ昭和十五年八月  
三十一日完成セリ次ニ跨線橋ハ橋臺杭打基礎一基ヲ築造シ其ノ他橋體並高欄ノ一部ヲ施行セリ

土地買收其ノ他ハ昨年度ニ於テ大部分支拂ヒタリシモ手續ノ關係上本年度ニ繰越セル土地三十三件ニシテ宅地三十八平方  
米三十五圓五錢、田四千二百二平方米一千八百十圓四十七錢、畑二千八百四十九平方米一千五十圓八十五錢、計七千八百九十九  
方米此ノ代金二千八百九十六圓三十七錢、其ノ他雜物件移轉諸補償等ハ四十九件ニシテ此金額二千四百二十七圓二十四錢ヲ  
支拂ヒタリ而シテ使役勞働者延人員本年度八千七百十三人、累計三萬九千九百六十三人ヲ算セリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工	立米 四五、二七四	四、四四八	立米 六、五三九	四、五〇〇	立米 五二、八一三	四六、九四八	〇・九一
本路	平米 一	—	平米 二二、〇一九	二〇、七七八	平米 二二、〇一九	二〇、七七八	〇・九一
工溝	箇所 二	—	箇所 一	—	箇所 二	—	一・〇〇
事橋	—	—	—	—	—	—	〇・七八
費材	—	—	—	—	—	—	〇・九〇
費材	—	—	—	—	—	—	一・〇〇
用地	—	—	—	—	—	—	—
地土	平米 一〇、〇七九	四、九六六	平米 七、〇八九	二、八九六	平米 一七、一六八	七、八六二	—
物件移轉其ノ他補償	—	二、七〇八	—	二、四二一	—	五、一五九	—
器具及機械費	—	二、九六五	—	七三三	—	二、二六七	—
營業繕費	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	九三、八八六	—	四九、三九二	—	一四三、二七八	四九・〇

### 第三六 國道四號線(岩手)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良事業トシテ總工費十萬圓ヲ以テ岩手縣稗貫郡八幡村ヨリ同郡石鳥谷町ニ至ル延長三千米ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本改良區間ハ岩手縣ヲ南北ニ縱貫スル四號國道ノ一部ニシテ盛岡、花卷間ヲ結ブ唯一ノ重要幹線ニシテ近時重工業ノ發達ト共ニ高速度交通機關モ著シク増加セルニ拘ラズ道路ハ舊陋ヲ脱セズ凹凸多キ砂利道ニシテ交通路尠カラザル不便ヲ感ジツツアルノ状態ナルヲ以テ盛岡市以南ハ曩ニ昭和九年度以降數年次ニ互リ延長二萬一千五百九十四米ノ改築鋪裝ヲ施行本年度ハ之ニ引續キ三千米ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本區間ハ多少ノ路肩ヲ整頓スル時ハ充分ナル有効幅員ヲ有スルヲ以テ中央ニ六米ノ混凝土鋪裝ヲ施行シテ交通保全ノ完璧ヲ期セントス道路ノ最急縱斷勾配一・三%八十米、屈曲半徑ナシ

#### 施工狀況

本鋪裝工事ハ昭和十五年四月十九日諸般ノ準備ト共ニ直チニ着工シ砂利、砂等ノ採取ヲ行ヒ其ノ他諸材料ノ蒐集ニ努メ銳意工事ノ進捗ヲ計リタル結果年度内ニ竣功セリ

鋪裝工事ノ地盤拵ヘトシテ切取土八百十立方米、盛土七千三百八十八立方米ヲ施行シ擁壁ハ配合一、三、六ノ混凝土八十五平方米ヲ施行シ路面混凝土鋪裝ハ中央幅六米ヲ配合一、二、四トシ一萬八千平方米、兩側幅七十五糎宛ヲ混凝土ノ部分一千四百二十九百米十五平方米、砂利敷三千七十五平方米ヲ施行シ溝橋ハ繼足暗渠二箇所、管渠五箇所ヲ施行シ側溝ハ混凝土開渠トシ延長一千ヲ施行シ雜工事ハ取付道路二箇所ヲ施行シ材料採取ニ於テハ砂利四千三百立方米、砂一千六百九十立方米、玉石二百四十七立方米ヲ採取セリ

本年度ニ於ケル使役勞働者延人員一萬七千八百三十六人ヲ算ス竣功表次ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工			立米 八、一九〇	六、二五五	立米 八、一九〇	六、二五五	1.00
擁壁			平米 八五	八九六	平米 八五	八九六	1.00
路面			箇所 三三、〇〇〇	四、〇八二	箇所 三三、〇〇〇	四、〇八二	1.00
橋			箇所 七	一、三三三	箇所 七	一、三三三	1.00
溝			米 一、七〇〇	三、一三三	米 一、七〇〇	三、一三三	1.00
側溝			箇所 二	二七	箇所 二	二七	1.00
雜費			立米 六、三三七	一、八三三	立米 六、三三七	一、八三三	1.00
材料採取							
本工事費							
用地費							
物件移轉其他補償							
器具機械費							
營業繕費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計		100,000		100,000		100,000	1.00

### 第三七 國道四號線(岩手)改良工事

#### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良事業トシテ總工費三萬圓ヲ以テ岩手縣盛岡市内夕顔瀨橋架換工事上部工ノ内歩道床版及高欄等ヲ施行スルモノナリシモ昭和十四年十月一日一萬五千圓ノ節減ノ爲メ繰越スコトナリ前年度中ニ五〇%ヲ施行シ本年度ハ一萬五千圓ヲ以テ殘工事ヲ施行シタルモノナリ

#### 施工狀況

本改良工事ハ前年度ヨリ繰越シタル高欄及歩道床版雜工事等ヲ施行スルモノニシテ前年度ニ於テ購入シタル高欄用石材及歩道床版用丸鋼ノ加工ヲ爲シ高欄ハ花崗岩ニシテ延長百九十九米ヲ施行シ歩道床版ハ鐵筋混凝土厚十糎トシ五百十六平方米ヲ施工、橋面鋪裝ハ混凝土厚三糎トニ五百十六平方米ヲ施行シ雜工事トシテ取付道路延長二百米及側溝ト併セテ追加シ混凝土鋪裝ヲ施行シ昭和十五年十一月三十日竣功セリ

本年度ニ於ケル使役勞働者延人員五千六百四十九人ヲ算シ前年度分トノ累計六千八百四十八人ヲ算ス竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費							
橋		七、三三三		二、一九七		一八、五三〇	一〇〇
雜工				六、五五二		六、五五二	一〇〇
器具		一、三三三		四、〇〇〇		五、三三三	
機械		一、九三三		七、四〇〇		九、三三三	
雜費		四		三〇		三四	
共濟組合給與金						三一八	
總計		一〇、六六六		一九、九三二		三〇、五九八	一〇〇

### 第三八 國道四號線(岩手)改良工事

#### 國道改良

本工事ハ昭和十五年年度國道改良事業トシテ總工費十三萬二千圓ヲ以テ岩手縣岩手郡御堂村ヨリ同郡沼宮内町ニ至ル延長一千米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ昭和十五年四月一日着工セルモ昭和十五年十二月二十七日付一萬五千圓ヲ節減ノ爲メ減額シ總工費十一萬七千圓ヲ以テ施行スルモノナリ

本改良區間ハ四號國道ニ屬シ盛岡市ヨリ沼宮内町ニ通ズル唯一ノ重要幹線ノ一部ニシテ現在路線ハ鐵道省東北本線トノ平面交叉アリ幅員狹小ニシテ且屈曲甚シク尙北上川ノ浸蝕ヲ受ケル等近代高速度交通機關ノ發達ニ伴ヒ地方民ノ等シク不安ト不便ヲ感ジツツアルノ狀態ナルヲ以テ屈曲ヲ是正シ鐵道トノ平面交叉ヲ立體交叉ニ改メ鐵筋混凝土長十八米ノ跨線橋及新愛宕橋ハ長六米五ノ鐵筋混凝土橋ヲ築造シ前後ノ取付道路延長九百七十五米五ヲ改築スルモノトス道路ノ最急縱斷勾配三%三百四十六米、屈曲半徑七十米ナリ

### 施工狀況

本改良工事ハ昭和十五年四月十九日諸般ノ準備ト共ニ土地買收地上物件移轉ニ關スル協議ヲ開始シ是等ノ進捗ニ伴ヒ本格的工事ニ着手シ先ヅ以テ河川ノ切替ヲ爲シ該土量ヲ築立土ニ利用シ本年度内ニ切取土量七千三百六十一立方米、盛土量七千六百七十二立方米ヲ施行シ石積擁壁四百三十五平方米ヲ施行シ他ハ繰延減額ノ爲メ翌年度ニ繰越セリ土地買收並ニ物件移轉ニ就テハ宅地七千五十八平方米一、畑七千九百二十九平方米九、田百九十六平方米三、山林九百五十七平方米二ニ對スル代金三萬二千八百八十四圓四錢ヲ支拂ヒ 物件移轉其他補償金ニ在リテハ三萬五百七十六圓六十九錢ノ内二萬六千六百二十四圓五十錢ヲ年度内ニ支拂ヒ殘餘ハ翌年度ニ繰越セリ本年度ニ於ケル使役勞働者延人員一萬三百七十四人ヲ算セリ竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
土工			1,493.33 立米	1,493.33 円	1,493.33 立米	1,493.33 円
擁壁			4.35 延米	6,433.50 円	4.35 延米	6,433.50 円
溝橋			1.00 米	188.00 円	1.00 米	188.00 円
用地買収			16.14 平米	30,111.80 円	16.14 平米	30,111.80 円
土地買収						
費用補償						
器具機械費				8,853.00 円		8,853.00 円
營繕費				5,000.00 円		5,000.00 円
雜費				13,810.00 円		13,810.00 円
共濟組合給與金				1,580.00 円		1,580.00 円
臨時家族手当				3,270.00 円		3,270.00 円
總計				101,188.00 円		101,188.00 円
						0.00 歩

### 第三九 國道四號線(青森)改良工事

#### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度事業トシテ當初總工費九萬圓ヲ以テ青森縣東津輕郡西平内村ヨリ同郡野内村ニ至ル延長二千米ノ改良工事ヲ施行スル計畫ナリシモ後西平内村地内ニ於テ更ニ二百八十米ヲ追加シ合計二千二百八十米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ十四年度中ニ竣功豫定ノ處政府豫算ノ都合ニ依リ總工費ノ内八千圓ヲ本年度ニ繰延ベ施行セルモノナリ

#### 施工狀況

本工事ハ昭和十四年四月十六日着手シ土地買收及物件移轉ノ全部ト工事ノ大半ヲ前年度ニ於テ完了シ僅カニ殘工事ノ各一部ヲ本年度ニ繰越シ施行セリ

本年度ニ於テハ土工トシテ切取九百十立方米、盛土一千百十立方米ヲ施行シテ路盤ノ構築ヲ終ヘ路面ニハ中央幅六米ニ配合一、二、四ノ混凝土鋪裝一千四百十五平方米七ヲ、兩側ニハ厚十糎ノ砂利敷二千三百八十二平方米ヲ施行シ更ニ排水及法面保護ノ爲メ側溝第一種混凝土開渠百四十米、第二種混凝土開渠百六十二米及玉石積擁壁一千四百四十三平方米ヲ何レモ施行シテ全工事ノ竣功ヲ見タリ

使用勞働者延人員ハ本年度ニ於テ三千十四人、累計二萬五千八百七人ヲ算セリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
立米	1,270.00	147,319	1,010	110,311	1,270.00	147,630	1.00
平米	7,726	22,947	3,794	22,917	11,520	25,864	1.00
箇所	4	800	1	1	4	801	1.00
工溝橋	669	2,574	100	648	769	3,222	1.00
事側溝	2,686	14,361	1,444	4,066	4,130	18,427	1.00
費擁壁	5,173	6,339	5,173	6,339	5,173	6,339	1.00
用地土	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	1.00
地物件移轉其ノ他補償	5,453	5,453	5,453	5,453	5,453	5,453	1.00
器具機械	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1.00
管繕費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1.00
雜費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1.00
共濟組合給與金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1.00
總計	79,888	101,111	79,888	101,111	79,888	101,111	1.00

#### 第四〇 國道四號線(青森)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度道路改良事業トシテ總工事十萬圓ヲ以テ青森縣東津輕郡西平内村ヨリ同郡野内村ニ至ル延長二千六百米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ内六百米ハ前年度ニ改築ノミ施行シタル箇所ヲ鋪裝スルモノトシ十五年度中竣功ノ豫定ナリシガ政府豫算ノ都合ニ依リ總工費ノ内一萬圓ハ次年度ニ繰延ベ施行スルコトトセリ

本區間ハ青森市ヨリ淺虫、野邊地ヲ經テ岩手縣ニ通ズル幹線道路ノ一部ニシテ野邊地町ヨリハ支線ヲ以テ大湊海軍要港部ニ聯絡シ軍事上亦重要ナル路線ナリ然ルニ在來ノ砂利道ハ凹凸甚シク且幅員狹小ナル箇所アリテ交通上支障多キヲ以テ之ヲ有効幅員七米五トシ屈曲高低ヲ整正シ延長二千六百米ノ内一千百米ニハ混凝土鋪裝ヲ施シ餘ハ路盤ノミ構築ス排水設備トシテハ暗渠ヲ改築シ混凝土開渠ヲ新設シ前年度迄ノ改良箇所ト相俟ツテ益々其利便ヲ増進セントスルモノナリ

#### 施工狀況

本工事ハ昭和十五年四月十九日諸般ノ準備ヲ整ヘ直チニ工事ニ着手シ買收ヲ要スル箇所ハ先ヅ起工承諾書ヲ徴シテ工事ヲ進メ銳意其進捗ヲ圖リタル結果年度末迄ニ過半ノ竣功ヲ見タリ

土工トシテハ切取三千八百二十三立方米、盛土四千七十二立方米ヲ施行シテ路盤ヲ形成シ之ニ幅六米、厚十五糎ノ一層式混凝土鋪裝六千九十四平方米八ヲ施シ兩側ハ厚十糎ノ砂利敷トシ一千九百八十平方米ヲ施行ス玉石積擁壁ハ盛土ト併行シテ工事ヲ進メ本年度ニ於テ一千六十五平方米ヲ竣功シ側溝ハ混凝土開渠三百二米ノ竣功ヲ見タリ

土地買收ハ田六十九平方米、畑二百五平方米、山林九百八十八平方米、宅地四百八十八平方米ニ及ビ此代金七百五十七圓六錢ハ物件移轉其他補償合計十八件ニ對スル補償金三千九百三十四圓六十四錢ト共ニ總ベテ本年度中ニ支拂ヲ了セリ

本年度使役勞働者延人員ハ一萬八千七百六人ヲ算セリ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工	立米	18,311	7,895	18,311	7,895	0.43	割分
路面	平米	8,055	110,314	8,055	110,314	0.42	
側溝	米	311	11,414	311	11,414	0.41	
擁壁	平米	1,035	14,414	1,035	14,414	0.42	
用地					1,020		
土地買収							
費用							
物件移轉其ノ他補償							
器具							
機械							
營業							
繕費							
雜費							
共濟組合給與金							
臨時家族手當							
總計		86,564		86,564		0.7	

## 第四一 國道五號線(福島)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良事業トシテ總工費十二萬圓ヲ以テ福島縣信夫郡清水村地内ニ於ケル延長二千三百六十米ノ國道改良鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本改良區間ハ福島市ヨリ北走シテ奥羽山脈ヲ横斷シ山形縣米澤市ニ通ズル交通運輸竝ニ軍事上重要ナル路線ノ一部ニシテ殊ニ近年福島市ヲ中心トシテ附近一帶ハ商工鑛業ノ發展著シク高速度交通機關ノ往來益々頻繁ヲ極メツツアル現況ナリ然ルニ道路狀態ハ幅員狹小ナルニ加ヘ路面ハ砂利道ニシテ凹凸甚シク各種電柱錯立シテ兩側ヲ狹メ剩ヘ大部分ニ互リテ福島電氣鐵道株式會社軌道ノ併用スルアリ交通機能ヲ著シク阻害セラレ一般交通ニ尠カラザル不便ヲ感ジツツアル現況ナルヲ以テ是等障礙物ヲ除去セシメ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

道路ノ有効幅員ハ七米五トシ路面ノ構造ハ混凝土鋪裝トスルモ上松川橋前後取付部延長百六十米ハ後年度橋梁改築ヲ考慮シ砂利道ト爲シ路側ハ何レモ地形ニ應ジ側溝又ハ擁壁ヲ設ケ步車通ノ區別及待避所ヲ設ケズ最急縱斷勾配三%、最緩縱斷勾配〇・一%ト最小屈曲半徑二千米ナリ

## 施工狀況

本工事ハ昭和十五年四月十九日諸般ノ準備ヲ整ヘ直ニ砂利、砂等ノ材料採取及土運搬用線路敷設ニ着手シ傍ラ用地買收竝ニ地上物件ノ移轉調査ヲ進メ各所有者ト協議スルト共ニ銳意工事ノ進捗ニ努メ年度内竣功セリ

土工ハ切取一千百五十立方米、盛土六千四百五十立方米ヲ施行シ切取土ハ全部盛土ニ利用シ不足土ハ阿武隈川支川松川ヨリ土運搬ノ上築立、土羽芝付百三十平方米、練石積擁壁四千四百七十平方米ヲ仕上ゲ溝橋二十三箇所、側溝四百九十四米ヲ施行

セリ

路面ハ有効幅員七米五ノ中央幅六米ヲ厚サ十七糎、兩側ハ厚六糎ノ混凝土鋪裝トシ横斷勾配二%双曲線形ニ施シ又上松川橋前後取付部延長百六十米ハ厚八糎ノ砂利道トシ横斷勾配四%拋物線形ニ仕上グ雜工事トシテ用地境界杭百二十三本竝ニ取付道路九箇所ヲ設置セリ

本工事ニ使用セル材料ノ内砂利、砂、玉石ハ阿武隈川筋福島市地先及支川松川筋ヨリ直營採取運搬セリ

本年度ニ於ケル買收土地ハ地積一千五百四十二平方米ニシテ此代金一千五百五十六圓及物件移轉其他補償費二千六百四十五圓ヲ支拂タリ而シテ本年度使役勞働者延人員二萬六千二百十九人ヲ算セリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工			4,400 立米	1,721	4,400 立米	1,721	1.00
擁壁			4,400 平米	1,721	4,400 平米	1,721	1.00
路面			1,330 鋪所	37,851	1,330 鋪所	37,851	1.00
溝橋			4,194 溝	8,194	4,194 溝	8,194	1.00
工事			4,194 溝	8,194	4,194 溝	8,194	1.00
雜工			4,194 溝	8,194	4,194 溝	8,194	1.00
材料採取			8,888 立米	28,036	8,888 立米	28,036	1.00
土地買収			1,542 平米	1,542	1,542 平米	1,542	1.00
費用			1,542 平米	1,542	1,542 平米	1,542	1.00
其他補償			2,644	2,644	2,644	2,644	1.00
器具機械費			4,715	4,715	4,715	4,715	1.00
營業繕費			4,421	4,421	4,421	4,421	1.00
雜費			10,589	10,589	10,589	10,589	1.00
共濟組合給與金			2,523	2,523	2,523	2,523	1.00
臨時家族手當			3,127	3,127	3,127	3,127	1.00
總計			111,000	110,000	111,000	110,000	1.00

## 第四二一 國道五號線(秋田)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良事業トシテ總工費二十萬圓(内十萬圓ハ秋田市都市計畫事業費負擔)ヲ以テ五號國道秋田市保戸野表鐵砲町ヨリ同市泉ニ至ル二千米間ノ改良工事ヲ施行セントスルモノナリ

本改良區間ハ山形、秋田、青森ノ三市ヲ結ブモノニシテ就中該區間ハ秋田市ト土崎港町トヲ聯絡スル重要路線ナルガ在來國道ハ幅員狹小ナルニ加ヘ勾配屈曲甚シク交通保安上危險夥シキ現況ナリシガ本計畫ニ於テハ中心線ヲ秋田市都市計畫豫定線ト一致セシメ現在國道ヲ表鐵砲町ニテ其ノ儘延長シ電車軌道ト並行シテ終點ニ達セシメ道路ノ有効幅員ハ車道十一米乃至十二米、歩道二米二乃至二米七ニシテ延長二千米、最急縱斷勾配〇・五%、最小屈曲半徑三百米、路面ハ全部砂利敷トス排水設備ハ全部新設側溝ニ依ルモノトス

### 施工狀況

國道改良事業ハ四月十九日ヲ以テ着手シ路床、材料採取、溝橋ト順ヲ追ツテ工ヲ進メタレド時局ノ影響ニ依リ鐵材、重油、瓦斯倫等購入意ノ如クナラズ加フルニ勞力モ豫期ニ反シテ豊ナラザリシモ銳意之ガ進捗ニ努メタル結果辛ウジテ所期ノ功程ヲ辿リツツアリシガ九月ニ至リ政府ノ都合上事業費二萬圓ヲ減額スルノ已ムナキニ至リタル爲メ全工種共竣功ヲ見ルニ至ラズ即チ路床六三・六%、材料採取四九・二%、溝橋五七・八%ノ功程ヲ示セリ切取ハ人力トロヲ以テ百三十三立方メートル竣功シ盛土ハ人力トロ及人力積込機關車運搬ニテ二萬二十立方メートル施行セリ第一種、第二種、第三種暗渠ハ各橋臺ヲ一箇所施工シ第一種管渠ハ四百九十一米四ヲ施工シ、第二種管渠ハ百九十米八ヲ竣功セリ材料ハ全部直營ニテ玉石百立方メートル、砂利三百五十九立方メートル、砂二百九十三立方メートルヲ採取セリ

都市計畫事業ハ十二月五日付委託セラレタルニ依リ直チニ路面ニ着手セリ然レドモ期ハ既ニ冬期トナリ工事進捗意ノ如クナラズ路面用砂利四百四十四立方米ヲ採取シ盛土五百二十三立方米、芝付六百平方米ヲ施工シ翌年度ニ繰越スコトナレリ  
土地買収ハ道路新設用地トシテ宅地一千二百六十九平方米、代金八千四百三十二圓五十一錢、田地三萬五千七百九十九平方米、代金二萬三千七百六十八圓三十二錢、計三萬二千二百圓八十三錢ニシテ土地買収ニ伴フ地上物件移轉トシテ建物十二戸十四棟此建坪二百九十坪六合九勺、其他雜物件、諸補償等計金一萬七千四百十三圓六十六錢ニシテ着手當初起工承諾書ヲ出シ工事施工上支障ナカラシメタリ

地上物件移轉ハ工事施工上急ヲ要スルヲ以テ七月八日各關係者ト協議ヲ爲シ即日承認調印八月中ニ移轉完了同時ニ支拂ヲ了セリ土地買収及諸補償ハ十二月十二日各關係者ト協議ヲ爲シ三月中所有權移轉登記完了ト同時ニ支拂ヲ爲セルモ賃借地及農作物補償ハ連署調印ヲ應ゼザル一地主アリテ賃借地喪失補償百九十五圓五十錢、農作物損失補償三十四圓九十四錢此件數五件ヲ翌年度へ繰越スルノ已ムナキニ至レリ尙本年度使役勞働者ハ延人員二萬二千二百十四人ヲ算セリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ「〇」ハ秋田市都市計畫事業費負擔ヲ示ス

費目	本工事							費目
	路床	溝橋	工事	材料	路面	用地	土地	
前年度迄竣工高								
本年度竣工高	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
數量	110.010 立米	28.2 米			37.0 平方 米			
金額	112,428 円	10,114		4,623	10,114	31,100		117,275 円
合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
數量	110.010 立米	28.2 米			37.0 平方 米			
金額	112,428 円	10,114		4,623	10,114	31,100		117,275 円
歩功	0.18	0.52		0.49				
總計								
臨時家族手当								
雜費								
營繕費								
器具機械費								
用地費用								
土地買収								
物件移轉其他補償								

### 第四三 國道五號線(青森)改良工事

#### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度道路改良事業トシテ總工費十萬圓ヲ以テ青森縣東津輕郡新城村地内延長二千米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ昭和十四年度ニ於テ竣功ノ豫定ナリシガ政府豫算ノ都合ニ依リ内一萬二千圓ヲ本年度ニ繰延べ施行セルモノナリ

#### 施工狀況

本工事ハ昭和十四年四月十六日着手シ年度内ニ工事ノ大半ヲ竣成シ橋梁工事及道路工事ノ一部ヲ本年度ニ繰越シタリ  
道路工事ハ前年度ニ引續キ土工トシテ切取四十一立方米、盛土四百八十八立方米ヲ施行シ盛土用土砂ハ切取土ヲ充用スル他附近民有地ヨリ採取使用セリ又路面ニハ混凝土鋪裝二千六百五十四平方米八、砂利敷四千二百九十九平方米ヲ施シ側溝ハ混凝土開渠一千二百九十三米一五及混凝土開渠片側繼足四百四十一米ヲ施工ス又擁壁ハ玉石積トシ七百五十六平方米一ヲ施行シ何レモ全工事ノ竣功ヲ見タリ橋梁ハ戸門橋一箇所ニシテ昭和十五年五月二十六日着工シ舊橋ノ稍下流ニ基礎杭打鐵筋混凝土桁橋ヲ架設シ同年十一月十五日竣成セリ

物件移轉其他補償費ハ前年度ヨリ盛土用土砂ヲ採取セル民有土取地補償一件ニシテ金額九十九圓七十三錢ハ其ノ採取完了ヲ俟ツテ本年度ニ支拂ヲ爲セリ使用勞働者延人員ハ本年度ニ於テ三千二百七十一人、累計二萬三千八百三十二人ナリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合、計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
土工	立米 六、八四一	八、一三三	立米 四、九一	八、二七	立米 一、三〇二	九、四〇〇
路面	平米 九、三〇〇	三、九八八	平米 六、八七四	五、〇〇九	平米 一六、一七四	三、七一九七
溝橋	箇所 五	三、七九四	箇所 一	—	箇所 五	三、七九四
側溝	米 一	一、三五四	米 一、七三四	三、四二二	米 一、七三四	三、四二二
擁壁	平米 二、一〇三	三、〇一〇	平米 七、五三	一、一三三	平米 三、七三六	一、五、〇〇〇
雜工	箇所 一	—	箇所 一	—	箇所 一	—
橋梁	箇所 一	—	箇所 一	五、八四〇	箇所 一	五、八四〇
土地買收	平米 二、二四二	三、三三三	平米 一	—	平米 二、二四二	三、三三三
費用	—	—	—	—	—	—
器具機械	—	六、一七九	—	—	—	六、一七九
營繕費	—	九九	—	—	—	九九
雜費	—	—	—	—	—	—
共濟組合給與金	—	三、三三	—	—	—	三、三三
總計	—	六、〇〇〇	—	一、五、四三三	—	一、〇〇〇、〇〇〇

#### 第四四 國道五號線(青森)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年年度道路改良事業トシテ當初總工費十萬圓ヲ以テ青森縣東津輕郡新城村地内延長一公里施行ノ計畫ナリシガ後更ニ起點側ニ於テ二百十米ヲ延長シ合計一千二百十米ノ改良工事ヲ施行スルモノニシテ十五年度中ニ竣功豫定ノ處政府豫算ノ都合ニ依リ一萬圓ヲ次年度ニ繰延ベ施行スルコトトセリ

本改良區間ハ弘前、青森ヲ聯絡スル重要道路ノ一部ニシテ車馬ノ交通繁劇ヲ加ヘツツアリ既ニ前年度迄六箇年ニ互リ改良ヲ加ヘラレ其ノ機能著シク増進セラレタリト雖モ之ニ接續スル本區間ハ依然砂利道ノ惡路トシテ殘存シ交通困難ヲ極ムルヲ以テ前年度同様之ニ混凝土鋪裝ヲ施シ腐朽セル暗渠ヲ改築シ擁壁及側溝ヲ構築シ以テ其使命ヲ達成セシメントスルモノニシテ起點側二百十米延長箇所ニ對シテハ過剩切取土砂ヲ運搬シ同區間ノ切取土砂ト共ニ搗固メ後年度改良スベキ路線ノ路床ヲ構築スルモノトス

#### 施工狀況

本工事ハ昭和十五年四月十九日諸般ノ準備ヲ整ヘテ直チニ工事ニ着手シ買収ヲ要スル土地ハ先ヅ起工承諾書ヲ徴シテ工事ヲ進メ銳意其進捗ヲ圖リタル結果年度末迄ニ大半ノ工事ヲ完了シ殘餘ハ次年度ニ繰越セリ

土工ハ切取五千三百七十六立方米、盛土五千二百八十七立方米ヲ施行シ切取土砂ハ總ベテ盛土ニ充用セリ(搗固未了八十九立方米)路面ハ幅六米二、厚十五糎、配合一、二、四ノ一層式混凝土鋪裝ヲ、兩側ニハ厚十糎ノ砂利敷ヲ施行シ本年度ノ竣功高ハ鋪裝四千二十平方米、砂利敷五百七十五平方米ニナリ

側溝ハ函型混凝土開渠計畫延長三百二十九米ノ竣功ヲ見又擁壁ハ玉石積トシ本年度ニ於テ一千八百八十二平方米ヲ施工セリ



#### 第四五 國道六號線(常總)改良工事繼續

#### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度ヨリ同二十一年度ニ至ル七箇年度繼續工事トシテ工費豫算四百三十六萬六千六百圓(都市計畫負擔額二十四萬六千六百圓ヲ含ム)ヲ以テ千葉縣東葛飾郡松戸町ヨリ茨城縣土浦市ニ至ル延長四萬五千六百九十米七ヲ施行スルモノニシテ十五年度豫算年割額ハ當初十萬圓ノ豫定ナリシガ時局ノ影響ニ依リ減額シ八萬五千圓ヲ以テ施行スルコトナレリ本國道ハ東京市淺草區言問橋西詰ニ於テ四號國道ヨリ分離シ葛飾區金町、千葉縣松戸町、茨城縣取手町及土浦、水戸ノ兩市ヲ經テ本州東海岸ヲ北走シ宮城縣岩沼町ニ至リ再ビ四號國道ニ聯絡仙臺市ニ達スル所謂陸前濱街道ニシテ產業及交通上樞要ナル路線ナリ

改良區間ハ金町、取手、相馬、土浦等各地内既改良部ノ外ハ幅員概ネ五米内外ノ砂利道ニシテ紆餘屈曲多ク且鐵道線路ト平面交叉數箇所ヲ有シ輓近自動車運輸ノ激增ト相俟テ一般交通ニ及ボス支障尠カラザルナリ改良計畫ニ於テハ屈曲最モ甚シキ千葉縣柏町以下我孫子町字柴崎ニ至ル延長七千五百米及其他二、三箇所ハ附替ヲ行ヒ鐵道踏切ハ之ヲ高低交叉ニ改メ茨城縣稻敷郡朝日村地内二箇所延長二千三百二十米ノ區間ハ其兩側ニ數百年ヲ經タル老樹繁茂シ風致佳良ナルヲ以テ現道ノ擴張ヲ避ケ何レモ幅五米五ノ複道ヲ設ケ其他ハ幅員ノ足ラザル部分ヲ擴築シ屈曲及勾配ハ努メテ之ヲ緩和セシメントス

幅員ハ市街部ノ外ハ大體九米ヲ標準トシ中央幅七米五ニ混凝土鋪裝ヲ施行ス

横斷勾配ハ五十分ノ一拋物線形トシ縱斷勾配ハ最大二十五分ノ一、最小屈曲半徑百米ナリ

#### 施工狀況

工事施行ニ關シテハ松戸町公會堂内ニ假事務所ヲ置キ器具機械ノ購入蒐集ト共ニ倉庫及傭人小屋等ヲ建設施行準備ニ努メ十一月一日同町字竹ヶ花ニ事務所ヲ新設之ニ移轉シ其間取手町ヨリ土浦市ニ至ル延長二萬五千二百九十米ノ實施測量及茨城縣筑波郡久賀村彌左衛門新田ヨリ稻敷郡駒柴村(牛久村境)ニ至ル延長三千十米ノ區間ニ於テ用地買收並ニ物件移轉等ノ調査ヲ行ヒシガ豫算ノ關係上工事開始ニ至ラズシテ年度ヲ經過セリ

本年度使用シタル勞働者延人員ハ四千九十四人トナレリ竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(雜工)				四、九二四		四、九二四	〇・〇〇
器具機械費				一五、六三二		一五、六三二	
營業繕費				一一、九一〇		一一、九一〇	
雜費				一七、六九六		一七、六九六	
共濟組合給與金				三、三二一		三、三二一	
臨時家族手當				一、〇〇〇		一、〇〇〇	
總計				四〇、四八二		四〇、四八二	〇・〇一

## 第四六 國道六號線(水戸)改良工事

### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十三年國道改良工事トシテ工費豫算十七萬五千圓(内九萬圓ハ水戸市負擔)ヲ以テ茨城縣水戸市釜神町ヨリ同市宮下ニ至ル延長八百六十米ヲ施行中ノ處水戸市負擔ニ於テ施行中ノ一部竣功ニ至ラズ之ヲ十五年度へ繰越シ施行セリ

### 施工狀況

國費支辨ニ係ル諸工事ハ前年度迄ニ於テ全部竣功シ水戸市負擔ニ於テ施行ノ豫定ナル宮下地内延長三百六十米ノ排水工及路面鋪裝ハ十五年度ニ於テ鐵道省建設物移轉漸ク完了セルヲ以テ直ニ排水工ニ着手シ側溝其他竣功ヲ俟テデーゼル十噸乃至八噸輾壓機ヲ使用シ約二十回反覆輾壓ヲ行ヒタル上更ニ三層厚ニ敷砂ヲ施シ再ビ輾壓ヲ加ヘ所定ノ二層式鋪裝ヲ施行シ全部ヲ竣功セリ而シテ本年度使用シタル勞働者延人員ハ六百六十二人ニシテ前年度迄ノ人員ヲ合シ三萬六千八百三十六人トナレリ工事竣功表左ノ如シ但シ表中(○)ハ水戸市負擔額ヲ示ス

總計	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器具機械費	用地費	工事費		本道	費目
						不雜	雜		
						米	五〇〇		前年度迄竣功高
									數量
									金額
八四、九七一	一五七六	一、三九五	五七八	四、三六八	三、二九九		三、一五八	二七、九一〇	八四、九七一
八五、三三九	一五七六	一、三九五	五七八	四、三六八	三、二九九		三、一五八	二七、九一〇	八五、三三九
						米	三〇		本年度竣功高
									數量
									金額
								四、五六三	四、五六三
									合
						米	八六〇		數量
									金額
八四、九七一	一五七六	一、三九五	五七八	四、三六八	三、二九九		三、一五八	三三、七五五	八四、九七一
八五、三三九	一五七六	一、三九五	五七八	四、三六八	三、二九九		三、一五八	三三、七五五	八五、三三九
									計
									步竣
一〇〇									合功
一〇〇									合功

## 第四七 國道六號線(水戸)改良工事

## 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良工事トシテ當初工費豫算十二萬圓ヲ以テ茨城縣東茨城郡綠岡村大字千波ヨリ水戸市常磐町字梅香下ニ至ル延長一千九百米ヲ施行ノ豫定ナリシガ其後工費二千五百圓ヲ減額シ十一萬七千五百圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

改良區間ハ昭和十二年度以降ノ施行ニ於テ鐵道踏切ト急坂及屈曲ヲ避クル新路線ヲ決定綠岡村大字千波地先ヲ起點トシ水戸市南郊ノ低地ヲ常磐鐵道ト併行シ千波湖畔ノ水路堤ヲ利用之ヲ擴張シテ水戸市高臺突出部ニ至リ同鐵道トノ立體交叉ノ跨線橋ヲ豫定シ更ニ市街ニ入り東照宮前ヲ通過シ水戸市役所前ニ於テ現國道ニ聯絡スル工事施行ニ依リ跨線橋ノ外ハ幅員九米乃至十二米ヲ有スル國道ヲ完成セシメ大ニ其面目ヲ一新セルモノアリト雖モ湖畔ハ一體ニ地盤軟弱ニシテ沈下甚敷且路體ノ動搖ニ依リ附近ノ民地ヲ隆起セシムル等稀ニ見ルノ狀態トナレリ

本計畫ニ於テハ路床ノ動搖防止ノ爲メ法尻ヲ杭打梓工ニ依リ施行シ沈下地先ニハ再ビ盛土ヲ行ヒ堅固ナル路盤ヲ築造セントス路面鋪裝ハ千波及梅香下兩地内ニ於テ二層式混凝土ト基礎厚十四糎(配合一、三、六)上層厚三糎(配合一、一、五・三)ヲ施行ス横斷形狀ハ五十分ノ一拋物線形トシ縱斷勾配最急三十分ノ一、最小屈曲半徑百七十五米ナリ跨線橋ハ橋長(斜長)十八米、幅員九米ノ單桁式鋼鈹桁橋ヲ架設ス

## 施工狀況

前年度設ケタル水戸市神崎町所在事務所ヲ其儘利用シ其下ニ千波、梅香下ノ二箇所ニ各見張所ヲ置キ諸工事ヲ開始セリ盛土數量ハ千波地内三千二百五十六立方米、釜神町ヨリ梅香下ニ至ル間ハ二萬四千六十立方米、計二萬七千三百十六立方米ニシテ附近ノ民地ヨリ採集シ近距離ハ人力遠距離ハ貨物自動車又ハ機關車ニ依リ搬入シ其進捗ニ伴ヒ地均シノ後テイーゼル

八瓩乃至十瓩輾壓機ヲ以テ約二十回反覆輾壓ヲ行ヒ更ニ厚三糶ニ敷砂ヲ施シ充分之ヲ輾壓シ鋪裝ニ適スル路盤ヲ竣成セリ  
法尻工ハ親杭間隔各一米二トシ二米七ノ幅ヲ以テ二列ニ打込ミ長二米七、末口十二糶ノ松丸太ヲ繫材トシ横ニ取付ケ縦ノ方  
向ニハ長三米、末口十糶ノ松丸太二ツ割ヲ親杭ノ内側ニ取付ケ張板トシ根掘ハ張板ト同時ニ施行シ所定ノ深サニ達スルヲ俟  
テ木梓内ニ切込砂利ヲ填充セリ

其使用木材ノ一部ハ茨城縣那珂郡石神村龜下地先官有林拂下材ヲ直營ニ依リ伐出使用シ豫定通り竣成セリ

跨線橋ハ橋體製作及其架設ハ便宜請負ニ附シ橋臺及裏地固、杭打工、擁壁等ヲ施行セシガ一部ハ未竣功ナリ

鋪裝ハ所定ノ二層式ニ依リ千波地内三千二百六十九平方米、梅香下地内二千三十平方米、計五千二百六十九平方米ヲ施行シ  
豫定通竣成セリ

本工事ニ使用シタル勞働者延人員ハ二萬三百九十六人トナレリ而シテ本年度工事竣功高ハ十一萬百六十一圓ニシテ工費豫算  
十一萬七千五百圓ニ比較スレバ九割三分ノ竣功ニ當レリ其工事竣功表左ノ如シ

費目	本工事										前年度迄竣功高	本年度竣功高	合計	竣功歩合			
	道	橋	雜	事	不	用	地	機	繕	費					給	手	計
道	1,200															1,200	1.00
橋																	
雜																	
事																	
不																	
用																	
地																	
機																	
繕																	
費																	
給																	
手																	
計	57,311	13,081	4,112	1,986	2,577	2,888	488	15,595	732	845	110,181	110,181	110,180	0.99			

## 第四八 國道六號線(多賀)改良工事

### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良工事トシテ當初工費豫算八萬圓ヲ以テ茨城縣多賀郡多賀町地内延長七百六十米ヲ施行中ノ處一部未竣功ノモノアルヲ以テ之ヲ十五年度へ繰越シ且工費二千五百圓ヲ増額シ總工費豫算八萬二千五百圓ニ改メ施行スルコトトナレリ

### 施工狀況

繰越ノ主ナル工事ハ土工及橋梁等ナリ内盛土運搬ハ前年度ニ於テ一萬六千八百七十立方米ニ達シ剩ストコロ僅ニ三百五十六立方米ナリ直チニ之ヲ完了セシメ尙切取土一萬四千六百立方米ハ人力軌條運搬ノ外一部ハ貨物自動車ニ依リ附近ノ民地ニ捨土シ十六年一月十五日ニ至リ全部終了セリ

成澤橋ハ道路ヲ横斷スル水路ニ架設スル鐵筋混凝土單桁橋ニシテ橋長六米五、幅員五、橋臺ハ重力式混凝土構造トシ水路橋ハ道路ヲ高架横斷スル用水路ノ跨道橋ニシテ在來ノ橋梁ニ接續シテ新ニ之ヲ架設セリ其ノ斜長二十一米五、幅員零米三ノ鐵筋混凝土連續桁トシ橋臺及橋脚ハ鐵筋混凝土構造ニシテ何レモ年度内全部ヲ竣功セリ而シテ本年度使用シタル勞働者延人員ハ七千二百十人ニシテ前年度使用人員ヲ合シ一萬三千八百五十七人トナレリ工事竣功表左ノ如シ

第六章 國道改良工事 (國道六號線(多賀)改良工事)

總計	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器具機械費	用地費	工事費			費目		
						不雜	橋	道			
									數量	前年度迄竣功高	
					七段			未竣功 箇所一	米	金額	
五七,000	11,011	2,211	1,032	1,664	33,933		1,981	10,921	円	數量	本年度迄竣功高
									米	金額	
					一段			箇所一	三四	數量	本年度迄竣功高
二四,八八五	112	1,501		474	11	1,082	3,110	5,024	円	金額	
									米	數量	合計
					七段			箇所一	三五七	數量	合計
八二,四八五	11,123	3,712	1,032	2,138	33,944	1,082	5,090	16,845	円	金額	
									米	數量	合計
1.00						1.00	1.00	1.00	四分	數量	合計

## 第四九 國道六號線（福島）改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良事業トシテ總工費十萬圓ヲ以テ福島縣石城郡内郷村地内ニ於ケル延長一千四百米ノ道路改築ヲ施行スル豫定ナリシ處豫算節約ニ依リ二千五百圓ヲ節減シ工事ノ一部ヲ翌年度ニ繰越セリ

本改良區間ハ陸前濱街道ニ屬シ帝都ヨリ水戸市ヲ經テ仙臺市ニ通ズル運輸交通並軍事上重要ナル路線ノ一部ニシテ北東平市ニ近接シ同市ヨリ湯本町ヲ經テ小名濱港ニ聯絡スル交通最モ多キ區間ナリ

殊ニ近年平市ヲ中心トスル附近一帶ハ商工鑛業ノ目覺シキ發展ニ伴ヒ高速度交通機關ノ往來ハ益々頻繁ヲ極メツツアル現況ナリ然ルニ道路狀態ハ幅員ハ狹小ニシテ且路面低濕ナルニ加ヘ特ニ平市、内郷村境界ヲ東流セル新川ノ出水毎ニ濁水路上ヲ溢流シ一般交通ニ尠カラザル不便ト障礙ヲ與ヘツツアル現狀ナルヲ以テ内郷中心國道ヨリ北走セル舊道路ノ擴築嵩置ヲ行フモノナリ

道路ノ有効幅員ハ九米ノ砂利道トシ其兩側ハ混凝土側溝ヲ設ケ歩車道ノ區別及待避所ヲ設ケズ最急縱斷勾配二百分ノ一、最緩縱斷勾配一千分ノ一、最小屈曲半徑一千米ナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十五年四月十九日諸般ノ準備ヲ整ヘ直ニ砂利、砂、玉石ノ材料採取ニ着手シ傍ラ用地買収及物件移轉調査ヲ進メ各所有者ト協議ヲ開始スルト共ニ銳意工事ノ進捗ニ努メ僅ニ路面ノ一部ヲ翌年度ヘ繰越セリ

土工ハ切取一千二百立方米、盛土八千九百立方米ヲ施行シ切取土ハ全部盛土ニ利用、不足土ハ附近民有地ヨリ無償採取補充ノ上築立土羽芝付二千七十七平方米、練石積擁壁二百七十平方米ヲ仕上ゲ溝橋三箇所及側溝一千二百九十米ヲ完了セリ路面ハ有

効幅員九米ニ砂利厚十二糎ヲ敷均シ充分輾壓ヲ爲シ横斷勾配四%ノ拋物線形ニ延長一千二百米ヲ仕上ゲ又雜工事トシテ用地境界杭百本並取付道路二箇所ヲ設置セリ

本工事ニ使用セル材料ノ内砂利、砂及玉石ハ附近河川敷官民有地ヨリ直營採取運搬ヲ爲セリ

本年度ニ於テ買收セル土地ハ四千六百七十七平方米ニシテ此代金七千二百二圓及物件移轉其他補償二萬五千七百七十六圓ヲ支拂タリ而シテ本年度使役勞働者延人員一萬六千八百九十六人ヲ算セリ工事竣功表左ノ如シ



## 第五〇 國道八號線(山梨)改良工事

### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度道路改良事業トシテ工費豫算七萬圓ヲ以テ山梨縣北都留郡巖村地内一部延長一千米間ノ改良ヲ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本年度ハ前年度ヨリ繰越セル工事費一萬圓ヲ以テ殘工事タル土工、路面等ノ諸工事ヲ施行セリ

土工ハ工事中最も大ナルモノニシテ人力掘鑿トシ岩石ハ火藥爆破ヲ行ヒ運搬ハ主トシテ六瓦輕便軌條竝土運車ヲ使用シ貨物自動車ヲ併用セリ本年度切取土量六百四十九立方米、盛土量四千四百四十一立方米ニシテ之ヲ竣功シ路面ハ地均シ輾壓後砂利敷ト順次竣功セリ

斯テ駒止、境界杭設置後跡片付ヲ行ヒ昭和十五年十月三十一日全工事ヲ完成スルニ至レリ

是等ニ要セシ本年度使用勞働者延人員四千二百十二人、勞力費八千六百八十八圓七十一錢ナリ工事竣功表左ノ如シ



## 第五一 國道八號線(山梨)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度道路改良事業トシテ工費豫算十三萬四千四百四十一圓ヲ以テ山梨縣北都留郡巖村及梁川村地内一部延長一千百四十米間ノ改良ヲ施行スルモノナリ

本國道ハ東京市ヨリ甲府市ヲ經テ長野縣下諏訪町ニ至リ本州中央部ヲ縱走シ京都市ニ達スル樞要路線ナリ

本線ノ改良ハ交通産業竝國防上緊切缺クベカラザルモノニシテ昭和六年以降銳意之ガ改良ヲ實施シ交通量遞増スルニ至リシガ本改良區間ハ其ノ地域山間部ニ位シ桂川左岸斷崖上ヲ走リ片阻道トシテ曲折著シク幅員狹小ニシテ勾配亦不調ナリ

殊ニ巖村地内四方津驛附近ニ於ケル國鐵中央線トノ平面交叉竝梁川村地内ニ於ケル小呼戸橋ハ木橋ニシテ腐朽ニ瀕シ其ニ現況ニ耐ヘザル危險性ハ夙ニ之ガ改良ヲ翹望セラレシトコロニシテ輓近交通量ノ激増ニ伴ヒ障害甚大ナリトス

本計畫ニ於テハ屈曲殊ニ甚ダシキ起點附近ハ新ニ路線ヲ選定附替ヲ行ヒ中央線トノ平面交叉又ハ跨線橋ヲ架設シテ之ヲ避ケ小呼戸橋ハ改築スルコトトシ其他ハ概ネ原道ニ沿ヒ擴築シ勾配竝線形ヲ整備スルコトトセリ有効幅員六米、路面ハ砂利敷トシテ歩車道ハ區別セズ最急縱斷勾配百分ノ三・八、最小屈曲半徑五十米ナリ切取法面ハ一割勾配芝付ヲ施工シ盛土法面ハ一部練石積三分法擁壁トシ他ハ一割五分勾配芝付ヲ施工ス

側溝ハU形、L形ノ二種トシ上幅五十糎、敷幅三十四糎、深四十糎ノ混凝土造リトシL型ノミ片側擁壁ヲ利用ス

溝橋ハ内徑九十糎、六十糎、四十五糎ノ混凝土圓型造ノ三種トシ十箇所ナリ跨線橋ハ橋長十三米六十糎一、徑間鋼鈹桁橋トシ小呼戸橋ハ橋長二十一米、一徑間鐵筋混凝土無鉸拱橋トス

### 施工狀況

前年度巖村地内設置ノ事務所ヲ其ノ儘踏襲シ現場中心地ニ一見張所ヲ新設シ昭和十五年四月十九日事業ヲ開始セリ直ニ用地買收地上物件移轉ノ協議ヲ進メ工具材料ノ運般其ノ他諸般ノ準備ヲ整へ施行ニ支障ナカラシメ四月十九日土工ニ着手セリ其他擁壁、架橋、暗渠、排水及路面等順次全線ニ適當ニ及ボシタレドモ竣功スルニ至ラズ一部翌年度繰越トナレリ

工事中土工ハ大ナルモノニシテ人力掘鑿トシ岩石ハ火藥爆破ヲ行ヒ運搬ハ主トシテ六庇輕便軌條ニ依リ○・六立方積土運車ヲ使用シ貨物自動車ヲ併用セル本年度切取土量二萬七千七百七十一立方米、盛土量二千六百五十五立方米ナリ

是等ニ要セシ本年度使用勞働者延人員一萬九千四百七十人ニシテ工事竣功高ハ十萬五千六百七十二圓ナリ之ヲ工事費豫算十三萬四千四百四十一圓ニ比スルトキ七割九分ノ竣功ナリトス工事竣功表次ノ如シ

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	器具機械費	地物件移轉其ノ他補償	用地土地買收	橋梁	工事費				掘鑿	費目
									側溝	溝橋	擁壁	路面		
														前年度迄竣功高
														數量
														金額
														本年
														數量
														金額
														合計
														數量
														金額
														計
														竣功
														合計

## 第五二 國道九號線(群馬)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良工事トシテ工費豫算十萬圓ヲ以テ群馬縣勢多郡南橋村ヨリ同郡北橋村ニ至ル延長五千六百六十米ノ路面鋪裝ヲ施行スルモノトス

本國道ハ東京ヨリ浦和、高崎(芝塚經由)前橋ノ各市ヲ通過シ澁川町ヲ經テ上越國境三國峠ノ嶮ヲ越ヘ新潟縣内六日町、小千谷町及長岡市ヲ經テ新潟市ニ達スル樞要幹線ナリ

改良區間ハ幅員六米五乃至八米ヲ有スル平坦ナル砂利道ニシテ起點寄六百米ノ間ハ人家連擔シ其他ハ殆ンド耕地ナリ線形ハ概ネ良好ナルモ南橋村田口地先延長三百米ノ間ハ小屈曲多ク且全區域ニ互リ右側ニハ東武鐵道經營ノ電車軌道敷設セラレ幅約二米五ヲ占有ス軌近輿地ノ産業發展ニ伴ヒ自動車運輸ハ逐年増加ノ傾向アルヲ以テ路面ノ改良ハ一般ニ要望セラレシ處ナリ

本計畫ニ於テハ現道ヲ擴築セズ中央幅六米ヲ鋪裝シ内軌道敷幅二米四ハ東武鐵道會社ノ負擔ニ於テ會社ヲシテ施行セシメ左側幅三米六ヲ國ニ於テ施行ス其起點寄四百五十米ノ區間ハ幅員狹小ニシテ鋪裝幅六米ヲ採ルニ足ラズト雖モ之ガ擴張ハ人家ノ移轉ニ巨費ヲ要スルヲ以テ之ヲ避ケ鋪裝幅ヲ五米五ト定メ内幅二米四(右側)ハ會社ノ施行トシ幅三米一(左側)ヲ國施行トス

鋪裝ハ二層式混凝土基層厚十一糎(配合一、三、六)表層厚四糎(配合一、二、四)ヲ施シ尙路肩幅零米六ニ厚五糎ノ混凝土(配合一、三、六)路面工ヲ施シ路端ニ擁壁無キ箇所ハ鋪裝保全ノ爲メ石積擁壁ヲ築設ス

橋梁ハ南橋村地先道路ヲ橫斷スル水路ニ架設セル在來木橋既ニ腐朽シ交通不安ナルヲ以テ之ヲ替ヘ徑間五米二、幅員六米六ノ鐵筋混凝土丁桁橋ヲ架設ス

## 施工狀況

工事施行ニ關シテハ工事起點附近ノ前橋市岩神町ニ改良事務所ヲ設置シ測量及實施設計ヲ行ヒ五月二十六日ニ至リ擁壁工事ニ着手シ之ニ使用ノ玉石、砂利及砂等ハ附近ノ利根川敷ニ於テ採集ノ上貨物自動車ニ依リ搬入シ年度内之ヲ完了セリ

路床工ハ在來道路砂利層ヲ地均之ニ砂利敷ヲ行ヒ八瓩(マカダム)輾壓機ニテ充分輾壓ヲ施シ面積一萬六千七百七十六平方米ヲ竣功セリ鋪裝ハ路床工ノ進捗ニ伴ヒ所定ノ二層式ニ依リ面積一萬五千四百七十平方米ヲ施行シ總面積ノ約八歩通竣工セシガ其餘ハ次年度へ繰越トナレリ

尙路面工ハ地均及一部ノ材料採集運搬ヲ行ヒタルノミニシテ未了ノ内ニ年度ヲ經過セリ而シテ本年度使用シタル勞働者延人員ハ一萬五千四百十四人トナレリ

本年度工事竣功高ハ八萬五千九十二圓ニシテ之ヲ工費豫算十萬圓ニ比較スルトキハ八割五分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ



### 第五三 國道九號線(三國峠)改良工事

#### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十五年度ヨリ同二十年度ニ至ル六箇年度繼續工事トシテ工費豫算二百十四萬圓ヲ以テ群馬縣利根郡新治村ヨリ新潟縣南魚沼郡三國村ニ至ル延長二萬米ヲ施行セントスルモノニシテ十五年度豫算年割額ハ當初十萬圓ノ豫定ナリシガ時局ノ影響ニ依リ減額シ七萬五千圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

改良區間ハ九號國道ノ一部ニ屬シ群馬、新潟兩縣界ヲ爲セル三國峠(標高一千三百十米)ノ嶮路ニシテ往時ハ三國街道ト稱セラレ越後方面ト關東地方ヲ結ブ唯一ノ通路トシテ人馬ノ往來尠カラザリシガ省線信越及上越兩線ノ開通ニ伴ヒ交通全ク絶ヘ峠ノ前後延長約一萬四千米ノ間ハ幅員僅ニ一、二尺ヲ越ヘザル樵夫ノ通路ト化シ沿道ハ起點寄約四千米ノ間ハ耕作地及宅地アルモ其他ハ殆ンド國有林野ナリ

本計畫ニ於テハ當初新治村字吹路地内(標高七百米)ニ於テ現道ヨリ分離シ法師溫泉ニ通ズル縣道ヲ利用擴張ヲ行ヒ約四千米ニシテ又縣道ト岐レ西川ノ支流無多子澤ニ出デ三國峠ノ西方約六百米ノ鞍部ヲ通過シテ終點ニ達スル路線ヲ選定セシガ更ニ新治村吹路ヨリ現國道ニ沿ヒ西川ノ北側ニ出デ法師澤ノ東側山腹ヲ通過シ三國峠ヲ越ヘ當初計畫線ニ合致スル比較路線ヲ選ビ兩路線ニ互リ精密ナル調査ヲ遂ゲ之ヲ決定スルコトトセリ

幅員ハ七米、有効六米トシ峠ノ附近ハ特ニ冬期降雪甚ダシク且地勢急峻ナルヲ以テ隧道ヲ設ケントス

### 施工狀況

工事施行ニ當リテハ先ヅ前橋市岩神町所在群馬國道改良事務所内ニ假事務所ヲ置キ利根郡新治村地内ニ改良事務所及倉庫ヲ

建設スルト共ニ工事用機械器具ノ購入蒐集等施工準備ヲ進メ本格的工事ハ根本計畫ヲ樹立決定ヲ俟テ着手スルコトトシ主トシテ調査測量ニ從事中年度ヲ經過セリ本年度使用シタル労働者延人員ハ二千八百五十人トナレリ竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(雑工)				六、五二六		六、五二六	割分
用地費				四五四		四五四	
器具機械費				三一、九三〇		三一、九三〇	
營業繕費				一五、一三五		一五、一三五	
雜費				一七、六二二		一七、六二二	
共濟組合給與金				四八一		四八一	
臨時家族手当				三六四		三六四	
總計				七一、五九一		七一、五九一	〇・九七

## 第五四 國道十號線(長野)改良工事

## 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ工費十五萬圓ノ外長野市負擔ニ係ル二萬六千圓ヲ以テ都市事業ノ一部ヲモ併セ國道第十號線ノ内長野縣更級郡稻里村ヨリ長野市中御所ニ至ル延長四千米ノ鋪裝工事ヲ施行ノ豫定ナリシガ政府豫算ノ都合ニ依リ工費二萬圓、市負擔一萬六千圓ヲ翌年度ニ繰越スコトナレリ

長野縣更級郡稻里村ヨリ長野市ニ至ル間ハ曩ニ改築セル結果幅員増大シ線形亦良好トナリシモ近時自動車交通ノ激增ニ因リ路面ノ損傷甚シキヲ以テ之ヲ鋪裝セントスルモノナリ而シテ本計畫ニ於テハ起點稻里村ヨリ丹波島橋右岸詰ニ至ル延長二千三百七十三米ノ區間ハ中央部六米、丹波島橋左岸詰ヨリ長野市内信越線跨線橋附近ノ終點ニ至ル延長一千六百二十七米ノ區間ハ車道ノ幅員ニ應ジ七米六乃至九米ノ二層式混凝土鋪裝ヲ施スモノトス

## 施工狀況

工費用ノ洗砂三千八百三十立方米、洗砂利五千九百九立方米、砂七百五十三立方米、割栗石二千七百五十四立方米ハ直營ニテ附近川敷ヨリ採取シ路床工ハ土量七千七百七十五立方米ヲ切取り内八百四十八立方米ヲ盛土ニ利用セリ擁壁工ハ全部混凝土造トセリ而シテ本年度ノ功程ハ混凝土鋪裝十二萬二千六百七十四平方米、排水街渠延長四百米ニシテ全功程ノ七割七分ニ當リ殘部ハ次年度へ繰越シタリ其ノ工事竣功表左ノ如シ但シ表中〇ハ長野市ノ負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣合功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(道路)				〇		〇	〇
器具機械費				〇		〇	〇
營繕費				〇		〇	〇
雜費				〇		〇	〇
共濟組合給與金				〇		〇	〇
臨時家族手當				〇		〇	〇
總分				二五、二九八 一三、九七九		二五、二九八 一三、九七九	〇

## 第五五 國道十號線(第四埴科)改良工事

### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ長野縣小縣郡鹽尻村ヨリ同縣埴科郡南條村ニ至ル延長一千八百米ヲ施行中ノ處政府豫算ノ都合ニ依リ二萬五千圓ヲ本年度ヘ繰越サレタルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ盛土一千百八十九立方米ヲ築立テ輾壓機ヲ以テ充分輾壓シ路面一萬五千三百七十八平方米ヲ施行セリ

擁壁工ハ練石積及空石五百七平方米ヲ施行セリ

溝工ハ水拔用鐵筋混凝土管十三箇所ヲ埋設シ側溝延長一千二十五米ヲ施行セリ

前年度ヨリ繰越シタル宅地五十三坪、田一段十四步、畑七畝二十三歩ニ對シ二千二百四十三圓ヲ、地上物件移轉ニ對シ四千二百四十八圓ヲ支拂ヘリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工事費(道路)		三、八六八		一、七八八	一、八〇〇	五、六五六
用地						
土地買收	四、九坪四段	六、八三三	五、三坪二段	二、四三三	五、四坪六段	九、二六六
費用(物件總轉其ノ他補償)		二、一九三		四、四八八		六、六八一
器具機械費		一、五八九		二、一三六		三、七二五
營業繕費		三三三		三〇六		六三九
共濟組合給與金		四六六		一、〇〇〇		一、四六六
雜費		三、七三三		二、三三三		六、〇六六
總計		四〇、〇〇〇		二二、〇〇〇		六二、〇〇〇
						一、〇〇

## 第五六 國道十號線(鶴岡)改良工事

### 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度國道改良事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ山形縣鶴岡市大字文下地内ノ既設道路ニ接續シテ延長二千二百二十米(内跨線橋下部延長十一米)ヲ施行中ノ處政府豫算ノ都合上二萬圓ヲ本年度へ繰越シ尙ホ跨線橋新設ニ伴フ鐵道省へ委託ノ諸施設未竣功ニ終リシヲ以テ七千二百圓ヲ繰越シ二萬七千二百圓ヲ以テ繼續施行セシモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ前年度ニ於テ五十三%ノ功程ヲ了シタルヲ以テ本年度ニ於テハ其ノ殘部ヲ施行シ昭和十六年三月三十一日竣功セリ其ノ概況左ノ如シ

路床工ノ所要土砂ハ前年度同様赤川左岸ノ高水敷ヨリ採土シ四噸瓦斯倫機關車ヲ以テ一萬八千五百五十二立方米ヲ運搬盛土シ他ハ切取土ヲ利用セリ

路面工ノ所要砂利ハ前年度ヨリ引續キ赤川筋ヨリ舟持人夫ニ依リ河床ヨリ直營採取シ土砂運搬線ヲ利用搬入シ下層厚十糎ニハ切込砂利ヲ、上層厚五糎ニハ徑三糎ノ砂利ヲ各五糎宛三層ニ敷均シタリ而シテ各層毎ニ六噸タンデム輾壓機ヲ以テ充分輾壓シ路面一萬八千九百八十一平方米ヲ仕上タリ

擁壁工ハ野面石ノ練石積ニシテ之ニ要セル野面石、礫、砂利、砂ハ赤川筋ヨリ直營採取シ九百九十三平方米ヲ施行セリ

溝橋工ハ溝渠五箇所及圓管渠十七箇所ヲ埋設スルモノニシテ前年度ニ於テ十五箇所ヲ竣功セシメタルヲ以テ其ノ殘部ヲ施行完成セリ

側溝工ハ板棚側溝二百二十九米ノ内百九十九米ヲ施シ全部ヲ竣成セシメ取付道路二箇所ヲ完成セシメタリ  
 跨線橋(下部構造)ハ重力式梯型混凝土造(配合一、三、六)橋臺二基ノ本體ヲ前年度ニ於テ略完成セシメタルガ本年度ハ橋臺  
 ノ殘部工ト袖擁壁工ノ大部分ヲ施シ之ヲ完成セシメタリ用地買收ハ三十五件ノ内前年度支拂未濟三件ノ支拂ヲ行ヒ完了セリ  
 以上本年度ニ於ケル竣功高ハ三萬三千二百圓ニシテ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費							
道	1,118	12,012	921	11,041	2,039	23,053	1.00
橋		7,102		1,829		8,931	1.00
梁		17,517		1,728		19,245	1.00
用地買收		21,211		5,487		26,698	1.00
費用物件移轉其ノ他補償		3,697		7,771		11,468	1.00
器具機械費		4		3		7	1.00
營業繕費		4		3		7	1.00
共濟組合給與金		438		4		442	1.00
雜費		8,433		1,111		9,544	1.00
臨時家族手當				110		110	1.00
總計		66,600		30,110		96,710	1.00

## 第五七 國道十號線(第二鶴岡)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度ニ於ケル國道改良事業トシテ工費十五萬圓(外ニ鶴岡都市計畫負擔十五萬圓)ヲ以テ前年度施行ノ山形縣鶴岡市大字道形地内新設道路ニ接續シテ延長九百四十六米(内跨線橋上部延長十一米)ノ工事ヲ施行ノ豫定ナリシモ政府豫算ノ都合上二萬四千圓ヲ繰延ベセラレシ外鶴岡都市計畫負擔ニ於テモ六萬五千七百九十八圓ヲ次年度ニ繰越シタルヲ以テ結局十二萬六千圓(外ニ鶴岡市計畫負擔八萬四千二百二圓)ニ對スル工事ヲ施行セルモノナリ

鶴岡、酒田ノ兩市ヲ結ブ國道十號路線ハ莊内地方ニ於ケル産業並ニ交通上重要ナル幹線道路ナリ政府ハ昭和八年度以降七箇年度ニ互リ國道改良工事トシテ鶴岡市ヨリ酒田市ニ至ル區間延長一萬八千六百五米ヲ施行シ又山形縣ニ於テハ之ニ關聯シテ最上川ニ架設ノ新兩羽橋及前後ノ取付道路ヲ竣功セシメタルヲ以テ兩者ヲ合シ延長二萬九百三十米ヲ改良シ餘ス所僅カニ九百四十六米(内跨線橋上部延長十一米)ニシテ鶴岡市街樞要道路ニ達ス依テ本年度ハ此未完成區間ヲ施行シ國道改良ノ目的ヲ達成セシメントスルモノナリ

本區間ハ前年度施行箇所ニ接續シ半徑三百米ノ曲線ヲ以テ大略鶴岡都市計畫線ニ一致セシメ同市大字大寶寺ニ於テ驛前通りニ聯絡シ尙月和町通現國道ヲ幅員十八米ニ擴築シ起點同市大字寶町ニ至ルモノナリ而シテ省線羽越本線ノ跨線橋ハ前年度起工シ工事ノ殘部タル上部工ヲ施行スルモノニシテ現在ノ平面交叉ヲ避ケ高速度車輛ニ對シテ安全ヲ期セリ

道路ハ有効幅員九米部分二百九十一米(内跨線橋十一米)十五米部分三百五十米 十八米部分三百五米ニシテ幅員九米部分ハ步車道ノ區別ナク十五米及十八米部分ハ步車道ノ區別ヲ設クルモノトス

路面構造ハ幅員九米部分及幅員十五米部分ノ中延長二百四十五米ハ砂利道トシ殘餘ノ幅員十五米部分延長百五米及十八米部

分ハ混凝土鋪裝トス而シテ最急縱斷勾配ハ三%延長百六十一米三一ナリ

築立部ハ普通法勾配一割五分ノ筋芝仕上トシ高三米五以上ニハ施工基面下二米以下ハ四分法ノ練石積擁壁トス

跨線橋ハ橋長十一米ニシテ前年度ニ於テ橋臺二基及袖擁壁ヲ施工セシヲ以テ上部工鐵筋混凝土造丁型單桁一連ヲ架設スルモノナリ

## 施工狀況

本工事ハ昭和十五年五月一日工事ニ着手シ銳意工事ノ進捗ニ努メタルモ物資ノ需給不圓滑ナルト地方勞働者ノ乏シキトニ因リ全工ノ二十六%ヲ完成シ殘部ハ次年度へ繰越シタリ

路床工ノ所要土砂ハ赤川左岸ノ高水敷ヨリ採土シ四噸瓦斯倫機關車ニ依リ一萬二千二百六十立方米ヲ運搬盛土シ他ハ切取土ヲ利用セリ

擁壁工ハ終點跨線橋附近ニ設クルモノニシテ野面石ノ練石積トシ之ニ要セシ野面石、礫、砂利、砂ハ赤川筋ヨリ直營採取シ年度内三百平方米ヲ施行セリ

溝工ハ在來ノ用排水ニ應ジ内管又ハ溝渠ヲ埋設スルモノニシテ十箇所ノ内三箇所ヲ竣功セリ

側溝工ハ路床工ノ關係上僅カニ一部ノ施行ニ止レリ

跨線橋（上部構造）ハ鐵道省ニ委託ノ信號機移設ノ關係上殆ンド型枠組立、支保工等ノ準備工ヲ施行シタルノミニテ次年度ニ繰越セリ

用地買收ハ全部協議調ヒ順調ニ支拂ヲ了セシガ寺院境外地一件ハ本山ノ手續關係上及鶴岡都市計畫負擔ニ係ル一件ハ債權關係ノ爲メ支拂未了トナリ建物其他ノ物件移轉ハ建物六棟外ニ鶴岡都市計畫負擔二棟及建物以外ノ物件數件ヲ次年度ニ繰越シ



## 第五八 國道十一號線(親不知)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同十三年度ニ至ル三箇年度繼續事業トシテ工費五十萬圓(内新潟縣負擔十六萬六千六百六十七圓)ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ日支事變ノ勃發ニ依リ昭和十二、十三兩年度ニ互リ工費十萬圓ヲ繰延ベラレ且工期一箇年度ヲ延長セラレタリ然ルニ十四年度ニ於テハ災害ト努力不足ノ爲メ豫定ノ進捗ヲ見ルニ至ラズ二萬四千圓ヲ十五年度ニ繰越スノ已ムナキニ至レリ而シテ其ノ施工區域ハ國道十一號線中新潟縣西頸城郡歌外波村ヨリ同郡市振村ニ至ル六千三百二十米ナリシガ同區間ハ山腹ノ傾斜急ナルニ加ヘ地質極メテ脆弱ナリシヲ以テ屢地ニ又ハ崩壞ヲ爲シ工費ニ不足ヲ生ズルニ至リシヲ以テ延長ヲ四千九百四十五米ニ短縮シ且風波川橋(長三十五米)ヲ除外スルコトトセリ

尙青海町ヨリ歌外波村ニ至ル延長八千七百七十七米ノ區間ハ昭和八年度ヨリ同十年度ニ至ル三箇年度内ニ單年度工事トシテ工費五十三萬五千圓ヲ以テ施行セリ

## 施工狀況

本年度ハ前年度ヨリ繼續ノ風波道路、赤崎道路ノ二工事ヲ施行シ何レモ竣功セシメタリ其ノ狀況左ノ如シ

道路工事トシテハ前年度ヨリ繼續ノ風波道路、赤崎道路ヲ施行シ切取土量二千六百六十四立方、盛土一千五百四十三立方、法石張二百五十八平方米ヲ施行シ風波道路ハ延長百五十米、赤崎道路ハ延長六百五十米ヲ竣功セシメタリ

擁壁工ハ主トシテ混凝土練石積ニシテ一部空石積ヲ交ヘ一千八百二十九平方米ヲ施行セリ

路面工ハ切取ヨリ生ジタル岩屑ヲ敷均シ輾壓機ヲ以テ充分輾壓シ八千八百八平方米ヲ施行セリ

其ノ他ノ工事ニ在リテハ側溝延長二千五十二米、山腹水拔二箇所、駒止棚五百三米ヲ施工セリ而シテ起工以來ノ累計ハ切取

土量二十萬七千六百四立方米、盛土四萬一千三百四十立方米、擁壁練積一萬一千四百一平方米、空石積七百三十八平方米、  
 混凝土一千八百四十五平方米、側溝延長四千五百三十六米、溝橋五箇所、路面三萬二千五百八十平方米ナリ材料採取ハ前年  
 度ニ引續キ工事施行區域ノ附近地ヨリ洗砂二百五十六立方米、洗砂利七百二十三立方米、間知石百五個、割石八十九立方米  
 ヲ直營採取セリ

本年度ノ竣功額ハ二萬六千九百七圓ニシテ起工以來ノ累計ハ四十九萬九千九百七十六圓ニシテ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合計		歩功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	米	114,100	米	11,100	米	125,200	1.00
橋	箇所	29,900	箇所	1	箇所	30,900	1.00
工事		32,900		11,000		43,900	1.00
費		8,800		1,100		9,900	1.00
用地	段	1	段	1	段	2	1.00
地		950		1		951	1.00
費		33,300		1,100		34,400	1.00
器具		5,600		1100		6,700	1.00
營繕		11,900		0		11,900	1.00
共濟組合給與金		87,800		11,000		98,800	1.00
雜費		1		11		12	1.00
臨時家族手當		1		11		12	1.00
總計		211,000		22,200		233,200	1.00

## 第五九 國道十一號線(親不知)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度單年度事業トシテ工費七萬圓(内新潟縣負擔二萬三千三百三十四圓)ヲ以テ施行中ノ處時局ノ影響ニ依リ工事費ノ一部六千圓ヲ昭和十六年度ニ繰越サレタリ其ノ施工區域ハ國道十一號線新潟縣西頸城郡歌外波村ヨリ同都市振村ニ至ル間二箇所延長七百三十五米ナリ尙青海町ヨリ市振村ニ至ル延長一萬三千二百二十二米ノ區間ハ昭和八年度ヨリ昭和十四年度ニ至ル七箇年度内ニ單年度又ハ繼續工事トシテ工費百三萬五千圓ヲ以テ施行セリ

本計畫ハ既改良道路ニ接續シ親不知海岸山腹ニ沿フ現道ヲ利用シ屈曲及勾配ヲ緩和シ腐朽セル橋梁ハ鐵筋混凝土造ニ改築ス而シテ有効幅員六米、總幅員七米ニシテ路面構造ハ砂利敷横斷勾配四%、最急縱斷勾配六%、最小屈曲半徑三十米トス

### 施工狀況

本工事ノ施行ニ關シテハ青海町改良事務所ニ於テ諸般ノ準備ヲ了シ五月市振道路續イテ六月風波川橋梁工事ニ着手セリ

市振道路工事ハ延長七百七米ニシテ内五百六十米ハ山間部ニ屬シ山腹ヲ切辟ク切取工ヲ主トシ切取ノ進捗ニ伴ヒ順次擁壁工側溝工其ノ他ヲ實施セリ

切取土量一萬三千五百七十一立方米、内岩石四千九百八十二立方米、土砂八千五百八十八立方米ニシテ全部人力ニテ掘鑿シ

○・六立方米積土運車又ハ畚ニ依リ運搬シ一千四百十立方米ヲ盛土ニ利用シ他ハ海岸ニ投棄セリ

擁壁ハ切取法先保護及盛土土留用トシテ玉石又ハ間知石ノ練積ヲ用ヒ五百二平方米ヲ竣功セシメタリ

側溝ハ幅三十糎、深三十糎乃至四十糎ノ混凝土U型又ハL型トシ四百六十六米ヲ竣功セシメタリ

風波川橋梁工事ハ歌外波、市振兩村界ノ深谷風波川ニ架スル鐵筋混凝土橋ニシテ橋長二十八米ノ内中央徑間ハ二十米ノ開側拱ニシテ側徑間ハ各四米ノ床版桁ナリ而シテ工事ハ先ヅ中央徑間工事ニ着手シ右岸拱橋臺基礎工トシテ岩盤面迄床掘ヲ行ヒ混凝土ヲ施シタル後本體ノ混凝土打ヲ爲シ高四米ノ橋臺ヲ築造シ次イデ左岸モ同様施行セリ

橋臺ノ完成後拱架拱助鐵筋配置及混凝土ヲ順次施行シ次イデ支壁工ノ一部ヲ施行シ主要部分ノ築造ヲ終リ他ハ翌年度ニ繰越セリ

用地ハ土地五段九畝步、地上物件移轉四十二件ニ就キ協議ヲ行ヒ土地五段步ヲ買收シ地上物件十五件ヲ移轉セシメ四千八百六圓ヲ支拂ヒタリ本年度ニ於ケル竣功高ハ六萬二千八百八十二圓ニシテ之ヲ總工費七萬圓ニ比スル時ハ八割六分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表左ノ如シ



## 第六〇 國道十一號線(富山)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ工費十五萬圓ヲ以テ國道十一號線ノ内富山縣富山市五福ヨリ同縣射水郡大江村ニ至ル延長五千九百九十米ノ鋪裝工事ヲ施行ノ豫定ナリシガ支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ工費二萬圓ヲ翌年度ニ繰越スルコトトナレリ

本鋪裝區間ハ富山、高岡兩市ヲ聯絡スル縣下隨一ノ樞要ナル幹線道路ナルヲ以テ昭和七年度以降昭和十年度迄ニ國又ハ富山縣ニ於テ改良セラレタルモ最近ニ於ケル急激ナル交通ノ發展ニ鑑ミ之ヲ鋪裝スルモノナリ本工事ハ曩ニ富山縣ニ於テ施行セラル既鋪裝ノ終點ヨリ射水郡大江村大字鷺塚ニ至ル延長六軒間ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノニシテ有効幅員十米ノ内中央六米ニ厚十五糎、横斷勾配二・五%双曲形ノ一層式(配合一、二、四)混凝土鋪裝ヲ施シ其ノ兩側各二米ニ横斷勾配五%ノ砂利ヲ厚三糎ニ敷均シ輾壓スルモノトス

### 施工狀況

五月工事準備ニ着手スルト共ニ砂利、砂ノ採取運搬ヲ開始シ續イテ路盤工、路面工、砂利敷、側溝繼足等ヲ施行シ竣功歩合七割八分ヲ示セリ

年度ノ竣功額ハ十二萬三千九百九十六圓ニシテ之ヲ總工費十五萬圓ニ比スレバ八割三分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合	計	竣功
	數量	金額	數量	金額			
本工事費(道路)				100,000		100,000	0.28
器具機械費				4,800		4,800	
營業繕費				2,700		2,700	
雜費				1,400		1,400	
共濟組合給與金				3,000		3,000	
臨時家族手當				2,100		2,100	
總計				113,900		113,900	0.36

## 第六一 國道十一號線(高岡)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同十四年度ニ至ル四箇年度繼續事業トシテ工費八十萬圓(内富山縣負擔二十六萬六千六百六十七圓)ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ日支事變ノ勃發ニ依リ工期一箇年度ヲ延長セラレタリ而シテ其ノ施行區域ハ國道十一號線ノ内富山縣射水郡大島村ヨリ同縣高岡市線町ニ至ル區間ニ於ケル橋梁延長四百三十五米及道路延長二千三百二十四米(避溢橋及跨線橋ヲ含ム)ナリトス

### 施工狀況

本年度ハ前年度ニ引續キ高岡道路新設工事及中川跨線橋新設工事ヲ施行シ内中川跨線橋新設工事ハ竣功セリ

高岡道路新設工事ハ本年度ニ於テハ盛土、溝工、路面工等ヲ施行シ竣功歩合八割九分ヲ示セリ中川跨線橋新設工事ハ前年度ニ引續キ右橋臺ノ一部其ノ他ヲ施行シ竣功セシメタリ

本年度ニ於ケル竣功額ハ九萬六千五百八十一圓ニシテ起工以來ノ累計ハ七十六萬三千二百一十一圓トナリ之ヲ總工費八十萬圓ニ比スレバ九割五分ノ竣功ニ當ル其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功割合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費	未竣功						
道	橋	1,211.175	1,211.175	6,627	13,039.5	13,039.5	0.22
梁	橋	351.611	6,627	1,126	13,039.5	13,039.5	
用地	土地買收	40,082				40,082	
地費	物件移轉其ノ他補償	17,818				17,818	
器具	機械費	22,330				22,330	
營繕	繕費	1,415				1,415	
共濟組合	給與金	2,225				2,225	
雜費		4,942				4,942	
臨時家族手當							
總計		338,810	96,581	480	425,391	425,391	0.24

## 第六二 國道十二號線(關ヶ原)改良工事 國道改良

本工事ハ岐阜縣不破郡關ヶ原町ヨリ東海道線ヲ横過シ同郡玉村ニ至ル國道八號路線及十二號路線延長二千五百六十米ノ改良工事ニシテ現況ハ幅員狹隘ニシテ屈曲甚シク且急勾配ノ箇所アリ交通不便尠カラザルヲ以テ之ヲ改良セントスルモノニシテ工事費十五萬圓ヲ以テ本年度内ニ施行スルモノトス

本工事ハ實施ニ當リ土地ノ狀況ニ鑑ミ再調ノ結果一部計畫路線並構造ノ變更、資材蒐集ノ關係等ニ依リ豫算不足ヲ生ズル見込ナルヲ以テ一萬五千圓ヲ増額シ尙跨線橋架設ニ關スル鐵道省トノ協議ニ相當時日ヲ要セシ爲メ年度内ニ工事完成スルニ至ラズ該橋ノ一部並前後路面鋪裝ハ翌年度ニ繰越スニ至レリ

工事起點ハ八號路線岐阜縣不破郡關ヶ原驛前ヲ起點トシ三百四十米ノ地點ニ於テ十二號路線ニ分岐シ同郡玉村地内二千二百二十米ノ地點ヲ終點トスル延長二千五百六十米ニシテ内橋梁二箇所、延長十九米七、道路延長二千五百四十三米トス

有効幅員七米五、全幅八米五ヲ標準トシ路面構造ハ厚十五糎二層式混凝土鋪裝ニシテ鋪裝幅ハ八號路線六米——七米五 十  
二號路線六米トス

本工事區間ハ丘陵部ニ準ズベキ地域ヲ含ミ標高ハ起點百十九米〇四、終點百七十九米六六ニシテ縱斷勾配ハ最緩〇・二%延長四十米、最急四%延長百四十五米ナリ

關ヶ原町内八號路線ハ大體計畫幅員ヲ有スルヲ以テ勾配ヲ改良スルモノニシテ幅員擴張ヲ要セズ十二號路線分岐點ヨリ六百四十米ハ新路線ニシテ此間現國道ハ屈曲多ク幅員狹隘ニシテ且兩側人家連比スルヲ以テ之ガ物件移轉其他工費ヲ比較對照シ最モ障碍少ナク施行容易ナル新路線ヲ選定セシモノニシテ之ヨリ終點ニ至ル一千五百八十米ハ現國道ヲ擴張スルモノトス  
工事ハ東海道線ト立體交叉スル跨線橋 國道ヲ橫斷スル河川ニ架設スル鐵筋混凝土橋 用排水ノ爲メ鐵筋混凝土溝橋及同管

伏設工 木造掛樋ヲ改築スル鐵筋混凝土管、伏越工、土工及路面工等ヲ主ナルモノトス

## 施工狀況

昭和十五年五月一日關ヶ原町ニ改良事務所ヲ設置シ工事用機械器具其他諸般ノ設備ヲ爲スト共ニ施行ニ支障ナカラシムル爲メ土地所有者ニ對シ起工承諾ノ手續ヲ了シ一方極力調査ヲ進メ物件移轉對抗人員六十二名、全部土地買收對抗人員五十二名ノ内一名ヲ殘シ殆ンド年度内ニ完了セリ

工事施行ニ關シテハ十二號路線擴幅部ハ關ヶ原ヨリ長濱ニ至ル元東海道線ノ廢止跡ニシテ高約七米ニ達スル切土區間アリ法面一帶松樹繁茂セルヲ以テ採伐製材工ヲ起シ一方終點附近ヨリ土工ヲ開始セリ八號路線ハ所要土量僅少ニシテ十二號路線ハ上方部ハ切土多ク下方部ハ全ク盛土ナリ切土區域ハ樹根錯綜シ礫交リ赤土ニシテ地盤甚堅硬ナレバ掘鑿困難セリ

切土總量ハ一萬二千二百十立方米ニシテ六匹軋條○・六立方米積土運車ヲ用ヒ一部人力ニ依レルモ大半ハ牛力運搬ニ依リ全部盛土ニ利用スルヲ得タリ

土工竣功箇所ヨリ順次用排水用鐵筋混凝土管伏設九箇所、溝橋二箇所、附替水路三箇所延長八十米、取付道路二箇所國道ヲ橫斷スル梨ノ木川ニ架スル橋梁及伏越二箇所ヲ施行セリ梨ノ木川橋ハ在來ノ土橋ヲ橋長八米三ノ鐵筋混凝土床版橋ニ改築シ伏越ハ元木造掛樋ナリシヲ伏越樋管ニ改設シ一箇所ハ鐵筋混凝土管一箇所ハ土管混凝土卷トセリ

東海道線跨線ハ當初I型橋ヲ以テ架設スル豫定ナリシモ資材入手不可能ノ爲メ混凝土橋ニ變更セシガ鐵道省トノ協議ハ容易ニ整ハズ漸ク昭和十六年二月一日工事ニ着手スルニ至レリ同橋ハ橋長十一米四、有効幅員七米五、橋間混凝土重力式橋體丁桁橋（耳桁二本、中桁三本）工費二萬一千圓ニシテ年度内ニ橋臺及鐵筋混凝土桁五本ヲ竣功セリ

路面工ハ地下構造物ナキ八號路線延長三百四十米ヲ最初施行シ次デ路盤竣功ニ伴ヒ十二號路線ニ着手セリ鋪裝幅ハ八號路線

中路幅廣キ箇所延長二百二十米、ハ七米五トシ其他全部六米トス断面形狀ハ五十分ノ一雙曲線ニシテ混凝土鋪裝ハ二層式トシ上層ハ厚四種（配合一 二 四）碎石混凝土下層厚十一種（配合一 三 六）混凝土ナリ年度内ニ延長一千二百六十七米七、面積七千九百三十六平方米ニテ施行セリ

本年度竣功高ハ十二萬八千九百九十五圓ニシテ工事竣功表左ノ如シ但シ「X」ハ採取品評價額「△」ハ無償品評價額「○」ハ製作品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道							
工事							
橋							
費							
伐材並製材							
用地							
器具機械							
營繕費							
共濟組合給與金							
雜費							
臨時家族手当							
總計							

## 第六三 國道十二號線（名敦）改良工事 繼續國道改良

本國道改良工事區域ハ國道十二號線中滋賀縣伊香郡鹽津村大字鹽津濱ヨリ福井縣敦賀市津内ニ至ル延長一萬七千九百八十九米ノ區間ニシテ昭和十二年度ヨリ着工セルモノナリ

抑々本路線ハ舊態依然タルモノニシテ未ダ嘗テ改良ヲ施サレタルコトナク幅員狹小ニシテ二米ニ過ギザルアリ屈曲部甚ダ多クシテ其ノ半徑從ツテ小ニ勾配急ニシテ山間部ニハ十二・五%隨所ニ見 鐵道線路トノ平面交叉實ニ七箇所ノ多キニ及ビ橋梁其他構造物ノ腐朽モ甚シク如何ナル觀點ヨリスルモ近代的道路ナリトスルコト能ハザルノミナラズ交通保全上一瞬モ放置スルヲ許サザル状態ニ在リシガ偶々昭和十二年度ヨリ總工費九十萬圓、五箇年度計畫ヲ以テ内務省直轄工事トシテ着工スルニ至レリ而シテ昭和十三年一月第七十三議會ニ於テ事業年度ヲ一箇年度線延べ六箇年度トシタルガ同十六年一月第七十六議會ニ於テ更ニ一箇年度線延べ七箇年度繼續事業トナレリ

### 施工狀況

工事施行ニ關シテハ昭和十二年四月一日敦賀市縣土木出張所内ニ事務所ヲ開設同年十一月同市津内地先木ノ芽川廢川敷地内ニ建設セル事務所ニ移轉セリ尙同月施工區域タル敦賀郡中鄉村地先ニ昭和十三年六月ヨリ昭和十四年三月ニ至ル間用地買收ノ爲メ滋賀縣伊香郡鹽津村地先ニ夫々派出所ヲ設置セリ  
而シテ本年度ニ於テハ工事ノ進捗ニ伴ヒ曩ニ中鄉村地先ニ設置セル派出所ヲ同郡愛發村ニ移轉セル他新ニ滋賀、福井縣境ナル愛發村地先ニ滋賀縣側工事ノ爲メ派出所ヲ設置夫々係員ヲ配屬工事事務ヲ擔當セシメタリ

用地買収ニ關シテハ初年度ニ於テ滋賀、福井ノ縣境ヨリ福井縣敦賀郡中郷村ニ至ル區域ノ買收價額發表ヲ爲シ全部ノ承諾ヲ得、土地買收費二萬一千圓九十一錢、物件移轉其他補償費三千三百二十八圓八十七錢ヲ支拂ヒ昭和十三年度ニ於テハ滋賀縣側土地買收調査ヲ主トシ旁々福井縣側初年度未登記手續キヲ進メ土地買收費九千四百十六圓四十三錢、物件移轉其他補償費一萬八百八十八圓四十錢ヲ支拂ヘリ

昭和十四年度ニ於テハ滋賀縣側全部ノ價額發表ヲ爲シ總テ承諾ヲ得土地買收費二萬二千八百十五圓五十二錢、物件移轉其他補償費一萬一千四百三圓七十九錢ヲ支拂ヘリ

而シテ本年度ニ於テハ土地買收費六千九百九十七圓八錢ヲ支拂ヒ殘額ハ後年度ニ繰越セリ

本工事ハ昭和十二年度土地買收後ニ於テ福井縣敦賀郡中郷村大字小河口ヨリ同村大字鳩原ニ至ル延長一千五百五十米ノ工事ニ着手土工、橋梁、溝橋、擁壁等八工事ヲ施行シ内溝橋四工事ヲ竣功セリ同年度ノ竣功高二萬一千七百七十二圓ナリ

昭和十三年度ハ工事區域ヲ敦賀郡愛發村大字足田迄擴張シ繰越四工事ノ他新ニ六工事ヲ起シ年度内三工事ヲ竣功セシメ七工事ヲ次年度ニ繰越セリ竣功高三萬九千七百九十六圓ナリ

昭和十四年度ハ工事區域其儘ニシ繰越七工事及新ニ六工事ヲ施行シ内九工事ヲ竣功シ測點百七十一號ヨリ二百二十二號ニ至ル延長二千四十米ハ工事ノ完成ヲ見タリ

竣功高ハ四萬二千九百九十三圓ナリ

本年度ニ於テハ福井縣側工事區域ヲ愛發村大字曾々木地先迄擴張シ繰越四工事ノ他新ニ六工事ヲ施行シ内橋梁一、溝橋二、側溝一ノ四工事ヲ竣功シ測點百六十一號ヨリ百七十一號ニ至ル延長四百米ノ工事ハ完成セリ

滋賀縣側ニ於テハ伊香郡鹽津村大字沓掛地先福井縣トノ境ヨリ八百六十米ノ區間ニ土工、路面、管布設、溝橋、側溝、雜工事ノ六工事ヲ起シ内管敷設、溝橋、雜工事ノ三工事ハ竣功シ測點百七十六號ヨリ百八十二號迄延長二百三十米ノ工事ハ完成セリ

而シテ本年度竣功高ハ五萬五千九百三十七圓ニシテ着工以來ノ竣功高ハ十五萬九千六百九十八圓トナレリ以下本年度施行ノ各工種別工事概要ヲ述ブレバ次ノ如シ

土工 本年度施工ノ土工ハ愛發第一 同第二 鹽津第一ノ三工事ニシテ愛發第一土工ハ福井縣側測點百五十號ヨリ百八十號ニ至ル區間橋梁延長二十四米ヲ控除セル延長一千二百九十米ノ路床切取及築造ヲ爲スモノニシテ昭和十三年度着工初年度六割次年度三割ノ竣工歩合ヲ以テ繼續施工シ本年度ハ僅カニ一部分ノ築立及芝付ヲ爲シタルニ止マレリ

愛發第二土工ハ福井縣側測點百十五號ヨリ百五十號ニ至ル區間中橋梁延長三十六米ヲ控除セル延長一千三百四十四米ノ路床切取二萬五千五百立方米、盛土一萬七千九百五十立方米ヲ施工スルモノニシテ切土ノ約七割ハ岩石ノ見込ニシテダイナマイトヲ使用シテ岩石ヲ破碎スルモノトス盛土ハ切土ヲ利用築立ヲ爲シ切土ノ過剩分ハ愛發第一土工盛土ニ利用ノ計畫ナリ本年度着工年度内約二割ノ竣功ナリ

鹽津第一土工ハ滋賀縣側測點百六十號ヨリ百八十二號ニ至ル延長八百六十米ノ區間路床ノ切取六千立方米及盛土一千六百立方米ヲ施工スルモノニシテ軟岩切取ニハダイナマイトヲ使用セリ本年度着工年度内約八割ノ竣功ニシテ殘工事ハ次年度へ繰越セリ

橋梁ハ福井第十二號橋梁一箇所ニシテ敦賀郡愛發村大字疋田地先測點百四十五號及百四十七號間笹ノ川ニ架設スルモノナリ橋長三十六米ニシテ三徑間トシ鐵筋混凝土丁型單桁有効幅員六米ナリ橋臺ハ玉石混凝土重力壁、橋脚ハ鐵筋混凝土柱ナリ本年度着工年度内ニ竣功ヲ見タリ

溝橋ハ福井第五號 同第六號、鹽津第一號、愛發第二管布設、鹽津第一管布設ノ五工事ヲ施行セリ福井第五號溝橋ハ愛發村大字奥野地先測點百四十五號附近疋田川發電所取入水路ヲ新國道橫斷箇所ニ内法巾二米九六、高二米七、長十三米、鐵筋混凝土版溝橋ヲ築造スルモノナリ福井第六號溝橋ハ愛發村大字奥野地先測點百三十七號附近水路内法幅一米八、高一米五、長

七米、鐵筋混凝土函型溝橋ヲ築造スルモノナリ

鹽津第一號溝橋ハ滋賀縣伊香郡鹽津村大字沓掛地先測點百六十二號附近谷川ニ内法上幅一米五、下幅一米二六、高一米二、長七米、鐵筋混凝土床版溝橋ヲ築造スルモノナリ鹽津第一管敷設ハ滋賀縣側鹽津第一土工區域ニ五箇所ノ管敷設ヲ爲スモノニシテ以上四工事共本年度着手孰レモ年度内ニ竣功セリ

愛發第二管敷設ハ福井縣側愛發第二土工區域ニ十五箇所ノ管敷設ヲ爲スモノニシテ本年度着工内五箇所ヲ敷設約四割竣功シ殘工事ハ次年度ニ繰越セリ

擁壁ハ盛土及切土ノ法面土留ノ爲メ雜割石積ヲ爲スモノニシテ愛發第一及愛發第三ノ二工事ヲ施行セリ

愛發第一擁壁ハ昭和十三年度着工以來繼續施行、前年度迄約八割、本年度約一割ノ竣功ニシテ殘工事ハ次年度ニ繰越セリ愛發第三擁壁ハ愛發第二土工區域ノ盛土及切土法面保護ノ爲メ施工スルモノニシテ本年度着工僅カニ準備ヲ爲シタルニ止マレリ側溝ハ地形ニ應ジ道路ノ兩側ニ混凝土排水溝ヲ築造スルモノニシテ愛發第一側溝及鹽津第一側溝ノ二工事ヲ施行セリ而シテ愛發第一側溝ハ昭和十三年度着工前年度迄ニ約六割ヲ竣功本年度殘工事ヲ施行シテ竣功セリ鹽津第一側溝ハ滋賀縣側鹽津第一土工區域内ニ於テ延長九百二十米ヲ施行スルモノニシテ本年度着工約八割ノ竣功ヲ以テ年度ヲ經過セリ

路面ハ福井縣側愛發第一、滋賀縣側鹽津第一ノ二工事ヲ施行セリ愛發第一路面工ハ愛發第一土工區域ノ路面敷砂利ヲ爲スモノニシテ前年度着手約四割本年度約三割ノ竣功ニテ殘工事ハ次年度ニ繰越セリ鹽津第一路面工ハ鹽津第一土工區域ノ路面敷砂利ヲ爲スモノニシテ本年度着工約三割ノ竣功ヲ以テ年度ヲ經過セリ

雜工事ハ鹽津第一雜工事一工事ニシテ附替水路百九十四米及境界杭設置五十三箇所ヲ施行スルモノニシテ本年度着手年度内ニ竣功セリ而シテ本年度本工事勞働者使用延人員ハ一萬四千三百七十四人ナリ

本年度竣功高ハ七萬六千五百六十三圓、昭和十二年度起工以來ノ合計三十萬九千六百五十六圓ニシテ之ヲ總工費九十萬圓ニ

比スレバ三割四分ノ竣功ナレリ其ノ工事ト竣功内譯左ノ如シ但シ「〇」ハ製作品使用額「△」ハ無價材料評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本工事費						
道	1	△〇	1	△〇	2	△〇
橋						
梁	1	△	1	△	2	△
路						
用						
地	2	△	2	△	4	△
機						
械						
器						
具						
營						
繕						
費						
費						
雜						
費						
共濟組合給與金						
臨時家族手當						
總計		1,111,040		727,460		1,838,500
						0.11

## 第六四 國道十二號線(石川)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十三年度ヨリ同十九年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ工費二百七十萬圓ヲ以テ施行ノ豫定ナリシガ政府財政ノ都合ニ依リ工期一箇年度ヲ延長セラレタリ而シテ其ノ施工區域ハ國道十二號線ノ内石川縣江沼郡大聖寺町字今出町ヨリ金澤市七有松町ニ至ル延長四萬三千八百九米ナリトス

### 施工狀況

本工事ハ昭和十三年度ノ創業ニシテ前年度迄ニ手取川以北ノ屈曲特ニ甚シキ能美郡川北村、石川郡石川村、柏野村、一木村、出城村、松任町、旭村地内ノ改築工事ヲ施行シ工費二十二萬四千七百三十六圓ヲ支出セリ

本年度ハ前年度ニ引續キ能美郡川北村、石川郡石川村、出城村、松任町、旭村地内ノ改築工事石川郡及石川村字水島ヨリ同村字源兵衛島ニ至ル既改築部九百七十四米ノ鋪裝工事ヲ施行セリ

本年度ニ於ケル改築竣功延長ハ能美郡川北村字橋ヨリ石川郡石川村字源兵衛島ニ至ル二千二百二十二米及松任町、出城村、旭村地内ニ於ケル八百八十四米ニシテ起工以來ノ累計ハ六千三百三十一米トナル尙本年度著手ノ鋪裝工事ハ竣功セリ其ノ狀況次ノ如シ

道路新設ニ係ル盛土中松任町附近ノモノハ適當ナル土取箇所ナキヲ以テ前年度同様附近民有田地ヲ深サ四米掘鑿採土スルコトトシ出城村字成地内ニ土取場ヲ選定シ人力運搬ニ依リ總量二千三百八十六立方米ヲ運搬セリ又能美郡川北村字橋ヨリ石川郡石川村字源兵衛島ニ至ル間ハ比較的湧水多キ爲メ前記方法ニ依リ難ク手取川河川敷ヨリ採土シ五千四百十五立方米ヲ瓦斯

倫機關車ニ依リ四百七十七立方米ヲ自動車ニテ運搬セリ右ノ外切取利用土二百六六立方米ヲ加ヘ合計八千四百八十四立方米ノ盛土ヲ施行セリ

盛土ハ全線水田ヲ通過スルヲ以テ法先ノ缺壞ヲ防止シ且官民ノ境界ヲ明瞭ナラシムル爲メ礫地形ヲ施セル高平均一米 勾配三分ノ玉石積法留工一千百一十一米(一千九十八平方米) 混凝土法留工百九十五米ヲ施行セリ

排水設備トシテハ地盤高燥ナレバ一定ノ側溝ヲ設ケズ必要ニ應ジ切放側溝ヲ施セドモ石川村宇水島、同村宇源兵衛島地内其他部落沿ヒノ部分ニハ混凝土U型側溝延長五百八十米ヲ施工セル外松任町附近ハ將來市街地トナルコトヲ豫想シ街渠延長一千四百米ヲ施工セリ、溝工トシテハ在來ノ用排水路ヲ斟酌シ礫地形ヲ施セル基礎混凝土上ニ函渠又ハ管渠ヲ設ケ延長三百一十米九(三十五箇所)ヲ施行セリ而シテ是等混凝土ハ總テ手練ニシテ管渠用鐵筋混凝土管ハ前年度中直營製作ヲ行ヘリ

橋梁新設ハ道路ヲ横斷スル用排水路ニ架セシモノニシテ前年度ヨリ繰越セル三橋ノ外新ニ三橋ヲ加ヘ合計六橋(三十九米八)ヲ施工シ内四橋(十六米九六)ヲ竣功セリ其ノ構造ハ鐵筋混凝土床版又ハ單桁橋ニシテ有効幅員七米五乃至九米、橋臺ハ礫地形上ノ重力式玉石混凝土造トシ翼壁ヲ練石積トセリ而シテ混凝土ハ主トシテ機械練トシ砂、砂利、礫、玉石ハ何レモ手取川河川敷ヨリ直營採取シ自動車ニテ運搬セリ

用地買収及物件移轉ハ共ニ大部分前年度ニ於テ終了シ本年度ハ土地買收費百三十五圓ヲ支拂ヒタルニ過ギズ而シテ起工以來ノ協議件數ハ用地二百九十七件、物件移轉百五十一件ニシテ手續未了土地一件ヲ除キ全部ノ支拂ヲ了セリ

本年度ニ於ケル竣功額ハ九萬四千七百七十七圓ニシテ起工以來ノ累計ハ三十萬九千九百三十八圓トナリ之ヲ總工費二百七十萬圓ニ比スレバ約一割一分ノ竣功トナル其ノ工事竣功表左ノ如シ表中臨時家族手當ハ雜費ヨリ流用セリ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費							
道	未竣功		未竣功		未竣功		
橋	三 八	一四、一九四	九 四	四一、三六八	一二 二	五五、五六二	〇・〇
梁	七 六	四六、七六六	二 四	九、三八六	九 〇	五六、一五二	〇・〇
用土地買收費							
地物件移轉其他補償費							
器 具 機 械 費							
營 繕 費							
共濟組合給與金							
雜 費							
臨時家族手當							
總計		二二四、七三三		九四、一七七		三一九、九〇八	〇・四一

## 第六五 國道十三號線(岐阜)改良工事

### 繼續國道改良

本國道改良工事業區域ハ岐阜市加納榮町通二丁目ヨリ同市金町八丁目ニ至ル間ニシテ東海道本線岐阜驛ニテ中斷セル既設十三號路線ヲ地下道ニ依リ連繋セントスル工事ノ内地道取付部二百四米ノ一部工事ヲ施行スルモノナリ

從來國道十三號路線ノ岐阜市加納町ヨリ岐阜市神田町ヲ經テ岐阜縣廳ニ達スル區間ハ一部分幅員四米内外ニシテ屈曲多ク且省線東海道本線及名古屋鐵道名岐線ト平面交叉シ又神田町通りハ幅員十五米ナルモ複線軌道在リテ軌近自動車ノ發達ニ伴ヒ交通上危險甚シク是ガ改良ハ焦眉ノ急ニ迫レリト雖モ現地改良ハ到底實施ノ見込無キヲ以テ昭和六年都市計畫路線岐阜驛下加納線ト都市計畫線金町線ヲ省線東海道線ヲ横斷シテ地下道ニテ取付ケ岐阜縣廳ニ達セシムル路線ニ變更セラレタリ

爾來金町線ハ岐阜市計畫事業ニ依リ幅員三十二米七十二糎ニ改良セラレ又岐阜驛下加納線ハ幅員二十米トシテ其ノ路體ヲ加納町ニ於テ路面鋪裝ハ昭和十一年度(十年年度繰越)國ニ於テ直轄施工セラレタルモ其ノ間省線ニ依リテ中斷セラレ交通不能ニシテ巨額ノ費用ト日時トヲ要シテ施行セラレタル既改良區間モ其ノ使命ヲ充分ニ發揮スル事能ハズ之ガ聯絡ハ焦眉ノ急ニ迫レリ

偶々昭和十四年度政府ニ於テハ事業ノ重大性ニ鑑ミ本工事ヲ撰定シ國費五萬圓ヲ計上シテ地下道取付部ノ一部工事ヲ直轄施工スル事トナリシモノナリ

仍テ昭和十四年四月十六日國道改良事務所ヲ開設シ銳意諸般ノ準備ヲ進メ昭和十四年六月一日加納側延長百六米五十糎區間ノ土工々事ニ着手セリ然ルニ其ノ後政府豫算ノ都合ニ依リ昭和十四年度豫算五萬圓ノ内三萬圓ヲ本年度ニ繰越シタリ而シテ前年度中ハ一割二分ノ竣功歩合ニテ年度ヲ經過シ本年度ニ繼續施工セリ昭和十六年二月十日本年度豫算額三萬圓ノ内五千圓ヲ減額セラレ殘額二萬五千圓ハ年度内ニ費セリ又本工事ハ總額十五萬圓ヲ要シ殘額十萬圓ハ都市計畫事業トシテ同時施工ノ

豫定ナリシモ工事委託ノ手續並ニ起債關係ニ日時ヲ要シ前年度中ニハ着手ノ運ビニ至ラズ本年度ニ至リテ四萬圓ノ負擔ヲ得テ工事ヲ施行セリ而シテ本年度竣功歩合ハ三割四分ナリ

## 施工狀況

工事執行ニ關シテハ昭和十四年四月十六日岐阜市加納榮町通一丁目ニ岐阜國道改良事務所ヲ設置シ工事區間短距離ノ内ニアレバ派出所ヲ設ケズ工事ニ當レリ而シテ昭和十四年度ハ本工事五歩ノ竣功歩合ニテ年度ヲ經過シ其殘工事ハ本年度ニ繰越シ引續キ施行セルモノナリ

用地買收ニ付テハ當初起工承諾ノ手續ヲ了シ工事施行ニ支障ナカラシメ一方極力調査ヲ進メ物件ニ在リテハ前年度中ニ全部ヲ完了シ土地買收ハ區劃整理ニ依リ新規地籍圖及土地臺帳未ダ大藏省ノ認可ヲ得ズ爲メニ之ガ分筆買收ノ手續キ不能ニシテ本年度モ尙未買收ノ儘年度ヲ經過セリ

本年度中施行ノ工事ハ土工、擁壁ノ二工事ニシテ土工々事ハ地下道取付部ノ擁壁及底版工ノ基礎掘鑿及埋戻排水並ニ土留工ヲ施スモノニシテ昭和十四年六月一日加納側延長百六米五十糎區間ノ工事ニ着手掘鑿土量七千五百七十立方米ノ内五千二百八十四立方米ヲ掘鑿シテ本年度ニ繰越シ引續キ施工、年度内一千五百九十七立方米ヲ掘鑿、累計六千八百八十一立方米ニ及ベリ掘鑿ハ人力ニ依レリ掘リ進ムニ從ヒ土留ヲ施シ土留ハ長二米二十五糎ノ木矢板ヲ深淺ニ應ジ一段乃至三段拵ヘトセリ埋戻ハ擁壁ノ完成ニツレ順次進メ土砂ハ良質土ヲ選ビ且層々ニ別テ各層毎充分搗固メ年度内二百二十五立方米ヲ施行セリ擁壁工事ハ加納側延長百六米五十糎區間ノ地下道取付擁壁ヲ施行スルモノニシテ地下道取付ノ有効幅員ハ十二米五十糎トシ其ノ兩側ニ擁壁ヲ設ケ其ノ延長二百十三米ナリ昭和十五年十一月一日着手土工々事ニ依リ既ニ基礎掘鑿セル地盤ヲ敷均シ充分搗固メノ上配合一、三、六混凝土ヲ壁高ニ應ジ厚二十糎乃至五十糎ニ施シ其ノ上ニ擁壁軀體ヲ施セリ擁壁ハ重力式ニシテ

其ノ軀體ハ玉石五、混凝土(配合一、三、六)七ノ配合ノ粗石混凝土ヲ用ヒ壁前面部ニ溫度應力ニ對スル鐵筋ヲ挿入シ其ノ部分二十糎厚ヲ配合一、二、四混凝土トセリ年度内右側三十米二十糎、左側四十四米十糎、合計七十四米三十糎ヲ頂部笠石ヲ殘シ竣功セリ其工事竣功表ハ左ノ如シ但シ「×」ハ岐阜市都市計畫負擔金

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(地下道取付)		五、八六四		一、五七七		六、八八一	〇・七
土地買收及物件移轉		七、八七二		四、八〇三		一五、九二五	
其他補償費		二、九七三		一、一五二		二、九七三	
器具機械費		八九四		三九二		一、〇八九	
營繕費		一〇七		六〇		一六七	
雜費		六、五七七		五、〇九八		一四、〇四一	
共濟組合給與金	×	三三三	×	二八八	×	六〇一	
臨時家族手當	×	一一一	×	二五八	×	三六九	
總計		一八、九三三		九、九七五		二九、九〇八	〇・一四

## 第六六 國道十五號線(京都)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十二年度ヨリ六箇年度繼續事業トシテ總工費百六十萬圓、內京都府負擔五十三萬三千三百三十四圓ヲ以テ國道十五號線中京都府久世郡槇島村市郡界ヨリ同府相樂郡木津町府縣界ニ至ル延長二萬四千百九十三米二間ノ國道改良工事ニシテ昭和十二年度ニ於テ支那事變ノ勃發ニ因リ工期ヲ一箇年度延長セラレ七箇年度ノ繼續事業トナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度ノ創業ニシテ當初起點附近觀月橋ヨリ市郡界間ヲ京都府ニ於テ同年度ニ施行ノ豫定ナリシヲ以テ是ニ接續スル市郡界ヨリ工ヲ起シ槇島村地内ノ路床其他ノ工事ニ着手セル外中間部ニ於テハ青谷村、多賀村、井手町、棚倉村等ノ地先ニ於テ木津川右岸堤天端ヲ本國道ニ供用スル爲メ木津川改修工事ト併行施工スルヲ得策トスルヲ以テ其ノ部分ノ工事ニ着手シ更ニ終點附近木津町大字市坂地内ハ急坂ナル上屈曲特ニ著シキヲ以テ緊急改良ノ必要ヲ認メ此部分ノ各種工事ヲ起工シ爾來工ヲ進メ前年度末ヲ以テ起點ヨリ南下セル工事ハ寺田村地内迄延長施工シ又中間部ニ於テハ多賀村地内ノ大部分ト井手町以北ハ橋梁工ヲ除キ略竣功シ同町大字北松原地内ニ及ベリ終點附近ノ工事ハ昭和十三年末ヲ以テ關西本線以南ヲ竣功ノ上打切レリ以上何レモ鋪裝工事ハ自然輾壓ヲ期シテ之ヲ後年度ニ讓ルコトトセリ

本年度ニ於テハ起點ヨリ起工セルモノハ大久保村地内ニ於ケル路盤工並ニ前年度末殘工事ヲ竣功シ久津川村、寺田村地内ニ於テハ前年度末殘工事ノ半ヲ竣功シ更ニ富野莊村ニ延長施工セリ中間部ニ於テハ前年度ニ引續キ井手町大字北松原地内ヲ施工シ尚井手町、多賀村地内既改良區域ニ路盤工ヲ起シ砂利敷込ヲ施シタリ

本年度用地買收ハ富野莊村地内及青谷村地先ニ於テ一町四段六畝ニ對シ九千七百餘圓ヲ支出シタル外四百餘圓ノ地上物件移

轉補償ヲ爲セリ工事竣功表ハ次ノ如シ但シ「▲」ハ民地捨土提供勞力費「◎」ハ奈良市提供材料勞力費「○」ハ再度使用品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路床	三、一四〇米	110,111	一、七七八米	28,133	四、九一八米	138,244	0.80
壁	三、七九四平米	22,112	三、二二二平米	1,127	七、〇一六平米	23,239	1.00
橋	九箇所	11,200	一箇所	10,000	一〇箇所	21,200	0.84
溝	六、一五三米	13,131	一、八四〇米	8,129	七、九九三米	21,260	0.84
側溝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
工費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
橋梁	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.10
用地	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
機械	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
繕費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
雜費	〇	20,110	〇	110,000	〇	130,110	0.00
共濟組合給與金	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
臨時家族手当	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.00
總計	〇	131,221	〇	138,272	〇	269,493	0.00

## 第六七 國道十五號線(奈良)改良工事 繼續國道改良

京都、奈良、和歌山ノ三市ヲ聯絡セル國道十五號ハ京都府ヨリ奈良市ニ入り奈良坂ヲ經テ省線櫻井線ヲ横過シ奈良平野ノ中央部ヲ南北ニ貫キ途中府縣道ニ依リ大阪市ニ聯絡シ八木町ニ於テ橿原神宮參道ヲ分岐シ今井町、高田町、御所町ヲ通過シ風森峠ヲ越ヘ五條町ヲ經テ和歌山縣ニ入り遠ク和歌山市ニ達スル重要幹線ナルニモ拘ラズ幅員概ネ狹小(二米内外)ニシテ曲折多ク高速度交通機關ノ普及セル現時勢ニ適應セザルノ状態ニ在リシヲ以テ緊急之ガ改良ノ要ヲ認メ昭和七年度ヨリ昭和十年度ニ互リ工費六十八萬七千九百五十圓ヲ費シ奈良縣奈良市三條町省線奈良驛前ヨリ同縣山邊郡二階堂村大字嘉幡ニ經ル延長十料三二ヲ改築シ其ノ内驛前ヨリ同縣添上郡明治村大字北ノ庄ニ至ル延長三料ノ鋪裝工事ヲ執行シ續イテ昭和十一年度ヨリ同十四年度ニ至ル四箇年度繼續事業トシテ豫算八十萬圓(各年度割二十萬圓)ヲ以テ前記區間ノ鋪裝ノ殘部ト二階堂村大字嘉幡ヨリ奈良縣高市郡八木町ニ至ル間ノ改築鋪裝ヲ施行スル計畫ナリシモ昭和十三年度ニ至リ時局ニ因ル豫算及工期繰延ノ關係上豫算年度割ヲ十一年度、十二年度各二十萬圓、十三年度十二萬圓、十四年度十三萬圓、十五年度十五萬圓、計八十八萬圓ト變更施行スルコトトナレリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十一年度以降五箇年度繼續事業ニシテ同年六月事務ヲ開始シ測量ヲ行ヒ幅杭ヲ打チ先ヅ收用事務ノ進捗ヲ圖レリ  
本路線通過地域ハ概ネ大和川水系ノ汎濫區域ナルヲ以テ盛土大ナルニ加ヘ使用土又前記ノ如ク池底土ニシテ過分ニ水分ヲ含ミタル粘土ナルヲ以テ可及的土工ノ完了ヲ急ギ之ガ乾燥ト自然沈定ニ長期間ヲ要スルヲ以テ先ヅ最初ニ路床、溝橋等ノ工事

達成ヲ圖リ然ル後既成部分ヨリ順次鋪裝ヲ行フ方針ノ下ニ工事ヲ進メ昭和十四年度ニハ路床、橋梁等ノ工事竣功シ添上郡明治村ヨリ鋪裝ニ着手セリ

本年度ハ昭和十四年度ニ於テ着手セル明治、二階堂鋪裝工事ヲ竣功セシ外山邊郡二階堂村大字嘉幡ヨリ磯城郡耳成村大字十市ニ至ル六千三百十五米餘ノ鋪裝工事即チ二階堂鋪裝工及二階堂耳成鋪裝工、前者ハ細粒式アスファルト混凝土、後者ハ配合一、二、四混凝土一層式厚十二糎ヲ以テ施工シ昭和十五年十一月之ヲ完成セリ次ニ本年度竣功シタル工事名ハ多及耳成路床工追補、明治二階堂鋪裝工事、二階堂耳成鋪裝工事、二階堂鋪裝工事ナリ  
 本年度工事ニ於テ使用シタル労働者延人員ハ二萬三千六百三十八ナリ  
 尙本年度ニ於ケル竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ「〇」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費 目	前年度迄竣功高		本年度迄竣功高		合 計		竣功歩合
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
路 同 追	立米 一、三三、八〇〇	八〇、七、七、八	立米 一	一	立米 一、三三、八〇〇	八〇、七、七、八	一・〇〇
床 補	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
壁 裝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
橋 溝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
側 溝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
雜 橋	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
橋 工	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
梁 工	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費	機械費	用地費
			○	○		
402,424	—	2,470	1,124 1,124	1,124 1,124	110,100	47,750
			○	○		
1,495,433	2,200	3,300	1,511 1,511	12	5,181	—
			○	○		
4,444,410	1,400	3,114	1,011 1,011	1,124 1,124	3,404,424	4,444,424
1,000						

## 第六八 國道十五號線(奈良)改良工事

### 國道改良

京都、奈良、和歌山ノ三市ヲ聯絡スル國道十五號線ハ京都府ヨリ奈良市ニ入り奈良盆地ノ中央部ヲ南北ニ貫キ八木町ニ於テ橿原神宮參道ヲ分岐シ高田、御所及五條町ヲ經テ遠ク和歌山市ニ達スル重要幹線ニシテ昭和七年度以降昭和十年度迄各單年度事業トシテ奈良市三條町省線奈良驛前ヨリ山邊郡二階堂村大字嘉幡マデ改築シ又昭和十一年度ヨリ昭和十五年度マデ五箇年度繼續事業トシテ二階堂村大字嘉幡ヨリ高市郡八木町マデノ九杆一八餘ノ改築並ニ鋪裝工單年度ニ改築シ、未鋪裝區域タル七杆三二ノ鋪裝ヲ着手シタレド材料、勞力ノ騰貴ニ依リ全線鋪裝スルコト能ハズ其ノ爲メ磯城郡耳成村大字十市ヨリ高市郡八木町ニ至ル二杆八餘(橋梁ヲ除ク)ノ鋪裝工事ノミヲ工費七萬圓ヲ以テ施行スルコトナレリ

本工事ハ曩ニ繼續事業ニシテ路床完成セル部分ノ鋪裝ノミ施行スルモノニシテ中央六米二車線ヲ配合一、二、四ノ一層式混凝土厚十五糎、横斷勾配ハ二・五%双曲線型トス

### 施工狀況

本路線ハ昭和十四年九月路床完成交通ヲ開始シ自然輾壓ニ依リ路盤ノ堅固ヲ圖リタル箇所ノ鋪裝ヲ施工スルモノニシテ昭和十五年五月工事ニ着手シ交通ノ關係上片側ヅツヲ鋪裝シ十一月完成、次ニ各側二米ニ土砂ヲ盛土シ輾壓シテ昭和十六年三月三十一日竣功セリ

次ニ本年度竣功シタル工事ハ耳成鋪裝工事ナリ

本年度工事ニ於テ使用シタル勞働者延人員ハ八千五百七十八ナリ

尙本年度ニ於ケル竣功高ヲ示セバ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩竣功合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(耳成鋪裝工)			1.26,833	57,154	1.26,833	57,154	1.00
機械費				960		960	
營繕費				512		512	
雜費				11,042		11,042	
共濟組合給與金				232		232	
臨時家族手當				40		40	
總計				40,041		40,041	1.00

## 第六九 國道十五號線(奈良)改良工事

## 繼續國道改良

京都、奈良、和歌山ノ三市ヲ聯絡スル國道十五號線ハ京都府ヨリ奈良市ヲ經テ奈良盆地ノ中央部ヲ南北ニ貫キ八木町ニ於テ西折シ橿原神宮參道ヲ左ニ分岐シ關西急行電鐵畝傍線ト平面交叉シテ飛鳥川、曾我川、住吉川、葛城川ヲ橫斷シ省線櫻井線下ヲ過ギ高田町ニ出デテ同町ニ於テ省線和歌山線ト平面交叉シ南折シテ大阪鐵道株式會社々線下ヲ過ギ御所、五條ノ都邑ヲ經テ和歌山縣ニ入り遠ク和歌山市ニ達スル重要幹線ナルヲ以テ昭和七年度以降同十五年度ニ互リ奈良市内ノ一部及奈良市三條町省線奈良驛前ヨリ八木町ニ至ル間ヲ國直轄事業トシテ改良セラレタルモ八木町、高田町間ハ在來ノ狀態ニ在リ即チ前記ノ如ク關急畝傍線又ハ省線和歌山線ト平面交叉ヲ有スルノミナラズ幅員狹隘(四米内外)ニシテ日々繁劇トナル高速度交通機關ノ經濟的運用ニ適セザルノ狀態ニ在リタレバ昭和十五年度ヨリ同十八年度ニ至ル四箇年度繼續事業トシテ改築鋪裝スルコトトナリ豫算七十七萬圓ヲ以テ執行スルコトトナレリ

現在國道沿線ハ人家連擔シ之ヲ改築スルハ著シク不利ナルヲ以テ縣道八木高田線、八木今井線及畝傍都市計畫事業橿原神宮前通線ハ二千六百年祭典ニ備ヘテ改築サレタルヲ以テ之ニ聯絡スル爲メ高市郡八木町地内ニ於テ三百二十米餘ヲ改築シ前記縣道ヲ利用南行シ同郡畝傍町大字四條ニ於テ分岐路西行シ今井町眞菅村、金橋村ヲ經テ高田町ニ入り省線和歌山線ヲ一跨トシ大鐵社線ヲ潜リ在來道路ニ聯絡スルモノトス

有効幅員ハ九米トシ歩車道ノ區別ナク各側ニ五十糎ノ路肩ヲ附シ橫斷勾配ハ二%雙曲線型トス中央六米ヲ厚十五糎配合一、二、四ノ一層式混凝土鋪裝トス最急縱斷勾配ハ高田跨線橋ニ於テ用ヒタル五%ナリ

次ニ八木町地内及橿原神宮參道トノ分岐ニ於テ九米ノ隅切ヲ有シ直角ニ屈折スルモ他ハ三百米ヲ最少屈曲半徑トス  
高取川、曾我川、住吉川、葛城川等ノ橫斷箇所ニ架設スル橋梁ハ總テ鐵筋混凝土丁型桁橋トス

省線和歌山線横斷箇所ニ架設スル跨線橋ハ高速度車道ノミヲ跨線爲サシメ幅員ハ六米トシ緩速道ハ平面交叉トス其構造ハ鐵筋混凝土框構式、跨線部分ハ鋼板桁トス

地上、地下工作物トシテハ高田町ニ於テ公設上水道送水鐵管ガ横斷的ニアルノミニシテ之ハ混凝土管ヲ以テ適宜ニ補強セントス

## 施工狀況

本工事ハ昭和十五年度ヨリ同十八年度ニ至ル四箇年度繼續事業ノ一部ニ屬シ本年度ハ六萬圓ヲ以テ八木町地内ノミ三百二十米餘ヲ改築鋪裝スルコトトシ先ヅ昭和十五年四月事務ヲ開始、用地買收ニカカリ七月工事ヲ始メ盛土ヲ爲シ溝渠、土留擁壁ヲ築造シ充分輾壓後十一月鋪裝ヲ施工シ一般交通ヲ開始シ雜工事等ヲ仕上ゲ昭和十六年三月三十一日之ヲ竣功セリ  
次ニ本年度竣功シタルハ路床工事、擁壁工事、路面工事、溝橋工事、側溝工事、雜工事ニシテ使用シタル勞働者延人員ハ三千七百二十一人ナリ尙本年度ニ於ケル竣功高ヲ表示セバ左ノ如シ但シ表中「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

總計	臨時家族手当	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	機械費	用地費	工事費					費目	
							雜工	側溝	橋	路面	擁壁		路床
												數量	前年度迄竣功高
												金額	前年度迄竣功高
												數量	本年度竣功高
												金額	本年度竣功高
												數量	合計
												金額	合計
												步竣	合計功

## 第七〇 國道十五號線(和歌山)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ工費豫算八萬圓ヲ以テ十五號國道和歌山縣伊都郡山田村大字神野々ヨリ同郡山田村大字野ニ至ル延長九百七十米ヲ改良スルモノナリ然ルニ時局ニ依リ豫算一萬圓ヲ次年度ニ繰延セラレタル爲メ一部工事ヲ翌年度ニ繰越シ施行スルノ已ムナキニ至レリ

本年度施行豫定區域ニ於ケル道路ノ現況ハ高野口町東部ニ於テ左折シ山麓ニ沿ヒ橋本町ニ通ズル幹線ナルモ最大幅員三米ニシテ屈曲甚シク急勾配ノ坂路點在シ省線和歌山線ト平面交叉ノ箇所アリ大型貨物自動車ノ運轉ハ殆ド不能ノ狀態ニシテ地方産業ノ發達ヲ阻害スルノミナラス交通上危險甚シク其ノ改修ハ焦眉ノ急ナリトス

之ガ改良ニ當リテハ省線トノ交叉ヲ回避シ橋本町ニ至ルニハ依然トシテ鐵道線路ノ南側ニ沿ヒ岸上村部落ヲ貫通セザルベカラズ岸上村部落ノ紀ノ川寄ハ又人家密集シ殊ニ二十餘米ノ懸崖ニシテ工事施行上不利ナルニ依リ十四年度工事終點ニ引續キ岸上部落ヲ經テ山田村大字野地内鐵道線路用地ヲ利用シテ之ニ沿ヒ橋本町ニ結ブガ道路線形上有利ナルモノト認メシニ依ル其ノ計畫ノ概要ハ延長九百七十米、有効幅員七米五、路面ハ砂利敷トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ排水設備トシテハ必要ノ箇所ニ側溝ヲ設ケ最急縱斷勾配ハ四%トシ最少屈曲半徑二百八十米ナリ

### 施工狀況

本年度工事區間ハ一般地形高低甚シク岸上村地内ハ國民學校御眞影奉安殿其ノ他家屋密集ノ關係上國有鐵道和歌山線ニ並行シタルモ尙四十五戸ノ家屋移轉ヲ要セリ

本工事ハ六月一日之ガ施工ニ着手シ前年度起業終點石田川附近ニ於テ直高約八米ノ盛土ト高サ一米五ノ切土等ヲ爲スモノナ

ルモ前年度線越石田川暗渠工事施工中ナリシ爲メ一時路線ノ聯絡中斷セラレ止ムヲ得ズ人力ニテ切土土砂運搬盛土築立シ工事ノ進捗ヲ圖リ十月下旬ニ至リ該暗渠本體混凝土施工完了後六、四瓊瓦斯倫機關車ヲ以テ紀ノ川右岸高野口町大字名倉地先寄洲ヨリ土砂七千三百二十八立米ヲ採取運搬盛土ニ供セリ

路面排水ノ爲メ道路兩側ニ第一種、第二種ノ側溝ヲ設ケ排水ヲ速カナラシメ起點右側法先ニ第一種擁壁ヲ築造セリ在來用排水路ノ道路横斷箇所ハ鐵筋混凝土管ヲ以テ接續ス

而シテ運搬土砂駒止其ノ他ノ關係上當初設計ヲ變更シ銳意工事ノ進捗ヲ計リ法面ニハ一部玉石張トシ其ノ他筋芝ヲ施シ法面ノ崩壞ヲ防グ路面ハ各種工事ノ完成ヲ俟チテ牽馬ニ依リ輾壓シ厚三糎ノ敷砂利ヲ敷均シ更ニ輾壓ヲ加ヘ厚三糎ノ砂利ヲ撒布ス雜工事トシテ町村道及耕作道ハ切土及盛土シ交通ニ便ナル様取付ケタリ然レ共時局ニ由リ工費一萬圓線越ノ止ムナキニ至リ之ガ工事及用地費ノ一部ヲ翌年度ニ線越スニ至レリ

本年度ニ於テ使用セシ勞働者延人員八千四百五十一人ニシテ之ニ要セシ勞力費一萬八千四十一圓ナリ  
次ニ工事竣功表ハ左ノ如シ

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	機械費	用地費	費事工本			費目
						雜溝	側溝	工路	
									前年度迄
									竣工高
									本年度
									竣工高
									合
									計
									步竣
									合功

## 第七一 國道十五號線(和歌山)改良工事

## 繰越國道改良

本工事ハ昭和十四年度事業トシテ工費豫算七萬圓ヲ以テ十五號國道和歌山縣伊都郡應其村大字名古曾ヨリ同郡山田村大字神野々ニ至ル延長一千六百米ヲ改良施工中ノ處時局ニ依リ工費豫算一萬圓ヲ本年度ニ繰延ベラレタル爲メ十五年度ニ於テ之ガ殘工事ヲ繼續施工スルコトナレリ

本區域ニ於ケル道路ノ現況ハ高野口町東部ニ於テ左折シ省線和歌山線ヲ横斷シテ山麓ニ沿ヒ橋本町ニ通ズル幹線ナルモ最大幅員三米ニシテ屈曲甚シク急勾配ノ坂路アリ大型貨物自動車ノ運轉ハ殆ンド不能ノ状態ニシテ地方産業ノ發達ヲ阻害シ其ノ改修ハ焦眉ノ急ナリトス

之レガ改良ニ當リテハ省線トノ交叉ヲ回避シ橋本町ニ至ルニハ紀ノ川ニ阻マレルガ爲メ十三年度ニ施行セル中心線ヲ直線ニ延長シ山田村大字神野々ヲ經テ橋本町ニ結ブガ道路線形上且經濟上有利ナルニ付本線ヲ執レルモノナリ

其ノ設計概要ハ延長一千六百米、有効幅員七米五ニシテ路面ハ砂利敷トシ歩車道ノ區別ヲ設ケズ排水設備トシテハ必要ノ箇所ニ側溝ヲ設ケ最急縱斷勾配ハ二・八%其ノ延長百四十米ノ直線ナリ

## 施工狀況

本工事ハ十四年度起業工事ノ一部區繰越トス伊都郡山田村大字神野々地内石田川ニ新設スル暗渠ニシテ四月一日之ニ着手シタル共五月下旬ヨリ近年稀ニ見ル降雨出水等再度ニシテ工事功程意ノ如クナラズ七月ニ入リテ次第ニ天候恢復ヲ待チテ銳意之ガ進捗ヲ計リタリ先ヅ基礎ハ末口十五糎、長二米七ノ松丸太ヲ九十糎間隔二列ニ打込ミ栗石ヲ敷均シ約一米二苑間切シ丙種混凝土ヲ以テ順次施工セリ

川敷ニハ裏込混凝土ヲ以テ玉石張、床固、耕作道及灌漑水路等ヲ設ケ兩翼ニハ玉石積袖石垣ヲ施工セリ  
 本年度ニ於テ使用セシ勞働者延人員二千三百七十八人、此勞力費五千十七圓餘ニシテ前年度ヨリノ累計延人員一萬四千七百  
 五十人、勞力費二萬八千四圓ナリ  
 次ニ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ表中「〇」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路床	立米 一八、六四〇	一三、一五〇	立米		立米 一八、六四〇	一三、一五〇	1.00
擁壁	平米 六四四	一、六九九	平米		平米 六四四	一、六九九	1.00
路面	箇所 三六	六、二九九	箇所	二、六九二	箇所 三六	一七、九九〇	1.00
溝渠	米 一九四九	四、九九八	米		米 一九四九	四、九九八	1.00
側溝							
工事費							
用地							
機械							
營業繕							
雜費							
共濟組合給與金							
總計		五九、一八〇		二二、四三二		八一、六一二	1.00

## 第七二 國道十六號線（和歌山）改良工事

## 繼續國道改良

本線ハ大阪和歌山間ヲ連繫スル國道ニシテ昭和十二年度起業七箇年度繼續事業トシテ大阪府泉南郡田尻村ヨリ和歌山市寄合町ニ至ル間ヲ總工費二百四十六萬八千圓（内國道改良費百九十九萬圓）都市計畫負擔四十七萬八千圓（ヲ含ム）ヲ以テ總延長二萬七千九百九十四米（内和歌山都市計畫區域八百二十米）ヲ改良スルモノナリ而シテ和歌山國道改良工事ハ縣界和歌山縣海草郡貴志村ヨリ和歌山市寄合町間ヲ昭和十四年度起工シ五箇年度繼續事業トシテ總工費七十三萬四千八百十六圓（内國道改良費二十五萬六千八百十六圓）都市計畫負擔四十七萬八千圓（ヲ含ム）ヲ以テ施行スルモノナリ

## 施工狀況

本國道改良ニ當リ最モ急ヲ要スル北島橋ト市街地聯絡路ノ省線及南海線踏切ヲ除却スルヲ適當ト認メ昭和十四年度ニ於テ高架橋及擁壁工事ヲ着手セリ專ラ該工事施行ノ豫定ナリシモ事變下物資統制ノ影響ヲ受ケ主要材ノ鐵筋年度内入手困難トナリ依テ擁壁及高架橋ノ下部工事基礎杭打ヲ施行セリ工事費ノ一部ヲ用地費ニ振り向ケ十四年度ニ於テ用地買收ヲ年度計畫以上ニ買收シ市内宇治一筋目ヨリ元博勞町ニ至ル間ヲ略買收セリ

本十五年度ニ於テハ國費及都市計畫負擔費ヲ合セ二十八萬四千餘圓ヲ以テ漸次鐵筋ノ入手ヲ得テ前年度着手セル擁壁工事及高架橋工事ヲ銳意工事ノ進捗ヲ計リタリ

右工事ノ工程ヲ舉グレバ高架橋取付第一擁壁工事延長百十五米八重力式混凝土擁壁ニシテ本年度ヲ以テ竣功セリ同取付第二擁壁工事延長百八十五米同構造ニシテ本年度着手シ五〇%ノ竣功ヲ見タリ宇治高架橋ハ杭打基礎三脚式三徑間連續ラメン橋十六徑間ニシテ兩終端重力式混凝土橋臺ヲ築造スルモノニシテ橋臺二基ハ土留壁ヲ除キ竣功シ橋脚十四基中十基ヲ竣功シ他

ノ四基ハ基礎混凝土ヲ打チ工事ノ都合上未竣功ナリ橋體ハ三徑間連續ヲ二連完成スルヲ得タリ  
 用地買収ニ於テハ前年度未發表ノ殘部ヲ協議發表シ物件共ニ其金額約十九萬一千圓ニシテ全額十四萬六千九百餘圓ヲ支拂ス  
 ルヲ得タリ

本年度使役勞働者延人員八千九百六十三人、此勞力費二萬五千八圓ナリ而シテ前年度ヨリノ累計延人員一萬一千九百七十四  
 人、勞力費三萬五百三十六圓ヲ支拂ヘリ次ニ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ表中「○」ハ都市計畫負擔費「○」ハ無代價品評  
 價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工費							
擁壁	13.9	4,041.1	4.8	2,244.8	18.7	6,285.9	0.1%
橋梁	○	2,728.8	○	4,317.96	○	7,046.76	0.0%
用地	○	96,798.8	○	127,548.8	○	224,347.6	
機械	○	2,451.1	○	674.8	○	3,125.9	
營業繕費	○	410.1	○	635.5	○	1,045.6	
雜費	○	2,880.3	○	8,177.8	○	11,058.1	
共濟組合給與金		187.8		810.0		997.8	
臨時家族手当				228.8		228.8	
總計	1	108,880.3	1	181,940.1	2	290,820.4	0.1%

### 第七三 國道十六號線(大阪、和歌山)改良工事

#### 繼續國道改良

本工事ハ大阪府泉南郡田尻村ヨリ和歌山縣和歌山市ニ至ル區間全長二萬七千九百九十四米ヲ總工費二百四十六萬八千圓(內四十七萬八千圓ハ都市計畫負擔額)ヲ以テ昭和十三年度ヨリ同十八年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ施行ノ處財政緊縮ノ爲メ昭和十四年二月工期ヲ一箇年度延長セラレタリ而シテ工事ノ關係上大阪府管内ニ屬スル延長二萬一千八百八十四米、此工費百七十三萬三千八百八十四圓ヲ以テ大阪國道改良事務所ニ於テ、和歌山縣管内ニ屬スル延長六千十米、此工費七十三萬四千八百十六圓(內都市計畫負擔額四十七萬八千圓)ヲ以テ和歌山國道改良事務所ニ於テ夫々施行スルモノトス

### 施工狀況

前年度ニ引續キ泉南郡西信達村ヨリ樽井町ニ至ル延長二千二百七十米ノ路床工事ニ伴フ側溝ノ一部並ニ樽井町ヨリ雄信達村大字男里ニ至ル一千八十二米七八及本年度着工區域東鳥取村ヨリ下莊村大字貝掛ニ至ル三千二百八十一米ノ內土取場其他ノ關係上其ノ中間部ヲ除キ前後延長一千六百三十三米ノ區間ヲ工費十萬五千圓ヲ以テ施工、尙西信達村大字北野地内四百九十六米四五ノ内殘工事三百四十一米四五ハ是亦土取場ノ關係上後年度施工ノコトトシ百四十六米ノ路床工事ト之ニ伴フ溝橋、側溝、擁壁工事等ノ竣功ヲ見タリ而シテ其ノ施工概要左ノ如シ

西信達樽井側溝工事ハ泉南郡西信達村、鳴瀧村、樽井町地内ニ於ケル延長二千二百七十米ノ路床兩側ノ必要ナル箇所ニ總延長一千八百四十七米ノ側溝ヲ設ケントスルモノニシテ本年度ニ於テハ殘工事二百八十九米ヲ竣功セシメタリ

雄信達道路工事ハ泉南郡樽井町ヨリ雄信達村大字男里ニ至ル延長一千八十三米七八ノ道路工事ニシテ前年度ニ引續キ本年度ニ於テハ路床工七千三百三十五立方米、擁壁工三百十八米、溝橋工二箇所、管渠工十四箇所、側溝五百一米ヲ竣功セシメ本工

事ノ約九八%ノ竣功ヲ見タリ

尾崎道路工事ハ泉南郡東鳥取村ヨリ下莊村大字貝掛ニ至ル延長三千二百八十一米ノ道路工事ニシテ本年度ニ於テハ路床工一萬三千四十八立方米、擁壁工六百三十九米、溝橋一箇所、管渠四十六箇所、側溝五十米ヲ竣功セシメ本工事ノ約一五%ノ竣功ヲ見ルニ至レリ

以上記述ノ通りニシテ本年度内竣功額ハ十萬二千三百八十四圓ナリ然シテ其ノ内譯左表ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
土工	盛切取土 立米 二、一〇〇〇	二、七二一	盛切取土 立米 一、七、五八三	一、八二八	盛切取土 立米 三、八、五八三	四、五四九	〇・二一
壁工	三、六五四米	七、五四九	九、五七米	二、九七	四、六二二米	一〇、五二一	〇・二四
橋工	箇所 六	二、五五九	箇所 六	三、三三〇	箇所 一二	五、八八九	〇・一四
溝工	一、八五米	八、一〇七	八、四〇米	三、四四〇	二、二九米	一一、五四〇	〇・一〇
地籍	田畑地 四一段	一、八二二	田畑地 三一段	八二	田畑地 四一段	二、六四四	〇・〇〇
器械	費	一、九三三	費	一、九三三	費	三、八六六	〇・〇〇
營業	費	六、四八九	費	三、六三九	費	一〇、一二八	〇・〇〇
雜費	費	三、〇八六	費	一、六三三	費	四、七一九	〇・〇〇

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
共濟組合給與金		1,000 <small>円</small>		50 <small>円</small>		1,050 <small>円</small>	
臨時家族手當				30 <small>円</small>		30 <small>円</small>	
總計		1,000 <small>円</small>		80 <small>円</small>		1,080 <small>円</small>	4.14 <small>%</small>

## 第七四 國道十八號線(阪鶴)鋪裝工事 國道改良

本年度施行工事ハ昭和八、九兩年度ニ改良セル國道十八號線ヲ鋪裝スルモノニシテ昭和十五年九月事業費十二萬二千圓ヲ以テ着工セリ然ルニ其ノ後滑止特殊工法、側溝繼足工事ノ採用其ノ他ノ理由ニ由リ計畫ヲ變更シ事業費十三萬二千圓ヲ以テ施行セリ

而シテ其ノ區域ハ京都府船井郡園部町大字木崎ヨリ同郡竹野村大字新水戸ニ至ル延長四千六百三十四米ノ内四千三百八十八米(隧道延長二百四十六米ヲ除ク)ニシテ昭和十六年三月三十一日ヲ以テ之ガ全部ノ竣功ヲ見タリ

工事施行地ハ京都府船井郡園部町大字木崎ヨリ同郡竹野村大字新水戸ニ至ル延長四千六百三十四米ノ内隧道延長二百四十六米ヲ除キタル四千三百八十八米ニシテ其幅員七米五(内鋪裝幅員六米)ナリ而シテ鋪裝箇所ハ山地部ニシテ最急勾配二十分ノ一、最小屈曲半徑五米ナリトス

國道十八號線中船井郡園部町大字木崎ヨリ同郡竹野村大字新水戸ニ至ル間ハ觀音峠ノ離所ナリシ所昭和八、九兩年度國直轄ニテ之ガ改良ヲ施行セラレ全區間概ネ二十分ノ一ノ勾配ト有効幅員七米五ヲ有スルニ至リ殊ニ峠ニハ延長二百四十六米ノ隧道開鑿セラレ交通一段ト至便ニナレリ然ルニ近時高速度交通ノ發達ニ伴ヒ從來ノ砂利道ニテハ維持困難トナリタル爲メ昭和十五年度ニ於テ之ガ鋪裝ヲ施工スル事トナレリ即チ本年度施行工事ハ混凝土鋪裝ニシテ有効幅員七米五ノ内中央幅六米ヲ施工スルモノナリ而シテ直線部ニ於テハ橫斷勾配五十分ノ一、雙曲線トシ混凝土厚ハ中央ニ於テ十五糎、兩端ニ於テ二十糎トシ兩端ヨリ一米二ノ箇所ニ於テ十五糎ニ取付クルモノトス尙勾配二十分ノ一ナル區域ニハ鋪裝滑止トシテ混凝土表面ノ一部ニ碎石ヲ植込ミモルタルヲ注入セリ又路面橫斷勾配ノ變化ニ依リ在來側溝ノ繼足ヲ要スル箇所ニハ之ガ施行ヲ計畫セリ其ノ他設計細部ニ關シテハ道路構造令ニ準據セリ

## 施工狀況

本工事區間ハ概ネ山間部ニシテ附近ニ砂及砂利ノ採取地ナク工事ノ難關ハ一ニ係ツテ骨材ノ峠運搬ニ在リ依ツテ遠ク川邊村船岡地先大堰川ヨリ六籽乃至十籽ヲ自動車運搬ノ直營採取ヲ實施セリ然ルニ時局ノ影響ヲ受ケ揮發油ハ統制サレ次デ切符制ヲ採用セラレテ愈々運轉燃料ノ不足ニ逢着シ遂ニ峠ニ於テ火藥爆破ヲ以テ石材ヲ得碎石機ヲ使用シテ碎石 千立方米ヲ製作シ滑止メ用植込ミ並ニ砂利ノ不足ヲ充當スルノ止ムナキニ至リタルモ總量實ニ六千四百六十一立方米ノ採集運搬ヲ完成セリ横斷勾配ノ變化ニ伴ヒ自然在來側溝ニ繼足ヲ要スル箇所ヲ生ジ之ガ總延長三千百七十米ヲ施行セリ

本工事ニ使用セシ器具機械中主ナルモノハ混凝土混和機七切練二臺 同四切練二臺 碎石機一臺 貨物自動車六臺等ナリ

本年度工事ニ使役シタル人員總數二萬一千九百二十四人 日數二百五十二日ニシテ一日平均八十七人ナリ

工事ハ昭和十六年三月三十一日ヲ以テ之ガ全部ノ竣功ヲ見タリ而シテ其ノ竣功表ハ左ノ如シ

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	機械費	工本			費目
						砂利採取	側溝	鋪裝	
									前年度迄竣功高
									數量
									金額
									本年度竣功高
							五、五三三 立米	三、九〇三 米	數量
								二七、二九四 平米	金額
一、〇〇〇、〇〇〇	三九九	三三三	一、九六二	一、三三三	六、四〇〇	二九、二二四		七六、七九二	合計
									數量
									金額
									合計
									步竣功高
一・〇〇						一・〇〇		一・〇〇	歩分

## 第七五 國道十八號線(鳥取)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良事業ニシテ工費三十二萬圓(内十六萬圓ハ鳥取都市計畫負擔)外ニ前年度繰越鳥取都市計畫負擔六萬二千六百六十六圓四十二錢)ヲ以テ鳥取市立川町ヨリ同市吉方町ニ至ル十八號國道九百二十米ヲ改良スルモノナリ

國道十八號線ハ所謂山陰街道ニシテ兵庫縣ヨリ蒲生峠ヲ越ヘ鳥取縣ニ入り岩井町ヲ經テ榎峠ヲ越ヘ鳥取市ニ入り千代川小支天神川立川大橋ニ至リ第四十聯隊道路タル府縣道宇倍野鳥取線ヲ分岐シ立川橋ヲ過ギ舊袋川ヲ橫斷吉方町ニ於テ二十號國道ヲ合シ若櫻街道ニ於テ之ヲ分岐シ瓦町行徳ヲ過ギ千代川ヲ橫斷湖山池南岸ヲ西走スルモノニシテ市内立川大橋ヨリ千代川ニ至ル間ハ人家櫛比シ幅員概ネ狹隘ニシテ自動車ノ行違ヒスラ困難ナル状態ニ在リタルヲ以テ昭和十二年度乃十三年度ニ於テ鳥取市ヨリ一部改良シタルモノニ引續キ昭和十四年度ニ於テ國直轄事業トシテ十八號、二十號、併用區間タル吉方町、東品治町間ノ改良ヲ爲シ更ニ十五年度ニ於テ立川町ニ至ル間ヲ改良セントスルモノナリ

而シテ本線ハ既ニ決定サレタル鳥取都市計畫路線二等大路第三類一號(末廣、卯垣)線ヲ大略採用セルモノニシテ改良延長九百二十米内橋梁十八米ニシテ道路有効幅員十五米、歩車道ヲ區別シ車道幅員十米、歩道各側二米五トス其ノ橫斷勾配ハ車道五十分ノ一、雙曲線形、歩道五十分ノ一直線勾配ニシテ車道ハ厚十五糎ノ一層式混凝土鋪裝ヲ施シ歩道ハ厚六糎ノ混凝土平板鋪裝ヲ爲ス路面排水ハ街渠及雨水樹ニ依リ又沿道民家ヨリノ排水ハ路側ニ設置セル汚水樹ニ依リ共ニ歩道下ヲ埋設セル排水管ニ導入シ附近水路ニ放流ス

最急縱斷勾配ハ五十分ノ一ニシテ最小屈曲半徑ハ三百米トス尙起點附近ニ屈曲箇所アリ

橋梁ハ一箇所ニシテ支間九・一米、二連幅員十五米ノ鐵筋混凝土丁型桁橋トシ橋臺橋脚共杭打基礎ヲ有スル鐵筋混凝土構造

トス

本工事區域ニ於テ地下埋設物ハ鳥取市上水道送水鐵管及鳥取市瓦斯株式會社瓦斯管等アルモ共ニ歩道下ニ埋設シ架空電線路ハ歩道境界石歩道側ニ整理セントス

## 施工狀況

本工事ニ於テハ用地及物件移轉ハ鳥取都市計畫區劃整理事業トシテ鳥取市ニ於テ調達スルコトナリタルヲ以テ先ヅ實施測量ヲ行ヒ幅杭ヲ打チ工所用諸材料ノ蒐集ニ意ヲ用フルト共ニ用地事務ノ進捗方ヲ督勵シタリ然ルニ家屋移轉用資材ノ入手圓滑ヲ缺キタル爲メ用地及物件移轉著シク遲延シ漸クニシテ九月下旬ニ至リ一部着工ノ域ニ達シタルヲ以テ先ヅ路床工事ニ着手續イテ排水工、溝橋工、路面工等ヲ施行シ家屋移轉ノ進捗ニ伴ヒ工事區域ヲ擴大セリ橋梁工事ハ最初二徑間ノ單桁橋ヲ架設スル計畫ナリシモ鐵筋ノ關係上橋型ヲ鉸脚二連剛構橋ニ變更シ其工ヲ進メタリ

爾來銳意功程ノ進捗ニ努メタルモ用地關係ト鐵筋入手ノ遲延ノ爲ニ年度内ニ完成ノ域ニ達セズ三萬圓ニ相當スル工事ノミハ翌年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ表中「□」ハ鳥取都市計畫事業費負擔額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器械費	用地費	費事工本				費目	
							橋梁	溝橋	排水	路面		擁壁
												前年度迄竣功高
												數量
												金額
												本年度竣功高
												數量
												金額
												合計
												數量
												金額
												步竣合功
												別分

第七六六 國道十八號線(鳥取)改良工事

第七六 國道<sup>十八</sup>十九號線(島根)改良工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年豫算十六萬四千圓(内二萬五千圓翌年度繰延)及松江市都市計畫區域内工事費地元負擔六萬六千圓(二分ノ一相當額)總額二十三萬圓ヲ以テ先年改良セラレタル國道十八號及十九號ノ一部ヲ鋪裝セントスルモノナリ

國道十八號線ハ山陰地方ヲ縱貫シ山陰地方ト京阪神地方トヲ聯絡スル重要幹線道路ニシテ之ニ屬スル本區間ハ山陰地方ニ於ケル二大都市 松江 米子兩市ヲ聯絡スル樞要幹線ノ一部ニシテ昭和十二年度 十三年度ニ於テ改良工事施行セラレタリ又十九號線ハ岡山市ヲ起點トシ米子市ニテ十八號線ト合シ松江市雜賀町ヨリ十八號線ト分岐シ松江市殿町ニテ終リ山陽ト山陰米子市松江市地方ノ重要ナル聯絡道路タリ

而シテ本區間モ先年改良工事施工セラレタレドモ近時重工業ト軍需工業ノ發展ノ爲メ急激ニ交通量増大シ路面ノ荒廢甚シク車輛ノ損傷並ニ人命ノ保安上捨置キ難キヲ以テ其ノ鋪裝ノ必要急ナルニ依リ施行セントスルモノナリ

施工狀況

昭和十五年五月一日松江市東津田町地内ニ民地二畝十八歩ヲ借上ゲ同所ニ見張小屋及物置小屋各一棟ヲ移築並ニ物置小屋一棟ヲ新築之ニ津田見張所ヲ設置シ同日ヨリ鋪裝工事ヲ開始セリ尙松江市東朝日町ニ倉庫一棟ヲ新築シ専ラセメントノ搬入並ニ配置ヲ計レリ

本年度ニ於テ鋪裝面積三萬一千四百五十平方米、金額十萬八千五百八十五圓ヲ竣功セリ

工事施行ニ伴ヒ六月一日島根縣八束郡岩坂村地内ニ民地二畝四歩ヲ借上ゲ此所ニ採石場ヲ設ケ混凝土鋪裝工事ニ必要ナル碎石ヲ所出シ此量三千六百七十一立方米、金額九千四百七十五圓ヲ竣功セリ又六月二十五日松江市東朝日町島根國道改良事務所

附近ニ碎石工ヲ起シ同ジク混凝土鋪裝工事ニ使用スベキ碎石ヲ生産シ數量一千百五十九立方米、金額四千八百二十五圓ヲ竣功シ同功程ノ六割三分ヲ竣功セシメタリ其ノ竣功表左ノ如シ但シ「□」ハ都市計畫地元負擔金「×」ハ生産品價額「○」ハ無代價品評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工事費(鋪裝)			○×□	九六、八九〇圓	三、〇九四	九六、八九〇圓	〇・五〇
器械費			○	三、四〇〇	〇	三、四〇〇	
管繕費			○	三、四〇〇	〇	三、四〇〇	
雜費				九、六〇〇		九、六〇〇	
共濟組合給與金				四〇、一〇〇		四〇、一〇〇	
臨時家族手當				三、八〇〇		三、八〇〇	
總計			□	一五八、八九〇	三、一八八	一六二、〇七八	〇・九〇

## 第七七 國道二十三號線(香川)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十四年度ヨリ同十九年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ總工費百七十九萬六千圓(内都市計畫事業費負擔二十九萬六千圓)ヲ以テ國道二十三號路線ノ内香川縣高松市西濱新町ヨリ同縣丸龜市地方南條町ニ至ル延長二萬五千七百三十米ノ區間ニ於ケル道路ノ改良ヲ爲スモノナリ

## 施工狀況

本年度ニ於ケル本工事豫算ハ當初十萬圓ナリシモ政府財政ノ都合上一萬五千圓ノ繰延トナリタルニ付八萬五千圓ヲ以テ前年度着工區間宇多津町字宇夫階ヨリ字新開ニ至ル延長六百六十米並ニ字新開ヨリ字岩屋ニ至ル延長八百六十四米八五、合計延長一千五百二十四米八五ノ改築工事ヲ施行セリ本區間ニ於ケル道路延長一千四百五十一米八五、橋梁延長七十三米(二橋ノ内一橋ハ未着手)ニシテ其ノ施工狀況次ノ如シ

路床工ノ土砂ハ前年度同様宇多津町地内ニ於テ採取シ大東川ニハ運搬線路用專用橋ヲ架設九疋軌條ヲ敷設、零立方米六積土運搬車ヲ以テ馬力運搬五噸瓦斯倫機關車運搬ヲ併用シ尙一部ハ大東川床ヨリ前記軌條並ニ土運車ヲ使用急勾配區間ハ捲揚機ニ依リ土砂ノ運搬ヲ爲シ以テ路床ヲ形成セリ盛土法先ハ水田中ノ盛土ナルニ付法先ノ缺壞ヲ防止シ且官民地境界ヲ明瞭ナラシムル爲メ高五十糎、表二分勾配ノ鍬止混凝土擁壁ヲ施行セリ

混凝土擁壁並側溝ハ床掘後充分搗固メ正確ニ型枠ヲ組立テタル上混凝土ヲ施シタリ  
溝橋トシテハ在來ノ用排水路ヲ斟酌シ暗渠並ニ排水管ヲ施行セリ

大東川橋梁ハ前年度ニ引續キ橋臺 橋脚ノ床掘ニ着手即チ古板 土俵等ニテ締切工ヲ施シテ川床以上ノ滿潮時ニ於ケル浸水ニ備ヘ川床以下ハ松製矢板ニ依ル箱枠ヲ組ミ口徑六吋唧筒及口徑三吋唧筒ニテ排水ヲ行ヒツツ人力掘鑿ヲ爲シ之ガ深度ノ進捗ト併行シテ箱枠ヲ打下ゲツツ既定ノ深サニ床掘ヲ爲シタル後 地杭(末口十八糎 長五米五)ヲ打込ミ基礎栗石ヲ敷均シ鐵筋組立ノ各作業ヲ經テ十四切練混合機ヲ用ヒ夫々軀體混凝土ヲ施行セシモノニシテ本年度ニ於テハ橋臺一基 橋脚 零・八基ヲ竣功セリ

以ヒ本年度ニ於ケル竣功高ハ七萬九千四百六十八圓ニシテ其ノ竣功表左記ノ如シ但シ表中「〇」ハ古材ノ遣拂評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路床	立米 八、七三三	〇	〇	一、九八五	〇	八、七三三	〇・〇〇
擁壁	二七米	〇	〇	二、六三三	〇	二、六三三	〇・〇〇
橋溝	箇所 二	〇	〇	七、三三三	〇	七、三三三	〇・〇〇
側溝	七五米	〇	〇	一、三三三	〇	一、三三三	〇・〇〇
雜費	〇	〇	〇	一、三三三	〇	一、三三三	〇・〇〇
橋梁	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇・〇〇
用地	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇・〇〇
機械	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇・〇〇
器具	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇・〇〇
費目	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇	一、〇一三	〇・〇〇
合計		一、〇一三		一、〇一三		一、〇一三	〇・〇〇

第六章 國道改良工事 (國道二十三號線(香川)改良工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費
0.10				
121,420	436	1,100	12,211	111,673
2,926,222	436	5,835	12,111	2,944,604
9,255		528	1,000	1,361

## 第七八 國道二十四號線(西條)改良工事

### 國道改良

本工事ハ昭和十五年度國道改良工事トシテ工費十萬圓ヲ以テ愛媛縣新居郡神戸村大字安知生ヨリ同郡橋村大字西田ニ至ル延長一千四百二十五米間ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

本路線ハ高松 松山兩都市ヲ連結スル唯一ノ主要幹線ナルモ改良區間ノ現道ハ山麓ヲ通過シ幅員三米内外ニ過ギズ勾配急ニシテ迂餘曲折シ然モ此ノ間ニ人家櫛比シ陸上交通機關ノ發達ニ伴ヒ交通運輸ノ量逐日増加ノ傾向ニ在リテ一般交通上ノ不安尠カラザルモノアリ

改良計畫ハ昭和十四年度施行ノ終點神戸村大字安知生ニ於テ新路線ニ接續シ之ヨリ西方ニ延長シ省線石鎚山驛前ヲ經テ西進シ橋村大字西田ニ於テ現國道ニ連結スル幅員三米ノ一村道ニ達セシム

改良道路ハ全幅員八米五、有効幅員七米五ニシテ横斷勾配四%拋物線形、縱斷勾配ハ最急二・八%、三百七十米、最緩〇・一五%、六百二十米、最小屈曲半徑八百米ニシテ路面ハ砂利敷トス

橋梁ハ神戸村地内ニ於テ橋長五米ノモノ一箇所、橋長七米ノモノ二箇所、橋村地内ニ於テ十一米(五米及六米各一連)ノモノ一箇所ニシテ何レモ鐵筋混凝土床版橋トス

## 施工狀況

昭和十五年五月一日ヨリ事業ヲ開始シ土地買収並ニ家屋其ノ他物件移轉ニ關シテハ七月三十一日全區間ノ起工承諾ノ調印ヲ了シ工事施行上支障ナカラシメ引續キ買収ニ關スル諸調査ヲ爲シ十五年十一月一日土地買収及物件移轉ノ協議ヲ開始十六年三月十七日ヲ以テ移轉登記ヲ完了セリ

工事施行ニ關シテハ橋村地内ニ見張所ヲ設置シ五月十一日ヨリ工事ノ準備ニ着手ス

盛土運搬ハ總土量一萬七千三百立方米ニシテ之ヲ附近地ニ求メントセシモ適當ナル箇所ナキ爲メ加茂川河川敷ヨリ採取シ前年度竣功セル道路ノ一部ヲ占用シテ軌條ヲ敷設シ零立方米六積木製土運車ニ人力積込ノ上五瓊瓦斯倫機關車ニ依リ運搬中ノ處十六年一月機關車ヲ木炭瓦斯ニ改裝セシ爲牽引力減少及機關ニ故障多ク爲ニ能率減殺サレ橋村地内盛土ノ一部ヲ翌年度ニ繰越ノ止ムナキニ至レリ尙一部ノ土運搬ニハ貨物自動車ヲ使用セリ

暗渠ハ水路横斷六箇所、排水管伏設四十一箇所ヲ別途製作セル内徑十二糎乃至三十糎ノ混凝土管ヲ使用シ何レモ十六年二月竣功シ混凝土擁壁ハ總延長二千七百八米四ノ内九十三%ヲ施行シ殘餘ハ翌年度ニ繰越セリ

橋梁四箇所ノ内神戸村地内三箇所ハ年度末マデニ竣功シ橋村地内ノモノハ橋脚ノ一部及橋體工事ヲ翌年度ニ繰越シ其他水路附替枝道取付六箇所ノ内二箇所及路面砂利敷ヲ翌年度ニ繰越セリ工事ニ使用ノ砂利ハ中山川及加茂川ノ兩川ヨリ砂及栗石ハ加茂川ニ於テ直營採取ノト貨物自動車ニ依リ所要現場ニ搬入セリ

本工事ニ使用セル勞働者延人員ハ二萬二千三百九十五人ニシテ其工事竣功表次ノ如シ但シ表中一△ハ組入材料ノ遣拂額一〇一ハ古材ノ遣拂評價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路床	立米 118.11	12,012.24	立米 118.11	12,012.24	立米 236.22	24,024.48	0.21
擁壁	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.21
溝橋	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.21
雜工	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
橋梁	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.21
砂利類採取	〇	〇	〇	〇	〇	〇	0.21
混凝土管製作	立米 1.57	11,110.00	立米 1.57	11,110.00	立米 3.14	22,220.00	0.21
用地	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
器具機械	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
營繕費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
共濟組合給與金	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
臨時家族手当	〇	〇	〇	〇	〇	〇	1.00
總計							

## 第七九 國道二十五號線(佐賀)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十二年度以降同十九年度ニ至ル八箇年度繼續工事トシテ總工費百五十萬圓ヲ以テ二十五號國道佐賀縣佐賀市赤松町ヨリ同縣杵島郡武雄町ニ至ル延長二萬六千八百米ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本工事ハ昭和十二年度繼續事業トシテ創業セシモノニシテ本年度ハ其ノ第四年度ニ當リ事務所其ノ他ノ諸設備ハ既設ノモノヲ前年度ヨリ引續キ使用セリ而シテ本年度ニ於テハ杵島郡江北村大字惣領分地内三百二十米、同村大字山口地内一千三百二十米ノ工事ヲ工事費十萬圓ニテ着工セシモ九月ニ至リ政府豫算並物資節約ノ方針ニ基キ事業費ノ内一萬圓ヲ繰延ラレタルニ依リ工事費九萬圓ヲ以テ施行セシモノナリ其ノ概要左ノ如シ

土地買収並ニ物件移轉ハ八月二十六日協議ヲ開始シ九月末迄ニ大部分ノ承諾ヲ了セリ

土工ハ全部盛土ニシテ前年度同様同村大字惣領分地内工事現場附近ノ溜池内高地及同村大字山口字一本松地内ヨリ無償採取シ馬車土運車ニテ運搬スルコトトシ四月ヨリ着工鋭意進捗ニ努メタルモ九月豫算ノ一部繰延ニ依リ本工事ノ一部ヲ次年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レリ

擁壁工ハ全部割石練積ニシテ四月上旬着手順次土工ノ進捗ト相俟ツテ施行シ大部分ヲ完了セシモ土工ト共ニ其ノ一部ヲ繰越スコトトナレリ

路面工ハ四月七旬ヨリ土工ノ進ムニ從ヒテ三瓏乃至八瓏輾壓機ヲ以テ路盤輾壓ヲ行ヒ碎石撒布ヲ爲シツツ輾壓ヲ重ネ進捗ニ努メタルモ諸工種同様一部ヲ翌年度へ繰越スコトトナレリ

溝橋工ハ圓型函型ノ二種ニシテ何レモ鐵筋混凝土構造ニシテ灌漑用水ノ關係上埋設ハ水田水落後ノ施行ヲ必要トスルヲ以テ先ヅ四月上旬鐵筋混凝土圓管ノ直營製作ニ着手シ十月所要數量ノ製作ヲ完了シ二月埋設ヲ實施セシモ土工繰延ト共ニ一部ヲ次年度へ繰越スルコトトナリ函型溝橋モ亦豫算ノ繰延ニ依リ大部分ヲ次年度へ繰越スコトトナレリ側溝工ハ全區間中人家連檐部ニ於テ道路ノ兩側ニ混凝土U型側溝ヲ設クルコトトシ六月上旬大字山口地内北側ノ工事ニ着手シ土工ノ進捗ニ伴ヒ工事ヲ進メ年度内ニ全部ヲ完了セリ

其ノ他取付道路五箇所ヲ年度内ニ終了セシメタリ

本年度ノ竣功ニ依リ幅員狹隘ニシテ急勾配ニ存セシ大字佐留志地内モ大字山口地内ニシテ客貨混雜スル肥前山口驛前附近モ有効幅員七米五ノ新裝道路トシテ面目ヲ一新シ運輸交通ニ及ボシタル效果大ナルモノアリ本工事材料總額一萬一千五百十七圓ニシテ又使用勞働者延人員一萬七千四百九十二人ナリ本年度ノ竣功高ハ九萬二千六百七圓餘ニシテ起工以來ノ累計ハ四十二萬一千四圓ヲ算シ總工費百五十萬圓ニ對シ約二割八分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ表中「◎」ハ佐賀市負擔額「△」ハ評價品使用見積價額ヲ示ス



## 第八〇 國道二十五號線(嬉野)鋪裝工事 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工費十萬圓ヲ以テ二十五號國道佐賀縣藤津郡鹽田町ヨリ同郡嬉野町ニ至ル延長三千二百七十米ノ鋪裝工事ヲ施行スルモノナリ

本區間ハ關門地方ヨリ福岡及佐賀市ヲ經テ長崎市ニ聯絡スル唯一ノ幹線道路ノ一部ヲ爲シ産業及軍事上重要ナル使命ヲ有スルモノニシテ曩ニ縣ニ於テ路幅約八米ノ砂利道ニ改築濟ナルモ近時其ノ利用著シク激増セルニ鑑ミ緊急之ガ鋪裝ヲ施行シ以テ運輸交通ノ圓滑ヲ期セントスルモノナリ其ノ設計概要左ノ如シ

總延長三千三百七十米ノ内佐賀縣施行百米ヲ除キ鋪裝延長三千二百七十米ニシテ鋪裝幅員六米ナリ歩車道ノ區別ハナク鋪裝ハ厚十五糎一層式混凝土鋪裝トス横斷勾配ハ二%双曲線、縱斷勾配ハ最急四・一%延長三百八十三米、最緩〇・〇二%延長四百八十米ニシテ最小屈曲半徑ハ百一米五トス排水設備ハ在來ノ排水系統ヲ利用セリ

### 施工狀況

本工事ノ施工準備ハ五月一日藤津郡嬉野町ニ佐賀國道改良事務所嬉野工場ヲ設置シ亦民地ヲ借受ケ監督見張所ヲ設ケ自動車々庫及倉庫ヲ佐賀國道改良事務所ヨリ移設シ機械器具ノ蒐集及工事材料ノ購入並セメント倉庫ノ借上等諸般ノ準備ヲ進メ工事ノ進捗上遺漏ナキヲ期セリ

八月上旬嬉野町大字下宿地内ノ北側ヨリ交通ニ支障ナキ様路盤土工ニ着手シ片側混凝土鋪裝ヲ施工シ十月上旬同町今寺地内ニ及ボシ殘餘ノ片側ヲ施工シ逐次片側宛延長施工シ銳意進工ニ努メタル結果年度内ニ竣功セシメタリ

本工事ノ竣功ニ依リ新裝ノ混凝土道路トナリ面目ヲ一新シ維持費ノ節約運輸交通ニ及ボシタル便益ノ大ナルハ勿論嬉野町所

在嬉野海軍病院傷病兵ノ輸送上ノ便甚大ナルモノアリ

本工事ノ材料總額四萬八百八十七圓餘ニシテ使用勞働者延人員一萬八千三百五十五人ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本工路			一九、六〇〇	八三、八〇〇	一九、六〇〇	八三、八〇〇	一〇〇
〔諸〕				四、四八〇		四、四八〇	
器具機械				三、八〇五		三、八〇五	
其他諸費				七、五七八		七、五七八	
臨時家族手當				二、四八		二、四八	
總計				一〇〇、〇〇〇		一〇〇、〇〇〇	一〇〇

## 第八一 國道二十五號線(長崎)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ昭和十三年度ヨリ同十九年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ總工費百八十五萬圓ヲ以テ二十五號國道長崎縣東彼杵郡彼杵町ヨリ同縣諫早市ニ至ル延長三萬一千九百二十米ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

### 施工狀況

本年度ニ於テハ前年度ヨリ引續キ長崎縣東彼杵郡千綿村瀬戸郷地内ニ百四十米ノ工事ヲ完成シ同村里郷ヨリ武留路郷ニ至ル一千二百米ノ改築工事ヲ施行セシモ竣功ニ至ラズシテ次年度ニ繰越ス事トナレリ尙前年度長崎縣ヨリノ委託福重橋復舊工事ハ本年度ニ全部ノ竣功ヲ見ルニ至レリ用地買收ハ同村里郷地内一千四百米ヲ昭和十五年七月中旬協議ヲ開始シ十月中旬全部ノ承諾ヲ得タリ

土工ハ前年度買收濟三箇所ヨリ引續キ施行セシモ切取土ノ約六十五%ハ褐色粘土ノ硬土ニシテ殘餘三十五%ハ二立方米乃至五立方米ノ巨岩ニシテ之ガ破碎ニハ火藥及ダイナマイトヲ使用シ極力土工ノ進捗ヲ計リタルモ計畫路線ニハ鐵道大村線並ニ海軍、遞信、鐵道各省所管電信電話線數條錯綜シテ並行シ危險甚シク特ニ爆破ノ際ハ鐵道ヨリ係員ノ立會ヲ求ムル等作業上多大ノ困難ヲ伴ヒタルモ年度内所定ノ工事ヲ完所セリ

擁壁ハ全部割石空積トシ四月上旬ヨリ土工ノ進捗ニ伴ヒ施行シ翌三月中旬其ノ全工程ヲ完了セリ  
而シテ所要割石及栗石ハ切取中ノ巨岩ヨリ採取使用セリ

路面工ハ土工完了ノ箇所ヨリ漸次輾壓機(十瓩)ヲ以テ充分輾壓ヲ爲シ敷砂利ハ郡川及前記切取土中ノ硬岩ヨリ碎石機ヲ使用採取セリ

溝橋ハ函型及圓型拱型ニシテ四月上旬着手翌三月下旬ヲ以テ全功程ヲ了セリ敷設箇所ノ地盤ハ概ネ良好ナルヲ以テ栗石及均  
混凝土ニテ整盤シ其ノ上ニ函型或ハ圓型拱型ヲ設置セリ

側溝ハ土工ノ進捗ニ伴ヒ排水側溝ヲ切取箇所ニ施行セリ

橋梁ハ前述ノ如ク委託福重橋復舊工事ノ一部ナル上部工ヲ本年度ニ完了シ福重橋架設工事ノ全功程ヲ了セリ

本工事ノ竣功ニ依リ前年度竣功セル區域ト共ニ幅員屈曲勾配並ニ鐵道トノ平面交叉等總テ整備セラレ舊國道ニ比シ面目ヲ一  
新シ軍事上ハ勿論地方産業開發ニ資スル處甚大ニシテ併セテ益々繁激ヲ來シツツアル高速車輛並ニ一般交通ノ便益ニ寄與ス  
ル處尠カラザルベシ

本工事ニ使用セル材料總額二萬八百二十一圓餘ニシテ(外ニ國庫補助災害土木費九千五百五十二圓ニシテ)使用勞働者延人員二  
萬八千二百二十九人ナリ而シテ本年度ノ竣功高ハ十二萬二千四百八圓ニシテ起工以來ノ累計三十萬五千六百四十一圓ヲ算シ總  
工費百八十五萬圓ニ對シ約一割六分ノ竣功ナリ其ノ工事竣功表ヲ示セバ別表ノ如シ但シ「〇」ハ長崎縣負擔額「△」ハ評價品使  
用見積價額ヲ示ス



## 第八二 國道三十二號線(廣島)改良工事

### 繼續國道改良

本工事ハ廣島縣安藝郡板村字龜迫ヨリ吳市吉浦町字鯛網代ニ至ル延長一萬一千三百六十七米六九ヲ改良スルモノニシテ總工費百四十五萬圓ヲ以テ昭和十一年度以降六箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ而シテ昭和十四年度末迄ノ支出額百三萬圓ニシテ約七〇%ノ竣功ニ當リ引續キ本年度豫算(年度割)百二十萬圓ヲ以テ施行セントスルモノナリ

### 施工狀況

本區間ノ内路床及擁壁、溝橋工事等ハ大部分前年度迄ニ竣功ヲ見タルヲ以テ本年度ハ主トシテ路面、橋梁、雜工事等ヲ施行セリ擁壁工事ハ吳市吉浦町地内波止擁壁補強工事ヲ前年度ニ引續キ施行シ設計通り延長三百三十米竣功セシメタリ

路面工事ハ安藝郡坂村字漁見ヨリ吳市吉浦町ニ至ル間ノ内延長八千三百七十六米ノ鋪裝工事ニシテ前年度ニ着手シ引續キ本年度ニ於テ施行セルモノニシテ吉浦町坂村ノ兩方面ヨリ施行各片側通行ヲ禁止ノ上施行セリ當初計畫ニ於テハ既定基礎混凝土上ニ厚一糎ノ瀝青乳劑塗裝ヲ施行スル豫定ナリシモ本區間ノ内約四百米ハ計畫通り瀝青乳劑塗裝ヲ施シモ時局ノ影響ヲ受ケ乳劑ノ入手難ニ至リタル爲メ殘區間ノ計畫ヲ變更シ二層式混凝土鋪裝ヲ施行セリ此構造ハ中央ニ於テ厚十二糎、中央ヨリ双方ニ各一米八ヲ十二糎、終端ニ於テ十七糎ノ丙種配合基礎混凝土ヲ施シ上層ハ幅六米、厚三糎ノ特甲種配合混凝土ニ施行セリ本年度末迄ニ六萬八百五十平方米設計高ニ對シ約八〇%ノ竣功ヲ見殘部ハ後年度へ繰越セリ

側溝工事ハ前年度ニ引續キ吳市吉浦町、坂村地内ヲ施行銳意進捗ヲ計リタル結果、坂村地内ハ竣功ヲ見タルモ吉浦町地内ニテハ一部家屋移轉遲延ノ爲メ豫定通り進捗スルヲ得ズ八十米ヲ殘シタル儘年度末ニ至レリ

橋梁工事ハ吳市吉浦町地内吉浦橋工事ニシテ前年度ニ於テ橋臺ハ既ニ竣功セルヲ以テ本年度ハ引續キ工事ヲ施行豫定通り



第六章 國道改良工事 (國道三十二號線(廣島)改良工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營繕費
▲□			○□	
2,020,000 1,100,000 920,000			1,000,000 1,011,000	1,100,000
▲□			○□	
1,400,000 1,100,000 300,000			1,000,000 1,011,000	1,400,000
▲□			○□	
1,300,000 1,100,000 200,000			1,000,000 1,011,000	5,000,000
0,000,000				

## 第八三 國道三十三號線(佐世保)改良工事

## 國道改良

本工事ハ昭和十五年度事業トシテ總工事費四十八萬圓(內都市計畫事業費負擔三十二萬圓)ヲ以テ三十三號國道長崎縣佐世保市潮見町ヨリ同市白南風町ニ至ル延長三百六十五米五ノ改良工事ヲ施行スルモノナリ

本工事施行區間ノ在來國道ハ佐賀郡杵島郡武雄町地内ニ於テ國道二十五號線ヨリ分岐シ佐世保鎮守府ニ達スル重要道路ノ一部分ニシテ店舗櫛比シ商業殷賑ヲ極メ且鐵道、港灣、鎮守府並ニ都市ノ道路ヲ連結スル本市唯一ノ縱貫線ナルニモ拘ラズ歩車道ノ區別ナク幅員僅ニ八米ニシテ尙且電柱、街燈柱林立セル爲メ有効幅員七米ニ過ギズ加フルニ人馬車輛ノ往復極メテ繁激ニシテ交通量ハ縣下第一位ヲ占メ軍事、産業並ニ保安衛生上之ガ改築ハ愈々切ナルモノアリ而シテ計畫中心線決定ニ當リテハ都市計畫街路網決定路線ヲ撰定セリ尙佐世保市ニ於テ總事業費ノ三分ノ二、三十二萬圓ヲ都市計畫事業費トシテ負擔シ工事施行ヲ國ニ委託セルヲ以テ國直轄工事ト併セ施行セリ其ノ設計概要左ノ如シ

總延長三百六十五米五、有効幅員二十米ニシテ路面構造ハ車道中央十三米ヲ二層式混凝土鋪裝ト爲シ歩道兩側各三米五ヲ混凝土塊鋪裝トス排水設備ハL型側溝及雨水榦並ニ污水榦ヲ設ケテ各之ニ集水シ排水管及在來U型側溝ニ依リ在來水路ニ放流ス縱斷勾配ハ最急〇・四%、最緩〇・一%、最小屈曲度百七十度五〇分ナリ地上又ハ地下工作物ハ移轉料若クハ補償料ヲ支拂ヒテ除去又ハ適宜處置セリ

## 施工狀況

用地買收及物件移轉ハ昭和十五年八月一日協議ヲ開始シ各關係者共九月末迄ニ全部ノ承諾ヲ得土地並ニ家屋所有者ニ對シ九月中旬ヨリ支拂ヲ始メ昭和十六年三月中旬ヲ以テ全部ノ支拂ヲ遂ゲタリ而シテ本區域内ニ存在スル遞信省並ニ縣警察部所管

支障電柱ハ之ヲ地下ケーブルト爲シ其他瓦斯 水道等ノ地下工作物モ亦夫々年度内整備ヲ完了セリ土工ハ五月下旬着手大部  
分切取ニシテ其ノ岩石並ニ土砂ノ良質ナルモノハ盛土ニ利用シ殘土ハ當市三浦町地先市營埋立地ニ馬車及貨物自動車ヲ以テ  
搬出シ家屋移轉ノ進捗ヲ追ヒテ進工セシメ三月下旬竣功セリ

路面工ハ四月中旬歩道鋪裝用混凝土塊ノ製作ニ着工シ次デ街路境界石及街路樹根圍石ノ製作ニ努メ車道路盤土工後充分ナル  
自然輾壓ニ依リ一月下旬混凝土鋪裝ニ着工三月下旬其ノ工ヲ了ヘタリ尙歩道鋪裝ハ二月下旬着手三月下旬竣功セリ排水工ハ  
五月下旬鐵筋混凝土管製作ヲ開始シ家屋其他工作物ノ移轉ヲ追ヒテ管敷設ニ着手セルガ岩盤露出セル箇所ハ短型渠ト爲シ在  
來側溝ノ鐵筋混凝土塊ヲ以テ其ノ蓋ニ利用シ銳意其ノ工ヲ進メ三月下旬完成ノ域ニ達セリ

側溝工ハ五月下旬側溝緣混凝土塊及蓋塊製作ニ着手シ路盤仕上箇所ヨリ順次進工セシメ三月下旬完結ヲ見タリ而シテ取付渠  
ハ在來側溝ノ混凝土塊利用ノ爲メ截頭卵形渠トセリ

其ノ他雜工事トシテ他工事ノ進捗ニ伴ヒ取付道路ノ路盤土工ヲ開始シ植樹ヲ最後トシテ三月末日其ノ工ヲ了ヘタリ而シテ取  
付道路ノ内重行通路ハアスファルト混凝土輕行通路ハ碎石道トセリ

本改良工事竣功ヲ遂グルニ及ビ昭和九年度以降竣功セル區域ト共ニ幅員屈曲總テ整備セラレ舊國道ニ比シ新興都市タルノ面  
目ヲ一新シ軍事上並ニ地方産業開發ニ資スル處甚大ニシテ併セテ益々繁盛ヲ來シツツアル自動車並ニ一般交通ノ便益ニ寄與  
スルト共ニ急激ナル當市内人口増加ニ對スル保安衛生上ニ裨益スルコト尠カラザルナリ

本年度ニ於テ使用セル材料總額一萬六千八百五十九圓(外ニ都市計畫事業費負擔額二萬二千十四圓)ニシテ使用勞働者延人員  
一萬二千九百十一人ナリ而シテ其ノ工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ(一)ハ佐世保都市計畫事業費負擔額(二)ハ評價品使用  
見積價額ヲ示ス

費目	掘鑿										合計		
	本築堤	殘土處分	工路	排水	側溝	溝橋	雜工	諸掛	用地土買收	地上物件移轉		器具機械費	其他諸費
前年度迄竣工高													
數量													
金額													
本年度竣工高													
數量	立米 八九八	立米 一一八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
金額	三、三六九 六二九	六、四七五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四、九七二 一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
合計													
數量	立米 八九八	立米 一一八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
金額	三、三六九 六二九	六、四七五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四、九七二 一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
步竣合功	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇

## 第八四 國道三十四號線(阪鶴)鋪裝工事

### 國道改良

本工事ハ政府ニ於ケル高度國防設備及産業開發、軍都交通整備等ノ關係上十五年度ノ單年度工事ニ指定セラレ事業費八萬三千圓、内工事費七萬一千七百圓ヲ以テ阪鶴國道改良事務所ニ於テ混凝土鋪裝ヲ施行スルモノニシテ其區域ハ國道三十四號線舞鶴市字下安久ヨリ同市字上安ニ至ル現在路線上延長二千四百九十米ノ内現ニ京都府ニ於テ架橋工事中ノ相生橋(延長百十二米)ヲ除キ二千三百七十八米ノ豫定ノ處右京都府ノ架橋工事ハ資材其他ノ關係上當初ノ計畫通り進捗セズ從テ同橋梁前後ノ取付部延長百七十六米ニノ鋪裝ヲ廢シ更ニ前計畫ニ引續キ舞鶴市字上安ヨリ東舞鶴市字餘部上ニ至ル現在路線上延長百六十三米六(全部隧道)ヲ鋪裝スル事トシ總延長二千三百六十五米四トセリ

其ノ設計大要ハ工事施行地ハ舞鶴市字上安久(榎隧道ヲ含ム)ヨリ東舞鶴市字餘部上ニ至ル延長二千三百六十五米四ニ互リ内幅員八米(全幅八米乃至八米五)ノ區域ハ三百八十五米九、七米(全幅七米五乃至八米)ノ區域ハ四百米、六米(全幅七米乃至七米五)ノ區域ハ一千四百十五米九、四米八四(隧道五米五)ノ區域ハ百六十三米六ナリ而シテ本工事箇所ハ起點ヨリ終點ヘ向ヒ一方的ノ昇リ勾配ニシテ最急勾配ハ四・六五%、最小半徑五十米ナリ

本計畫ハ最初舞鶴市域内ノ處緒言ニ於テ述べタル如キ理由ニ依リ遂ニ東舞鶴市域内迄延長スルニ至レリ本路線ハ舞鶴、東舞鶴兩市ヲ結ブ一大幹線ニシテ交通量甚大ナル爲メ甲種混凝土ヲ以テ鋪裝セリ鋪裝幅員ハ其ノ大部分ヲ六米ト爲セルモ起點附近ハ人家連擔シ又軍施設等アル爲メ前記ノ如ク七米乃至八米ニ及ベリ隧道内ハ全幅五米五ノ内四米八四ヲ鋪裝シ其ノ兩側側溝ハL型混凝土塊ヲ使用シ暗渠式トシ以テ其有効幅員ヲ増大セシメタリ

路面横斷勾配ハ二%双曲線形トシ曲線箇所ハ其ノ半徑ニ應ジテ片勾配トセリ

鋪裝厚ハ中央十五糎、兩端ニ於テ二十糎トシ兩端ヨリ一米二ノ箇所ニ於テ十五糎ニ取付クルモノトセリ

其他設計細部ニ關シテハ道路法構造令ニ準據セリ

## 施工狀況

本工事ハ十五年五月一日ニ着手セルモ事務所ノ新設型枠材料ノ整備及諸機械ノ轉用等ニ多大ノ困難ヲ伴ヒ漸ク八月上旬ニ至リ本格的ニ施工ヲ開始スルニ至レリ一方本工事區域ノ殆ンド全般ニ互リ遞信省ノ地下電纜埋設工事ノ先行ヲ許シタル爲メ工事進捗ニ多大ノ支障ヲ來セリ

鋪裝用ノセメントハ順調ニ納入セラレ砂利、砂亦由良川産ノモノヲ現場着受ニテ購入スル事ヲ得タリ

本工事中使用セシ主ナル機械ハ八噸輾壓機一臺、三切、四切、八切、練混凝土混和機各一臺、貨物自動車一臺等ナリ人夫ハ時局ノ影響ヲ受ケ殊ニ土地柄收集困難ナリシモ軍部、事業ヲ防グズ總延數一萬一千百七十七人、總日數三百三十五日、一日平均三十三人ヲ得タリ

遞信省ノ埋設工事ヲ督促シ其他總テノ困難ヲ排シ銳意工事ノ進捗ヲ計リ又一方幸ニ冬季ニ於ケル降雪記録ヲ破ツテ尠カリシ爲メ無事十六年三月三十一日ヲ以テ工事ノ竣成ヲ見ル事ヲ得タリ而シテ其ノ竣功表ハ左ノ如シ

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費	營業繕費	器械費	本工費		費目
						側溝	鋪裝	
								前年度迄竣功高
								數量
								金額
								本年度竣功高
						六八四米	一五、一〇〇 平米	數量
								金額
△三、〇〇〇	一三、八	一四、六	七、六三三	一四、五	四、一〇〇	三、一九五	六、七一一 圓	數量
								金額
								合計
								數量
						六八四米	一四、二〇〇 平米	數量
								金額
△三、〇〇〇	一三、八	一四、六	七、六三三	一四、五	四、一〇〇	三、一九五	六、七一一 圓	金額
								合計
								步竣
一・〇〇								功合
								數量
								金額
								合計

## 第八五 國道三十五號線(敦賀)改良工事 國道改良

本國道改良工事區域ハ國道三十五號線中福井縣敦賀郡粟野村大字市野々ヨリ敦賀市津内ニ至ル延長二千二百六十一米區間ニシテ國際港敦賀ヨリ若狹灣沿岸ヲ走リ舞鶴軍港ニ至ル軍事上並產業上最モ重要ナル幹線ノ一部ナリ近時敦賀ヲ基點トスル滿鮮方面トノ交通繁劇トナリ本路線ノ重要性モ亦頓ニ増加セルニ拘ラズ幅員狹隘ニシテ不良ナル屈曲夥シク自動車交通ヲ對象トスル近代的道路ナリト謂フベカラズ就中敦賀市ヨリ粟野村中部第三十六部隊前ニ至ル區間ノ改良ハ最モ緊急ヲ要スルモノト認めラレ前年度其ノ一部分ヲ總工費七萬圓ヲ以テ粟野村大字金山ヨリ同村大字市野々ニ至ル延長一千八百四十米ヲ內務省直轄工事トシテ施行セリ

本年度ハ更ニ其ノ終點ヨリ敦賀市ニ至ル區間ヲ總工費十六萬圓、內八萬圓ハ敦賀市委託工事トシテ着工セルモノナリ本改良工事ハ福井縣敦賀郡粟野村大字市野々ヨリ敦賀市津内ニ至ル區間ヲ施行スルモノニシテ前年度改良工事中心線ヲ延長シ家屋移轉ヲ避ケ且市内既設道路ヲ可及的利用シ尙ホ十二號國道ニハ敦賀驛前通交又點ニ於テ接續シ得ル事ヲ考慮シ將來都市計畫路線トスル前提ヲ以テ本路線ヲ決定セリ又中間笹ノ川横斷箇所ノ架橋ハ豫算ノ關係上後年度ニ於テ施工スル豫定ナリ

本工事延長二千二百六十一米ニシテ幅員十一米ノ内七米五ハ內務省直轄工事、三米五ハ敦賀市委託工事ナリ而シテ横斷勾配四%拋物線、最急縱斷勾配三%、最小屈曲半徑三百米ニシテ路面ハ砂利敷、橋梁數一箇所補強及繼足トス

### 施工狀況

工事施行ニ關シテハ福井縣敦賀市津内名敦國道改良事務所ニ於テ事務ヲ統轄シ尙ホ工事區域敦賀市三島地先ニ派出所ヲ設置

係員ヲ配屬シ工事事務ヲ擔當セシメタリ

用地買收ハ當初起工承諾ノ方法ニ依リ着工ヲ可能ナラシメ然ル後充分ノ調査ヲ遂ゲ買收價額發表ヲ爲シ全部ノ承諾ヲ得タリ而シテ土地買收費二萬一千四百三十五圓九十二錢、内敦賀市委託工事分三千五百五圓二十錢、物件移轉其他補償費三千七百四十七圓六十四錢ヲ支拂ヘリ

本工事ハ總幅員十一米ノ内中央七米五國道改良費ヲ以テ、其他ハ敦賀市ヨリ其ノ工事ヲ委託サレ併セテ直轄施工セルモノナリ工事施行ニ當リテハ土工、路面、溝橋、側溝、擁壁、雜工事及橋梁ノ各工種ニ分類設計シ事業ノ遂行ヲ圖リタリ以下本年度施工各工種別ニ依ル工事概要ヲ述ブレバ次ノ如シ

土工ハ福井縣敦賀郡粟野村大字市野々ヨリ敦賀市津内ニ至ル延長二千二百四十八米ノ路床ヲ築造スルモノニシテ其ノ盛土量三萬四千八百立方米ナリ法勾配ハ一割五分トシ筋芝付ヲ以テ法面ヲ保護スルコトトセリ之ニ要スル土砂ハ筧ノ川及黑河川合流點附近河床ヲ掘鑿運搬盛土ノ計畫ヲ以テ七月二十七日着工、人力掘鑿運搬及機關車運搬ヲ併用シ年度内約四割ノ竣功ナリ路面工ハ土工ニテ路床築造セルモノヲ更ニ路盤ノ不陸ヲ直シ輾壓機ヲ以テ充分輾壓ノ上敷砂利仕上スルモノニシテ延長二千二百四十八米、幅員十一米、面積二萬四千三百七十八平方米ナリ本年度ハ着工ニ到ラズ追テ土工ノ進捗ヲ俟テ施行ノ豫定ナリ溝橋ハ計畫全線ニ互リ横斷現在水路ニシテ比較的大ナルモノニハ鐵筋混凝土函型溝橋ヲ築造シ又水路ノ小ナルモノ及灌溉用通水ノ爲メ鐵筋混凝土管ヲ敷設シ或ハ擴幅部ニ於ケル既設溝橋ハ夫々繼足及補強ヲ施スモノトス而シテ一月一日着工溝橋新設五箇所、溝橋繼足及補強五箇所、鐵筋混凝土管敷設五十八箇所ヲ施行シ年度内孰レモ竣功セリ

側溝ハ市内路面排水ノ爲メ道路ノ兩側ニU型混凝土側溝延長七十五米ヲ築造スルモノニシテ三月一日着工年度内ニ竣功セリ擁壁ハ盛土法先保護ノ爲メ法留用玉石積ヲ施工スルモノニシテ延長三千八百四米五、面積一千五百七十平方米ナリ三月一日着工約二割ノ竣功ヲ以テ年度ヲ經過セリ

雜工事ハ取付道路ノ境界杭設置、附替水路ヲ施工スルモノナリ本年度ハ着工ニ到ラズ土工ノ進捗ニ伴ヒ施行ノ豫定ナリ

橋梁ハ舊筈ノ川ニ架設セラレタル二ノ橋ノ補足及補強工事ヲ施スモノニシテ改良計畫ニ伴ヒ其ノ幅員ニ於テ不足ヲ生ジタル結果之ヲ補足シ又計畫荷重増大ニ因リテ補強ノ必要ヲ生ジタルモノナリ

橋長ハ在來通りノ十三米トシ有効幅員ハ十一米トス補足橋體ハ鐵筋混凝土T型單桁トシ補強ハ在來ノT型單桁ノ中間ニ一本宛ノ單桁ヲ挿入スルモノトス橋臺ハ在來ノ橋臺ニ接續シテ補足ヲ爲シ玉石混凝土重力壁トシ一月一日着工年度内約四割ノ竣功ヲ見タリ

本工事ノ勞働者ハ主トシテ敦賀市及敦賀郡栗野村地先ノモノニシテ之ガ募集意ノ如クナラズ工事施行上幾多ノ困難ニ遭遇セリ而シテ使用延人員ハ九千八百六十八人ナリ

本年度竣功高ハ七萬四千三百三十三圓ニシテ之ヲ總工費八萬圓ニ比スレバ九割三分ノ竣功トナレリ而シテ本工事ハ單年度工事ナルモ勞力不足等ノ主ナル理由ニ依リ殘工事ハ次年度へ繰越セルモノニシテ其ノ工事竣功内譯左ノ如シ但シ〇二ハ無代價材料評價額ヲ示ス



## 第八六 國道三十六號線(新京濱)新設工事

### 繼續國道新設

本工事ハ昭和十一年度ヨリ同十六年度ニ至ル六箇年度繼續工事トシ工費豫算六百五十萬圓ヲ以テ京濱間ノ内東京市品川區西大崎町一丁目ヨリ川崎市古市場ニ至ル延長七千九百四十四米五ヲ施行中ノ處其後施行期間一箇年度ヲ延長シ同十七年度ニ至ル七箇年度繼續工事トシテ施行スルコトナレリ

### 施工狀況

前年度ニ引續キ大森區馬込町西三丁目所在事務所ノ下ニ中延、多摩川ノ二工場及二箇所ノ見張所ヲ設ケ各工事ヲ施行セリ  
 土工ハ其大部分前年度迄ニ竣功シ本年度ニ於テハ切取一千七百六十二立方米、盛土運搬一千五百九十立方米ニ過ギザルモ着手以來ノ功程ヲ累計スレバ前者ハ二十萬二千六百五十八立方米(不良土ヲ含ム)後者ハ十八萬七千五百八十九立方米ニ達シ何レモ計畫高ニ比較シ九割九分ノ竣功ニ當レリ

尙土砂切取箇所ノ内崩壞ノ虞アル品川區西大崎地内ノ一部ニハ其兩側ニ間知型花崗石積擁壁及混凝土擁壁ヲ築造シ前者ハ二百四十平方米、後者ハ二十六平方米ヲ竣功セシガ大部分ハ次年度へ繰越トナレリ

路床工ハ是等土工ノ進捗ニ伴ヒ殆ント全區域ニ互リ施工シ土質及地盤ノ關係ニ依リ五糎乃至二十糎厚ニ切込砂利ヲ數回ニ分チ撒布シ八糎タンDEM型竝ニ十糎五マカダム型輾壓機ヲ以テ反覆輾壓ヲ施シ且相當期間一般交通ニ供シタル後厚三糎乃至六糎ニ敷砂ヲ行ヒ二糎四分ノ一輾壓機ヲ以テ再ビ輾壓ヲ施シ九步通竣功セシガ一部ハ次年度へ繰越トナレリ

路面鋪裝ハ前年度ニ引續キ高速車道及緩速車道ノ各下層基礎混凝土工ヲ施行シ面積二萬一千七百八十二平方米ヲ竣功シ内高速車道ノ表層部竣功面積一萬七千六十二平方米トナリ其他ハ施工中年度ヲ經過セリ

排水工ハ中延町以下古市町ニ至ル區間ニ於テ繼續施行シ年度内排水本管伏設兩側延長一千二百四十八米、其他人孔集水桝等ヲ施工シ起工以來ノ累計排水管延長一萬二千三百七十六米九、街渠延長三千二百九十三米、人孔及集水桝等三百二十五箇所トナレリ

橋梁ハ前年度迄ニ於テ既ニ九箇所竣功シ十二年度起工セシ松原橋ハ本年度竣功ヲ告ゲ荏原區西戸越東横電鐵池上線跨線橋(鐵筋混凝土框型)及馬込區東三丁目品鶴線跨線橋(鋼鈹桁橋)ノ二橋ハ相次デ着手セシガ何レモ橋臺基礎工ニ着手ノミニシテ年度ヲ經過セリ十四年度起工シタル多摩川橋(ゲルバー型鋼鈹桁橋)ハ橋長四百三十五米、長短十二徑間ヨリ成リ幅員二十二米ニシテ長徑間部橋脚基礎井筒沈下及軀體築造ニ着手シ井筒六箇所、軀體三基竣功シ左岸橋臺及短徑間部橋脚四基ノ基礎杭打工ヲ施行セシガ何レモ未竣功ノ儘次年度へ繰越トナレリ

附帶工ニ屬スル東京横濱電鐵目蒲線ノ高低交叉工事ノ内國道架道橋及市道架道橋ノ各複線電車橋ハ盛土ト共ニ前年度内竣功セシヲ以テ引續キ電力工事及線路工事ヲ施行竣功セシメ雜工ノ一部ハ遞信省及警視廳關係工事ノ竣功ヲ俟テ施行スルコトトナレリ

尙支道ノ切取、盛土、砂利、砂採集運搬、碎石及ブロック類製作等ヲ行ヒタル外街路樹苗木栽培等ヲ施セリ  
本年度使用シタル勞働者延人員ハ八萬五千八百三十四人ニシテ前年度迄ノ使用人員ヲ合シ三十七萬一千六百四人トナレリ  
本年度工事竣功高ハ百六萬六千九百九十九圓ニシテ起工以來ノ累計四百三十九萬八千九百七圓トナリ之ヲ總工費豫算六百五十萬圓ニ比較スルトキハ六割八分ノ竣功ニ當レリ而シテ其工事竣功表左ノ如シ但シ表中「○」ハ東京市負擔額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本道	未竣功	○	未竣功	○	未竣功	○	○・五
橋梁	二九箇所	三九、九七〇	三一箇所	三三、三九四	三〇箇所	六五、四二七	
工事		三三〇、四五六		二三八、五四八		五九、九〇八	○・三
雜工		七、一〇三		六、〇〇五		一、一〇八	
費	亡失及毀損	○					○・七
用地	二七段	一、九六四	一七段	三、六一〇	二七段	五、一七四	
器具		○		○		○	○・六
機械		一、二四八		一、七五〇		三、〇〇八	
營業		九、九八八		一、七〇八		一一、六九六	○・六
繕繕		二七、〇六八		二、〇〇八		二九、〇七六	
雜費		二、七〇八		四、三〇四		七、〇一三	○・六
共濟組合給與金		八、六五四		二、六八九		一一、二四三	
臨時家族手当		○		二、一八四		二、一八四	○・六
總計		三、三三八、二〇八		一、〇六〇、六九九		四、四四八、九〇七	
		四九、六八八		五、九九七		五五、六八五	

## 第八七 國道三十六號線(新京濱)新設工事

### 繼續國道新設

本工事ハ昭和十一年度ヨリ昭和十六年度ニ至ル六箇年度繼續事業トシテ豫算六百五十萬圓ヲ以テ施行中ノ處支那事變ニ伴フ國庫財政ノ都合ニ依リ施行年度ヲ一箇年度延長ノ上昭和十七年度ニ至ル七箇年度繼續事業トシテ施行スルコトナレリ而シテ其ノ區域ハ神奈川縣川崎市古市場ヲ起點トシ同縣橫濱市神奈川町ニ至ル延長一萬六百九十一米ナリトス

### 施工狀況

本年度ハ全區域ニ互リ各種工事ヲ施行セリ其ノ概要次ノ如シ

土工ニ於テハ近距離ノモノハ人力ニ依リ遠距離ノモノハ機關車ヲ使用シ極力其ノ進捗ヲ計レリ掘鑿土量六萬三千七百二十三立方米ノ内盛土ニ流用セルモノ五萬八千六百七十九立方米、他ハ現場ノ狀況ニ應ジ有價又ハ無償ヲ以テ他ニ捨土セリ

盛土量ハ六萬五百二十二立方米ニシテ前述掘鑿土ヲ充當セシメタル他不足土ハ多摩川高水敷ヨリ運搬セリ

擁壁ハ割石練積擁壁高二米乃至一米八ノモノ三百三十三平方米ヲ施工セリ

路面ハ路床ノ沈定完カラザルヲ以テ鋪裝工事ハ十六年度以降ニ於テ極力其ノ進捗ヲ計ルコトトシ本年度ハ之ニ關聯セル境界石、植樹帶等ノ設置及步道平板ノ製作ニ終始シ併セテ全區域ノ路盤輾壓ヲ施行セリ即チ其ノ數量境界石設置四千三百四十五米、植樹帶設置箇所八千五百四十八米、步道平板一萬三千三百六十九枚ナリ

側溝ハ街渠一千九百四十九米、集水側溝四十米ヲ設置スルト共ニ步車道境界石一千三百九十本ヲ製作セリ

排水渠ハ鐵筋混凝土管ヲ使用シ内徑三十八糎乃至十五糎ノ排水渠百五十三米ヲ施工セリ

橋梁ハ鶴見川橋基礎並下部(橋長百米五、幅員二米二、型式突桁式鋼板桁橋)入江橋(橋長十一米一、幅員二十三米型式鐵筋混

凝土丁桁橋)ノ二橋ヲ施工シ兩者共未竣功ナリ

附帶工事トシテハ南武線架道工事、寺尾橋架道工事(橋長四十八米六、幅員十一米、型式鐵筋凝土無開側拱橋及鐵筋凝土丁桁橋)橫濱線架道橋等ヲ施行シ橫濱線架道橋ハ竣功シタルモ他ハ未竣功ニ終レリ  
 雜工トシテハ多摩川ヨリノ砂礫採集其他ヲ施行セリ

土地買收 物件移轉 其他補償ハ終點附近約五百米ノ買收ノ發表ヲ爲スト共ニ前年度繰越分ノ解決ヲ計リ三十三萬三百八十二圓ノ支出ヲ爲セリ斯クシテ本年度未竣功高九十九萬八千八百一圓、起工以來ノ累計四百十三萬二千七百十九圓ニシテ工事費總額六百五十萬圓ニ對シ六割四分ノ竣功ニ當レリ其ノ工事竣功表左ノ如シ

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
道路		1,010,000		1,710,000		2,720,000	100%
橋		1,350,000		1,600,000		2,950,000	100%
雜工		200,000		200,000		400,000	100%
未竣功	箇所 二		箇所 二		箇所 二		0.0%
附帶工事		1,000,000		1,100,000		2,100,000	100%
土地買收	平米 11,748.8	1,100,000	平米 11,210.0	1,000,000	平米 22,958.8	1,100,000	100%
物件移轉其他補償		1,000,000		1,100,000		2,100,000	100%
器具機		1,000,000		1,100,000		2,100,000	100%
繕費		1,000,000		1,100,000		2,100,000	100%
營繕費		1,000,000		1,100,000		2,100,000	100%

# 昭和十五年直轄工事年報 (終)

第六章 國道改良工事 (國道三十六號線(新京濱)新設工事)

總計	臨時家族手當	共濟組合給與金	雜費
三、三三、九八		一、三三〇	二九九、二七三
九九八、八〇	二、九九六	三、四三三	八九、五三三
三、三三、九八	二、九九六	一、三三〇	三〇八、八〇六
〇、六六〇			

昭和十七年五月十八日印刷  
昭和十七年五月二十日發行

# 內務省國土局總務課

東京市麴町區麴町五丁目二番地

印刷者 (表) 杉田 弥太郎

東京市麴町區麴町五丁目二番地

印刷所 杉田屋印刷所

電話九段  
(33)

三一一〇  
八九一五  
四七〇七  
三五二四